

浜松医科大学建築設備等保全業務 一式

特記仕様書

2019~2020年度
(2年間)

2018年11月作成

施設課長	課長補佐	保全係長	担 当
	 		

目 次

保全業務特記仕様書

I. 業務概要	I-1
II. 一般共通事項	
1. 請負代金の支払い	II-1
2. 受注者の負担の範囲	II-1
3. 貸与資料	II-1
4. 業務責任者	II-1
5. 業務条件	II-2
6. 電気工作物の保安業務	II-2
7. 環境衛生管理体制	II-3
8. 危険物一般取扱所等の保安業務	II-3
9. エネルギー管理業務	II-3
10. 業務担当者	II-3
11. 別契約の業務等	II-4
12. 行事等への立会い	II-4
13. 施設管理担当者の立会い	II-4
14. 廃棄物の処理	II-4
15. 居室等の利用	II-5
16. 共用施設の利用	II-5
17. 駐車場の利用	II-5
18. 点検の省略	II-5
19. 業務の引継ぎに関する事項	II-5
20. 業務報告書	II-5
21. 報告の時期	II-6
22. 報告会の開催	II-6
23. その他	II-6
III. 運転・監視、日常点検・保守及び防災センター監視	
1. 一般共通事項	III-1
1.1 業務従事者の人員	III-1-1

1.2	日常点検保守の周期	Ⅲ-1-1
1.3	支給材料	Ⅲ-1-2
1.4	障害の対応	Ⅲ-1-2
1.5	緊急修理	Ⅲ-1-2
1.6	その他	Ⅲ-1-2
2.	運転・監視	Ⅲ-2
2.1	運転・監視の範囲	Ⅲ-2-1
2.2	運転・監視の内容	Ⅲ-2-1
2.3	その他	Ⅲ-2-1
3.	日常点検・保守	Ⅲ-3
3.1	建築	Ⅲ-3-1
3.2	電気設備	Ⅲ-3-7
3.3	機械設備	Ⅲ-3-21
3.4	監視制御設備	Ⅲ-3-49
3.5	医療用設備	Ⅲ-3-53
4.	防災センター監視	Ⅲ-4
4.1	監視の範囲	Ⅲ-4-1
4.2	監視の報告	Ⅲ-4-1
4.3	業務報告書	Ⅲ-4-1

IV. 定期点検等及び保守

1.	一般共通事項	Ⅳ-1
1.1	業務の条件	Ⅳ-1-1
1.2	定期点検等及び保守の周期表記	Ⅳ-1-1
1.3	支給材料	Ⅳ-1-2
1.4	業務報告会の開催	Ⅳ-1-2
1.5	その他	Ⅳ-1-2
2.	建築	Ⅳ-2
2.1	建築	Ⅳ-2-1
2.2	自動扉	Ⅳ-2-8

2.3	地震計	IV-2-17
2.4	免震装置	IV-2-21
3.	電気設備	IV-3
3.1	受変電設備	IV-3-1
3.2	発電設備	IV-3-14
3.3	静止形電源設備	IV-3-32
3.4	入退室管理設備	IV-3-40
3.5	監視カメラ設備	IV-3-47
3.6	アイソレーション設備	IV-3-57
3.7	電力設備	IV-3-60
4.	機械設備	IV-4
4.1	温熱源機器	IV-4-1
4.2	冷熱源機器	IV-4-18
4.3	クリーンファンユニット	IV-4-43
4.4	デシカント空調機	IV-4-55
4.5	水冷ヒートポンプ付ファンコイルユニット	IV-4-59
4.6	エアコン点検	IV-4-65
4.7	空調関連機器	IV-4-69
4.8	給排水衛生機器	IV-4-74
4.9	ばい煙測定	IV-4-85
4.10	水質検査	IV-4-88
4.11	クレーン点検	IV-4-93
4.12	R I 動物実験施設脱臭フィルター交換	IV-4-98
5.	監視制御設備	IV-5
5.1	中央監視設備（電気）	IV-5-1
5.2	中央監視設備（機械）	IV-5-9
6.	防災等設備	IV-6
6.1	消防用設備等	IV-6-1
6.2	特殊建築物等定期調査	IV-6-27
6.3	建築設備定期検査	IV-6-30
6.4	防火設備定期検査	IV-6-40

7.	昇降機設備	IV-7
7.1	昇降機	IV-7-1
8.	医療用設備	IV-8
8.1	医療ガス設備	IV-8-1
8.2	気送管設備	IV-8-34
8.3	小型搬送設備	IV-8-40
8.4	自動倉庫設備	IV-8-45
9.	滅菌設備	IV-9
9.1	高圧蒸気滅菌装置	IV-9-1
10.	衛生害虫防除	IV-10
10.1	衛生害虫防除	IV-10-1

I. 業務概要

1. 業務概要

1. 業務名称 浜松医科大学建築設備等保全業務 一式
2. 業務場所 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学構内
3. 業務期間 2019年4月1日から2021年3月31日まで
4. 業務仕様

この保全業務（以下「業務」という。）の受注者は、国立大学法人浜松医科大学物品供給契約等基準、この特記仕様書、別添の建築保全業務共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）、文教施設保全業務標準仕様書（以下「標準仕様書」という。）、国立大学法人浜松医科大学電気工作物保安規程（以下「電気工作物保安規程」という。）、国立大学法人浜松医科大学危険物一般取扱所等災害予防規程（以下「危険物一般取扱所等災害予防規程」という。）、及び国立大学法人浜松医科大学防災マニュアル（以下「防災マニュアル」という。）に基づき次の業務を履行する。

業務項目	対象設備等	業務等概要
運転	受変電設備 熱源設備 空調関連機器 光熱水量検針	特高・高圧受変電設備の運転データの記録 特高変圧器バンク切り替え 受電遮断器操作（中電依頼操作） ボイラー、吸収式冷温水発生器、蒸気熱交換器の運転スケジュール等の入力、運転データの記録 蓄熱槽間仕切り変更 各棟空調機（エアコンを除く）の冷暖切替 各棟空調機の運転スケジュール等の入力 電力、ガス、上水、雑用水、蒸気
監視	電気中央監視制御設備 機械中央監視制御設備 エアコン集中監視装置 昇降機監視盤 医療ガスモニター 気送管監視装置	特高変電所（受変電設備、非常用発電設備） 各棟電気室 10か所（受変電設備、直流電源、無停電電源） 発電機室（常用非常用発電機設備） デマンド監視 熱源機器（ボイラー、ターボ冷凍機、空冷チラー、吸収式冷温水発生器、蓄熱槽、各種空調ポンプ等） 空調関連機器（各棟空調機、送排風機等） 給排水関連機器（受水槽、高置水槽、給水ポンプ、各種排水槽、排水ポンプ等） 附属病院外来棟のエアコン 各棟昇降機 大学(EV 10 DW 2)病院(EV 20 DW 1) 医療ガス供給設備（酸素、窒素、圧空、人工空気、二酸化炭素、吸引）、警報盤（救急部、手術部、集中治療部、分娩室、NICU） 気送管設備
日常点検・保守	建築物 電気設備 機械設備	陸屋根、トップライト、バルコニー、外部階段、雨水側溝 受変電設備、発電設備、直流電源、無停電電源、照明器具、分電盤類、外灯、避雷設備、構内配線、電気中央監視制御設備 熱源機器（ボイラー、吸収式冷温水発生器、冷却塔、空冷チラー、各種空調ポンプ等） 空調関連機器（各棟空調機、エアコン簡易点検、送排風機、換気扇等） 給排水関連機器（受水槽、高置水槽、給水ポンプ、各種排水槽、排水ポンプ、水質検査等）

	防災設備 医療用設備	機械中央監視制御設備、空気源装置 自動火災報知設備（総合操作盤）、スプリンクラー（アーム弁、エアチャンバー） 医療ガス供給設備（酸素、窒素、圧空、人工空気、二酸化炭素、吸引）
防災センター業務	防災用総合操作卓等	各棟の自動火災報知設備等による火災監視及び通報連絡
エネルギー管理業務		エネルギーデータ収集・分析 (電気・ガス・水道・工業用水・蒸気・冷温水)
定期点検及び保守	建築物 電気設備 機械設備 監視制御設備 防災等設備 昇降機設備 医療用設備 滅菌設備 圧力容器 衛生害虫防除	建物、自動扉、地震計、免震装置 特高受変電設備、高圧受変電設備、発電設備、直流電源、無停電電源、入退室管理設備、監視カメラ設備、アイソレーション設備、重油地下タンク 熱源機器（ボイラー、吸収式冷温水発生器、空冷チラー、純水製造装置等） 空調関連機器（グリーンファンユニット、デシカント空調機、水冷ヒートポンプ付ファンコイル、パッケージエアコン） 給排水関連機器（受水槽、高置水槽、貯湯槽、給湯ボイラー、手洗い水装置） ばい煙測定（ボイラー、吸収式冷温水発生器、常用非常用発電機設備） 水質検査（飲料水、給湯水、冷却水、排水、地下水） クレーン 電気中央監視制御設備、機械中央監視制御設備 消防用設備等 特殊建築物定期調査（14棟） 建築設備定期検査（排煙・換気・非常照明） 建築設備定期検査（防火設備） 昇降機（フルメン） 建築設備定期検査（昇降機） 医療ガス、気送管、小型搬送、自動倉庫 高圧蒸気滅菌装置 第一種圧力容器法定点検 衛生害虫鼠族防除、消毒、フード清掃

6. 特記仕様書の適用方法

- (1) ・印で始まる事項については、○印を付した事項のみ適用する。
- (2) 表中の各欄に数字、文字、記号等を記入する事項については、記入した事項のみ適用する。
- (3) ~~————~~ 又は×印で抹消した事項は全て適用しない。
- (4) 特記された材料、製品名等は、特記されたもの又は同等以上のものを使用することとし、同等以上のものを使用する場合は、施設管理担当者の承諾を受ける。

Ⅱ. 一般共通事項

Ⅱ. 一般共通事項

1. 請負代金の支払い

この業務の受注者は、検査職員が行う検査に合格したときは、請負代金の支払いを請求できる。

請負代金は、3ヶ月毎に支払うものとし、適法な請求書を受領した日から90日以内に浜松医科大学会計課から支払う。

2. 受注者の負担の範囲

停電時の作業に使用する電力・用水及び点検等を実施するために必要な仮設の費用は、受注者の負担とする。

3. 貸与資料

竣工図、施工図、機器完成図等、電気工作物保安規程、防災マニュアル
危険物一般取扱所等災害予防規程

公衆電話回線2回線、構内電回線2回線、構内PHS4台

4. 業務責任者

この業務の受注者は、各業務の指揮監督をすると共に、施設管理担当者と業務連絡及び調整を行う者として、専任の統括業務責任者(1名)を配置する。

統括業務責任者は下記の条件1) 2) を満たす者とする。

条1) 病院施設における運転・監視又は日常点検・保守業務の実務経験が5年以上を有する者、または平成21年度以降に病床数5,000以上の病院施設における上記実務経験が2年以上を有する者。

条2) 下記の運転・監視及び日常点検・保守業務の業務責任者①、②、③に示す条件のいずれかを満たす者。

統括業務責任者を補佐するため次の業務責任者を選任すること。

① 建築業務責任者 建築物の点検保守

資格等 1級又は2級建築士又は1級又は2級建築施工管理技士

② 電気業務責任者兼電気主任技術者 電気設備の運転監視、点検保守

資格等 第2種電気主任技術者

③ 機械業務責任者 機械設備の運転監視、点検保守

資格等 1級ボイラー技士又は第2種冷凍保安責任者

④ 防災センター業務責任者 防災設備の監視、点検保守

資格等 自衛消防業務講習修了者

⑤ エネルギー管理業務責任者 使用状況の分析、管理計画の作成

資格等 エネルギー管理士

電気と機械の業務責任者には、業務を代行するもの(以下「代務者」という)を選任すること。業務責任者は、受注者の社員より選任すること。

なお、防災センター及びエネルギー管理業務責任者は、他の責任者と兼任出来るものとする。

設備等の区分は次による。

建築物 電気設備、機械設備を除くすべて。

電気設備 受変電設備、配電設備、発電設備、静止型電源設備、入退室

管理設備、監視カメラ設備、アイソレーション設備、電気中央監視設備、負荷設備（実験機器、医療機器、機械設備を除く）、危険物一般取扱所等の保安業務

機械設備 熱源設備、空調設備、給排水設備、ガス設備、特殊ガス設備、医療ガス設備、昇降機、小型搬送設備、自動倉庫、気送管、蒸気滅菌装置、クレーン、機械中央監視設備、ばい煙測定、水質検査、建築設備定期検査（昇降機）

防災設備 消防用設備等、建築設備定期検査（防火設備）

5. 業務条件

・ 運転・監視業務の実施時間は下記のとおりとする。

毎日 8:30～翌日 8:30 とする。

・ 日常点検・保守業務の実施時間は下記のとおりとする。

毎日 8:30～17:30 とする。但し、初期対応は、毎日 8:30～翌日 8:30 とする。

・ 防災センター監視業務の実施時間は下記のとおりとする。

毎日 8:30～翌日 8:30 とする。

但し、運転・監視、日常点検・保守及び防災センター監視業務において休憩時間（労働基準法による）のとり方については、同従事者と重複しないものとする。

・ 定期点検及び保守業務の実施時間は下記のとおりとする。

平日 8:30～17:30 とする。但し、停電作業等の左記日時にて実施できない業務は、施設管理担当者と協議し、休日作業又は夜間作業を実施できることとする。

6. 電気主任技術者の業務

本学の電気工作物の工事等に関する保安を確保するため、電気主任技術者を選任し、中部近畿産業保安監督部に届出を行うこととする。

電気主任技術者は、第2種電気主任技術者の資格を有する者とし、原則として業務場所に常駐することとする。（休日・夜間・発注者の定める休日で保安監督業務に支障のない日を除く）

電気主任技術者は本学の電気工作物保安規程に従い、電気工作物の工事等に関する保安監督業務を掌理すると共に下記に掲げる業務を行うこととする。

① 電気工作物保安規程の制定及び改廃への参画

② 電気工作物の保安上必要な計画の作成への参画

③ 法令に基づく申請、提出及び報告等に関する書類の作成及び審査

④ 電気工作物に係る立入検査等の立会い

⑤ 総括管理者への電気工作物の保安に関する意見の具申

⑥ 業務従事者の保安教育及び訓練計画への参画

⑦ 保安業務の記録に関する事項

⑧ その他電気工作物の保安に関し、必要な事項

電気主任技術者が病気その他のやむを得ない事情により不在となる場合には、電気主任技術者の業務を代行する者（以下「代務者」という。）を、事前に発注者に届出を行い、承諾を得るものとする。

電気主任技術者を変更しようとする場合は、事前に発注者に届出を行い、承諾を得るものとする。

発注者は、自家用電気工作物の工事、維持及び運用の保安を確保するにあたり電気主任技術者として選任する者の意見を尊重する。

自家用電気工作物の工事、維持及び運用に従事する者は、電気主任技術者として選任する者がその保安のためにする指示に従うこととする。

電気主任技術者として選任する者は、自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督の職務を誠実にを行うこととする。

電気主任技術者の業務について、この仕様書に定めのない事項及び疑義については、施設管理担当者と協議するものとする。

7. 環境衛生管理体制

8. 危険物一般取扱所等の保安業務

本学の危険物一般取扱所（常用・非常用発電機室）、地下タンク貯蔵所の保安を確保するため危険物保安監督者を選任し、所轄消防署へ選任届を提出するものとする。

危険物保安監督者は、危険物取扱者甲種、または乙種第4類の免状を有する者とする。

危険物保安監督者は、本学の危険物一般取扱所等災害予防規程に従い保安業務を行うものとする。

9. エネルギー管理業務

エネルギー管理業務は、BEMS製造業者(アズビル株)の参画を有することとする。

エネルギー管理士の下に、検針表及び運転・監視記録等を用い、BEMSの活用を図り、そして浜松医科大学エネルギーセンターESCO業務と連携し、エネルギーに関するデータ収集、各熱源機器の運転性能分析及びエネルギーの把握等を行い、省エネルギーの提案を行うこととする。

また、下記に掲げる業務も行うこととする。

① 管理標準の見直し。

② エネルギー使用状況届書(5月末日期限)、中長期計画書及び定期報告書(7月末日期限)の作成並びにエネルギーに関する各種資料の作成を行う。

③ 施設・環境マネジメント委員会及び省エネ講習会の資料作成等に関する協力を行う。

10. 業務担当者

業務に従事する業務担当者は、各項の設備ごとに示す条件を満たす者の指示のもと業務を履行すること。

① 電気設備 第2種電気工事士

② 機械設備 2級ボイラー技士

③ 危険物一般取扱所等 危険物取扱者乙種第4類の免状を有する者

④ 防災センター業務 自衛消防業務講習修了者

11. 別契約の業務等

業務の実施にあたっては、下記事業及び業務の責任者と調整を図り、円滑に業務を実施する。

- ① 浜松医科大学エネルギーセンターE.S.C.O事業
- ② 浜松医科大学警備等業務
- ③ 浜松医科大学清掃等業務
- ④ 浜松医科大学構内で行われる工事及び点検等

12. 行事等への協力

防災訓練及び消防訓練への参加
入学試験、医大祭、慰霊祭及びクリスマスイルミネーションにおける建築・設備面の対応
本学で実施される行事で、施設管理担当者より依頼がある事項

13. 施設管理担当者の立会い (1.4.6)

14. 廃棄物の処理

・ 運転・監視及び日常点検・保守業務における発生材の処理は次による。

(1) 引渡しを要するもの

1) 品名 消耗品他 2) 引渡し先 ゴミ置場 3) 集積場所 ゴミ置場

(2) 特別管理産業廃棄物

1) 品名 3) 集積場所

2) 引渡し先 4) 集積方法

(3) 現場において再利用するもの

1) 品名 2) 使用場所

(4) 再資源化するもの

1) 品名

(5) 関係法令により適切に処理するもの

1) 品名

・ 定期点検・保守業務における発生材の処理は次による。

(1) 引渡しを要するもの

1) 品名 2) 引渡し先 3) 集積場所

(2) 特別管理産業廃棄物

1) 品名 3) 集積場所

2) 引渡し先 4) 集積方法

(3) 現場において再利用するもの

1) 品名 2) 使用場所

(4) 再資源化するもの

1) 品名

(5) 関係法令により適切に処理するもの

1) 品名 全ての発生材

15. 居室等の利用

当該業務を実施するため、構内配置図(別図1)及びエネルギーセンター1階平面図(別図2)に示す居室等を無償(電気、水道及びガス使用料金を含む)で利用することができる。

但し、事務処理に必要なコンピュータ類及びネットワーク環境(電話回線使用料金を含む)は、受注者の負担とする。

16. 共用施設の利用

当該業務を実施するため、次の共用施設を利用することができる。

・各棟 便所、エレベーター

17. 駐車場の利用

業務を実施するため、本学構内の駐車場を使用することができる。

但し、国立大学法人浜松医科大学諸料金規程による。

18. 点検の省略

下記の箇所については、点検を省略する。

(1)容易に出入りできる点検口の無い床下又は天井裏にあるもの。

(2)容易に出入りできない場所にあるダクト、配管、配線又は機器類。

(3)電気の通電又は運転を中止することが極めて困難な状況にあるもの及びその付近にあるもので、点検することが危険であるもの。

(4)その他、施設管理担当者との協議による。

19. 業務の引継ぎに関する事項

契約後は速やかに運転・監視業務及び日常点検・保守業務の従事者を配置し、業務の引継ぎ等に関する研修を行うこととする。

業務期間終了時に業務の引継ぎを要する場合は、次年度における業務に支障が及ばないように業務期間内に十分引継ぎを行うこととする。また、業務期間終了後も業務の引継ぎが完了していない場合は、無償にて引継ぎを継続して行うこととする。

20. 業務報告書

業務完了後に施設管理担当者の承諾を得た、次の書類を電子媒体(DVD-Rに保存)及び紙媒体(ファイル綴じ)にて作成する。

なお、報告書に業務の履行及び不良個所の確認のため、適宜写真、図面等を添付すること。

業務日誌(運転監視・日常点検保守・定期点検保守・防災センター業務)

定期点検の作業日報

運転監視及び日常点検保守報告書

定期点検及び保守報告書

消防用設備等点検結果報告書

特殊建築物定期検査報告書

建築設備定期検査報告書（換気設備等・防火設備・昇降機）

光熱水検針票（電力・上水・雑用水・都市ガス・蒸気）

報告書の様式次による（参考資料参照）

業務日誌、運転監視及び日常点検保守、定期点検及び保守、光熱水検針票は、
受注者が作成した様式とする。なお、定期点検の作業日報、製造所等業務の報告
書の詳細は、製造所等の標準様式としてもよい。

消防用設備等点検結果報告書、特殊建築物定期検査報告書、建築物定期検査報
告書は、関係法令に定められた様式とする。

提出部数は特記ある場合を除き各1部とする。

21. 報告の時期

業務日誌、定期点検の作業日報は、翌日（翌日が休日の場合は休日明け）に
業務管理担当者に報告する。

その他の報告書は、完了した業務を月毎にまとめ遅滞なく提出する。

緊急の場合は速やかに報告する。

22. 業務報告会の開催

受注者と施設管理担当者との報告会をエネルギーセンター内にて毎月1回開
催することとする。

本報告会は、業務の結果及び問題点の報告と、省エネルギーを考慮した状況
に即した機器の運転方法の協議をおこなうものとする。

23. その他

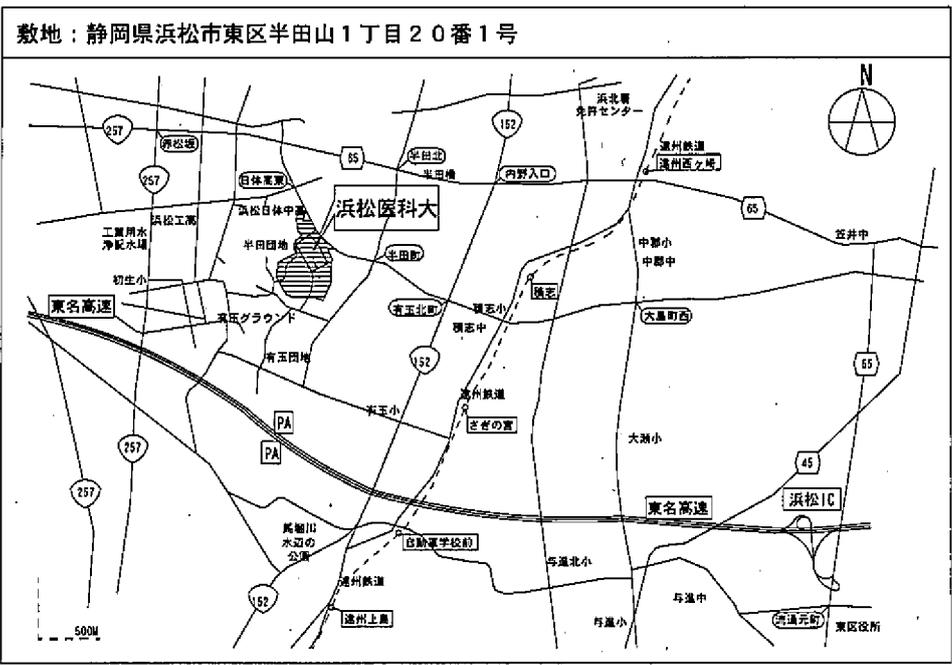
当該業務担当者は、4種ウイルス（麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎）、
抗体価の測定を行い、抗体価陰性者へのワクチン接種を行った者を選定し感
染対策に努めることとする。また、年2回（赤痢菌・サルモネラ属・病原性
大腸菌《0-157》）の測定を行うこととする。

受注者は、当該業務担当者に対して安全教育を行い、業務に従事させるこ
ととする。

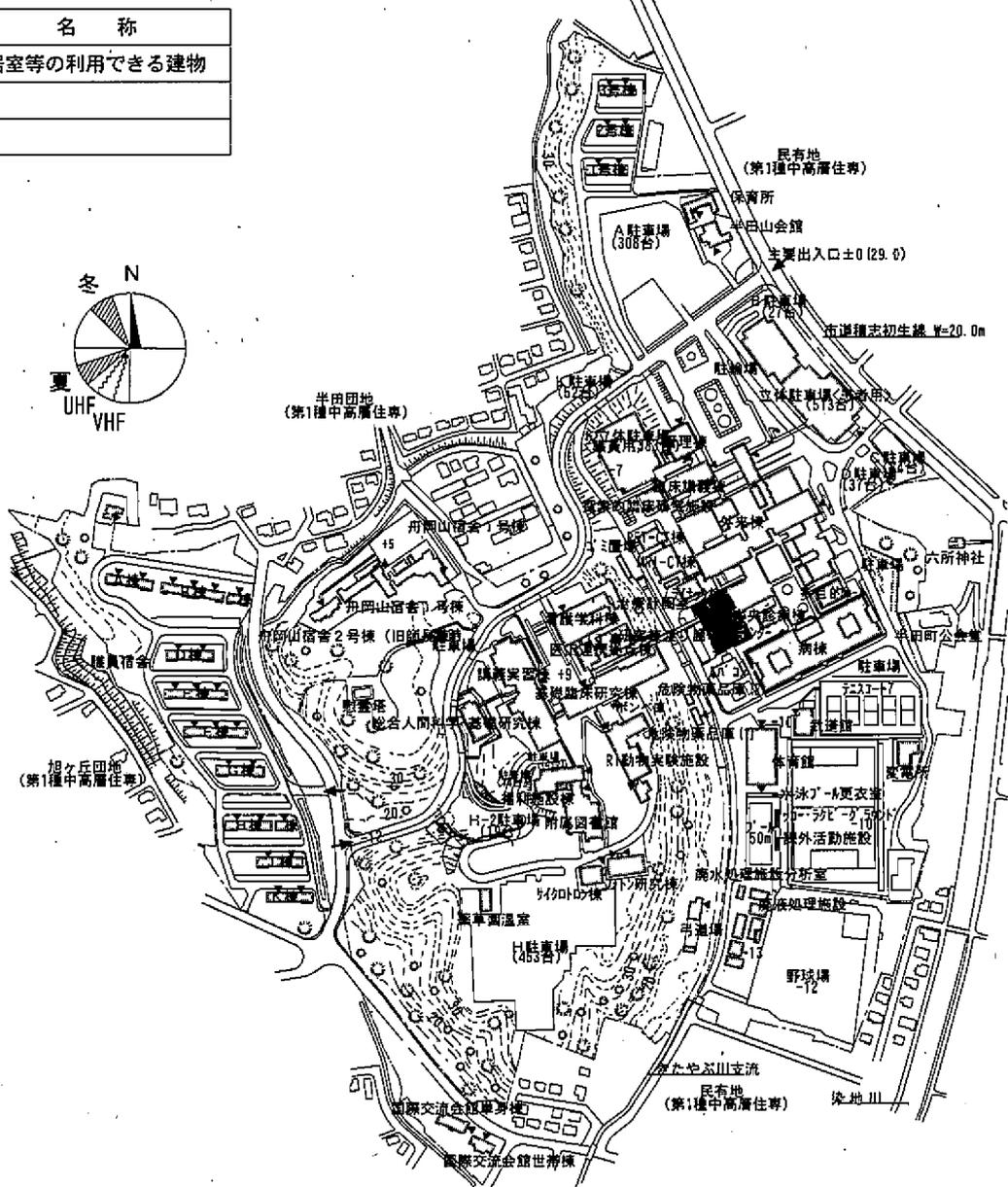
当該業務履行中は、顔写真入りの名札及び会社名の記載された腕章等を身
に付けることとする。

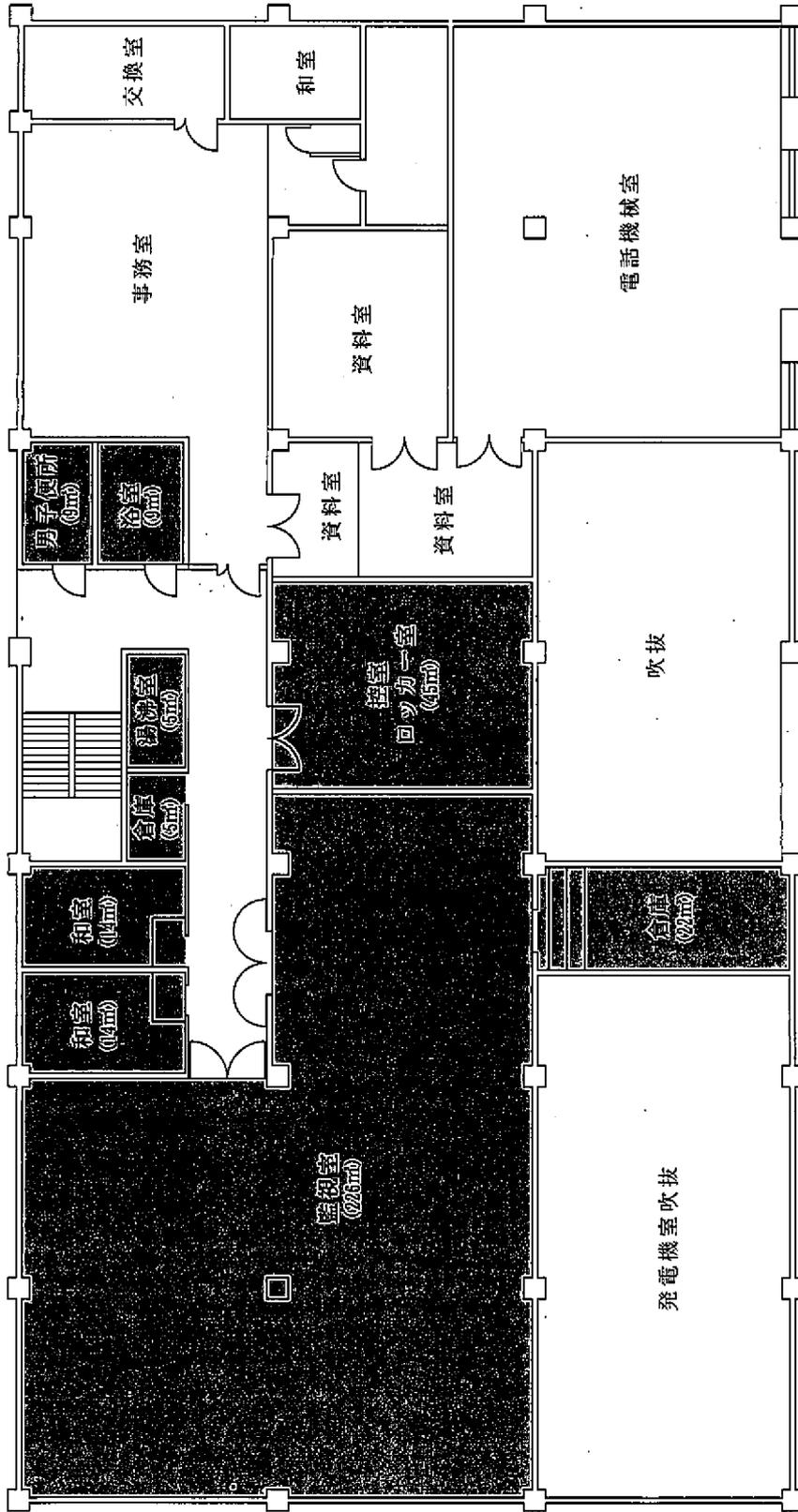
当該業務で必要とする工具類等は、受注者の負担とする。

但し、本学に備え付けの工具は無償で使用できるものとする。



記号	名称
■	居室等の利用できる建物





エネルギーセンター 1階平面図 S=1:200

■ は休憩、仮眠、更衣及び業務に必要な施設を示す。

Ⅲ. 運転・監視、日常点検・保守及び防災センター監視

1. 一般共通事項

1.1 業務従事者の人員

業務においては、下記表に定める人員以上を配置することとする。
 また、業務に十分対応できるよう考慮し、人員配置を行うこととし、施設管理
 担当者が業務に支障が生じていると判断した場合は、協議することとする。

《業務勤務表》

業務者	平日		休日 (土・日曜日、祝日)		備考
	日中 8:30 ～ 17:30	夜間 17:30 ～ 8:30	日中 8:30 ～ 17:30	夜間 17:30 ～ 8:30	
統括責任者	1 ※1	0	0	0	
運転・監視従事者	2 ※1	1 ※2	1 ※2	1 ※2	
日常点検・保守 従事者 (初期対応含む)	5 ※1	1	1	1	
防災センター監視 従事者	2 ※1	2 ※2	2 ※2	2 ※2	
合計人員	10	4	4	4	

※1 平日の日中は、統括責任者、電気設備責任者及び機械設備責任者のうち2名
 以上が配置されていることとする。

※2 平日の夜間及び休日は、運転・監視従事者と防災センター監視従事者は兼務
 出来ることとするが、計2名以上で従事することとする。

1.2 日常点検・保守の周期

業務要領の周期の表記は、下記による。

- ①「1D」は、1日(平日のみ)ごとに行うものとする。
- ②「4/D」は、1日(平日のみ)に4回行うものとする。
- ③「3/D」は、1日(平日のみ)に3回行うものとする。
- ④「2/D」は、1日(平日のみ)に2回行うものとする。
- ⑤「1W」は、1週ごとに行うものとする。
- ⑥「1M」は、1月ごとに行うものとする。
- ⑦「2M」は、2月ごとに行うものとする。
- ⑧「3M」は、3月ごとに行うものとする。

- ⑨「6M」は、6月ごとに行うものとする。
- ⑩「1Y」は、1年ごとに行うものとする。
- ⑪「2/M」は、1月に2回行うものとする。

1.3 支給材料

日常点検・保守にて対応する必要な器材及び消耗品等とする。なお、支給材料においては、在庫等の管理を行い、購入品目の要望を書面にて、施設管理担当者に提出する。特に毒物及び劇物取締法により劇物に指定されている品目は施錠及び保管場所の管理を徹底することとする。

1.4 障害の対応

業務中障害が発生した場合は、点検・保守業務における故障時等のフローチャート(別紙2)に基づいて迅速に対応することとする。

障害対応の範囲は、初期対応内容(別紙1)による。

1.5 緊急修理

緊急に修理が必要な場合は、業務管理担当者と協議のうえ、本学の支給する材料を用いたちに修理を行う。

1.6 その他

《初期対応内容》

※ 原則として使用者より初期対応依頼があった場合は、下記の項目以外においても現場調査・確認し、報告する。

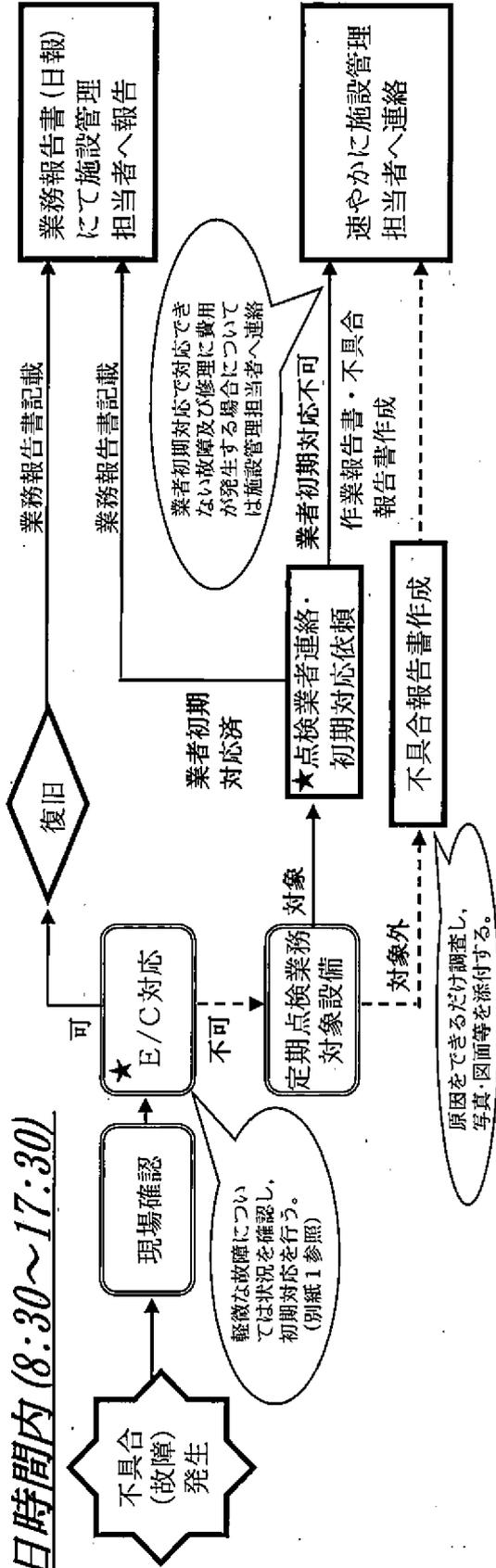
項目	⇒	対応	項目	⇒	対応
《建築》					
1. 内部天井			5. 内部建具(外部建具も同様)		
・天井ボードの割れ・剥がれ	⇒	数枚であれば張り替え 大規模の場合、状況確認後、報告	・扉の開閉不良	⇒	工具にて調整・部品取り替え
・カーテンレールの固定不具合	⇒	工具にて調整	・扉のドアノブ、レバーハンドル、丁番、 ドアクローザー戸当たり、 フランス落しの不良	⇒	工具にて調整・部品取り替え
・カーテンランナーの破損	⇒	取り替え、調整	・建具(金具含む)・枠の変形・破損・ 磨耗・脱落	⇒	工具にて調整・部品取り替え
・天井点検口の不良・破損	⇒	工具にて調整・取り替え	・窓の破損	⇒	状況確認後、清掃し、報告
2. 内部床			・窓枠の変形・破損	⇒	状況確認後、報告
・ビニル床タイル、シートのひび割れ・ 浮き・剥れ	⇒	数枚であれば張り替え、補修 大規模の場合、状況確認後、報告	・窓枠のシーリング等のひび割れ・破たん	⇒	コーキング修理
・コンクリート、モルタル、タイルの ひび割れ・浮き	⇒	状況確認後、報告	・建物内の水漏れ	⇒	状況確認後、コーキング修理
・カーペットの磨耗・汚損	⇒	清掃			
・タイルカーペットの磨耗・汚損	⇒	数枚であれば張り替え・清掃	6. 屋根		
・床点検口の不良・破損	⇒	工具にて調整・取り替え、報告	・防水層のふくれ・変形・剥れ	⇒	状況確認後、補修、報告
内壁			・笠木の変形・破損	⇒	状況確認後、補修、報告
・壁ボードの割れ・剥がれ	⇒	小規模であれば張り替え・補修 大規模の場合、状況確認後、報告	・ルーフトレイン、とこの詰まり・破損・腐食	⇒	清掃・状況確認後、報告
・壁紙の剥離・破れ・汚れ	⇒	小規模であれば張り替え・補修 大規模の場合、状況確認後、報告	7. 外溝等		
・塗装の剥離・欠け・汚れ	⇒	小規模であれば塗装 大規模の場合、状況確認後、報告	・アスファルト舗装のひび割れ・陥没	⇒	状況確認後、報告
・可動間仕切壁の不具合	⇒	工具にて調整	・インターロッキング舗装のひび割れ・陥没	⇒	状況確認後、報告
4. 内部階段(屋外階段も同様)			・側溝の詰まり	⇒	清掃・状況確認後、報告
・手すりの変形・破損・腐食・脱落	⇒	小規模であれば取り替え・修理 大規模の場合、状況確認後、報告	・マンホールの破損	⇒	状況確認後、報告
・ノンスリップの変形・破損・腐食・脱落	⇒	小規模であれば取り替え・修理 大規模の場合、状況確認後、報告	・構造体の破損	⇒	状況確認後、報告
			・建物に接触する植物根・枝の侵入等	⇒	小規模であれば伐採 大規模の場合、状況確認後、報告
			8. 自動ドア		
			・ドアの開閉不良・変形・異音	⇒	状況確認 復旧不可の場合、定期点検業者へ連絡
《電気設備》			7. 拡声(放送)		
1. 電灯			・放送の不良	⇒	音量等の調整
・照明器具の不点	⇒	ランプ取り替え・安定器取り替え スイッチ等器具の取り替え	・スピーカーの破損・腐食	⇒	状況確認後、報告
・照明器具の破損・汚損・脱落	⇒	清掃・工具にて調整	8. 誘導支援(インターホン・トイレ呼出)		
2. コンセント			・通話・呼出の不良	⇒	工具にて調整・電源リセット
・コンセントの不点	⇒	原因調査後、プレーカの復旧※1 器具の取り替え 修復不可の場合、報告 ※1ブレーカトリップが原因の場合 絶縁測定及び負荷容量の調査実施	・機器の破損・腐食	⇒	状況確認後、報告
・器具の破損・腐食	⇒	器具の取り替え	9. 呼出(外来呼出)		
3. 構内情報通信			・呼出の不良	⇒	音量等の調整・電源リセット
・構内LANの不具合	⇒	状況確認後、報告	・機器の破損・腐食	⇒	状況確認後、報告
4. 構内交換(電話)			10. 監視カメラ		
・電話(電話機含む)の不具合	⇒	状況確認後、報告	・映像の出力不良	⇒	状況確認後、報告 定期点検業者へ連絡
5. 電気時計			11. 自動火災報知		
・電気時計の不具合	⇒	機器の取り替え 機器以外が原因の場合、報告	・機器等の不具合	⇒	状況確認後、報告 復旧不可の場合、定期点検業者へ連絡
・時間のズレ	⇒	時刻合わせ	12. ナースコール		
6. テレビ視聴・映像・音響			・子機の破損・腐食	⇒	予備品と取り替え
・TV機器の映像不良	⇒	工具にて調整・器具取り替え TV機器故障・復旧不可の場合、報告	・ナースコールの呼出・通話の不良、 親機の画面の不良	⇒	状況確認後、報告 復旧不可の場合、定期点検業者へ連絡 (ケアコムリモートセンター)
・プロジェクター等の映像不良	⇒	状況確認後、報告	13. 入退室管理設備		
・ラジオの受信不良	⇒	状況確認後、報告	・機器等の不具合	⇒	状況確認後、報告 復旧不可の場合、定期点検業者へ連絡

項目	⇒	対応	項目	⇒	対応
《機械設備》					
1. 給排水			5. 蒸気		
・配管の漏水	⇒	圧着処理・水受け取付 ・バルブ閉※2 ※2バルブ閉の場合 供給先を考慮・最小範囲の断水 パッキン・部品交換等簡易で あれば修理	・室温度不適(蒸気暖房)	⇒	コック開閉調整
・配管の詰まり	⇒	工具にて調整・ストレーナ分解 ・清掃・洗剤処理(排水管のみ)	・減菌装置の不良	⇒	状況確認後、取扱者へ連絡
・排水配管の異臭	⇒	清掃・水を流す・トラップ確認	・配管の漏水	⇒	圧着処理・水受け取付 ・バルブ閉※2 ※2バルブ閉の場合 供給先を考慮・最小範囲の断水 応急処理
・衛生陶器の破損・汚損・腐食	⇒	清掃・工具にて調整 小規模であれば修理	・配管の詰まり	⇒	工具にて調整・ストレーナ分解 ・清掃
・水栓・便器の流量不足	⇒	ワッシャー調整・給水量調整 ストレーナ分解・清掃	6. 換気		
・ウォシュレットの流量不足・動作不良	⇒	電源リセット・工具にて調整 本体および部品交換	・換気不良	⇒	運転確認・電源確認 ダンパー開度確認・清掃
・ジェットタオルの動作不良	⇒	電源確認・電源リセット	《医療用設備》		
2. 給湯			1. 医療ガス		
・混合水栓の温度不適	⇒	サーモ確認・逆止弁確認 ストレーナ分解・清掃	・医療ガス供給機器の不具合	⇒	状況確認後、 復旧不可の場合、定期点検業者へ連絡
・給湯器の不良	⇒	状況確認	2. 気送管		
3. 都市ガス			・気送子の詰まり	⇒	気送子内の運搬物、回収・配達
・ガス機器の不良	⇒	状況確認	・気送管の不具合	⇒	警報リセット 復旧不可の場合、定期点検業者へ連絡
・ガスの異臭	⇒	状況確認、ガス検知器にて漏れ 箇所確認、ガスコック閉止	3. 小型搬送設備		
4. 空気調和			・トレイ搬送中の停止	⇒	トレイ内の運搬物、回収・配達
・室温度不適(中央空調方式)	⇒	全熱交換機(風量・モード)も 含め設定温度調整 ・冷温水量確認・冷温水温度確認 ・吹出し風量調整・フィルタ清掃 ・エアークレナー・電動弁動作確認 ・不適箇所の室温測定・調査 機器故障・調整不可の場合、 定期点検業者へ連絡	・搬送設備の不具合	⇒	警報リセット 復旧不可の場合、定期点検業者へ連絡 ・復旧までの運搬
・空調機の動作不良(中央空調方式)	⇒	バルブ開度調整・ダンパー開度調整 ・運転・電源確認・ストレーナ分解 機器故障・調整不可の場合、報告 復旧不可の場合、定期点検業者へ連絡	《昇降機設備》		
・吹出し口より異臭(中央空調方式)	⇒	吸気口付近・機器故障の調査 機器故障・原因不明の場合、 定期点検業者へ連絡	1. 昇降機・ダムウエータ		
・吹出し口より異音(中央空調方式)	⇒	風量調整 機器故障・原因不明の場合、 定期点検業者へ連絡	・昇降機・ダムウエータの不具合	⇒	状況確認後、報告 復旧不可の場合、定期点検業者へ連絡
・配管の漏水	⇒	圧着処理・水受け取付 ・バルブ閉※2 ※2バルブ閉の場合 供給先を考慮・最小範囲の断水 応急処理後、報告			
・配管の詰まり	⇒	工具にて調整・ストレーナ分解			
・室温度の不適	⇒	バルブ開確認・減圧弁調整 復旧不可の場合、定期点検業者へ連絡			
・室温度不適(個別空調方式)	⇒	フィルタ清掃(病院のみ) 復旧不可の場合、 定期点検業者へ連絡			
・空調機の動作不良(個別空調方式)	⇒	電源確認・電源リセット 復旧不可の場合、定期点検業者へ連絡			

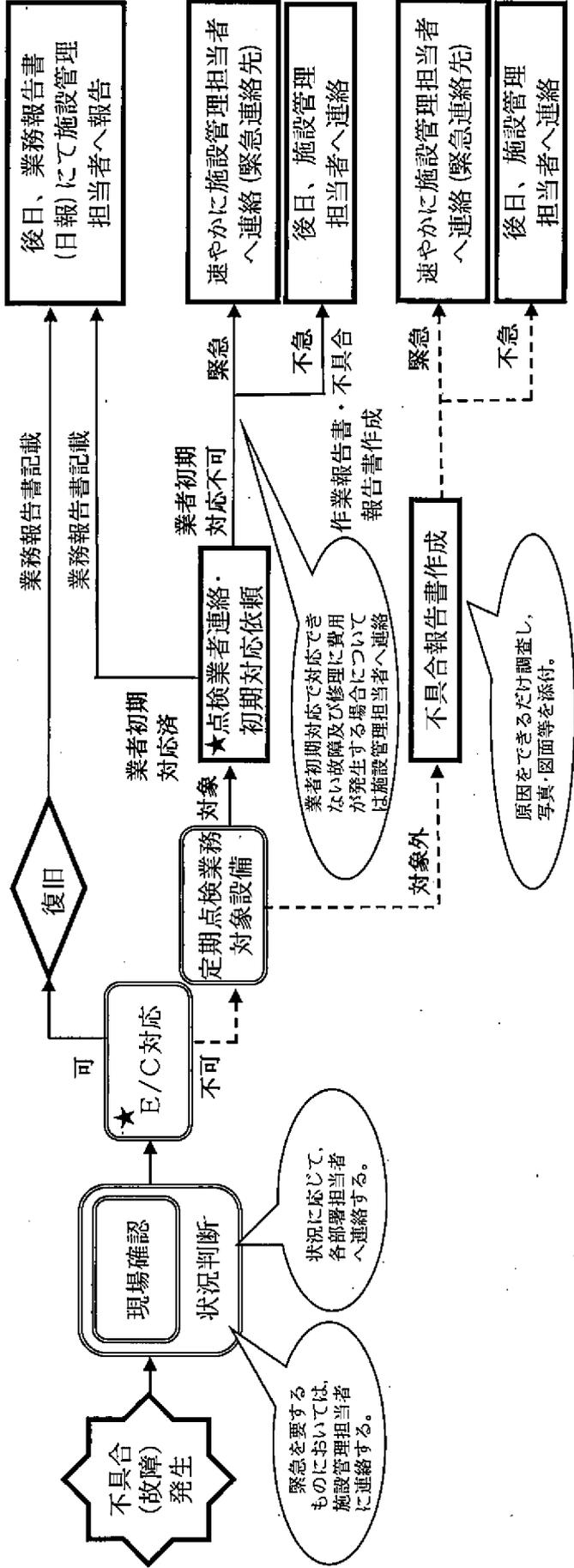
点検・保守業務における故障時等のフローチャート

インターネットが要員をE/Cと表記。
 ★使用者側に状況説明、結果報告を行う。

○ 平日時間内 (8:30~17:30)

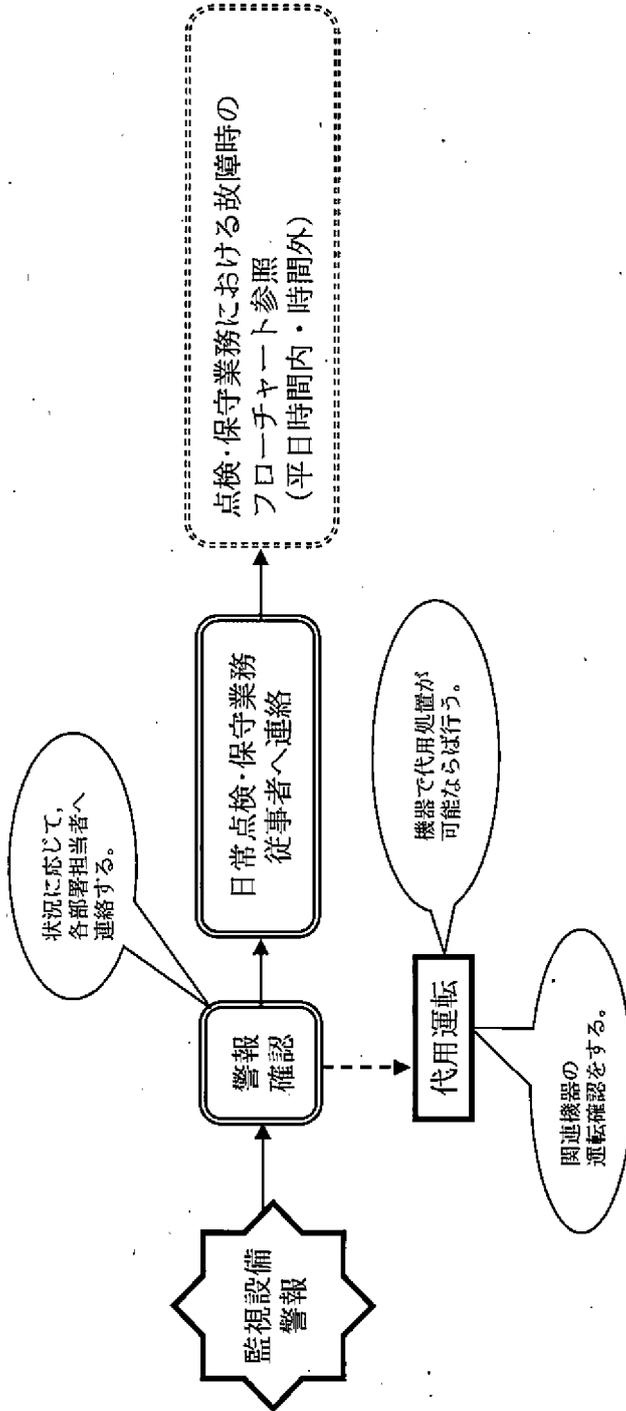


○ 時間外 (平日17:30~翌8:30、土・日・祝日8:30~翌8:30)



運転・監視業務における故障時等のフローチャート

○ 運転・監視 (24時間)



2.1 運転・監視

2.1.1 運転・監視の範囲

2.1(A) 業務対象設備の概要による。

2.1.2 運転・監視の内容

2.1(B) 運転・監視の内容による。

また施設監督担当者が指示した事項についても調査・記録する。
電気、ガス、市水、工業用水及び蒸気は、検針表(別紙1)に基づいて、
電力会社等の検針時期に合わせて、毎月検針を行い提出する。なお、工事
等により追加項目が必要な場合も施設管理担当者の指示により対応するこ
ととする。

2.1.3 その他

2.1 運転・監視

2.1(A) 業務対象設備の概要

電気設備

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	運転期間	運転時間
特高変電所	受変電設備	77kV 2回線受電 キュービクル型ガス絶縁設備 変圧器 2台 10,000kVA	1式	通年	24時間
特高変電所	直流電源装置	操作用 100V 50Ah (54セル)	1台	通年	24時間
特高変電所	自家発電設備	6,600V 1,500kVA 非常用 ディーゼル	1台	通年	停電時
特高変電所	直流電源装置	始動用 24V 400Ah (12セル)	1台	通年	24時間
特高変電所	電力量検針	別紙検針票による	25個		
エネセン 発電機室	自家発電設備	6,600V 1,500kVA 常用兼非常用 ディーゼル	1台	通年	デマンドブレーク カット/停電時
エネセン電気室	受変電設備	6,600V 4回線受電 変圧器 10台 3,475kVA	1式	通年	24時間
エネセン電気室	直流電源装置	操作・非常照明兼用 100V 150Ah (54セル)	1台	通年	24時間
エネセン電気室	電力量検針	別紙検針票による	19個		
外来棟B1階 電気室	受変電設備	6,600V 3回線受電 変圧器 12台 5,200kVA	1式	通年	24時間
外来棟B1階 電気室	直流電源装置	操作・非常照明兼用 100V 700Ah (54セル)	1台	通年	24時間
外来棟B1階 電気室	電力量検針	別紙検針票による	7個		
外来棟4階 電気室	受変電設備	6,600V 3回線受電 変圧器 13台 4,300kVA	1式	通年	24時間
外来棟4階 電気室	直流電源装置	操作・非常照明兼用 100V 600Ah (54セル)	1台	通年	24時間
外来棟4階 電気室	無停電電源装置	150kVA 医療用	2台	通年	24時間
外来棟4階 電気室	電力量検針	別紙検針票による	6個		
外来棟各階分電 盤	電力量検針	テナント分 別紙検針票による	50個		
病棟電気室	受変電設備	6,600V 4回線受電 変圧器 10台 3,600kVA	1式	通年	24時間
病棟電気室	直流電源装置	操作・非常照明兼用 100V 500Ah (54セル)	1台	通年	24時間
病棟電気室	無停電電源装置	200kVA 医療用	1台	通年	24時間
病棟電気室	電力量検針	別紙検針票による	8個		
病棟各階分電 盤	電力量検針	テナント分 別紙検針票による	56個		
基礎臨床研究棟 電気室	受変電設備	6,600V 2回線受電 変圧器 8台 1,750kVA	1式	通年	24時間
基礎臨床研究棟 電気室	直流電源装置	操作・非常照明兼用 100V 200Ah (54セル)	1台	通年	24時間
基礎臨床研究棟 電気室	電力量検針	別紙検針票による	11個		
基礎臨床研究棟 電気室	電力量検針	テナント分 別紙検針票による	2個		
基礎臨床研究棟 電気室	電力量検針	テナント分 別紙検針票による	2個		
講義実習棟電気 室	受変電設備	6,600V 2回線受電 変圧器 3台 550kVA	1式	通年	24時間

講義実習棟電気	電力量検針	別紙検針票による	5個		
RI動物実験施設 電気室	受変電設備	6,600V 2回線受電 変圧器 7台 1,800kVA	1式	通年	24時間
RI動物実験施設 電気室	電力量検針	別紙検針票による	8個		
福利施設棟 電気室	受変電設備	6,600V 1回線受電 変圧器 2台 300kVA	1式	通年	24時間
福利施設棟 電気室	電力量検針	別紙検針票による	1個		
福利施設棟 電気室	電力量検針	テナント分 別紙検針票による	16個		
看護学科棟 電気室	受変電設備	6,600V 1回線受電 変圧器 3台 500kVA	1式	通年	24時間
看護学科棟 電気室	電力量検針	別紙検針票による	3個		
臨床講義棟電気 室	受変電設備	6,600V 1回線受電 変圧器 2台 400kVA	1式	通年	24時間
臨床講義棟電気	電力量検針	別紙検針票による	5個		
臨床講義棟電気 室	電力量検針	テナント分 別紙検針票による	2個		
管理棟	電力量検針	テナント分 別紙検針票による	2個		
探索的臨床研究 施設分電盤	電力量検針	別紙検針票による	3個		
体育館電気室	受変電設備	6,600V 2回線受電 変圧器 4台 300kVA	1式	通年	24時間
体育館電気室	電力量検針	別紙検針票による	2個		
フoton研究棟屋外 キュービクル	受変電設備	6,600V 2回線受電 変圧器 3台 800kVA	1式	通年	24時間
フoton研究棟屋外 キュービクル	電力量検針	別紙検針票による	2個		
フoton研究棟分電	電力量検針	別紙検針票による	3個		
エネセン監視室	高圧ケーブル絶縁 自動監視装置		1台	通年	24時間
エネセン監視室	照明制御装置		1台	通年	24時間

機械設備

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	運転期間	運転時間
エネセン ボイラー室	温熱源機器	貫流ボイラー	6台	通年	24時間
エネセン ボイラー室	温熱源機器	純水装置	2台	通年	24時間
エネセン ボイラー室	温熱源機器	ホットウェルタンク	3台	通年	24時間
エネセン ボイラー室	温熱源機器	ドレンポンプ	3台	通年	24時間
エネセン (屋外)	温熱源機器	スチームキョムレーター 71.2㎡	1台	通年	24時間
エネセン	温熱源機器	プレート熱交換器 (SP-1)	1基	冬季	稼働時
エネセン	温熱源機器	プレート熱交換器 (SP-2)	1基	冬季	稼働時
エネセン 冷凍機室	冷熱源機器	ガス吸収式冷温水発生機 ガス重油兼用 (R-2) 750USRT	1基	通年	24時間
エネセン 冷凍機室	冷熱源機器	—	—	—	—
エネセン 空調ポンプ室	空調関連機器	空調用ポンプ	4台	通年	24時間
エネセン (屋外)	給排水衛生機器	受水槽 市水 650㎡ (2槽) 雑用水 239.6㎡ (3槽)	2基	通年	24時間
エバコン 給水ポンプ室	給排水衛生機器	給水ポンプ	12台	通年	24時間
エネセン (屋外)	給排水衛生機器	井戸	2箇所	通年	24時間
エネセン (屋外)	給排水衛生機器	深井戸ポンプ	2台	通年	24時間
エネセン (屋外)	給排水衛生機器	貯湯槽	2基	通年	24時間
エネルギー センター	給排水衛生機器	給湯ポンプ	2台	通年	24時間
エネルギー センター	給排水衛生機器	井水給水設備	1組	通年	24時間
エネセン ガスガバナー室	ガス・水道 使用量検針	ガスメーター 検針票参照	5個		
エネルギー センター	ガス・水道 使用量検針	水道メーター 検針票参照	個		
附属病院外来棟	空調関連機器	空調機	45台	通年	24時間
附属病院外来棟	空調関連機器	給気ファン	11台	通年	24時間
附属病院外来棟	空調関連機器	排気ファン	135台	通年	24時間
附属病院外来棟	空調関連機器	クリーンファンコイルユニット	12台	通年	24時間
附属病院外来棟	空調関連機器	液式調湿再生機 (HPR-1)	3台	通年	24時間
附属病院外来棟	空調関連機器	液式調湿処理機 (HPC3~7)	5台	通年	24時間
附属病院外来棟	空調関連機器	温水循環ポンプ (液式調湿空調機用)	1台	夏季	24時間
附属病院外来棟	空調関連機器	溶液ポンプ (液式調湿空調機用)	2台	通年	24時間
附属病院外来棟	空調関連機器	溶液タンク 1m ³ (液式調湿空調機用)	2基	通年	24時間
附属病院外来棟	空調関連機器	プレート熱交換器 (小型圧力容器, 液式調湿)	1台	夏季	24時間

附属病院外来棟	給排水衛生機器	人工透析用受水槽 市水 10m ³ (1槽)	1基	通年	24時間
---------	---------	--------------------------------------	----	----	------

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	運転期間	運転時間
附属病院外来棟	給排水衛生機器	検査部用受水槽 市水 3.5m ³ (1槽)	1基	通年	24時間
附属病院外来棟	給排水衛生機器	給水ポンプユニット	2台	通年	24時間
附属病院外来棟	給排水衛生機器	給湯ポンプ	2台	通年	24時間
附属病院外来棟	給排水衛生機器	環水槽	1基	通年	24時間
附属病院外来棟	給排水衛生機器	環水ポンプ	1台	通年	24時間
附属病院外来棟	給排水衛生機器	RI排水ポンプ	9台	通年	24時間
附属病院外来棟	ガス・水道 使用量検針	ガスメーター 検針票参照	3個		
附属病院外来棟	ガス・水道 使用量検針	水道メーター 検針票参照	個		
附属病院病棟	空調関連機器	空調機 (AC-A)	18台	通年	24時間
附属病院病棟	空調関連機器	空調機 (ACP)	10台	通年	24時間
附属病院病棟	空調関連機器	給気ファン	12台	通年	24時間
附属病院病棟	空調関連機器	排気ファン	59台	通年	24時間
附属病院病棟	空調関連機器	ファンコイルユニット	511台	通年	24時間
附属病院病棟	空調関連機器	グリーンファンコイルユニット	58台	通年	24時間
附属病院病棟	給排水衛生機器	高架水槽 市水 20m ³ (2槽) 雑用水 10m ³ (1槽)	2基	通年	24時間
附属病院病棟	給排水衛生機器	貯湯槽	4基	通年	24時間
附属病院病棟	給排水衛生機器	給湯ポンプ	4台	通年	24時間
附属病院病棟	給排水衛生機器	環水槽	1基	通年	24時間
附属病院病棟	給排水衛生機器	環水ポンプ	1台	通年	24時間
附属病院病棟	給排水衛生機器	排水槽	15基	通年	24時間
附属病院病棟	給排水衛生機器	排水ポンプ	28台	通年	24時間
基礎臨床研究棟	空調関連機器	排気ファン	5台	通年	24時間
基礎臨床研究棟	給排水衛生機器	高架水槽 市水 10m ³ (2槽) 雑用水 10m ³ (2槽)	2基	通年	24時間
基礎臨床研究棟	ガス・水道 使用量検針	ガスメーター 検針票参照	5個		
基礎臨床研究棟	ガス・水道 使用量検針	水道メーター 検針票参照	個		
臨床研究棟 (別館)	空調関連機器	空調機 (AHU)	1台	通年	24時間
臨床研究棟 (別館)	空調関連機器	排気ファン	2台	通年	24時間
臨床研究棟 (別館)	空調関連機器	ファンコイル用電源	5台	通年	24時間

講義実習棟	空調関連機器	空調機 (AHU)	6台	通年	24時間
講義実習棟	空調関連機器	排気ファン	3台	通年	24時間
講義実習棟	空調関連機器	給気ファン	2台	通年	24時間
講義実習棟	給排水衛生機器	貯湯槽	1台	通年	24時間
講義実習棟	給排水衛生機器	給湯ポンプ	1台	通年	24時間

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	運転期間	運転時間
講義実習棟	給排水衛生機器	排水槽	3基	通年	24時間
講義実習棟	給排水衛生機器	排水ポンプ	3台	通年	24時間
講義実習棟	冷熱源機器	空冷ヒートポンプチラー	2台	空調期間	24時間
講義実習棟	空調関連機器	空調用ポンプ	3台	通年	24時間
講義実習棟 ポンプ室	給排水衛生機器	受水槽 市水 60m ³ (2槽) 雑用水 90m ³ ×4基 " 80m ³ (2槽)	6基	通年	24時間
講義実習棟 ポンプ室	給排水衛生機器	給水ポンプ	14台	通年	24時間
講義実習棟 ポンプ室	給排水衛生機器	ろ過装置	1台	通年	24時間
講義実習棟 ポンプ室	給排水衛生機器	ろ過ポンプ	2台	通年	24時間
講義実習棟 ガスガバナールーム	ガス・水道 使用量検針	ガスメーター 検針票参照	1個		
総合人間科学・ 基礎研究棟	ガス・水道 使用量検針	ガスメーター 検針票参照	1個		
R I 動物実験 施設	空調関連機器	空調機 (AHU)	12台	通年	24時間
R I 動物実験 施設	空調関連機器	排気ファン	24台	通年	24時間
R I 動物実験 施設	空調関連機器	給気ファン	7台	通年	24時間
R I 動物実験 施設	給排水衛生機器	貯湯槽	1基	通年	24時間
R I 動物実験 施設	給排水衛生機器	給湯ポンプ	1台	通年	24時間
R I 動物実験 施設	給排水衛生機器	環水槽	1基	通年	24時間
R I 動物実験 施設	給排水衛生機器	環水ポンプ	1台	通年	24時間
R I 動物実験 施設	給排水衛生機器	汚水槽	1基	通年	24時間
R I 動物実験 施設	給排水衛生機器	汚水ポンプ	2台	通年	24時間
R I 動物実験 施設	給排水衛生機器	RI集水槽	1基	通年	24時間
R I 動物実験 施設	給排水衛生機器	RI貯留槽	1基	通年	24時間
R I 動物実験 施設	給排水衛生機器	RI希釈槽	1基	通年	24時間
R I 動物実験 施設	給排水衛生機器	RI排水枡	1基	通年	24時間
R I 動物実験 施設	給排水衛生機器	RI排水ポンプ	9台	通年	24時間
R I 動物実験 施設 (増築部)	冷熱源機器	空冷ヒートポンプチラー	7台	中間期	24時間
R I 動物実験 施設 (増築部)	空調関連機器	空調機 (AHU)	1台	通年	24時間
R I 動物実験 施設	ガス・水道 使用量検針	ガスメーター 検針票参照	1個		
R I 動物実験 施設	ガス・水道 使用量検針	水道メーター 検針票参照	個		
図書館	冷熱源機器	ガス吸収式冷温水発生機 (R-5) 50RT	2台	空調期間	24時間
図書館	空調関連機器	空調機 (AHU)	2台	空調期間	24時間

図書館	空調関連機器	排気ファン	2台	通年	24時間
福利・図書館	ガス・水道 使用量検針	ガスメーター 検針票参照	4個		
福利・図書館	ガス・水道 使用量検針	水道メーター 検針票参照	個		
看護学科棟	空調関連機器	空調機 (ACU)	6台	空調期間	24時間
看護学科棟	空調関連機器	空調機 (ACP)	2台	通年	24時間

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	運転期間	運転時間
看護学科棟	空調関連機器	ファンコイル	69室	空調期間	24時間
看護学科棟	空調関連機器	排気ファン	25台	通年	24時間
看護学科棟	空調関連機器	給気ファン	9台	通年	24時間
看護学科棟	給排水衛生機器	高架水槽 市水 2.3m ³ (1槽) 雑用水 6.8m ³ (1槽)	2基	通年	24時間
看護学科棟	給排水衛生機器	ガス給湯機	1台	通年	24時間
看護学科棟	給排水衛生機器	給湯ポンプ	1台	通年	24時間
看護学科棟	ガス・水道 使用量検針	ガスメーター 検針票参照	2個		
看護学科棟	ガス・水道 使用量検針	水道メーター 検針票参照	個		
フォトン研究棟	空調関連機器	排気ファン	5台	通年	24時間
フォトン研究棟	空調関連機器	給気ファン	4台	通年	24時間
フォトン研究棟	給排水衛生機器	排水ポンプ	2台	通年	24時間
フォトン研究棟	ガス・水道 使用量検針	ガスメーター 検針票参照	4個		
フォトン研究棟	ガス・水道 使用量検針	水道メーター 検針票参照	個		
臨床講義棟 空調機械室	空調関連機器	排気ファン	2台	通年	24時間
管理棟	ガス・水道 使用量検針	ガスメーター 検針票参照	1個		
探索的臨床 研究施設	ガス・水道 使用量検針	ガスメーター 検針票参照	1個		
看護師宿舎	給排水衛生機器	市水受水槽	1基	通年	24時間
看護師宿舎	給排水衛生機器	給水ポンプ	1台	通年	24時間
看護師宿舎	給排水衛生機器	汚水槽	1基	通年	24時間
看護師宿舎	給排水衛生機器	汚水ポンプ	2台	通年	24時間
エネセン 冷凍機室	冷熱源機器	ESCO事業 ターボ冷凍機 (TR-1, -2)	2台	通年	24時間
エネセン (屋外)	冷熱源機器	ESCO事業 空冷ヒートポンプチャ (HPR-1)	12台	通年	24時間
エネセン (屋外)	空調関連機器	ESCO事業 冷却塔 (CT-1)	8台	通年	24時間
エネセン (屋外)	空調関連機器	ESCO事業 冷却水ポンプ	2台	通年	24時間
エネセン 空調ポンプ室	空調関連機器	ESCO事業 空調用ポンプ	34台	通年	24時間

昇降機設備

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	運転期間	運転時間
外来棟	昇降機設備	エレベーター	7台	通年	24時間
病棟	昇降機設備	エレベーター	11台	通年	24時間
病棟	昇降機設備	ダムウェーター	1台	通年	24時間
立体駐車場 (患者用)	昇降機設備	エレベーター	1台	通年	24時間
講義実習棟	昇降機設備	エレベーター	1台	通年	24時間
基礎臨床研究棟	昇降機設備	エレベーター	4台	通年	24時間
臨床研究棟 (別館)	昇降機設備	エレベーター	1台	通年	24時間
RI動物実験施設	昇降機設備	エレベーター	1台	通年	24時間
附属図書館	昇降機設備	エレベーター	1台	通年	24時間
福利施設棟	昇降機設備	エレベーター	1台	通年	24時間
看護学科棟	昇降機設備	エレベーター	1台	通年	24時間
管理棟	昇降機設備	エレベーター	1台	通年	24時間
立体駐車場 (職員用)	昇降機設備	エレベーター	1台	通年	24時間
看護師宿舎	昇降機設備	エレベーター	1台	通年	24時間

医療ガス設備

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	運転期間	運転時間
エバコン	医療ガス設備	液化酸素タンク 9,000ℓ	2基	通年	24時間
エバコン	医療ガス設備	液化窒素タンク 5,000ℓ	1基	通年	24時間
エバコン	医療ガス設備	人工空気製造装置	1式	通年	24時間
エネセン マニホールド室	医療ガス設備	圧縮空気供給装置	1式	通年	24時間
エネセン マニホールド室	医療ガス設備	緊急用圧縮空気供給装置	1式	通年	24時間
エネセン マニホールド室	医療ガス設備	酸素供給装置	1式	通年	24時間
エネセン マニホールド室	医療ガス設備	窒素供給装置	1式	通年	24時間
エネセン 中央集塵機室	医療ガス設備	吸引装置	1式	通年	24時間
外来棟	医療ガス設備	非治療用空気減圧装置	2箇所	通年	24時間
外来棟	医療ガス設備	エリアモニター	2箇所	通年	24時間
病棟	医療ガス設備	二酸化炭素供給装置	1式	通年	24時間
病棟	医療ガス設備	非治療用空気減圧装置	1式	通年	24時間
病棟	医療ガス設備	エリアモニター	7箇所	通年	24時間
看護学科棟	医療ガス設備	酸素供給装置	1式	実習時	実習時
看護学科棟	医療ガス設備	圧縮空気供給装置	1式	実習時	実習時
看護学科棟	医療ガス設備	吸引装置	1式	実習時	実習時

気送管設備

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	運転期間	運転時間
外来棟	気送管設備	ステーション	1箇所	通年	24時間
病棟	気送管設備	ステーション	20箇所	通年	24時間
病棟	気送管設備	ブロウユニット	1式	通年	24時間

2.1(B) 運転・監視の内容

1. 電気設備

1.1 受変電設備

(1) 運転・監視項目

運転・監視項目及び周期は、表(1)による

表(1) 運転・監視項目

運転項目

監視項目

種別	項目	周期
特高受変電設備	①特高変圧器のバンク切替操作 ②定期点検時の遮断器操作 ③電力会社からの依頼による受電回線切替操作 ④電気工事に伴う遮断器操作立ち合い。	1M 定期点検時 都度 都度
高圧受変電設備	①定期点検時の遮断器操作 ②電気工事に伴う遮断器操作立ち合い。	定期点検時 都度
特高受変電設備	①特高変電所の扉の開閉状態 ②受電デマンド電力 ③遮断器・開閉器の開閉状態 ④保護継電器の状態 ⑤受電電流、電圧、力率、電力 ⑥変圧器2次電流、電圧、力率、電力、無効電力 ⑥高圧配電電流	常時
高圧受変電設備	③遮断器・開閉器の開閉状態 ④保護継電器の状態 ⑤受電電流、電圧、電力 ⑥高圧配電電流	常時

(2) 運転・監視記録

運転・監視記録の項目及び周期は、表(2)による。

電気設備保安規定に基づくデータを記録する。中央監視装置のデータを使用する。

表(2) 運転・監視記録

種別	項目	周期
特高受変電設備	①受電電流 ②受電電圧 ③受電周波数 ④受電電力量 ⑤特高変圧器2次電流 ⑥特高変圧器2次電圧 ⑦特高変圧器2次電力 ⑦特高変圧器2次力率	1D

	⑦特高変圧器 2 次電力 ⑦特高変圧器 2 次電力量	
高圧受変電設備	①受電電流 ②受電電圧 ③高圧変圧器 2 次電流 ④高圧変圧器 2 次電圧	

(3) 電力量検針

各電気室等の電力量計を検針し建物別に集計する。
周期は 1 M とし、検針日は電力会社の検針日とする。

1.2 発電設備

(1) 運転・監視項目

運転・監視項目及び周期は、表 (1) による

表 (1) 運転・監視項目

監視項目

種 別	項 目	周期
常用・非常用 兼用発電設備	①発電機の運転状態 ②遮断器・開閉器の開閉状態 ③保護継電器の状態 ④発電電流、電圧、電力、周波数、力率	常時
非常用発電設 備	①発電機の運転状態 ②遮断器・開閉器の開閉状態 ③保護継電器の状態 ④発電電流、電圧、電力、周波数、力率	常時

(2) 運転・監視記録

運転・監視記録の項目及び周期は、表 (2) による。

表 (2) 運転・監視記録

種 別	項 目	周期
常用・非常用兼用 発電設備	①発電電圧 ②発電周波数 ③発電電流 ④発電電力 ⑤発電電力量 ⑥補機電力量 ⑦運転時間 ⑧燃料消費量	運転時 1 D
燃料槽 (地下タンク)	①貯蔵量	1 D

1.3 静止型電源設備

(1) 運転・監視項目

運転・監視項目及び周期は、表(1)による

表(1) 運転・監視項目

監視項目

種別	項目	周期
直流電源設備	①一括故障	常時
無停電電源設備	①蓄電池運転状態 ②故障 ④出力電流、電圧	常時

(2) 運転・監視記録

運転・監視記録の項目及び周期は、表(2)による。

表(2) 運転・監視記録

種別	項目	周期
直流電源設備	①浮動充電電圧（整流器電圧） ②蓄電池電圧 ③負荷電圧	1W
無停電電源設備	①出力電流（負荷電流） ②出力電圧 ③バイパス電圧（入力電圧） ④出力周波数 ⑤直流電圧	1W

2. 機械設備

第1節 熱源機器

(1) 運転・監視項目

運転・監視項目及び周期は、表(1)による

表(1) 運転・監視項目

運転項目

種別	項目	周期
貫流ボイラー	①全ブローの実施 ②薬液の補充 ③純水製造装置の切替 ④純水製造装置のイオン交換樹脂の再生 ⑤純水製造装置の薬液の補充	都度
スチームキルメーター	①バルブの開閉操作	都度
プレート式熱交換器	①運転スケジュールの入力 ②送水温度の設定	都度
貯湯槽	①給湯温度の調整	都度
クリーン蒸気発生器	①送気圧力の調整 ②軟水器の塩の補充	都度

監視項目

空冷ヒートポンプチラー	①運転スケジュールの入力 ②送水温度の設定 ③冷・温水の切り替え④	都度
直焚き吸収式冷温水発生機 (ガス、重油兼用)	①運転スケジュールの入力 ②送水温度の設定 ③冷・温水の切り替え ④燃料(ガス、重油)の切り替え	都度
小型吸収冷温水機ユニット	①運転スケジュールの入力 ②送水温度の設定 ③冷・温水の切り替え	都度
蓄熱槽	①仕切り板の位置変更	シーズン IN, OFF
貫流ボイラー	①運転状態 ②送気圧力	常時
アキュムレーター、 蒸気ハグダー	①送気圧力	常時
プレート式熱交換器	①送水温度 ②温水ポンプの状態 ③温水流量	常時
貯湯槽	①槽内温度 ②給湯温度	常時
クリーン蒸気発生器	①送気圧力	常時
空冷ヒートポンプチラー	①運転状態	常時
直焚き吸収式冷温水発生機 (ガス、重油兼用)	①運転状態	運転時
小型吸収冷温水機ユニット	①運転状態	常時
蓄熱槽	①槽内温度 ②蓄熱量	常時

(2) 運転・監視記録

運転・監視記録の項目及び周期は、表(2)による。

表(2) 運転・監視記録

機器の種別	項 目	周期
貫流ボイラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー蒸気圧力及び蒸発量 ・ボイラー及び給水タンク給水量 ・純水再生量 ・都市ガス使用量 ・清缶剤使用量 ・伝導率 ・排ガス温度 ・運転電流 	1 D
空冷ヒートポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・冷水入口及び出口温度 ・蒸発及び凝縮圧力 	1 W
直だき吸収冷温水機 (ガス、重油兼用)	<ul style="list-style-type: none"> ・冷温水入口及び出口温度 ・冷却水入口及び出口温度 ・排ガス温度 ・高温再生器温度 ・本体真空度 ・冷却塔のファン電流 ・冷却水のポンプ電流 	運転時 4 / D ?
小型吸収冷温水機ユ ニット	<ul style="list-style-type: none"> ・冷温水入口及び出口温度 ・冷却水入口及び出口温度 ・排ガス温度 ・高温再生器温度 ・本体真空度 ・冷却塔のファン電流 ・冷却水のポンプ電流 	運転時 1 D
プレート式熱交換器	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸発及び凝縮圧力 ・圧縮機及び送風機電流 	運転時 1 D

第2節 空調関連機器

(1) 運転・監視項目

運転・監視項目及び周期は、表(1)による

表(1) 運転・監視項目

運転項目

種 別	項 目	周期
空気調和機 (エアコンを 除く)	<ul style="list-style-type: none"> ①発停スケジュールの入力 ②冷暖房切り替え ③送風温度の調整 	空調期間

監視項目

	④露点温度の調整	
ファンコイルユニット	①発停スケジュールの入力 ③送風温度の調整	空調期間
空気調和機 (エアコンを除く)	①発停の状態 ②冷暖房の状態 ③送風温度 ④露点温度	空調期間
ファンコイルユニット	①発停の状態 ③送風温度	空調期間

(2) 運転・監視記録

運転・監視記録の項目及び周期は、表(2)による。

表(2) 運転・監視記録

機器の種別	項目	周期
空気調和機 (エアコンを除く)	・ 運転電流	1 M
	・ 冷水入口及び出口温度 ・ 蒸発及び凝縮圧力	1 W
	・ 冷温水入口及び出口温度 ・ 冷却水入口及び出口温度 ・ 排ガス温度 ・ 高温再生器温度 ・ 本体真空度 ・ 冷却塔のファン電流 ・ 冷却水のポンプ電流	運転時 4/D?
小型吸収冷温水機ユニット	・ 冷温水入口及び出口温度 ・ 冷却水入口及び出口温度 ・ 排ガス温度 ・ 高温再生器温度 ・ 本体真空度 ・ 冷却塔のファン電流 ・ 冷却水のポンプ電流	運転時 1 D
プレート式熱交換器	・ 蒸発及び凝縮圧力 ・ 圧縮機及び送風機電流	運転時 1 D

第3節 ガス、水道使用量の検針

- | | |
|-------------|--|
| (1) 都市ガスの検針 | 各建物のガスメーターを検針し建物別に集計する。
周期は1Mとし、検針日はガス会社の検針日とする。 |
| (2) 上水の検針 | 各建物の上水メーターを検針し建物別に集計する。
周期は1Mとし、検針日は市水道局の検針日と同様とする。 |
| (2) 雑用水の検針 | 各建物の雑用水メーターを検針し建物別に集計する。
周期は1Mとし、検針日は県企業局の検針日とする。 |

3 医療ガス設備

第2節 医療ガス供給設備

- (1) 運転・監視項目 運転・監視項目及び周期は、表(1)による

表(1) 運転・監視項目

種別	項目	周期	
運転項目	酸素供給装置	①発停スケジュールの入力 ②冷暖房切り替え ④フィルター清掃、交換	空調期間
	窒素供給装置	①運転状態 ②保護継電器の状態 ④発電電流、電圧、電力、周波数、力率	非常時
	監視項目	酸素供給装置	
	窒素供給装置		

- (2) 運転・監視記録 運転・監視記録の項目及び周期は、表(2)による。

表(2) 運転・監視記録

機器の種別	項目	周期
酸素供給装置	・ボイラー蒸気圧力及び蒸発量 ・ボイラー及び給水タンク給水量 ・純水再生量 ・都市ガス使用量 ・清缶剤使用量 ・伝導率 ・排ガス温度 ・運転電流	1D
窒素供給装置	・冷水入口及び出口温度 ・蒸発及び凝縮圧力	1W
直だき吸収冷温水機 (ガス、重油兼用)	・冷温水入口及び出口温度 ・冷却水入口及び出口温度	運転時 4/D?

	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス温度 ・高温再生器温度 ・本体真空度 ・冷却塔のファン電流 ・冷却水のポンプ電流 	
小型吸収冷温水機ユニット	<ul style="list-style-type: none"> ・冷温水入口及び出口温度 ・冷却水入口及び出口温度 ・排ガス温度 ・高温再生器温度 ・本体真空度 ・冷却塔のファン電流 ・冷却水のポンプ電流 	<p style="text-align: center;">運転時 1D</p>
プレート式熱交換器	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸発及び凝縮圧力 ・圧縮機及び送風機電流 	<p style="text-align: center;">運転時 1D</p>

3.1 建築

3.1.1 日常点検・保守の範囲

3.1(A) 業務対象建物等の概要による。

3.1.2 日常点検・保守の内容

3.1(B) 業務要領 建築による。

3.1.3 その他

3.1(A) 業務対象建物等の概要

1. 業務対象建物

番号	棟名称	建物面積 (延べ面積) m ²	建築年		構造・階			屋根形状		ト ッ プ ラ イ ト	パ ル ネ ー	外 部 階 段
			元 号	年	構 造	地 上 階	地 下 階	陸 屋 根	そ の 他			
1	エネルギーセンタ ー	1,133 (2,056)	S	51	R	1	2	○				○
2	外来棟	7,335 (31,897)	S H	54 2	R S	5 1	1	○			○	
3	MRI-CT装置 棟	486 (486)	H	2	R	1		○				
4	連絡通路	26 (26)	H	2	S	1						
5	中央診療棟	270 (1,009)	H	5	R	3	1	○				
6	渡り廊下	24 (72)	H	5	R	3	1					
7	病棟	4,141 (30,971)	H	21	SR	8	1	○				
8	多目的ホール	358.74 (358.74)	H	21	S	1						
9	PET-CT棟	276 (427)	H	23	R	2		○				
10	探索的臨床研究施 設	275 (518)	H	13	R	2		○				
11	治療計画室	59 (59)	H	20	S	1			○			
12	講義実習棟	2,308 (7,012)	S	50	R	3	1	○				
13	基礎臨床研究棟	1,580 (15,588)	S S	51 52	R	9	2	○				

番号	棟名称	建物面積 (延べ面積) m ²	建築年		構造・階			屋根形状		ト プ ブ ラ イ ト	バ ル コ ニ ー	外 部 階 段
			元 号	年	構 造	地 上 階	地 下 階	陸 屋 根	そ の 他			
14	福利施設棟	662 (1,417)	S	51	R	3						
			S	59	S	3		○				
			H	23	S	1						
15	附属図書館	1,090 (1,757)	S	53	R	2			○			
			S	61	R	1		○		○		
16	R I 動物実験施設	1,227 (4,070)	S	52	R	3	1					
			S	55	R	4			○		○	
			S	58	R	4						
			H	22	R	4						
17	医工連携拠点棟	834 (3,971)	S	63	R	5			○			
			H	30	S	5						
18	看護学科棟	1,158 (6,305)	H	9								○
			H	10	R	6			○			
19	フォトン研究棟	456 (885)	H	11	R	2			○			○
20	サイクロトロン棟	288 (572)	H	23	R	2			○			
21	総合人間科学・ 基礎研究棟	563 (1,449)	H	30	S	3			○			○
22	薬草園温室	165 (165)	S	57	S	1					○	
23	防災倉庫	110	S	57	S	1					○	
24	ボンベ庫	15 (15)	H	15	B	1					○	
25	管理棟	585 (2,802)	S	52	R	4			○			○
26	臨床講義棟	609 (1,383)	S	52	R	2	1	○		○		○

番号	棟名称	建物面積 (延べ面積) ㎡	建築年		構造・階			屋根形状		ト ッ プ ラ イ ト	バ ル コ ニ ー	外 部 階 段
			元 号	年	構 造	地 上 階	地 下 階	陸 屋 根	そ の 他			
27	体育館	1,118 (1,205)	S	51	R	2		○	○			
28	危険物薬品庫	119 (119)	S	52	B	1						
			S	55	B	1			○			
			H	15	B	1						
29	廃液処理施設	78 (78)	S	52	S	1			○			
30	廃水処理施設分析室	74 (137)	S	53	S	2		○				
31	武道館	293 (306)	S	54	S	1			○			
			H	18								
32	水泳プール更衣室	134 (125)	S	54	S	1			○			
33	弓道場	射場 114 (125)	H	10	S	1			○			
34	ゴミ置き場	107 (107)	H	11	S	1			○			
35	特高変電所	295 (295)	H	21	S	1			○			
36	課外活動施設	127 (127)	H	22	S	1			○			
37	倉庫 (旧特高変電所)	523			S	1			○			
38	エバコン	345	H	19	S	1						
39	半田山会館	339 (536)	S	54	R	2						
			S	55	R	2			○			

番号	棟名称	建物面積 (延べ面積) m ²	建築年		構造・階			屋根形状		ト ッ プ ラ イ ト	バ ル コ ニ	外 部 階 段
			元 号	年	構 造	地 上 階	地 下 階	陸 屋 根	そ の 他			
40	保育所	330 (299)	H H	19 22	W	1			○			
41	船岡山宿舎1号棟 居住スペースを除く	1,230 (4,819)	S	52	R	5						
			S	53	R	5			○			
			S	54	R	5						
			H	6								
42	船岡山宿舎2号棟 居住スペースを除く	212 (663)	S	53	R	3			○			
43	国際交流会館 居住スペースを除く	单身棟 207 (555) 世帯棟 148 (568)	H	6	R	4			○			
			H	6	R	5			○			○

3.1 (B) 業務要領 建築

第1節 建築

(I)
建築

建築の点検項目及び点検内容は、表(1)による。
ただし、危険箇所の作業は除く。

表(1) 建築

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 陸屋根	① 排水状態の良否を点検し、ドレインの清掃をする。	1 M	
	② 堆積物及びごみの有無を点検し、清掃をする。 なお、清掃した堆積物及びごみ等は指定する場所に運び処分する。	3 M	
	③ 植物の有無を点検する。	3 M	
2. とい	① 排水状態の良否を点検し、詰りがある場合清掃をする。	3 M	
	② さび、腐食、破損、漏水の有無を点検する。	6 M	
3. トップライト	① 傷、割れ、変形及び破損の有無を点検する。	6 M	
	② さび及び腐食の有無を点検する。	6 M	
4. 屋外階段	① 排水状態の良否を点検する。	6 M	
	③ 通行の妨げになる物品の有無を点検する。	6 M	
	③ さび及び腐食の有無を点検する。(金属製のみ)	6 M	
5. バルコニー	① 排水状態の良否を点検する。	3 M	

3.2 電気設備

3.2.1 日常点検・保守の範囲

3.2(A) 業務対象設備の概要による。

3.2.2 日常点検・保守の内容

3.2(B) 業務要領 電気設備による。

3.3.3 その他

外灯ランプを全数(LED・無電極点灯型除く)の3分の1数量交換する。
なお、交換する箇所については、外灯配置図にて検討し、施設管理担当者と協議し、決定する。

3.2 電気設備

3.2 (A) 業務対象設備の概要

受変電設備

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	備考	
特高変電所	C-GIS	77kV 2回線受電 キュービクル型ガス絶縁設備	1式		
	特高変圧器	5,000kVA	2台		
	特高操作盤		1式		
	高圧配電盤	6,600V 34回線 キュービクル型	21面		
	高圧コンデンサ盤	コンデンサ 319kvar リアクトル 19.1kvar 放電コイル 1000kvar	6面		
	接地変圧器盤	三相 38.1kVA	3面		
	所内変圧器盤	三相 75kVA	2面		
エネセン電気室	高圧受配電盤	6,600V 4回線受電 キュービクル型	4面		
	高圧配電盤	6,600V 21回線 キュービクル型	14面		
	高圧変圧器	三相440V	750kVA	1台	
		三相440V	500kVA	4台	
		三相440V	300kVA	1台	
		三相440V	200kVA	1台	
三相210V		75kVA	1台		
単相		50kVA	1台		
スコット		100kVA	1台		
低圧配電盤	開放型 切換盤 防災盤	11面 1面 1面			
外来棟B1階 電気室	高圧受配電盤	6,600V 3回線受電 キュービクル型	3面		
	高圧配電盤	6,600V 7回線 キュービクル型	5面		
	高圧変圧器盤	三相440V	500kVA	4面	
		三相210V	500kVA	4面	
単相		300kVA	4面		
低圧配電盤	キュービクル型 (切換盤含む)	30面			
外来棟4階 電気室	高圧受配電盤	6,600V 3回線受電 キュービクル型	3面		
	高圧配電盤	6,600V 7回線 キュービクル型	5面		
	高圧変圧器盤	三相210V	500kVA	3面	
		三相210V	300kVA	3面	
		三相210V	100kVA	1面	
単相		300kVA	6面		
低圧配電盤	キュービクル型 (切換盤含む)	31面			
病棟電気室	高圧受配電盤	6,600V 4回線受電 キュービクル型	4面		
	高圧配電盤	6,600V 7回線 キュービクル型	6面		
	高圧変圧器盤	三相210V	500kVA	3面	
		三相210V	300kVA	2面	
		三相昇圧440V	150kVA	1面	
単相		300kVA	6面		
低圧配電盤	キュービクル型 (切換盤含む)	18面			

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	備考	
基礎臨床研究棟 電気室	高圧受配電盤	6,600V 2回線受電 キュービクル型	2面		
	高圧配電盤	6,600V 15回線 キュービクル型	7面		
	高圧変圧器	三相210V	300kVA	2台	
		三相210V	200kVA	1台	
三相210V		150kVA	1台		
単相		300kVA	1台		
単相		200kVA	2台		
単相	100kVA	1台			
低圧配電盤	開放型 電源切換盤等	12面 6面			
講義実習棟電気 室	高圧受電盤	6,600V 2回線受電 キュービクル型	3面		
	高圧変圧器	三相210V	500kVA	1台	
		三相210V	200kVA	1台	
		単相	150kVA	1台	
単相		100kVA	1台		
低圧配電盤	開放型 切換盤	5面 1面			
RI動物実験施設 電気室	高圧受電盤	6,600V 2回線受電 キュービクル型	2面		
	高圧変圧器	三相210V	500kVA	2台	
		三相210V	200kVA	1台	
		三相210V	150kVA	1台	
三相210V		100kVA	1台		
単相		150kVA	1台		
単相		100kVA	1台		
低圧配電盤	開放型(切換盤含む)	10面			
福利施設棟 電気室	高圧受電盤	6,600V 1回線受電 キュービクル型	1面		
	高圧変圧器	三相210V 300kVA 単相 150kVA	1台 1台		
	低圧配電盤	開放型	4面		
看護学科棟 電気室	高圧受電盤	6,600V 1回線受電 キュービクル型	1面		
	高圧変圧器	三相210V 300kVA 単相 100kVA	1台 2台		
	低圧配電盤	開放型 電源切換盤等	3面 3面		
臨床講義棟電気 室	高圧受電盤	6,600V 1回線受電 キュービクル型	1面		
	高圧変圧器	三相210V 200kVA 単相 200kVA	1台 1台		
	低圧配電盤	開放型(切換盤含む) 外灯盤等	5面 3面		
体育館電気室	高圧受電盤	6,600V 2回線受電 キュービクル型	1面		
	高圧変圧器	三相210V 50kVA 単相 50kVA	2台 2台		
	低圧配電盤	開放型 電源切換盤等	4面 4面		
フォトン研究棟屋外 キュービクル	高圧受電盤	6,600V 2回線受電 屋外キュービクル型	2面		
	低圧配電盤 (変圧器内臓)	三相210V 100kVA スコット 500kVA スコット 200kVA	4面		

発電設備

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	備考
特高変電所 発電機室	自家発電設備	6,600V 1,500kVA 非常用 デイゼル	1台	
	始動用 直流電源装置	24V 400Ah (12セル)	1台	
	自動起動盤等		2面	
	燃料小出し槽	1,980ℓ	1基	
	燃料槽 (地下タンク)	5,000ℓ 20,000ℓ	1基 1基	
エネセン 発電機室	自家発電設備	6,600V 1,200kW 常用兼非常用 デイゼル	1台	
	始動用空気装置	1,500ℓ	2台	
	自動起動盤等		3面	
	燃料小出し槽	1,500ℓ	1基	
	ラジエータ	冷房能力 746.5kW	1基	
	燃料槽 (地下タンク)	30,000ℓ	1基	
外来棟屋上	太陽光発電	160kW モジュール 680枚 パワーコンディショナ10kW 17台	1式	

直流・無停電電源設備

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	備考
特高変電所	直流電源装置	操作用 100V 50Ah (54セル)	1台	
エネセン電気室	直流電源装置	操作・非常照明兼用 100V 150Ah (54セル)	1台	
外来棟B1階 電気室	直流電源装置	操作・非常照明兼用 100V 700Ah (54セル)	1台	
外来棟4階 電気室	直流電源装置	操作・非常照明兼用 100V 600Ah (54セル)	1台	
	無停電電源装置	150kVA 医療用	2台	
病棟電気室	直流電源装置	操作・非常照明兼用 100V 500Ah (54セル)	1台	
	無停電電源装置	200kVA 医療用	1台	
研究棟電気室	直流電源装置	操作・非常照明兼用 100V 200Ah (54セル)	1台	

その他

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	備考
エネセン監視室	高圧ケーブル絶縁 自動監視装置		1台	
エネセン監視室	照明制御装置		1台	

3.2(A)業務対象設備の概要(電気設備)

設備名	番号	機器名称	内容	講義実習棟	基礎臨床研究棟	ホロンベ庫	RI動物実験施設	福利施設	岡書籍館	臨床研究別館	臨床石源研究棟	サイクロトロン棟	業草園	管理棟	臨床講義棟	臨床立体駐車場	ゴミ処理場	時高発電所	倉庫	危険薬品棟	医療棟	体育館	武道館	プール	弓道場	職員会館	保育所	頂上交流會館	合計	
一般電気設備	1	照明設備	点検は共用部のみ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一式	
	2	コンセント	床下配線(洗面所・壁面等含む) ※1:建物全体 ※2:共用部設備全般	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一式
	3	電動機		39	80		35	4	6	2	46	9	5	4												2			230台	
	4	幹線	各分電盤・開閉器等までの電気工作物を含む。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一式	
	5	分電盤		18	161		44	10	4	5	21	6	2	1	11	11	2	1	1	1	1	5	3	1	1	2	1		297面	
	6	次線盤・開閉器等		30	278	1	15	2	2	3	10	6	9	0	0	0	0				4	3	4	2	1				658面	
	7	外灯		13	6			4		4	6	3		16			7		5	4	4	4	9						132台	
	8	ハンドホール	(1)はLED内蔵	13	14				2	1	3			2			1						14			1			36箇所	
	9	絶縁変圧器等(トランス等)		4	1																								5台	
	10	分電盤等		10			4			5	12	1	2																34室	
弱電設備	1	ナースコール																											一式	
	2	インターホン					○																			○			一式	
	3	呼出装置													○														一式	
	4	電気時計																											一式	
	5	各種表示装置	防犯用表示盤(防犯ベル)	1																									1面	
	6	誘電端子盤		5	17		11	2	4	5	6	1	1	6	3														61面	
	7	テレビ機設置		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										○	○	○	一式	
	8	監視カメラ設置		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													一式	
その他の設備	1	通信設備	通信機、机上機等	○	○									○															3式	
	2	共同溝(トレンチを含む)																											一式	

照明設備、防災電気設備、各設備記録

3.2 (B) 業務要領 電気設備

第1節 受変電設備

(1) 受変電設備	受変電設備の点検項目及び点検内容は、表(1)による。
--------------	----------------------------

表(1) 受変電設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 電気室	① 入口の扉の施錠の有無を点検する。	1 D	
	② 雨水浸入、ほこり等の有無を点検する。	1 D	
	③ 室内温度及び湿度の測定を行い、その良否を点検する。	1 D	
	④ 室内整理状況の良否を点検する。	1 D	
2. パイプフレーム、 さく等	① 扉の開閉の良否及び施錠の有無を点検する。	1 M	
	② 汚損、損傷、変形、き裂、塗装の剥離及びさびの有無を点検する。	1 M	
3. 特別高圧機器	① 温度の適否を温度計の指示値により確認し、異常な高温となっている場合は、負荷電流の状態を確認する。	1 D	
4. 高圧機器 (1) 配電盤	① 扉の施錠の有無を点検する。	1 M	
	② 損傷、さび、腐食、変色等の有無を点検する。	1 M	
	③ 各計器の表示値の適否を点検する。	1 D	
	④ 信号灯、表示灯類をランプチェックで確認する。	1 M	
	⑤ 負荷電流及び最大負荷電流を記録する。	1 M	
(2) 変圧器	① 異常音、異臭、異常振動等の有無を点検する。	1 W	
	② 負荷電流、最大負荷電流、負荷率及び需要率を記録する。	1 M	
(3) スイッチ類	① 異常音、異臭、漏油等の有無を点検する。	1 D	
(4) 進相コンデンサ	① 異常音、異臭、変形、ふくらみ等の有無を点検する。	1 W	
5. 低圧機器 (1) 配電盤	① 扉の施錠の有無を点検する。(閉鎖盤のみ)	1 M	
	② 損傷、さび、腐食、変色等の有無を点検する。	1 M	

	③ 各計器の表示値の適否を点検する。	1 D	
	④ 配電盤等の信号灯、表示灯類をランプチェックで確認する。	1 M	
	⑤ 配電盤の負荷電流及び最大負荷電流を記録する。	1 M	
(1) スイッチ類	① 異常音、異臭、損傷、過熱、変色等の有無を点検する。	1 M	
	② 開閉表示状態（指示、点灯）を確認する。	1 M	

第2節 発電設備

(1) ディーゼル発電設備	ディーゼル発電設備の点検項目及び点検内容は、表(1)による。
------------------	--------------------------------

表(1) ディーゼル発電設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 発電機室	① 入口の扉の施錠の有無を点検する。	1 W	
	② 雨水浸入、ほこり等の有無を点検する。	1 W	
	③ 室内整理状況の良否を点検する。	1 W	
2. ディーゼル機関	① 燃料油及び潤滑油の漏れの有無を点検する。	1 W	
	② 冷却水の量及び漏れの有無を点検する。	1 W	
3. 発電機制御盤類	① 配電盤等の信号灯、表示灯類の点灯状態をランプチェック等により点検する。	1 M	
	② 自家発電装置が始動及び自動運転待機状態（切替スイッチの自動側位置等）にあることを確認する	1 W	
4. 補機付属装置 (1) 始動用蓄電池装置（非常用のみ）	整流装置		
	① 表示灯類の点灯状態を点検する。	1 W	
	② 操作、切替スイッチ等の状態を点検する。	1 W	
	始動用蓄電池		
	① 蓄電池の損傷、液漏れ、汚損等の有無を点検する	1 W	
	② 蓄電池の総出力電圧を確認する。	1 W	

(2) 空気始動設備 (常用・非常用のみ)	① 附属の圧力計により始動用空気圧力が適正であることを確認する。	1 W	
(3) 燃料小出し槽・ 燃料移送ポンプ等	① タンク、ポンプ及び配管の油漏れ並びに変形、損傷等の有無を点検する。	1 W	
	② 油量を点検する。	1 W	
(4) 地下タンク	① 漏洩検知管に変形、損傷及び土砂等の堆積物がないことを確認する。	1 M	
	② 油量を点検し、記録する。	1 W	
(5) ラジエータ (非常用のみ)	① ラジエータ排風口周りの障害物の有無を点検する。	1 W	
	② ラジエータの水漏れ、変形、損傷等の有無を点検する。	1 W	
(6) 外付ラジエータ 冷却水ポンプ等 (常用・非常用のみ)	① ラジエータ排風口周りの障害物の有無を点検する。	1 W	
	② ラジエータの水漏れ、変形、損傷等の有無を点検する。	1 W	
	③ 膨張タンク、冷却水ポンプ及び配管の水漏れ及び凍結の有無を点検する。	1 W	
(7) 換気装置	① 自然換気口の開口部の状況又は機械換気装置の運転が適正であることを手動運転により確認する。	1 W	
	② 給・排気ファンが、自家発電装置の運転と連動して運転できることを確認する。	1 W	
(8) 排気管・消音器	① 排気管等の過熱部周囲に可燃物が置かれていないことを確認する。	1 W	
	② 排気管等の支持金具の緩みの有無を点検する。	1 W	
(9) バルブ	① 各種バルブの開閉状態を点検する。	1 W	
5. 試運転点検 (常用・非常用は、 月に運転しなかった 場合のみ行う。)	① 試験スイッチを投入して、試運転を行い、始動時間を確認する。	1 M	常用・非常用は 2 W?
	② 運転中、電圧計、周波数計等の計器の指示値が適正であることを確認し、記録する。	1 M	
	③ 回転数、温度、圧力等を付属の各計器により始動前及び運転時の指示値を確認する。	1 M	
	④ 試運転終了後、スイッチ、ハンドル、バルブ等を自動始動側に切替えて、運転待機状態にあることを確認する。	1 M	

6. 運転時点検 (常用・非常用のみ)	① 異音・異常振動の有無を確認する。	1 D	
	② 漏油・漏水の有無を確認する。	1 D	
	③ 回転数・各部温度・各部圧力・運転時間・始動回数などを記録する。	1 D	
	④ エンジン潤滑油レベル（オイルパン）を確認する。	1 D	
	⑤ 潤滑油槽（新油タンク）レベルを確認する。	1 D	
	⑥ 運転後、フライホイールのターニングを行う。 潤滑油のプライミングを行いながら、少なくとも機関を2回転以上ターニングし、排気ガスを排出する。	1 D	

(2) 太陽光発電設備	太陽光発電設備の点検項目及び点検内容・周期は、表(2)による。
----------------	---------------------------------

表(2) 太陽光発電設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 太陽光パネル	① 表面の汚れのないこと	1 M	
	② 表面の割れがないこと	1 M	
	③ 下部に異物がないこと	1 M	
	④ 電線・アース線の接続状態に異常がないこと	1 M	
2. 集電盤	① 異常発熱がないこと	1 M	
	② MCCBの異常がないこと	1 M	
	③ 内部に異常がないこと	1 M	
3. パワーコンディショナ	① 異音・異臭・異常振動がないこと	1 M	
	② MCCB・スイッチ類に異常がないこと	1 M	
	③ 吸込・吹出フィルターに詰まりがないこと	1 M	
	④ 次の計測を行う ・発電電力 ・発電電力量 ・発電時間 ・周波数 ・交流電圧 ・交流電流 ・直流電圧 ・直流電流 ・温度	1 M	
4. 計測監視装置	① 本体に異常のないこと	1 M	
	② 警報の有無の確認	1 M	
	③ 画面切替の確認	1 M	
	④ モニターの状態確認	1 M	
	⑤ UPSの状態確認	1 M	

第3節 静止型電源設備

(1) 直流電源設備	直流電源設備の点検項目及び点検内容は、表(1)による。
---------------	-----------------------------

表(1) 直流電源設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 整流装置	① 表示灯類の点灯状態を点検する。	1 W	
	② 操作、切替スイッチ等の状態を点検する。	1 W	
2. 蓄電池	① 蓄電池の損傷、液漏れ、汚損等の有無を点検する。	1 W	
	② 蓄電池の総出力電圧を確認し、記録する。	1 W	

(2) 交流無停電電源設備	交流無停電電源設備の点検項目及び点検内容は、表(2)による。
------------------	--------------------------------

表(2) 交流無停電電源設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 整流装置・逆変換装置	① 汚れ、損傷、過熱等の温度上昇、変形、異常音、異臭、腐食等の有無を点検する。	1 W	
	② 各計器の指示値を確認し、記録する。	1 W	
	③ 表示灯類の点灯状態をランプチェック等により点検する。	1 M	
2. 蓄電池	① 蓄電池の損傷、液漏れ、汚損等の有無を点検する。	1 W	
	② 蓄電池の総出力電圧を確認し、記録する。	1 W	

第2節 電力設備

(1) 電灯・動力設備	電灯・動力設備の点検項目及び点検内容は、表(1)による。
----------------	------------------------------

表(1) 電灯・動力設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 照明器具 (共用部分のみ)	① 本体の損傷、汚損等の有無を点検する。	1 M	汚れがある場合は 清掃する。
	② 点灯状態の確認を行う。	1 M	

2. 分電盤等	① 汚れ、損傷、過熱、異常音等の有無を確認する。	1 M	
	② 各開閉器等の開閉状態を点検する。	1 M	
	② 小動物の侵入の有無を点検する。	1 M	
	③ 盤の取付け状況(支持ボルトの緩み)を確認する。	1 Y	
	④ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 防水パッキンの劣化状況及びさびの有無を点検する。	1 Y	屋外型に限る。
	⑥ 盤内部の雨水の侵入又は痕跡、結露等の有無を点検する。	1 Y	屋外型に限る。
	⑦ 断熱充填物(不燃耐熱シール材)の欠損及び割れの有無を点検する。	6 M	耐熱形分電盤に限る。
	⑧ 断熱ボックスに割れ等がないことを確認する。	6 M	耐熱形分電盤(1種)に限る。
	母線・分岐導体・盤内配線支持物等		
	① 汚損、損傷、腐食、脱落、過熱等の有無を点検する。	1 Y	
	② 異常音、異臭及び変色の有無を点検する。	1 Y	
	③ 導電接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	端子台 変色及び異臭の有無を点検する。	1 Y	
	遮断器・継電器・電磁接触器・タイマー・リモコン・変圧器等		
	① 開閉器の開閉動作及び遮断動作の良否を確認する。	1 Y	
	② テストボタン(漏電遮断器)による動作の確認を行う。	1 Y	
③ 各機器の異常音、異臭、変色及び過熱の有無を点検する。	1 Y		
④ 配線用遮断器等の用途名称が正しいことを確認する。	1 Y		
⑤ 点検時を除き非常用ブレーカーがON(入)になっていることを確認する。	6 M	耐熱形分電盤に限る。	
絶縁抵抗 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y		

(2) 構内配電線路・ 構内通信線路	構内配電線路・構内通信線路の点検項目及び点検内容は、表(2)による。
--------------------------	------------------------------------

表(2) 構内配電線路・構内通信線路

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 高圧配電線	① 高圧ケーブル絶縁監視装置の測定結果を確認する。	1 M	
2. 共同溝・トンナ内配線	① ケーブルの損傷、支持不良等の有無を点検する。 ② ケーブルラック等の損傷、傾斜、腐朽等の有無を点検する。 ③ ケーブル接続部の損傷、汚損、コンパウンド漏れ等の有無を点検する。	1 M 1 M 1 M	
3. 架空配線	a. 電柱 ① 沈下、傾斜、倒壊の危険等の有無を点検する。 ② 電柱、支持材等の損傷及び腐食の有無を点検する。 ③ 立上りケーブル保護材の変形、損傷、腐食等の有無を点検する。 ⑤ 接地線の損傷、断線等の有無を点検する。 ⑥ 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。 b. 架線 ① 架空電線の損傷の有無を点検する。 ② 架空電線の張力(たわみ)の状況を点検する。 ③ 接続箇所の損傷及び劣化の有無を点検する。 ③ 架空電線と工作物又は樹木等の接近状態を点検する。 ④ ちょう架用線との取付け状態を点検する。	1 M 1 M 1 M 1 M 1 M 1 M 1 M 1 M	
4. 埋設管路配線	① ケーブルの損傷、支持不良等の有無を点検する。 ② マンホール及びハンドホールのき裂、沈下、浸水、蓋の損傷の有無及び金物の取付け状態の良否を点検する。 ⑤ ケーブル接続部の損傷、汚損、コンパウンド漏れ等の有無を点検する。 ⑥ 高圧・低圧ケーブル及び弱電流ケーブルとの離	1 M 1 M 1 M 1 Y 1 Y	

	隔距離等の状態、ケーブルの立上り部分の損傷及び劣化の有無、ケーブルの用途、行先等の名札の取付け状態を点検する。 ⑦ 埋設標の設置状態を点検する。	1 Y	
--	---	-----	--

(3) 外灯	外灯の点検項目及び点検内容は、表(3)による。		
-----------	-------------------------	--	--

表(3) 外灯

点検項目	点検内容	周期	備考
外灯	① 点灯状態を点検する。	1 M	
	② 灯具、ポール等の損傷、破損、さび、腐食等の有無を点検する。	1 M	
	③ 安定器収納部の浸水又はその痕跡の有無を点検する。	1 Y	
	④ ポール内蔵の配線用遮断器等及び配線の接続の良否を点検する。	1 Y	
	② 沈下、傾斜、倒壊の危険等の有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 変形、破損及び腐食の有無を点検する。	1 Y	
	⑥ アンカーボルトの緩み、腐食等の有無及びアンカーボルト周囲のシール材の剥離、欠落等の有無を点検する。	1 Y	

(4) 雷保護設備	雷保護設備の点検項目及び点検内容は、表(4)による。		
--------------	----------------------------	--	--

表(4) 雷保護設備

点検項目	点検内容	周期	備考
雷保護設備	① 突針支持管の取付け状態を点検する。	1 M	
	② 棟上げ導体の取付け状態、損傷等の有無を点検する。	1 M	
	受雷部 取付け状態及び避雷導線との接続状態を確認する。	1 Y	
	避雷導線等 避雷導線等の損傷、断線及び接続不良の有無を点検す	1 Y	

る。		
支持管		
支持ボルト周囲のシール材の剥離、欠落等の有無を点検する。	1 Y	
端子箱		
① 端子台の緩み等を点検する。	1 Y	
② 箱の腐食の有無を点検する。	1 Y	
接地極		
① 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
② 接地極位置等の表示の有無を確認する。	1 Y	

3.3 機械設備

3.3.1 業務対象設備

3.3.(A) 業務対象設備の概要による。

3.3.2 日常点検・保守の範囲

3.3.(B) 業務要領 機械設備による。

3.3.3 その他

3.3 機械設備

3.3 (A) 業務対象設備の概要

1. 温熱源機器

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
エネセン ボイラー室	貫流ボイラー	蒸発量 2000kg/h 伝熱面積 9.89m ²	6台	
エネセン ボイラー室	純水装置	処理能力 4m ³ /h	2台	
エネセン ボイラー室	ホットウェルタンク		3台	
エネセン ボイラー室	ドレンポンプ		3台	
エネセン ボイラー室	蒸気ヘッダー		3台	
エネセン (屋外)	スチームアキュムレーター	伝熱面積 71.2m ²	1台	
エネセン	プレート熱交換器 (SP-1)	伝熱面積 0.121m ²	1基	
エネセン	プレート熱交換器 (SP-2)	伝熱面積 0.108m ²	1基	
エネセン B2階 ポンプ室	プレート熱交用 温水ポンプ		2台	
エネセン (屋外)	貯湯槽	伝熱面積 2.0m ²	2基	
エネセン B2階 ポンプ室	給湯ポンプ		2台	
附属病院外来棟	環水槽		1基	
附属病院外来棟	環水ポンプ		1台	
附属病院病棟 9階機械室	貯湯槽 (TH-2)	伝熱面積 4.545m ²	2基	
附属病院病棟 9階機械室	給湯ポンプ		2台	
附属病院病棟 9階機械室	クリーン蒸気発生器 (BSS-2)	伝熱面積 0.826m ²	1基	
附属病院病棟 9階機械室	軟水器 (NW-1)	自動再生型 付交換式 最大流量 1.5m ³ /h	2台	
附属病院病棟 B1階機械室	貯湯槽 (TH-1)	伝熱面積 4.545m ²	2基	
附属病院病棟 B1階機械室	給湯ポンプ		2台	
附属病院病棟 B1階機械室	クリーン蒸気発生器 (BSS-1)	伝熱面積 0.186m ²	2基	
附属病院病棟 B1階機械室	軟水器 (NW-2)	自動再生型 付交換式 最大流量 1.0m ³ /h	2台	
附属病院病棟 免震階	環水槽 (THW-1)	6,600ℓ	1基	
附属病院病棟 免震階	環水ポンプ (PB-1)		1台	
講義実習棟	貯湯槽	伝熱面積 1.166m ²	1基	
講義実習棟	給湯ポンプ		1台	
R I 動物実験 施設	貯湯槽	伝熱面積 1.287m ²	1基	
R I 動物実験 施設	給湯ポンプ		1台	

R I 動物実験施設	環水槽		1基	
R I 動物実験施設	環水ポンプ		1台	
看護学科棟	貯湯槽		1台	
看護学科棟	給湯ポンプ		1台	

2. 冷熱源機器

設置場所	設備概要等		数量	備考
エネセン冷凍機室	ガス吸収式冷温水発生機 (R-2)	ガス重油兼用 750USRT	1基	
エネセン冷凍機室	—		—	
エネセン空調ポンプ	空調用ポンプ		4台	
講義実習棟	空冷ヒートポンプクーラー		2台	
講義実習棟	空調用ポンプ		3台	
R I 動物実験施設 (増築部)	空冷ヒートポンプクーラー		7台	
図書館	ガス吸収式冷温水発生機 (R-5)	50RT	2台	

3. 空気調和関連機器

設置場所	設備概要等		数量	備考
附属病院外来棟	空調機		45台	
附属病院外来棟	給気ファン		11台	
附属病院外来棟	排気ファン		135台	
附属病院外来棟	グリーンファンコイルユニット		12台	
附属病院外来棟	液式調湿再生機 (HPR-1)		3台	
附属病院外来棟	液式調湿処理機 (HPC3~7)		5台	
附属病院外来棟	温水循環ポンプ (液式調湿空調機用)		1台	
附属病院外来棟	溶液ポンプ (液式調湿空調機用)		2台	
附属病院外来棟	溶液タンク 1m ³ (液式調湿空調機用)		2基	
附属病院外来棟	プレート熱交換器 (小型圧力容器, 液式調湿用)		1台	
附属病院病棟	空調機 (AC-A)		18台	
附属病院病棟	空調機 (ACP)		10台	
附属病院病棟	給気ファン		12台	
附属病院病棟	排気ファン		59台	
附属病院病棟	ファンコイルユニット		511台	
附属病院病棟	グリーンファンコイルユニット		58台	
基礎臨床研究棟	排気ファン		5台	
臨床研究棟 (別館)	空調機 (AHU)		1台	
臨床研究棟 (別館)	排気ファン		2台	
臨床研究棟 (別館)	ファンコイル用電源		5台	
講義実習棟	空調機 (AHU)		6台	
講義実習棟	排気ファン		3台	

講義実習棟	給気ファン		2台	
R I 動物実験施設	空調機 (AHU)		12台	
R I 動物実験施設	排気ファン		24台	
R I 動物実験施設	給気ファン		7台	
R I 動物実験施設 (増築部)	空調機 (AHU)		1台	
図書館	空調機 (AHU)		2台	
図書館	排気ファン		2台	
看護学科棟	空調機 (AHU)		6台	
看護学科棟	空調機 (ACP)		2台	
看護学科棟	ファンコイル		69室	
看護学科棟	排気ファン		25台	
看護学科棟	給気ファン		9台	
フォトン研究棟	排気ファン		5台	
フォトン研究棟	給気ファン		4台	
臨床講義棟空調機	排気ファン		2台	

4. 給排水関連機器

設置場所	設備概要等	数量	備考
エネセン (屋外)	上水受水槽	ステンレス製 有効容量 290m ³ ×2 (2槽)	1基
エネセン (屋外)	雑用水受水槽	ステンレス製 有効容量 239.6m ³ (3槽)	1基
エバコン給水ポンプ室	上水圧送用給水ポンプ		3台
エバコン給水ポンプ室	上水揚水用給水ポンプ		2台
エバコン給水ポンプ室	雑用水圧送用給水ポンプ		3台
エバコン給水ポンプ室	雑用水揚水用給水ポンプ		2台
エネセン (屋外)	井水給水設備	ウエルシイ 処理方法 膜ろ過 処理能力 18m ³ /h	1組
附属病院外来棟	人工透析用受水槽 (市水)	ステンレス製 有効容量 6m ³ (1槽)	1基
附属病院外来棟	給水ポンプユニット		1台
附属病院外来棟	検査部用受水槽 (市水)	FRP製 有効容量 3.5m ³ (1槽)	1基
附属病院外来棟	給水ポンプユニット		1台
附属病院病棟	上水高架水槽	ステンレス製 有効容量 10m ³ ×2 (2槽) 雑用水 10m ³ (1槽)	1基
附属病院病棟	雑用水高架水槽	ステンレス製 有効容量 10m ³ ×2 (2槽) 雑用水 10m ³ (1槽)	1基
講義実習棟ポンプ室	市水受水槽	ステンレス製 有効容量 30m ³ ×2 (2槽)	1基

講義実習棟 ポンプ室	雑用水受水槽	コンクリート製 有効容量 90m ³ ×4 (4 槽)	1基	
講義実習棟 ポンプ室	雑用水受水槽	ステンレス製 有効容量 40m ³ ×2 (2 槽)	1基	
講義実習棟 ポンプ室	市水圧送用給水ポ ンプ		3台	
講義実習棟 ポンプ室	研究棟市水揚水用 給水ポンプ		2台	
講義実習棟 ポンプ室	看護学科棟市水揚 水用給水ポンプ		2台	
講義実習棟 ポンプ室	雑用水圧送用給水 ポンプ		3台	
講義実習棟 ポンプ室	研究棟雑用水揚水 用給水ポンプ		2台	
講義実習棟 ポンプ室	看護学科棟雑用水 揚水用給水ポンプ		2台	
基礎臨床研究棟	市水高架水槽	ステンレス製 有効容量 5m ³ ×2 (2槽)	1基	
基礎臨床研究棟	雑用水高架水槽	ステンレス製 有効容量 5m ³ ×2 (2槽)	1基	
看護学科棟	市水高架水槽	ステンレス製 有効容量 2.3m ³ (1槽)	1基	
看護学科棟	雑用水高架水槽	ステンレス製 有効容量 6.8m ³ (1槽)	1基	
保育所	市水給水装置	受水槽 FRP m ³ 給水ユニット	1基	
エバコン 給水ポンプ室	ろ過装置 (FT-3)	サンエイ工業 SF-7B 処理能力 15m ³ /h 寸法 φ1000×1830h	1台	
講義実習棟 ポンプ室	ろ過装置 (FT-1)	サンエイ工業 SF-20B 処理能力 160m ³ /h 寸法 φ2800×1830h	1台	
講義実習棟 ポンプ室	ろ過ポンプ	エバラ FS4J618 口径 150×125 出力 18.5kW 能力 1.97m ³ /min×22.3m	2台	
附属病院病棟 4階西病室 403, 405, 408, 409	手洗い水装置	大研医器 DK1-SK2W 処理能力 60/min 処理方法 超精密ろ過 汚染防止蛇口	4台	
附属病院病棟 8階東無菌病室 863, 865~871	手洗い水装置	大研医器 DK1-SK2W 処理能力 60/min 処理方法 超精密ろ過 汚染防止蛇口	8台	
看護学科棟	小型給湯ボイラー		1台	
附属病院外来棟	RI排水ポンプ		9台	
附属病院病棟	排水槽		15基	
附属病院病棟	排水ポンプ		28台	
講義実習棟	排水槽		3基	
講義実習棟	排水ポンプ		3台	
R I 動物実験施設	汚水槽		1基	
R I 動物実験施設	汚水ポンプ		2台	
R I 動物実験施設	RI集水槽		1基	
R I 動物実験施設	RI貯留槽		1基	
R I 動物実験施設	RI希釈槽		1基	

R I 動物実験施設	RI排水枡		1基	
R I 動物実験施設	RI排水ポンプ		9台	
フォトン研究棟	排水ポンプ		2台	
看護師宿舎	汚水槽		1基	
看護師宿舎	汚水ポンプ		2台	

5. 水質検査

設置場所	設備概要等		数量	備 考
管理棟4階	飲料水の水質確認	飲料水の簡易検査 残留塩素濃度測定	1か所	専用水道
基礎臨床研究棟5階 看護学科棟1階 附属病院外来棟2階 附属病院外来棟3階	飲料水の水質確認	飲料水の簡易検査 残留塩素濃度測定	4か所	
講義棟1階 福利施設棟B1階 図書館2階 RI動物実験施設1階 フォトン研究棟1階	飲料水の水質確認	残留塩素濃度測定	5か所	
廃水処理施設の 最終放流ます	下水道放流水の 水質測定		1か所	

6. ESCO関連機器 (参考)

設置場所	設備概要等		数量	備 考
エネセン 冷凍機室	ESCO事業 ターボ冷凍機 (TR-1, -2)		2台	
エネセン (屋外)	ESCO事業 空冷ヒートポンプチラー (HPR-1)		12台	
エネセン (屋外)	ESCO事業 冷却塔 (CT-1)		8台	
エネセン (屋外)	ESCO事業 冷却水ポンプ		2台	
エネセン 空調ポンプ室	ESCO事業 空調用ポンプ		34台	

3.3. (B) 業務要領 機械設備

第1節 温熱源機器

(1)

貫流ボイラー

(a) 貫流ボイラー・附属装置の点検項目及び点検内容・周期は、表(1)による。

表(1) 貫流ボイラー・附属装置

点検項目	点検内容	周期	備考
a. ボイラー本体	① 運転中に異常な振動や騒音がないか点検する。異常がある場合は調査する。	1 D	
	② 圧力、水位及び燃焼状態に異常がないか点検する。異常がある場合は調査する。	1 D	
	② 燃料消費量、給水量は運転状況に適合しているか点検し記録する。異常がある場合は調査する。	1 D	
	③ 自動制御装置の作動状態は、蒸気使用量に応じて蒸気発生量を加減し、ボイラー負荷の急変を与えていないか点検する。作動が異常の場合は調査する。	1 D	
h. 燃焼関係	③ ガス遮断弁より漏れがないか点検する。漏れ等がある場合は調査する。	1 D	
	① 燃料管、電磁弁よりの漏れ、損傷の有無を点検する。	1 D	
	② ガス圧は正常か点検する。異常がある場合は調査する。	1 D	
n. 自動ブロー装置	① 外面に変形、腐食、損傷がないか点検する。劣化が著しい場合は修理する。	1 D	
	② フランジ締付部等から漏洩がないか点検する。漏れがある場合は修理する。	1 D	
	③ 締付ボルト、アンカーボルトにガタや緩みがないか点検する。緩み等がある場合は修理する。	1 D	
g. ガスバーナ燃料配管系及び弁類	① 燃焼量の確認、ガス圧の記録を取る。異常がある場合は調査する。	1 M	
a. 水面計	① 水位が適正か点検する。異常がある場合は調査する。	1 M	
	② ゲージグラス管が汚れていないか点検する。汚れがひどい場合は修理する。	1 M	
	③ 取付部より水漏れがないか点検する。漏れがある場合は修理又は交換する。	1 M	
b. 安全弁	① 取付部及び本体の取付状態及び漏洩がないか点検する。異常がある場合は修理する。	1 M	
	② 排気管の取付状態を点検する。	1 M	

c. 圧力計	① 取付部やコック類より漏洩がないか点検する。漏れがある場合は修理又は交換する。	1 M	
	② 文字盤やガラスに汚れがないか点検する。汚れがある場合は清掃等する。	1 M	
	③ 常用圧力・最高使用圧力の表示があるか点検する。表示がなければ表示する。	1 M	
d. 主弁	① 本体及び取付部の取付状態及び漏洩がないか点検する。	1 M	
e. 水位検出装置	① 本体取付部より漏洩がないか点検する。漏れがある場合は修理する。	1 M	
f. 圧力調整装置	① 圧力設定値の指度を確認し、圧力計の指針を確認する。	1 M	
j. ガス漏れ検知器	① 損傷の有無を点検する。	1 M	
k. 押込送風機	① 空気吐出側ダクトの取付状態の良否を点検する。異常がある場合は調整する。	1 M	
	① ファン及びモーターの軸受部に潤滑油を注入する。	1 M	
p. エコマイザー	① 本体に変形、破損、クラック、著しい汚損等がないか点検する。破損等がある場合は調査する。	1 M	
	② 給水側、ケーシング側より漏れがないか点検する。漏れがある場合は修理する。	1 M	
y. 薬液注入ポンプ	① 外観の損傷、亀裂、破損等がないか点検する。異常がある場合は調査する。	1 D	
	② 異音、異常振動等がないか点検する。異常がある場合は調査する。	1 D	
	③ 薬液ポンプの運転状態を確認する。	1 D	
	① ポンプ電動機据え付け状ボルト・ナットの緩みを点検する。緩みある場合は調査する。	1 M	
y. 薬液タンク	② 漏れ、損傷、腐食がないか点検する。漏れ等がある場合は修理する。	1 D	
	③ 基礎ボルトに緩みはないか点検する。緩みがある場合は修理する。	1 M	
	④ ストレーナの点検、清掃を行う。		性能劣化時
	⑤ 清缶剤の補充を行う。		性能劣化時
l. ボイラー制御盤	① 表面の汚れ、錆、塗装の剥離等の有無を点検する。損傷が著しい場合は修理する。	1 M	
	② 盤の固定ボルトの緩み、損傷の有無を点検する。損傷が著しい場合は修理する。	1 M	
	③ 扉の緩み、きしみ等がないか点検する。異常がある場合は修理する。	1 M	
	④ 表示ランプ、計器類に損傷がないか点検する。損傷がある場合修理する。	1 M	

o. ボイラー給水ポンプ	① 配管、継手、弁等より水漏れがないか点検する。漏洩がある場合は調査する。	1 D	
	② 弁類に錆、損傷がないか点検する。劣化等がある場合は修理する。	1 D	
	④ ポンプ本体からの水漏れがないか点検する。漏洩がある場合は調査する。	1 D	
	⑤ 弁の開閉状態を点検する。	1 D	
	① 燃焼ガスの漏れがないか点検する。漏洩がある場合は調査する。	1 M	
q. 煙道・煙突			
r. 計量装置 (給水流量計)	① 配管、継手、弁等より水漏れがないか点検する。漏洩がある場合は調査する。	1 M	
	② 本体に水漏れ、損傷がないか点検する。漏洩等がある場合は調査する。	1 M	
	③ 文字板やガラス面に汚れがないか点検する。汚れが著しい場合は除去する。	1 M	
s. 還水槽 (ドレン、ホットウェルタンク、 L. フラッシュタンク)	① 本体及び配管、継手、弁等より水漏れがないか点検する。漏洩がある場合は調査修理する。	1 D	
	② 被覆に損傷がないか点検する。損傷がある場合は補修する。	1 M	
	③ 水面計に汚れ、詰まり、漏れ、損傷がないか点検する。損傷が著しい場合は交換する。	1 M	
	④ 水面計のコック類の開閉を確認する。開閉不良の場合は交換する。	1 M	
	① 補給水装置が確実に作動するか点検する。作動不良の場合は調査する。	1 M	
l. 緊急開放弁	② 水位検出装置の作動の良否を点検する。異常がある場合は調査する。	1 M	
	③ 原水の温度を測定する。	3 M	
	① 本体及び配管、継手、弁等より水漏れがないか点検する。漏洩がある場合は調査修理する。	1 M	3 M?
	① 緊急開放弁の動作確認を行う。動作不良の場合は調査する。	3 M	
	① 保温材及び支持金具の点検を行う。異常がある場合は修理する。	1 M	
v. 蒸気配管	② 配管、機器の接合部等の漏洩の有無を確認する。(ハグー設置機械室)	1 D	
	③ 配管、機器の接合部等の漏洩の有無を確認する。(その他機械室)	1 M	
	④ バルブ、コック類の漏洩の点検をする。(ボイラー室内)	1 D	
	⑤ バルブ、コック類の漏洩の点検をする。(その他)	1 M	
	⑥ ストレーナーの詰まりを点検する。詰まりのある場合は清掃する。		性能劣化時
	⑦ トラップ、減圧弁、二方弁の点検を行う。動作不良の場合は修理する。	1 Y	

(2)
蒸気ヘッダー

(a) 蒸気ヘッダーの点検項目及び点検内容・周期は、表(2)による。

点検項目	点検内容	周期	備考
u. ヘッダー本体	① 外面ケーシングに変色、変形、腐食、損傷がないか点検する。損傷等が著しい場合は調査する。	1 M	
	② 基礎に亀裂、破損はないか点検する。劣化が著しい場合は調査する。	1 M	
	③ 基礎ボルトに緩みがないか点検する。緩みがある場合は修理する。	1 M	
	④ マンホール、検査穴、取出し用穴、バルブ等に漏洩、錆がないか点検する。	1 M	
	⑤ 本体及び蒸気弁、給水弁より漏洩がないか点検する。漏れがある場合は修理する。	1 D	
	⑥ 安全弁及び取付部より漏洩がないか点検する。漏れがある場合は修理する。	1 M	
	⑦ 圧力計取付部やコック類より漏洩がないか点検する。漏れがある場合は修理または交換する。	1 M	
	⑧ 圧力計の文字盤やガラスに汚れがないか点検する。汚れがある場合は清掃等する。	1 M	
	⑨ 最高使用圧力の表示がされているか点検する。	1 M	
	⑩ 計器の指針等が異常にブレる事がないか点検する。異常がある場合は調査する。	1 M	
	⑪ 圧力計の圧力確認を行う。異常がある場合は調査する。	1 D	
	⑫ スチームトラップの機能点検をする。	1 D	
	⑬ ボイラ等の間に減圧弁がある場合は減圧弁の機能を確認する。異常がある場合は調査する。	1 D	
w. ドレン フィルター	① フィルターの取り外し、取り付け及び本体の清掃を行う。	1 Y	
	② フィルターの取替を行う。	1 Y	

(3)
純水製造装置

(a) 純水製造装置の点検項目及び点検内容・周期は、表(3)による。

点検項目	点検内容	周期	備考
------	------	----	----

z. 純水製造装置

① 装置の本体、弁類、配管等の損傷、亀裂等がないか点検する。異常がある場合は調査する。	1 D	
② 自動弁の空気漏れ、水漏れがないか点検する。漏れがある場合は調査する。	1 D	
③ タンク (HCL, NaOH, 中和槽) 及びフランジ部等からの液漏れがないか点検する。漏れがある場合は調査する。	1 D	
④ 純度計、流量計、圧力計の指示が正常か点検する。異常がある場合は調査する。	1 D	
⑤ 計器類の汚れ、損傷がないか点検する。汚れ等がある場合は除去する。	1 M	
⑥ 配管類の水漏れ、エア漏れ等がないか点検する。漏れがある場合は修理する。	1 D	
⑦ 薬液ポンプの点検を行う。	1 M	
① 樹脂筒内の樹脂量は規定量あるか、異物の混入はないか点検する。	1 W	
② 再生槽のNaOHが固化していないか点検する。	1 W	
③ 空気用フィルターのドレン水の水抜き	1 D	
④ 操作盤の点検を行う。	1 D	
⑤ コンプレッサーの外観点検等を行う。異常がある場合は調査する。	1 M	
⑥ ルーツフロアの外観点検及び給油を行う。異常がある場合は調査する。	1 M	
⑦ 動力盤の外観点検及びを運転状況の点検をする。	1 M	
① 純水の測定 (電導度) を行う。	1 D	
② タンク内の薬剤等量の確認を行う。不足の場合は補充する。	1 W	
③ コンプレッサーの圧力確認及び動作確認をする。動作不良の場合は調査修理を行う。	1 W	
④ 樹脂分離面の確認を行う。		性能劣化時
⑤ 純度計の電極が汚れていないか点検する。汚れている場合は除去する。		性能劣化時
① 各弁類の作動確認を行う。異常がある場合は調査する。	1 D	
② 中和槽のPH測定装置の点検を行う。	1 M	
③ 再生を行い、工程の確認をする。		性能劣化時
④ 中和工程を行う。		性能劣化時

(4)

スチームアキュムレーター

(a) スチームアキュムレーターの点検項目及び点検内容・周期は、表(4)による。

表(4) スチームアキュムレーター

点検項目	点検内容	周期	備考
------	------	----	----

I. 外観点検 a. 本体	① ケーシング及び本体外面に、変形、腐食、損傷の有無を点検する。損傷等がある場合は調査する。	1 M		
	② フランジ締付部等から漏洩痕の有無を点検する。漏洩痕がある場合は調査する。	1 D		
	③ 本体と架台との締め付けボルト、架台と基礎をつなぐアンカーボルトにガタ、緩みがないか点検する。緩みがある場合は修理する。	1 M		
	④ 計器の取付部の状態が良好か点検する。異常がある場合は調整する。	1 M		
	① 異常音、異常な振動の有無がないか点検する。異音等がある場合は調査する。	1 M		
	② 異常昇圧、昇温が計器に現れていないか点検する。異常がある場合は調査する。	1 M		
	③ 計器の指針等が異常にブレる事がないか点検する。異常がある場合は調査する。	1 M		
	④ 缶体が異常振動することがないか点検する。異常がある場合は調査する。	1 M		
	① 圧力、水位の状態が適正か確認する。	1 D		
	② 最高使用圧力を越えて圧力上昇させないように制御装置の各部を点検する。	1 D		
	③ トラップ類の作動確認をする。	1 D		
	b. 水面計	① ゲージグラスが汚れていないか点検する。汚れがある場合は除去する。	1 M	
		① コック類の作動の良否を点検する。	1 M	
		① 水位は適正值を示しているか確認する。異常がある場合は調査する。	1 M	
	② 水面計の取付部に漏れ痕の有無を点検する。漏れ痕がある場合は修理する。	1 M		
c. 安全弁	① 取付部及び本体より漏洩痕の有無を点検する。漏洩痕がある場合は調査する。	1 M		
d. 圧力計	① 取付部及び本体より漏洩痕の有無を点検する。漏洩痕がある場合は調査する。	1 M		
	② 文字板やガラスに汚れがないか点検する。汚れがある場合は除去する。	1 M		
	③ 圧力計の目盛りに当該第一種圧力容器の最高使用圧力の表示があるか点検する。表示がない場合は表示する。	1 M		
e. 主弁及び各操作	① 取付部及び本体より漏洩痕の有無を点検する。漏洩痕がある場合は調査する。	1 M		

(5)
プレート熱交換器・貯湯槽

プレート熱交換器・貯湯槽の点検項目及び点検内容は、表(5)による。

表(5) プレート熱交換器・貯湯槽

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外観点検	② 圧力、水位の状態が適正か確認する。異常がある場合は調査する。	1 D	運転時のみ
a. 本体	① 外面ケーシングに変色、変形、腐食、損傷がないか点検する。損傷等が著しい場合は調査する。	1 M	
	② 基礎に亀裂、破損はないか点検する。劣化が著しい場合は調査する。	1 M	
	③ 基礎ボルトに緩みはないか点検する。緩みがある場合は修理する。	1 M	
	④ マンホール、検査穴、取出し用穴、バルブ等に漏洩、錆がないか点検する。	1 M	貯湯槽のみ
	⑤ 本体及び蒸気弁、給水弁より漏洩がないか点検する。漏れがある場合は修理する。	1 M	
	⑥ ポンプの起動確認をする。(中間期)	1 M	プレート熱交のみ
	⑦ 外部の清掃を行う。	1 M	
b. 安全弁	① 弁及び取付部より漏洩がないか点検する。	1 M	
c. 圧力計	① 取付部やコック類より漏洩がないか点検する。漏れがある場合は修理する。	1 M	
	② 文字盤やガラスに汚れがないか点検する。汚れがある場合は清掃等する。	1 M	
	③ 最高使用圧力の表示があるか点検する。	1 M	
d. 主弁及び操作弁	① 取付状態及び取付部に漏れ痕の有無を点検する。漏れ痕がある場合は調査する。	1 M	
2. 総合点検	① 昇圧、温度が適正か確認する。異常がある場合は調査する。	1 D	

(6)

クリーン蒸気発生器

クリーン蒸気発生器の点検項目及び点検内容は、表(6)による。

表(7) クリーン蒸気発生器

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外観点検	② 圧力、水位の状態が適正か確認する。異常がある場合は調査する。	1 D	
a. 本体	① 外面ケーシングに変色、変形、腐食、損傷がないか点検する。損傷等が著しい場合は調査する。	1 M	
	② 基礎に亀裂、破損はないか点検する。劣化が著しい場合は調査する。	1 M	
	③ 基礎ボルトに緩みはないか点検する。緩みがある場合は修理する。	1 M	
	⑤ 本体及び蒸気弁、給水弁より漏洩がないか点検する。漏れがある場合は修理する。	1 D	
	④ フランジ締め付け部等から漏洩痕の有無を点検する。漏洩痕がある場合は調査する。		

b. 水面計	① ゲージガラスが汚れていないか点検する。汚れがある場合は除去する。	1 M
	① コック類の作動の良否を点検する。作動不良場合は調査する。	1 M
	① 水位は適正値を示しているか確認する。異常がある場合は調査する。	1 M
c. 圧力計	① 取付部やコック類より漏洩がないか点検する。漏れがある場合は修理する。	1 M
	② 文字盤やガラスに汚れがないか点検する。汚れがある場合は清掃等する。	1 M
	③ 圧力計の目盛りに当該第一種圧力容器の最高使用圧力の表示があるか点検する。表示がない場合は表示する。	1 M
	① 運転中、その機能を害するような振動の有無を点検する。異常がある場合は調査する。	1 M
	② 適正圧力の指度になっているか確認する。	1 M
d. 主弁及び操作弁	① 取付状態及び取付部に漏れ痕の有無を点検する。漏れ痕がある場合は調査する。	1 M
3. 総合点検	① 昇圧、温度が適正か確認する。異常がある場合は調査する。	1 D

第2節 冷熱源機器

(1)
チリングユニット (a) チリングユニット・附属装置の点検項目及び点検内容・周期は、表(1)による。

表(1) チリングユニット・附属装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外観点検 a. 本体及び附属品	① 腐食、変形、破損等の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修する。	1 M	
2. 運転	① 異音、異常振動等がないか確認する。異常がある場合は調査する。 ② 温度、圧力、容量等規定値で確実に作動するか確認する。	1 M	

(2)
直だき吸収冷温水発生機及び小型吸収冷温水機ユニット (a) 直だき吸収式冷温水発生機及び小型吸収冷温水機ユニットの点検項目及び点検内容・周期は、表(2)による。

表(2) 直だき吸収式冷温水発生機及び小型吸収冷温水機ユニット

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外観点検	① 腐食、変形、破損等の有無を点検する。	1 D	

a. 本体及び附属品	劣化が軽微の場合は補修する。		
b. 温度計及び 圧力計	① 破損等の有無を点検する。劣化が軽微の 場合は補修する。	1 D	
c. 動力制御盤	① 計器等の損傷、汚れ等がないか点検す る。汚れ等がある場合は除去する。	1 D	
d. 附属弁	① 弁の開閉の良否を確認する。調整弁にあ っては調整開度であることを確認する。	1 D	
e. 冷温水及び冷却 水系統	① 各水室部及び系統に水漏れがないこと を確認する。水漏れがある場合は補修 する。	1 D	
f. 燃料配管系及び 弁類	① 系統のガス漏れ確認をする。	1 D	
2. 運転	① タイマー等の作動が設定値通りに動作す るか確認する。作動不良の場合は調査する。 ② 燃焼装置が正常に作動しているか確認 する。作動不良の場合は調査する。	1 M	都度
3. 真空気密	① 起動時に固着及び異音等がなく、抽気能 力に異常がないことを確認する。異常があ る場合は調査する。	1 D	
a. 抽気ポンプ	② 抽気ポンプの油の油面確認をする。	1 D	
	③ 抽気ポンプのドレン抜きを行う。	1 M	
4. 冷却水水質管理 装置	① 薬注ポンプの運転状況及び外観点検をす る。 ② 薬液の残量の確認（スライム処理剤等） をする。少ない場合は補充する。 ③ 電極の洗浄及び設定値の確認をする。 ④ 装置の標準校正をする。 ⑤ 薬品の在庫管理及び納入立会いを行う。 ⑥ 薬液タンク、配管等の漏れ、汚損及び破 損、損傷等の有無を点検する。	1 D 1 M 1 M 1 M	性能劣化時 都度 都度 都度
5. 冷却塔	① 冷却塔のルーバー、充填材の点検を行う。	1 M	

第3節 空気調和等関連機器

(1) 空気調和等関連機 器	(a) 空気調和等関連機器の点検項目及び点検内容・周期は表(1)による。
----------------------	--------------------------------------

表(1) 空気調和等関連機器

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 空気調和機	① 発停状態の確認をする。異常がある 場合は調査する。	1 D	ルームエアコン、パッ ケージエアコンは、こ の周期から除く
	② 各種コイルの腐食、漏洩、破損の点検を する。漏洩がある場合は応急処置する。	1 M	
	③ 空調機内部の汚れ、損傷等の点検をする。 汚れが著しい場合は清掃する。	1 M	
	④ ファンベルトの張りの緩み及び損傷等の 有無の点検をする。劣化がある場合は交換	1 M	

及び調整する。		
⑤ ドレン装置の排水確認を行い漏れ等の支障のないことを確認する。支障がある場合は清掃及び修理する。	1 M	性能劣化時
⑥ エアフィルターの詰まり及び損傷等の劣化がないか点検する。詰まり等がある場合は洗浄又は取替える。	1 M	
⑦ コイルのエア抜き作業を行う。 (ヒートポンプ型を除く)		
⑧ バルブ類、計器類、配管からの水漏れの点検をする。漏れがある場合は応急処置する。	1 M	
⑨ 電源電圧、運転電流が定格以下で異常のないことを確認する。	1 M	
⑩ 本体の腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。	1 M	
⑪ 送風機の異音、振動等の点検を行う。異常がある場合は調査する。	1 M	
⑫ 冷媒ガスのガス漏れの有無を点検する。漏れがある場合は調査する。	1 M	
⑬ 圧力計の点検をする。異常がある場合は取り替える。	1 M	
⑭ 保安装置の作動状況を確認する。動作した場合は原因調査する。	1 M	
⑮ 送風機の異音、振動等の点検を行う。異常がある場合は調査する。	1 M	
⑯ 冷媒ガスのガス漏れの有無を点検する。漏れがある場合は調査する。 (ヒートポンプ型のみ)	1 M	
⑰ 圧力計の点検をする。異常がある場合は取り替える。	1 M	
⑱ 保安装置の作動状況を確認する。動作した場合は原因調査する。	1 M	
⑲ 操作盤の汚れ、損傷等の点検をする。汚れがひどい場合は清掃する。	1 M	
⑳ 端子の緩み、変色等の有無を点検し、緩みがある場合は増締めする。	1 M	
㉑ 軸受部にグリスを注油する。	6 M	
㉒ 冷暖房切替操作を行い、弁類の開閉の良否の点検及び自動制御機器の作動確認を行う。異常の場合は調査する。	6 M	
㉓ 温湿度調節器、タイマー制御等が設定値にて制御していることを確認する。	6 M	
㉔ 外気取入れガラリの汚損、損傷等の点検を行う。著しい汚れは清掃する。	1 Y	
㉕ 操作回路及び動力回路の絶縁抵抗測定を行う。	1 Y	
㉖ 加湿器のノズルの詰まり及び噴霧状態の点検をする。詰まりがある場合は補修する。	1 Y	

2. スチムコンパクター及び スチムジエーター	① 腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。	1 Y	性能劣化時
	② 送風機の異音、振動等異常がないか点検する。異常がある場合は調査する。 (コンパクターのみ)	1 Y	
	③ 配管、バルブ等の点検をする。不良の場合は調査補修する。	1 Y	
	④ トラップ及びストレーナーの作動確認をする。作動不良の場合は調査し、ストレーナーの詰まりは清掃する。		
3. フィルターユニット a. ろ材 b. 枠・ケーシング c. チャンバー d. 制御盤 e. 巻取機構	① 目詰まりの有無を点検する。目詰まりの著しい場合は洗浄又は交換する。	1 M	R I 及び感染系の排気ユニットは除く
	② 差圧計により圧力損失を点検する。初期圧の2倍以上の場合は洗浄又は交換をする。(R I 及び感染系の排気ユニットは除く)	1 M	
	① 変形、腐食等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。	1 M	
	① 変形、腐食等の劣化及び汚れの有無を点検する。劣化が軽微な場合又は汚れがある場合は補修又は清掃する。	1 M	
	① 表示等の点灯の良否を点検する。点灯不良の場合は交換する。	1 M	
	② タイマー又は差圧計の作動の良否を点検する。清掃する。	1 M	
	① 電動機等の作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	1 M	
	② 微差圧スイッチの点検を行う。 (オートロール型)	1 M	
	③ ガイドロール、テンションローラの点検を行う。(オートロール型)	6 M	
	④ 差圧検知管の汚れ及び損傷等の点検をする。汚れがある場合は清掃する。 (オートロール型)	1 M	
4. 送風機、排風機 a. 本体 b. 電動機 c. 軸受	① 汚れの有無を点検する。汚れがある場合は清掃する	6 M	
	② 腐食やボルトの緩みの有無を点検する。腐食が軽度の場合は補修する。緩みがある場合は増締めする。	6 M	
	③ 防振材の破損や亀裂や劣化の有無を点検する。	6 M	
	① 電動機が外部より調査できる場合は、発熱の異常の有無を点検する。なおサーモラベルを貼付けてない機器は貼付ける。	1 M	
	② 絶縁抵抗を測定し、その値が1 MΩ以上であることを確認する。1 MΩ未満の場合は調査する。	1 Y	
	① 音及び振動の異常の有無を点検する。異常がある場合は調査する。	6 M	

d. Vベルト	② 給油形の場合は油を補充又は報告する。	6 M	性能劣化時
	① 緩み、摩耗及び損傷の有無を点検する。 緩みがある場合は調整し、調整不能の場合 又は摩耗若しくは損傷が著しい場合は交換 する。	6 M	
e. Vプーリー	② 芯だしの良否を点検する。芯出し不良の 場合は調整する。	6 M	
	① 摩耗、損傷等の劣化の有無を点検する。 劣化が著しい場合は報告する。	6 M	
e. 羽根車	① 汚れ及び変形、発錆等の劣化の有無を点 検する。汚れが著しい場合は清掃し、劣化 がある場合は修理する。	1 Y	
	② ボルトの緩み及び腐食等の劣化の有無を 点検する。緩みがある場合は増締めする。	1 Y	
	③ ケーシング等に接触していないか確認す る。	1 Y	
5. 全熱交換器			
a. 本体 (床置型)	① 発錆、腐食、変形、破損等の劣化の有無 を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。	1 M	
b. フィルター	① 詰まりや損傷等の有無を点検する。汚れ や劣化が軽微な場合は清掃又は補修する。		
c. 保温材	① 破損の有無を点検する。破損が軽微な 場合は補修する。	1 M	
d. 軸受	① 音、振動等の異常の有無を点検する。 給油不足の場合はグリース給油する。	1 M	
e. 熱交換エレメン ト	① 詰まりや損傷等劣化の有無を点検する。 汚れや劣化が軽微な場合は清掃又は補修す る。	1 M	
	② 回転バランスの良否を点検する。	1 M	
f. エアシール	① 異常摩耗や破損等の有無を点検する。	1 M	
g. 駆動装置	① ベルトの緩み及び損傷等の劣化の有無を 点検する。緩み等がある場合は調整する。	1 M	
h. ケーシング	① 汚れ及び発錆・腐食などの有無を点検す る。汚れや劣化がある場合は、清掃又は補 修する。	6 M	
i. 電源電圧	① 電圧の変動が定格値の±10%以内に あることを確認する。異常がある場合は調査 する。	1 M	
j. ギャードモータ ー	① 電流が定格値内であることを確認する。 異常がある場合は調査する。	1 Y	
	② オイルシールの油漏れの有無を点検す る。油漏れがある場合は報告する。	1 M	
k. リレー	① 作動の良否を確認する。作動不良の場 合は交換する。	1 M	
6. 全熱交換器			
a. 本体 (ブライ ン型)	① 発錆、腐食、変形、破損等の劣化の有無 を点検する。劣化が軽微な場合は補修する	1 M	
c. コイル	① コイルの水漏れ・汚れ状態、内部噴霧配管 の水漏れを確認する。	1 M	
d. エリミネータ	① 給気入口、排気出口のエリミネータの汚れ	1 M	

f. フィルター	状態を確認する。 ①詰まりや損傷等の有無を点検する。汚れや劣化が軽微な場合は清掃又は補修する。		性能劣化時
g. 配管	①外部噴霧配管、熱回収循環配管、ドレン配管の水漏れを確認する。	1 M	
h. 循環ポンプ	①循環ポンプの運転状況を確認する。	1 M	
i. ブライン	①熱回収配管中のブライン濃度・量を確認する。	1 M	
j. 自動給水ユニット	①噴霧ポンプの圧力・電流値等の運転状況を確認する。 ②給水用水フィルター目詰まり・水フィルター出口圧力を確認する。 ③装置内の水漏れを確認する。 ⑦運転モード・電磁弁の動作確認をする。 ⑧制御盤の表示等の点灯の良否を点検する。点灯不良の場合は交換する。	1 M 1 M 1 M 1 M 1 M	
7. デシカント空調機 再生機・処理機	①ケーシングの損傷の有無 ②バルブの開閉状態、二方弁の動作の確認 ③配管の漏れの有無（溶液・冷温水配管） ④警報表示の有無 ⑤プレフィルターの汚れ、破損の有無 ⑥盤内の異音・異臭・発熱の有無の確認 ⑦スイッチの確認 ⑧ガラリ・ダクト・ダクト保温材の汚損の有無の確認		
8. 空調用ポンプ			
a. 本体	①腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。腐食等軽微な場合は補修する。 ②軸継手ゴム（ベルト）の損傷等の劣化の有無を点検する。 ③軸継手の芯狂いが許容範囲内にあることを確認する。芯狂いが著しい場合は調整する。 ④主電源電圧の変動が運転時に定格電圧の10%以内にあることを確認する。 ⑤ポンプの吸入圧力及び吐出圧力が許容範囲内にあることを確認する。範囲外の場合は調査する。 ⑥受水タンクの真空度及び吐出圧力が許容範囲内にあることを確認する。（真空ポンプユニットに限る）	1 M 1 M 1 M 1 M 1 M 1 M	性能劣化時
b. 電動機	①腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。腐食等軽微な場合は補修する。 ②円滑に回転することを確認する。異常がある場合は調査する。 ③絶縁抵抗を測定し、その値が1 MΩ以上であることを確認する。電動機ケーブルの末端で1 MΩ未満の場合は修理又は報告する。	1 M 1 M 1 Y	
c. 圧力計・連成計	①腐食及び損傷の有無を点検する。腐食又は	1 Y	

及び真空計	損傷が著しい場合は交換する。	
	②指示値に狂いが無いことを確認する。	1 Y
	狂いが著しい場合は調整又は交換する。	
d. その他	①ポンプ、電動機据え付けボルト、ナットの緩み等の点検をする。緩みの場合は増締めをする。	1 Y
9. 小型冷凍機	①異音、異常振動等の有無を点検する。	1 M
a. 本体	異常がある場合は調査する。	
	②各計器の指示値が規定値内であるか点検する。	1 M
	③吸入、吐出圧力が正常値内にあるか点検する。異常がある場合は調査する。	1 M
	④油量の適否の点検を行う。油量が少ない場合は補給する。	1 M
	⑤冷却水の流量等の点検を行う。異常がある場合は調査する。	1 M
	⑥冷媒ガス漏れの点検を行う。異常がある場合は調査する。	1 M
	⑦電動機、送風機の電流測定を行う。	1 M
	⑧冷却器の温度、水量点検を行う。温度が高い場合、水量調整等を行う。	1 M
	⑨汚れ、破損、損傷等ないか点検する。汚れ等軽微な場合は補修する。	1 M
	⑩各種配管からの水漏れがないか、保温材等の破損がないか点検する。軽微な場合は補修する。	1 M
b. 室内機	①異音、異常振動等の有無を確認する。異常がある場合は調査する。	1 M
	②汚れ、破損、損傷等ないか点検する。汚れ等軽微な場合は補修する。	1 M
	③ドレン排水の確認、ドレンパンの詰まり等の点検をする。排水不良の場合は掃除する。	1 M
	④支持金物等に異常がないか点検する。	1 M
c. 附属機器	①センサー、温度設定器等の損傷、汚れがないか点検する。	1 M
	②設定温度範囲内に調整されているか確認する。範囲外の場合は調整する。	1 M
d. 低温室、恒温室 本体	①扉の異常がないか点検する。異常がある場合は調査報告する。	1 Y
	②室内の仕上げパネル等に損傷、破損がないか確認する。損傷等がある場合は、報告する。	1 Y

10. その他設備

① 機械室内等の各部の腐食、漏洩、破損の有無 1 M

a. 冷温水管 ドレン管 冷媒ガス管	の点検する。		
	② 上記以外の腐食、漏洩、破損の有無を確認する。		都度
	③ 各部バルブの開閉状況確認及び点検を行う。 (天井内等は除く)	1 M	
	④ ストレーナーの詰まり等の確認を行う。詰まり等がある場合は清掃手入れする。		性能劣化時
	⑤ 配管保温材及び支持金物の点検を行う。(機械室内等)	1 M	
	⑥ 機械室以外の配管等保温材及び支持金物の点検を行う。		都度
	⑦ 減圧弁、二方弁の作動状態確認を行う。異常がある場合は調査する。	1 M	
b. 空調ダクト	① 機械室内等の保温材の剥がれ、支持金物等の損傷、はずれ等の点検をする。軽微な剥がれ等は補修する。	6 M	
	② 各室内の風量、温度が適正であるか確認する。適正でない場合は調整する。	6 M	
	③ ダンパーの開閉状態の確認をする。	1 Y	
	④ 吸込口、排気口のガラリー等に異常がないか点検する。汚れ等がひどい場合は清掃する。	6 M	
	⑤ O.Aチャンバー内の清掃を行う。(点検口付で清掃できるところのみ)	6 M	
c. 外気処理フィルターパネル	① 目詰まりの有無を点検する。目詰まりの著しい場合は洗浄又は交換する。	6 M	
	② 枠等の変形、腐食の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。	6 M	
d. 換気設備	① 起動確認及び給排気の点検を行う。	6 M	
	② 異音、異常振動及び破損等の点検を行う。	6 M	
e. 蓄熱槽	① 冷温水の仕切り替えを行う。 作業者の安全確保も実施することとする。	4 M	
	② 内部の状況及び水位を確認する。	1 M	
f. 軟水器	① 動作状態の確認を行い、再生用食塩の補充を行う。		都度

第4節 給排水衛生機器

(1)
給排水衛生機器

(a) 給排水衛生機器の点検項目及び点検内容・周期は表(1)による。

表(1) 給排水衛生連機器

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 受水槽、高置水槽等 (市水、雑用水)	① 電極棒(水位等)作動確認を行う。	1 M	
	② 自動給水装置、ボールタップ作動確認を行う。作動不良の場合は調整する。	1 M	
	③ 本体の水漏れ及び外面の損傷等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。	1 M	
	④ 槽内の堆積物の点検をする。(高架水槽のみ)	1 M	
	⑤ 槽の内面の腐食、損傷等の劣化の有無を点検する。(マンホールより視認できる範囲)	1 M	
	⑥ マンホールの密閉状態及び施錠の良否を点検する。不良の場合はパッキン又は錠を交換する。	1 M	
	⑦ 通気管等の防虫網の点検を行う。破損がある場合は補修又は取り替える。	1 M	
	⑧ 電極棒、ストレーナーの点検清掃を行う。(雑用水槽のみ)	1 M	
	⑨ 警報装置の作動確認を行う。作動不良の場合は調整する。	1 M	
	⑩ 附属配管の変形、腐食、損傷等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。	1 M	
	⑪ 附属バルブ類の開閉確認及び水漏れ等の有無を確認する。	1 M	
2. 塩素滅菌器 (プールは除く)	① 消毒剤の注入量及び漏洩の点検をする。	1 M	
	② 逆流止め弁及びサイホンブレーカーの作動の良否を点検する。不良の場合は調整する。	1 M	
	③ 消毒剤の補充を行う。		都度
3. ろ過装置	① タンク類の腐食、破損、損傷等の外観点検する。腐食等軽微な場合は補修する。	1 M	
	② 配管、バルブ類に水漏れがないか点検する。	1 M	
	③ 附属設備に異常がないか点検する。	1 M	
	④ 逆洗、ろ過工程が異常なく行われることを確認する。	1 M	
	⑤ 制御盤の表示、連動制御されているか確認する。	1 M	

4. 井戸	① 井戸水関係の制御盤の作動点検をする。	1 Y	
	② 配管、バルブ類からの水漏れがないか点検する。	1 M	
	③ カバー等に異常がないか点検する。	1 M	
5. 除砂装置	① 外観の点検を行う。	6 M	
	② 除砂の排出を行う。	1 W	
6. 給水ヘッダー	① 漏洩有無の点検を行う。	1 Y	
7. 薬注装置	① 薬注ポンプの運転状況及び外観点検を行う。	1 D	
	② 薬液の残量の確認をする。少ない場合は補充する。	1 D	
	③ 薬液の在庫管理及び納入立ち会いを行う。		都度
	④ 薬液タンク、配管等の漏れ、汚損及び破損、損傷等の有無を点検する。	1 M	
8. 汚水槽及び 化学排水(ホルマリン) 槽等	① 内部の浮遊物及び沈殿物の状況を確認する。	6 M	
	② 漏水及び壁面等の損傷、亀裂、発錆等の劣化の有無を点検する。劣化がある場合は調査報告する。	6 M	
	③ 害虫発生状態の確認をする。	6 M	
a. 本体			
b. 水面制御及び 警報装置	① 損傷及び腐食の有無を点検する	6 M	
	② 作動の良否を点検する。作動不良の場合は調査する。	6 M	
c. 配管	① 水漏れ及び詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は調査し、軽微な場合は清掃する。		都度
9. 陸上ポンプ	① 腐食、損傷及び水漏れの有無を点検する。	1 M	給水ポンプユニットを含む。
	② 軸継手ゴム(ベルト)の損傷等の劣化の有無を点検する。	1 M	
	③ 軸継手の芯狂いが許容範囲内にあることを確認する。芯狂いが著しい場合は調整する。		都度
	④ 主電源電圧の変動が運転時に定格電圧の10%以内にあることを確認する。	1 M	
	⑤ ポンプの吸入圧力及び吐出圧力が許容範囲内にあることを確認する。	1 M	
	⑥ 軸受け部の適正油量の確認をする。	1 M	

	⑦ グリスの補充を行う。		都度
	⑧ スプリンクラーのエアチャンバー圧力点検をする。 (スプリンクラーのみ)	1 M	
	⑨ グランドパッキンの交換を行う。		都度
	⑩ 給水ポンプ関係の制御盤のタイマー制御、インバーター動作等の作動確認を行う。	1 M	
b. 電動機	① 腐食、損傷及び水漏れの有無を点検する。腐食が軽微な場合は補修する。	1 M	
	② 異音、異常振動の有無を点検する。異常がある場合は調査する。	1 M	
	③ 円滑に回転することを確認する	1 M	
	④ 絶縁抵抗を測定し、その値が1 MΩ以上であることを確認する。1 MΩ未満の場合は調査する。	1 Y	
c. 制御機器	① 電磁開閉器の接点の劣化の有無を点検する。	1 M	
	② 表示ランプの点灯の良否を点検する。	1 M	
	③ 機能の異常の有無を点検する。異常がある場合は調査する。	1 M	
d. 圧力タンク (給水ポンプユニットに限る)	① 腐食、損傷及び水漏れの有無を点検する。	1 M	
e. 圧力計、連成計 及び真空計	① 腐食及び損傷の有無を点検する。腐食が著しい場合は交換する。	1 M	
	② 指示値に狂いが無いことを確認する。狂いが著しい場合は交換する。	1 M	
10. 深井戸ポンプ			
a. 本体	① 主電源電圧の変動が運転時に定格電圧の10%以内であることを確認する。	1 M	
b. 電動機	① 絶縁抵抗を測定し、その値が1 MΩ以上であることを確認する。	1 Y	
c. 自動空気抜弁	① 水漏れの有無を点検する。水漏れがある場合は修理する。	1 M	
d. ケーブル	① 損傷等の劣化の有無を点検する。	1 Y	
e. 圧力計、連成計	① 腐食及び損傷の有無を点検する。腐食が著しい場合は調整する。	1 Y	
	② 指示値に狂いが無いことを確認する。狂いが著しい場合は交換する。	1 Y	
11. 排水ポンプ			
a. 本体等	① 腐食及び損傷の有無を点検する。	1 Y	

	② 運転確認をして、機能が正常か点検する。異常がある場合は調査する。	1 M	
b. 電動機	① 腐食及び損傷の有無を点検する。	1 Y	
	② 絶縁抵抗を測定し、その値が1 MΩ以上であることを確認する。	1 Y	
c. 圧力計、連成計	① 腐食及び損傷の有無を点検する。腐食が著しい場合は交換する。	1 Y	
	② 指示値に狂いが無いことを確認する。狂いが著しい場合は調整する。	1 Y	
12. 衛生器具			
a. 洗面器、手洗器 流し台等	① 亀裂、損傷、取付の緩みの点検を行う。亀裂等がある場合は報告する。		都度
	② 水栓及び接合部等の漏洩点検を行う。漏洩している場合は修理する。		都度
	③ 排水状態に異常がないか点検する。詰まり等、排水状態が悪い場合は、薬剤等を用いて修理する。		都度
b. 大便器、小便器 その他衛生附属品	① 亀裂、損傷、取付の緩みの点検を行う。亀裂等がある場合は報告する。		都度
	② 自動洗浄、水量調整、水漏れの点検を行う。不良の場合は調整等を行う。		都度
	③ 排水状態に異常がないか点検する。詰まり等、排水状態が悪い場合は、薬剤等を用いて修理する（洋式便器は、除く）。修理が不可能な場合は、報告する。		都度
c. シスタック及び 洗浄弁	① タンク内の汚れ及びボールタップの点検を行う。汚れ等は掃除する。		都度
	② 洗浄管の詰まりの有無を点検する。		都度
	③ 弁を操作して排水状態の良否を点検する。排水不良の場合は調整する。		都度
	④ 弁を操作してピストン及びハンドルノブの作動の良否を点検する。作動不良の場合は修理する。		都度
	⑤ 逆流防止器の空気取入口の詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は掃除する。		都度
	⑥ 水圧及び吐出時間の良否を点検する。水圧等適当でない場合は調整する。		都度
	⑦ ボールタップの作動の良否を点検する。不良の場合は調整する。		都度
13. その他設備			
a. 給水管、排水管 ガス管他	① 配管の漏れ、結露の有無を確認する。漏れ等がある場合は調査し、応急処置を行う。		都度
	② 塗装の剥離、損傷等の劣化の有無を点検する。剥離の場合は補修し、損傷の場合は		都度

	調査報告する。		
	③ 保温材等の損傷、劣化等の有無を点検する。損傷がある場合補修する。		都度
b. 伸縮継手	① 作動状態を確認する。作動不良の場合は調整する。		都度
	② 漏れ、亀裂、損傷等がないか点検する。漏れがある場合は応急処置し報告する。		都度
c. 弁類	① 開閉の開閉状態の確認及び開閉の良否を点検する。開閉不良の場合は調整する。		都度
	② 漏れ、亀裂、損傷等がないか点検する。漏れがある場合は応急処置し報告する。		都度
d. 減圧弁	① 圧力計により作動の良否を確認する。作動不良の場合は調整する。		都度
	② 腐食、損傷等の有無を点検する。		都度
e. 支持金物	① 緩み、腐食、損傷、変形等の劣化の有無を点検する。緩みがある場合は増締めをする。		都度
	② 可動部分を有するものにあつては作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。		都度
f. 排水管の詰まり	① 詰まり、漏れ等ないか点検する。詰まりがある場合は薬剤等を用いて修理する。		都度
g. SPアラーム弁	① P S内のアラーム弁、バルブの状態を確認する	1 W	

第5節 その他機器

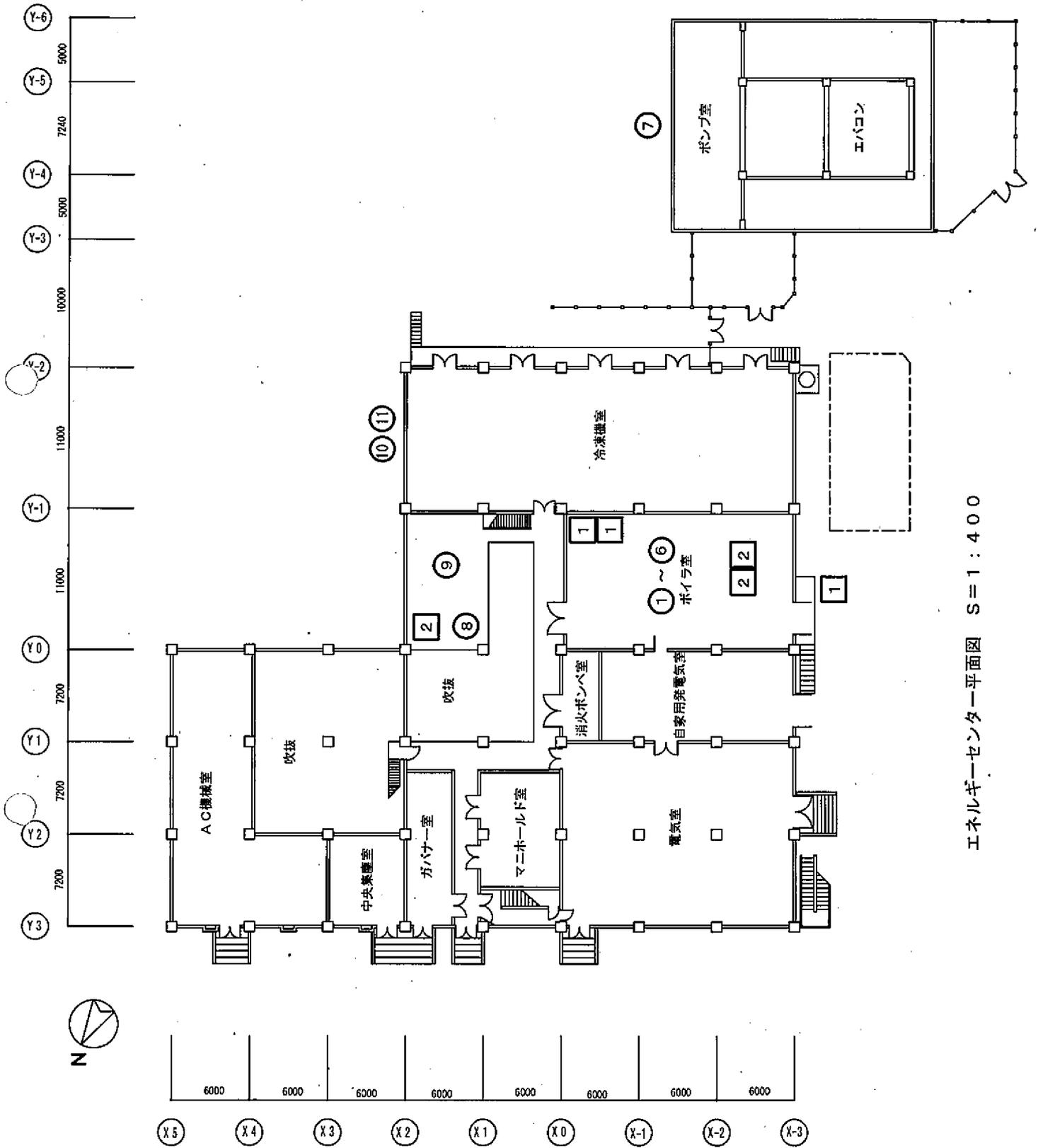
(1)
その他機器

(a) その他機器の点検項目及び点検内容・周期は、表(1)による。

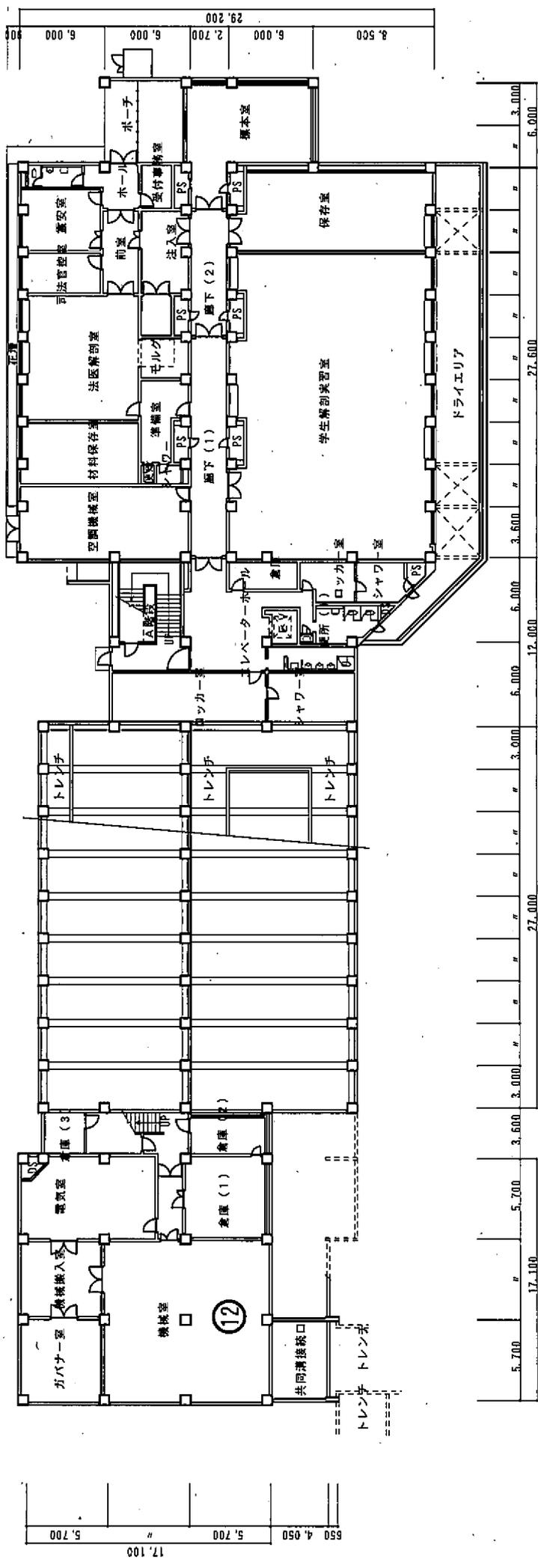
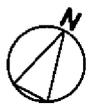
表(1) その他機器

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 動力制御盤 操作盤（機械関係）	① 盤の汚れ、発錆、損傷等の点検を行う。 除去又は補修する。	1 M	
	② 盤内の湿気、塵埃、異温、異臭、発熱、 振動の点検を行う。異常がある場合は調査 する。	1 M	
	③ マグネットスイッチ等の接点の摩耗、損傷または 異音の点検をする。不良の場合は取替える。	1 M	
	④ 端子、接続部、機器等に緩みがないか点 検する。緩みがある場合増締めする。	1 Y	
	⑤ 盤内の清掃を行う。	1 Y	
2. 実験用小型 ベピコン（レシプロ コンプレッサー）	① 空気タンクのドレン抜きをする。	1 W	
	② アンローダの作動圧力確認をする。	1 W	
	③ 安全弁の作動確認を行う	1 W	
	④ 異常音、異常振動等の点検を行う。	1 W	
	⑤ ボルト、ナット、ネジ類の緩みの有無を 点検する。	1 M	
	⑥ Vベルトの点検をする。	1 M	
	⑦ 吸込フィルターの点検清掃をする。	1 M	
	⑧ 圧縮空気の漏れの有無を点検する。	1 M	
3. 共同溝・PS・DS 等配管配線	① 各種配管の漏れ、保温材等の破損、損傷 等がないか目視点検する。漏れ等がある場 合は応急処置後報告する。	1 M	
	② 塵埃、発錆、腐食等の点検をする。錆等 が著しい場合は報告する。	1 M	
	③ 制御線等の配管配線に異常がないか点検 する、異常がある場合は報告する。	1 Y	
	④ 支持金物等の取付状態の目視点検をす る。異常がある場合は補修する。	1 M	
4. 手洗い水装置 (病棟4階西・8階東)	① ソリューションボトル取替の注意警報ラ ンプが表示したら取替えを行う。		都度
	② 現在時刻のズレを確認・記録後に時刻修 正を行う。	6 M	
5. 飲料水の水質検査	① 簡易検査を行う。 水質基準に関する省令定める方法又はこ れと同等以上の精度を有する方法で検査 する 臭気 : 基準 5度以下	1 D	

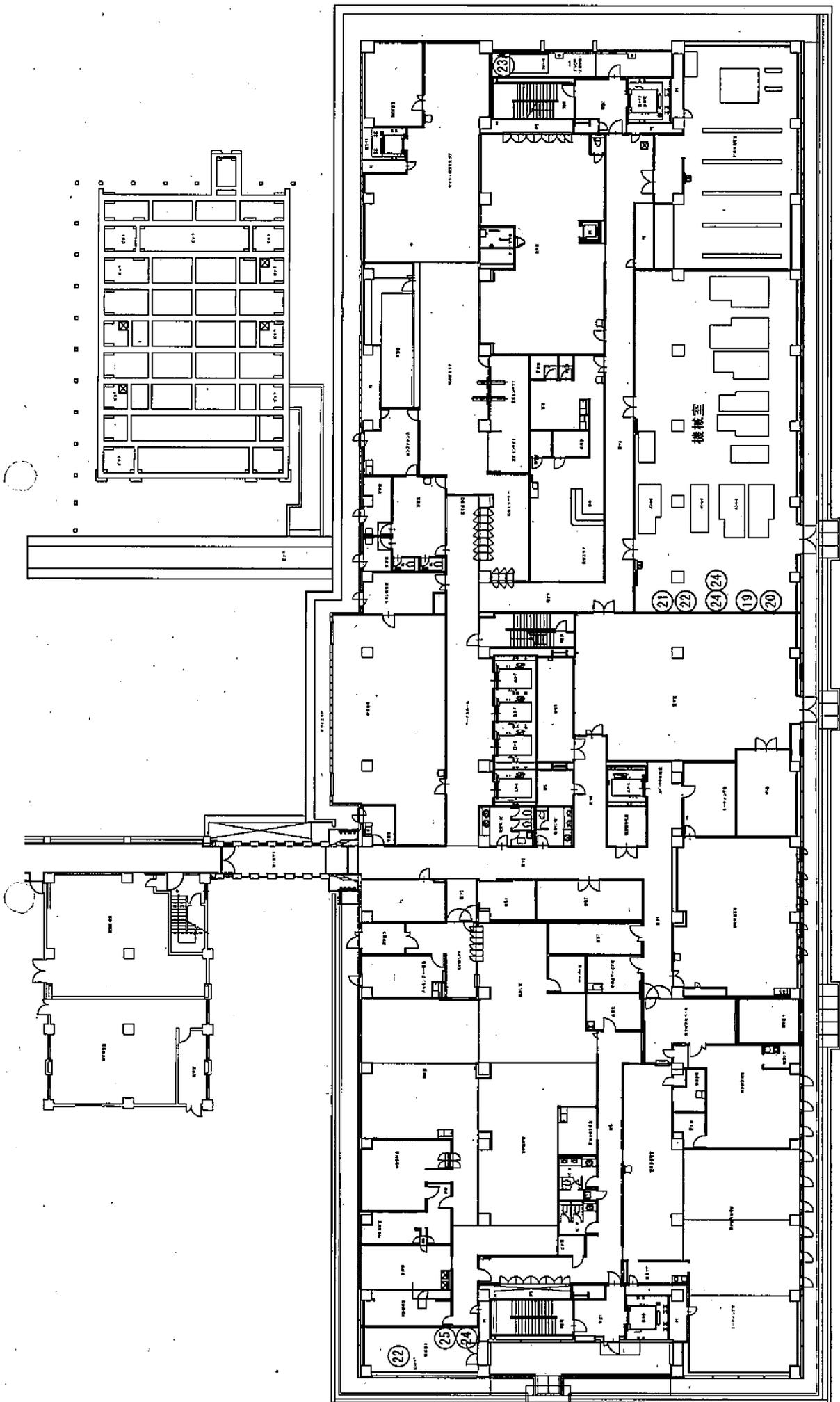
	味 : 基準 2度以下 色度 : 基準 異常でないこと。 ただし、消毒によるものを除く 濁度 : 基準 異常でないこと。 ただし、消毒によるものを除く ② 残留塩素濃度を測定する。 電流法、吸光光度法又は比色法 (DPD) 法で 測定する。 基準 0.1ppm以上	1 W	専用水道は1 Dとする。
6. 下水道放流水の 水質検査	① PHを測定する。 規定値 PH5.7~8.7	1 D	
	② 水温を測定する。	1 D	
7. その他	① 停電作業等における、諸設備の運転確認 及び調整等を行う。		都度
	② 屋外の排水ます、マンホール等の破損、 損傷等の有無を確認する。	1 Y	



エネルギーセンター平面図 S=1:400

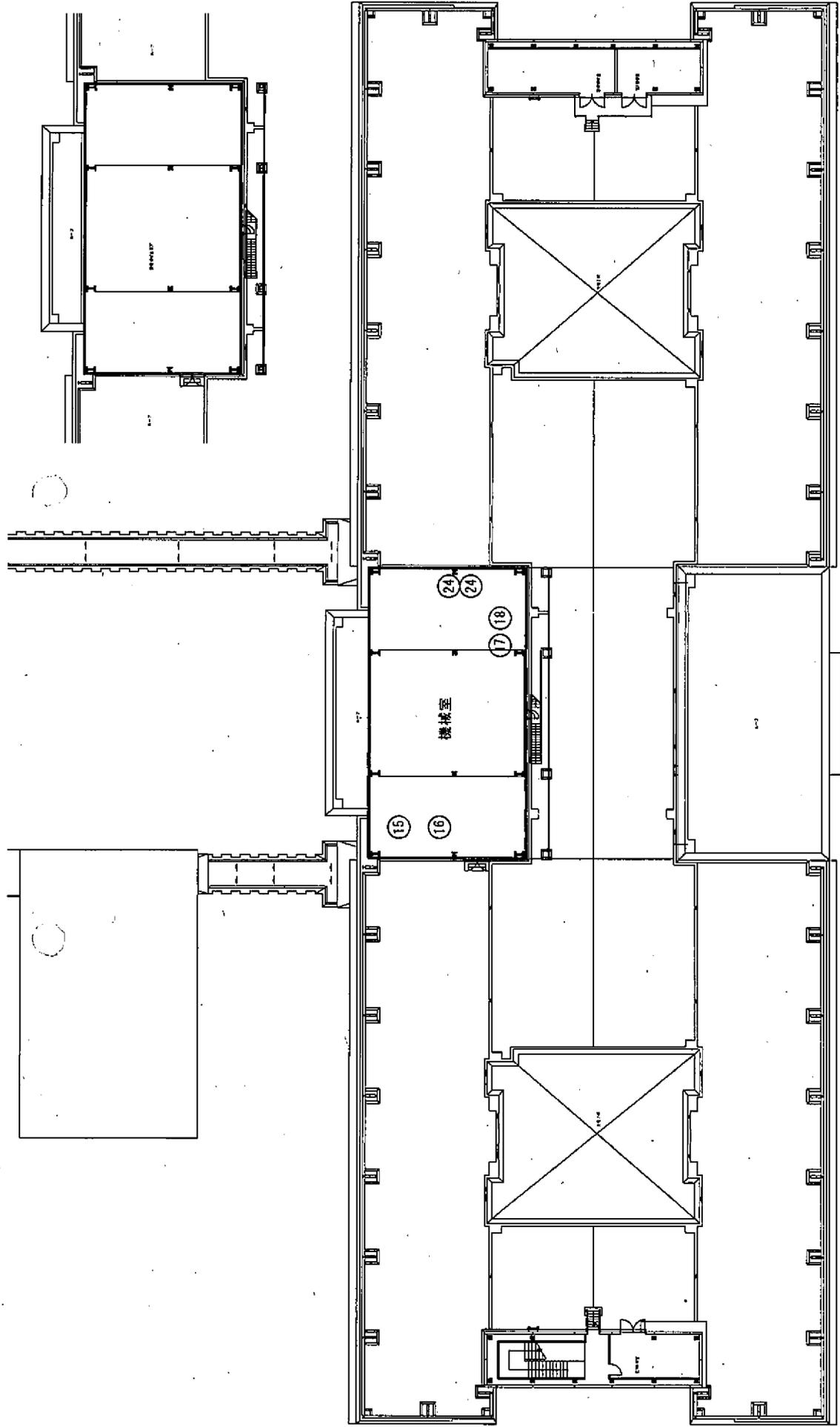


講義実習棟 B 1 階平面図 S=1/400



附属病院棟 地下1階平面図

24	軟水装置	その他機器
19, 20	貯湯槽	
21, 22	蒸気発生器	



附属病院病棟 9階・屋上平面図

18	(19)	貯湯槽
24		軟水装置
20	(21)	蒸気発生器
		その他

3.4 監視制御設備

3.4.1 業務対象設備

3.4.(A) 業務対象設備の概要による。

3.4.2 日常点検・保守の範囲

3.4.(B) 業務要領 監視制御設備による。

3.4.3 その他

3.4. (A) 業務対象設備の概要（監視制御設備）

設備名	番号	機器名称	内容	容	外来線	病棟	工ホ ル セ ン タ ー	講義 実習 棟	基礎 臨床 研究 棟	臨床 研究 棟 別館	R I 動物 実験 施設	福利 施設	図書 棟	臨床 講義 棟	看護 師 宿舎	体育 館	医療 物理 センター	MRI- CT 装置	PET- CT 棟	中央 診療 棟	看護 学科 棟	フォソ 研究 棟	サイ クロ トロン 棟	特 高 変 電 所	工ホ ル セ ン タ ー 機 室	共 同 溝	合計	運転期間	運転時間	
電 気 監 視 制 御 設 備	1	中央監視装置 CRT,アリカ-も含む (BULLDAC-G40)	中央処理装置 (BULLDAC-G40) 大型液晶モニター				○																				一式	通年	24時間	
	2	レ-ドバック装置	分電盤				1																				1台	通年	24時間	
	3	幹線	インターフェース盤				1																				1面	通年	24時間	
	4	無停電電源装置	データ管理装置 (BMS)				1																				1組	通年	24時間	
	5	通信検針装置	RS盤		2	2	4	1	1	1	1	1	1												3		18面	通年	24時間	
機 械 監 視 制 御 設 備	1	中央監視装置 CRT,アリカ-も含む	中央処理装置(NCU) Isavie-nc(FX)				○																					一式	通年	24時間
	2	レ-ドバック装置	インターフェース盤 (CPU)				2																				2面	通年	24時間	
	3	幹線	サブセントラルユニット (SCU)				2																				2面	通年	24時間	
	4	無停電電源装置	データ管理装置				1																				1組	通年	24時間	
	5	通信検針装置	RS盤		18	10	12	3	7	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			72面	通年	24時間	
電 気 監 視 制 御 設 備	1	中央監視装置 CRT,アリカ-も含む	中央処理装置(NCU) Isavie-nc(FX)				○																					1	通年	24時間
	2	レ-ドバック装置	データ管理装置 (BMS)		17	23	13	12	1	7	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			77面	通年	24時間	
	3	幹線	RS盤		4																						4面	通年	24時間	
電 気 監 視 制 御 設 備	1	中央監視装置 CRT,アリカ-も含む	中央処理装置(NCU) Isavie-nc(FX)				○																					1	通年	24時間
	2	無停電電源装置	配管、配線及び 支持金具等を含む 3kVA				1																				1組	通年	24時間	

3.4. (B) 業務要領 監視制御設備

第1節 中央監視制御設備

(1)

中央監視制御装置

中央監視制御装置（電気、機械共）の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 中央監視制御装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 監視制御機器	① 異常音、異臭、異常振動、異常発熱等の有無を点検する。	1 D	
	② キーボード、マウス等の作動の確認を行う。		
	③ ディスプレイの表示の異常の有無を点検する。	1 D	
	④ プリンタの用紙量・印字確認、インク残量等の点検を行う。	1 D	
2. 無停電電源装置 a. 整流装置・インバーター装置	① 汚れ、損傷、過熱等の温度上昇及び変形、異常音、異臭、腐食等の有無を点検する。	1 W	
	② 各計器の指示値を確認する。	1 W	
	③ 表示灯類の点灯状態を確認する。	1 W	
b. 蓄電池	① 蓄電池の損傷、液漏れ、汚損等の有無を点検する。	1 W	
	② 蓄電池の総出力電圧を確認する。	1 W	

(2)

空気源装置

空気源装置の点検項目及び点検内容は、表(2)による。

表(2) 空気源装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 空気源装置 a. 本体	① 油面、油圧、油温が適正か点検をする。適正でない場合は補給等する。	1 D	
	② 油漏れの点検を行う。漏れがある場合は修理報告する。	1 D	
	③ 異音、異常振動等がないか点検する。異音等がある場合は調査する。	1 D	
	④ 規定電流及び運転時間等の確認をする。異常がある場合は調査する。	1 D	
	⑤ 配管等の空気漏れがないか点検する。（機械室のみ）	1 W	
	⑥ ドレントラップの点検及び排出の確認をする。異常がある場合は修理する。	1 D	
	⑦ 各フィルターの異常の有無を確認する異常が表示されたら清掃及び取替えをする。	1 D	
	⑧ 装置の汚れ、破損、損傷等の有無を点検する。汚れ等の場合は掃除する。	1 D	
	⑨ 冷却水の電動弁及び水質の点検確認をする。	1 W	

	⑩ 冷却水の圧力、温度、流量が正常であるか確認する。	1 D
	⑪ 計器盤 (CPE-5) の点検をする。	1 D
	⑫ 空気圧力が規定値で発停するか確認する。	1 D
	⑬ 電気制御、機器等に異常がないか点検する。	1 M
b. 空気タンク	① 空気圧力が規定範囲となっていることを確認する。規定範囲外の場合は調査する。	1 D
	② タンク内のドレン抜きを行う。	1 M
	③ 空気漏れ等の外観点検を行う。	1 M
c. 除湿器	① 本体に汚れ、損傷、破損等がないか点検する。汚れ等軽微な場合は補修する。	1 D
	② 圧力、温度に異常がないか確認する。異常がある場合は調査する。	1 D
	③ ドレントラップの動作状態を確認する。動作不良の場合は修理する。	1 D
	④ 空気漏れがないか確認する。	1 D

3.5 医療ガス設備

3.5.1 業務対象設備

3.5(A) 業務対象設備の概要による。

3.5.2 日常点検・保守の範囲

3.5(B) 業務要領 医療ガス設備による。

3.5.3 その他

3.5 医療ガス設備

3.5 (A) 業務対象設備の概要

医療ガス設備

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	運転期間	運転時間
エバコン	医療ガス設備	液化酸素タンク 5,000ℓ	2基	通年	24時間
エバコン	医療ガス設備	液化窒素タンク 5,000ℓ	1基	通年	24時間
エバコン	医療ガス設備	人工空気製造装置	1式	通年	24時間
エネセン マニホールド室	医療ガス設備	圧縮空気供給装置	1式	通年	24時間
エネセン マニホールド室	医療ガス設備	緊急用空気供給装置	1式	通年	24時間
エネセン マニホールド室	医療ガス設備	酸素供給装置	1式	通年	24時間
エネセン マニホールド室	医療ガス設備	窒素供給装置	1式	通年	24時間
エネセン 中央集塵機室	医療ガス設備	吸引装置	1式	通年	24時間
エネセン 中央監視室	医療ガス設備	警報盤	2箇所	通年	24時間
病棟地下1階 機械室	医療ガス設備	二酸化炭素供給装置	1式	通年	24時間

医療ガス設備 (実習用)

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	運転期間	運転時間
看護学科棟 1階機械室	医療ガス設備	酸素供給装置	1式	通年	24時間
看護学科棟 1階機械室	医療ガス設備	圧縮空気供給装置	1式	通年	24時間
看護学科棟 1階機械室	医療ガス設備	吸引装置	1式	通年	24時間

高圧ガス設備

設置場所	設備名称	設備概要等	数量	運転期間	運転時間
基礎臨床研究棟 B5階屋外	高圧ガス設備	液化窒素タンク 5,000ℓ	1基	通年	24時間

3.5 (B) 業務要領 医療ガス設備

第1節 医療ガス

(1)

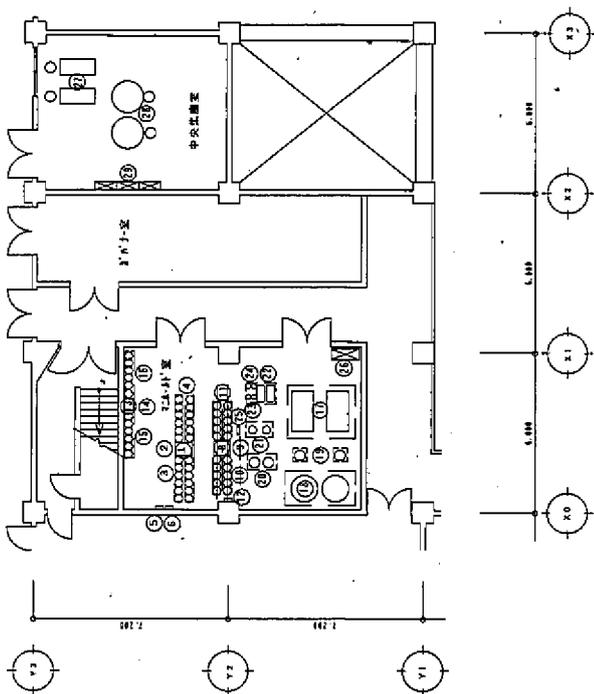
医療ガス

医療ガスの点検項目及び点検内容は、表(1)による。

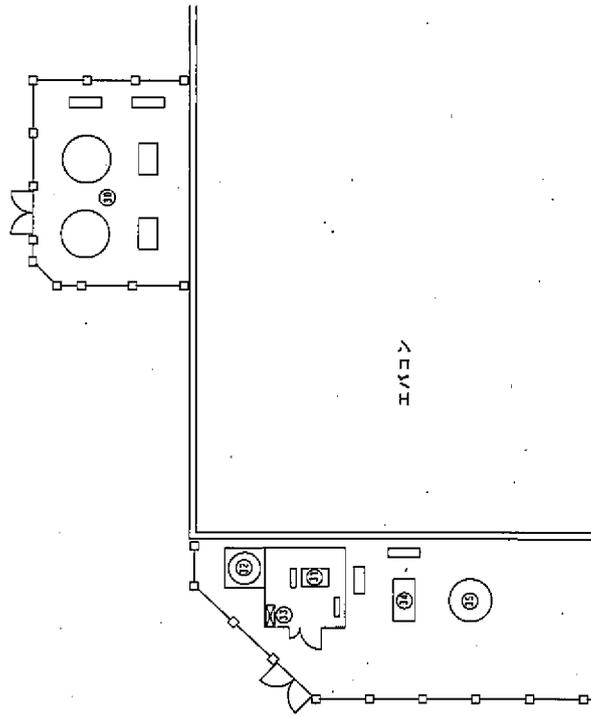
表(1) 医療用ガス

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 警報表示盤	1) 監視盤、制御盤の監視、損傷等点検	1 D	
2. 酸素・窒素・空気 炭酸ガスマニホールド	1) 弁には常時の開閉状態の表示がされていること。	1 D	
	2) 各機器においてガス漏れの音がしないこと。	1 D	
	3) 圧力計及び液面計の指示値が正常範囲内であること。酸素ガスにあっては、他のガスより送気配管圧力が30kPa(約0.3kgf/cm ²)程度高くなっていること。	1 D	
	4) 警報装置の表示灯に損傷がないこと。	1 D	
	5) 連結導管にねじれ、凹み及び折れがないこと。	1 D	
	6) 高圧ガス容器の転倒又は移動防止装置に緩みなどの異常がないこと。	1 D	
	7) ガスの残量が充分であることを圧力計等で確認する。	1 D	
	8) 予備酸素ポンペ元圧(左右)測定	1 D	
	9) 酸素二次圧測定	1 D	
	10) 予備窒素ポンペ元圧(左右)測定	1 D	
	11) 窒素二次圧測定	1 D	
	12) 炭酸ガスポンペ元圧(左右)測定	1 D	
	13) 炭酸ガス二次圧測定	1 D	
3. 吸引装置	1) 弁には常時の開閉状態の表示がされていること。	1 D	
	2) 起動及び停止の機能に異常がないこと。	1 D	
	3) 運転中の異常音及び異常振動がないこと。	1 D	
	4) 電流計、電圧計等の計器類の指示値が正常範囲内であること。	1 D	
	5) 吸引タンク圧測定	1 D	
4. 圧縮空気供給装置	1) 弁には常時の開閉状態の表示がされていること。	1 D	
	2) 起動及び停止の機能に異常がないこと。	1 D	
	3) 運転中の異常音及び異常振動がないこと。	1 D	
	4) 電流計、電圧計等の計器類の指示値が正常範囲内であること。	1 D	
	5) コンプレッサー、アフタークーラー等にドレンが溜まっていないこと。	1 D	溜まっている場合は排水する。
	6) ミクロフィルターの切り替えを行う。	2/M	
	14) 空気タンク元圧測定	1 D	
	15) 圧空二次圧測定	1 D	
	16) ドレンセパレーターコンプレッサー水抜き	1 D	
	17) 除湿機の点検	1 D	

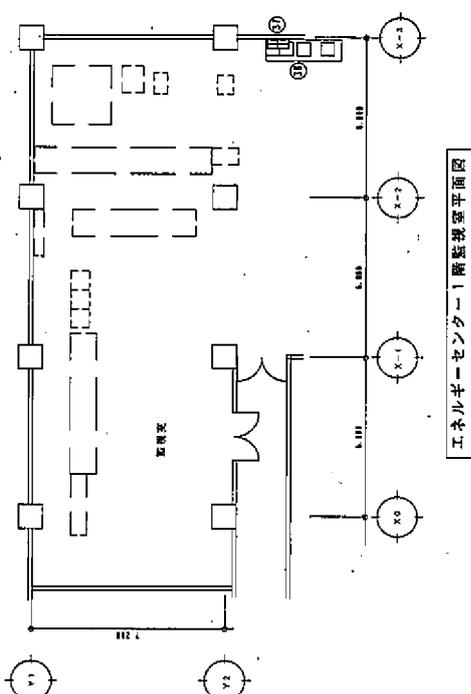
点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
人工空気供給装置	20) 4階余剰ガスブローア-運転状態の点検	1D	
	1) 弁には常時の開閉状態の表示がされていること。	1D	
	2) 各機器においてガス漏れの音がしないこと。	1D	
	27) 混合装置の外観等点検	1D	
	28) 電磁弁類の作動状況確認	1D	
	32) 監視盤類の外観点検	1D	
	34) 記録計の点検	1D	
	35) 空気タンク等の外観点検	1D	
	36) 人工空気二次圧測定	1D	
	29) 人工空気圧力測定	3/D	
	30) 酸素濃度の確認	3/D	
	31) サンプリガ' 流量確認	3/D	
	33) 監視盤類の酸素濃度の確認	3/D	
液体酸素・液体窒素 タンク	1) タンク圧力測定(貯槽、蒸発器、ライン往)	3/D	
	2) タンク液量点検	3/D	
	3) タンク貯槽のガス漏れ点検	3/D	
	4) タンク弁類の開閉状態、外観点検	3/D	
	6) タンク蒸発器のガス漏れ点検	3/D	
	7) タンク電源ボックス、消火器の有無 周囲の状況の点検	1D	
	2) 1) 液化ガスの搬入立会い		都度
	8) 液化ガスローリ-番号記録		都度
	9) タンク液化ガス充填作業時間記録		都度
	10) タンク圧力、液量、受入量記録		都度



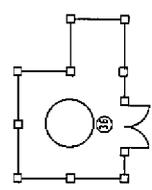
エネルギーセンター地下1階平面図



エネルギーセンター-脱化酸素受入装置、人工空気供給装置配置図

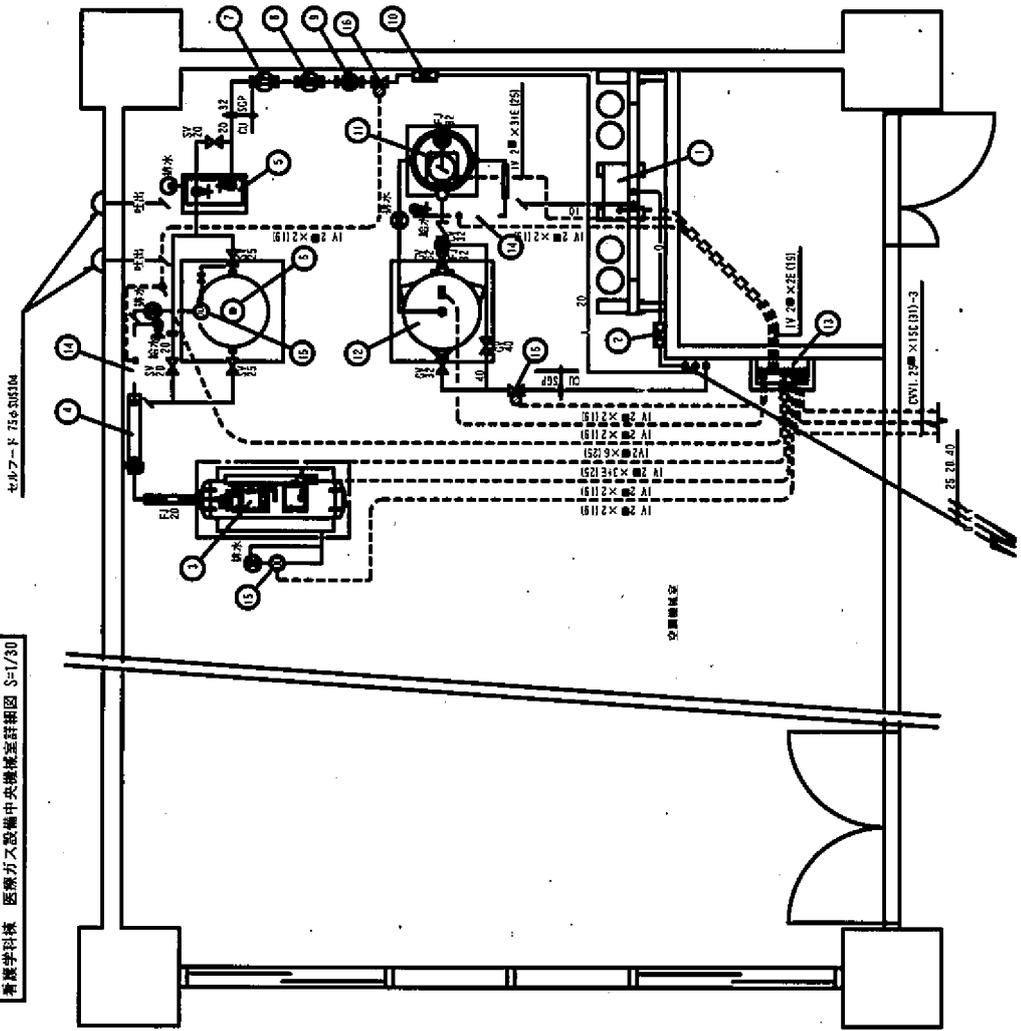


エネルギーセンター1階監視室平面図



脱化酸素受入装置配置図

図号	番号	名称(略称)	数量	備考
暖房ライン	①	切換装置パネル(自動切換装置付)	1個	暖房供給装置
	②	高圧バルブ	2ヶ	
	③	遮断弁	2ヶ	
	④	遮断弁	2ヶ	
水素ライン	⑤	遮断弁付分岐DN150	1ヶ	水素ガス供給装置
	⑥	予備用遮断弁付DN150	1ヶ	
	⑦	切換装置パネル(自動切換装置付)	2個	
	⑧	高圧バルブ	2ヶ	
暖房ライン	⑨	切換装置パネル(自動切換装置付)	1個	暖房ガス供給装置
	⑩	高圧バルブ	2ヶ	
	⑪	遮断弁	1ヶ	
	⑫	遮断弁	1ヶ	
圧縮空気ライン	⑬	コンプレッサー	2台	1.5kW
	⑭	リザーバタンク	2基	容量 1000L
	⑮	空冷ファンタター	2台	
	⑯	乾燥フィルター	2台	
圧縮空気ライン	⑰	乾燥機	2台	
	⑱	調整弁	2ヶ	
	⑲	オイルフィルター	2ヶ	異質フィルター付
	⑳	制御盤	1ヶ	
吸引ライン	㉑	吸引ポンプ	2台	1.5kW
	㉒	吸引タンク	2基	容量 1000L
	㉓	制御盤	1個	
	㉔	液相酸素受入装置	2式	5000L 耐腐蝕タンク
液相タンク	㉕	人工空気供給装置	1式	耐腐蝕タンク
	㉖	パワータンク	1基	2000L
	㉗	蒸気器	1台	
	㉘	液相酸素受入装置	1式	5000L 耐腐蝕タンク
中央監視	㉙	液相酸素受入装置	1式	2500L 耐腐蝕タンク
	㉚	医療ガス監視モニター	1面	
	㉛	医療ガス中央監視装置	1式	MDL-CEL-700F、RGR-005等
	㉜			



医療ガス設備機器表

番号	名称	仕様	メーカー
1	メインコンプレッサー	1号機 1φ×100×20 全自動式	
2	メインシヤットオフバルブ	標準用 25φ	
3	コンプレッサー	オイルフリー 吐出流量 150L/min 3φ×200×1.5m 圧力開閉付式 防塵構造付	
4	アーククーラー	水冷式 処理空気量 400L/min 冷却水量 3L/min	
5	エアードライヤー	冷凍式 処理空気量 350L/min 1φ×100×0.87m	
6	空気レシーバータンク	300L	
7	エアフィルター	名産機 0.3μm	
8	調圧フィルター	名産機 0.01μm	
9	減圧弁	USA	
10	メインシヤットオフバルブ	標準用 20φ	
11	吸引ポンプ	水射式 吐出流量 50L/min (50mmHg時) 3φ×200×1.5m	
12	吸引タンク	300L	
13	空気・吸引設備		
14	自來水配管	バルブ15A×1.5m ストレーナー15A×1.5m 電磁弁15A×1	
15	エアードレントラップ	電子式×200φ	
16	調圧弁	電子式×200φ	

4. 防災センター監視

4.1 監視の範囲

国立大学法人浜松医科大学自衛消防組織として、防災マニュアルに基づき防災センター(エネルギーセンター1階監視室)に設置されている防災総合操作盤、昇降機設備集中監視盤及び地震速報装置の監視を行う。

各監視盤等より火災等の警報が発生した場合は、守衛(扉の鍵を管理)と連携し、現場を確認し、通報連絡、避難誘導、初期消火及び各監視盤等の操作を行う。

業務対象建物は、4.1(A)業務対象建物による。防災総合操作盤にて監視されていない構内の建物においても、使用者より要請があった場合は、対応することとする。

4.2 監視の報告

防災センター監視において火災等の警報が発生した場合は、防災センター監視業務における警報等のフローチャート(別紙1)に基づいて迅速に対応することとする。

4.3 業務報告書

業務完了後に次の書類を電子媒体(CD-Rに保存)及び紙媒体(ファイル綴じ)にてそれぞれ 1 部提出する。

- ・業務報告書
- ・監視記録

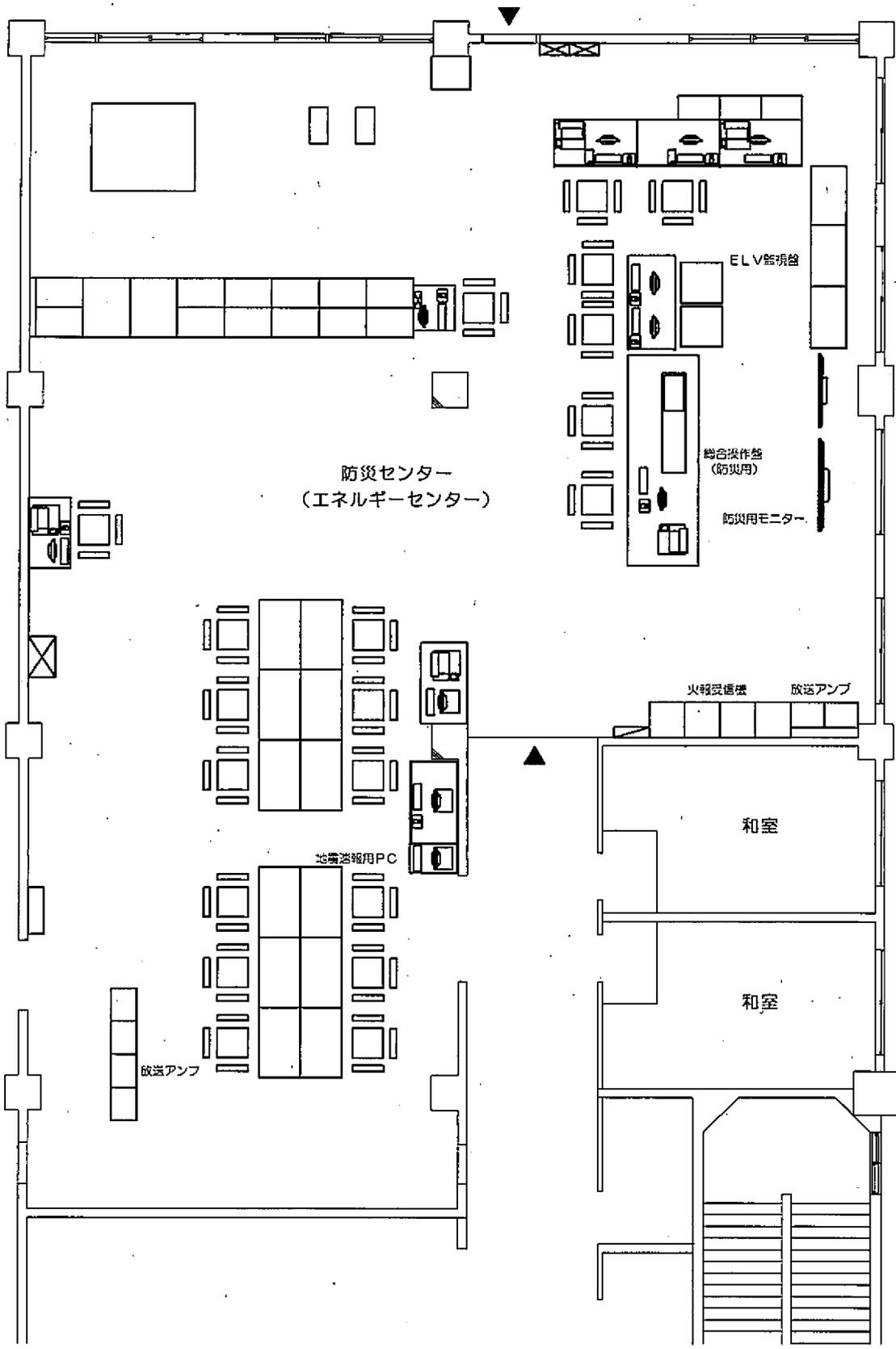
書式は、受注者の業務報告書とする。

4. 防災センター監視

4.1 (A) 業務対象建物

番号	棟名称	番号	棟名称	番号	棟名称
1	外来棟	19	看護師宿舎	39	サイクロトロン棟
2	MRI-CT装置棟	20	師長棟	40	PET-CT棟
	連絡通路	21	教職員宿泊所	41	課外活動施設
3	中央診療棟	22	国際交流会館	42	総合人間科学・基礎研究棟
	渡り廊下	23	薬草園温室		
4	基礎臨床研究棟	24	立体駐車場 (職員用)		
5	臨床研究棟(別館)	25	弓道場		
6	エネルギーセンター	26	危険物薬品庫		
7	講義実習棟	27	フォトン研究棟		
8	看護学科棟	28	ゴミ置き場		
9	RI動物実験施設	29	探索的臨床研究施設		
10	福利施設棟	30	ボンベ庫		
11	附属図書館	31	保育所		
12	管理棟	32	看護師更衣室		
13	臨床講義棟	33	特高変電所		
14	体育館	34	病棟		
15	武道館	35	倉庫(旧特高変電所)		
16	水泳プール更衣室	36	エバコン		
17	廃液処理施設	37	防災倉庫		
18	廃水処理施設分析室	38	立体駐車場 (患者用)		

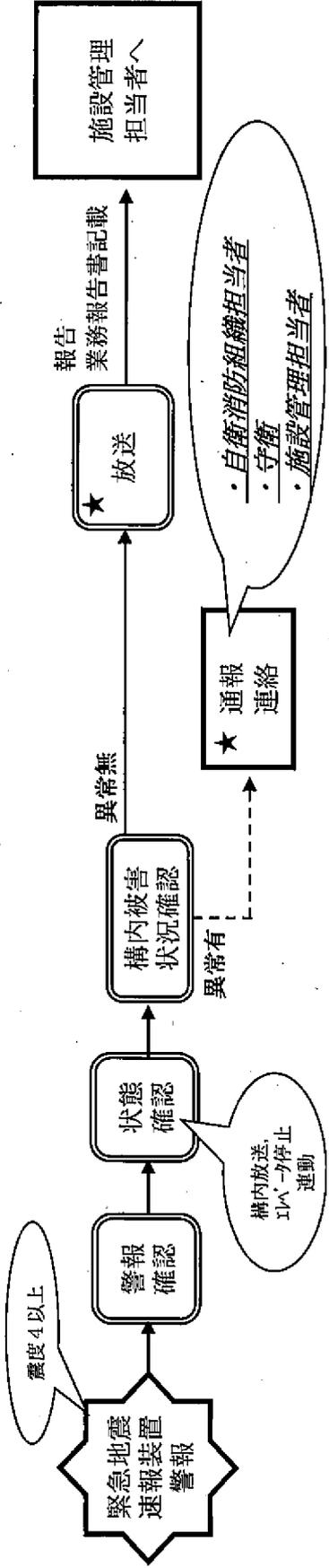
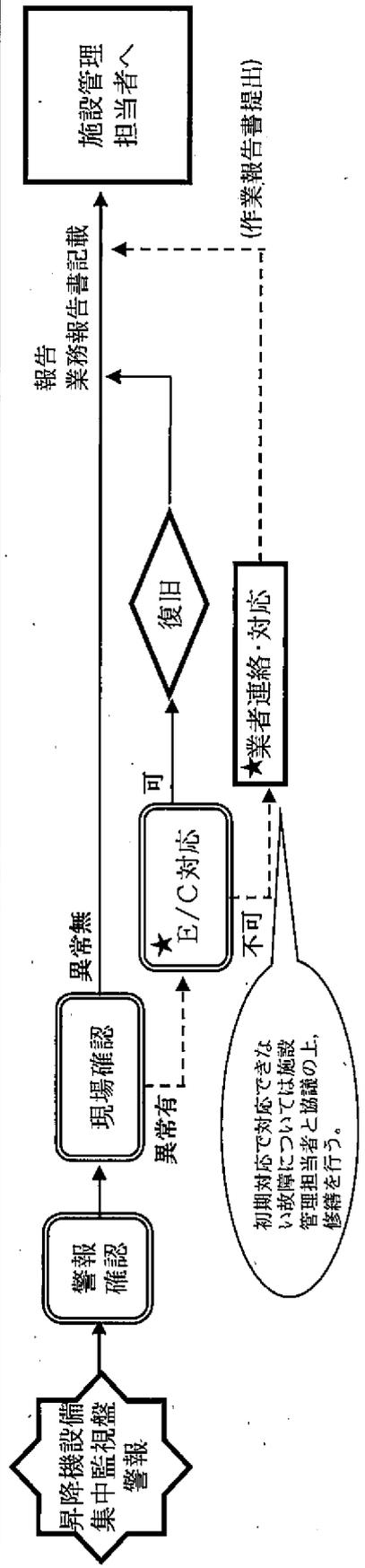
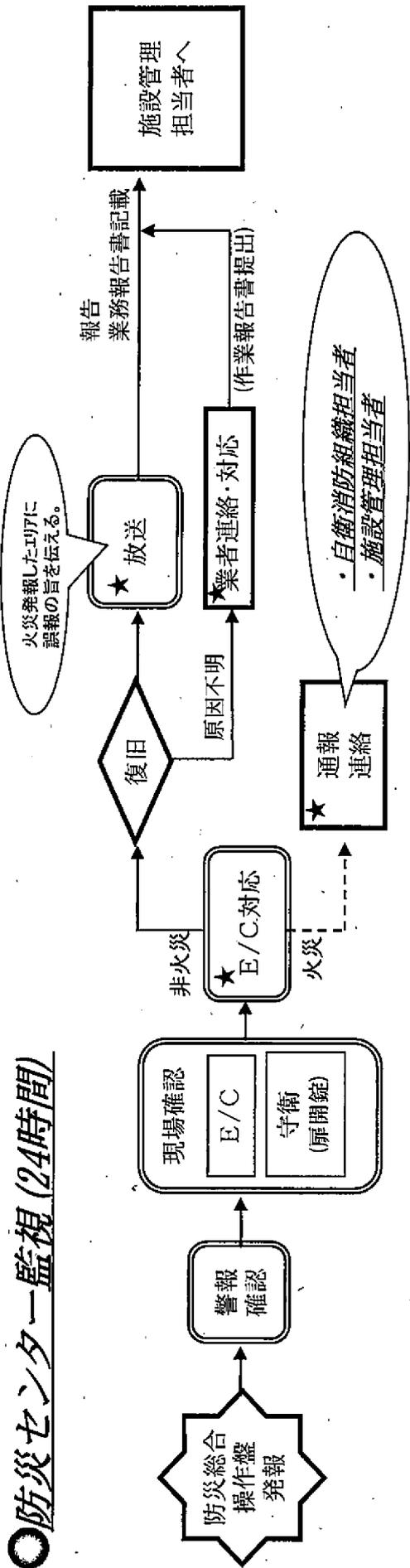
防災センター配置図



防災センター監視業務における警報等のフローチャート

※例えば、セカ-要員をE/Cと表記。
 ★使用者側に状況説明、結果報告を行う。

○防災センター監視(24時間)



IV. 定期点検等及び保守

1. 一般共通事項

1.1 業務の条件

- 1) 定期点検等及び保守業務において、下記設備の業務については、製造者又は製造者が認める技術者(以下「製造者等」という。)等が行うこととする。
- ① 自動扉閉鎖装置
 - ② 地震計、免震装置
 - ③ 受変電設備(特別高圧設備、高圧遮断器、高圧真空接触器等)
 - ④ 発電設備
 - ⑤ 静止形電源設備
 - ⑥ 入退出管理設備
 - ⑦ 監視制御設備
 - ⑧ 温熱源機器(ボイラ、純水製造装置、小型給湯ボイラ)
 - ⑨ 冷熱源機器(フリングユニット、ガス吸収式冷温水機《ガス重油併用》、ガス吸収式冷温水発生機)
 - ⑩ 空気調和等関連機器
(クリーンファンユニット、垂直層流型無菌病室ユニット、水冷ヒートポンプ付ファンコイルユニット、液式調湿空調機)
※フィルター清掃については、その限りではないこととする。
 - ⑪ 給排水衛生機器(手洗い水装置、雑用水ろ過装置)
 - ⑫ 昇降機
 - ⑬ 気送管設備
 - ⑭ 小型搬送設備
 - ⑮ 高圧蒸気滅菌装置
 - ⑯ 衛生害虫防除(→建築物ねずみ昆虫等防除業登録事業所とすること。)
- 2) 定期点検等及び保守業務を行う各種設備において、不具合が発生した場合は、初期対応(原因調査など)も本業務に含むこととする。
- 3) 定期点検等及び保守業務を行う者は、運転監視、日常点検・保守及び防災センター監視業務を行う者と兼務してはいけないこととする。

1.2 定期点検等及び保守の周期表記

定期点検等及び保守の周期の表記は、下記による。

- ① 「1W」は、1週ごとに行うものとする。
- ② 「2W」は、2週ごとに行うものとする。
- ③ 「1M」は、1月ごとに行うものとする。
- ④ 「2M」は、2月ごとに行うものとする。
- ⑤ 「3M」は、3月ごとに行うものとする。
- ⑥ 「4M」は、4月ごとに行うものとする。
- ⑦ 「6M」は、6月ごとに行うものとする。
- ⑧ 「2/Y」は、1年に2回行うものとする。
- ⑨ 「1Y」は、1年ごとに行うものとする。
- ⑩ 「2Y」は、2年ごとに行うものとする。
- ⑪ 「3Y」は、3年ごとに行うものとする。
- ⑫ 「5Y」は、5年ごとに行うものとする。
- ⑬ 「6Y」は、6年ごとに行うものとする。
- ⑭ 「10Y」は、10年ごとに行うものとする。
- ⑮ 「15Y」は、15年ごとに行うものとする。

なお、定期点検等及び保守の実施時期は、「定期点検等及び保守 年間スケジュール（案）」（資料1）を基に実施することとする。

1.3 支給材料

定期点検の業務に必要な器材及び消耗品等は、受注者負担とする。

1.4 業務報告会の開催

定期点検等及び保守の業務完了後、必要に応じて報告会を開催することとする。なお、点検結果に緊急性のある不良箇所及び内容がある場合は、速やかに施設管理担当者に報告をすることとする。

1.5 その他

定期点検等及び保守 年間スケジュール(案)その1

資料1

点検日程を示す

No.	設備	製造業者	点検等実施時期(月)												備考(特記)
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
◆建築															
	建築														
	自動扉開閉装置保守点検	ナコンシステム㈱	●												
	〃	寺岡オートシステム㈱	●												
	〃	トリム名古屋㈱	●												
	地震計保守点検	㈱サイスマック													H26年度実施(3年1回点検)
◆電気設備															
	特高受変電設備点検	㈱東芝													停電作業【休日】 ※1
	非常用発電機設備保守点検	㈱アール													実負荷運転 ※1
	常用・非常用兼用発電機設備保守点検	㈱アール													
	配電設備等点検(VCB点検共)	東芝㈱・三菱電機㈱													停電作業【休日】 ※1
	静止型直流電源装置点検	㈱GS37チ・古河電池㈱													
	交流無停電電源装置点検	㈱東芝・三菱電機㈱													
	入退室管理設備保守点検	三菱電機㈱													
	監視カメラ設備保守点検														
	アイソレーション設備保守点検	セントラルユニー													
	地下タンク貯蔵所点検														H26年度実施(3年1回点検)
◆機械設備															
	貫流ボイラ保守点検	㈱サムソン													
	純水製造装置	アクアス㈱・栗田工業㈱													
	圧力容器設備保守点検														性能検査【期限内に】
	小型給湯ボイラ	三浦工業㈱・㈱厨林堂													
	ガス吸収式冷温水発生機設備点検(R-2)	パナソニック㈱													冷暖房シーズンオフ
	ガス吸収式冷温水発生機設備点検(R-5)	テクノ矢崎㈱													冷暖房シーズンオフ
	チリングユニット保守点検(講義実習棟)	三菱電機㈱													冷暖房シーズン
	チリングユニット保守点検(RI動物実験施設)	日立													
	煤煙測定(ボイラ、エンジン、冷温水)														
	空調吹出・吸込口、PAC・ファンコイルフィルター清掃														
	クリーンファンユニット(無菌病室ユニット含む)保守点検	㈱アイソテック													
	外気ヒートポンプファンコイルユニット保守点検	日本ビーマック㈱													H25年度のみ点検対象外
	液式調湿空調機	ダイナエア㈱													H25年度のみ点検対象外
	パッケージエアコン保守点検	ダイキン・三菱電機・日立等													
	病棟手洗い水装置保守点検	大研医器㈱													
	受水槽(市水系統)清掃														
	受水槽(雑用水系統)清掃														H26年度実施(3年1回点検)
	雑用水ろ過装置保守点検														
	水質検査(飲料水)														
	水質検査(レジオネラ菌類)														
	水質検査(灌漑)														
	水質検査(冷却水・冷温水)														
	水質検査(観測井)														
	水質検査(排水)														
	エネン水槽清掃?														
◆監視制御															
	中央監視設備点検	㈱東芝													
	空調制御装置等保守点検	アズビル㈱													
◆防災設備															
	消防用設備等保守点検														
	消火器点検														
	建築物定期調査														H26年度実施(2年1回点検)
	免震装置定期点検														H26年度実施(5年1回点検)
	建築設備定期検査														
◆昇降機設備															
	昇降機設備保守点検	東芝エレベーター㈱	●												性能検査【期限内に実施】
	〃	日本エレベーター㈱	●												性能検査【期限内に実施】
	〃	アジテック㈱	●												性能検査【期限内に実施】
◆医療用設備															
	医療ガス設備保守点検														
	気送管設備保守点検	㈱S&Sエンジニアリング													
	小型搬送設備保守点検	㈱日本シューター													H25年度のみ点検対象外
◆滅菌設備															
	滅菌装置保守点検	サクラ精機㈱・三田理化学工業㈱													性能検査【期限内に実施】
◆その他															
	附属病院衛生害虫防除消毒														
	駐車場管理設備保守点検														
	構内緑地保守														

※1 定期点検等及び保守 年間スケジュール(案)その2参照

定期点検等及び保守 年間スケジュール (案) その2

資料1

平成28・29・30年度 特高受変電設備・配電設備等点検表

月日	項目		時間帯											
	点検場所	回路	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時
10・11月 (日)	附属病院外来棟電気室(外来B1F電気室)	G回路			[2.5h]									
	停電作業													
	附属病院外来棟電気室(外来4F電気室)	G回路						[2.5h]						
	停電作業													
	附属病院病棟電気室(病棟電気室)	G回路									[2.5h]			
	停電作業													
10・11月 休日	エネルギーセンター電気室	G回路						[8h]						
	停電作業													
	基礎臨床研究棟電気室	G回路									[3.5h]			
	停電作業													
	講義実習棟電気室	G回路									[3.5h]			
	停電作業													
10・11月 (土)	特高受変電設備							[8h]						
	停電作業なし													
	送電設備(非常用)							[8h]						
	停電作業なし													
	特高受変電設備							[8.5h]						
	停電作業													
特高停電 点検同日 (日)	附属病院外来棟電気室(外来B1F電気室)	L回路									[4h]			
	停電作業													
	附属病院外来棟電気室(外来4F電気室)	L回路				[4h]								
	停電作業													
	附属病院病棟電気室(病棟電気室)	L回路				[4h]								
	停電作業													
10・11月 休日	エネルギーセンター電気室	L回路						[7h]						
	停電作業													
	体育館電気室	L回路						[7h]						
	停電作業													
	基礎臨床研究棟電気室(管理棟電気室)	L回路			[2h]									
	停電作業													
10・11月 休日	基礎臨床研究棟電気室	L回路						[7h]						
	停電作業													
	RI動物実験施設電気室	L回路				[3h]								
	停電作業													
	フロン研究棟(墨外キュービクル)	L回路				[3h]								
	停電作業													
10・11月 休日	看護学科棟電気室	L回路									[3h]			
	停電作業													
	講義実習棟電気室	L回路									[3h]			
	停電作業													
	福利施設棟電気室	L回路									[3h]			
	停電作業													

注記) [*h] 停電時間を示す

2. 建築

2.1 建築

2.1.1 業務対象建物

2.1. (A) 業務対象建物の概要による。

2.1.2 点検項目、点検内容及び点検周期

2.1. (B) 業務要領 建築による。

2.1.3 取替部品

2.1.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

2.1.5 その他

2.1(A) 業務対象建物等の概要

1. 業務対象建物

番号	棟名称	建物面積 (延べ面積) m ²	建築年		構造・階			屋根形状		ト ッ プ ラ イ ト	バ ル コ ー	外 部 階 段
			元 号	年	構 造	地 上 階	地 下 階	陸 屋 根	そ の 他			
1	エネルギーセン ター	1,133 (2,056)	S	51	R	1	2	○				○
2	外来棟	7,335 (31,897)	S H	54 2	R S	5 1	1	○			○	
3	M R I - C T 装 置棟	486 (486)	H	2	R	1		○				
4	連絡通路	26 (26)	H	2	S	1						
5	中央診療棟	270 (1,009)	H	5	R	3	1	○				
6	渡り廊下	24 (72)	H	5	R	3	1					
7	病棟	4,141 (30,971)	H	21	SR	8	1	○				
8	多目的ホール	358.74 (358.74)	H	21	S	1						
9	P E T - C T 棟	276 (427)	H	23	R	2		○				
10	探索的臨床研究 施設	275 (518)	H	13	R	2		○				
11	治療計画室	59 (59)	H	20	S	1			○			
12	講義実習棟	2,308 (7,012)	S	50	R	3	1	○				
13	基礎臨床研究棟	1,580 (15,588)	S S	51 52	R	9	2	○				

番号	棟名称	建物面積 (延べ面積) m ²	建築年		構造・階			屋根形状		ト プ ア イ ト	バ ル コ ニ ー	外 部 階 段
			元 号	年	構 造	地 上 階	地 下 階	陸 屋 根	そ の 他			
14	福利施設棟	662 (1,417)	S	51	R	3						
			S	59	S	3		○				
			H	23	S	1						
15	附属図書館	1,090 (1,757)	S	53	R	2				○		
			S	61	R	1		○				
16	R I 動物実験施設	1,227 (4,070)	S	52	R	3	1					
			S	55	R	4					○	
			S	58	R	4		○				
			H	22	R	4						
17	医工連携拠点棟	834 (3,971)	S	63	R	5						
			H	30	S	5		○				
18	看護学科棟	1,158 (6,305)	H	9								
			H	10	R	6		○				○
19	フォトン研究棟	456 (885)	H	11	R	2						○
20	サイクロトロン棟	288 (572)	H	23	R	2						
21	総合人間科学・ 基礎研究棟	563 (1,449)	H	30	S	3						○
22	薬草園温室	165 (165)	S	57	S	1						○
23	防災倉庫	110	S	57	S	1						○
24	ボンベ庫	15 (15)	H	15	B	1						○
25	管理棟	585 (2,802)	S	52	R	4						○
26	臨床講義棟	609 (1,383)	S	52	R	2	1			○		○

番号	棟名称	建物面積 (延べ面積) m ²	建築年		構造・階			屋根形状		ト ッ プ ラ イ ト	バ ル コ ニ ー	外 部 階 段
			元 号	年	構 造	地 上 階	地 下 階	陸 屋 根	そ の 他			
27	体育館	1,118 (1,205)	S	51	R	2		○	○			
28	危険物薬品庫	119 (119)	S	52	B	1						
			S	55	B	1			○			
			H	15	B	1						
29	廃液処理施設	78 (78)	S	52	S	1			○			
30	廃水処理施設分 析室	74 (137)	S	53	S	2		○				
31	武道館	293 (306)	S	54	S	1			○			
			H	18								
32	水泳プール更衣 室	134 (125)	S	54	S	1			○			
33	弓道場	射場 114 (125)	H	10	S	1			○			
34	ゴミ置き場	107 (107)	H	11	S	1			○			
35	特高変電所	295 (295)	H	21	S	1			○			
36	課外活動施設	127 (127)	H	22	S	1			○			
37	倉庫 (旧特高変電所)	523			S	1			○			
38	エバコン	345	H	19	S	1						
39	半田山会館	339 (536)	S	54	R	2						
			S	55	R	2			○			

番号	棟名称	建物面積 (延べ面積) m ²	建築年		構造・階			屋根形状		ト ッ プ ラ イ ト	バ ル コ ニ ー	外 部 階 段
			元 号	年	構 造	地 上 階	地 下 階	陸 屋 根	そ の 他			
40	保育所	330 (299)	H H	19 22	W	1			○			
41	船岡山宿舎1号 棟 居住スペースを除く	1,230 (4,819)	S	52	R	5						
			S	53	R	5						
			S	54	R	5			○			
			H	6								
42	船岡山宿舎2号 棟 居住スペースを除く	212 (663)	S	53	R	3			○			
43	国際交流会館 居住スペースを除く	单身棟 207 (555) 世帯棟 148 (568)	H	6	R	4			○			
			H	6	R	5			○			○

2. 雨水側溝

別途資料 構内雨水配管図参照

2. 1. (B) 業務要領 建築

第1節 建築

(1)
建築

建築の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 建築

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 陸屋根	① 防水層の表面状況確認や漏水の有無を点検する。	1 Y	
	② パラペットの立上り面の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
	③ 笠木モルタル等の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
	④ 金属笠木の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
	⑤ 排水溝（ドレーンを含む）の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
2. 屋根	① 屋根の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
	② 樋の排水状況を点検し、詰りがある場合は、清掃する。なお、清掃した堆積物及びごみ等は指定する場所に運び処分する。	1 Y	
3. 外壁	① 外壁躯体の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
	② 仕上げ材の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
4 外壁に緊結された看板等	① 本体の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
	② 支持部等の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
5. 外部建具 イ. 扉・シャッター	① 建具及び周囲からの漏水の有無を確認する。	1 Y	
	② 開閉作動状況の良否を点検する。	1 Y	
	③ 施錠状態の有無を点検する。	1 Y	
	④ ガラス部分がある場合は、傷、破損等の有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 避難扉及びシャッターの開閉の妨げになる障害物の有無を点検する。	1 Y	
ロ. 窓	① 建具及びその周囲から漏水の有無を点検する。	1 Y	
	② 開閉作動状況の良否を点検する。	1 Y	
	③ 施錠状況の良否を点検する。	1 Y	
	⑤ はめ殺し窓のガラスの固定の状況を点検する。	1 Y	
	⑥ ガラスの傷及びひび割れの有無を点検する。	1 Y	
	⑦ 有害な影響を与える結露の有無を点検する。	1 Y	
	⑧		
6. エキスパンション ジョイント金物	① 建物間の隙間の変位追従状態を点検する。	1 Y	
7. 内壁	① 内壁躯体の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
	② 1時間準耐火基準に適合する壁の部材の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
8. 床	① 床躯体の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
	② 1時間準耐火基準に適合する床の部材の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
9. 天井	① 建築基準法施行令第129条各項に規定する天井の仕上げの劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
10. 防火戸	① 常閉防火戸の本体、枠の劣化及び損傷の状況を点検する。	1 Y	
	② 常閉防火戸の開閉動作状況を点検する。	1 Y	

(2)
内部建具

内部建具の点検項目及び点検内容は、表(2)による。

表(2) 内部建具

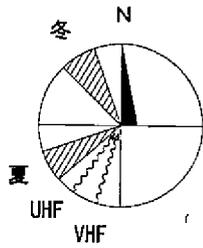
点検項目	点検内容	周期	備考
1. 内部建具 イ. 引き戸 (病院のみ)	① 開閉動作状況の良否を点検し、異常がある場合は、調整、清掃する。	3 M	
	② 施錠状況の良否を点検する。	3 M	

(3)
側溝

側溝の点検項目及び点検内容は、表(2)による。

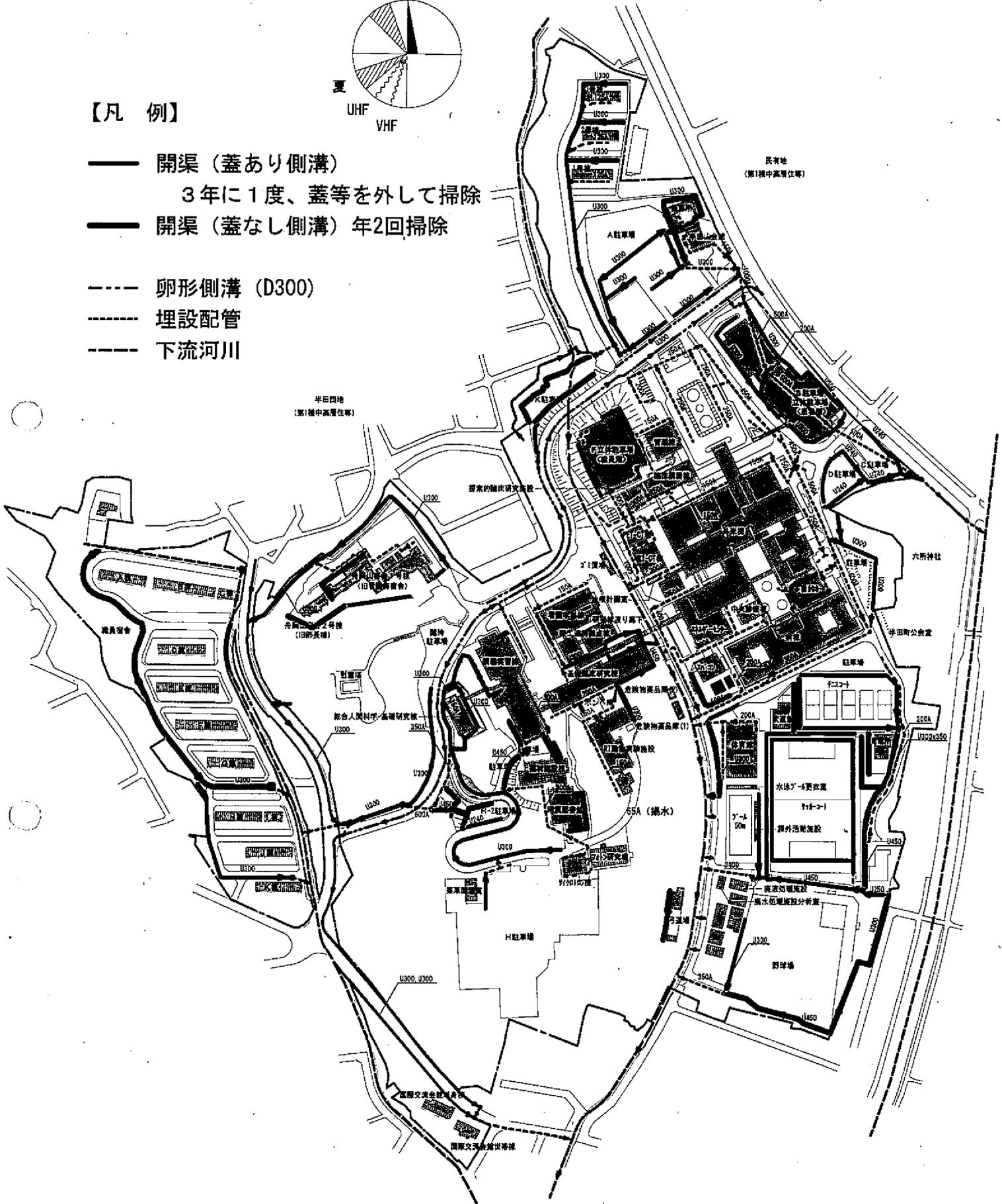
表(3) 側溝

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 側溝	① 排水状況を点検し、詰まりがある場合は、清掃をする。なお、清掃した堆積物及びごみ等は指定する場所に運び処分する。 ・ふたの付いていないもの ・ふたの付いているもの	6 M 3 Y	



【凡 例】

- 開渠（蓋あり側溝）
3年に1度、蓋等を外して掃除
- 開渠（蓋なし側溝）年2回掃除
- 卵形側溝（D300）
- 埋設配管
- 下流河川



2.2 自動扉

2.2.1 業務対象設備

2.2.(A) 業務対象設備の概要による。

2.2.2 点検項目、点検内容及び点検周期

2.2.(B) 業務要領 自動扉による。

2.2.3 取替部品

2.2.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

2.2.5 その他

2.2. 自動扉

2.2.(A) 業務対象設備の概要

製造者名：ナブコドア株式会社

番号	設 置 場 所	扉の種類	開口寸法	ドアエンジン			開閉 方法	操 作 ス イ ッ チ		
				機 種	種 別	台数		内 側	外 側	そ の 他
N01	外来棟B1階ライナック治療室	片引扉	1,510×2,000	DPS-65	空気式	1	全自動	赤外線	光電	
N02	外来棟B1階コバルト治療室	両開き扉	1,470×2,000	DH-2000	電動式	1	半自動	押し釦	押し釦	安全用光電付
N03	外来棟B1階ライナック治療室	両開き扉	1,720×2,075	DR-14	空気式	1	全自動	光電	光電	〃
N04	MRI-CT棟入口	片引扉	1,310×2,000	DS-75	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	
N05	外来棟B1階腹部拡大撮影室	片引扉	1,440×2,075	DPS-65	空気式	1	半自動	キック	キック	
N06	外来棟B1階心血管撮影室	片引扉	1,440×2,075	DPS-65	空気式	1	半自動	キック	キック	安全用光電付
N07	外来棟B1階冠動脈撮影室	片引扉	1,440×2,075	DPS-65	空気式	1	半自動	キック	キック	〃
N08	外来棟B1階脳血管撮影室	片引扉	1,440×2,075	DPS-65	空気式	1	半自動	キック	キック	〃
N09	外来棟B1階前室	引分扉	1,200×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N10	外来棟1階東玄関 外側	引分扉	1,640×2,400	DS-150	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N11	外来棟1階東玄関 内側	引分扉	1,580×2,400	DS-150	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N12	外来棟1階救急部通路A	片引扉	1,200×2,100	DS-150	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N13	外来棟1階外来調剤室	片引扉	1,030×2,075	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N14	外来棟1階郵便局	片引扉	1,030×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N15	外来棟1階売店	引分扉	1,510×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N16	外来棟1階ラルス治療室	片引扉	1,450×2,075	DP-65	空気式	1	半自動	キック	キック	〃
N17	外来棟1階救急部入口 外側	引分扉	2,040×2,100	DS-150	電動式	1	全自動	赤外線	タッチ	〃
N18	外来棟1階救急部入口 内側	2重片引扉	2,000×2,100	DS-150	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	〃
N19	外来棟1階救急部SS	引分扉	1,620×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N20	外来棟1階リハビリテーション部入口	引分扉	1,800×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N21	外来棟2階玄関 外側(北側)	引分扉	1,685×2,400	DS-150	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N22	外来棟2階玄関 外側(南側)	引分扉	1,685×2,400	DS-150	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N23	外来棟2階玄関 内側	引分扉	1,685×2,400	DS-150	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N24	外来棟2階検査部入口	片引扉	1,200×2,100	DS-150	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N25	外来棟2階渡り廊下(南側)	片引扉	1,030×2,050	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N26	外来棟2階渡り廊下(北側)	片引扉	1,030×2,050	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N27	外来棟3階光学医療診療部入口	片引扉	1,200×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N28	外来棟3階血液浄化療法部入口	片引扉	1,360×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	〃
N29	外来棟3階ART室	引分扉	1,200×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	フット	フット	〃
N30	外来棟3階培養室	片引扉	1,200×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	フット	フット	〃

番号	設置場所	扉の種類	開口寸法	ドアエンジン			開閉方法	操作スイッチ		
				機種	種別	台数		内側	外側	その他
N31	図書館2階入口	引分扉	1,545×2,187	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	安全用光電付
N32	管理棟1階玄関 外側	引分扉	1,900×2,000	DP-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	"
N33	管理棟1階玄関 内側	引分扉	1,900×2,000	DP-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	"
N34	管理棟1階 南側エントランス	引分扉	1,580×2,000	DP-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	"
N35	病棟B1階風除室1 外側	引分扉	867×2,147	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	カード	"
N36	病棟B1階風除室1 内側	引分扉	1,500×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	"
N37	病棟B1階荷解スペース	引分扉	1,500×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	カード	"
N38	病棟B1階払出ホール	引分扉	1,500×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	カード	"
N39	病棟1階廊下3	片引扉	1,400×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	"
N40	病棟1階廊下1	引分扉	1,600×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	フット	フット	"
N41	病棟1階手術部トランスファーホール外側	引分扉	1,600×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	タッチ	カード	"
N42	病棟1階手術部トランスファーホール内側	引分扉	1,600×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N43	病棟1階手術部通路4	片引扉	1,400×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	タッチ	カード	"
N44	病棟1階手術部BCR前室	片引扉	1,600×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	フット	フット	"
N45	病棟1階サービスホール東側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	フット	タッチ	"
N46	病棟1階サービスホール西側	4枚折戸	2,500×2,100	MF-4N	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N47	病棟1階手術部通路1西側	4枚折戸	2,500×2,100	MF-4N	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N48	病棟2階サービスホール東側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N49	病棟2階サービスホール西側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N50	病棟2階エントランス	引分扉	1,510×2,370	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	"
N51	病棟2階輸血部前室	引分扉	1,200×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	"
N52	病棟2階廊下3 (3階西)	片引扉	1,300×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	キック	キック	"
N53	病棟2階PDT前室外側	4枚折戸	2,250×2,100	FD-4N	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N54	病棟2階PDT前室内側	4枚折戸	2,250×2,100	FD-4N	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N55	病棟3階サービスホール東側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N56	病棟3階サービスホール西側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N57	病棟3階廊下3 (3階東)	片引扉	1,300×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N58	病棟3階廊下3 (3階西)	片引扉	1,300×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N59	病棟4階サービスホール東側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N60	病棟4階サービスホール西側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N61	病棟4階廊下1北 (3階東)	4枚折戸	2,350×2,100	MF-4N	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N62	病棟4階廊下1南 (3階東)	4枚折戸	2,350×2,100	MF-4N	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N63	病棟4階廊下2 (3階東)	4枚折戸	2,280×2,100	MF-4N	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"

番号	設置場所	扉の種類	開口寸法	ドアエンジン			開閉方法	操作スイッチ		
				機種	種別	台数		内側	外側	その他
N64	病棟4階廊下3(3階東)	4枚折戸	2,350×2,100	MF-4N	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	安全用光電付
N65	病棟4階廊下5(3階東)	4枚折戸	2,350×2,100	MF-4N	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N66	病棟5階サービスホール東側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N67	病棟5階サービスホール西側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N68	病棟6階サービスホール東側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N69	病棟6階サービスホール西側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N70	病棟6階660号室(感染)	片引扉	1,200×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N71	病棟6階661号室(感染)	片引扉	1,200×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N72	病棟7階サービスホール東側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N73	病棟7階サービスホール西側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N74	病棟8階サービスホール東側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N75	病棟8階サービスホール西側	引分扉	1,350×2,100	DS-75	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N76	病棟8階ELVホール西側	片引扉	1,600×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N77	病棟8階喫茶	引分扉	1,910×2,370	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	"
N78	病棟8階廊下1(8階東)	両開き扉	1,600×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	"
N79	病棟8階廊下3(8階東)	4枚折戸	2,350×2,100	MF-4N	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N80	病棟8階無菌前室内側	4枚折戸	2,100×2,100	MF-4N	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N81	病棟8階無菌前室外側	4枚折戸	2,100×2,100	MF-4N	電動式	1	全自動	タッチ	タッチ	"
N82	動物実験施設1階正面玄関	引分扉	1,310×2,000	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	"
N83	臨床講義棟2階玄関 外側	引分扉	1,800×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	"
N84	臨床講義棟2階玄関 内側	引分扉	1,800×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	"
N85	看護学科棟玄関 外側	片引扉	910×2,000	DS-60	電動式	1	全自動			"
N86	看護学科棟玄関 内側	片引扉	910×2,100	DS-60	電動式	1	全自動			"
N87	外来棟2階放射線部待合廊下	片引扉	1,300×2,075	DS-60	電動式	1	全自動			"
N88	外来棟1階理髪室	片引扉	900×2,085	DS-60	電動式	1	全自動			"
N89	中央診療棟2階微生物検査室 外側	片引扉	800×2,100	DS-60	電動式	1	全自動			"
N90	中央診療棟2階微生物検査室 内側	片引扉	800×2,100	DS-60	電動式	1	全自動			"
N91	病棟1階手術部通路1東側	4枚折戸	1,800×2,100	MF-4N	電動式	1	全自動			"
N92	病棟B1階医療機器管理部保管エリア	片引扉		DS-60	電動式	1	全自動			"
N93	病棟B1階材料部E0G滅菌準備室	片引扉		DS-60	電動式	1	全自動			"
N94	病棟B1階材料部洗浄室 北側	片引扉		DS-60	電動式	1	全自動			"
N95	病棟B1階材料部洗浄室 南側	片引扉	870×2,100	DS-60	電動式	1	全自動			"
N96	病棟B1階材料部中央材料室	片引扉	1,200×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	フット	フット	"
N97	病棟B1階材料部事務室	片引扉	900×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	フット	フット	"
N98	病棟B1階ハイブリッド手術室前室2	2枚引扉	1,200×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	フット	フット	"
N99	病棟B1階ハイブリッド手術室前室1	片引扉	1,500×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	フット	フット	"
N100	病棟B1階ハイブリッド手術室 使用済機材室1	片引扉	900×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	フット	フット	"

番号	設置場所	扉の種類	開口寸法	ドアエンジン			開閉方法	操作スイッチ		
				機種	種別	台数		内側	外側	その他
N101	病棟B1階ハイリフト手術室 使用済機材室2	片引扉	900×2,100	DS-60	電動式	1	全自動	フット	フット	
附属装置 コンプレッサ-2台 (定格出力:3φ200V 1.5kW, 空気槽容量:0.085m ³ , 定格圧力:9.9kg/cm ²)										

製造者名：中日本オートドア株式会社

番号	設置場所	扉の種類	開口寸法	ドアエンジン			開閉方法	操作スイッチ		
				機種	種別	台数		内側	外側	その他
NN1	図書館2階玄関	引分扉	1,120×2,100	SQ-6	電動式	1	全自動	赤外線	赤外線	安全用光電付

製造者名：寺岡オートドアシステム株式会社

番号	設置場所	扉の種類	開口寸法	ドアエンジン			開閉方法	操作スイッチ		
				機種	種別	台数		内側	外側	その他
T01	外来棟B1階 厨房	片引扉	1,000×2,000	60K	電気	1	自動	フット	フット	安全用光電付
T02	外来棟B1階 厨房	片引扉	1,000×2,000	60K	電気	1	自動	フット	フット	"
T03	外来棟B1階 厨房	片引扉	1,200×2,000	60K	電気	1	自動	フット	フット	"
T04	外来棟B1階 厨房	片引扉	1,200×2,000	60K	電気	1	自動	フット	フット	"
T05	外来棟B1階 厨房	片引扉	1,200×2,000	60K	電気	1	自動	フット	フット	"
T06	外来棟B1階解剖室	片引扉	800×2,010	60K	電気	1	自動	フット	フット	"
T07	外来棟B1階解剖室	片引扉	800×2,010	60K	電気	1	自動	フット	フット	"
T08	フォトン研究棟1階 エントランス	両引扉	1,800×2,232	60K	電気	1	自動	反射	反射	"
T09	PET-CT棟1階 ホール	両引扉	1,450×2,100	160K	電気	1	自動	反射	反射	"
T10	PET-CT棟1階 渡り廊下	両引扉	1,500×2,100	160K	電気	1	自動	反射	反射	"

製造者名：ドリーム名古屋株式会社

番号	設置場所	扉の種類	開口寸法	ドアエンジン			開閉方法	操作スイッチ		
				機種	種別	台数		内側	外側	その他
D01	病棟1階 手術部OP-1 手術ホール西側	片引扉	1,940×2,100	DC-10B-SIL	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D02	病棟1階 手術部OP-1 手術ホール東側	片引扉	1,940×2,100	DC-10B-SIL	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D03	病棟1階 手術部OP-1 人工心肺機材室側	片引扉	2,000×2,100	DC-10A-SSIR	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D04	病棟1階 手術部OP-2 手術ホール側	片引扉	1,700×2,100	DC-4-SIR	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D05	病棟1階 手術部OP-3 手術ホール側	片引扉	1,700×2,100	DC-4-SIR	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D06	病棟1階 手術部OP-4 手術ホール側	片引扉	1,700×2,100	DC-10B-SIR	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D07	病棟1階 手術部OP-5 手術ホール側	片引扉	1,700×2,100	DC-10B-SIL	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D08	病棟1階 手術部OP-6 手術ホール側	片引扉	1,700×2,100	DC-10B-SIR	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D09	病棟1階 手術部OP-7 手術ホール側	片引扉	1,700×2,100	DC-4-SIL	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D10	病棟1階 手術部OP-8 手術ホール側	片引扉	1,700×2,100	DC-4-SIR	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D11	病棟1階 手術部OP-7 OP-8側	片引扉	1,200×2,100	DC-52P-SIL	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D12	病棟1階 手術部OP-9 BCR前室側	片引扉	1,700×2,100	DC-4-SIR	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D13	病棟1階 手術部OP-10 BCR前室側	片引扉	1,700×2,100	DC-10B-SIL	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D14	病棟1階 手術部OP-11 リハビリ側	片引扉	1,700×2,100	DC-10B-SIL	電気	1	半自動	フット ハンド	フット ハンド	
D15	病棟4階 特殊分娩室 前室側	片引扉	1,200×2,000	DC-52P-SIL	電気	1	半自動	フット	フット	
D16	病棟4階 特殊分娩室 廊下3側	片引扉	1,600×2,100	DC-4-SIL	電気	1	半自動	フット	フット	
D17	外来棟3階眼科小手術室	片引扉	1,260×2,120	DC-52PSIR	電気	1	半自動	フット	フット	
D18	病棟地下1階ハイリッド手術室	片引扉	1,260×2,120	DC-52PSIR	電気	1	半自動	フット	フット	
D19	病棟地下1階ハイリッド手術室	片引扉	1,260×2,120	DC-52PSIR	電気	1	半自動	フット	フット	

2.2. (B) 業務要領 自動扉

第1節 自動扉

(1)

自動ドア

建築の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 自動ドア

点検項目	点検内容	周期	備考
1. ドア・サッシ部	① ドア本体の傷、さび、腐食及び汚れの有無を点検する。	3M	
	② 自動ドア表示ステッカー又は警告ラベルの有無を点検する。	3M	
	③ ドア本体作動時の異常音の有無を点検する。	3M	
	④ ドアと無目の隙間が適正であることを確認する。	3M	
	⑤ 全閉時戸先隙間又はドアと床面の隙間が適正であることを確認する。	3M	
	⑥ 引き戸式の場合は、①から⑤のほか、次による。 ・ドアと中間方立及びガイドレールの隙間が適正であることを確認する。 ・無目点検カバーの取付け状態を点検する。	3M	
	⑦ 開き戸式の場合は、①から⑤のほか、次による。 ・ドアと枠の隙間が適正であることを確認する。 ・ドア開閉時の床面との隙間が適正であることを確認する。 ・ドアストッパー及び各ピボットの取付け状態を点検する。	3M	
2. 懸架部	① 引き戸式の場合は、次の点検を行う。 ・吊戸車、ハンガーレールの汚れ、摩耗及び損傷 ・ハンガーレールの取付け状態 ・吊戸車及びストッパーの取付け状態	3M	
	② 開き戸式の場合は、アームと駆動部の摩耗及び取付け状態を点検する。	3M	
3. 動力部・作動部	① 手動開閉の動作確認及び異常音の有無を点検する。	3M	
	② エンジンの取付け状態を確認する。	6M	
	③ 引き戸式の場合は、①及び②のほか、次による。 ・防振ゴムの変形の有無を点検する。 ・従動プーリーの取付け状態を点検する。 ・ベルト、チェーン、ワイヤの張り、摩耗及び取付け状態を確認する。	6M	
	④ 開き戸式の場合は、①及び②のほか、次による。 ・エンジンケース蓋の取付け状態を点検する。 ・エンジンケース防水材の取付け状態を点検する。 ・エンジンストッパーの取付け状態を点検する。 ・駆動軸の変形の有無を点検する。	6M	

4. 制御装置	① 開閉速度及び開放タイマーの時間を点検する。	3 M
	② 徐行速度の状態を点検する。	3 M
	③ ドア位置検出スイッチの取付け状態を点検する。	3 M
	④ 電源スイッチの作動状態を点検する。	3 M
	⑤ 制御装置の取付け状態を点検する。	3 M
5. センサー部	① センサー、補助センサーの取付け状態及び作動状態を点検する。	
	② センサー及び補助センサー検出面の汚れの有無を点検する。	3 M
	③ タッチスイッチ及び併用センサーの作動状態を点検する。	3 M
6. 電気回路	① 通常開閉動作及び反転動作を点検する。	3 M
	② 電線の支持、接続状態及び被覆のき裂の有無を点検する。	6 M
	③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y
	④ 電源電圧を測定し、その良否を確認する。	1 Y

2.3 地震計

2.3.1 業務対象設備

2.3.(A) 業務対象設備の概要による。

2.3.2 点検項目、点検内容及び点検周期

2.3.(B) 業務要領 地震計による。

2.3.3 取替部品

2.3.(C) 業務要領による。

2.3.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・ 点検及び保守結果報告書
 - ・ 地震波形記録
 - ・ 業務記録写真
-
-

書式は、受注者の業務報告書とする。

2.3.5 その他

2.3. 地震計

2.3.(A) 業務対象設備

製造者名：株式会社サイスマック

病棟

番号	設置場所	項目	仕様
1	病棟地下1階EPS	強震計測装置	SMAC-MDU (9ch) 1台
		時刻校正用ラジオ	1台
2	病棟免震階 上部・下部 病棟8階 天井	検出器 (加速度計)	JEP-8A3 3台

2.3. (B) 業務要領 地震計

第1節 地震計

(1)
地震計 地震計の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 地震計

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 記録データの回収及び分析	① フラッシュメモリーカード内のデータを全て回収する。	3 Y	2020年度実施
	② 回収したデータにて地震波形（山形）を作成し、分析する。	3 Y	2020年度実施
2. 機器設定確認及び性能確認点検	① 表示、収録、諸機能の動作を確認する。	3 Y	2020年度実施
	② 設定変更当の有無を確認する。	3 Y	2020年度実施
3. 検出器抵抗及びケーブル絶縁抵抗測定	① 検出器の抵抗測定を実施し健全性と劣化の確認を行う。	3 Y	2020年度実施
	② ケーブル絶縁抵抗測定を実施し健全性と劣化の確認を行う。	3 Y	2020年度実施
4. 常時微動波形の確認	① 検出器周辺のノイズを確認する。	3 Y	2020年度実施
	② 検出器の出力状態を確認する。		
5. キャリブレーション波形の確認	① 増幅器及び検出器の感度が正常であることを確認する。	3 Y	2020年度実施
6. 起動試験	① 地震起動チャンネルにトリガーレベルを上回る電流を印加し、装置が正しく動作することを確認する。	3 Y	2020年度実施
7. バッテリー交換	① バッテリーを交換する。	3 Y	2020年度実施

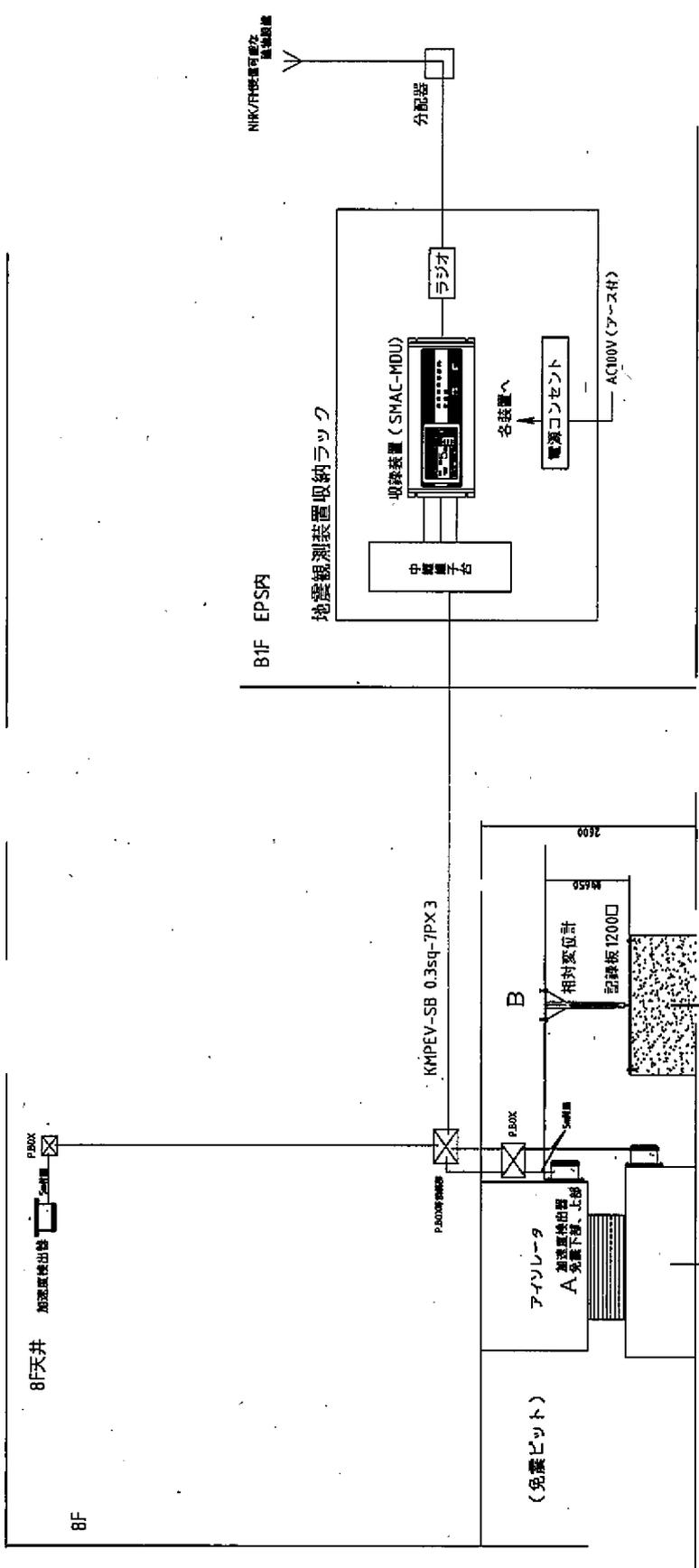
2.3 地震計

2.3.(C) 交換部品

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
シール型鉛蓄電池	LC-VD1217J	1個	3Y		○	

A B C D E F G H I J

1 2 3 4 5 6



株式会社 サイスマック
SEISMIC CO., LTD

株式会社 東洋電機工業株式会社
新設その他工事(地震観測設備)

図名 地震観測設備システム図

図番 SHZ090HM-01
区分 SMAC-MDU

平成 20年07月25日

2.4 免振装置

2.3.1 業務対象設備

2.4.(A) 業務対象設備の概要による。

2.3.2 点検項目、点検内容及び点検周期

2.4.(B) 業務要領 免振装置による。

2.3.3 取替部品

2.3.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
 - ・業務記録写真
 - ・
- -----

書式は、受注者の業務報告書とする。

2.3.5 その他

2.4. 免振装置

2.4.(A) 業務対象設備

設置場所：病棟免震階

番号	項目	適用	数量	備考
1	天然積層ゴム支承	NRB1000 NRB1100	66 6	
2	弾性すべり支承	SR	4	
3	スチールダンパー	SD1 SD2	24 4	
4	オイルダンパー	OD	8	

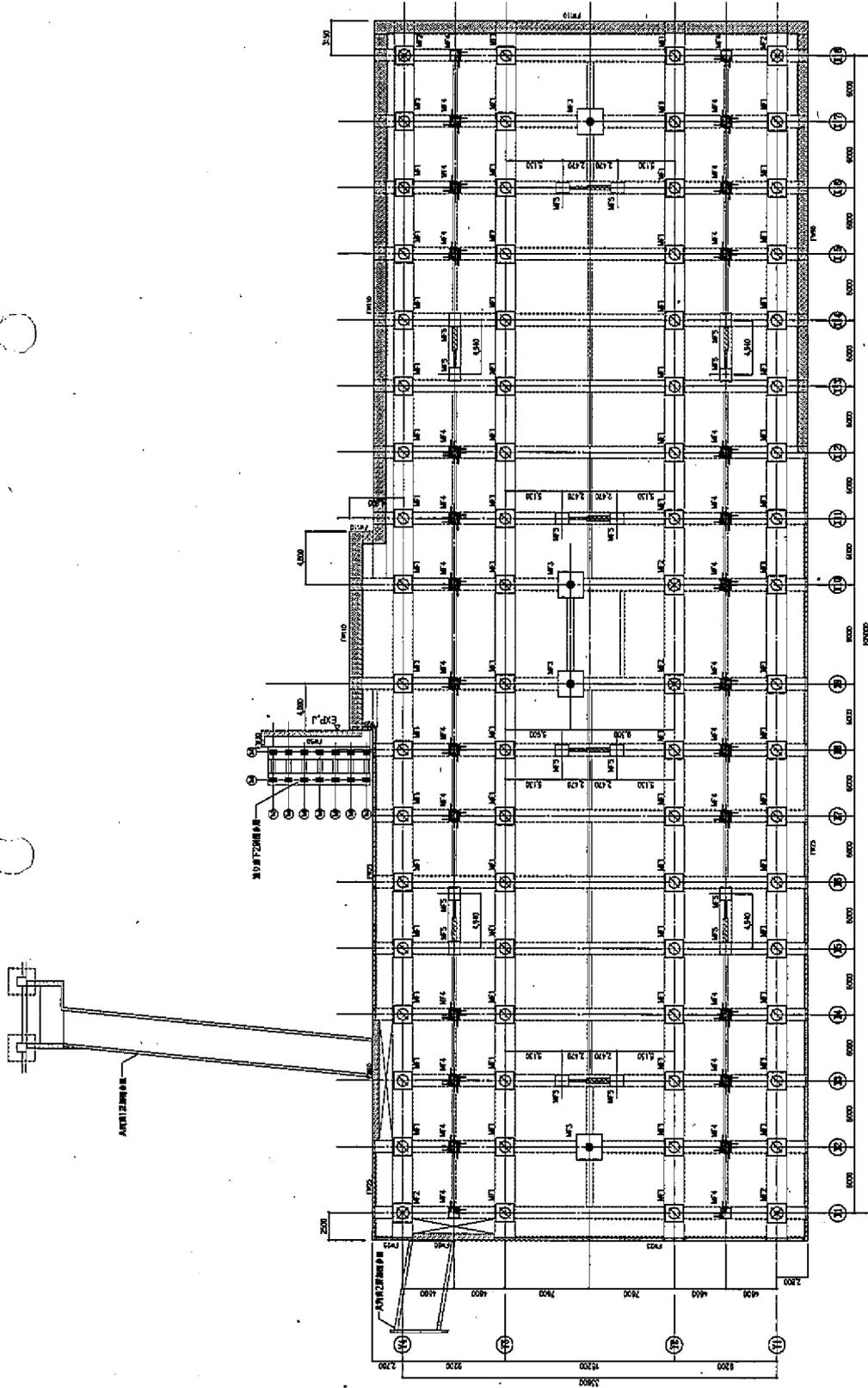
2.4. (B) 業務要領 免振装置

第1節 免振装置

- (1) 免振装置 | 免振装置の点検項目及び点検内容は、表(1) による。
日本免震構造協会の「免震建物維持管理基準」に準拠する。

表(1)免震装置

点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
1. 免震部材	損傷・発錆の有無を確認する。	5 Y	
	鉛直変位（クリープ）を計測する。	5 Y	
	水平変位を計測する	5 Y	
2. 免震層・建物外周部	建物と外周部（地盤）とのクリアランスを計測する。	5 Y	
	障害物の有無を確認する。	5 Y	
3. 設備配管・配線可撓部	形状の変化の有無を確認する。	5 Y	
	損傷液漏れ等の有無を確認する。	5 Y	



免震ビット伏図 1:200

品名表
 品名(記号) 数量
 1. アイソレータリスト

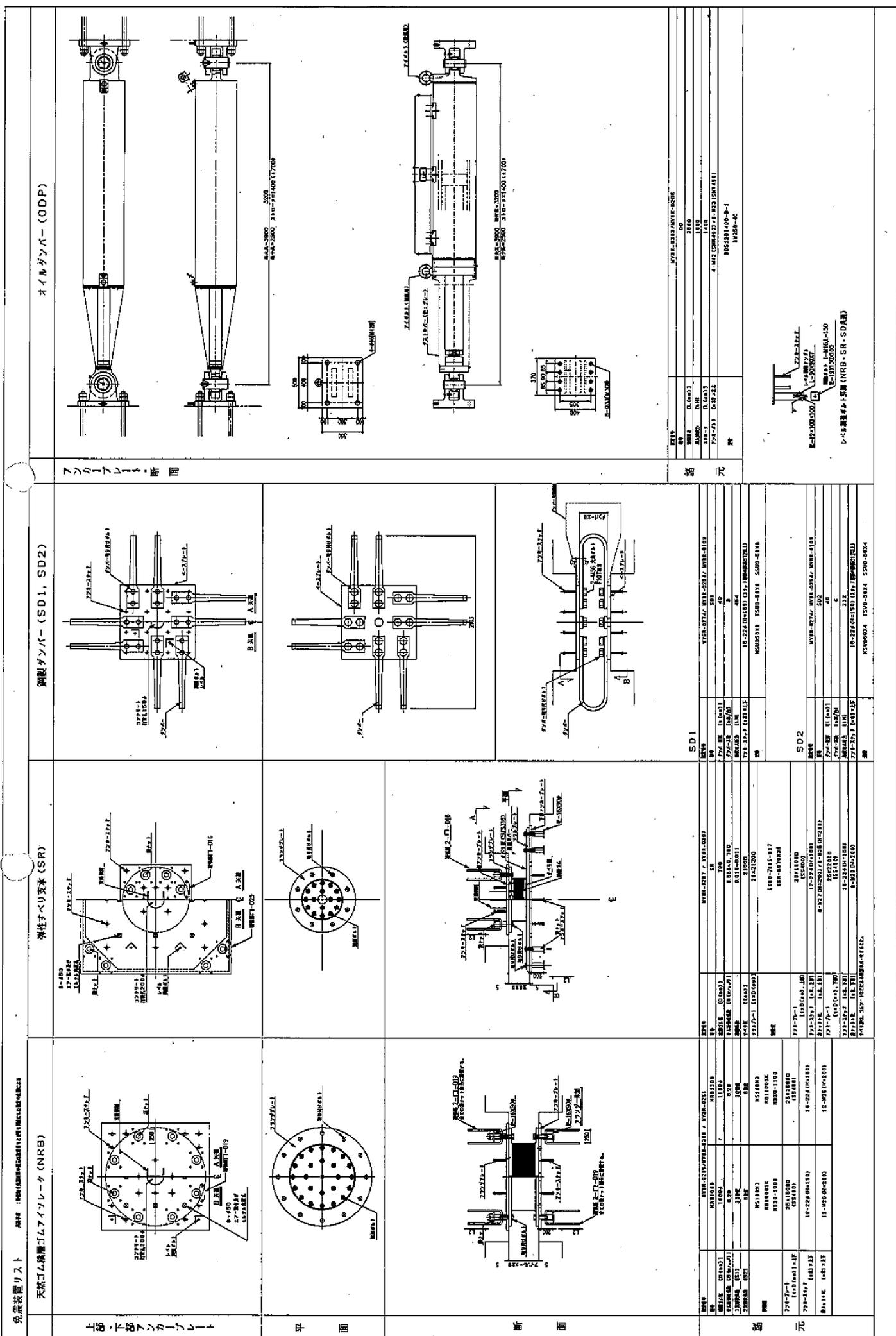
品名	数量	単位	仕様
天板固定金具 (MVR-0295, MVR-0300, MVR-0251)	10004	個	NS100NS, RB100SK, NS30-1000
縦筋固定金具 (MVR-0295, MVR-0300, MVR-0251)	11004	個	NS110NS, RB110SK, NS30-1100
縦筋固定金具 (MVR-0207, MVR-0307)	7004	個	SC80-700S-8X7, SSR-6070R35

合計 76

品名	数量	単位	仕様
スチールアンバー (MVR-0254, MVR-0274, MVR-0108)	24	個	TSUD-50X8, NSUD-50X8, SSUD-50X8
スチールアンバー (MVR-0313, MVR-0295)	4	個	TSUD-50X4, NSUD-50X4, SSUD-50X4
スチールアンバー (MVR-0223, OD)	8	個	BD51201400-B-1, BM200-40

合計 36

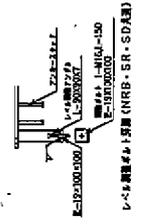
2. 免震部材 下部鉄骨上層レベラス、免震ビットFL130Lとします。



免震装置リスト	天橋ゴム積層ゴムアイソレータ (NRB)	弾性すべり支承 (SR)	弾性ダンパー (SD1, SD2)	オイルダンパー (ODP)
---------	----------------------	--------------	-------------------	---------------

新元

型式	NRB-212/NTK-220K
寸法	φ100
質量	310
価格	1400
備考	4-M1 (SR-212/F-212) (SR-212)
型式	SR-212
寸法	φ100
質量	1000
価格	10000



久米設計
KAWASUMI
MITSUBISHI

型式	NRB-212/NTK-220K	SR	SD1	SD2
寸法	φ100	φ100	φ100	φ100
質量	310	1000	1000	1000
価格	1400	10000	10000	10000
備考	4-M1 (SR-212/F-212) (SR-212)			

3. 電気設備

3.1 受変電設備

3.1.1 業務対象設備

3.1(A) 業務対象設備の概要による。

3.1.2 点検項目、点検内容及び点検周期

3.1.(B) 業務要領 受変電設備による。

3.1.3 取替部品

3.1.4 業務報告書

業務完了後に次の書類をそれぞれ 1 部提出する。

・点検及び保守結果報告書

・試験成績書

・計測記録

・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

3.1.5 その他

本業務に伴うG電源の停電点検前後に負荷のL-G切り替えを行う。

3.1 受変電設備

3.1(A) 業務対象設備の概要

施設場所	施設名称	施設概要	備考
特高変電所	特高 受変電設備	受電電圧 77kV 2回線受電 特高変圧器 5,000kVA 2基 C-GIS 6面体 高圧盤 閉鎖型 34面	
エネルギー センター 電気室	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 4回線受電 油入変圧器 9台 3,475kVA 高圧盤 閉鎖型 18面 低圧盤 開放型 11面 " 閉鎖型 3面	
基礎臨床 研究棟 電気室	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 2回線受電 モト変圧器 8台 1,750kVA 高圧盤 閉鎖型 9面 低圧盤 開放型 12面	
講義実習棟 電気室	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 2回線受電 油入変圧器 3台 450kVA モト変圧器 1台 500kVA 高圧盤 閉鎖型 3面 低圧盤 開放型 5面 " 閉鎖型 2面	
RI動物 実験施設 電気室	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 2回線受電 モト変圧器 7台 1,700kVA 高圧盤 閉鎖型 2面 低圧盤 開放型 10面	
福祉施設棟 電気室	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 1回線受電 モト変圧器 2台 300kVA 高圧盤 閉鎖型 1面 低圧盤 開放型 4面	
看護学科棟 電気室	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 1回線受電 油入変圧器 3台 500kVA 高圧盤 閉鎖型 1面 低圧盤 開放型 3面	
臨床講義棟 電気室	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 1回線受電 モト変圧器 2台 400kVA 高圧盤 閉鎖型 1面 低圧盤 開放型 5面	
体育館電気室	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 2回線受電 油入変圧器 4台 300kVA 高圧盤 閉鎖型 1面 低圧盤 開放型 4面	

施設場所	施設名称	施設概要及び参照資料	備考
外来棟B1階 電気室	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 3回線受電 E-LL 変圧器 12台 5,200 kVA 高圧盤 閉鎖型 8面 低圧盤 閉鎖型 43面	
外来棟4階 電気室	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 3回線受電 E-LL 変圧器 13台 4,300 kVA 高圧盤 閉鎖型 8面 低圧盤 閉鎖型 43面	
病棟電気室	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 4回線受電 E-LL 変圧器 10台 3,600 kVA 高圧盤 閉鎖型 10面 低圧盤 閉鎖型 24面	
7ホト研究棟 屋外キービル	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 2回線受電 油入変圧器 3台 800 kVA 高圧盤 閉鎖型 2面 低圧盤 閉鎖型 4面	
医工連携 拠点棟 電気室	高圧 受変電設備	受電電圧 6kV 2回線受電 油入変圧器 3台 700 kVA E-LL 変圧器 1台 150 kVA 高圧盤 閉鎖型 2面 低圧盤 閉鎖型 5面	

3.1 (A) 業務対象設備の概要 点検機器表

特高受変電設備

東芝製

単位 台

電気室名	特高 操作盤	C- GIS	閉鎖型 高圧 配電盤	真空遮断器 真空接触器		特高 油入 変圧器	高圧 油入 変圧器	油入 直列 リアクトル	高圧 進相 コンデンサ	保護継電器					
				普通	細密					過電流 (5IR)	地絡 過電流 (51GR)	地絡 過電圧 (64GR)	比率 差動 (87T)	受進 保護 継電器	高圧 マルチ リレー
特高変電所	1	1	34	26	13	2	6	6	9	9	1	1	6	1	24

高圧受変電設備

電気室名	閉鎖型 高圧 配電盤	閉鎖型 低圧 配電盤	開放型 低圧 配電盤	真空遮断器									油入 変圧器	モルト 変圧器	保護継電器			
				東芝製						三菱製					過電流 (OC)	不足 電圧 (UV)	地絡 過電圧 (OVG)	地絡 方向 (DG)
				総数	細密			総数	細密									
					31	32	33		31	32	33							
エネルギーセンター	18	1	9	—	—	—	—	25	9	5	11	9	—	23	4	2	5	
基礎臨床研究棟	9	3	12	4	1	—	3	13	9	4	—	—	8	16	2	2	11	
講義実習棟	3	2	5	2	—	1	1	—	—	—	—	※33 3	1	2	—	—	—	
RI動物実験施設	2	—	10	—	—	—	—	2	1	—	1	—	7	2	—	—	—	
福利施設棟 (図書館)	1	—	4	—	—	—	—	1	—	1	—	—	2	1	—	—	—	
看護学科棟	1	2	3	1	—	—	1	—	—	—	—	3	—	1	—	—	—	
臨床講義棟 (管理棟)	1	—	5	—	—	—	—	1	1	—	—	—	2	2	1	—	—	
体育館	1	—	4	2	—	1	1	—	—	—	—	※31 4	—	2	—	—	—	
7F研究棟 屋外キュービクル	2	4	—	2	1	—	1	—	—	—	—	※32 3	—	2	—	—	—	
医工連携拠点棟	2	5	—	—	—	—	—	2	—	—	2	3	1	2	—	—	—	
附属病院 病棟	10	27	—	—	—	—	—	11	5	6	—	—	10	9	4	3	—	
附属病院 外来棟B1階	8	44	—	—	—	—	—	8	—	5	3	—	12	7	3	2	—	
附属病院 外来棟4階	8	43	—	—	—	—	—	7	—	3	4	—	13	6	3	2	—	
合計	66	131	52	11	2	2	7	70	25	24	21	25	56	75	17	11	16	

・油入変圧器欄の記号は、絶縁油の試験を行うもので、※31 平成31年度、※32 平成32年度、※33 平成33年度実施とする。

3.1 受変電設備

3.1.(B) 業務要領 受変電設備

第1節 受変電設備

(I)
特高受変電設備 | 特高受変電設備の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 特高受変電設備

点検項目	点検内容	周期	備考	
1. 電気室	① 小動物が侵入するおそれのある開口部の有無を点検する。	1 Y		
	② 取扱者以外の者の立入禁止措置が行われていることを確認する。	1 Y		
	③ 室内温度及び湿度の測定を行い、その良否を点検する。	1 Y		
	④ 室内整理状況の良否を点検する。	1 Y		
	⑤ 点検及び操作上必要な照度が確保されているかを確認する。	1 Y		
	⑥ 保守点検に必要な通路が確保されているかを確認する。	1 Y		
	⑦ 電気室の用途以外に使用されていないかを確認する。	1 Y		
2. 母線 a. ケーブル等の配線 b. バスダクト c. ケーブルラック・配管 d. 防火区画貫通処理部	① ケーブル等被覆材、支持材及び端子部の損傷、腐食、過熱等の異常の有無を点検する。	1 Y		
	② 端子部及び分岐接続部の緩み等を点検する。	1 Y		
	③ 支持材（結束材を含む）の緩み等の有無を点検する。	1 Y		
	④ 垂直幹線の最上部の支持状態を点検する。	1 Y		
	① 接続部の外面が異常な温度となっていないことを確認する。	1 Y		
	② 接地ボンド、分岐部ボルト等の緩みの有無を点検する。	1 Y		
	① ケーブルラック及び配管の変形、損傷、腐食等の有無を点検する。	1 Y		
	き裂、欠落等の有無を点検する。	1 Y		
	3. 特別高圧ガス絶縁スイッチギヤ【C-GIS】	① 機器内部気中部の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色等の有無を点検する。	3 Y	2021年度実施
		② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	3 Y	2021年度実施
③ ガス管の発錆、損傷の有無、ガス圧の確認をする。		3 Y	2021年度実施	
④ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。		3 Y	2021年度実施	
⑤ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。		3 Y	2021年度実施	
⑥ 開閉装置及び遮断器の入・切操作を行い、その作動の良否を点検する。		3 Y	2021年度実施	
⑦ 遮断器、開閉器等の機構部の清掃、注油、グリス交換		3 Y	2021年度実施	

	をする。		
	⑧ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	3 Y	2021年度実施
	⑨ 密度スイッチ（圧力スイッチ）の動作復帰の点検をする。	3 Y	2021年度実施
	⑩ 遮断器、開閉器等の機構部内部の点検をする。	6 Y	2021年度実施
	⑪ 引込ケーブル等の端子部及びブッシングの汚損並びにき裂の有無を点検する。	6 Y	2021年度実施
	⑫ ガスの成分測定を実施し、規定値にあることを確認する。	6 Y	2021年度実施
4. 特別高圧油入変圧器（負荷時タップ切換器付）	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色、異常音等の有無を点検する。	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。また、防振装置を有するものは、その劣化の有無を点検する。	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	④ ダイヤル温度計、油面計等の損傷（パッキン導管）の有無及び指示値の良否を確認する。	1 Y	
	⑤ 制御回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
	⑥ 負荷時タップ切換器の破損、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	⑦ 機械的保護継電器の油漏れ、損傷有無、接点の動作を確認する。	1 Y	
	⑧ 放圧装置の外面の汚れ、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	⑨ 油劣化防止装置（吸湿呼吸器、コンサベータ等）の油面計指示値の良否、外面の汚れ、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	⑩ 油劣化防止装置のシリカゲル取替	1 Y	
	⑪ 主回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	3 Y	2021年度実施
	⑫ 絶縁油を採取して次の試験を行い、その良否を確認する。 ・絶縁破壊電圧試験（絶縁耐力試験） ・酸価度試験 ・油中ガス分析 ・油中水分測定	3 Y	2021年度実施
	⑬ 負荷時タップ切換器の絶縁油の取替	5 Y	NO. 1TR 2022年度実施 NO. 2TR 2023年度実施 予定
4. 充電判定装置	① 電力会社の送電を確認する充電判定装置の端子接続状況及び作動の良否を点検する。	3 Y	2021年度実施

5. 特高操作盤	① 配電盤の据付け状態、損傷、さび、腐食、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	② 盤内への漏水又は痕跡及び小動物が侵入するおそれのある開口部の有無を点検する。	1 Y	
	③ 点検扉の開閉の良否及び施錠の有無を点検する。	1 Y	
	④ 開放形の場合は、パイプフレーム等の据付け状況の良否及び締付けボルトの緩みの有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 操作レバー・ボタン、切替スイッチ等の機器破損及び機器取付け状況の良否を点検する。	1 Y	
6. 指示計器・保護 継電器	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	④ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 各指示計器の零点調整を行い、正常に機能していることを確認する。	1 Y	
	⑥ 保護継電器の故障検出器を作動させて、警報及び故障表示の確認を行う。	1 Y	
	⑦ シーケンス試験（インターロック試験及び保護連動試験）を行う。	1 Y	
7. 高圧配電盤類 a. 盤外観 b. 盤内部 【各機器を除く】	① 配電盤の据付け状態、損傷、さび、腐食、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	② 盤内への漏水又は痕跡及び小動物が侵入するおそれのある開口部の有無を点検する。	1 Y	
	③ 点検扉の開閉の良否及び施錠の有無を点検する。	1 Y	
	④ 開放形の場合は、パイプフレーム等の据付け状況の良否及び締付けボルトの緩みの有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 操作レバー・ボタン、切替スイッチ等の機器破損及び機器取付け状況の良否を点検する。	1 Y	
	① 内部の床上、機器仕切板等の清掃を行う。	1 Y	
	② 母線、支持碍子類、絶縁隔離板等の損傷、過熱、さび、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 機器の取付け及び配線接続状況の良否を点検する。	1 Y	
	④ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	⑥ 配線符号（マークキャップ、端子番号等）の損傷及び脱落の有無を点検する。	1 Y	
	⑦ 盤内照明の点灯及び換気扇の作動の良否を点検する。	1 Y	
	8. 真空遮断器 ・真空接触器	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1 Y
		② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。また、引出形にあっては、出入れ操作の円滑性及び導体接触部の良否を点検する。	1 Y
③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点		1 Y	

	<p>検する。</p> <p>④ 遮断器の開閉表示及び開閉動作の良否を点検する。また、動作回数を確認する。</p> <p>⑤ 制御回路の断線、端子接続部の緩み等の有無を点検する。</p> <p>⑥ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。</p> <p>⑦ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無を点検する。また、可動軸部及び機構部の劣化グリスを取除き、適量のグリスを注油する。</p> <p>⑧ 真空バルブに規定電圧を加え、真空度の良否を点検する。</p> <p>⑨ 各機構部のギャップ及び接点ワイプ長を測定し、良否を点検する。</p>	1 Y	
9. 気中開閉器 【LBS】	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1 Y	点検機器表にて 点検対象確認
	② 本体の取付け状態及び配線接続状況の良否を点検する。また、引出形は、出し入れ操作の円滑性及び導体接触部の良否を点検する。	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	④ 制御回路部等を有するものは、絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
	⑤ 開閉器の入・切操作を行い、その良否を点検する。	1 Y	
	⑥ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
	⑦ 接触部の損耗、荒れ等の有無を点検する。	1 Y	
	⑧ 電力ヒューズ付きは、汚損、き裂等の有無を点検する。また、予備ヒューズの確認を行う。	1 Y	
	⑨ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無を点検する。	1 Y	
	⑩ 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色、異常音等の有無を点検する。	1 Y	
10. 高圧モールド 変圧器	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。また、防振装置を有するものは、その劣化の有無を点検する。	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	④ ダイヤル温度計の損傷（パッキン導管）の有無及び指示値の良否を確認する。	1 Y	
	⑤ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
	⑥ タップ切換器の破損、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	⑦ 巻線の過熱変色及びヨークコア鉄板の飛び出しの異常の有無を点検する。	1 Y	
	⑧ 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1 Y	
力率改善装置 【進相コンデンサ、 直列リアクトル】	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	④ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
	⑤ 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変	1 Y	
避雷器	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変	1 Y	

	色、異常音等の有無を点検する。		
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
計器用変成器	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	④ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 電線貫通形の変流器は、貫通部のき裂、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	⑥ 電力ヒューズ付きは、汚損、き裂等の有無を点検する。また、予備ヒューズの確認を行う。	1 Y	
	⑦ 変成器の二次巻線と大地間の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
	⑧ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
指示計器・保護継電器	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	④ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 各指示計器の零点調整を行い、正常に機能していることを確認する。	1 Y	
	⑥ 保護継電器の故障検出器を作動させて、警報及び故障表示の確認を行う。	1 Y	
	⑦ シーケンス試験（インターロック試験及び保護連動試験）を行う。	1 Y	
4. 絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
5. 接地抵抗	接地端子盤等において各種接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	

(2) 高圧受変電設備	高圧受変電設備の点検項目及び点検内容は、表(2)による。
----------------	------------------------------

表(2) 高圧受変電設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 電気室	① 小動物が侵入するおそれのある開口部の有無を点検する。	1 Y	
	② 取扱者以外の者の立入禁止措置が行われていることを確認する。	1 Y	

	③ 室内温度及び湿度の測定を行い、その良否を点検する。	1 Y
	④ 室内整理状況の良否を点検する。	1 Y
	⑤ 点検及び操作上必要な照度が確保されているかを確認する。	1 Y
	⑥ 保守点検に必要な通路が確保されているかを確認する。	1 Y
	⑦ 電気室の用途以外に使用されていないかを確認する。	1 Y
2. 母線	① ケーブル等被覆材、支持材及び端子部の損傷、腐食、過熱等の異常の有無を点検する。	1 Y
a. ケーブル等の配線	② 端子部及び分岐接続部の緩み等を点検する。	1 Y
	③ 支持材（結束材を含む）の緩み等の有無を点検する。	1 Y
	④ 垂直幹線の最上部の支持状態を点検する。	1 Y
b. バスダクト	① 接続部の外面が異常な温度となっていないことを確認する。	1 Y
	② 接地ボンド、分岐部ボルト等の緩みの有無を点検する。	1 Y
c. ケーブルラック・配管	① ケーブルラック及び配管の変形、損傷、腐食等の有無を点検する。	1 Y
d. 防火区画貫通処理部	き裂、欠落等の有無を点検する。	1 Y
3. 高圧配電盤類	① 配電盤の据付け状態、損傷、さび、腐食、変色等の有無を点検する。	1 Y
a. 盤外観	② 盤内への漏水又は痕跡及び小動物が侵入するおそれのある開口部の有無を点検する。	1 Y
	③ 点検扉の開閉の良否及び施錠の有無を点検する。	1 Y
	④ 開放形の場合は、パイプフレーム等の据付け状況の良否及び締付けボルトの緩みの有無を点検する。	1 Y
	⑤ 操作レバー・ボタン、切替スイッチ等の機器破損及び機器取付け状況の良否を点検する。	1 Y
b. 盤内部 【各機器を除く】	① 内部の床上、機器仕切板等の清掃を行う。	1 Y
	② 母線、支持碍子類、絶縁隔離板等の損傷、過熱、さび、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1 Y
	③ 機器の取付け及び配線接続状況の良否を点検する。	1 Y
	④ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y
	⑤ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y
	⑥ 配線符号（マークキャップ、端子番号等）の損傷及び脱落の有無を点検する。	1 Y
	⑦ 盤内照明の点灯及び換気扇の作動の良否を点検する。	1 Y
4. 真空遮断器 ・真空接触器	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1 Y
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。また、引出形にあっては、出入れ操作の円滑性及び導体接触部の良否を点検する。	1 Y
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y
	④ 遮断器の開閉表示及び開閉動作の良否を点検する。ま	1 Y

	た、動作回数を確認する。		
	⑤ 制御回路の断線、端子接続部の緩み等の有無を点検する。	1 Y	
	⑥ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
	⑦ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無を点検する。また、可動軸部及び機構部の劣化グリスを取除き、適量のグリスを注油する。	3 Y	点検機器表にて点検対象確認
	⑧ 真空バルブに規定電圧を加え、真空度の良否を点検する。	3 Y	点検機器表にて点検対象確認
	⑨ 各機構部のギャップ及び接点ワイプ長を測定し、良否を点検する。	3 Y	点検機器表にて点検対象確認
5. 断路器	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	④ 接触部の損耗、荒れ等の有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 開閉器の入・切操作を行い、その良否を点検する。	1 Y	
	⑥ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無を点検する。	1 Y	
	⑦ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
6. 気中開閉器 【LBS】	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状況の良否を点検する。また、引出形は、出し入れ操作の円滑性及び導体接触部の良否を点検する。	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	④ 制御回路部等を有するものは、絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
	⑤ 開閉器の入・切操作を行い、その良否を点検する。	1 Y	
	⑥ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
	⑦ 接触部の損耗、荒れ等の有無を点検する。	1 Y	
	② 電力ヒューズ付きは、汚損、き裂等の有無を点検する。また、予備ヒューズの確認を行う。	1 Y	
	③ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無を点検する。	1 Y	
7. モールド変圧器	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色、異常音等の有無を点検する。	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。また、防振装置を有するものは、その劣化の有無を点検する。	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	④ ダイヤル温度計の損傷（パッキン導管）の有無及び指示値の良否を確認する。	1 Y	
	⑤ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
	⑥ タップ切換器の破損、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	⑦ 巻線の過熱変色及びヨークコア鉄板の飛び出しの異常の有無を点検する。	1 Y	

8. 油入変圧器	<p>1. 「モールド変圧器」①から⑦によるほか、次による。</p> <p>① 油面計により、油量の良否を確認する。</p> <p>② 放圧装置の外面の汚れ、損傷等の有無を点検する。</p> <p>③ 油劣化防止装置（吸湿呼吸器、コンサベータ等）の油面計指示値の良否、外面の汚れ、損傷等の有無を点検する。</p> <p>④ 絶縁油を採取して次の試験を行い、その良否を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶縁破壊電圧試験（絶縁耐力試験） ・酸価度試験 ・油中ガス分析 ・油中水分測定 	<p>1 Y</p> <p>1 Y</p> <p>1 Y</p> <p>5 Y</p>	点検機器表にて 点検対象確認
9. 計器用変成器	<p>① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。</p> <p>② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。</p> <p>③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。</p> <p>④ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。</p> <p>⑤ 電線貫通形の変流器は、貫通部のき裂、変色等の有無を点検する。</p> <p>⑥ 電力ヒューズ付きは、汚損、き裂等の有無を点検する。また、予備ヒューズの確認を行う。</p> <p>⑦ 変成器の二次巻線と大地間の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。</p> <p>⑧ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。</p>	<p>1 Y</p>	
10. 指示計器・保護 継電器	<p>① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。</p> <p>② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。</p> <p>③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。</p> <p>④ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。</p> <p>⑤ 各指示計器の零点調整を行い、正常に機能していることを確認する。</p> <p>⑥ 保護継電器の故障検出器を作動させて、警報及び故障表示の確認を行う。</p> <p>⑦ シーケンス試験（インターロック試験及び保護連動試験）を行う。</p>	<p>1 Y</p>	
11. 低圧配電盤類 【配線用遮断器、漏電遮断器、電磁接触器等】	<p>① 盤の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。</p> <p>② 盤の取付け状況（支持ボルトの緩み）を確認する。</p> <p>③ 機器の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。</p> <p>④ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。</p> <p>⑤ 開閉器の開閉動作及び遮断動作の良否を確認する。</p>	<p>1 Y</p> <p>1 Y</p> <p>1 Y</p> <p>1 Y</p> <p>1 Y</p>	

	⑥ 漏電遮断器のテストボタンによる動作の確認を行う。	1 Y	
	⑦ 配線用遮断器等の用途名称が正しいことを確認する。	1 Y	
12. 絶縁抵抗	① 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
13. 接地抵抗	① 接地端子盤等において各種接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	

3.2 発電設備

3.2.1 業務対象設備

3.2.(A) 業務対象設備の概要による。

3.2.2 点検項目、点検内容及び点検周期

3.2.(B) 業務要領 発電設備による。

また、特高変電所地下タンクからA重油12,000Lをエネセン地下タンクへ移送する。

3.2.3 擬似負荷装置等

3.2.4 取替部品

3.2.(C) 交換部品による

3.2.5 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・試験成績書
- ・計測記録
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

但し、消防点検項目の報告書式は、消防法令で定められたものとする。

3.2.6 その他

本業務に必要な足場・養生等は、受注者の負担とする

3.2 発電設備

3.2(A) 業務対象設備の概要

設置場所		特高変電所	エネセン発電機室
名称		自家発電設備 (ラジエター式)	自家発電設備 (別置ラジエター式)
仕様	種別	高圧	高圧
	容量(KVA)	1,500	1,500
	種別 燃料	ディーゼル A重油	ディーゼル A重油
台数(台)		1	1
運転形式		非常用	常用・非常用兼用
空気槽		—	300ℓ 2台
空気圧縮機		—	2台
蓄電池種別		長寿命MSE	—
蓄電池容量(Ah) (セル)		400	—
		12	—
製造者名		ヤンマー(株) (Rad×16NHL-EPT× 1500kVA)	ヤンマー(株) (6EY26LW×1200kW)
附属機器等		自動始動盤 1面 発電機盤 1面 燃料小出槽 1,950ℓ 地下燃料タンク 5,000ℓ +20,000ℓ	自動始動発電機盤 1面 連絡遮断器盤 1面 補機盤 1面 燃料小出槽 1,500ℓ 地下燃料タンク 30,000ℓ
備考		消防法による消防用設備の非常用電源	消防法による消防用設備の非常用電源

3.2 発電設備

3.2. (B) 業務要領 発電設備

第1節 ディーゼル発電設備

- (I)
非常用発電設備
- (a) 本節は、消防法による非常電源及び建築基準法による予備電源（以下「防災電源」という。）となる自家発電設備に適用する。
 - (b) 非常用発電設備の点検項目及び点検内容は、消防法による点検を除き表 (I) による。
 - (c) 消防法による点検は、6 Mの周期で実施する。
 - (d) 運転試験は、無負荷及び負荷状態で実施する。

表 (I) 非常用発電設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 発電機室	<ul style="list-style-type: none"> ① 小動物が侵入するおそれのある開口部の有無を点検する。 ② 取扱者以外の者の立入禁止措置が行われていることを確認する。 ③ 保守用 I ビーム、チェーンブロック等にさび及び取付けボルトの緩みの有無を点検し、作動部の動きが円滑であることを確認する。 ④ 廃油処理が行われていることを確認する。 ⑤ 照度を測定し、点検及び操作上必要な照度が確保されていることを確認する。 ⑥ 各設備、各機器、建築物等との保有距離が保たれていることを確認する。 ⑦ 点検上及び使用上障害となる不要物が置かれていないことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1 Y 	
2. 本体基礎部等	<ul style="list-style-type: none"> ① 共通台板の取付け状況及び基礎ボルトの変形、損傷等の有無を点検する。 ② 防振装置（防振ゴム、ばね及びストッパー）のひび割れ、変形、損傷及びたわみの異常の有無を点検する。 ③ 附属機器の取付け状態及び取付けボルトの点検を行う。 ④ 原動機と発電機との軸継手部の損傷、緩み等の有無を点検する。また、たわみ軸継手を使用されているものは、緩衝用ゴムの損傷等の有無を点検する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 	
3. 原動機			
a. ディーゼル機関	<ul style="list-style-type: none"> ① 原動機の据付け状況を点検する。 ② 各部の汚損、変形等の有無を点検する。 ③ 機側の各配管等に燃料、冷却水、潤滑油、始動空気等の漏れがないことを確認する。 ④ クランクケース、過給機、燃料ポンプ、调速機等各部 	<ul style="list-style-type: none"> 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 	

の潤滑油量が適正であることを確認する。		
⑤ 潤滑油の汚れ及び変質の有無を点検する。	1 Y	
⑥ 機関のターニングにより、次の点検を行う。 ・各シリンダの吸・排気弁の開閉時期及びバルブクリアランスの良否 ・燃料噴射ポンプの吐出開始時期の良否	1 Y	
⑦ 燃料噴射弁の噴射圧力及び噴射状態の良否を点検する。	1 Y	
⑧ 燃料フィルター及び潤滑油フィルターの分解清掃を行い、フィルター本体及びエレメントに異常がないことを確認する。	1 Y	・紙フィルターは交換する。
⑨ 過流式機関及び予燃焼室式機関は、予熱栓の発熱部の断線、変形等の有無を点検する。	1 Y	
⑩ 調速機（リンク系統及び電気系統）装置の作動状況を点検する。	1 Y	
⑪ 潤滑油の交換は、潤滑油を潤滑油用プライミングポンプ、ウイングポンプ、ドレンプラグ等により排出し、フラッシング油を使用して清掃し、作業終了後フラッシング油を抜き取り新油を給油する。なお、潤滑油（製造者の指定品）の交換箇所は次による。 ・原動機油受 ・過給機油受 ・弁腕注油用タンク ・一体形燃料噴射ポンプ油受 ・調速機 ・空気圧縮機油受 また、次の各部にグリス油（製造者の指定品）を給油する。 ・冷却水ポンプ（電動機付） ・同上（機関付） ・燃料移送ポンプ	6 Y	2020 年度 実施
⑫ 潤滑油プライミングポンプ、ブースタ等を分解し、異常の有無を点検する。	6 Y	2021 年度 実施予定
⑬ シリンダヘッドを取外し、分解清掃後、カラーチェック等により燃焼面のき裂及びストレッチによる変形の有無を点検する。また、取付け時、シリンダヘッド銅パッキン又はガスケットパッキンは交換する。	6 Y	2021 年度 実施予定
⑭ 吸・排気弁を取外し、分解清掃後、ばねの異常及び弁棒と弁案内のしゅう動部の異常の有無を点検する。	6 Y	2021 年度 実施予定
⑮ 燃料噴射ポンプ及び吸排気弁用カム、タペットローラの摩耗、損傷、剥離等の有無を点検する。	6 Y	2021 年度 実施予定
⑯ 燃料噴射ポンプの吐出弁、弁座及び燃料高圧管の取付け部の損傷の有無を点検する。	6 Y	2021 年度 実施予定
⑰ シリンダライナ及びピストンは、次による。 ・燃焼面のカーボンを除去し、清掃する。 ・燃焼面及びピストンとのしゅう動面の損傷の有無を点検する。 ・ピストンとのしゅう動面の摩耗状態をシリンダゲージにより測定する。 ・シリンダライナを拔出し、ジャケット側の腐食、損傷	6 Y	2121 年度 実施予定

	等の有無を点検する。 ・ピストンを抜き出し、ピストン及びピストンリングの摩耗状態を点検する。		
	⑱ 給気管等の点検は、次による。 ・給気管内部に損傷の有無 ・膨張継手の汚損、き裂、破損等の有無 ・給気冷却器付は、その内部を分解清掃後異常の有無 ・過給機ケースの損傷、き裂、腐食等の有無	6 Y	2021年度 実施予定
	⑲ 冷却水ポンプの分解点検等は、次による。 ・メカニカルシールのゴムリング部の摩耗及び割れの有無 ・インペラの損傷、き裂、腐食等の有無 ・ケーシング本体との隙間を測定する。	6 Y	2021年度 実施予定
	⑳ 次の空気諸弁を分解清掃後、弁及び弁座の面荒れの有無を点検する。 ・分配弁 ・塞止弁 ・始動・停止用電磁弁 ・減圧弁等	6 Y	2021年度 実施予定
	㉑ 始動電動機等の点検等は、次による。 ・ブラシの摩耗状況を測定する。 ・整流子面に異常のないことを確認する。 ・開閉器主接点の面荒れ	6 Y	2021年度 実施予定
4. 発電機	① 発電機本体、出力端子保護カバー等の変形、損傷、脱落、腐食等の有無を点検する。	1 Y	
	② 発電機の巻線部及び導電部周辺に付着したほこり、油脂等による汚損の有無を点検し、乾燥状態にあることを確認する。	1 Y	
	③ スペースヒータ及び回路の断線、過熱等の有無を点検する。	1 Y	
	④ 接地線の断線、き裂及び接続部の緩みの有無を点検する。	1 Y	
	⑤ ブラシ付発電機は、ブラシを引出して、表面、側面の摩耗状態及びブラシ抑え圧力が適正値であることを点検する。また、ブラシ、ブラシ保持器スリップリング等の清掃を行う。なお、ブラシレス発電機の場合は、回転整流器、サージアブソーバ等の取付け状態を点検する。	1 Y	
	⑥ 軸受等の潤滑状況の良否、変質及び汚損の有無を点検する。	1 Y	
	⑦ 潤滑油の汚損状況及び水分の混入状況をオイル試験紙等を用いて点検する。	1 Y	
5. 発電機制御盤類 【発電機盤、自動始動盤、補機盤】			
a. 盤本体・内部配線等	① 盤本体、扉、ちょう番、ガラス窓等の損傷、さび、変形、腐食等の有無を点検する。	1 Y	
	② 主回路及び制御用、操作用、表示用等の配線の腐食、	1 Y	

	損傷、過熱、ほこりの付着、断線等の有無を点検する。		
	③ 主回路端子部、補機回路端子部、検出部端子等の接続部分及びクランプ類の腐食、損傷及び過熱による変色の有無を点検する。	1 Y	
	④ 碍子類、その他支持物の腐食、損傷、変形等の有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 接地線の断線、腐食及び接続部の損傷の有無を点検する。	1 Y	
	⑥ スペースヒータ及び回路の断線、過熱等の有無を点検する。	1 Y	
b. 盤内機器	① 自動電圧調整装置(AVR)の変形、損傷、腐食、ほこりの付着、過熱及び接触不良の有無を点検する。	1 Y	
	② 交流遮断器は、「交流遮断器」の当該事項による。		
	③ 手動断路器は、「断路器」の当該事項による。		
	④ 計器用変成器は、「計器用変成器」の当該事項による。		
	⑤ 負荷開閉器は、「高圧負荷開閉器」の当該事項による。		
	⑥ 指示計器及び保護継電器は、「指示計器・保護継電器」の当該事項による。		
	⑦ 配線用遮断器等の開閉器類は、「低圧開閉器類」の当該事項による。		
c. 制御回路部	① 制御電源スイッチ、自動・手動切替スイッチ、自動始動制御機器等の操作及び取付け状態の良否並びに汚損、破損、腐食、過熱、異常音、異常振動等の有無を点検する。	1 Y	
	② 補機盤は、次による。		
	・補機用電源スイッチ(始動電動機、充電装置、空気圧縮機、室内換気装置、燃料移送ポンプ等)の操作及び取付け状態の良否並びに汚損、破損、腐食、過熱、異常音、異常振動等の有無を点検する。	1 Y	
	・補機運転用検出スイッチを短絡又は開放して、自動運転ができることを確認する。	1 Y	・検出用スイッチを作動させて運転してもよい。
6. 補機付属装置類			
a. 蓄電池設備	① 蓄電池は、「蓄電池」による。		
	② 始動回転試験を行い、消防法で定める駆動ができる容量であることを確認する。	1 Y	
b. 燃料槽	① 燃料タンクの貯油量を油面計により点検し、併せて油面計の動作の良否を点検する。また、滑車式油面計は、滑車の動作の円滑性、ワイヤ等の損傷の有無を点検する。	1 Y	
	② 燃料タンク、配管及び各種バルブの状態並びに取付けボルトの異常の有無を点検する。	1 Y	
	③ 燃料タンク用通気金物の引火防止金網の脱落、腐食等	1 Y	

	の有無を点検する。		
	④ 燃料タンクの燃料油の水分含有量について点検する。	1 Y	
	⑤ 燃料小出槽内部のさび、損傷等の有無を点検する。	6 Y	2021年度 実施
	⑥ 燃料小出槽内部のスラッジの堆積状況を点検する。	6 Y	2021年度 実施
	⑦ 地下燃料タンクのマンホール内のさびの有無を点検する。	1 Y	
	⑧ 地下燃料タンクの法令点検を行い、所管に報告する。	3 Y	2021年度 実施
c. 燃料移送ポンプ	① ポンプ運転用レベルスイッチが正常に作動することを確認する。	1 Y	
	② ポンプの基礎ボルト及び取付けボルトを点検する。	1 Y	
	③ 本体及び軸受部分の異常音、異常振動、異常な温度上昇等の有無を点検する。	1 Y	
	④ 電動機との直結部分又はプーリー間の芯出し及びベルトの張り具合が正常であることを確認する。	1 Y	
	⑤ 軸封部分からの漏油の有無を点検する。	1 Y	
d. ラジエータ	① 本体、ファン及びファンベルト等の変形、損傷、緩み、腐食、漏水等の有無を点検する。	1 Y	
	② ラジエータコア外面の汚損の有無を点検する。	1 Y	
	③ ラジエータ内部の冷却水の汚れの有無を点検する。	1 Y	
e. 換気装置	① 給排気ファン等の据付け状態、回転部及びベルトに緩み、損傷、き裂、異常音、異常振動等の有無を点検する。	1 Y	
	② 軸受部の潤滑油の汚れ、変質、異物の混入等の有無を点検する。	1 Y	
f. 排気装置			
イ. 消音器	① 支持金具、緩衝装置等に損傷の有無を点検する。	1 Y	
	② ドレンバルブ又はドレンコックを点検し、水分等を除去する。	1 Y	
ロ. 排気管	① 排気管と原動機、可燃物、その他の離隔距離を確認する。	1 Y	
	② 排気伸縮管、排気管及び断熱被覆の変形、脱落、損傷並びにき裂の有無を点検する。	1 Y	
	③ 排気管貫通部の断熱材保護部のめがね石等の変形損傷、脱落及びき裂の有無を点検する。また、排気伸縮管を配管途中に取付けている場合は、貫通部の排気管固定の取付け状態を確認する。	1 Y	
	④ 室外露出部のさび等の有無及び先端部保護網の取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
g. 各種配管	① 配管等の変形、損傷等の有無を点検し、支持金具に緩みが無いことを確認する。	1 Y	
	② 配管の取付け部及び接続部からの漏れの有無を点検し、バルブの開閉状態が正常の位置にあることを確認する。	1 Y	

	る。	
	③ 原動機本体、付属機器及びタンク類との接続部の各種可とう管継手の変形、損傷、漏れ等の有無を点検する。また、ゴム状の可とう管継手を使用している場合は、ひび割れ等のないことを確認する。	1 Y
	④ 温調弁及び感温部の動作温度が設定値どおりであることを確認する。なお、点検で取外したパッキンは交換する。	1 Y
7. 接地抵抗	① 接地線の断線、腐食等の有無を点検する。	1 Y
	② 接地線接続部の取付け状態（ボルト、ナットの緩み、損傷等）を点検する。	1 Y
	③ 各種接地極の接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y
8. 絶縁抵抗	① 次の機器、回路別に絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・発電機関係 ・機器及び機側配線 ・電動機類	1 Y
9. 耐震措置	① ストップ等の偏荷重、溶接部のはがれ等の有無を点検する。	1 Y
	② 基礎ボルト等の変形、損傷及びナットの緩みの有無を点検し、耐震措置が適正であることを確認する。	1 Y
10. 運転機能		
a. 試運転	① 始動タイムスケジュール及びシーケンス（自動動作状況）を確認し、自家発電装置が自動運転待機状態にあることを確認する。	1 Y
	② 始動前に自家発電装置の周囲温度、原動機の冷却水及び潤滑油温度を測定する。また、オイルリング付発電機の場合は、発電機の潤滑油給油口から、内部のオイルリングの作動状況を確認する。	1 Y
	③ 運転中、次の計器類の指示値が規定値内にあることを確認する。 ・電圧 ・周波数 ・回転速度 ・各部温度 ・各部圧力	1 Y
	④ ブラシ付発電機の場合は、運転中、発電機ブラシからのスパークの発生状況に異常がないことを確認する。	1 Y
	⑤ 運転中に異常音（不規則音）、異臭、異常振動、異常な発熱、配管等からの漏れの有無を点検する。	1 Y
	⑥ 保護装置の検出部を短絡又は動作させ、遮断器の遮断、原動機停止の機能、表示及び警報が正常であることを確認する。	1 Y
	⑦ 自動始動盤の停止スイッチ（復電と同じ状態）による	1 Y

	停止試験を行う。ただし、自動停止ができないものは、機側手動停止装置により行う。		
	⑧ 試運転終了後、スイッチ、ハンドル、バルブ等の位置が自動始動運転の待機状態にあることを確認する。	1 Y	
b. 調速機	① 瞬時全負荷遮断性能は、発電機定格出力の100%の負荷において、電圧、周波数及び回転速度をそれぞれ定格値に合わせ、発電機用の遮断器を遮断して電圧周波数及び回転速度を測定し、安定性能を確認する。	1 Y	・100%負荷が確保できない場合は、状況に応じて部分負荷としてもよい。
	② 瞬時負荷投入性能は、発電機用遮断器にて負荷を投入して電圧、周波数及び回転速度を測定し、安定性能を確認する。	1 Y	
c. 保護装置	① 保護装置の検出部の動作を実動作又は模擬動作で試験し、動作値が設定値どおりであることを確認する。	1 Y	・実動作が不適当な項目については、模擬動作で行う。
d. 実負荷運転	① 発電機の定格出力の30%以上の負荷において、次の測定を行い、その適否を確認する。 ・発電機の出力、電圧、各相電流、周波数、電力量及び電機子軸受の温度 ・ディーゼル機関の潤滑油、排気ガス並びに給気の圧力又は温度 ・原動機の回転速度 ・燃料消費量 ・振動(共通台板上の上下方向、軸方向及び軸と直角の水平方向の両振幅) ・背圧測定(ディーゼル機関の排気出口部)	1 Y	
	② 発電機室内の給気及び排気の状態を点検し、所定の温度上昇の範囲内にあることを確認する。	1 Y	
	③ 運転中に油漏れ、異臭、異常音、異常振動、異常な発熱及び排気色の異常の有無を点検する。	1 Y	
	④ 運転中に原動機出口より、消音器、建物等の外部に至るまでの排気系統からの排気ガス漏れの有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 敷地境界線において騒音測定を行う。	1 Y	
	⑥ 発電機停止後、電機子及び軸受の温度を測定する。	1 Y	
	⑦ 試験終了後、スイッチ、ハンドル、バルブ等の位置が自動始動運転の待機状態にあることを確認する。	1 Y	
11. 予備品等	① 製造者標準の予備品がそろっていることを確認する。	1 Y	
	② 設置時の完成図書、特に回路図が保管されていることを確認する。	1 Y	
	③ 保守工具及び取扱説明書が備えてあることを確認する。	1 Y	

常用・非常用
兼用発電設備

- (a) 本節は、常用と消防法による非常電源及び建築基準法による予備電源（以下「防災電源」という。）と兼用の自家発電設備に適用する。
 (b) 常用・非常用兼用発電設備の点検項目及び点検内容は、消防法による点検を除き表(2)による。
 (c) 消防法による点検は、6 Mの周期で実施する。
 (d) 運転試験は、無負荷及び負荷状態で実施する。

表(2) 常用・非常用兼用発電設備

点検項目	点検内容	周期	備考	
1. 発電設備全般	外観総合点検			
	室内・外			
	① 周囲の整理整頓、状況点検 (障害物、各機器との保有距離確認)	1 Y		
	② 雨水等の浸水、漏れの有無点検	1 Y		
	③ 換気装置の機能点検	1 Y		
	④ 照明設備の機能点検	1 Y		
	⑤ 標識の表示状況の点検	1 Y		
	機能総合点検			
	運転状況			
	① 異常音、異常発熱、異常振動等の有無点検	1 Y		
	② 運転データの採取・記録	1 Y		
	各機器			
	① アンカーボルトの弛み点検	1 Y		
	② 水、油、空気、排気ガスの漏れ点検	1 Y		
	2. 原動機	燃料系統		
		燃料噴射ポンプ		
		① ラック目盛位置・摺動点検	1 Y	
		② 噴射時期及び噴射時期調整ボルトの弛み点検	2000 h	2020年度 実施
		③ 分解清掃点検 (消耗部品、P & B、等圧弁等交換)	4000 h	2020年度 実施予定
		燃料噴射ポンプタペット		
① タペット取外し解放清掃		4000 h	2020年度 実施予定	
燃料第2コシ器				
① エレメント清掃		1 Y		
燃料噴射弁				
① 分解清掃点検 (ノズルチップ交換、啓開圧確認)		2000 h	2020年度 実施	
燃料漏油タンク				
① 漏油状況点検	1 Y			
燃料フィードポンプ				
① シール部の漏れ点検	1 Y			
② 分解清掃点検 (消耗部品交換)	4000 h	2020年度 実施予定		
潤滑油系統				
機関潤滑油				
① 潤滑油交換(全量交換)	2000 h	2020年度 実施		

② 油量点検 潤滑油ポンプ	1 Y	
① 機能確認 (運転時確認)	1 Y	
② 分解清掃点検 (消耗部品交換)	4000 h	2020年度 実施予定
潤滑油コシ器		
① フィルターキャンドルの分解点検	4000 h	2020年度 実施予定
潤滑油遠心コシ器		
① 分解清掃	1 Y	
潤滑油冷却器		
① 能確認 (運転データにより確認)	1 Y	
② 分解清掃点検	4000 h	2020年度 実施予定
③ 水圧テスト	4000 h	2020年度 実施予定
潤滑油プライミングポンプ		
① 機能確認 (作動確認)	1 Y	
② 分解清掃点検 (消耗部品交換)	4000 h	2020年度 実施予定
冷却水系統		
冷却水		
① 冷却水入替 (クーラント交換)	4000 h	2020年度 実施予定
冷却水ポンプ		
① シール部の漏れ点検	1 Y	
② メカニカルシール交換	4000 h	2020年度 実施予定
③ 分解清掃点検 (消耗部品交換)	4000 h	2020年度 実施予定
始動系統		
エアモーター		
① 電気配線弛み点検	1 Y	
② 空気配管接続部漏れ点検	1 Y	
③ 分解点検	4000 h	2020年度 実施予定
調速装置		
油圧式調速機		
① 油量点検	1 Y	
リンケージ及び調速機駆動装置		
① リンケージの注油、ガタ弛み点検	1 Y	
過給系統		
過給器		
① 吸気フィルターの清掃	1 Y	
② 開放点検	4000 h	2020年度 実施予定
空気冷却器		
① 機能確認 (運転データにより確認)	1 Y	
② 分解清掃点検	4000 h	2020年度 実施予定

③ 水圧テスト	4000 h	2020 年度 実施予定
往復運動部		
ピストン及びピストンピン		
① ピストン冷却ノズル点検	4000 h	2020 年度 実施予定
② 清掃、損傷の有無点検 (外周・リング溝・ピンボス)	4000 h	2020 年度 実施予定
③ 主要部の計測 (リング溝)	4000 h	2020 年度 実施予定
④ ピストンリング交換	4000 h	2020 年度 実施予定
接続棒		
① 清掃、損傷の有無点検	4000 h	2020 年度 実施予定
② 大・小端部メタル点検	4000 h	2020 年度 実施予定
③ 大・小端部メタル内径計測	4000 h	2020 年度 実施予定
④ 接続棒ボルト締付チェック	4000 h	2020 年度 実施予定
シリンダーライナー		
① 清掃、損傷の有無点検 (ゴムリング交換)	4000 h	2020 年度 実施予定
② 内径計測	4000 h	2020 年度 実施予定
クランク軸		
クランク軸及びクランク室		
① デフレクション計測	4000 h	2020 年度 実施予定
② クランクピン点検 (外周点検)	4000 h	2020 年度 実施予定
③ 主軸受けメタル点検 (スラストメタル含む)	4000 h	2020 年度 実施予定
④ 主軸受けメタル締付ボルト点検	4000 h	2020 年度 実施予定
駆動歯車		
① 歯当り点検 (バックラッシュ計測)	4000 h	2020 年度 実施予定
シリンダーヘッド		
シリンダーヘッド		
① 燃焼面清掃点検	4000 h	2020 年度 実施予定
② 冷却水路清掃	4000 h	平成 32 年度 実施予定
③ 水圧テスト	4000 h	平成 32 年度 実施予定
吸排気弁		
① 弁バネ・バネ受点検	1 Y	
② 弁頭間隙点検調整	1 Y	

3. 付帯機器

③ バルブローテーター交換	4000 h	2020年度 実施予定
④ 弁腕注油状況点検	4000 h	2020年度 実施予定
⑤ 吸排気弁交換摺合せ	4000 h	2020年度 実施予定
カム軸		
① カム・タペットローラ点検	1 Y	
燃料油系統		
燃料移送ポンプ		
① 作動点検	1 Y	
燃料小出槽		
① ドレン排出	1 Y	
燃料油第1コシ器		
① エレメント清掃	1 Y	
冷却水系統		
ジャケット水膨張タンク		
① 水位確認	1 Y	
② 外観、汚れ錆の有無	1 Y	
③ 内部簡易清掃	4000 h	2020年度 実施予定
クーラー水膨張タンク		
① 水位確認	1 Y	
② 外観、汚れ錆の有無	1 Y	
③ 内部簡易清掃	4000 h	2020年度 実施予定
温水循環ポンプ		
① 機能確認(作動確認)	1 Y	
熱交換器		
① 機能確認(運転データにより確認)	1 Y	
② 分解清掃	4000 h	2020年度 実施予定
ラジエータ		
① 機能、作動確認	1 Y	
始動系統		
空気槽		
① 空気槽配管漏れ点検、ドレン抜き	1 Y	
空気圧縮機		
① コンプレッサー作動点検	1 Y	
② 分解点検	4000 h	2020年度 実施予定
その他付属装置		
回転計		
① 機関停止中指針が零を指しているか	1 Y	
潤滑油圧力計		
① 機関停止中指針が零を指しているか	1 Y	
冷却水圧力計		
① 機関停止中指針が零を指しているか	1 Y	
燃料油圧力計		
① 機関停止中指針が零を指しているか	1 Y	

4. 制御盤関係

給気圧力計		
① 機関停止中指針が零を指しているか	1 Y	
温度スイッチ、圧力スイッチ		
① 配線ターミナル増締	1 Y	
熱電対、測温抵抗体他センサー		
① 取付け部の増締	1 Y	
煙道		
① 消音器のドレン抜き	1 Y	
各種フレキ管、ゴム継手		
① 外観点検	1 Y	
ミスと分離器		
① ドレン抜き	1 Y	
盤内外部全般		
盤外部全般		
① 錆、変形、破損、汚損、腐食等異常がないこと	1 Y	
盤内部全般		
① 錆、変形、破損、汚損、腐食、粉塵の堆積、結露及び異臭、異常音がないこと	1 Y	
盤面機器		
① 動作不良、破損、損傷等がないこと	1 Y	
盤換気ファン、装置冷却ファン		
① 異常音がないこと	1 Y	
扉、鍵		
① 開閉操作に異常がないこと	1 Y	
配線		
主回路、締付部		
① 接続ネジ弛み、過熱変色、汚損等がないこと	1 Y	
碍子、支持物		
① 破損、過熱変色、亀裂、汚損等がないこと	1 Y	
制御、補機回路、締付部		
① 締付部の弛み、過熱変色、汚損等がないこと	1 Y	
接地線		
① 端子の損傷、ネジの弛みがないこと	1 Y	
遮断器		
真空遮断器		
① 細密点検	4000 h	2020年度 実施予定
高圧機器		
高圧主機器		
① 破損、損傷等がないこと	1 Y	
器具類		
配線用遮断器		
① 破損、損傷、接触不良等がないこと	1 Y	
低圧接触器、補助リレー、タイマー類		
① 動作不良、破損、損傷等がないこと	1 Y	
計器用 V T、C T 補助変圧器		
① 変形、過熱変色、損傷等がないこと	1 Y	
V T ヒューズ、低圧ヒューズ類		
① 溶断、クリップに錆がないこと	1 Y	
保護継電器		

5. 発電機

① 内部のほこり、損傷等がないこと	1 Y	
② 動作特性試験 電圧検出リレー	1 Y	
① 動作不良、破損、損傷等がないこと	1 Y	
計器類		
① 錆、変色がないこと、零点確認 トランスデューサ	1 Y	
① 動作特性試験	4000 h	2020 年度 実施予定
スイッチ類		
① 破損、損傷、接触不良等がないこと	1 Y	
抵抗器類		
① 損傷、断線等がないこと	1 Y	
表示灯、盤内灯		
① グローブ破損、玉切れがないこと	1 Y	
盤スペースヒーター		
① 断線、損傷、過熱痕跡等がないこと	1 Y	
制御装置類		
PLC		
① 基板の過熱変色がないこと コネクタ、ネジ等の弛みがないこと	1 Y	
デジタルコントロールユニット (DCU)		
① 基板の過熱変色がないこと コネクタ、ネジ等の弛みがないこと	1 Y	
ディスプレイパネル (DCU 付属)		
① 汚損、損傷がないこと コネクタ、ネジ等の弛みがないこと	1 Y	
発電機保護装置		
① 基板の過熱変色がないこと	1 Y	
補機制御ユニット		
① ネジの弛み、変色がないこと	1 Y	
自動制御装置類		
① 変色、汚損がないこと	1 Y	
励磁装置類		
自動電圧調整器 (AVR)		
① 変色、汚損がないこと	1 Y	
② 発電機電圧が安定であること	1 Y	
③ 静特性試験	4000 h	2020 年度 実施予定
絶縁		
絶縁抵抗測定		
① 6 kV 級：5 M Ω 以上であること 600 V 以下：0.5 M Ω 以上であること	1 Y	
外観	1 Y	
発電機本体		
① 錆、損傷、汚れ等がないこと		
据付、各部のボルト	1 Y	
① 弛み、腐食等がないこと		
カバー類	1 Y	
① 錆、損傷、汚れ等がないこと		

6. 発電機固定子

端子箱、接地線	1 Y	
① 締付部の弛み、変色がないこと		
巻線		
コイルエンド絶縁		
① 変色、汚れ、傷がないこと	4000 h	2020年度 実施予定
コイル支え		
① 弛み、ズレがないこと	4000 h	2020年度 実施予定
糸しばり		
① 弛み、ズレがないこと	4000 h	2020年度 実施予定
口出し線		
① 傷、変色、割れがないこと	4000 h	2020年度 実施予定
鉄心		
鉄心		
① 発錆、変色がないこと	4000 h	2020年度 実施予定
ダクト		
① 目詰まり、汚れがないこと	4000 h	2020年度 実施予定

7. 発電機回転子

巻線		
界磁巻線		
① 汚れ、傷、変色がないこと	4000 h	2020年度 実施予定
口出し線		
① 傷、変色、割れがないこと	4000 h	2020年度 実施予定
その他		
軸		
① 発錆、変色がないこと	4000 h	2020年度 実施予定
ファン		
① 亀裂がないこと	4000 h	2020年度 実施予定
締付ボルト		
① 弛みがないこと	4000 h	2020年度 実施予定

8. 発電機励磁装置

交流励磁機		
外観、内部一般		
① 傷、損傷、汚れ等がないこと	4000 h	2020年度 実施予定
固定子、回転子、巻線		
① 汚れ、変色、傷等がないこと	4000 h	2020年度 実施予定
口出し線、接続部		
① 傷、変色、割れがないこと	4000 h	2020年度 実施予定
回転整流器		

9. 発電機軸受

整流素子		
① 表面汚損、腐食、傷がないこと	4000 h	2020 年度 実施予定
接続部		
① 締付弛み、リード線に断線がないこと	4000 h	2020 年度 実施予定
軸受		
油面		
① レベル内であること	4000 h	2020 年度 実施
油面計		
① 汚れがないこと	4000 h	2020 年度 実施
油漏れ		
① 油滴、油溜まりに至る油漏れがないこと	4000 h	2020 年度 実施
軸受温度計		
① 異常がないこと	4000 h	2020 年度 実施

10. 試運転

総合試験		
始動、停止動作		
① 始動、停止動作が仕様通りであること	1 Y	
電圧調整範囲		
① ±10%程度可変できること	1 Y	
周波数調整範囲		
① ±5%程度可変できること	1 Y	
保護装置試験		
① 故障発報が仕様通りであること	1 Y	
遮断器動作		
① 連動開閉動作が正常であること	1 Y	
負荷運転		
① 仕様通りであること	1 Y	
自動同期投入制御		
① 商用との同期投入制御動作が正常であること	1 Y	

3.2 発電設備

3.2. (C) 交換部品

非常用発電機

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
潤滑油	#40	400L	6Y			
不凍液		126L	6Y			

常用・非常用兼用発電機

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
パッキン	カム室蓋	6個	1Y	○	○	○
遠心コシキ ○リング	ローター	1個	1Y	○	○	○
遠心コシキ ○リング	本体	1個	1Y	○	○	○
遠心コシキ ペーパーインサート		1個	1Y	○	○	○
遠心コシキ ○リング	カバーナット	2個	1Y	○	○	○
燃料コシキ ゴムパッキン	コシケース	2個	1Y	○	○	○
燃料コシキ エアパッキン		2個	1Y	○	○	○
燃料コシキ ゴムパッキン	F0コンシメント	2個	1Y	○	○	○
パッキン	燃料噴射管①	6個	2000h		○	
パッキン	燃料噴射管②	6個	2000h		○	
パッキン	燃料噴射管③	6個	2000h		○	
ノズル	CMP (燃料噴射弁)	6個	2000h		○	
○リング	4DP65.0 (燃料噴射弁)	6個	2000h		○	
○リング	4DG70.0 (燃料噴射弁)	6個	2000h		○	
潤滑油	#40	2000L	2000h		○	

3.3 静止形電源設備

3.3.1 業務対象設備

3.3.(A) 業務対象設備の概要による。

3.3.2 点検項目、点検内容及び点検周期

3.3.(B) 業務要領 静止形電源設備による。

3.3.3 取替部品

3.3.(C) 取替部品による。

3.3.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
 - ・試験成績書
 - ・計測記録
 - ・業務記録写真
- -----

書式は、受注者の業務報告書とする。

3.3.5 その他

3.3 静止形電源設備

3.3(A) 業務対象設備の概要

直流電源設備

設置場所	特高変電所	IT社ノ電気室	研究棟電気室
定格入力電圧(V)	200	200	200
台数(台)	1	1	1
蓄電池種別	長寿命MSE	長寿命MSE	長寿命MSE
蓄電池容量(Ah) (セル)	50	150	200
	54	54	54
製造者名	(株)GSエアサハ ワークス (TR-SNTB10050)	エアサハ ワークス(株) (GTSB100-40)	(株)GSエアサハ ワークス (BROS10040TRGKPGY)
設置年月	平成21年6月	平成15年3月	平成17年3月
備考			
設置場所	外来B1階電気室	外来4階電気室	病棟電気室
定格入力電圧(V)	200	200	200
台数(台)	1	1	1
蓄電池種別	長寿命MSE	長寿命MSE	長寿命MSE
蓄電池容量(Ah) (セル)	700	600	500
	54	54	54
製造者名	(株)GSエアサハ (GTSC100-150V)	(株)GSエアサハ (TR-SNTR10100)	古河電池(株) (MD2100T-075SMBS)
設置年月	平成24年7月 平成12年12月	平成23年7月	平成21年6月
備考			

交流無停電電源設備

設置場所	外来4階電気室	病棟電気室	
本体	並列冗長(2台)	単機(1台)	
定格入力電圧(V)	200	200	
出力容量(kVA)	150	200	
台数(組)	2	1	
蓄電池種別	長寿命MSE	長寿命MSE	
蓄電池容量(Ah) (セル)	300	400	
	180	174	
製造者名	(株)東芝	三菱電機(株)	
形式	TOSNIC-8200	MELUPS 20033B-A	
製造年月	平成23年7月	平成21年6月	
備考			

3.3. (B) 業務要領 静止形電源設備

第1節 静止形電源設備

(1) 直流電源設備

共通事項	本節は、防災電源用、操作用及びバックアップ用の直流電源設備に適用する。
(1) 整流装置	整流装置の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 整流装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外箱、機器等の 外観状況	① 外箱の外観、計器、表示灯、スイッチ等の変形、損傷、汚れ、腐食等の有無を点検する。	1 Y	
	② 各部品の汚損、損傷、温度上昇、過熱、変色、異常音、異臭等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 固定金具、据付ボルト等の変形、損傷、緩み等の有無を点検する。	1 Y	
2. 機能	① 次の値を測定し、その良否を確認する。 ・交流入力電圧 ・トリクル充電電圧又は浮動充電電圧 ・負荷電圧 ・出力電流及び負荷電流（盤面計器による）	1 Y	
	② 開閉器及び遮断器の変形、損傷等の有無を点検する。 また、入力・出力負荷、警報等の状況によるON、OFF状態を確認する。	1 Y	
	③ 過放電防止装置、減液警報装置、不足電圧継電器等の設定値及び動作確認を行う。	1 Y	
	④ 自動回復充電の動作を確認する。	1 Y	
	⑤ 実負荷により常用電源を停電状態にしたときに自動的に非常電源に切替り、常用電源を復旧したときに自動的に常用電源に切替ることを確認する。	1 Y	
3. 配線、端子	① 内部配線及び端子部の劣化並びに端子接続部の緩みの有無について点検する。	1 Y	
4. 絶縁抵抗	① 次の箇所の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・一次主回路と大地間 ・二次主回路と大地間 ・一次・二次相互間	1 Y	
5. 接地抵抗	① 単独接地極の場合は、接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	

(2)
蓄電池

蓄電池の点検項目及び点検内容は、表(2)による。

表(2) 蓄電池

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外観状況	① 全セルについて電槽、ふた、各種栓体、パッキン等に変形、損傷、き裂及び漏液の有無を点検する。	1 Y	
	② 封口部のはがれ、き裂等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 架台及び外箱の変形、損傷、腐食等の有無を点検する。	1 Y	
	④ 蓄電池の転倒防止枠、緩衝材、アンカーボルト等の変形及び損傷の有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 蓄電池端子と配線及び全セルの蓄電池間の接続部の発熱、焼損及び腐食の有無を点検する。	1 Y	
2. 機能	① 浮動充電中の全セルの電圧及び蓄電池総電圧を測定し、その良否を確認する。	1 Y	

(2) 交流無停電電源設備

共通事項

簡易型は、整流装置、逆変換装置及び蓄電池装置等の全部を一つのキャビネット収納したもの、または一部を別キャビネットにした小容量のものとする。

(1)

交流無停電電源設備(簡易型を除く)

交流無停電電源設備(簡易型を除く)の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 交流無停電電源設備(簡易型を除く)

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外箱、機器等の外観状況	① 固定金具、据付ボルト等の変形、損傷及び緩みの有無を点検する。	1 Y	
	② 抵抗器の変色及び変形の有無を点検する。	1 Y	
	③ コンデンサの変色、変形、液漏れ及び防爆弁の異常の有無を点検する。	1 Y	
	④ 半導体スタック類の接点荒れ及びコイル変色の有無を点検する。	1 Y	
	⑤ 継電器、接触器の接点荒れ及びコイル変色の有無を点検する。	1 Y	
	⑥ プリント基板の部品変色及び汚損の有無を点検する。	1 Y	
	⑦ ヒューズの熱変色の有無を点検する。	1 Y	
	⑧ 冷却ファンの熱による変色の有無を点検する。	1 Y	
	⑨ トランス及びリアクトルの過熱及び変色の有無を点検する。	1 Y	
2. 機能	① 容量 100 kVA 以上の場合、主回路に使用している	1 Y	

	<p>半導体素子の素子漏れ電流測定及びゲート特性試験を行い、その良否を確認する。</p> <p>② ゲート回路を単独運転させ各電源電圧を測定し、規定値内であることを確認する。</p> <p>③ ゲート回路の運転又は停止中において、次の測定を行い、その良否を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発振器周波数の確認(主発振器、キャリアパス) ・電圧制御リミットの測定 ・各部動作表示の確認 ・主回路素子のゲート波形(電圧)の確認 <p>④ 運転・停止、出力切替試験、故障シーケンスの動作確認(展開接続図に基づいて)、表示警報等が正常であることを確認する。</p> <p>⑤ 保護回路の各種保護継電器の設定値に対する動作値を測定し、許容値以内であることを確認する。</p> <p>⑥ 無負荷運転試験(展開接続図に基づいて)を次により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主回路各部の波形をシンクロスコープ等により測定し、異常がないことを確認する。 ・電圧、電流等を各指示計器又はシンクロスコープ等により測定し、規定値以内であることを確認する。 ・運転中、主回路機器の異常音、異臭等の有無を点検する。 	1 Y	1 Y	1 Y	1 Y
3. 配線、端子	① 内部配線、端子部の変色、劣化及び緩みの有無を点検する。	1 Y			
4. 絶縁抵抗	① 次の箇所の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y			
	<ul style="list-style-type: none"> ・交流入力回路と大地間 ・インバータ主回路と大地間 ・出力回路と他回路大地間 				
5. 接地抵抗	① 単独接地極の場合は、接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y			

(2) 蓄電池	(1) 直流電源設備 (2) 蓄電池による。
------------	------------------------

(2) 交流無停電電源設備(簡易型)	交流無停電電源設備(簡易型)の点検項目及び点検内容は、表(2)による。
-----------------------	-------------------------------------

表(2) 交流無停電電源設備(簡易型)

点検項目	点検内容	周期	備考
交流無停電電源装置 【簡易型】	① 装置の過熱、ほこり等の付着の状態を点検する。	1 Y	
	② キャビネットの変形、損傷、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 異常音、異臭等の有無を点検する。	1 Y	
	④ 支持ボルト等の緩みの有無について点検する。	1 Y	
	⑤ パネル表示、操作部等の操作及び表示機能を点検する。	1 Y	
	⑥ 電源電圧（入力電圧・出力電圧）の確認を行う。	1 Y	
	⑦ 交流入力電源を停電させ、蓄電池運転への切替え、復電時の切替え、交流直送回路への切替え等の点検を行う。	1 Y	
	⑧ 蓄電池について、変形、損傷、き裂、液漏れ等の有無を点検する。	1 Y	

3.3 静止形電源設備

3.3.(C) 取替部品

直流電源設備

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
エネルギーセンター電気室						
警報基板	ALD-20	1個	7Y			
非常照明基板	ALD-23	1個	7Y			
ヒューズ (F16)	GFK	1個	7Y			
ヒューズ (F21)	GP1	1個	7Y			
ゲート制御装置 (GCD)	GRTB-60	1台	7Y			
ヒューズ (F1, 2)	CR2LS	2個	7Y			
警報ヒューズ (AF1, 2)	P413	2個	7Y			
制御基板 (SIDC)	SIDC-1D	1個	7Y			
地絡継電器 (G)	VG-NB1	1個	5Y			
リレー (M1)	MY2-D	1個	5Y			
基礎臨床研究棟電気室						
制御回路基板 (PSK)	RPS-1212B	1個	7Y			
デジタルハル制御基板 (PD)	RPS-1220C	1個	7Y			
制御基板 (LMD)	RPS-1216B	1個	7Y			
制御基板 (LCD)	RPS-1221A	1個	7Y			

無停電電源設備

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
病棟電気室						
表示パネル	GP2300-LG24-24V	1台	7Y			
主回路 電解コンデンサ	LNX2W842MSECMK DC450V 8400 μ F	10個	8Y			
制御回路 電解コンデンサ	SME35LGSN33000BMK DC35V 33000 μ F	1個	8Y			
ゲートドライブ基板	GDAU-33C	6枚				
リレー基板	RYDR-WA	1枚				
リレー基板	RYDR-JA	1枚				
制御電源	PSAU-27J	1台				
主回路ヒューズ	170M4419 AC550V 900A	6個	8Y			
補助回路ヒューズ	ATM30	3個	8Y			
補助回路ヒューズ	ATM10	5個	8Y			
制御電源(周辺盤)	LDA50F-24-SN	4台	8Y			
ヒューズ(C-10)	BLA010	6個	8Y			
ヒューズ(C-5)	BLA005	4個	8Y			
ヒューズ(C-3)	BLA003	6個	8Y			
冷却ファン	PF-16BT2G	2台	3Y			○

3.4 入退室管理設備

3.4.1 業務対象設備

3.4.(A) 業務対象設備の概要による。

3.4.2 点検項目、点検内容及び点検周期

3.4.(B) 業務要領 入退室管理設備による。
業務期間内の障害時対応は、オンコール受付による24時間
対応とする。オンコールの費用は受注者の負担とし、修理に
係る材料費は消耗品、雑材料を除き発注者の負担とする。

3.4.3 取替部品

3.4.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・試験成績書
- ・計測記録
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

3.4.5 その他

3.4. 入退出管理設備

3.4. (A) 業務対象設備の概要 (配置は系統図参照)

製造者名：三菱ビルテクノサービス株式会社

病棟・外来棟・PET-CT棟・MRI-CT棟・探索的臨床研究施設・管理棟

番号	設置場所	項目	仕様	
1	基礎臨床研究棟 3階情報基盤センター・ 外来棟1階守衛室	入退室管理装置	2台	
		ヒューマンインターフェース* 吐紙		
		ロギングプリンタ		
		非接触カード登録機		
		スイッチング HUB		
		データ保護用 UPS		
2	病棟1～8階EPS・ PET-CT棟・ 外来棟B1～4階EPS・ 探索的臨床研究施設 管理棟B1階トロッコ	IDコントローラ	32台	
		タイプ	IDC8	IDC4
		端末 I/F	8扉分	4扉分
		高さ	800	400
		電源	AC100V±10% 50/60Hz 最大 470VA 最大 250VA	
		塗色	マントル 5Y7/1 (ライトベージュ)	
		質量	約 13.5Kg	約 8.0Kg
		環境条件	温度 0～40℃ 湿度 30～80%RH(結露なきこと)	
		停電時動作補償	停電補償時間：10分	
		3	病棟1階EPS	連動コントローラ
DIO 点数	DO:無電圧 DO 3点(a 接点) DI:有電圧 DI 3点			
電源	AC100V±10% 50/60Hz 80VA 以下			
塗色	マントル 5Y7/1 (ライトベージュ)			
質量	8.0kg			
環境条件	温度 0～40℃ 湿度 30～80%以下(結露なきこと)			
停電時動作補償	停電補償時間：10分			
4	病棟1階EPS	IOコントローラ	1台	
		DIO 点数	DI:40点 DO:20点 (無停電 a 接点)	
		電源	AC100V±10% 50/60Hz 最大 100VA 以下	
		塗色	マントル 5Y7/1 (ライトベージュ)	
		質量	8.0kg	
		環境条件	温度 0～40℃ 湿度 30～80%以下(結露なきこと)	
		停電時動作補償	停電補償時間：10分	
5	病棟・PET-CT棟・ 外来棟・管理棟 探索的臨床研究施設・ エネルギーセンター	メディアコンバータ	12台	
		通信速度	100Mbps	
		使用ケーブル	100BASE-TX CAT5 以上 100Mbps 光 2芯マルチモード 光ファイバ	
		伝送距離	2km	
		電源	AC100-120V 最大 4.6W	

		環境条件	温度 0~40℃ 湿度 30~80%以下(結露なきこと)			
		質量	100g(ACアダプタ含まず)			
6	病棟1階EPS	リレーBOX	1台			
		色彩	5Y7/1(ライトベージュ)			
		ハンドル	平面ハンドル(キ: N200)			
		電源	AC100V±10% 50/60Hz			
7	病棟・PET-CT棟・ 外来棟・ 探索的臨床研究施設	開錠用押釦	31台			
		定格	1A 125V AC 3A 30VA			
		接触方式	銀-銀突合わせ接触			
		回路方式	片切(常開型)			
		警報表示盤	3台			
8	病棟	タイプ	K4	K2		
		表示点数	4点	2点		
		消費電力	2.5KVA			
		ブザー音量	70dB(前方1m)			
		非接触ICカードリーダー	173台			
			UCR-8202	UCR-8222		
9	病棟・PET-CT棟 MRI-CT棟・ 外来棟・管理棟・ 探索的臨床研究施設	型番	屋内仕様	防滴仕様		
		表示	2色LED 2点(OK/NG、施錠/開錠)			
		ブザー	電子ブザー 1点			
		対応カード	マルチカード 読取り(FeliCa 他)			
		読取り距離	約5cm(FeliCaカードの場合)			
		通信方式	動作周波数 13.56MHz			
		電源	IDCからの電源供給による DC24V(+4V/-6V) 平均0.2A 最大0.3A			
		色(露出部)	本体 初付(マニル 10BG/8.7/0.2 近似)			
		環境条件	DC24V 0.5A 以下			
		環境条件	温度 -10~40℃ 湿度 35~85%RH (結露なきこと)	温度 -10~45℃ 湿度 35~90%RH		
		保護等級	—	IP55		
			約300g	約400g		
		10	病棟	チャイム本体	1台	
				電源電圧	AC100V 50/60Hz	
				消費電力	通常時 8W 鳴音時 15W	
		11	病棟	チャイム増設機	1台	
消費電力	待機時 1w 以下(定格電圧にて) 鳴音時 1.5W 以下(定格電圧にて)					
音量	68dB 以上(定格電圧にて前方1m)					
12	病棟	赤外線検知器	1台			
		定格	電源電圧 DC12V 消費電力 100mA			
		検知方式	赤外線反射レベル変化分検知方式			
		有効検知距離	4m 以下			

サイクロトロン棟・フォトン研究棟

1	R I 動物実験施設 1 階 管理室 (サイクロトロン棟用)	入退室管理装置	1 台	
		ヒューマンインターフェース* ロセッサ		
		プリンタ		
		非接触カード登録機		
		スイッチング HUB データ保護用 UPS		
2	サイクロトロン棟 1 階 EPS	ID コントローラ	1 台	
		タイプ	IDC8	IDC4
		端末 I/F	8 扉分	4 扉分
		高さ	800	400
		電源	AC100V±10% 50/60Hz 最大 470VA 最大 250VA	
		塗色	マントル 5Y7/1 (ライトベージュ)	
		質量	約 13.5Kg	約 8.0Kg
		環境条件	温度 0~40℃ 湿度 30~80%RH(結露なきこと)	
		停電時動作補償	停電補償時間: 10 分	
3	サイクロトロン棟 2 階 EPS・ R I 動物実験施設 1 階 管理室	メディアコンバータ	2 台	
		通信速度	100Mbps	
		使用ケーブル	100BASE-TX CAT5 以上 100Mbps 光 2 芯マルチモード 光ファイバー	
		伝送距離	2km	
		電源	AC100・120V 最大 4.6W	
		環境条件	温度 0~40℃ 湿度 30~80%以下(結露なきこと)	
		質量	100g(ACアダプタ含まず)	
4	サイクロトロン棟 1 階 2 箇所・2 階 1 箇所・ フォトン研究棟 1 階廊下	開錠用押釦	4 台	
		定格	1A 125V AC 3A 30VA	
		接触方式	銀-銀突合わせ接触	
		回路方式	片切(常開型)	
5	サイクロトロン棟 7 箇所 フォトン研究棟 1 階玄関	非接触 IC カードリーダー	8 台	
			UCR-8202	UCR-8222
		型番	屋内仕様	防滴仕様
		表示	2 色 LED 2 点(OK/NG、施錠/開錠)	
		ブザー	電子ブザー 1 点	
		対応カード	マルチカード 読取り(FeliCa 他)	
		読取り距離	約 5cm(FeliCa カードの場合)	
		通信方式	動作周波数 13.56MHz	
		電源	IDC からの電源供給による DC24V(+4V/-6V) 平均 0.2A 最大 0.3A	
		色(露出部)	本体 ホワイト(マントル 10BG/8.7/0.2 近似)	
		環境条件	DC24V 0.5A 以下	
		環境条件	温度 -10~40℃ 湿度 35~85%RH (結露なきこと)	温度 -10~45℃ 湿度 35~90%RH
		保護等級	—	IP55
			約 300g	約 400g

基礎臨床研究棟・看護学科棟・講義実習棟・福利施設棟・附属図書館・臨床講義棟・R I 動物実験施設
総合人間科学・基礎研究棟・医工連携拠点棟

1	基礎臨床研究棟 B1 階 管理室 附属図書館 事務室	入退室管理装置	2 台	
		ヒューマンインターフェース* ロセッサ		
		ロギング* アプリカ		
		非接触カード* 登録機		
		スイッチング HUB		
		データ保護用 UPS		
2	基礎臨床研究棟 B1・5 階 EPS 講義実習棟 特別講義室 臨床講義棟 B1 階電気室 附属図書館 事務室 RI 動物実験施設 玄関	ID コントローラ	12 台	
		タイプ	IDC8	IDC4
		端末 I/F	8 扉分	4 扉分
		高さ	800	400
		電源	AC100V±10% 50/60Hz 最大 470VA 最大 250VA	
		塗色	マントル 5Y7/1 (ライトベージュ)	
		質量	約 13.5Kg	約 8.0Kg
		環境条件	温度 0~40℃ 湿度 30~80%RH(結露なきこと)	
		停電時動作補償	停電補償時間: 10 分	
3	基礎臨床研究棟 B1・5 階 EPS 講義実習棟 特別講義室 臨床講義棟 B1 階電気室	メディアコンバータ	4 台	
		通信速度	100Mbps	
		使用ケーブル	100BASE-TX CAT5 以上 100Mbps 光 2 芯マルチモード 光ファイバ	
		伝送距離	2km	
		電源	AC100-120V 最大 4.6W	
		環境条件	温度 0~40℃ 湿度 30~80%以下(結露なきこと)	
		質量	100g(ACアダプタ含まず)	
4	基礎臨床研究棟 附属図書館 事務室 RI 動物実験施設 管理室	開錠用押釦	14 台	
		定格	1A 125V AC	
			3A 30VA	
		接触方式	銀-銀突合わせ接触	
		回路方式	片切(常開型)	
5	基礎臨床研究棟 B1 階機器センター廊下・ 3 階情報基盤センター・ 5, 7, 9 階実験室 看護学科棟 講義実習棟 福利施設棟 附属図書館 臨床講義棟 R I 動物実験施設	非接触 IC カードリーダー	48 台	
			UCR-8202	UCR-8222
		型番	屋内仕様	防滴仕様
		表示	2 色 LED 2 点(OK/NG、施錠/開錠)	
		ブザー	電子ブザー 1 点	
		対応カード	マルチカード 読取り(FeliCa 他)	
		読取り距離	約 5cm(FeliCa カードの場合)	
		通信方式	動作周波数 13.56MHz	
		電源	IDC からの電源供給による DC24V(+4V/-6V)	
			平均 0.2A 最大 0.3A	
		色(露出部)	本体 ホワイト(マントル 10BG/8.7/0.2 近似)	
		環境条件	DC24V 0.5A 以下	
		環境条件	温度 -10~40℃ 湿度 35~85%RH (結露なきこと)	温度 -10~45℃ 湿度 35~90%RH
		保護等級	—	IP55
	約 300g	約 400g		

3.4.(B) 業務要領 入退出管理設備

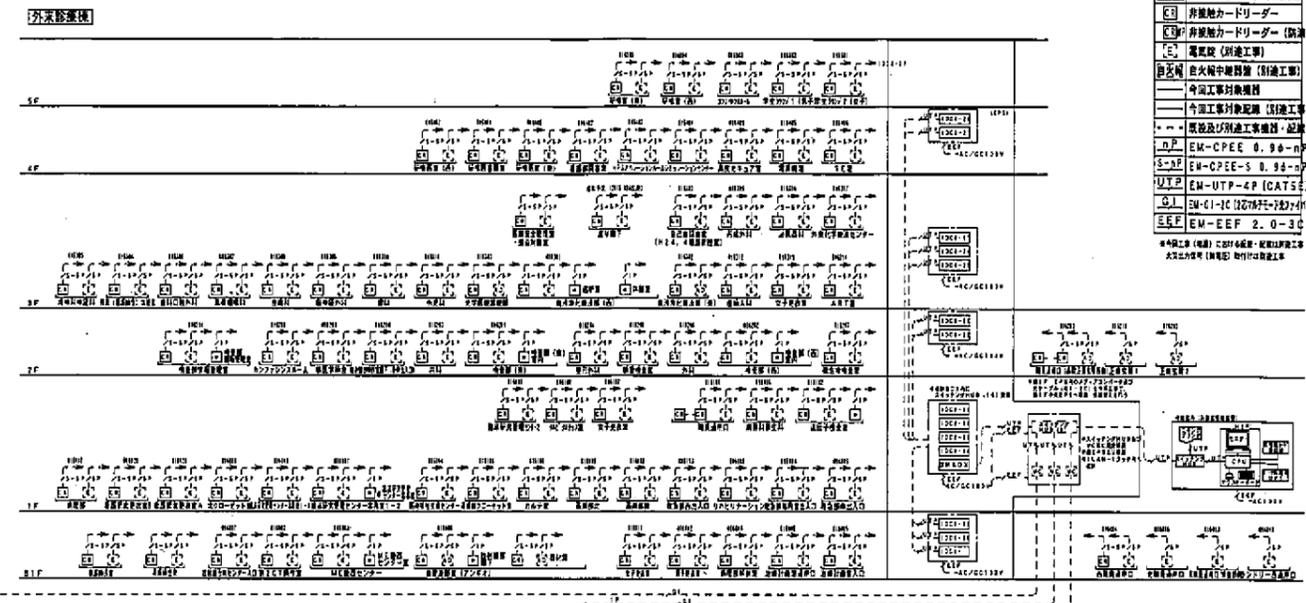
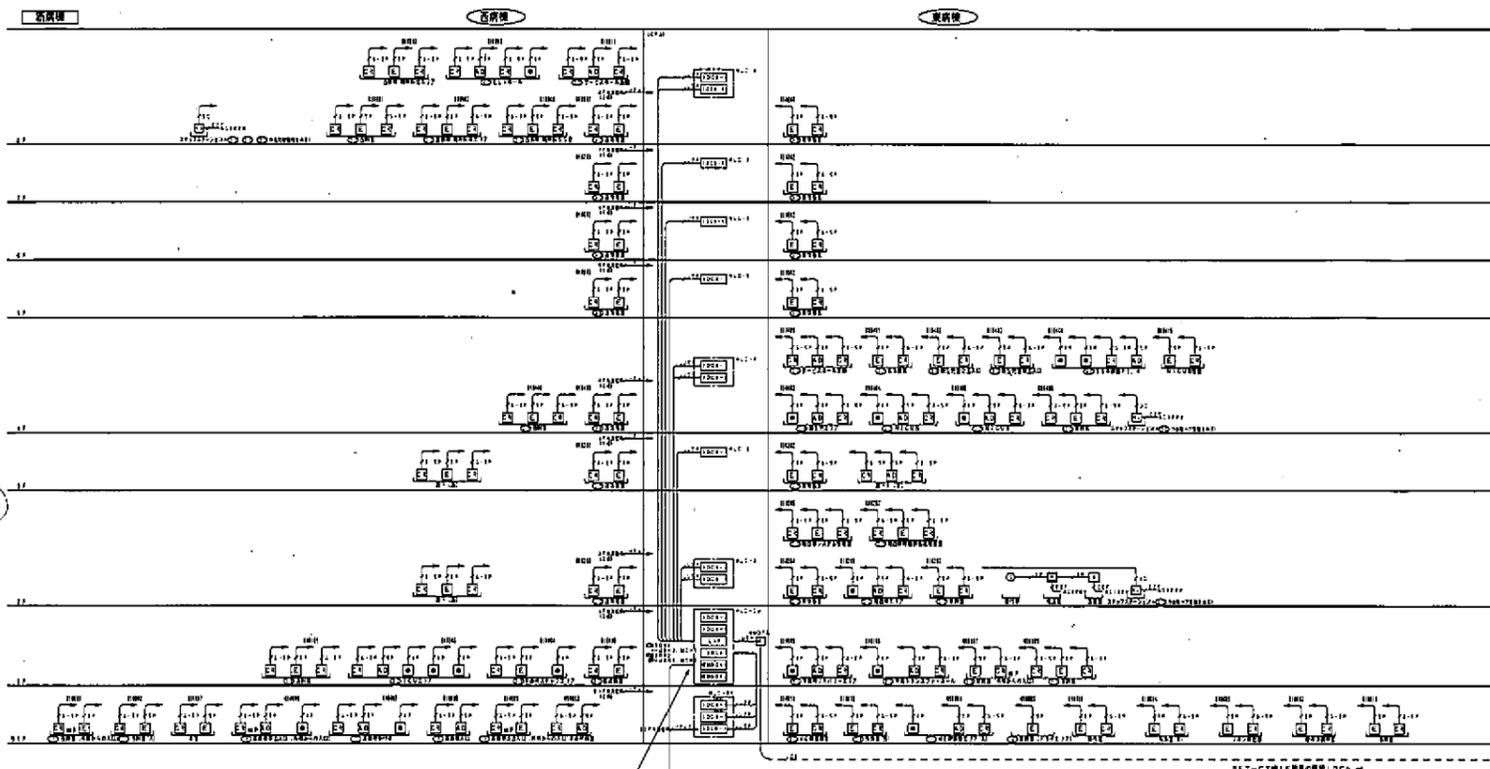
第1節 入退出管理設備

(1)
入退出管理設備 入退出管理設備の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

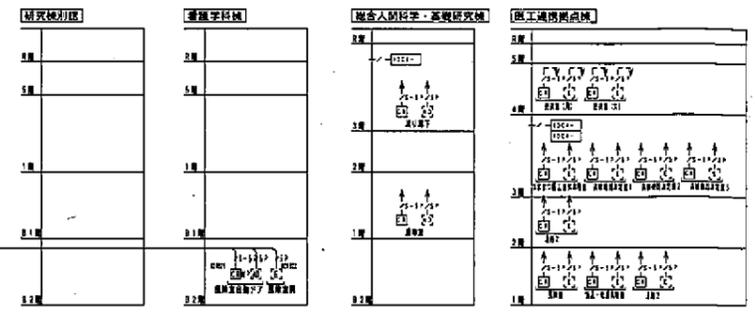
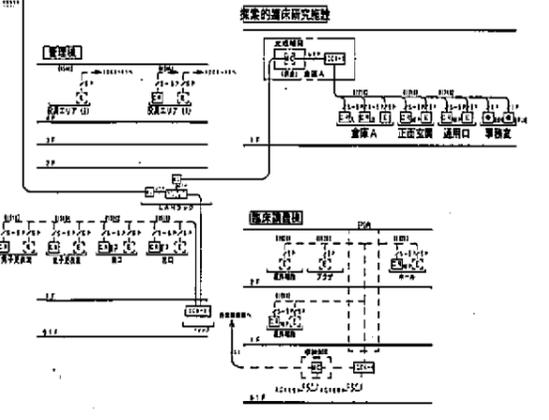
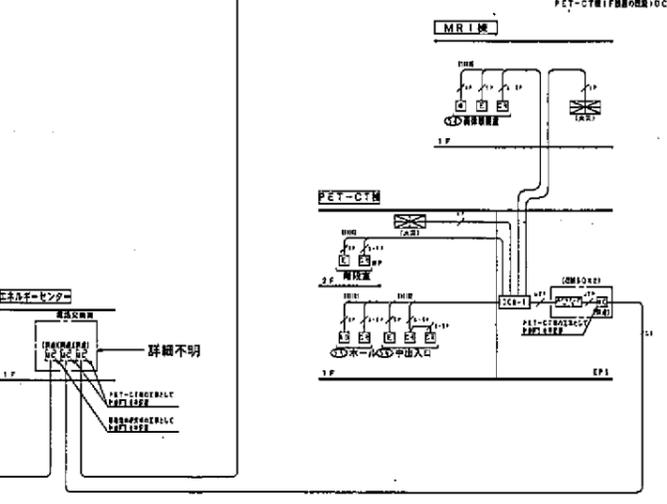
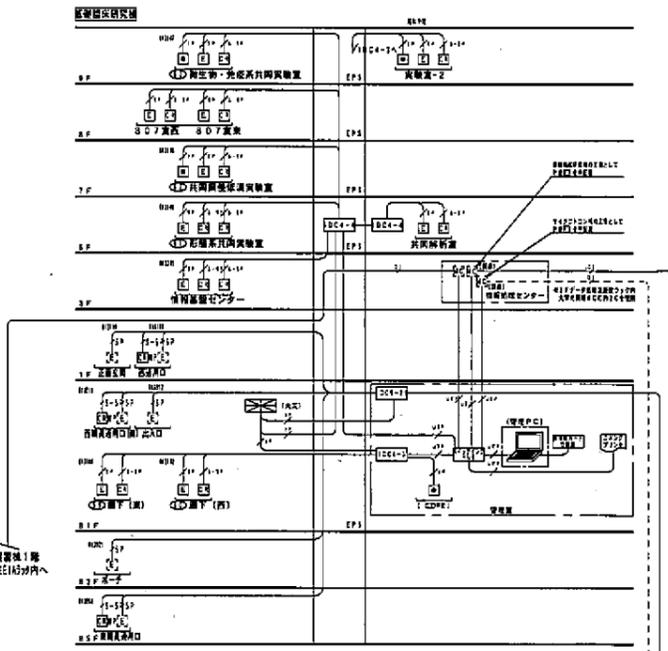
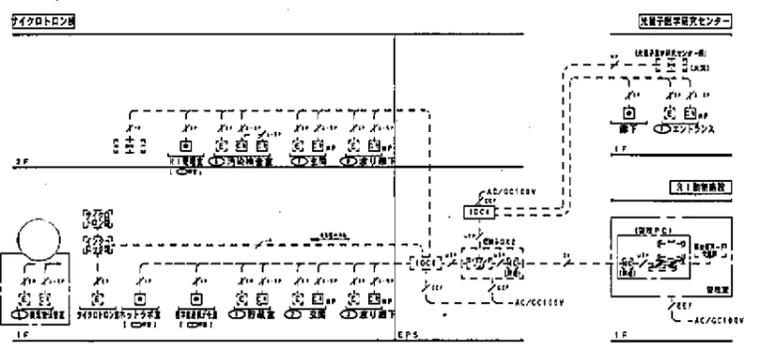
表(1) 入退出管理設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 入退出管理装置 (センタ、サブ)	① 外観の破損の有無を確認し、汚れを清掃する。	1 Y	
	② 診断プログラムによる本体の動作確認を点検する。	1 Y	
	③ 冷却ファンの作動を点検する。	1 Y	
	④ ディスプレイの表示状態を確認する。	1 Y	
	⑤ キーボード、マウスの作動を確認する。	1 Y	
	⑥ FDDの作動を確認し、ヘッドクリーニングをする。	1 Y	
	⑦ コネクターのかん合状態を点検する。	1 Y	
2. 連動コントローラ (LIP)	① 外観の破損の有無を確認し、汚れを清掃する。	1 Y	
	② 内部LEDの点灯・作動を確認する。	1 Y	
	③ プリント基板の取付状態を確認する。	1 Y	
	④ 入力電源電圧、直流電源電圧を測定する。	1 Y	
	⑤ コネクターのかん合状態を確認する。	1 Y	
	⑥ 配結線・端子の接続・締結状態を確認し、直流電源電圧を測定する。	1 Y	
3. 印字プリンター	① 外観の破損の有無を確認し、汚れを清掃する。	1 Y	
	② 印字機能の作動状態を確認する。	1 Y	
	③ 各ランプの点灯状態を確認する。	1 Y	
	④ コネクターのかん合状態を点検する。	1 Y	
4. IDコントローラ (IDC) 4ch/8ch	① 外観の破損の有無を確認し、汚れを清掃する。	1 Y	
	② 内部LEDの点灯・作動を確認する。	1 Y	
	③ プリント基板の取付状態を確認する。	1 Y	
	④ 入力電源電圧、直流電源電圧を測定する。	1 Y	
	⑤ コネクターのかん合状態を確認する。	1 Y	
	⑥ 配結線・端子の接続・締結状態を確認し、直流電源電圧を測定する。	1 Y	
5. IOコントローラ (IOC)	① 外観の破損の有無を確認し、汚れを清掃する。	1 Y	
	② 内部LEDの点灯・作動を確認する。	1 Y	
	③ プリント基板の取付状態を確認する。	1 Y	
	④ 入力電源電圧、直流電源電圧を測定する。	1 Y	
	⑤ コネクターのかん合状態を確認する。	1 Y	
	⑥ 配結線・端子の接続・締結状態を確認し、直流電源電圧を測定する。	1 Y	
6. 非接触カードリーダー (CR)	① 外観の破損の有無を確認し、汚れを清掃する。	1 Y	
	② 表示ランプの点灯・作動を確認する。	1 Y	
	③ リーダーヘッドの読取状態を確認する。	1 Y	

	④	ブザーの鳴動状態を確認する。	1 Y
	⑤	プリント基板の取付状態を確認する。	1 Y
	⑥	コネクターのかん合状態を確認する。	1 Y
	⑦	配結線・端子の接続・締結状態を確認し、直流電源電圧を測定する。	1 Y
7. 警報表示盤 (CR)	①	外観の破損の有無を確認し、汚れを清掃する。	1 Y
	②	表示ランプの点灯・作動を確認する。	1 Y
	③	ブザーの鳴動状態を確認する。	1 Y
	④	プリント基板の取付状態を確認する。	1 Y
	⑤	コネクターのかん合状態を確認する。	1 Y
	⑥	配結線・端子の接続・締結状態を確認し、直流電源電圧を測定する。	1 Y
8. ディアコンバータ	①	外観の破損の有無を確認し、汚れを清掃する。	1 Y
	②	表示ランプの点灯・作動を確認する。	1 Y
	③	コネクターのかん合状態を確認する。	1 Y
9. システム機能	①	状態監視機能の機能状態を確認する。	1 Y
	②	警報監視機能の機能状態を確認する。	1 Y
	③	遠隔制御機能の機能状態を確認する。	1 Y



- 凡例
- PTP コピー機・複写機 (複数)
 - PPR ログプリンタ (複数)
 - サーバー 各種サーバー (複数)
 - UPS 無停電電源装置 (複数)
 - HUB スイッチングHUB
 - SP 光ケーブル
 - MD メディアコンバータ
 - LDH IDコントローラ (複数)
 - CD 各種カードリーダー
 - CS 各種カードリーダー (複数)
 - ES 電気配線 (別途工事)
 - GS 電気配線 (別途工事)
 - MS 電気配線 (別途工事)
 - NS 電気配線 (別途工事)
 - OS 電気配線 (別途工事)
 - PS 電気配線 (別途工事)
 - QS 電気配線 (別途工事)
 - RS 電気配線 (別途工事)
 - TS 電気配線 (別途工事)
 - US 電気配線 (別途工事)
 - VS 電気配線 (別途工事)
 - WS 電気配線 (別途工事)
 - XS 電気配線 (別途工事)
 - YS 電気配線 (別途工事)
 - ZS 電気配線 (別途工事)



※本図は、ネットワーク接続あり

※棟屋間ネットワークルート及び使用機器については、実際とは異なる場合があります。

2015.11.27現在

3.5 監視カメラ設備

3.5.1 業務対象設備

3.5.(A) 業務対象設備の概要による。

3.5.2 点検項目、点検内容及び点検周期

3.5.(B) 業務要領監視カメラ設備による。

業務期間内の障害時対応は、オンコール受付による平日の日中対応とする。オンコールの費用は受注者の負担とし、修修理に係る材料費は消耗品、雑材料を除き発注者の負担とする。

3.5.3 取替部品

3.5.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・試験成績書
- ・計測記録
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

3.5.5 その他

3.5. 監視カメラ設備

3.5.(A) 業務対象設備 (配置は図面参照)

製造者名：T O A株式会社

附属病院 (病棟・外来棟)

番号	設置場所	項目	仕様
	(病棟1階EPS)		
		ITV架	
1		キャビネットラック	CR-413 2架
2		4分割ユニット	C-QA40 2台
3		16x8 ビデオマトリクススイッチャー	C-MX168 2台
4		16局デジタルコーダ - 600G DVD	C-DR161D6 4台
5		カメラライブユニット	C-P40L 13台
6		パワーディストリビューター	PD-1130 2台
7		接続端子盤	JB-031B 3台
8	(外来棟1階守衛室)	20型カラー液晶モニター	C-LC201 4台
9	(外来棟1階守衛室)	リモートコントローラ	C-RM1000 1台
10	(4階東・西病棟)	15型カラー液晶モニター	C-LC151 4台
11	(4階東・西病棟)	マトリクスリモートコントローラ	C-RM168 2台
12	(病棟各箇所)	ドーム型カラーカメラ	C-CC260 53台
	(病棟1階手術部)		
13		ITV架	
14		キャビネットラック	CR-273 1架
15		4分割ユニット	C-QA40 2台
16		16x32 ビデオマトリクススイッチャー	Q-CMX1000 1台
17		16局デジタルコーダ - 600G DVD	C-DR161D6 4台
18		カメラライブユニット	C-P40L 2台

19		15型カラー液晶モニター	C-LC151	1台
20		マトリクスリモートコントローラー	Q-C-RM50A	1台
21		15型カラー液晶モニター	C-LC151	3台
22		マトリクスリモートコントローラー	Q-C-RM50A	3台
23		ドーム型カラーカメラ	C-BC260U	7台
	(2階東病棟)			
24		15型カラー液晶モニター	C-LC151	1台
25		カメラライブユニット	C-P40L	1台
26		デジタルコーダ - 4局 160GB	C-DR043-1	1台
27		ドーム型カラーカメラ	C-BC260U	3台
	(6階東病棟)			
28		15型カラー液晶モニター	C-LC151	1台
29		デジタルコーダ - 9局 160GB DVD	C-DR091D6	1台
30		1局コントローラー	C-SC100	2台
31		ドーム型カラーカメラ	C-CC571	2台
	(8階西病棟)			
32		15型カラー液晶モニター	C-LC151	1台
33		デジタルコーダ - 4局 160GB	C-DV043-1	1台
34		屋外用ドーム型テレビ付カメラ	C-CV850U	3台
	(外来棟1階守衛室)			
35		ITV架		
36		キャビネットラック	C-LC413	1架
37		デジタルコーダ - 4局 1TB	C-DR164-10	2台
38		カメラライブユニット 9局	C-PV095	5台
39		電源分配パネ	PD-022	1台

40		17型カラー液晶モニター	C-LC172	2台
41		ドーム型デジ付カメラ	C-CV250D-3	41台
	(外来棟地下1階 放射線科)			
42		17型カラー液晶モニター	C-LC172	1台
43		デジタルコーダ - 4局 1TB	C-DV044-10	1台
44		カメラライブユニット 1局	C-PV015	1台
45		ドーム型デジ付カメラ	C-CV250D-3	2台
		17型カラー液晶モニター	C-LC172	1台
	(外来棟1階 救急部エリア)			
46		木製ラック	WR-203	1架
47		デジタルコーダ - 4局 1TB	C-DV044-10	1台
48		電源分配パネ	PD-022	1台
49		19型カラー液晶モニター	C-LC192	3台
50		ドーム型デジ付カメラ	C-CV250D-3	5台
	(外来棟1階 臨床研究管理センター)			
51		キャビネットラック	CR-131N	1架
52		デジタルコーダ - 16局 1TB	C-DR164-10	1台
53		カメラライブユニット 9局	C-PV095	1台
54		電源分配パネ	PD-022	1台
55		19型カラー液晶モニター	C-LC192	1台
56		ドーム型デジ付カメラ	C-CV250D-3	5台
	(外来棟3階 血液浄化療法部)			
57		デジタルコーダ - 4局 1TB	C-DV044-10	1台
58		17型カラー液晶モニター	C-LC172	1台
59		ドーム型デジ付カメラ	C-CV250D-3	2台

	(外来棟3階 小児科)			
60		デジタルコーダ - 4局 1TB	C-DV044-10	1台
61		17型カラー液晶モニター	C-LC172	1台
62		ドーム型デジ付付カメラ	C-CV250D-3	3台
	(外来棟3階 精神神経科)			
63		デジタルコーダ - 4局 1TB	C-DV044-10	1台
64		17型カラー液晶モニター	C-LC172	1台
65		ドーム型デジ付付カメラ	C-CV250D-3	2台
	(外来棟3階 輸血・細胞治療部)			
66	外来棟3階 採血室	ドーム型デジ付付カメラ	C-CV250D-3	1台
67	病棟2階 細胞治療部	デジタルコーダ - 4局 1TB	C-DV044-10	1台
	(外来棟3階 光学医療診療部)			
68		映像信号分配器	C-VD6	1台
69		カメラドライブユニット 1局	C-PV015	2台
70		19型カラー液晶モニター	C-LC192	3台
71		ドーム型デジ付付カメラ	C-CV250D-3	2台

製造者名：パナソニック システムネットワークス株式会社

看護学科棟、基礎臨床研究棟、管理棟、外来棟、総合人間科学・基礎研究棟、医工連携拠点棟

番号	設置場所	項目	仕様
	(基礎臨床研究棟 3階 情報基盤センター)		
		ITV架	
1		ネットワークスイッチ	WJ-NV300/8 3台
2		L2スイッチ(24ポートギガビット対応)	PN26240N 1台
3		電源制御ユニット	WU-L67 1台
4		メディアコンバーター	PN61314 9台
	(看護学科棟)		
5		ドーム型テレビカメラ	WV-SFN310J 13台
6		スイッチングHUB(16ポート)	PN23169K 1台
7		メディアコンバーター	PN61314 4台
	(管理棟)		
8		ドーム型テレビカメラ	WV-SFN310J 3台
9		スイッチングHUB(16ポート)	PN23169K 1台
10		メディアコンバーター	PN61314 1台
	(外来棟)		
11		監視用PC	J8H07PT#ABJ 1台
12		23型カラー液晶モニター	FDF2305W 1台
	(講義実習棟)		
13		ドーム型テレビカメラ	WV-SFN310J 7台
14		スイッチングHUB(16ポート)	PN23169K 1台
15		メディアコンバーター	PN61314 1台

	(福利施設棟・図書館)		
16		ドーム型テレビカメラ	WV-SFN310J 4台
17		スイッチング HUB(8ポート)	PN23089K 1台
18		メディアコンバーター	PN61314 1台
	(フォトン研究棟・サイクロン棟)		
19		ドーム型テレビカメラ	WV-SFN310J 4台
20		スイッチング HUB(8ポート)	PN23089K 1台
21		メディアコンバーター	PN61314 1台
	(医工連携拠点棟)		
22		ドーム型テレビカメラ	WV-SFN310J 13台
23		スイッチング HUB(16ポート)	PN23089K 1台
24		メディアコンバーター	PN61314 1台
	(R I 動物実験施設)		
25		ドーム型テレビカメラ	WV-SFN310J 5台
26		スイッチング HUB(8ポート)	PN23089K 1台
27		メディアコンバーター	PN61314 1台
	(臨床講義棟)		
28		ドーム型テレビカメラ	WV-SFN310J 3台
29		スイッチング HUB(8ポート)	PN23089K 1台
30		メディアコンバーター	PN61314 1台

3.5. (B) 業務要領 監視カメラ設備

第1節 監視カメラ設備

(1) 監視カメラ設備 監視カメラ設備の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 監視カメラ設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 固定式カメラ	① フォーカスが適正であることを確認する。	1 Y	
	② カラー用の場合は、オートホワイトバランス動作を確認する。マニュアルホワイトバランス設定の場合は現場の照明に合せた適切な色温度が設定されていることを確認する。	1 Y	
	③ 監視対象の映像が白つぶれとなっていないことを確認する。	1 Y	
	④ ケーブルの破損及び接栓の緩みの有無並びにネジの締付け状態等を点検する。	1 Y	
	⑤ 映像画面上に、監視に障害となる焼付き、白点、黒点等がないことを確認する。	1 Y	
	⑥ 支持金物・支柱、建物側の取付け部にぐらつき、傾き及び著しいさび、腐食の有無並びにネジの緩みや紛失がないかを確認する。	1 Y	
2. レンズ 【固定焦点、バリフォーカル、手動ズーム、電動ズーム】	① 各レンズ固有のアイリス、フォーカス、ズーム機構等の機能が正常に動作することを確認する。	1 Y	
	② レンズ締付け及びロックが確実になされていることを確認する。	1 Y	
	③ レンズ面に汚れがないことを確認する。	1 Y	
3.ハウジング 【屋内形、屋外形】	① 前面ガラスの破損及びケースの取付けボルトの緩みの有無を点検する。	1 Y	
	② ケースの腐食、水漏れ及び配線の異常がないことを確認する。	1 Y	
	③ ワイパー、デフロスタ及びヒーターの機能動作を確認する。	1 Y	
	④ 空冷ファンの作動状況（異常音、異常発熱、通風孔の閉塞）の良否を確認する。	1 Y	
	⑤ 支持金物・支柱、取付け部にぐらつき、傾き及び著しいさび、腐食の有無を確認する。	1 Y	
4. ビデオモニタ 【カラー、白黒】	① 通常の映像であること並びに解像度の低下、ノイズ及び画面歪のないことを確認する。	1 Y	
	② 明るさ、コントラスト、色の濃さ及び色あいが正	1 Y	

5. VTR

	確に調整できることを確認する。	
	③ カラー用の場合は、コンバージェンスのズレ、ホワイトバランス及びブラックバランスを点検する。	1 Y
	④ ケーブルの破損及び接栓の緩みの有無並びにネジの締付け状態等を点検し、終端スイッチを確認する。	1 Y
	⑤ 電源のON-OFF、画面の明るさ、コントラスト等を点検する。	1 Y
	① 再生、停止、巻戻し、早送り、スロー、一時停止（静止画）等の操作が表示通りできることを確認する。	1 Y
	② ビデオヘッド、テープ走行系及び駆動系の清掃を行う。	1 Y
	③ スイッチングポイントの点検により、垂直同期の前縁より約6.5H前であることを確認する。	1 Y
	④ トラッキングプリセットの点検により、トラッキングつまみが中心位置で正常な画面であることを確認する。	1 Y
	⑤ ポーズ/スチル画像の点検により、正常な静止画像であることを確認する。	1 Y
	⑥ スロートラッキングプリセットの点検により、スロー再生時、ノイズが出て見づらい画像でないことを確認する。	1 Y
	⑦ アライメントテープ（又はテストテープ）により映像、音声ともに正常に再生できることを確認する。	1 Y
	⑧ 映像、音声ともにテスト信号を入力して正常に記録・再生ができることを確認する。	1 Y
	⑨ ケーブルの破損及び接栓の緩みの有無並びにネジの締付け状態等を点検する。	1 Y

・ 互換性点検

6. デジタルビデオレコーダー

	① 再生、停止、巻き戻し、早送り、スロー、一時停止（静止画）等の操作が表示通りできることを確認する。	1 Y
	② 映像及び音声正常に記録・再生ができることを確認する。	1 Y
	③ バックアップメディアにバックアップする機能を持つものについては、正常にバックアップ及び再生ができることを確認する。	1 Y
	④ 給排気口にほこり等が詰まっていないか、確認及び清掃を行う。	1 Y
	⑤ 冷却ファン、HDDより異常音がしないことを確認する。HDDユニットが推奨交換時間に達していないか確認する。	1 Y
	⑥ ケーブルの破損及び接栓の緩みの有無並びにネジの締付け状態等を点検する。	1 Y
	⑦ 内蔵時計の時刻が正しいことを確認する。	1 Y

7. 電動雲台	<p>① PAN・TILTの動作、回転範囲が正常であることを確認する。</p> <p>② PAN・TILT動作中に異常音がしないことを確認する。</p> <p>③ AUTOPANスイッチにより自動首振りすることを確認する。</p> <p>④ ケーブルの破損及び接栓の緩みの有無並びにネジの締付け状態等を点検する。</p> <p>⑤ 支持金物・支柱、取付け部にぐらつき、傾き及び著しいさび、腐食の有無を確認する。</p>	<p>1 Y</p> <p>1 Y</p> <p>1 Y</p> <p>1 Y</p> <p>1 Y</p>
8. リモート操作器	<p>① ZOOM・FOCUS等のスイッチ操作が表示通り動作することを確認する。</p> <p>② PAN・TILTがスイッチの操作で正常に動作することを確認する。</p> <p>③ カメラ、ワイパー等の電源スイッチが確実に動作することを確認する。</p> <p>④ カメラ選択釦の切換えにより、各制御ができることを確認する。</p> <p>⑤ 各種スイッチ、つまみ、押釦類の破損・欠損の有無を点検する。</p> <p>⑥ ケーブルの破損及び接栓の緩みの有無並びにネジの締付け状態等を点検する。</p>	<p>1 Y</p> <p>1 Y</p> <p>1 Y</p> <p>1 Y</p> <p>1 Y</p> <p>1 Y</p>
9. レンズ・電動雲台 一体型カメラ	<p>1 「固定式カメラ」によるほか、次による。</p> <p>① PAN・TILTの動作及び回転範囲が正常であることを確認する。</p> <p>② ZOOM・FOCUSの動作が正常であることを確認する。</p> <p>③ 動作中に異常音がしないことを確認する。</p> <p>④ プリセット機能があるものは、PAN、TILT、ZOOM及びFOCUSのすべてがプリセット位に正しく移動することを確認する。</p> <p>⑤ AUTOPAN等の動作スイッチにより、設定した通り正常に動作することを確認する。</p> <p>⑥ 回転動作中に画面にノイズが発生しないことを確認する。</p> <p>⑦ カバーの汚れ、傷等を確認し、清掃を行う。</p> <p>⑧ 屋外用は、ケースの腐食及び水漏れの有無を確認する。</p> <p>⑨ ファン・ヒーターが設置されている場合は、その動作状況を確認する。</p> <p>⑩ ケーブルの破損及び接栓の緩みの有無並びにネジの締付け状態等を点検する。</p> <p>⑪ 取付け状態の良否（取付けネジの緩みや取付金具、建物側の取付け部にさびや腐食が発生していないか）を確認する。</p>	<p>1 Y</p>

附属病院 病棟監視カメラ設備1

図1 附属II TV装置 システムブロック図

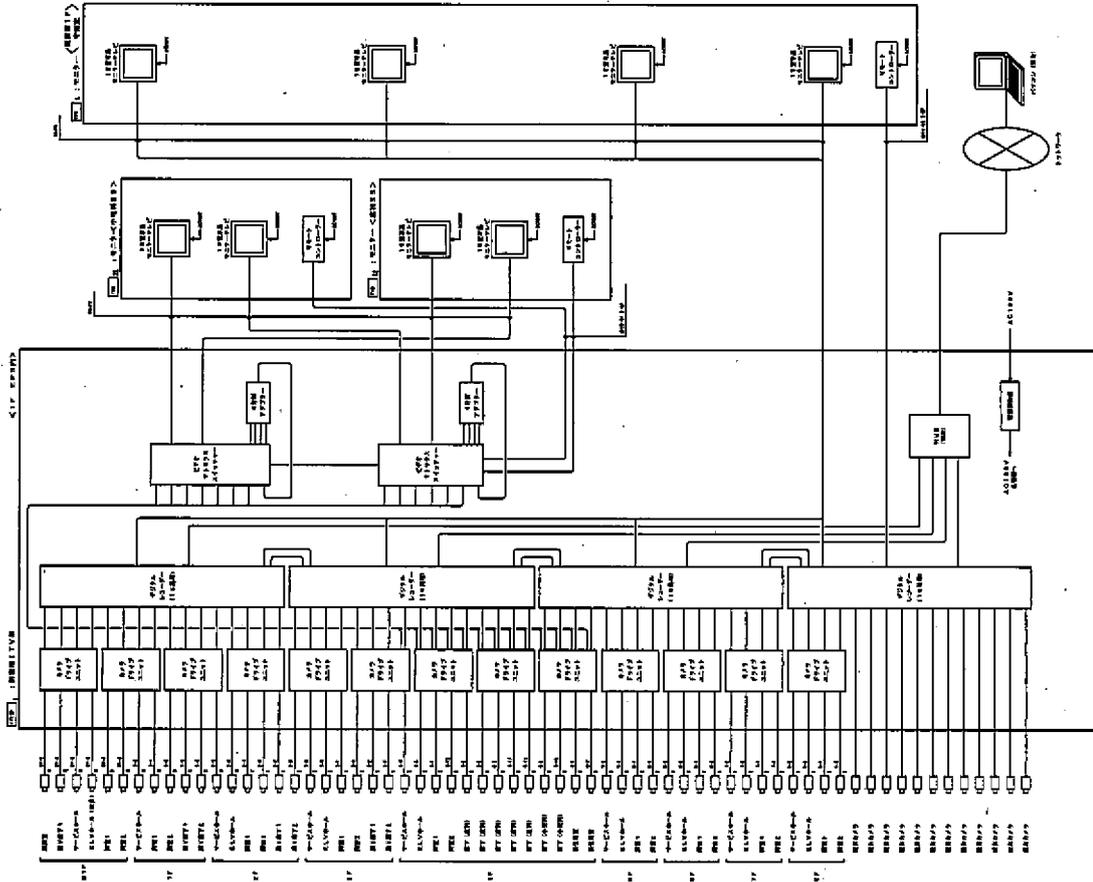
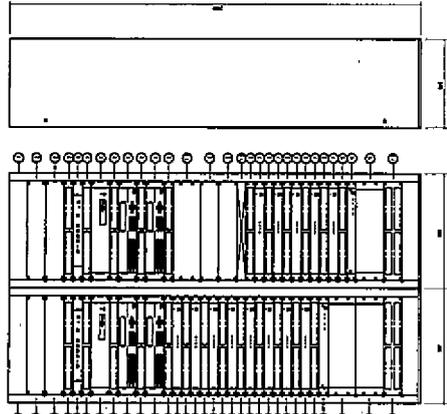


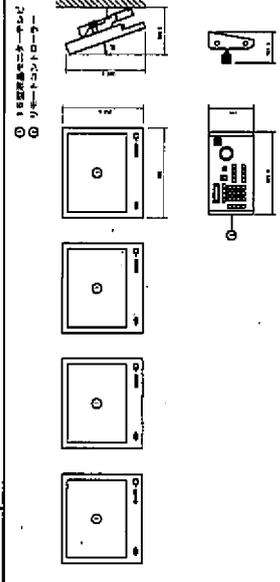
図2 附属II TV装置

1	カメラ	16台
2	モニター	16台
3	リモコン	16台
4	電源ケーブル	16本
5	ケーブル	16本
6	ケーブル	16本
7	ケーブル	16本
8	ケーブル	16本
9	ケーブル	16本
10	ケーブル	16本
11	ケーブル	16本
12	ケーブル	16本



1	カメラ	16台
2	モニター	16台
3	リモコン	16台
4	電源ケーブル	16本
5	ケーブル	16本
6	ケーブル	16本
7	ケーブル	16本
8	ケーブル	16本
9	ケーブル	16本
10	ケーブル	16本
11	ケーブル	16本
12	ケーブル	16本

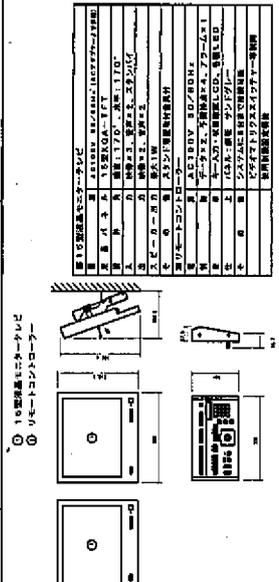
モニター



モニター

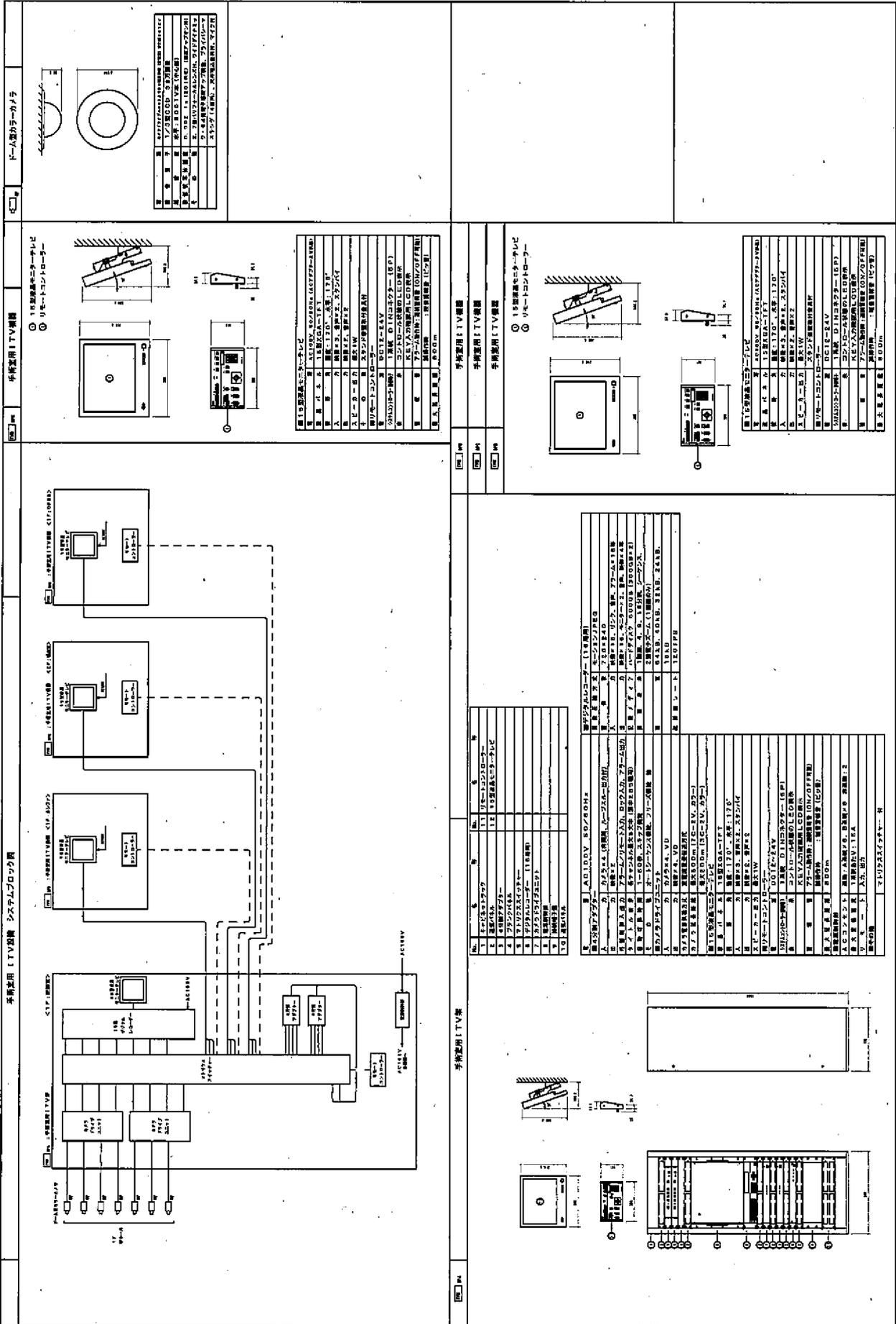
1	カメラ	16台
2	モニター	16台
3	リモコン	16台
4	電源ケーブル	16本
5	ケーブル	16本
6	ケーブル	16本
7	ケーブル	16本
8	ケーブル	16本
9	ケーブル	16本
10	ケーブル	16本
11	ケーブル	16本
12	ケーブル	16本

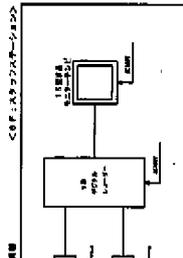
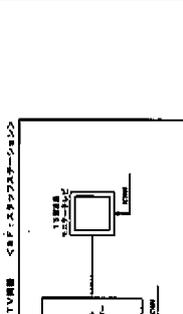
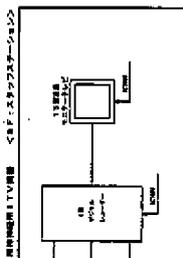
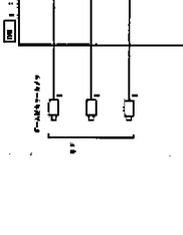
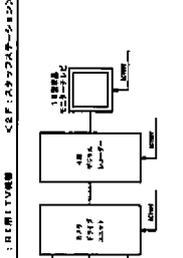
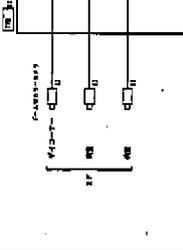
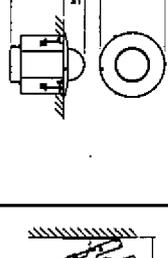
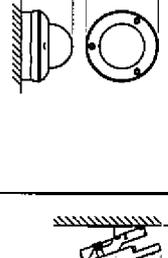
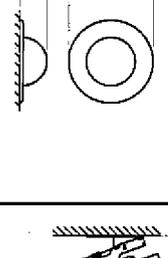
モニター



モニター

1	カメラ	16台
2	モニター	16台
3	リモコン	16台
4	電源ケーブル	16本
5	ケーブル	16本
6	ケーブル	16本
7	ケーブル	16本
8	ケーブル	16本
9	ケーブル	16本
10	ケーブル	16本
11	ケーブル	16本
12	ケーブル	16本



R1用 ITV設備 システムブロック図	病棟用 ITV設備 システムブロック図	R1用 ITV設備 システムブロック図
<p>図1: 監視用ITV機器</p>  <p>図2: 監視用ITV機器</p> 	<p>図1: 監視用ITV機器</p>  <p>図2: 監視用ITV機器</p> 	<p>図1: 監視用ITV機器</p>  <p>図2: 監視用ITV機器</p> 
<p>図1: コンビネーションカメラカメラ</p> 	<p>図1: ドーム型カメラカメラ</p> 	<p>図1: ドーム型カメラカメラ</p> 
<p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p> <p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p> <p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p>	<p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p> <p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p> <p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p>	<p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p> <p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p> <p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p>
<p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p> <p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p> <p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p>	<p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p> <p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p> <p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p>	<p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p> <p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p> <p>規格書 AC100V 50/60Hz 1. 15型カラーモニター 2. 4型 子システムローダー 3. 4型 子システムローダー</p>

3.6 アイソレーション設備

3.6.1 業務対象設備

3.6.(A) 業務対象設備の概要による。

3.6.2 点検項目、点検内容及び点検周期

3.6.(B) 業務要領アイソレーション設備による。

3.6.3 取替部品

3.6.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・試験成績書
- ・計測記録
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

3.6.5 その他

3.6. アイソレーション設備

3.6. (A) 業務対象設備の概要

製造者名：株式会社セントラルユニー

病棟・外来棟

番号	設置場所	対象機器	数量	備考
1	病棟1階手術部受付	集中接地警報盤	2台	
2	病棟1階手術室1 病棟B1階手術室12	OP-1、12 ISO盤	2面	
		電源切替機		
		アイソレーショントランス		15kVA
		ラインアイソレーションモニター		
		ロードモニター		
3	病棟1階 手術室2～手術室11	OP-2～OP-11 ISO盤	10面	
		電源切替機		
		アイソレーショントランス		10kVA
		ラインアイソレーションモニター		
		ロードモニター		
4	病棟4階特殊分娩室	特殊分娩室 ISO盤	1面	
		電源切替機		
		アイソレーショントランス		5kVA
		ラインアイソレーションモニター		
		ロードモニター		
5	外来棟1階救急処置室	救急処置室 ISO盤	5面	
		電源切替機		
		アイソレーショントランス		3kVA
		ラインアイソレーションモニター		
		ロードモニター		
6	外来棟3階小手術室	小手術室 ISO盤	1面	
		電源切替機		
		アイソレーショントランス		5kVA
		ラインアイソレーションモニター		
		ロードモニター		

3.6. (B) 業務要領 アイソレーション設備

第1節 アイソレーション設備

(1) アイソレーション設備 | アイソレーション設備の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) アイソレーション設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外観点検	① 盤内に損傷、汚れ、金属粉等の無いことを確認する。	1 Y	
2. 配線	① 損傷がなく、整然かつ確実であることを確認する。 ② ブレーカー等が正常に動作することを確認する。 ③ 端子部に緩みがないことを確認する。 ④ コンテスター又は、ランプにて回路を確認する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
3. 電源切替機	① 電源表示灯が正常であることを確認する。 ② 電圧計が正常であることを確認する。 ③ 切替動作が正常であることを確認する	1 Y 1 Y 1 Y	
4. アイソレーショントランス	① 2次電圧が規定電圧の±10%以内であることを確認する ② 無極性（無接地）であることを確認する。	1 Y 1 Y	
5. ラインアイソレーションモニター	① 各ランプの点灯状態が正常であることを確認する。 ② レンズ締付け及びロックが確実になされていることを確認する。 ③ レンズ面に汚れがないことを確認する。 ④ 警報機能が正常であることを確認する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
6. ロードモニター	① 各ランプの点灯状態が正常であることを確認する。 ② レンズ締付け及びロックが確実になされていることを確認する。 ③ レンズ面に汚れがないことを確認する。 ④ 警報機能が正常であることを確認する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
7. 各種測定	① 絶縁抵抗測定 ② 漏洩電流測定 パネル内の漏洩電流は、40μA以下であること。 回路別漏洩電流を測定する。 総合漏洩電流が500μA以下であること。 ③ 接地抵抗測定	1 Y 1 Y 1 Y	

4. 機械設備

4.1 温熱源機器

4.1.1 業務対象設備

4.1(A) 業務対象設備の概要による。

4.1.2 点検項目、点検内容及び点検周期

4.1(B) 業務要領 温熱源機器による。

4.1.3 他設備との連動等

他設備(機器等)と連動している場合は、必要に応じて適正に行い、その他の措置を講じるものとする。

4.1.4 取替部品

4.1.5 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・ 点検及び保守結果報告書
- ・ 試験成績書
- ・ 計測記録
- ・ 業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

4.1.6 その他

4. 機械設備

4.1 温熱源機器

4.1(A) 業務対象設備の概要

1. 貫流ボイラー

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
エネセン ボイラー室	貫流ボイラー	サムソン SSB2000EPG 蒸発量 2000kg/h 伝熱面積 9.89m ² 最高使用圧力 0.98MPa 使用燃料 都市ガス(13A)	6基	小型圧力容器
エネセン ボイラー室	ボイラー給水ポンプ		3台	
エネセン ボイラー室	還水槽	10m ³	1基	
エネセン ボイラー室	薬液タンク		1基	

2. 純水製造装置

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
エネセン ボイラー室	純水装置 (V-01, 02)	アクアス 70℃ 17MAS-40 混床式イオン交換塔 処理能力 4m ³ /h イオン交換樹脂 カチオン樹脂 100ℓ アニオン樹脂 200ℓ	2基	
エネセン ボイラー室	塩酸計量槽 (TK-01)	PVC製 容量 200ℓ	1基	
エネセン ボイラー室	苛性ソーダ計量槽 (TK-02)	PVC製 容量 200ℓ	1基	
エネセン ボイラー室	ガスシール槽 (TK-03)	PVC製	1基	
エネセン ボイラー室	中和槽	PE製 容量 6m ³	1基	
エネセン ボイラー室	中和用塩酸ポンプ	最大流量 1.0ℓ/min 最高圧力 0.2MPa 出力 100W	1台	
エネセン ボイラー室	熱交換器		1基	
エネセン ボイラー室	混合用ブロア	最大流量 0.55Nm ³ /min 最高圧力 40kPa 出力 1.5kW	1台	
エネセン ボイラー室	動力制御盤 (CPE-BF-3)		1面	

3. 圧力容器等

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
エネセン ボイラー室	ドレンタンク	3000ℓ	1基	
エネセン ボイラー室	ドレンフィルター		1台	
エネセン ボイラー室	ドレンポンプ		1台	
エネセン ボイラー室	蒸気ヘッダー		4基	第2種圧力容器
エネセン ボイラー室 西側屋外	ホットウェルタンク		1基	
エネセン ボイラー室 西側屋外	クリーン蒸気発生器 (TS-2)	伝熱面積 2.8㎡ 刻印 大No. 90069 検査証番号 2493	1基	第1種圧力容器
エネセン	プレート熱交換器 (SP-1)	アルファラバル 伝熱面積 0.121㎡ 刻印 京No. 93031 検査証番号 2517	1基	第1種圧力容器
エネセン	プレート熱交換器 (SP-2)	アルファラバル 伝熱面積 0.108㎡ 刻印 神No. 36780 検査証番号 201504	1基	第1種圧力容器
エネセン B2階ポンプ室	プレート熱交用 温水ポンプ		2台	
エネセン B2階ポンプ室 東側屋外	貯湯槽	伝熱面積 2.0㎡ 刻印 岐No. 16587・16588 検査証番号 201303・ 201304	2基	第1種圧力容器
エネセン B2階ポンプ室	給湯ポンプ		2台	
エバコン ポンプ室 横屋外	スチーマークムレーター	伝熱面積 71.2㎡ 刻印 三No. 11798 検査証番号 200705	1基	第1種圧力容器
附属病院外来棟	クリーン蒸気発生器 (TS-3)	伝熱面積 0.55㎡ 刻印 大No. 90066 検査証番号 2501	1基	第1種圧力容器
附属病院外来棟	クリーン蒸気発生器 (TS-4)	伝熱面積 1.05㎡ 刻印 大No. 90067 検査証番号 2505	1基	第1種圧力容器
附属病院病棟 9階機械室	貯湯槽 (TH-2)	伝熱面積 4.545㎡ 刻印 岐No. 15749・15750 検査証番号 200906・ 200907	2基	第1種圧力容器
附属病院病棟 9階機械室	給湯ポンプ		2台	

附属病院病棟 9階機械室	クリーン蒸気発生器 (BSS-2)	伝熱面積 0.826m ² 刻印 大No. 80459 検査証番号 200904	1基	第1種圧力容器
附属病院病棟 9階機械室	軟水器 (NW-1)	自動再生型 1寸交換式 最大流量 1.5m ³ /h	2台	
附属病院病棟 B1階機械室	貯湯槽 (TH-1)	伝熱面積 4.545m ² 刻印 岐No. 15751-15752 検査証番号 200908- 200909	2基	第1種圧力容器
附属病院病棟 B1階機械室	給湯ポンプ		2台	
附属病院病棟 B1階機械室	クリーン蒸気発生器 (BSS-1)	伝熱面積 0.186m ² 刻印 大No. 80461-80462 検査証番号 200902- 200903	2基	第1種圧力容器
附属病院病棟 B1階機械室	軟水器 (NW-2)	自動再生型 1寸交換式 最大流量 1.0m ³ /h	2台	
附属病院病棟 免震階	環水槽 (THW-1)	ステンレス製 有効容量 6,600ℓ	1基	
附属病院病棟 免震階	環水ポンプ (PB-1)	能力 440ℓ/min×18m 高温水仕様	1台	
講義実習棟	貯湯槽	伝熱面積 1.166m ² 刻印 岐No. 5336 検査証番号 2518	1台	第1種圧力容器
講義実習棟	給湯ポンプ		1台	
R I 動物実験 施設	貯湯槽	伝熱面積 1.287m ² 刻印 岐No. 6304 検査証番号 2513	1基	第1種圧力容器
R I 動物実験 施設	給湯ポンプ		1台	
R I 動物実験 施設	環水槽		1基	
R I 動物実験 施設	環水ポンプ		1台	
看護学科棟	ガス給湯器		1台	
看護学科棟	給湯ポンプ		1台	

4.1 温熱源機器

4.1.(B) 業務要領 温熱源機器

第1節 温熱源機器

(I)

貫流ボイラー

- (a) 本項のボイラーは、燃料としてガスを使用する貫流ボイラーに適用する。
 (b) ボイラーはフルメンテナンス契約とする。

表(I) 貫流ボイラー

点検項目	業務内容	周期	備考
1. ボイラー本体			
(1) 外面	1) 外面ケージに変色、変形、腐食、損傷等の有無を点検する。損傷等が軽微の場合は補修する。	4 M	
	2) 蒸気、水、燃焼ガスの漏れの有無を点検する。漏れが軽微の場合は補修する。	4 M	
	3) 保温材の脱落、損傷等の有無を点検する。損傷等が軽微の場合は補修する。	4 M	
	4) ボイラー基礎の亀裂、破損、沈下等の有無を点検する。	4 M	劣化が著しい場合は調査する。
	5) 基礎ボルトの緩み、腐食の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	4 M	
	6) 水圧試験を行い、漏れの有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
(2) 燃焼室側	1) 炉筒の内壁、煙管、スーパ管の煤等の付着、堆積の有無を点検する。煤等が付着、堆積している場合は清掃する。	4 M	
	2) 炉壁及び築炉のクラック、膨出、スポーリング目地の切れ、脱落等の損傷の有無を点検する。損傷が軽微の場合は補修する。	4 M	
	3) 煙管拡管部の水漏れの有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	4) 煙室の前後、ボイラー管板、煙管の漏れ等の有無を点検する。	4 M	漏れがある場合は調査する。
(3) 内部水側	1) 上部・下部管寄せ内部のスケール、スラッジの付着の有無を点検する。付着している場合は清掃する。	4 M	
	2) ボイラーチューブ内部のスケールの付着の有無を点検する。スケールの付着している場合は清掃する。	4 M	
	3) 検査穴、取出用穴の損傷の有無を点検する。	4 M	異常がある場合

2. 汽水分離器	1) 本体及び配管、継手、弁等の漏れの有無を点検する。	4 M	は調査する。 緩みがある場合は修理する。
	2) 内部装置の損傷の有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	3) 内部のスケール、スラッジの付着の有無を点検する。 スケール等が付着している場合は清掃する。	4 M	異常がある場合は調査する。 異常がある場合は調査する。
	4) 腐食の有無を点検する。	4 M	は調査する。
3. 水面計	1) 水位を点検する。	4 M	
	2) ゲージガラス管の汚れの有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	3) 本体、取付部、接続管、コック類の漏れ損傷、ボルトの緩みの有無を点検する。	4 M	緩みがある場合は増締めする。
	4) コック類の作動状態を点検する。 作動不良の場合は調整する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	5) ゲージガラスの作動状態を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	6) 吹出操作を行いガラス管内水位の戻り状態を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	7) 分解清掃し、ガラスの損傷、摩耗の有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
4. 安全弁	1) 取付け部及び本体の漏れ、損傷、腐食及びボルトの緩みの有無を点検する。 ボルトの緩みがある場合は増締めする。	4 M	損傷が著しい場合は調査する。
	2) 排気管の取付け状態を点検する。 取付不良の場合は補修する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	3) 排気管の詰まり、腐食等の有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	4) 吹出圧力の 75%以上の圧力において手動テストバーを動かし吹出し、吹止まり状態を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	5) 分解清掃し、弁及び弁座の損傷の有無を点検する。 損傷が軽微の場合は摺合せをする。	4 M	異常がある場合は調査する。
	6) 各部品の清掃及び摩耗、腐食、心棒の曲がり、損傷等の有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	7) 組立後、最高使用圧力以下で作動することを確認する。 作動不良の場合は点検調整する。	4 M	
	8) 2個以上の安全弁がある場合は、規定の圧力にて段階的に作動することを確認する。 作動不良の場合は点検調整する。	4 M	

5. 吹出弁装置 ブロー装置	1) 弁 (装置) 及び取付け部の漏れ、腐食の有無を点検する。 。漏れが軽微の場合は補修する。	4 M	
	2) 吐出弁の作動状態及び締め付け状態を点検する。	4 M	
	3) 吹出し管の詰まりの有無を点検する。	4 M	作動不良の場合 は調査する。
	4) 分解清掃し、弁、弁体の腐食、損傷等の有無を点検する。 。損傷等が軽微の場合は補修する。	4 M	異常がある場合 は調整する。
	5) 吹出操作を行い弁の開閉状態を点検する。	4 M	
	6) ブロー量を測定し、記録する。	4 M	異常がある場合 は調整する。
6. 圧力計	1) 本体、取付け部及びコック類の損傷、漏れの有無を点検する。 。漏れが軽微の場合は補修する。	4 M	
	2) 文字盤及びガラスの汚れの有無を点検する。著しい汚れ がある場合は清掃する。	4 M	
	3) 最高使用圧力の表示の有無を点検する。	4 M	
	4) サイホン管及びコック等の詰まりの有無を点検する。	4 M	詰まりがある場 合は修理する。
	5) 指針が大気圧状態で0点を示しているか確認する。	4 M	規定の精度内 にない場合は調査 する。
	6) 指度とテストゲージ指度を比較し正常値 (管理の範囲内) を指示していることを確認する。	4 M	異常がある場合 は修理する。
7. 主 弁	1) 本体の取付け状態及び漏れ、損傷、腐食の有無を点検 する。	4 M	異常がある場合 は調査する。
	2) 弁の開閉状態を点検する。分解した場合はパッキンを交 換する。	4 M	
8. 水位検 出装置	1) 本体及び取付部の取付状態及び漏れ、損傷、腐食の有 無を点検する。	4 M	異常がある場合 は調査する。
	2) 蒸気、水側連絡管及びコック類の詰まりの有無を点検す る。	4 M	詰まりがある場 合は清掃する
	3) フロートチャンバー内部のスケールの付着の有無を点検する。スケ ールが付着している場合は清掃する。	4 M	
	4) フロート及びリンク機構の作動状況を点検する。作動不良の 場合は調整する。	4 M	異常がある場合 は調整する。
	5) 水銀スイッチの水銀の飛散及びガラスの亀裂等の有無を点	4 M	

9. 圧力調整装置

検する。		
6) フロート式はベローズ部の亀裂、腐食等の有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
7) 接続端子の汚れ、緩み等の有無を点検する。汚れ又は緩みがある場合は清掃又は増締めする。	4 M	異常がある場合は調査する。
8) スイッチ部の焼損等の有無及び接触状態を点検する。	4 M	
9) 電極部コラム内部及び電極棒の付着の有無を点検する。スケールが付着している場合は清掃する。	4 M	異常がある場合は調査する。
10) 蒸気、水側連絡管及び排水管の弁又はロックの作動状態を点検する。	4 M	
11) 電極棒及び保持器の絶縁の良否を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
12) 手で水位を徐々に低下させ自動給水警報及び燃焼遮断等の作動状態を点検する。	4 M	電極棒の絶縁測定を行う。
13) 水位を徐々に低下させ、自動給水警報及び燃焼遮断が作動することを確認する	4 M	異常がある場合は修理する。
1) 取付部及び導圧管の漏れの有無を点検する。漏れがある場合は補修する。	4 M	
2) 圧力設定値と圧力計の指針により異常がないことを確認する。	4 M	作動が異常の場合調査する。
3) スイッチ部の焼損等の有無及び接触状態を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
4) 水銀スイッチの水銀の飛散及びガラスの亀裂等の有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
5) マイクロスイッチの取付けねじの緩み及びバネの曲がりの有無を点検する。緩み又は曲がりがある場合は増締め又は調整する。	4 M	
6) 接続端子の汚れ、緩み等がないことを確認する。汚れがある場合は清掃し、緩みがある場合は増締めする。	4 M	
7) ベローズ等の亀裂、腐食等の有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
8) 導圧管等の詰まり腐食、損傷等の有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
9) 風量インターロック等の作動状況を点検する。	4 M	作動が異常の場合は調査する。

10. 蒸気温度 スイッチ	1) 感温部取付部分の漏れの有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	2) 温度設定値と指示値の異常の有無を点検する。	4 M	
	3) 燃焼中に設定温度を下げ、燃焼停止装置の作動状態を点検する。	4 M	
11. 給水ポンプ 及びモーター	1) 吐出圧及び電流値が規定値であることを確認する。	4 M	
	2) 異常な音、振動の有無を点検する。	4 M	
	3) メカニカルシールの又はグランドパッキンの漏れの有無を点検する。	4 M	
12. 総合点検	1) 異常な音、振動の有無を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	2) 圧力、水位、燃焼状態を点検する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	4) 燃料消費量、給水量及び運転状況が適正であることを確認し、記録する。	4 M	
	5) 蒸気使用量に応じて蒸気の発生量を加減し、自動制御装置の作動状態を点検する	4 M	異常がある場合は調査する。
	6) 排出するばい塵の濃度が規定値内であることを確認する。	4 M	異常がある場合は調査する。
	7) 薬注タンクの薬液量を点検する。	4 M	
	8) 薬注注入ポンプの作動状態を点検する。	4 M	異常がある場合は調整する。
	9) 給水ポンプの運転状態を点検する。	4 M	異常がある場合は調整する
	10) 電気系統の絶縁測定値の良否を確認する。	4 M	

(2)
純水製造装置

純水製造装置の点検項目及び点検内容は、表(2)による。

表(2) 純水製造装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外観の状況	① 基礎のき裂、沈下等の有無を点検する。	1Y	
	② 架台の曲り、さび、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	③ 基礎ボルト、取付けボルト、固定金具等の緩み、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	④ 配管支持部の取付け状態が適正であることを確認する。	1Y	
	⑤ 損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y	
	⑥ 漏れの有無を点検する。	1Y	
2. 純水器	① 内部の付着物及び堆積物の有無を点検する。	1Y	詳細は4.1(c) 取り換え部品による。
	② 内部の保護塗装の剥離等の有無を点検する。	1Y	
	③ イオン交換樹脂の汚れ劣化の有無を点検する。	1Y	
	④ 水漏れ、ストレーナーのつまりの有無を点検する。	1Y	
	⑤ イオン交換樹脂を交換する。		
3. 中和槽	① 内部の付着物及び堆積物の有無を点検する。	1Y	
	② 水漏れ、ストレーナーのつまりの有無を点検する。	1Y	
4. 薬液計量槽	① 内部の付着物及び堆積物の有無を点検する。	1Y	
	② 薬液の漏れの有無を点検する。	1Y	
	③ 薬液の注入量を点検する。	1Y	
	④ 薬注ポンプの異常の有無を点検する。	1Y	
5. 自動弁	① 漏れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y	詳細は4.1(c) 取り換え部品による。
	② 作動の良否を点検する。	1Y	
	③ ダイヤフラムを交換する。		
	④ 自動弁を交換する。		

(3)
 還水槽
 (ドレンタンク、ホットウェルタンク、フラッシュタンク)

還水槽の点検項目及び点検内容は、表(3)による。

表(3) 還水槽

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 基礎・固定部	① 基礎のき裂、沈下等の有無を点検する。	1Y	
	② 架台の曲り、さび、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	③ 基礎ボルト、取付けボルト、固定金具等の緩み、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	④ 配管支持部の取付け状態が適正であることを確認する。	1Y	
2. 外観の状況	① 損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y	
	② 漏れの有無を点検する。	1Y	
	③ 保温材の脱落、損傷等の有無を点検する。	1Y	
3. 内部の状況	① 付着物及び堆積物の有無を点検する。	1Y	
	② 内部の保護塗装の剥離等の有無を点検する。	1Y	
4. 管・弁 a. 管 b. 弁	① 漏れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y	
	① 漏れ、損傷等の有無及び作動の良否を点検する。	1Y	
5. 付属品 a. 水面計 b. はしご・点検扉	① 水面計、連絡管及び弁の汚れ、詰まりの有無及び弁の開閉を点検する。	1Y	
	② 水面計の水位が正常値を指示していることを確認する。	1Y	
	③ 固定の良否を点検する。		
	① 取付けの良否及びさび、腐食等の有無を点検する。	1Y	
6. 液面制御装置 a. ボールタップ b. フロートスイッチ c. 電極スイッチ	① フロートの浸水、損傷等の有無及び作動の良否を点検する。	1Y	
	② 給水停止状態での漏水の有無及び水位の適否を点検する。	1Y	
	① フロートの浸水、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	② フロートの上下により電源が入・切し、その位置が規定の許容範囲内にあることを確認する。	1Y	
	① 電極棒に異物付着の有無及び侵食の状態を点検する。	1Y	
	② 水位の上下により電源が入・切し、その位置が正常に作動することを確認する。	1Y	

(4)
熱交換器

- (a) 本項は、スチームアキュムレター、プレート熱交換器及びクリーン蒸気発生器に適用する。
(b) 熱交換器の点検項目及び点検内容は、表(4)による。

表(4) 熱交換器

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 基礎・固定部	① 基礎のき裂、沈下等の有無を点検する。	1 Y	
	② 架台の曲り、さび、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 基礎ボルト、取付けボルト、固定金具等の緩み、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	④ 配管支持部の変形の有無を確認する。	1 Y	
2. 外観の状況	① 締付けボルトの緩み、腐食、曲り等の有無を点検する。	1 Y	
	② 保温材の脱落、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
3. 内部の状況	① 付着物及び堆積物の有無を点検する。	1 Y	
	② 割れ、腐食、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
4. 圧力計・水高計・温度計	① 指針が大気圧の下でゼロ点の指示を確認する。	1 Y	
	② 損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 導圧口、導圧管、サイホン管、コック等の詰まりの有無を点検する。	1 Y	
	④ 温度計感温部の腐食及び損傷の有無を点検する。	1 Y	
5. 付属管・弁	a. 逃し管	① 詰まりの有無を点検する。	1 Y
		② 保温材の脱落及び損傷の有無を点検する。	1 Y
	b. その他の管	① 変形、腐食、曲り等の有無を点検する。	1 Y
		② 結露の有無を点検する。	1 Y
		③ 伸縮継手の作動の良否、損傷等の有無を点検する。	1 Y
	c. 安全弁・逃し弁	① 分解のうえ清掃する。	1 Y
		② 弁及び弁座の損傷の有無を点検する。	1 Y
		③ 各部品を清掃し、損傷等の有無を点検する。	1 Y
		④ 組み立て後、原則として吹出しテストをする。	1 Y
	d. 減圧弁	① 1次側及び2次側の圧力計の圧力変動が許容範囲内にあることを確認する。	1 Y
		② 損傷等の有無を点検する。	1 Y
	e. その他の弁	① 作動の良否及び損傷等の有無を点検する。	1 Y
6. 温度調整弁	① 作動の良否を点検する。	1 Y	
	② 損傷等の有無及びスケール付着の有無を点検する。	1 Y	
7. 蒸気トラップ	① 分解清掃のうえ、損傷等の有無を点検する。	1 Y	

8. 防食装置	① 流電陽極法は、防食材の消耗の程度を点検する。 ② 外部電源法は、電極線の消耗の有無及び絶縁状態の有無を点検する。	1 Y 1 Y	
9. 溶解栓	① 劣化の有無を点検する。	1 Y	
10. 分解整備	① プレート熱交換器の分解整備を行う。 《要領》 1) 本体より熱交換プレートを取り外す。 2) 液体窒素槽にプレートを浸潤させ古いガスケットを取り除く。 3) プレートを洗浄用酸・アルカリ槽に浸潤させスケールを取り除く。 4) 高圧水洗浄によりプレートからスケールを取り除く。 5) カラーチェック プレートを目視にて腐食、クラック及び変形等が無いかを確認する。 6) 熱硬化 プレートにガスケットを接着し、150℃の炉に入れ接着剤を硬化させる。 7) 圧力試験 プレートに気密圧力試験を行う。 8) 組付け プレートを本体に組付け、試運転調整する。 ※1) 8) の工程は大学構内で実施し、その他は専用設備工場等にて実施することとする。	2 Y	毎年1台ずつ行う。

(5)
蒸気ヘッダー

蒸気ヘッダーの点検項目及び点検内容は、表(5)による。

表(5) 蒸気ヘッダー

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 基礎・固定部	① 基礎のき裂、沈下等の有無を点検する。	1 Y	
	② 架台の曲り、さび、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 基礎ボルト、取付けボルト、固定金具等の緩み、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	④ 配管支持部の変形の有無を点検する。	1 Y	
2. 外観の状況	① 損傷、腐食等の有無を点検する。	1 Y	
	② 漏れの有無を点検する。	1 Y	
	③ 蓋の取付け状態の良否及びボルトの摩耗、腐食、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	④ 保温材の脱落、損傷等の有無を点検する。	1 Y	

3. 圧力計・水高計・温度計	① 正常値を指示していることを確認する。	1 Y
	② 取付け部等の漏れの有無を点検する。	1 Y
	③ 汚れ及び損傷の有無を点検する。	1 Y
4. 付属管・弁 a. 逃し管	① 漏れ、汚れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	1 Y
	② 保温材の脱落、損傷等の有無を点検する。	1 Y
b. その他の管	① 漏れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	1 Y
c. 安全弁又は逃し弁	① 取付けボルトの緩みを点検する。	1 Y
	② 漏れの有無を点検する。	1 Y
	③ テストレバーのあるものは、作動テストをする。	1 Y
d. その他の弁	① 漏れ、損傷等の有無及び作動の良否を点検する。	1 Y
	② グランドパッキンを取り換える。	1 Y

(6)
貯湯槽

貯湯槽の点検項目及び点検内容は、表(6)による。

表(6) 貯湯槽

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 基礎・固定部	① 基礎のき裂、沈下等の有無を点検する。	1 Y	
	② 架台の曲り、さび、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 基礎ボルト、取付けボルト、固定金具等の緩み、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	④ 配管支持部の変形の有無を確認する。	1 Y	
2. 外観の状況	② 締付けボルトの緩み、腐食、曲り等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 保温材の脱落、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
3. 内部の状況	① 付着物及び堆積物の有無を点検する。	1 Y	
	② 割れ、腐食、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 加熱管を引出し、内外面のスケール、スラッジ等の異物の付着及び割れ、変形、腐食等の有無を点検する。	3 Y	
4. 圧力計・水高計・温度計	① 指針が大気圧の下でゼロ点の指示を確認する。	1 Y	
	② 損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 導圧口、導圧管、サイホン管、コック等の詰まりの有無を点検する。	1 Y	
	④ 温度計感温部の腐食及び損傷の有無を点検する。	1 Y	
5. 付属管・弁 a. 逃し管	① 詰まりの有無を点検する。	1 Y	

	② 保温材の脱落及び損傷の有無を点検する。	1 Y
b. その他の管	① 変形、腐食、曲り等の有無を点検する。	1 Y
	② 結露の有無を点検する。	1 Y
	③ 伸縮継手の作動の良否、損傷等の有無を点検する。	1 Y
c. 安全弁・逃し弁	① 分解のうえ清掃する。	1 Y
	② 弁及び弁座の損傷の有無を点検する。	1 Y
	③ 各部品を清掃し、損傷等の有無を点検する。	1 Y
	④ 組み立て後、原則として吹出しテストをする。	1 Y
d. 減圧弁	① 1次側及び2次側の圧力計の圧力変動が許容範囲内にあることを確認する。	1 Y
	② 損傷等の有無を点検する。	1 Y
e. その他の弁	① 作動の良否及び損傷等の有無を点検する。	1 Y
6. 温度調整弁	① 作動の良否を点検する。	1 Y
	② 損傷等の有無及びスケール付着の有無を点検する。	1 Y
7. 蒸気トラップ	① 分解清掃のうえ、損傷等の有無を点検する。	1 Y
8. 防食装置	① 流電陽極法は、防食材の消耗の程度を点検する。	1 Y
	② 外部電源法は、電極線の消耗の有無及び絶縁状態の有無を点検する。	1 Y
9. 溶解栓	① 劣化の有無を点検する。	1 Y
10. 槽清掃	② 点検終了後槽内を清掃する。 清掃終了後、塩素剤を用いて2回以上槽内の消毒を行う。 消毒薬は、有効塩素50~100mg/l濃度の次亜塩素酸ナトリウム溶液又はこれと同等以上の消毒能力を有する塩素剤を用いる。	1 Y

(7)
ポンプ

(a) 本項は、ボイラー給水ポンプ及びドレンポンプ等に適用する。
(b) ポンプの点検項目及び点検内容は、表(7)による。

表(7) ポンプ

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 基礎・固定部	① 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。	6 M	
	② 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	6 M	
2. 外観の状況	① 腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。	1 M	

	② 軸継手ゴムの損傷等の有無を点検する。	6 M
	③ 芯出しの良否を点検する。	6 M
	④ ポンプの吸込圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあることを確認する。	1 M
	⑤ 軸封の漏水状態を点検する。	1 M
3. 電動機	① 発熱の異常の有無を点検する。	1 M
	② 回転方向が正しいことを確認する。	1 Y
	③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	6 M
	④ 運転電流が定格値以下であることを確認する。	1 M
4. 圧力計・連成計	① 腐食及び損傷の有無を点検する。	1 Y
	② 指示値が適正であることを確認する。	1 Y
5. 運転調整	① 運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。	1 Y
	② 運転電流が定格以下であることを確認する。	1 Y

(8)

水質管理

(ボイラー用水)

(a) 本項は、貫流ボイラーの用水の水質管理に適用する。

(b) 水質基準及び検査方法は、JIS B 8223 (ボイラーの給水及びボイラー水の水質) 及び JIS B 8224 (ボイラーの給水及びボイラー水の試験方法) による。

(c) ボイラー用水の点検項目及び点検内容は、表 (8) による。

表 (8) 冷凍空調機器用水

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 給水・復水・缶水	JIS B 8223 (ボイラーの給水及びボイラー水の水質) に定める水質項目について測定を行う。	4 M	

4.1 温熱源機器

4.1.(C) 取替部品

蒸気ヘッダー（ボイラー室）

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
グランドパッキン	4. 8mmx3m	3個	1 Y	○	○	○
グランドパッキン	6. 4mmx3m	5個	1 Y	○	○	○
グランドパッキン	7. 9mmx3m	5個	1 Y	○	○	○
グランドパッキン	9. 5mmx3m	4個	1 Y	○	○	○
グランドパッキン	11. 1mmx3m	2個	1 Y	○	○	○

蒸気ヘッダー（講義実習棟機械室）

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
グランドパッキン	4. 8mmx3m	1個	2 Y	○		○
グランドパッキン	6. 4mmx3m	4個	2 Y	○		○
グランドパッキン	7. 9mmx3m	2個	2 Y	○		○

純水製造装置 2台分

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
自動弁	AV-1, 2, 3, 5, 9	10個	1 Y	○	○	○
ダイヤフラム	AV-8	2個	1 Y	○	○	○
上部ストレーナ	ストレーナ用ろ布共	4個	1 Y	○	○	○
瞬間流量計ゲージ 管パッキン		4個	1 Y	○	○	○
集合表示灯電球		14個	1 Y	○	○	○
自動弁	AV-4, 6, 7, 8, 10, 11	12個	3 Y			○
中和槽放流用電動弁	AV-12	2個	3 Y	○		
塩酸用薬注ポンプ		2台	3 Y	○		
中和槽用自動弁		2台	3 Y	○		
イオン交換樹脂	カチオン	1000	5 Y			
イオン交換樹脂	アニオン	2000	5 Y			

4.2 冷熱源機器

4.2.1 業務対象設備

4.2.(A) 業務対象設備の概要による。

4.2.2 点検項目、点検内容及び点検周期

4.2.(B) 業務要領 冷熱源機器による。

4.2.3 他設備との連動等

他設備(機器等)と連動している場合は、必要に応じて適正に行い、その他の措置を講じるものとする。

4.2.4 取替部品

4.2.(C) 取替部品による

4.2.5 業務報告書

業務完了後(シーズン毎)に次の書類を作成する。

- ・ 点検及び保守結果報告書
- ・ 試験成績書
- ・ 計測記録
- ・ 業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

4.2.6 その他

4. 機械設備

4.2 冷熱源機器

4.2(A) 業務対象設備の概要

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
エネセン 冷凍機室	ガス吸収式冷温水 発生機 (R-2)	パナソニック産機システム QFW-PE800FC 冷凍能力 750USRT 冷房能力 2,637kW 暖房能力 1,936kW 燃料 都市ガスA重油兼用	1基	
エネセン 空調ポンプ室	冷温水ポンプ (P-02)	荏原製作所 FS4JM 口径 200×150 能力 7560ℓ/min×25m	1台	
エネセン (屋外)	冷却水ポンプ (CDP-2)	荏原製作所 CFNM 口径 300×200 能力 12500ℓ/min×30m	1台	
講義実習棟	空冷ヒートポンプチラー (RH-1, 2)	三菱電機 CAH-P1180C (H) 冷却能力 118kW 加熱能力 140kW 冷媒 R407C 38kg	2台	
講義実習棟	冷温水ポンプ (CP-1, HP-1, CHP- 1)	荏原製作所 口径 × 能力 ℓ/min× m	3台	
R I 動物実験 施設 (増築部)	空冷ヒートポンプチラー (CHU-1-1~7)	日立アプライアンス RHMP1500AB 冷凍能力 16.9RT 冷却能力 150kW 加熱能力 170kW 冷媒 R407C kg	7台	
R I 動物実験施設 (増築部 屋外)	冷温水循環ポンプ (P-1)	荏原製作所 口径 × 能力 20040ℓ/min×45m	1台	
R I 動物実験施設 (増築部 屋外)	冷温水循環ポンプ (P-2)	荏原製作所 口径 × 能力 26720ℓ/min×45m	1台	
図書館	ガス吸収式冷温水 発生機 (R-5)	矢崎総業 フォーエス CH-KH50PS 冷凍能力 50RT 冷房能力 176kW 暖房能力 140kW 燃料 都市ガス	2台	冷却塔一体型
図書館	冷温水ポンプ (P-02)	荏原製作所 口径 65×50 能力 5040ℓ/min× m	2台	
図書館	冷却水ポンプ (CDP-2)	荏原製作所 口径 80×65 能力 8330ℓ/min× m	2台	
エネセン 冷凍機室	ターボ冷凍機 (TR- 1, -2)		2台	ESCO事業
エネセン (屋外)	空冷ヒートポンプチラー (HPR-1)		12台	ESCO事業
エネセン (屋外)	冷却塔 (CT-1)		8台	ESCO事業
エネセン (屋外)	冷却水ポンプ		2台	ESCO事業
エネセン 空調ポンプ室	空調用ポンプ		34台	ESCO事業

4.2 冷熱源機器

4.2.(B) 業務要領 冷熱源機器

第1節 一般事項

1 適用	本章は、建築物等の機械設備に関する業務に適用する。
2 用語の定義	<p>本章において用いる用語の定義は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 「性能点検」とは、労働安全衛生法第41条第2項に定める性能検査に該当するものをいう。</p> <p>(2) 「月例点検」とは、労働安全衛生法第45条第1項に定める定期自主検査に該当するものをいう。</p> <p>(3) 「シーズンイン点検」とは、冷房又は暖房期間開始直前に行う点検をいう。</p> <p>(4) 「シーズンオン点検」とは、冷房又は暖房期間中に行う点検をいう。</p> <p>(5) 「シーズンオフ点検」とは、冷房又は暖房期間終了直後に行う点検をいう。</p>
3 周期の表記	<p>点検の周期の表記は、次による。</p> <p>(1) 「IN」は、シーズンイン点検を示すものとする。</p> <p>(2) 「ON」は、シーズンオン点検を示すものとする。</p> <p>(3) 「OFF」は、シーズンオフ点検を示すものとする。</p>

第2節 冷熱源機器

(1) チリングユニット	<p>(a) チリングユニット（シーズンイン点検）の点検項目及び点検内容は、(1)による。</p> <p>(b) 点検周期は、次による。</p> <p>(1) シーズンイン点検：年2回（講義実習棟・R I 動物実験施設）</p> <p>(2) シーズンオン点検：年2回（R I 動物実験施設のみ）</p> <p>表(1)チリングユニット（シーズンイン・オフ点検）</p>
-----------------	---

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 基礎・固定部	<p>① き裂、沈下等の有無を点検する。</p> <p>② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。</p> <p>③ 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。</p>	<p>IN・ON</p> <p>IN</p> <p>IN・ON</p>	
2. 外観の状況			
a. 本体	① 腐食、変形、破損等の有無を点検する。	IN・ON	
b. 保冷材	① 損傷及び脱落の有無を点検する。	IN・ON	
3. 内部の状況			
a. 熱交換器	① フィン・コイルの汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN・ON	
4. 付属品			
a. 温度計・圧力	① 正常値を指示していることを点検する。	IN・ON	

計	② 取付け部等の漏れの有無を点検する。 ③ 汚れ及び損傷の有無を点検する。	IN・ON IN・ON
b. 安全弁	① 漏れの有無及び作動の良否を点検する。	IN・ON
5. 電気系統		
a. 操作回路・動力回路	① 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN
b. 端子	① 緩み、変色及び破損の有無を点検する。	IN・ON
c. クランクケースヒータ	① 温度の異常の有無を点検する。 ② 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN・ON IN・ON
d. 操作盤	① 盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	IN・ON
e. 電磁開閉器	① 異常音及び劣化の有無を点検する。	IN・ON
f. 接地	① 断線及び緩みの有無を点検する。 ② 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN・ON IN・ON
6. 保安装置		
a. 圧力開閉器	① 設定値で作動することを確認する。	IN・ON
b. 吐出ガス温度サーモ	① 作動の良否を点検する。	IN・ON
c. 断水リレー	① 作動の良否を点検する。	IN・ON
d. インターロック	① 作動の良否を点検する。	IN・ON
e. 冷水凍結防止サーモ	① 作動の良否を点検する。	IN・ON
f. 可溶栓	① 変形、破損等の有無を点検する。	IN・ON
7. 冷媒系統	① ガス漏れの有無を点検する。 ② 配管の損傷、接触、摩耗、腐食等の有無を点検する。	IN・ON IN・ON
8. 潤滑油系統	① 油の汚れの有無及び油量の適否を点検する。	IN・ON
9. 冷水及び冷却水系統	① 漏れの有無を点検する。 ② 弁の開閉の良否を点検する。	IN・ON IN・ON
10. 排水系統	① 通水試験を行い、流れに支障のないことを確認する。	IN・ON
11. 運転調整		

a. 音・振動	① 異常のないことを確認する。	IN・ON	
b. 電源電圧・電流	① 運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。	IN・ON	
	② 主電流、圧縮機電流及び送風機電流が規定値以下にあることを確認する。	IN・ON	
c. 冷媒ガス	① 高圧側及び低圧側の圧力、温度等の冷媒ガスの状態を把握するために必要な計測を行い、その値が許容範囲内にあることを確認する。	IN・ON	
d. 冷凍機油	① 油圧、温度等を計測し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	IN・ON	
e. 熱交換状況	① 冷媒、冷却水及び冷水の温度等を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。	IN・ON	
f. 自動制御	① 温度、圧力、容量及びタイマー制御が設定値で作動することを確認する。	IN・ON	
12. 圧縮機	① 圧縮機のオーバーホールを行う (RI動物実験施設のみ 年1回実施)	IN	5年に1回実施 2019年度1台 2020年度2台

2
直だき吸収冷温水機

- (a) 本項の直だき吸収冷温水機は、冷凍能力が単体で186kW(160,000kcal/h)以上のものであって、燃料としてガス又は油を使用するものに適用する。
- (b) 直だき吸収冷温水機(シーズンイン・オン・オフ点検)・附属装置の点検項目及び点検内容は、表(2)による。
- (c) 点検周期は、次による。
- (1) シーズンイン点検：年2回
- (2) シーズンオン点検：年2回
- (3) シーズンオフ点検：年2回

表(2) ガス吸収式冷温水発生機
(R-2)

項目	業務内容	点検周期 シーズン			備考
		IN	ON	OFF	
1. 外観点検 (1) 本体及び 付属品	1) 腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。	○	○	○	・劣化が著しい場合は調査報告する。
	2) 配管、継手、弁等より水漏れの有無を点検する。	○	○	○	・漏れがある場合は調査報告又は修理する。
	3) 据付ボルトにガタや緩みがないか点検する。	○		○	・緩みがある場合は増締めする。

(2) 温度計及び圧力計	1) 破損の有無を点検する。	○	○	○	・ 破損がある場合は修理する。
(3) 保温及び保冷材	1) 保温及び保冷材の、損傷及び脱落の有無を点検する。損傷又は脱落が軽微な場合は補修する。	○		○	・ 損傷又は脱落がある場合は調査報告する。
2. 動力盤	1) 冷房又は暖房の切換が誤っていないことを確認する。	○			
	2) 絶縁抵抗を測定し、その値が1 MΩ以上あることを確認する。	○		○	・ 許容範囲内でない場合は調査報告する。
	3) 作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	○			・ 調整不能の場合は修理する。
3. 付属弁	1) 弁の開閉の良否を点検する。開閉不良の場合は調整する。	○			・ 調整不能の場合は調査報告する。
	2) 調整弁にあつては冷房又は暖房運転時の調整開度であることを確認する。	○			
4. 冷温水及び冷却水系統	1) 出口及び入口の圧力損失が規定値にあることを確認する。規定値にない場合は調整する。	○			・ 調整不能の場合は調査報告する。
	2) 各水室部に水漏れのないことを確認する。水漏れがある場合は補修する。	○			・ 調整不能の場合はパッキンの交換を行う。
5. 電気系統					
(1) 絶縁抵抗	1) 溶液ポンプ、抽気ポンプ、ブローファン等の各モーター、操作回路等の絶縁抵抗を500Vメガテスターを用いて測定し、その値が1 MΩ以上あることを確認する。ただし、低電圧回路(24V以下)は除く。	○		○	・ 1 MΩ未満の場合は乾燥又は不良の場合は調査報告する。
(2) 端子	1) 緩み、変色及び損傷の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	○		○	・ 変色又は被覆破損のある場合は調査報告し修理する。
(3) タイマー	1) 起動制限、遅延、その他のタイマーが設定値で作動することを確認する。作動不良の場合は調整する。	○			・ 調整不能の場合は調査報告する。
(4) サーマルリレー	1) 溶液ポンプ、抽気ポンプ、ブローファン等の各モーター用サーマルリレーの設定値を確認する。	○			・ 調整不能の場合は調査報告する。

(5) マイコンコントローラ、インバータ	1) マイコンコントローラ及びインバータの設定値が規定値にセットされているか確認する。	○		
(6) 電極棒	1) 電極棒の機能を調査する。 2) 必要に応じて抜き取って亀裂及び折損の有無を点検する。	○	○	・ 亀裂又は折損がある場合は調査報告する。
(7) 制御盤内	1) 盤内部の汚れを点検し清掃する。	○	○	
6. 保安装置				
(1) 保護スイッチ	1) 冷温水過冷却、断水及び液面リ、高温再生器圧力及び温度、ガス圧力（高、低）、空気圧力その他のスイッチの作動（実作動が困難な場合は疑似回路による）の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	○	○	・ 調整不能の場合は調査報告する。
(2) インターロック	1) 冷温水及び冷却水ポンプ、感震器、煙感知器その他のインターロックの作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	○	○	・ 調整不能の場合は調査し、不良部位の部位を修理する。
7. 燃焼装置				
(1) 燃料系統配管	1) ガス燃料系にあつては（社）日本冷凍空調工業会「ガス・油吸収冷温水機安全基準」（JRA4004・4013）に定められた方法により外部漏れを確認する。	○	○	・ 基準を越える外部漏れがある場合は、その部位を修理又は調査報告する。
(2) 弁	1) ガスを使用するものにあつては（社）日本冷凍空調工業会「ガス・油吸収冷温水機安全基準」（JRA4004・4013）に示す方法による。弁越りリーク量が基準以内であることを確認する。 2) 主遮断弁及びパイロット電磁弁の開閉の良否を点検する。 3) 異常時に規定値で作動（実作動が困難な場合は疑似回路による）することを確認する。 4) 通電時にリサイクル、過熱、異音等の異常のないことを確認する。	○	○	・ ガスの場合は基準を超える弁越りリークがある時は調査報告し修理する。 ・ 開閉不良の場合は調査報告する。 ・ ガスを使用するものにあつては1秒以内で作動しない場合は調査報告する。
(3) バーナー	1) 耐火材の亀裂及び欠損の有無を点検する 2) ヘッド部の焼損及び変形の有無を点検する。	○	○	・ 亀裂又は欠損がある場合は調査報告する。 ・ 焼損又は変形がある場合は修理する。

	3) 点火トランス、電極棒及び高圧リード線の損傷等の劣化及び絶縁硝子の亀裂の有無並びに絶縁の良否を確認する。	○			劣化若しくは変形が著しい場合は精密調査する。
(4) リンク機構	1) 動作の良否を点検する。動作不良の場合は調整する。	○	○	○	調整不能の場合は精密調査する。
	2) ボールジョイントの緩み及び損傷の有無を点検する。緩みがある場合又は損傷が軽微の場合は増締め又は補修する。	○		○	ネジ山が摩耗している場合は報告する。
(5) 炎検知器	1) 光電セル又は紫外線検出方式の場合、受光面の汚れ、亀裂等の劣化の有無、並びに絶縁の良否を確認する。汚れがある場合は清掃する。	○			検出素子の装着不良若しくは接触不良の場合は修理する。受光面の劣化がある場合は調査報告する。
8. 燃 焼 室 (高温再生器)	1) 焼損及び燃焼ガスのリークの有無を点検する。焼損又は燃焼ガスのリークが軽微な場合は補修する。			○	焼損又は燃焼ガスのリークが著しい場合は損傷箇所を修理又はパッキンを交換する。
	2) 燃焼室カバーを開放し、耐火材の亀裂の有無を点検する。亀裂が軽微な場合は補修する。			○	亀裂が著しい場合は精密調査する。
	3) 燃焼室内部の腐食及び汚れの有無を点検する。腐食が軽微な場合は補修する。			○	腐食が著しい場合は調査報告し、汚れが著しい場合は清掃する。
	4) 燃焼ガス出口部の腐食（ドレンタック）の有無を点検する。			○	腐食がある場合は修理する。
	5) 煙管内に挿入されているバップル板（熱伝導板）の焼損の有無を確認する。			○	バップル板の焼損が著しい場合は調査報告する。
9. 運 転 調 整					
(1) 音 及 び 振 動	1) 異常のないことを確認する。	○		○	異常がある場合は精密調査する。
(2) 電 流 及 び 電 圧	1) 運転時に主電源電圧の変動が定格の10%以内であることを確認する。	○			異常がある場合は調査報告する。
	2) 運転電流が定格電流以下であることを確認する。	○		○	異常がある場合は精密調査する。
(3) 温度制御	1) 設定温度で確実に作動していることを確認する。	○		○	作動不良の場合は修理する。

(4) 燃焼制御	1) プレバージ時間、着火タイミング、失火動作指令等の作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	○	○	・ 調整不能の場合は精密調査する。	
(5) 燃焼状態	1) 正常に着火することを確認する。	○	○	・ 異常があり調整不能の場合は精密調査又は修理する。	
	2) メインバーナの火炎が安定しており、異常振動や異常音が無いことを確認する。火炎が不安定な場合は調整する。	○	○	・ 異常があり調整不能の場合は精密調査する。	
	3) フレーム電流を測定しその値が規定値以上で、安定していることを確認する。規定値未満であったり、規定値以上でも不安定な場合は調整する。	○		・ 調整不能の場合は修理する。	
	4) 排ガス中のO ₂ 濃度及びCO濃度、排ガス温度、ドラフト、燃料圧力、燃料消費量等を測定し、規定の許容範囲内にあることを確認する。	○		・ 許容範囲内にならない場合は調整する。	
(6) 電動機	1) 電動機の回転方向が正回転であることを確認する。	○			
(7) 熱交換器	1) 冷温水及び冷却水の入口温度と出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度等を測定し、その値が許容範囲内にある事を確認する。	○	○		
	2) 不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を確認する。	○	○		
10 真空気密					
(1) 抽気ポンプ	1) 起動時に固着及び異音がなく、抽気能力に異常がないことを確認する。	○	○	○	・ 異常がある場合は精密調査する。
	2) ベルトの張りの良否及び油面の適否を点検する。ベルトの張りが不良の場合は調整する。	○	○	○	・ 調整不能又は油不足の場合は交換又は補完する。
(2) 抽気系統	1) 抽気用弁を手動で全開にしたとき、真空計の変化から確実に開通していることを確認する。閉塞が認められる場合は分解し点検する。	○	○	○	・ ダイヤフラムゴムが脱落している場合は修理する。
	2) 自動抽気装置のカレンダータイマー、抽気電動弁、抽気電磁弁、圧力スイッチ等の作動が正常であることを確認する。設定	○	○	○	・ 調整不能の場合は修理する。

	不良の場合は調整する。				
(3)パラジウムセルユニット	1)パラジウムセル部の焼損及び劣化度を確認する。	○	○	○	・焼損及び劣化が著しい場合は調査報告する。
(4)リーク試験	1)抽気ポンプで機内に不凝縮ガスがないことを確認する。	○	○	○	・不凝縮ガスが異常に検出される場合は精密調査する。
11. 溶 液	1) 攪拌した溶液を適量採取し、インヒビター及びアルカリ濃度が規定の許容範囲内にあることを確認する。分析の結果により、基準範囲を越えた場合は、インヒビター添加剤及びアルカリ度調整剤を適正量投入する。	○	○		・許容範囲内にならない場合は調整する。
	2) 溶液に汚れがないことを確認する。	○	○		・汚れが著しい場合はろ過する。
12. 吸収液ポンプ・冷媒ポンプ	1) 腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。	○			・腐食、損傷及び漏洩がある場合は修理する。
	2) 各ポンプのグランドからの液漏の有無を点検する。	○	○		・異常がある場合は修理する。
	3) 異常な騒音、振動の有無を点検する。	○	○		・異常がある場合は調査報告する。
	4) 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上であることを確認する。	○		○	・1 MΩ未満の場合は精密調査する。
13. 熱交換器	(冷房時のみ)				
凝縮器	1) 伝熱管のスケール付着、歪、曲がり、変形の有無を点検する。			○	・硬質スケールが付着している場合は薬品洗浄する歪等がある場合は修理
吸収器	2) 伝熱管の腐食の有無を点検する。			○	・腐食が認められる場合は渦流探傷法で精密調査し減肉率の多いもの調査報告する。
蒸発器	3) 水室の汚れ及び腐食の有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。			○	・腐食が著しい場合はケレン後、再塗装する。
	4) 年1回ブラシ又は中性洗剤によりチューブ清掃する。			○	
	5) 本体フランジ部に異常がないか点検する。			○	・異常がある場合は修理する。
14. 水質管理装置					

(1) 本体等	<p>1) 各機器類に腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。</p> <p>2) 配管、継手、弁等より水漏れの有無を点検する。</p> <p>3) 薬注ポンプ配管内に空気が溜まってないことを確認する。</p> <p>4) 薬注タンク内にゴミ、不純物等がないか点検する。</p> <p>5) 検出電極を取り出し、清掃し破損の有無を確認する。</p> <p>6) 検出電極を取り出し、純水で洗浄する。</p> <p>7) 検出電極が適正な位置に取り付けてあるか確認する。</p> <p>8) 検出電極を標準液でpH調整を行い適正を確認する。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 破損等ある場合は調査報告する。 ・ 漏れがある場合は修理する。 ・ 空気が溜まっている場合はエア抜きする。 ・ ゴミ、不純物ある場合は清掃しろ過する。 ・ 破損がある場合は修理する。 ・ 異常がある場合は調査報告する。
(2) 水質管理	<p>1) 水質ガイドライン、項目のうちPH及び電気伝導率について1回測定を行い、その値が基準値に適合することを確認する。</p> <p>2) PH又は電気伝導率の測定が基準値に適合しない場合は水質ガイドラインの全ての項目について測定を行い、腐食又はスケール生成の傾向の有無を確認する。</p> <p>3) 冷却水接水部に腐食傾向の有無を確認する。</p> <p>4) 冷却水がバクテリア、藻等に汚染されていないか確認する。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ PH又は電気伝導率が基準値内でない場合は調整する。 ・ 腐食又はスケールが認められる場合は調査報告する。 ・ 腐食等ある場合は冷却水を入れ換え又は適正なpHピッチャーを投入する。
(3) 検査記録	<p>1) 水質の検査又は測定に関しては、採水の日時及び場所、検査又は測定の日時、検査又は測定結果、実施者及び方法等を記録する。</p>	<p>○</p>	
15. 保存			
(1) 真空系統	<p>1) 内部真空度に降下のないことを確認のうえ保存する。</p>	<p>○</p>	
(2) 冷温水及	<p>1) 満水又は乾燥のうえ保存する。満水保存</p>	<p>○</p>	

び冷却水 系 統	の場合にあっては、防錆剤を規定の濃度 まで注入する。				
(3) 溶液希釈	1) シーズンオフ停止に入る時は溶液が充分 希釈されていることを確認する。				○
16. 燃料槽	1) 燃料タンクの貯油量を油面計により点検し、併 せて油面計の動作の良否を点検する。また、滑 車式油面計は、滑車の動作の円滑性、ワイヤ等 の損傷の有無を点検する。 2) 燃料タンク、配管及び各種バルブの状態並びに 取付けボルトの異常の有無を点検する。 3) 燃料タンク用通気金物の引火防止金網の脱落、 腐食等の有無を点検する。 4) 燃料タンクの燃料油の水分含有量について点 検する。 5) 燃料小出槽内部のさび、損傷等の有無を点検す る。 6) 燃料小出槽内部のスラッジの堆積状況を点検 する。 7) 地下燃料タンクのマンホール内のさびの有無 を点検する。 8) 地下燃料タンクの法令点検を行い、所管に報告 する。				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
				6年に1回	2021年度実施
				6年に1回	2021年度実施
				3年に1回	2021年度実施
17. 燃料移送ポ ンプ	1) ポンプ運転用レベルスイッチが正常に作動す ることを確認する。 2) ポンプの基礎ボルト及び取付けボルトを点検 する。 3) 本体及び軸受部分の異常音、異常振動、異常な 温度上昇等の有無を点検する。 4) 電動機との直結部分又はプーリー間の芯出し 及びベルトの張り具合が正常であることを確 認する。 5) 軸封部分からの漏油の有無を点検する。				○ ○ ○ ○ ○

3
ポンプ

(a) 本項は、冷温水、冷却水、熱源温水ポンプに適用する。
(b) ポンプの点検項目及び点検内容は、表(3)による。

表(3) ポンプ

項 目	業 務 内 容	点検周期 シーズン			備 考
		IN	ON	OFF	
1. 基礎・固定 部	1) 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有 無を点検する。	○		○	
	2) 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無 を点検する。	○		○	
2. 外観の状況	1) 冷却水ポンプのグリスアップを行う。	○			
	2) 材料の動きが正常か点検する。	○	○		

	3) 各ポンプ軸受部の温度が異常に高くない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	4) 異常な騒音、振動の有無を点検する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	5) 腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。	<input type="radio"/>		
	6) 軸継手ゴムの損傷等の有無を点検する。	<input type="radio"/>		
	7) ベルトの損傷等の有無を点検する。	<input type="radio"/>		
	8) 芯出しの良否を点検する。		<input type="radio"/>	
	9) ポンプの吸込圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあることを確認する。	<input type="radio"/>		
	10) 軸封の漏水状態を点検する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
3. 電動機	1) 電動機にグリスアップを行う。	<input type="radio"/>		
	2) 電動機が外部より調査できる場合は、発熱の異常の有無を点検する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	3) 回転方向が正しいことを確認する。	<input type="radio"/>		
	4) 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	5) 運転電流が定格値以下であることを確認する。	<input type="radio"/>		
4. 運転調整	1) 主電源電圧の変動が運転時に定格電圧の10%以内であることを確認する。	<input type="radio"/>		
	2) 運転電流が定格値以下であることを確認する。	<input type="radio"/>		

表(4) ガス吸収式冷温水発生機
(R-5)

項目	業務内容	点検周期 シーズン			備考
		IN	ON	OFF	
1. 外観点検 (1) 本体及び 付属品	1) 腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。	○	○		・劣化が著しい場合は調査報告する。
	2) 配管、継手、弁等より水漏れの有無を点検する。	○	○		・漏れがある場合は調査報告又は修理する。
	3) 据付ボルトにガタや緩みがないか点検する。	○			・緩みがある場合は増締めする。
(2) 温度計及び 圧力計	1) 破損の有無を点検する。	○	○		・破損がある場合は修理する。
(3) 保温及び 保冷材	1) 保温及び保冷材の、損傷及び脱落の有無を点検する。損傷又は脱落が軽微な場合は補修する。	○			・損傷又脱落がある場合は調査報告する。
2. 動力盤	1) 冷房又は暖房の切換が誤っていないことを確認する。	○			
	2) 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。	○			・許容範囲内でない場合は調査報告する。
	3) 作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	○	○		・調整不能の場合は修理する。
3. 付属弁	1) 弁の開閉の良否を点検する。開閉不良の場合は調整する。	○	○		・調整不能の場合は調査報告する。
	2) 調整弁にあつては冷房又は暖房運転時の調整開度であることを確認する。	○	○		
4. 冷温水及び 冷却水系 統	1) 出口及び入口の圧力損失が規定値にあることを確認する。規定値にない場合は調整する。	○	○		・調整不能の場合は調査報告する。
	2) 各水室部に水漏れのないことを確認する。水漏れがある場合は補修する。	○	○		・調整不能の場合はパッキンの交換を行う。
	3) 冷却水系の水抜き確認を行う。 (暖房時)	○			

5. 電気系統				
(1) 絶縁抵抗	1) 溶液ポンプ、ブローファン等の各モーター、操作回路等の絶縁抵抗を500Vメガテストを用いて測定し、その値が1 MΩ以上あることを確認する。 ただし、低電圧回路(24V以下)は除く。	○		1 MΩ未満の場合は乾燥又は不良の場合は調査報告する。
(2) 端子	1) 緩み、変色及び損傷の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	○	○	変色又は被覆破損のある場合は調査報告し修理する。
(3) タイマー	1) 起動制限、遅延、その他のタイマーが設定値で作動することを確認する。作動不良の場合は調整する。	○	○	調整不能の場合は調査報告する。
(4) サーマルリレー	1) 溶液ポンプ、ブローファン等の各モーター用サーマルリレーの設定値を確認する。	○	○	調整不能の場合は調査報告する。
(5) マイコンコントローラ	1) マイコンコントローラの設定値が規定値にセットされているか確認する。	○	○	
(6) 液面レベルスイッチ (GLS)	1) 液面レベルスイッチ (GLS) がON, OFF作動することを確認する。 2) 必要に応じて抜き取って亀裂及び折損の有無を点検する。	○	○	作動不良の場合は調査報告する。
(7) 制御盤内	1) 盤内部の汚れを点検し清掃する。	○	○	
6. 保安装置				
(1) 保護スイッチ	1) 冷温水過冷却、断水及び液面リレ、高温再生器圧力及び温度、ガス圧力(高、低)、空気圧力その他のスイッチの作動(実作動が困難な場合は疑似回路による)の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	○	○	調整不能の場合は調査報告する。
(2) インターロック	1) 冷温水及び冷却水ポンプ、感震器、煙感知器その他のインターロックの作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	○	○	調整不能の場合は調査し、不良部位の部位を修理する。
7. 燃焼装置				
(1) 燃料系統配管	1) ガス燃料系にあつては(社)日本冷凍空調工業会「ガス・油吸収冷温水機安全基準」(JRA4004・4013)に定められた方法により外部漏れを確認する。	○	○	基準を越える外部漏れがある場合は、その部位を修理又は調査報告する。
(2) 弁	1) ガスを使用するものにあつては(社)日本冷凍空調工業会「ガス・油吸収冷温水機安	○	○	ガスの場合は基準を超える弁越り漏れがある

	全基準」(JRA4004・4013)に示す方法による。弁越リーク量が基準以内であることを確認する。			時は調査報告し修理する。
	2) 主遮断弁及びパイロット電磁弁の開閉の良否を点検する。	○		・ 開閉不良の場合は調査報告する。
	3) 異常時に規定値で作動(実作動が困難な場合は疑似回路による)することを確認する。	○		・ ガスを使用するものにあつては1秒以内で作動しない場合は調査報告する。
	4) 通電時にリサイクル、過熱、異音等の異常のないことを確認する。	○	○	・ 異常のある場合は調査報告する。
(3) バーナー	1) バーナーの亀裂及び欠損の有無を点検する。	○		・ 亀裂又は欠損がある場合は調査報告する。
	2) ヘッド部の焼損及び変形の有無を点検する。	○		・ 焼損又は変形がある場合は修理する。
	3) 点火トランス、電極棒及び高圧リード線の損傷等の劣化及び絶縁硝子の亀裂の有無並びに絶縁の良否を確認する。	○		・ 劣化若しくは変形が著しい場合は精密調査する。
(4) ガスコントロールユニット(GCU)及びエアコントロールユニット(ACU)	1) 動作の良否を点検する。動作不良の場合は調整する。	○	○	・ 調整不能の場合は精密調査する。
	2) ユニット類の緩み及び損傷の有無を点検する。緩みがある場合又は損傷が軽微の場合は増締め又は補修する。	○		
(5) フレームロット	1) フレームロットの汚れ、亀裂等の劣化の有無、並びに絶縁の良否を確認する。汚れがある場合は清掃する。	○	○	・ フレームロットの劣化がある場合は調査報告する。
8. 燃焼室(高温再生器)	1) 焼損及び燃焼ガスのリークの有無を点検する。焼損又は燃焼ガスのリークが軽微な場合は補修する。	○	○	・ 焼損又は燃焼ガスのリークが著しい場合は損傷箇所を修理又はパッキンを交換する。
	2) 燃焼室カバーを開放し、バーナーノズルの変形、亀裂の有無を点検する。変形が軽微な場合は補修する。	○	○	・ 亀裂、変形が著しい場合は精密調査する。
	3) 燃焼室内部の腐食及び汚れの有無を点検する。腐食が軽微な場合は補修する。	○		・ 腐食が著しい場合は調査報告し、汚れが著しい場合は清掃する。
	4) 燃焼ガス出口部の腐食(ドレンアタック)の有	○		・ 腐食がある場合は修理

	無を点検する。			する。
	5) 煙管内に挿入されているバフフル板（熱伝導板）の焼損の有無を確認する。	○		・ バフフル板の焼損が著しい場合は調査報告する。
9. 運転調整				
(1) 音及び振動	1) 異常のないことを確認する。	○	○	・ 異常がある場合は精密調査する。
(2) 電流及び電圧	1) 運転時に主電源電圧の変動が定格の10%以内であることを確認する。	○	○	・ 異常がある場合は調査報告する。
	2) 運転電流が定格電流以下であることを確認する。	○	○	・ 異常がある場合は精密調査する。
(3) 温度制御	1) 設定温度で確実に作動していることを確認する。	○	○	・ 作動不良の場合は修理する。
(4) 燃焼制御	1) プレバージ時間、着火タイミング、失火動作指令等の作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	○	○	・ 調整不能の場合は精密調査する。
(5) 燃焼状態	1) 正常に着火することを確認する。	○	○	・ 異常があり調整不能の場合は精密調査又は修理する。
	2) メインバーナの火炎が安定しており、異常振動や異常音が無いことを確認する。火炎が不安定な場合は調整する。	○	○	・ 異常があり調整不能の場合は精密調査する。
	3) フレーム電流を測定しその値が規定値以上で、安定していることを確認する。規定値未満であったり、規定値以上でも不安定な場合は調整する。	○	○	・ 調整不能の場合は修理する。
	4) 排ガス中のO ₂ 濃度及びCO濃度、排ガス温度、ドラフト、燃料圧力、燃料消費量等を測定し、規定の許容範囲内にあることを確認する。	○	○	・ 許容範囲内でない場合は調整する。
(6) 電動機	1) 電動機の回転方向が正回転であることを確認する。	○	○	
(7) 熱交換器	1) 冷温水及び冷却水の入口温度と出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、等を測定し、その値が許容範囲内にある事を確認する。	○	○	
	2) 不凝縮ガスの混入の有無を確認する。	○	○	

10 真空気密	(1) 抽気系統	1) 抽気用弁を手動で全開にしたとき、真空計の変化から確実に開通していることを確認する。閉塞が認められる場合は分解し点検する。	○ ○	・バルブが劣化している場合は調査報告する。また閉鎖が認められる場合は調査報告する。
	(2) パラジウムセルユニット	1) パラジウムセル部の焼損及び劣化度を確認する。	○ ○	・焼損及び劣化が著しい場合は調査報告する。
	(3) リーク試験	1) 抽気ポンプで機内に不純ガスのないことを確認する。	○ ○	・不純ガスが異常に検出される場合は精密調査する。
11. 溶 液		1) 攪拌した溶液を適量採取し、インヒビター及びアルカリ濃度が規定の許容範囲内にあることを確認する。分析の結果により、基準範囲を越えた場合は、インヒビター添加剤及びアルカリ度調整剤を適正量投入する。	○ ○	・許容範囲内でない場合は調整する。
		2) 溶液に汚れがないことを確認する。	○ ○	・汚れが著しい場合ははる過する。
12. 吸収液ポンプ・冷媒ポンプ		1) 腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。	○ ○	・腐食、損傷及び漏洩がある場合は修理する。
		2) 各ポンプのグランドからの液漏の有無を点検する。	○ ○	・異常がある場合は修理する。
		3) 異常な騒音、振動の有無を点検する。	○ ○	・異常がある場合は調査報告する。
		4) 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上であることを確認する。	○	・1MΩ未満の場合は精密調査する。
13. 熱交換器		1) 凝縮器、吸収器及び蒸発器に歪、曲り、変形の有無を点検する。	○	・各機器に歪等がある場合は調査報告する。
	凝縮器 吸収器 蒸発器	2) 凝縮器温度と冷却水出口温度の温度差(L, D)が4℃以下であることを確認する。	○	・4℃を越えた場合は調査報告する。
		3) 水室の汚れ及び腐食の有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。	○	・汚れがある場合は調査報告する。
		4) 本体継手部に異常がないか点検する。	○	・異常がある場合は修理する。
14. 水質管理装置		(冷房時のみ)		
	(1) 本体等	1) 各機器類に腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。	○	・破損等ある場合は調査報告する。

	2) 配管、継手、弁等より水漏れの有無を点検する。	○	・ 漏れがある場合は修理する。
	3) 薬注ポンプ配管内に空気が溜まってないことを確認する。	○	・ 空気が溜まっている場合はエア抜きする。
	4) 薬注タンク内にゴミ、不純物等がないか点検する。	○	・ ゴミ、不純物ある場合は清掃しろ過する。
	5) 検出電極を取り出し、清掃し破損の有無を確認する。	○	・ 破損がある場合は修理する。
	6) 検出電極を取り出し、純水で洗浄する。	○	
	7) 検出電極が適正な位置に取り付けてあるか確認する。	○	
	8) 検出電極を標準液でpH調整を行い適正を確認する。	○	・ 異常がある場合は調査報告する。
(2) 冷却水 水質管理	1) 水質がドライン、項目のうちpH及び電気伝導率について1回測定を行い、その値が基準値に適合することを確認する。	○	
	2) pH又は電気伝導率の測定が基準値に適合しない場合は水質がドラインの全ての項目について測定を行い、腐食又はスケール生成の傾向の有無を確認する。	○	・ 腐食又はスケールが認められる場合は冷却水を入れ替え又は適正なインヒビタを投入する。
(3) 検査記録	1) 水質の検査又は測定に関しては、採水の日時及び場所、検査又は測定測定結果、実施者及び方法等を記録する。	○	
15. 保 存			
(1) 真空系統	1) 内部真空度に降下の無いことを確認のうえ保存する。	○	
(2) 冷温水及び冷却水 系 統	1) 乾燥のうえ保管する。	○	
(3) 水質管理 装置	1) 検出電極を取り出し、保存処置を行う。	○	・ 詳細は4.2.4取替部品の項目を参照
16. 点検整備	1) 点検整備を行う。		

表(5) 冷却塔
(R-5 冷房時のみ)

項 目	業 務 内 容	点検周期 シーズン			備 考
		IN	ON	OFF	
1. 基 礎	1) 亀裂、沈下等の異常の有無を点検する。	○			・ 異常がある場合は修理する。
2. 塔 本 体					
(1) ケーシング	1) 損傷、変形及び汚れの有無を点検する。汚れが著しい場合は清掃する。	○	○		・ 損傷、又は変形が著しい場合は修理する。
(2) 散水装置	1) 損傷、変形、錆及び汚れの有無を点検する。汚れが著しい場合は清掃する。	○	○		・ 損傷、又は変形が著しい場合は修理する。
	2) 散水穴の目詰まりの有無を点検する。目詰まりが軽微な場合は洗浄する。	○	○		・ 目詰まりがある場合は修理する。
	3) 散水管の回転が円滑であることを確認する。当たり又は緩み等の劣化がある場合は調整する。	○	○		・ 調整不能の場合は修理する。
(3) エリミネーター	1) 損傷、変形、及び目詰まりの有無を点検する。損傷が軽微な場合は補修する。	○			・ 損傷、変形又は目詰まりがある場合は修理する。
(4) ルーバー	1) 損傷、変形、及び目詰まりの有無を点検する。損傷又は目詰まりが軽微な場合は補修又は洗浄する。	○	○		・ 損傷、変形又は目詰まりがある場合は修理する。
(5) 充 填 材	1) スカール等の異物の付着状況を点検する。	○	○		・ 異物の付着がある場合は洗浄する。
	2) 目詰まりの有無を点検する。	○	○		・ 目詰まりがある場合は洗浄する。
	3) 座屈、変形等の劣化の有無を点検する。	○	○		・ 劣化が著しい場合は調査報告する。
(6) 骨 組 み 及び脚	1) 損傷、変形等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。	○	○		・ 劣化が著しい場合は調査報告する。
3. 水 槽					
(1) 本 体	1) 内外面の損傷、変形、及び汚れの有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。	○	○		・ 損傷、又は変形がある場合は修理する。
	2) 水漏れがないことを確認する。	○	○		・ 水漏れがある場合は修理する。

	3) 水位が規定の位置にあることを確認する。 規定の位置にない場合は調整する。	○	○	・ 調整不能の場合は修理する。外部による原因の場合は調査報告する
(2) 給水装置	1) ボールタップ等が確実に作動することを確認する。作動不良の場合は調整する。	○	○	・ 調整不能の場合は修理する。
(3) ストレーナ及びゲートトラップ	1) 目詰まり及び損傷等の劣化の有無を点検する。目詰まりがある場合は清掃する。	○	○	・ 劣化がある場合は修理する。
4. 送風機				
(1) 羽根車	1) 損傷、腐食等の劣化及び汚れの有無を点検する。汚れが著しい場合は清掃する。	○	○	・ 劣化がある場合は修理する。
	2) 回転に支障がないことを確認する。支障がある場合は調整する。	○	○	・ 調整不能の場合は調査報告する。
(2) ファンケーシング	1) 損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。	○	○	・ 劣化がある場合は修理する。
(3) 軸受	1) 軸が円滑に回転することを確認する。	○	○	・ 回転不良、異常音、異常振動がある場合は調査報告又は修理する。
	2) 油量の適否を点検する。油量不足の場合は補充する。	○	○	
(4) 電動機	1) 損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。	○		・ 劣化がある場合は修理する。
	2) 円滑に回転することを確認する。	○		・ 回転不良の場合は修理する。
	3) 絶縁低抗値を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。	○		・ 1MΩ未満の場合は精密調査する。
	4) 音及び振動に異常のないことを確認する	○	○	・ 異常がある場合は修理する。
(5) ベルト	1) 張り具合の適否を点検する。張り具合が適正でない場合は調整する。 (Vベルト取替え)	○	○	・ 調整不能の場合は交換する。
	2) 損傷及び摩耗の有無を点検する。	○	○	・ 損傷又は摩耗がある場合は調査報告する。
(6) プーリー	1) 損傷、摩耗等の劣化の有無を点検する。	○	○	・ 劣化がある場合は調査報告する。
(7) 潤滑油	1) 油量の適否を点検する。油量不足の場合	○	○	

	は補充する。			
5. 凍結防止装置	1) サーモスタットが設定値で確実に作動することを確認する。作動不良の場合は調整する。	○		・作動不良の場合には調査報告する。
	2) ヒータの作動電流が定格電流以下にあることを確認する。	○	○	・異常がある場合は調査報告する。
	3) ヒータの絶縁抵抗値を測定し、その値が1Ω以上にあることを確認する。	○		・許容範囲にない場合には調査報告する。
6. 運転調整	1) 電動機の回転方向が正回転であることを確認する。	○		・異常原因が二次側の場合は修理を行う。一次側の場合は調査報告する。
	2) 音及び振動に異常のないことを確認する	○	○	・振動発生源の調査を行い原因部分を修理する
	3) 電源電圧の変動が定格の10%以内にあることを確認する。	○	○	・異常がある場合は調査報告する。
	4) 運転電流が定格値以下にあることを確認する。	○	○	・異常原因が二次側の場合は修理を行う。一次側の場合は調査報告する。
	5) アースの接地状態を点検する。	○		・異常がある場合は修理する。
	6) 散水管の水量が規定値の範囲内にあることを確認する。	○	○	・許容範囲内でない場合は修理を行う。
	7) 散水が均一に分散していることを確認する。	○	○	・散水に乱れがある場合は修理を行う。
	8) 運転中冷水出口管よりエアの吸込がないか確認する。	○	○	・吸込みがある場合は調査し修理する。
	9) 排気口よりのキャリオーバがないか点検する。	○	○	・異常がある場合は修理する。
	10) ファンとファンスタックの隙間を点検する。	○	○	・異常がある場合は調整する。
7. 保 存	1) 塔内の水を確実に抜いたうえ保存する。			
8. その他	1) レゾネン菌測定を行う。		○	・測定結果を報告する。

表(6) ポンプ
(R-5)

項 目	業 務 内 容	点検周期 シーズン			備 考
		IN	ON	OFF	
1. 本 体 冷温水ポン プ及び冷 却水ポンプ	(冷却水ポンプ：冷房時のみ)				
	1) 腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。	○			・ 腐食若しくは損傷が著しい場合又漏洩がある場合は修理する。
	2) 据付ボルトにガタや緩みがないか点検する。	○			・ ボルトに緩みがある場合は増締めする。
	3) 冷却水ポンプにグリスアップを行う。	○			
	4) オイルシールの動きが正常か点検する。	○	○		・ 異常がある場合は修理する。
	5) 各ポンプのグラウトからの水漏れが適正か点検する。	○	○		・ 異常がある場合は修理する。
	6) 各ポンプ軸受部の温度が異常に高くないか点検する。	○	○		・ 異常がある場合は精密調査する。
	7) 異常な騒音、振動の有無を点検する。	○	○		・ 異常がある場合は精密調査する。
	8) 軸継手ゴム(パル)の損傷等の劣化の有無を点検する。	○			・ 劣化がある場合は交換する。
	9) 軸継手の芯狂いが許容範囲内にあることを確認する。芯狂いが著しい場合は調整する。		○		・ 調整不能の場合は精密調査する。
	10) 主電源電圧の変動が運転時に定格電圧の10%以内にあることを確認する。	○			・ 異常がある場合は調査報告する。
	11) 運転電流が定格電流の100%以下にあることを確認する。	○			・ 異常原因が二次側の場合は修理する。一次側の場合は調査報告する。
12) ポンプの吸込圧力及び吐出圧力が許容範囲内にあることを確認する。	○			・ 許容範囲内でない場合は修理する。	
(2) 電 動 機	1) 腐食及び損傷の有無を点検する。	○			・ 腐食又は損傷がある場合は修理する。
	2) 円滑に回転することを確認する。	○			・ 異常がある場合は調査報告する。

2. 点検整備	3) 電動機にグリスアップを行う。	○		
	4) 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上であることを確認する。	○		・ 1 MΩ未満の場合は精密調査する。
	1) 点検整備を行う。			・ 詳細は4.2.4取替部品の項目を参照

⑦

水質管理
(空調機器用水)

- (a) 本項は、接水部構成材料として銅、青銅、黄銅、鉄及びステンレス鋼を使用している冷凍空調機器の冷却水系、冷水系及び温水系の水質管理に適用する。
(b) 冷凍空調機器用水の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 冷凍空調機器用水

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 水質管理			
a. シーズンイン作業	ストレーナー、ダートトラップ等の水回路の水洗いを行う。	1 Y	
b. シーズンオン作業	① 水質ガイドライン項目のうちpH及び電気伝導率について測定を行い、その値が基準値に適合することを確認する。	1 M	
	② pH又は電気伝導率の測定が基準値に適合しない場合は水質ガイドラインのすべての項目について測定を行い、腐食又はスケール生成の傾向の有無を検査する。	1 M	
2. レジオネラ症防止作業	冷却塔の冷却水、蓄熱槽及び超音波加湿器の貯水部には、レジオネラ属菌が増殖しやすく、設置場所や空気取入口等の位置により、室内への影響が考えられるので、総合的な防止作業として、次の措置を講じる。 ・ 「(新版)レジオネラ症防止指針」(財)ビル管理教育センター発行)により、レジオネラ症防止の年次計画を作成し、日常及び定期的作業を行う。 ・ レジオネラ属菌の増殖のおそれがある箇所より検査を行う。 ・ 各冷却塔、各冷凍機及び蓄熱槽に腐食レジオネラ除去剤等の薬品を注入する。	1 M 都度	・ 5~10月に実施する

4.2 冷熱源機器

4.2. (C) 取替部品

ガス吸収式冷温水発生器 (R-5)

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
冷温水ポンプ		2台		○		
高温再生器	H51674	1台		○	○	
高温再生器保護スイッチ	冷房用	2個				○
高温再生器保護スイッチ	暖房用	2個				○
高温温度センサー	冷房用	2個				○
蒸発器温度センサー		2個				○
凝縮器温度センサー		2個				○
冷媒比例弁コイルアッシー		2個				○
制御基盤		2枚				○
入力基盤		2枚				○

空冷ヒートポンプクーラー (RI 動物実験施設)

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
圧縮機オーバーホール (1台分)						
ローター組 (40ASP)	H51674	1台	5 Y	○	○2台	○
端子 (SS)	H51791	6本	5 Y	○	○2台	○
ハーメ端子 (HTOK)	H52701	2個	5 Y	○	○2台	○
コード	H51701	2本	5 Y	○	○2台	○
ゴムパイプ	Y90204	2本	5 Y	○	○2台	○
シール材	H51702	1個	5 Y	○	○2台	○
膨張弁	C4426	1個	5 Y	○	○2台	○
膨張弁コイル	C4341	1個	5 Y	○	○2台	○
冷凍機油	フレオール UX300 20L	1缶	5 Y	○	○2台	○

4.3 クリーンファンユニット

4.3.1 業務対象設備

4.3(A) 業務対象設備の概要による。

4.3.2 点検項目、点検内容及び点検周期

4.3(B) 業務要領による。

クリーンファンユニット及び垂直層型無菌病室ユニットにおける業務期間内の障害時対応は、オンコール受付による24時間対応とする。オンコールの費用は受注者の負担とし、修理に係る材料費は消耗品、雑材料を除き発注者の負担とする。

4.3.3 他設備との連動等

他設備(機器等)と連動している場合は、必要に応じて適正に行い、その他の措置を講じるものとする。

4.3.4 取替部品

4.3(C) 取替部品による。

4.3.5 業務報告書

業務完了後(シーズン毎)に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・試験成績書
- ・計測記録
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

提出部数 2部

4.3.6 その他

4. 機械設備

4.3 クリーンファンユニット

4.3(A) 業務対象設備の概要

1. クリーンファンユニット

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
附属病院外来棟 屋上	クリーンファンユニット 室外機 (FFU-101)	アイソテック (三菱電機) 型番 PUSY-P80M-E1 冷房能力 8.0kW 暖房能力 6.5kW	1台	
附属病院外来棟 1F 薬剤部 無菌室	クリーンファンユニット 室内機	アイソテック 型番 IDF-2WHP-CG 冷房能力 6.3kW 暖房能力 8.0kW クラス 10,000	2台	プレフィルター 2 取替 HEPAフィルター 2
附属病院外来棟 屋上	クリーンファンユニット 室外機 (FFU-301)	アイソテック (三菱電機) 型番 PUSY-P112M-E1 冷房能力 11.2kW 暖房能力 6.5kW	1台	
附属病院外来棟 3F 眼科外来 手術室	クリーンファンユニット 室内機	アイソテック 型番 RX-P56M 冷房能力 6.3kW 暖房能力 8.0kW クラス 10,000	2台	プレフィルター 2 取替
附属病院外来棟 3F 眼科外来 手術室	クリーンファンユニット	アイソテック 型番 MDF-1W 能力 6120m ³ /h 電力 1.95kW クラス 10,000	2台	HEPAフィルター 2
附属病院病棟 B1 薬剤部 無菌調剤室	クリーンファンユニット (CFU-B01)	アイソテック 型番 IDF-4W-CG 冷房能力 5.59kW 暖房能力 5.04kW クラス 10,000 4管式	2台	プレフィルター 2 取替 HEPAフィルター 2
附属病院病棟 B1 薬剤部 特殊調剤室	クリーンファンユニット (CFU-B02)	アイソテック 型番 IDF-4W-CG 冷房能力 7.20kW 暖房能力 6.67kW クラス 1,000 4管式	1台	プレフィルター 1 取替 HEPAフィルター 1
附属病院病棟 B1 材料部	クリーンファンユニット (CFU-1)	アイソテック 型番 MDF-3TC-CG 冷房能力 5.7kW 暖房能力 4.8kW クラス 100,000 4管式	6台	プレフィルター 12 取替 HEPAフィルター 12
附属病院病棟 B1 材料部	クリーンファンユニット (CFU-2)	アイソテック 型番 IDF-4W-CG 冷房能力 5.59kW 暖房能力 5.04kW クラス 10,000 4管式	1台	プレフィルター 1 取替 HEPAフィルター 1
附属病院病棟 北側屋外	クリーンファンユニット 室外機 (PAC-HB-1)	アイソテック (三菱電機) 型番 PUHY-P280CM-E1 冷房能力 28.0kW 暖房能力 31.5kW	1台	

附属病院病棟 B1F 手術室12	クリーンファンユニット 室内機 (PAC-HB-1A)	アイソテック 型番 RX-P56M1 冷房能力 6.3kW 暖房能力 8.0kW クラス 10,000	1台	プレフィルター 1 取替
附属病院病棟 B1F 手術室12	クリーンファンユニット 室内機 (PAC-HB-1B)	アイソテック 型番 RXF-56M1 冷房能力 6.3kW 暖房能力 8.0kW クラス 10,000	3台	プレフィルター 3 取替
附属病院病棟 B1F 手術室12	クリーンファンユニット (CFU-HB-1A)	アイソテック 型番 MDF-4W 能力 5280m ³ /h 電力 1.3kW クラス 10,000	1台	HEPAフィルター 1
附属病院病棟 B1F 手術室12	クリーンファンユニット (CFU-HB-1B)	アイソテック 型番 MDF-4L 能力 11520m ³ /h 電力 2.6kW クラス 1,000	6台	HEPAフィルター 6
附属病院病棟 B1F 手術室12	フィルターユニット (CFU-HB-1C)	アイソテック 型番 HU-4 OA用 クラス 10,000	1台	HEPAフィルター 1 取替
附属病院病棟 B1F 手術室12 操作室	クリーンファンユニット 室内機 (PAC-HB-1C)	アイソテック 型番 MDF-3WHP-P36M-CG 冷房能力 6.3kW 暖房能力 8.0kW クラス 10,000	1台	プレフィルター 1 取替 HEPAフィルター 1
附属病院病棟 北側屋外	クリーンファンユニット 室外機 (PAC-HB-2)	アイソテック (三菱電機) 型番 PUHY-P112MH1 冷房能力 11.2kW 暖房能力 31.5kW	1台	
附属病院病棟 B1F 手術室12 機械室	クリーンファンユニット 室内機 (PAC-HB-2A)	アイソテック 型番 MDF-3WHP-P36M-CG 冷房能力 6.3kW 暖房能力 8.0kW クラス 10,000	1台	プレフィルター 1 取替 HEPAフィルター 1
附属病院病棟 屋上	クリーンファンユニット 室外機 (CFU-101)	アイソテック (三菱電機) 型番 PUHY-P280CM-E1 冷房能力 28.0kW 暖房能力 31.5kW	1台	
附属病院病棟 1F 手術室1	クリーンファンユニット 室内機 (CFU-101-1)	アイソテック 型番 MDF-4WHP-P71M-A-M 冷房能力 6.3kW 暖房能力 8.0kW クラス 10,000	4台	プレフィルター 4 取替 HEPAフィルター 8
附属病院病棟 1F 手術室1	フィルターユニット (CFU-101-2)	アイソテック 型番 HU-2 OA用 クラス 10,000	1台	HEPAフィルター 1 取替
附属病院病棟 1F 手術室1	クリーンファンユニット (CFU-102-1)	アイソテック 型番 MDF-4W 能力 5280m ³ /h 電力 1.3kW クラス 10,000	2台	HEPAフィルター 2

附属病院病棟 屋上	クリーンファンユニット 室外機 (CFU-103)	アイソテック (三菱電機) 型番 PUHY-P224CM-E1 冷房能力 22.4kW 暖房能力 25.0kW	1台	
附属病院病棟 1F 手術室2	クリーンファンユニット 室内機 (CFU-103-1)	アイソテック 型番 MDF-4WHP-P56M 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW クラス 10,000	4台	プレフィルター 4 取替 HEPAフィルター 6
附属病院病棟 1F 手術室2	フィルターユニット (CFU-103-2)	アイソテック 型番 HU-1 OA用 クラス 10,000	1台	HEPAフィルター 1 取替
附属病院病棟 1F 手術室3・ 4・5・6・7・11	クリーンファンユニット (CFU-104・105・106 ・107・108・112)	アイソテック 型番 MDF-3W 能力 5280m ³ /h 電力 1.3kW クラス 10,000	24台	HEPAフィルター 36
附属病院病棟 1F 手術室3・ 4・5・6・7・11	壁吸込コイルユニット (CFU-104・105・106 ・107・108・112)	アイソテック 型番 RC-850 冷房能力 3.66kW 暖房能力 2.14kW 4管式	12台	プレフィルター 12 取替
附属病院病棟 1F 手術室3・ 4・5・6・7・11	壁吸込コイルユニット (CFU-104・105・106 ・107・108・112)	アイソテック 型番 RC-1200 冷房能力 5.1kW 暖房能力 3.0kW 4管式	12台	プレフィルター 12 取替
附属病院病棟 1F 手術室3・ 4・5・6・7・11	フィルターユニット (CFU-104・105・106 ・107・108・112)	アイソテック 型番 HU-1 OA用 クラス 10,000	6台	HEPAフィルター 6 取替
附属病院病棟 1F 手術室8	クリーンファンユニット (CFU-109)	アイソテック 型番 MDF-1W 能力 6120m ³ /h 電力 1.95kW クラス 10,000	6台	HEPAフィルター 10
附属病院病棟 1F 手術室8	壁吸込コイルユニット (CFU-109)	アイソテック 型番 RC-1200 冷房能力 5.1kW 暖房能力 3.0kW 4管式	4台	プレフィルター 4 取替
附属病院病棟 1F 手術室8	フィルターユニット (CFU-109)	アイソテック 型番 HU-2 OA用 クラス 10,000	1台	HEPAフィルター 1 取替
附属病院病棟 1F 手術室9	クリーンファンユニット (CFU-110)	アイソテック 型番 MDF-4L 能力 17280m ³ /h 電力 3.9kW クラス 1,000	12台	HEPAフィルター 14
附属病院病棟 1F 手術室9	壁吸込コイルユニット (CFU-110)	アイソテック 型番 RC-850 冷房能力 3.66kW 暖房能力 2.14kW 4管式	3台	プレフィルター 3 取替

附属病院病棟 1F 手術室9	壁吸込コイルユニット (CFU-110)	アイソテック 型番 RC-1200 冷房能力 5.1kW 暖房能力 3.0kW 4管式	1台	プレフィルター 1 取替
附属病院病棟 1F 手術室9	フィルターユニット (CFU-110)	アイソテック 型番 HU-1 OA用 クラス 1,000	1台	HEPAフィルター 1 取替
附属病院病棟 1F 手術室10	クリーンファンユニット (CFU-111)	アイソテック 型番 MDF-4L 能力 11520m ³ /h 電力 2.6kW クラス 1,000	8台	HEPAフィルター 10
附属病院病棟 1F 手術室10	壁吸込コイルユニット (CFU-111)	アイソテック 型番 RC-850 冷房能力 3.66kW 暖房能力 2.14kW 4管式	2台	プレフィルター 2 取替
附属病院病棟 1F 手術室10	壁吸込コイルユニット (CFU-111)	アイソテック 型番 RC-850・RC-1200 冷房能力 3.66kW・5.1kW 暖房能力 2.14kW・3.0kW 4管式	3台	プレフィルター 3 取替
附属病院病棟 1F 手術室10	フィルターユニット (CFU-111)	アイソテック 型番 HU-2 OA用 クラス 1,000	1台	HEPAフィルター 1 取替
附属病院病棟 1F 手術部 B C R 前室	クリーンファンユニット (CFU-113)	アイソテック 型番 MDF-3TC-CG 冷房能力 4.1kW 暖房能力 2.9kW クラス 10,000 4管式	1台	プレフィルター 2 取替 HEPAフィルター 2
附属病院病棟 1F 手術部 手術ホール	クリーンファンユニット (CFU-114・116・118)	アイソテック 型番 MDF-3TC-CG 冷房能力 5.7kW 暖房能力 4.9kW クラス 100,000 4管式	7台	プレフィルター 14 取替 HEPAフィルター 14
附属病院病棟 1F 手術部 手術ホール	クリーンファンユニット (CFU-115)	アイソテック 型番 MDF-2TC-CG 冷房能力 4.0kW 暖房能力 3.4kW クラス 100,000 4管式	2台	プレフィルター 2 取替 HEPAフィルター 2
附属病院病棟 1F 手術部 S S	クリーンファンユニット (CFU-119)	アイソテック 型番 IDF-3WC-CG 冷房能力 4.1kW 暖房能力 2.9kW クラス 10,000 4管式	2台	プレフィルター 2 取替 HEPAフィルター 2
附属病院病棟 1F 手術部 清潔機材供給センター	クリーンファンユニット (CFU-120)	アイソテック 型番 MDF-3TC-CG 冷房能力 4.1kW 暖房能力 2.9kW クラス 10,000 4管式	3台	プレフィルター 6 取替 HEPAフィルター 6

附属病院病棟 1F ICU B9~B12・B1~B6・ SS	クリーンファンユニット (CFU-121~130・135- 1)	アイソテック 型番 IDF-3WC-CG 冷房能力 3.8kW 暖房能力 3.3kW クラス 100,000 4管式	13台	プレフィルタ- 13 取替 HEPAフィルタ- 13
附属病院病棟 1F ICU B7・B8・通路・SS	クリーンファンユニット (CFU-131・132・134・ 135-2・136)	アイソテック 型番 IDF-2WC-CG 冷房能力 3.2kW 暖房能力 3.0kW クラス 100,000 4管式	8台	プレフィルタ- 8 取替 HEPAフィルタ- 8
附属病院病棟 1F ICU 通路	クリーンファンユニット (CFU-133)	アイソテック 型番 IDF-4WC-CG 冷房能力 4.8kW 暖房能力 4.4kW クラス 100,000 4管式	8台	プレフィルタ- 8 取替 HEPAフィルタ- 8
附属病院病棟 屋上	クリーンファンユニット 室外機 (CFU-401)	アイソテック (三菱電機) 型番 PUSY-P80M-E1 冷房能力 14.0kW 暖房能力 16.0kW	1台	
附属病院病棟 4F 特殊分娩室	クリーンファンユニット 室内機 (CFU-401-1)	アイソテック 型番 IDF-2WHP-P28M-CG 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW クラス 10,000	2台	プレフィルタ- 2 取替 HEPAフィルタ- 2
附属病院病棟 4F 分娩室	クリーンファンユニット (CFU-402)	アイソテック 型番 IDF-3WC-CG 冷房能力 3.8kW 暖房能力 3.3kW クラス 100,000 4管式	2台	プレフィルタ- 2 取替 HEPAフィルタ- 2
附属病院病棟 4F LDR	クリーンファンユニット (CFU-403)	アイソテック 型番 IDF-4WC-CG 冷房能力 4.8kW 暖房能力 4.4kW クラス 100,000 4管式	1台	プレフィルタ- 1 取替 HEPAフィルタ- 1
附属病院病棟 4F 暗室	クリーンファンユニット (CFU-404)	アイソテック 型番 IDF-2WC-CG 冷房能力 4.0kW 暖房能力 2.7kW クラス 100,000 4管式	1台	プレフィルタ- 1 取替 HEPAフィルタ- 1
附属病院病棟 4F NICU	クリーンファンユニット (CFU-405)	アイソテック 型番 MDF-1TC-CG 冷房能力 5.7kW 暖房能力 3.9kW クラス 10,000 4管式	4台	プレフィルタ- 8 取替 HEPAフィルタ- 8
附属病院病棟 4F GCU	クリーンファンユニット (CFU-406)	アイソテック 型番 MDF-1TC-CG 冷房能力 5.7kW 暖房能力 3.9kW クラス 10,000 4管式	3台	プレフィルタ- 6 取替 HEPAフィルタ- 6
附属病院病棟 4F西 408・409	クリーンファンユニット (CFU-407)	アイソテック 型番 IDF-2WC-CG 冷房能力 3.2kW 暖房能力 3.0kW クラス 10,000 4管式	8台	プレフィルタ- 8 取替 HEPAフィルタ- 8

附属病院病棟 4F西 403・405・415	クリーンファンユニット (CFU-408~410)	アイソテック 型番 IDF-4WC-CG 冷房能力 4.8kW 暖房能力 4.4kW クラス 10,000 4管式	3台	プレフィルタ- 3 取替 HEPAフィルタ- 3
附属病院病棟 屋上	クリーンファンユニット 室外機 (CFU-601)	アイソテック (三菱電機) 型番 PURY-P224CM-E 冷房能力 22.4kW 暖房能力 25.0kW	1台	
附属病院病棟 6F 感染病室	クリーンファンユニット 室内機 (CFU-601-1~3)	アイソテック 型番 IDF-4WHP-P56M-CG 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW クラス 10,000	3台	プレフィルタ- 3 取替 HEPAフィルタ- 3
附属病院病棟 屋上	クリーンファンユニット 室外機 (CFU-802)	アイソテック (三菱電機) 型番 PURY-P224CM-E 冷房能力 28.0kW 暖房能力 31.5kW	1台	
附属病院病棟 8F 無菌病室 (4床室 870・871)	クリーンファンユニット 室内機 (CFU-802-1~4)	アイソテック 型番 IDF-2WHP-P28M-CG 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW クラス 10,000	10台	プレフィルタ- 10 取替 HEPAフィルタ- 10
附属病院病棟 屋上	クリーンファンユニット 室外機 (CFU-803)	アイソテック (三菱電機) 型番 PURY-P400CM-E 冷房能力 40.0kW 暖房能力 45.0kW	1台	
附属病院病棟 8F クリーン前室	クリーンファンユニット 室内機 (CFU-803-1)	アイソテック 型番 IDF-2WHP-P28M-CG 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW クラス 100,000	1台	プレフィルタ- 1 取替 HEPAフィルタ- 1
附属病院病棟 8F クリーン廊下	クリーンファンユニット 室内機 (CFU-803-2)	アイソテック 型番 IDF-3WHP-P45M-CG 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW クラス 100,000	5台	プレフィルタ- 5 取替 HEPAフィルタ- 5
附属病院病棟 8F スタッフ資料コーナー	クリーンファンユニット 室内機 (CFU-803-3)	アイソテック 型番 IDF-3WHP-P36M-CG 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW クラス 100,000	1台	プレフィルタ- 1 取替 HEPAフィルタ- 1
附属病院病棟 8F 処置室1	クリーンファンユニット 室内機 (CFU-803-4)	アイソテック 型番 IDF-4WHP-P56M-CG 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW クラス 100,000	1台	プレフィルタ- 1 取替 HEPAフィルタ- 1
附属病院病棟 8F 無菌病室 (1床室 863, 865~869)	垂直層流 無菌病室システム (CFU-1, 2)	アイソテック 型番 M-4 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW クラス 1,000 手洗い器、便器 操作パネル、リモコン	6室	中木吸込み用 プレフィルタ- 18 取替 HEPAフィルタ- 6

2. クリーンパッケージエアコン

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
附属病院外来棟 B棟屋上	マルチエアコン 室外機 (PAC-F112)	三菱電機 型番 PURY-P690SCM-6 冷暖フリー 冷房能力 69.0kW 暖房能力 76.5kW	1台	
附属病院外来棟 1F 救急部 処置コーナー、処置室4	クリーンエアコン室内機 (PAC-F112-7)	三菱電機 型番 PLFY-P36CLM-G 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW クラス 10,000	4台	プレフィルター 4 取替 HEPAフィルター 4
附属病院外来棟 B棟屋上	マルチエアコン 室外機 (PAC-313)	三菱電機 型番 PUSY-P80M-G 冷暖切替 冷房能力 8.0kW 暖房能力 9.0kW	1台	
附属病院外来棟 3F 形成外科外来 処置室1	クリーンエアコン室内機 (PAC-313-2)	三菱電機 型番 PLFY-P56CLM-G 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW クラス 10,000	1台	プレフィルター 1 取替 HEPAフィルター 1
附属病院外来棟 B棟屋上	マルチエアコン 室外機 (PAC-314)	三菱電機 型番 PUSY-P140M-G 冷暖切替 冷房能力 14.0kW 暖房能力 16.0kW	1台	
附属病院外来棟 3F 産婦人科外来 採卵室	クリーンエアコン室内機 (PAC-314-1)	三菱電機 型番 PLFY-P56CLM-G 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW クラス 10,000	1台	プレフィルター 1 取替 HEPAフィルター 1
附属病院外来棟 3F 産婦人科外来 培養室	クリーンエアコン室内機 (PAC-314-2)	三菱電機 型番 PLFY-P71CLM-G 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW クラス 10,000	1台	プレフィルター 1 取替 HEPAフィルター 1
附属病院病棟 北側屋外	マルチエアコン 室外機 (ACP-25)	三菱電機 型番 PUHY-P160CM-E1 冷房能力 16.0kW 暖房能力 18.0kW	1台	
附属病院病棟 B1F (清潔保管庫・ 機材室・前室1,2・人 工心肺室・階段室・ 使用済機材室)	クリーンエアコン室内機 (ACP-25-1)	三菱電機 型番 PLFY-P28CLM-G 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW クラス 10,000	6台	プレフィルター 6 取替 HEPAフィルター 6
附属病院病棟 屋上	マルチエアコン 室外機 (ACP-15)	三菱電機 型番 PUHY-P224CM-E1 冷房能力 22.4kW 暖房能力 25.0kW	1台	
附属病院病棟 8F 無菌病室 (1床室 863, 865~869)	クリーンエアコン室内機 (ACP-15-1)	三菱電機 型番 PLFY-P36CLM-G 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW クラス 10,000	6台	プレフィルター 6 取替 HEPAフィルター 6

4.3 クリーンファンユニット

4.3.(B) 業務要領

①

クリーンファン
ユニット

(a) 本項はクリーンファンユニット、クリーンパッケージエアコンに適用する。
(b) クリーンファンユニットの点検項目及び点検内容は、表 (I) による。

表 (I) クリーンファンユニット

点検項目	点検内容	周期	備考
① クリーンファン ユニット	① 点検口内部の異常		
	・異臭・グラスウールのシミ・埃の有無を確認する。	1 Y	
	・電装部の目視確認を行う。	1 Y	
	② 配線・端子の緩み等		
	・配線の脱落・端子の緩みがないことを確認する。	1 Y	
	③ スライドトランスの目盛		
	・風量調整が必要な場合は、調整を行う。その際に風量調整前後の目盛を記録する。	1 Y	
	④ サーキットプロテクターの動作確認		
	・サーキットプロテクターのON-OFF操作を行う。	1 Y	
	⑤ 送風機リレーの動作		
	・風速切換え時にリレーの異常動作の無いことを目視確認する。	1 Y	
	⑥ ドレン水の流れ・漏れ		
	・ドレンパンに1~2リットルの水を流し、速やかに排水することを確認する。	1 Y	
	⑦ ユニット内の清掃		
	・ファンチャンバー内の埃、ドレンパン内のスケールを濡れ雑巾にて清拭除去する。	1 Y	
⑧ ファン異常音・異常振動			
・ファンに周期的なハウリング音・ランナーのこすれ音・大きな振動がないかを確認する。	1 Y		
⑨ ファンの取付状態			
・ファンの取付ボルトの緩み等がないことを確認する。	1 Y		
・ファンモーターの表面温度が異常に高くないことを確認する。	1 Y		
⑩ 送風機交換の必要性			
・ファンに周期的なハウリング音・ランナーのこすれ音・大きな振動があるかを確認する。	1 Y		
⑪ 電流測定			
・モーターへの2次側高速タップ線に電流計をクリップし、高速での電流を測定する。	1 Y		
正常値：2.5A未満			
⑫ プレフィルタ等の清掃			
・プレフィルタ及びグリルを取外して水洗いする。	1 M		
・熱交換器をブラッシング及び掃除機による清掃を行う。	1 M		
⑬ プレフィルタ交換			
・プレフィルタを新しい濾材と交換する。	1 Y		

⑭	<p>HEPAフィルタの目詰まり確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コイルの目詰まりがない状態で吹出風量が所定の80%を下回っていないかを確認する。 	8	1 Y
⑮	<p>HEPAフィルタの交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OP室OA系統のHEPAフィルターを交換する。 		1 Y
⑯	<p>風量測定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹出面の風速を微風速計にて測定し、吹出有効面積を乗じて風量を算出する。微風速計のプロブはパンチング面より50mm下流に離して測定する。 		1 Y
⑰	<p>冷暖房運転吹出温度の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷房又は暖房運転時に全ての室内機より冷風が吹くことを確認する。 		1 Y
⑱	<p>コイルの目詰まり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹出風量が所定の80%を下回る場合は、コイルの清掃を行う。コイルの清掃吸込口一体型の場合は、吸込口側から行う。ダクト接続型の場合は、ドレンパンを外し、下面隙間からブラシ等で埃を除去する。 		1 Y
⑲	<p>ガス漏れ点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外機にてガス不足が確認された場合は、室内機内及びフレア接続部のガス漏れチェックを行う。 		1 Y
⑳	<p>室外機の点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圧縮機の異常の有無を確認する。 ・熱交換器の温度異常の有無を確認する。 ・熱交換器の汚れを確認し、必要に応じて清掃する。 ・冷媒漏れがないかを確認する。 ・保護機器の動作確認を行なう。 ・電圧、電流、絶縁抵抗を測定する。 ・内機外機の制御動作確認を行なう。 		1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y
㉑	<p>環境測定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気中に浮遊する塵埃をパーティクルカウンターによって、その数量をカウントし、空気中の直径0.5μm以上の塵埃数を積算して3回測定する。清浄度クラスの判定は米国連邦規209dを基準に判断する。 ・OP室(計12室)において、クリーンファン運転開始からの清浄度立上がり検査(測定ポイント:各室5ポイント)を行う。 		1 Y 1 Y

②
垂直層流型無菌
病室ユニット

垂直層流型無菌病室ユニットの点検項目及び点検内容は、表(2)による。

表(2) 垂直層流型無菌病室ユニット

点検項目	点検内容	周期	備考
垂直層流型無菌病室ユニット	① 盤内絶縁抵抗測定 ・盤内の強電の端子台のメガー500Vの直流電圧を掛けて絶縁不良が無いを確認する。絶縁不良の場合は、配線途中に損傷がないかを確認する。 正常値：絶縁抵抗値 100MΩ未満	1 Y	
	② 送風機運転電気特性 ・ファンの運転状態を把握する上で、3台のファンの1つ1つにつき、高速と低速運転で電流・電圧・電力の測定を行ない、変化および異常値の有無を確認する。	1 Y	
	③ 風速測定 ・吹出風速を測定し、低速風速が基準値に満たない場合は、送風機の電圧を調整し、風量を回復させる。	1 Y	
	④ 運転騒音 ・室内中央1点の騒音値を測定する。低速騒音値が規定値より高い場合は、騒音発生箇所を確認し、処置する。	1 Y	
	⑤ HEPAフィルターリークテスト ・吹出パンチング面下流にてパーティクルカウンターを走査(スキャンニング)し、HEPAフィルターのろ材の損傷および取付面の不良の有無を確認する。リークを発見した場合は、パンチングをはずし、リーク箇所を補修した後、再度リークテストを行う。	1 Y	
	⑥ 塵埃濃度測定 ・空気中に浮遊する塵埃をパーティクルカウンターによって、その数量をカウントし、空気中の直径0.5μm以上の塵埃数を積算して3回測定する。清浄度クラスの判定は米国連邦規 209dを基準に判断する。	1 Y	
	⑦ 各種装備品動作テスト ・入口操作パネル部のスイッチ、表示ランプの動作確認、警報表示、ブザー音(漏電、送風機、漏水、HEPA目詰り)の確認を行なう。 ・赤外線リモコンの動作確認を行なう。 ・手洗器の漏水確認を行なう。 ・サーモスタット付ミキシングバルブの温調動作確認を行なう。 ・排水の流れ具合を確認する。 ・水栓便器の漏水の有無、フラッシュボタン洗浄動作確認を行なう。 ・ウォシュレット機能の動作確認を行なう。	1 Y	
		⑧ 消耗品の交換 ・巾木吸込用プレフィルターを交換する。	1 Y
		1 Y	
		1 Y	

4.3 クリーンファンユニット

4.3(C) 取替部品

クリーンファンユニット

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
HEPAフィルター	OP室OA系統用	12枚	1Y	○	○	○
プレフィルターろ材		197枚	1Y	○	○	○

垂直層流型無菌病室ユニット

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
プレフィルター	巾木吸込用 3枚組	6組	1Y	○	○	○

4.4 デシカント空調機

4.4.1 業務対象設備

4.4(A) 業務対象設備の概要による。

4.4.2 点検項目、点検内容及び点検周期

4.4(B) 業務要領による。

4.4.3 他設備との連動等

他設備(機器等)と連動している場合は、必要に応じて適正に行い、その他の措置を講じるものとする。

4.4.4 取替部品

4.4(C) 取替部品による。

4.4.5 業務報告書

業務完了後(シーズン毎)に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・試験成績書
- ・計測記録
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

4.③6 その他

4. 機械設備

4.4 デシカント空調機

4.4(A) 業務対象設備の概要

1. デシカント空調機

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
エネルギーセンター西側 屋外設置架台内	湿再生機 (HPre-1)	屋外設置型 風量 17,630m ³ /h 温水流量 2450/min 給水量 4890/h 塩化リチウム溶液 33.80/min	3台	
エネルギーセンター西側 屋外設置架台内	処理機送出用 溶液循環ポンプ (PLi-1)	屋外設置型 マグネットポンプ 能力 1030/min×420kPa	1台	
エネルギーセンター西側 屋外設置架台内	再生機返送用 溶液循環ポンプ (PLi-2)	屋外設置型 マグネットポンプ 能力 1020/min×430kPa	1台	
エネルギーセンター西側 屋外設置架台内	溶液タンク (TLi-1, 2)	FRP製 容量 1.0m ³	2基	
エネルギーセンター西側 屋外設置架台内	プレート熱交換器 (SHEX-HPR)	小型圧力容器 耐圧 1MPa 交換熱量 550kW	1台	
エネルギーセンター西側 屋外設置架台内	温水循環ポンプ (HP-HPR)	片吸込形渦巻ポンプ 口径 80 能力 7350/min×230kPa	1台	
エネルギーセンター西側 屋外設置架台内	密閉式膨張タンク (EXT-HPR)	最高使用圧力 0.49MPa 最高使用温度 95℃ 容量 16.60	1基	
エネルギーセンター西側 屋外設置架台内	動力制御盤 (CPE-II-BIF-6)	屋外設置型	1面	
附属病院外来棟 4階機械室 3	外気処理機 (HPC-3)	屋内設置型 風量 2,920m ³ /h×150Pa 除湿量 49kg/h 加湿量 29kg/h 冷水流量 960/min 温水流量 940/min 塩化リチウム溶液 11.30/min	1台	
附属病院外来棟 4階機械室 3	外気処理機 (HPC-4, 5)	屋内設置型 風量 6,360m ³ /h×150Pa 除湿量 107kg/h 加湿量 63kg/h 冷水流量 2100/min 温水流量 2060/min 塩化リチウム溶液 22.50/min	2台	
附属病院外来棟 4階機械室 3	外気処理機 (HPC-6)	屋内設置型 風量 5,220m ³ /h×150Pa 除湿量 88kg/h 加湿量 52kg/h 冷水流量 1720/min 温水流量 1690/min 塩化リチウム溶液 22.50/min	1台	
附属病院外来棟 4階機械室 3	外気処理機 (HPC-7)	屋内設置型 風量 5,580m ³ /h×150Pa 除湿量 94kg/h 加湿量 56kg/h 冷水流量 1840/min 温水流量 1810/min 塩化リチウム溶液 22.50/min	1台	

4.4 デシカント空調機

4.4.(B) 業務要領 デシカント空調機

① 液式調湿空調機 (デシカント 空調機)	液式調湿空調機の点検項目及び点検内容は、表(1)による。
--------------------------------	------------------------------

表(1) 液式調湿空調機(再生機・処理機共)

点検項目	点検内容	周 期	備 考
1. 送風系統	① 送風機 ・異音、振動、変形などの有無の点検をする。 風量、電流値の計測を行う。	1 Y	
	② エアフィルター ・ゴミの付着、枠の破損、錆を確認する。	1 Y	
	③ エリミネーター ・塩化リチウムの固着、枠の破損、錆、目詰まりを確認する。破損が軽微な場合は補修する。	1 Y	
2. 熱交換器系統	① 熱交換器 ・汚れ、破損、錆を確認する。	1 Y	
	② 気液交換濾材(充填剤) ・ゴミの付着、破損を確認する。	1 Y	
3. 給水系統	① 電動弁 ・弁の開閉の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	1 Y	
	② 電動緊急弁 ・弁の開閉の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	1 Y	
	③ フロースイッチ ・作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	1 Y	
4. 溶液系統	① ポンプ(溶液循環用) ・異音、振動、変形などの有無の点検をする。流量・電流値の計測を行う。	1 Y	
	② ポンプ(溶液送演出用) ・異音、振動、変形などの有無の点検をする。流量・電流値の計測を行う。	1 Y	
	③ フロースイッチ ・塩化リチウムの固着、作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	1 Y	
	④ フロートスイッチ ・作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。	1 Y	
5. 制御系統	① 湿度センサ(外気・排気) ・計測値の誤差などの有無の点検をする。誤差がある場	1 Y	

<p>合は調整する。</p>	
<p>② 温度センサ (外気・排気)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計測値の誤差などの有無の点検をする。誤差がある場合は調整する。 	<p>1 Y</p>
<p>③ 温度センサ (溶液)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計測値の誤差などの有無の点検をする。誤差がある場合は調整する。 	<p>1 Y</p>
<p>④ 制御盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。 ・ 盤内部の汚れを点検し、清掃する。 	<p>1 Y</p>

4.5 水冷ヒートポンプ付ファンコイルユニット

4.5.1 業務対象設備

4.5(A) 業務対象設備の概要による。

4.5.2 点検項目、点検内容及び点検周期

4.5(B) 業務要領 空気調和等関連機器による。

水冷ヒートポンプ付ファンコイルユニットは、オンコール対応とする。

4.5.3 他設備との連動等

他設備(機器等)と連動している場合は、必要に応じて適正に行い、その他の措置を講じるものとする。

4.5.4 取替部品

4.5(C) 取替部品による。

4.5.5 業務報告書

業務完了後(シーズン毎)に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・試験成績書
- ・計測記録
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

4.5.6 その他

4. 機械設備

4.5 水冷ヒートポンプ付ファンコイルユニット

4.5(A) 業務対象設備の概要

1. 水冷ヒートポンプ付ファンコイルユニット

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
附属病院病棟 2階西SS	水冷ヒートポンプ付きファンコイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	4台	
附属病院病棟 2階西処置室	水冷ヒートポンプ付きファンコイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	2台	
附属病院病棟 2階西重症室	水冷ヒートポンプ付きファンコイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	4台	
附属病院病棟 2階東SS	水冷ヒートポンプ付きファンコイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	4台	
附属病院病棟 2階東処置室	水冷ヒートポンプ付きファンコイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	1台	
附属病院病棟 2階東重症室	水冷ヒートポンプ付きファンコイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	3台	
附属病院病棟 3階西SS	水冷ヒートポンプ付きファンコイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	4台	
附属病院病棟 3階西処置室	水冷ヒートポンプ付きファンコイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	2台	
附属病院病棟 3階西重症室	水冷ヒートポンプ付きファンコイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	4台	
附属病院病棟 3階東SS	水冷ヒートポンプ付きファンコイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	4台	

附属病院病棟 3階東処置室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	2台	
附属病院病棟 3階東重症室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	4台	
附属病院病棟 4階西SS	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	4台	
附属病院病棟 4階西処置室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	2台	
附属病院病棟 4階西重症室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	4台	
附属病院病棟 4階東SS	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	3台	
附属病院病棟 4階東処置室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	2台	
附属病院病棟 4階東重症室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	2台	
附属病院病棟 5階西SS	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	4台	
附属病院病棟 5階西処置室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	2台	
附属病院病棟 5階西重症室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	4台	

附属病院病棟 5階東SS	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	4台	
附属病院病棟 5階東処置室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	2台	
附属病院病棟 5階東重症室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	4台	
附属病院病棟 6階西SS	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	4台	
附属病院病棟 6階西処置室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	2台	
附属病院病棟 6階西重症室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	4台	
附属病院病棟 6階東SS	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	4台	
附属病院病棟 6階東処置室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	2台	
附属病院病棟 6階東重症室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	4台	
附属病院病棟 7階西SS・面談室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	5台	
附属病院病棟 7階西処置室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	2台	

附属病院病棟 7階西重症室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	4台	
附属病院病棟 7階東SS	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	4台	
附属病院病棟 7階東処置室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	2台	
附属病院病棟 7階東重症室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	3台	
附属病院病棟 8階西SS	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	5台	
附属病院病棟 8階東SS、管理室、休憩 室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHK-2)	日本ビーマック FBP-23BAL 冷房能力 1.8kW " (+HP) 3.5kW 暖房能力 2.2kW " (+HP) 4.5kW 天井カセット型	7台	
附属病院病棟 8階東処置室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	1台	
附属病院病棟 8階東緩和ケア室	水冷ヒートポンプ付きファン コイルユニット (FCHD-3)	日本ビーマック FBP-395K 冷房能力 2.6kW " (+HP) 5.7kW 暖房能力 4.0kW " (+HP) 8.2kW 天井埋込型	1台	

4.5 水冷ヒートポンプ付ファンコイルユニット

4.3. (B) 業務要領

①

水冷ヒートポンプ付ファンコイルユニット

水冷ヒートポンプ付ファンコイルユニットの点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 水冷ヒートポンプ付ファンコイルユニット

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 機器性能	① 冷房または暖房モードで吸込吹出温度 (D. B) を測定し、冷暖房能力を確認する。	1 Y	
	② 冷暖房能力に異常のあるユニットは電圧・電流絶縁抵抗を計器測定する。	1 Y	
	② 運転音・振動を官能検査する。	1 Y	
	③ 吹出風量を官能検査し、異常のあるユニットは計器測定し、風量を確認する。	1 Y	
2. 機能確認	① ローカルコントローラーからの操作により、発停・冷暖・送風等の制御回路が正常に動作することを確認する。	1 Y	
	② 圧縮機・送風機・四方弁等が動作することを確認する。	1 Y	
3. 維持管理	① プレフィルター及びグリルを取り外して水洗いする。	2 M	
	② 熱交換器をブラッシング及び掃除機による清掃を行う。	2 M	
	③ (高性能型) フィルターチャンバーの静圧を、微差圧計を用いて測定する。	1 Y	
	④ 空気熱交換器のフィンの汚れ状態を目視で確認する。	1 Y	
	⑤ ドレンポンプ吸込口を清掃し、正常に排水することを確認する。排水状態が悪い場合は、ドレンバキューム清掃を実施する。	1 Y	冷房時

4.6 エアコン点検

4.6.1 業務対象設備

4.6.(A) 業務対象設備の概要による。

4.6.2 点検項目、点検内容及び点検周期

4.6.(B) 業務要領による。

4.6.3 取替部品

4.6.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

・点検及び保守結果報告書

・試験成績書

・計測記録

・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

4.6.5 その他

4.6エアコン点検

4.6(A)業務対象設備の概要

建物	簡易点検						定期点検		
	ルームエアコン		パッケージエアコン 圧縮機出力 7.5KW未満		パッケージエアコン 圧縮機出力 7.5KW以上		パッケージエアコン 圧縮機出力 7.5KW以上		
	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	
1 講義実習棟	30	30	6	24	2	6	-	-	
2 基礎臨床研究棟	76	77	14	49	4	24	-	-	I 期分
	62	63	31	111	9	61	-	-	II 期分
3 福利施設棟	-	-	7	7	-	-	-	-	
4 RI動物実験施設	-	-	10	18	2	16	2	16	
5 附属図書館	-	-	5	7	-	-	-	-	
6 医工連携拠点棟	-	-	38	71	1	8	-	-	
7 看護学科棟	-	-	4	8	5	66	-	-	
8 フォトン研究棟	-	-	0	0	6	34	2	10	
9 サイクロロン棟	-	-	3	9	2	11	2	11	
10 管理棟	-	-	1	4	4	39	-	-	
11 臨床講義棟	-	-	3	10	2	9	2	9	
12 外来棟	-	-	117	274	31	297	-	-	
13 MRI-CT棟	-	-	6	6	-	-	-	-	
14 病棟	-	-	161	86	6	44	6	44	
15 多目的ホール	-	-	2	3	2	2	2	2	
16 PET-CT棟	-	-	6	6	2	11	2	11	
17 探索的臨床 研究施設	-	-	5	11	1	3	1	6	
18 特高変電所	-	-	-	-	1	1	-	-	
19 半田山会館	10	10	2	4	-	-	-	-	
20 保育所	-	-	4	4	-	-	-	-	
21 廃水処理施設	-	-	4	4	-	-	-	-	
22 総合人間科学・ 基礎研究棟	-	-	24	54	-	-	-	-	
	178	180	453	770	80	632	19	109	

建物	簡易点検						定期点検		
	ルームエアコン		パッケージエアコン 圧縮機出力 7.5KW未満		パッケージエアコン 圧縮機出力 7.5KW以上		パッケージエアコン 圧縮機出力 7.5KW以上		
	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	
1 講義実習棟	30	30	6	24	2	6	2	6	
2 基礎臨床研究棟	76	77	14	49	4	24	4	24	I期分
	62	83	31	111	9	61			II期分
3 福利施設棟	-	-	7	7	-	-	-	-	
4 RI動物実験施設	-	-	10	18	2	16	-	-	
5 附属図書館	-	-	5	7	-	-	-	-	
6 医工連携拠点棟	-	-	38	71	1	8	-	-	
7 看護学科棟	-	-	4	8	5	66	5	66	
8 フォトン研究棟	-	-	0	0	6	34	4	24	
9 サイクロロン棟	-	-	3	9	2	11	-	-	
10 管理棟	-	-	1	4	4	39	4	43	
11 臨床講義棟	-	-	3	10	2	9	-	-	
12 外来棟	-	-	117	274	31	297	-	-	
13 MRI-CT棟	-	-	6	6	-	-	-	-	
14 病棟	-	-	161	86	6	44	-	-	
15 多目的ホール	-	-	2	3	2	2	-	-	
16 PET-CT棟	-	-	6	6	2	11	-	-	
17 探索的臨床 研究施設	-	-	5	11	1	3	-	-	
18 特高変電所	-	-	-	-	1	1	1	1	
19 半田山会館	10	10	2	4	-	-	-	-	
20 保育所	-	-	4	4	-	-	-	-	
21 廃水処理施設	-	-	4	4	-	-	-	-	
22 総合人間科学・ 基礎研究棟	-	-	24	54	-	-	-	-	
	178	180	453	770	80	632	20	164	

建 物	簡易点検						定期点検		
	ルームエアコン		パッケージエアコン 圧縮機出力 7.5KW未満		パッケージエアコン 圧縮機出力 7.5KW以上		パッケージエアコン 圧縮機出力 7.5KW以上		
	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	
1 講義実習棟	30	30	6	24	2	6	-	-	
2 基礎臨床研究棟	76	77	14	49	4	24	9	61	I 期分
	62	63	31	111	9	61			II 期分
3 福利施設棟	-	-	7	7	-	-	-	-	
4 RI動物実験施設	-	-	10	18	2	16	-	-	
5 附属図書館	-	-	5	7	-	-	-	-	
6 医工連携拠点棟	-	-	38	71	1	8	-	-	
7 看護学科棟	-	-	4	8	5	66	-	-	
8 フォトン研究棟	-	-	0	0	6	34	-	-	
9 サイクロロン棟	-	-	3	9	2	11	-	-	
10 管理棟	-	-	1	4	4	39	-	-	
11 臨床講義棟	-	-	3	10	2	9	-	-	
12 外来棟	-	-	117	274	31	297	31	297	
13 MRI-CT棟	-	-	6	6	-	-	-	-	
14 病棟	-	-	161	86	6	44	-	-	
15 多目的ホール	-	-	2	3	2	2	-	-	
16 PET-CT棟	-	-	6	6	2	11	-	-	
17 探索的臨床 研究施設	-	-	5	11	1	3	-	-	
18 特高変電所	-	-	-	-	1	1	-	-	
19 半田山会館	10	10	2	4	-	-	-	-	
20 保育所	-	-	4	4	-	-	-	-	
21 廃水処理施設	-	-	4	4	-	-	-	-	
22 総合人間科学 基礎研究棟	-	-	24	54	-	-	-	-	
	178	180	453	770	80	632	40	358	

《業務要領》

簡易点検

- 室・機器の異常振動、異常運転音を確認する。
- ・機器及び機器周辺の油のにじみを確認する。
- ・機器のキズの有無、熱交換器の腐食、さび等を確認する。
- 室・熱交換器の霜付け有無を確認する。

定期点検(冷媒漏えい点検のガイドライン等に準拠)

- ・目視点検等と直接法(漏えい検知機等による点検)又は間接法(運転データ等による点検)により、点検を

4.6 エアコン点検

4.6. (B) 業務要領

①

エアコン点検

- (a) フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に基づき、点検を行う。
- (b) エアコン点検の点検項目及び点検内容は、表(5)による。
- (c) 対象は、ルームエアコン、パッケージエアコン、ヒートポンプ式空調機及び小型冷凍機とする。
- (d) ルームエアコンは簡易点検のみとし、周期は1Yとする。

表(5) 吹出口・吸込口

点検項目	点検内容	周期	備考
簡易点検	① 室外機 ・機器の異常振動、異常運転音の有無を点検する。 ・機器及び機器周辺の油のにじみの有無を点検する。 ・機器の傷、熱交換器の腐食、さび等の有無を点検する。	3 M	
	② 室内機 ・機器の異常振動、異常運転音の有無を点検する。 ・熱交換器の霜付きの有無を点検する。	3 M	
	③ フィルター及びグリルを取外して水洗いする。	3 M	病院のみとする
	④ 熱交換器をブラッシング及び掃除機による清掃を行う。	3 M	病院のみとする
定期点検 圧縮機出力が 7.5kW以上のみ	① 室外機 ・冷媒の漏れの有無を点検する。 ・機器の異常振動、異常運転音の有無を点検する。 ・機器及び機器周辺の油のにじみの有無を点検する。 ・機器の傷、熱交換器の腐食、さび等の有無を点検する。 ・運転電流を計測する。 ・端子の接続状態を点検する。緩みのある場合は増し締めする。 ・吐出し、吸込み温度を計測する。 ・冷媒の液温を計測する。 ・冷媒の圧力を計測する。	3 Y	
	② 室内機 ・機器の異常振動、異常運転音の有無を点検する。 ・吐出し、吸込み温度を計測する。	3 Y	

4.7 空調関連機器

4.7.1 業務対象設備

4.7(A) 業務対象設備の概要による。

4.7.2 点検項目、点検内容及び点検周期

4.7(B) 業務要領 空調関連機器による。

4.7.3 他設備との連動等

他設備(機器等)と連動している場合は、必要に応じて適正に行い、その他の措置を講じるものとする。

4.7.4 取替部品

4.7.5 業務報告書

業務完了後(シーズン毎)に次の書類を作成する。

- ・ 点検及び保守結果報告書
 - ・ 試験成績書
 - ・ 計測記録
 - ・ 業務記録写真
- -----

書式は、受注者の業務報告書とする。

4.7.6 その他

4. 機械設備

4.7 空調関連機器

4.7(A) 業務対象設備の概要

1. ファンコイルユニット

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
附属病院外来棟	ファンコイルユニット	床置型	54台	
附属病院病棟	ファンコイルユニット	天井埋込型	600台	
講義実習棟	ファンコイルユニット	天吊型	12台	
看護学科棟	ファンコイルユニット	天井カセット型	140台	

2. 空調換気扇

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
附属病院外来棟	空調換気扇		26台	
PET-CT棟	空調換気扇	天井カセット型	6台	
附属病院病棟	空調換気扇		299台	
基礎臨床研究棟	空調換気扇	天井カセット型	44台	I期分
基礎臨床研究棟	空調換気扇	天井カセット型	109台	II期分
講義実習棟	空調換気扇	天井カセット型	37台	
R I 動物実験 施設	空調換気扇		5台	
看護学科棟	空調換気扇		41台	
医工連携拠点棟	空調換気扇	天井カセット型	48台	
医工連携拠点棟	空調換気扇	天井埋込型	11台	
フォトン研究棟	空調換気扇	天井埋込型	24台	
サイクロトロン棟	空調換気扇	天井カセット型	4台	
管理棟	空調換気扇	天井カセット型	24台	
管理棟	空調換気扇	天井埋込型	4台	
臨床講義棟	空調換気扇	天井カセット型	18台	
臨床講義棟	空調換気扇	天井埋込型	2台	

探索的臨床研究施設	空調換気扇	天井カセット型	4台	
探索的臨床研究施設	空調換気扇	天井埋込型	4台	
総合人間科学・ 基礎研究棟	空調換気扇	天井カセット型	34台	
総合人間科学・ 基礎研究棟	空調換気扇	天井埋込型	6台	

3. 吹出口、吸込口等

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
附属病院外来棟	吹出口		1058個	
附属病院外来棟	吸込口		708個	
附属病院外来棟	リターンガラリ		7個	
PET-CT棟	吹出口		30個	
PET-CT棟	吸込口		26個	
附属病院病棟	吹出口		1146個	
附属病院病棟	吸込口		1396個	
多目的ホール	吹出口		16個	
多目的ホール	吸込口		7個	

4.7 空調関連機器

4.7.(B) 業務要領 空調関連機器

① 吹出口・吸込口	吹出口・吸込口の点検項目及び点検内容は、表(1)による。 対象は、空気調和機、ファンコイル、エアコン、空調換気扇及び天井扇の吹出口、吸込口とする。
--------------	--

表(1) 吹出口・吸込口

点検項目	点検内容	周期	備考
吹出口・吸込口	① 汚れ損傷等の有無を点検する。	6 M	
	② 取り付け状況を点検する。	6 M	
	③ 取り外して中性洗剤にて洗浄後、水洗いする。	6 M	
	④ 外せない物は、深部まで掃除機等により埃を取る。	6 M	
	⑤ 防カビ材を塗布する。	6 M	

② ファンコイル ユニット	ファンコイルユニットの点検項目及び点検内容は、表(2)による。 周期の※印は次による。 病院 2 M 講義実習棟・看護学科棟 6 M
---------------------	---

表(2) ファンコイルユニット

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 本体	① 汚れ、損傷の有無を点検する	※	
	② 送風機の異音、振動等の異常の有無を点検する。	※	
	③ フィルター及びグリルを取外して水洗い乾燥後、取付けとする。	※	
	④ 熱交換器はブラッシング及び掃除機による清掃を行う。	※	
	⑤ ドレンパンは水を流してドレン排水口の詰まり、水漏れの有無を点検する。詰まりがある場合は排水口を清掃する。	6 M	
	⑥ ケーシングの内外部を掃除機及びウエスにて清掃する。	6 M	
	⑦ 送風機の羽車等をブラッシング及び掃除機等により清掃する。運転し異音、振動等の異常ないことを確認する。	6 M	
	⑧ 附属配管、附属配線、表示ランプに異常ないことを確認する。異常がある場合、軽微な場合は補修する。	6 M	

③
空調換気扇

空調換気扇の点検項目及び点検内容は、表(3)による。

表(3) 空調換気扇

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 本体	① 汚れ、損傷の有無を点検する。	6 M	
	② 吊り支持等の金具の緩み及び腐食の有無を点検する。	6 M	
	③ 防振材の破損等の有無を点検する。	6 M	
	④ 送風機の異音、振動等の異常の有無を点検する。		
	⑤ フィルター及びグリルを取外して水洗い乾燥後、取付けとする。(病院のみ)	6 M	
	⑥ ケーシングの内外部を掃除機及びウエスにて清掃する。	6 M	
	⑦ 熱交換エレメントの詰まり、損傷等の有無を点検する。	6 M	

4.8 給排水衛生機器

4.8.1 業務対象設備

4.8(A) 業務対象設備の概要による。

4.8.2 点検項目、点検内容及び点検周期

4.8(B) 業務要領 給排水衛生機器による。

4.8.3 取替部品

4.8(C) 取替部品による。

4.8.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・試験成績書
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

4.8.5 その他

4. 機械設備

4.8 給排水関連機器

4.8(A) 業務対象設備の概要

1. 給水設備

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
エネセン (屋外)	上水受水槽	ステンレス製 有効容量 290m ³ ×2 (2槽)	1基	
エネセン (屋外)	雑用水受水槽	ステンレス製 有効容量 239.6m ³ (3槽)	1基	
エバコン 給水ポンプ室	上水圧送用給水ポンプ		3台	
エバコン 給水ポンプ室	上水揚水用給水ポンプ		2台	
エバコン 給水ポンプ室	雑用水圧送用給水ポンプ		3台	
エバコン 給水ポンプ室	雑用水揚水用給水ポンプ		2台	
附属病院外来棟	人工透析用受水槽 (市水)	ステンレス製 有効容量 6m ³ (1槽)	1基	
附属病院外来棟	給水ポンプユニット		1台	
附属病院外来棟	検査部用受水槽 (市水)	FRP製 有効容量 3.5m ³ (1槽)	1基	
附属病院外来棟	給水ポンプユニット		1台	
附属病院病棟	上水高架水槽	ステンレス製 有効容量 10m ³ ×2 (2槽)	1基	
附属病院病棟	雑用水高架水槽	ステンレス製 有効容量 10m ³ ×2 (2槽)	1基	
講義実習棟 ポンプ室	市水受水槽	ステンレス製 有効容量 30m ³ ×2 (2槽)	1基	
講義実習棟 ポンプ室	雑用水受水槽	コンクリート製 有効容量 90m ³ ×4 (4槽)	1基	
講義実習棟 ポンプ室	雑用水受水槽	ステンレス製 有効容量 40m ³ ×2 (2槽)	1基	
講義実習棟 ポンプ室	市水圧送用給水ポンプ		3台	
講義実習棟 ポンプ室	研究棟市水揚水用 給水ポンプ		2台	
講義実習棟 ポンプ室	看護学科棟市水揚 水用給水ポンプ		2台	
講義実習棟 ポンプ室	雑用水圧送用給水 ポンプ		3台	
講義実習棟 ポンプ室	研究棟雑用水揚水 用給水ポンプ		2台	
講義実習棟 ポンプ室	看護学科棟雑用水 揚水用給水ポンプ		2台	
基礎臨床研究棟	市水高架水槽	ステンレス製 有効容量 5m ³ ×2 (2槽)	1基	
基礎臨床研究棟	雑用水高架水槽	ステンレス製 有効容量 5m ³ ×2 (2槽)	1基	
看護学科棟	市水高架水槽	ステンレス製 有効容量 2.3m ³ (1槽)	1基	
看護学科棟	雑用水高架水槽	ステンレス製 有効容量 6.8m ³ (1槽)	1基	
保育所	市水給水装置	受水槽 FRP m ³ 給水ユニット	1基	

2. ろ過装置

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
エバコン 給水ポンプ室	ろ過装置 (FT-3)	サンエイ工業 SF-7B 処理能力 15m ³ /h 寸法 φ1000×1830h	1台	
エバコン 給水ポンプ室	凝集剤注入装置	タクミナ CS2-100N 最大吐出量 120m ³ /min 最高吐出圧 1.0MPa	1台	休止中
エバコン 給水ポンプ室	凝集用薬液タンク	型式 PVC-200 容量 160ℓ	1台	休止中
講義実習棟 ポンプ室	ろ過装置 (FT-1)	サンエイ工業 SF-20B 処理能力 160m ³ /h 寸法 φ2800×1830h	1台	
講義実習棟 ポンプ室	ろ過ポンプ	エバラ FS4J618 口径 150×125 出力 18.5kW 能力 1.97m ³ /min×22.3m	2台	
講義実習棟 ポンプ室	塩素注入装置	タクミナ CS2-100N 最大吐出量 120m ³ /min 最高吐出圧 1.0MPa	1台	
講義実習棟 ポンプ室	塩素用薬液タンク	型式 PVC-200 容量 150ℓ	1台	
講義実習棟 ポンプ室	凝集剤注入装置	タクミナ CS2-100N 最大吐出量 120m ³ /min 最高吐出圧 1.0MPa	1台	
講義実習棟 ポンプ室	凝集用薬液タンク	型式 PVC-200 容量 160ℓ	1台	

3. 医療用手洗い水装置

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
附属病院病棟 4階西病室 403, 405, 408, 409	手洗い水装置	大研医器 DK1-SK2W 処理能力 6ℓ/min 処理方法 超精密ろ過 汚染防止蛇口	4台	
附属病院病棟 8階東無菌病室 863, 865~871	手洗い水装置	大研医器 DK1-SK2W 処理能力 6ℓ/min 処理方法 超精密ろ過 汚染防止蛇口	8台	

4. 小型給湯ボイラー

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
看護学科棟	小型給湯ボイラー		1台	

5. 排水設備

設置場所	設備概要等	仕様	数量	備考
附属病院外来棟	RI排水ポンプ		9台	
附属病院病棟	排水槽		15基	
附属病院病棟	排水ポンプ		28台	

講義実習棟	排水槽		3基	
講義実習棟	排水ポンプ		3台	
R I 動物実験施設	汚水槽		1基	
R I 動物実験施設	汚水ポンプ		2台	
R I 動物実験施設	RI集水槽		1基	
R I 動物実験施設	RI貯留槽		1基	
R I 動物実験施設	RI希釈槽		1基	
R I 動物実験施設	RI排水枡		1基	
R I 動物実験施設	RI排水ポンプ		9台	
フォトン研究棟	排水ポンプ		2台	
看護師宿舎	汚水槽		1基	
看護師宿舎	汚水ポンプ		2台	

4.8 給排水衛生機器

4.8.(B) 業務要領 給排水衛生機器

1 受水タンク・ 高置タンク (高架タンク)	(a) 受水タンク・高置タンク（高架タンク）の点検項目及び点検内容は、表(1)による。
---------------------------------	---

表(1) 受水タンク・高置タンク（高架タンク）

点検項目	点検内容	周期	備考	
1. 基礎・固定部	① き裂、沈下等の有無を点検する。	1 Y		
	② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	1 Y		
	③ 架台のさび、腐食等の有無を点検する。	1 Y		
	④ 架台のたわみ及び基礎部隙間の有無を点検する。	1 Y		
	⑤ 基礎部の水平度、不等沈下等を確認する。	1 Y		
2. 外観の状況 【外部ケーシング】	① 水漏れ及び外面のさび、腐食、損傷等の有無を点検する。	1 Y		
	② 接合金具及び接合ボルトの緩み、腐食等の有無を点検する。	1 Y		
	③ 内・外部補強材の緩み、変形及び内面の腐食、損傷等の有無を点検する。	1 Y		
	④ マンホールの密閉状態及び施錠の良否を点検する。	1 Y		
3. 付属装置	a. ボールタップ・定水位弁	① 浸水、変形、損傷等の有無及び作動の良否を点検する。	1 Y	
		② 水の供給を停止したとき、水漏れ及び衝撃のないことを確認する。	1 Y	
	b. 水面制御及び警報装置 【フロートスイッチ、レベルスイッチ、電極棒】	① 汚れ、腐食、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
		② 水位電極部、パイロット管等の接続部の緩み及び腐食の有無を点検する。	1 Y	
		③ 作動の良否を点検する。	1 Y	
	c. 塩素滅菌器	① ボール弁及びサイホンプレーカーの作動の良否を点検する。	1 Y	
	4. 配管	① 変形、腐食、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
		② 防虫網の詰まり、腐食、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
		③ 配管支持の固定点の位置が適切か確認する。	1 Y	
④ フレキシブルジョイントにより、配管の振動又は揺れがタンク本体に伝播していないことを確認する。		1 Y		

2

受水タンク・
高置タンク
(高架タンク)
の清掃

清掃の周期は、市水系統；年1回実施する。
雑用水系統；3年に1回実施する。(平成29年度実施予定)

- (b) 清掃作業は、次による。
- (1) 高置タンク又は圧力タンクがある場合には、当該清掃は受水タンクの清掃を行った後に行う。
 - (2) タンク内の沈殿物質及び浮遊物質、壁面等に付着した物質を除去し洗浄する。
なお、壁面等に付着した物質の除去は、タンクの材質に応じ、適切な方法で行う。
 - (3) 洗浄に用いた水は、完全にタンク外に排除するとともに、タンク周辺の清掃を行う。
 - (4) 清掃終了後、水道引込管内等の停滞水や管内のもらいさび等がタンク内に流入しないようにする。
- (c) 消毒作業は、次による。
- (1) 清掃終了後、塩素剤を用いて2回以上タンク内の消毒を行う。
 - (2) 消毒薬は、有効塩素50～100mg/l濃度の次亜塩素酸ナトリウム溶液又はこれと同等以上の消毒能力を有する塩素剤を用いる。
 - (3) 消毒は、タンク内の全壁面、床及び天井の下面について、消毒薬を高圧洗浄機等を利用して噴霧により吹付けるか、ブラシ等を利用して行う。
 - (4) 消毒に用いた排水は、完全にタンク外に排除する。
 - (5) 消毒終了後は、タンク内に人の立ち入りを禁止する措置を講じる。
- (d) 消毒後の水洗い及びタンク内への上水の注入は、消毒終了後少なくとも30分以上経過してから行う。
- (e) 清掃によって生じた汚泥等の廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「下水道法」等の規定に基づき、適切に処理する。
- (f) タンクの水張り終了後、給水栓及びタンクにおける水について、水質検査及び残留塩素の測定を行う。なお、長期休止明けに利用する場合は、水質検査及び残留塩素の測定を行う。

3

汚水槽・雑排水槽

- (a) 汚水槽・雑排水槽の点検項目及び点検内容は、表(3)による。

表(3) 汚水槽・雑排水槽

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 本体	① 内部の浮遊物及び沈殿物の状況を点検する。	6 M	
	② 漏水及び壁面等の損傷、き裂、さび等の有無を点検する。	6 M	
	③ マンホールへの密閉状態の良否を点検する。	6 M	
2. 水面制御及び警報装置【フロートスイッチ、レベルスイッチ、電極棒】	① 損傷及び腐食の有無を点検する。	6 M	
	② 作動の良否を点検する。	6 M	
3. 配管	① 水漏れ及び詰まりの有無を点検する。	6 M	
	② さび、腐食、損傷等の有無を点検する。	6 M	
	③ 配管接続部の変形、腐食、損傷等の有無を点検する。	6 M	
	④ 配管固定部の変形、腐食、損傷等の有無を点検する。	6 M	
	⑤ 防虫網の目詰まり、さび、腐食、損傷等の有無を点検する。	6 M	

- (a) 本項は、揚水ポンプ、小形給水ポンプユニット、給湯ポンプに適用する。
 (b) 陸上ポンプの点検項目及び点検内容は、表(4)による。

表(4) 陸上ポンプ

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 基礎・固定部	① 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。	6 M	
	② 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	6 M	
2. 外観の状況	① 腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。	1 M	
	② 軸継手ゴムの損傷等の有無を点検する。	6 M	
	③ 芯出しの良否を点検する。	6 M	
	④ ポンプの吸込圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあることを確認する。	1 M	
	⑤ 軸封の漏水状態を点検する。	1 M	
	⑥ 真空給水ポンプユニットの場合は、受水タンク内の真空度及び吐出し圧力が許容範囲内にあることを確認する。	1 M	
3. 電動機	① 発熱の異常の有無を点検する。	1 M	
	② 回転方向が正しいことを確認する。	1 Y	
	③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	6 M	
	④ 運転電流が定格値以下であることを確認する。	1 M	
4. 圧力計・連成計	① 腐食及び損傷の有無を点検する。	1 Y	
	② 指示値が適正であることを確認する。	1 Y	
5. 運転調整	① 運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。	1 Y	
6. 制御機器 【小形給水ポンプ ユニットに限る】			
a. 制御盤	① 電磁開閉器の接点の劣化の有無を点検する。	6 M	
	② 表示ランプの点灯の良否を点検する。	1 M	
b. 圧力発信器	① 正常値を示していることを確認する。	1 M	
	② 機能の異常の有無を点検する。	1 M	
7. 圧力タンク 【小形給水ポンプ ユニットに限る】	① 腐食、損傷、水漏れ等の有無を点検する。	6 M	
	② 封入ガスの圧力が規定値にあることを確認する。	1 M	
8. フート弁・逆止弁 【揚水ポンプ・給湯ポンプ に限る】	① 開閉状態の良否を点検する。	6 M	

5
排水ポンプ

- (a) 本項は、汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプに適用する。
(b) 排水ポンプの点検項目及び点検内容は、表(5)による。

表(5) 排水ポンプ

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 本体、着脱装置及びガイド部	① 腐食、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
2. 電動機	① 電動機が外部より調査できる場合は、発熱の異常の有無を点検する。	1 M	
	② 回転方向が正しいことを確認する。	1 Y	
	③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	6 M	
	④ 運転電流が、定格値以下であることを確認する。	1 M	
3. ケーブル	① 損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	② 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	6 M	
4. 連成計又は圧力計	① 腐食、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	② 正常値を示していることを確認する。	1 Y	
5. 運転調整	① 運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。	1 Y	
	② 運転電流が定格以下であることを確認する。	1 Y	

5
ろ過装置

ろ過装置の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) ろ過装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1. ろ過装置	① 外観及び内部の損傷、腐食等の有無を点検する。	2 M	
	② 配管の変形、腐食、損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 弁類の作動の良否を点検する。	2 M	
	④ 圧力計の指示値が正常であること及び適正に作動することを確認する。	2 M	
	⑤ 逆洗浄によりろ材の洗浄を行い、劣化の有無を点検する。	2 M	
2. 薬注装置	① 薬液の注入動作が適正であることを確認する。	2 M	
	② ノズル等の詰まりの有無を点検する。	2 M	
	③ 薬液タンクの劣化の有無を点検する。	1 Y	
3. ろ過ポンプ a. 本体	① 腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。	2 M	
	② ポンプの吸込圧力及び吐出圧力が許容範囲内にあることを確認する。	2 M	

b. 電動機	① 発熱及び異常音の有無を点検する。	1 Y
	② 回転方向が正しいことを確認する。	1 Y
	③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y
	④ 運転電流が、定格値以下であることを確認する。	1 Y
4. 制御盤	① 温度調節器、運転タイマー、安全装置等が設定値で作動することを確認する。	2 M
	② 漏電遮断器の動作確認を行う。	2 M
5. 制御装置	① リミットスイッチ、開閉機構等が、規定値で作動することを確認する。	2 M
	② 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y
6. 水質検査	① 残留塩素及び濁度を確認する。	1 Y

6 手洗い水装置 (病棟4階西・ 8階東)	手洗い水装置の点検項目及び点検内容は、表(1)による。
--------------------------------	-----------------------------

表(1) 手洗い水装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 手洗い水装置	① 製造者メンテナンスマニュアルに基づき下記部品を交換する。 ・ストップバンド ・無菌フィルター ・フィルターチューブ (パッキン (白色) 含む) ・吸引ソリューションチューブ ・シャワー蛇口 ・ソリューションボトル	1 Y	
	② 給水ユニット内の水圧計が0.2 MPaを示しているかを確認する。	1 Y	
	③ 外観及び内部を乾いた布にて清掃する。	1 Y	
	④ 各コネクタの接続状態が良好かを確認する。	1 Y	
	⑤ 各部品を固定するビスを増し締めする。	1 Y	
	⑥ 部品交換後に手動による電気分解を行う。		
	⑦ 各スイッチが正常に動作するかを確認する。 (自動による電気分解の動作確認も含む。)	1 Y	
	⑧ 現在時刻のズレを確認・記録後に時刻修正を行う。	1 Y	
	⑨ 各ランプが正常に表示するかを確認する。	1 Y	
	⑩ 手ざしセンサースイッチの感度を調整する。	1 Y	
	⑪ 手ざしセンサースイッチをかざし、通水状態が8分間続くと自動的に水が停止するかを確認する。	1 Y	

7 小型給湯ボイラー	蒸気式・ガス式湯沸器の点検項目及び点検内容は、表(1)による。 (対象は福利施設棟、看護学科棟とする。)
---------------	---

表(1) 小型給湯ボイラー

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 固定部	①固定金具及び固定ボルトの緩み、変形、腐食等を点検する	1 Y	
2. 外観の状況	①外筒の汚れの有無を点検する。	1 Y	
	②さび、腐食等の有無を点検する。	1 Y	
	③内筒の湯垢の付着の有無を点検する。	1 Y	
3. 弁・栓・ 給湯ポンプ	①蒸気漏れ、ガス漏れ、水漏れの有無を点検する。	6 M	
	②逆止弁、逃がし弁、減圧弁、給湯ポンプの作動の良否を点検する。	6 M	
4. 温度調節 ハンドル	①弁又は栓に異常がないことを確認したうえ、口火を点火し、ハンドルを調節して給湯温度が規定の許容範囲内であることを確認する。	6 M	
5. 口火・バーナー	①口火・バーナーの点火の良否を点検する。	6 M	
	②炎の色、長さ、燃焼音等の燃焼状態の良否及びガスの臭いの有無を点検する。	6 M	
	③ノズルの詰まりの有無を点検する。	1 Y	
	④ガス圧の適否及び排気状態の良否を点検する、	1 Y	
6. 吸熱板	①すすの付着の有無を確認する。	6 M	
7. 安全装置	①オリフィス及びダイヤフラムの作動の良否を点検する。	1 Y	
	②排気ファンが停止した場合に燃焼器へのガスの供給を自動的に遮断する装置を設けている場合にはその作動の良否を点検する。	6 M	
8. ポールタップ 【貯湯式に限る】	①浸水、変形及び水漏れの有無を点検する。	1 Y	
	②作動の良否を点検する。	6 M	
9. 配管接続部 ・ダクト	①蒸気漏れ、ガス漏れ、水漏れの有無を点検する。	1 Y	
	②配管・ダクトの変形、腐食、損傷等の有無を点検する。	1 Y	

4.8 給排水関連機器

4.8(C) 取替部品

手洗い水装置

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
ストップベント		12個	1Y	○	○	○
無菌フィルター		12個	1Y	○	○	○
フィルターチューブ	パッキン含む	12個	1Y	○	○	○
吸引側リューションチューブ		12個	1Y	○	○	○
シャワー蛇口		12個	1Y	○	○	○
リューションボルト		12個	1Y	○	○	○

4.9 ばい煙測定

4.9.1 業務対象設備

4.9.(A) 業務対象設備の概要による。

4.9.2 点検項目、点検内容及び点検周期

4.9.(B) 業務要領 ばい煙測定による。

4.9.3 取替部品

4.9.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・ 点検及び保守結果報告書
- ・ 試験成績書
- ・ 業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

4.9.5 その他

4.9 ばい煙測定

4.9.(A) 業務対象設備

ばい煙測定 (年2回実施)

名 称	貫流ボイラー	ガス吸収式 冷温水発生器 (R-2)	—	常用兼非常用 発電機 ディーゼルエンジン
台 数	6	1	—	1
伝熱面積	9.89m ²	40.7m ²	—	—
燃焼能力 (重油換算)	40.6L/h	205L/h	—	307.9L/h
最大排出ガス量	115.8 Nm ³ /h	3,300Nm ³ /h	—	7,851Nm ³ /h
燃料種類	都市ガス	都市ガス (非常時A重油)		A重油
煙突高さ	17.5m	17.5m		17.5m
煙突頂上径	1.2m	1.2m		1.2m
陣笠の有無	無	無		無
備 考				

4.9 ばい煙測定

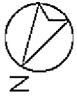
4.9.(B) 業務要領 ばい煙測定

(1)
ばい煙測定

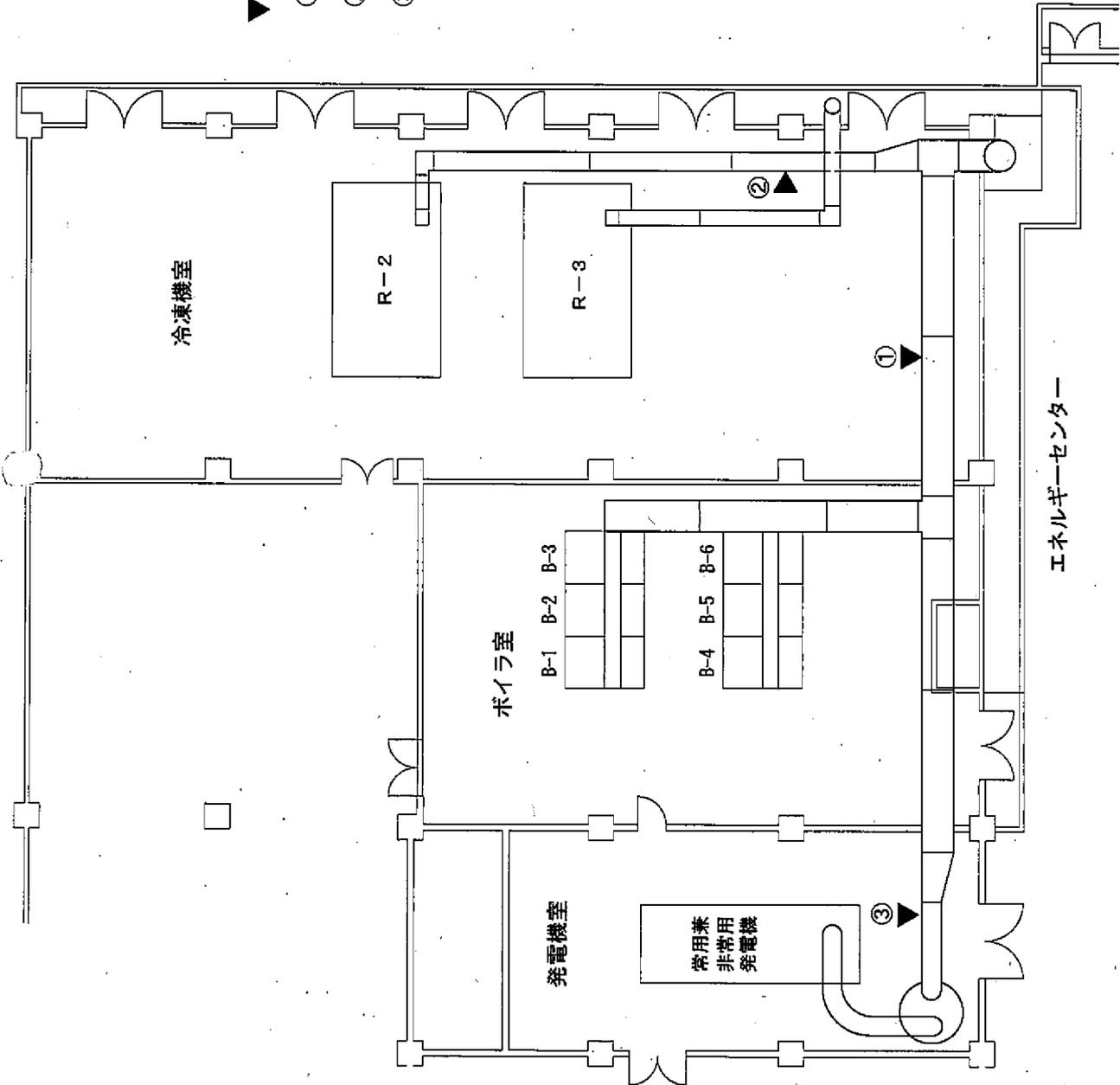
(a) ばい煙測定の点検項目及び点検内容は、表(1)に定めるところによる。

表(1) ばい煙測定

点検項目	点検内容	周期	備考
1. ばい煙測定	① 大気汚染防止法に基づき、ばいじん濃度、窒素酸化物濃度及び全硫黄酸化物排出量を測定し測定記録書を提出する。 ばいじん濃度(ダスト) 計量方法：JIS Z 8808 円形ろ過法 窒素酸化物濃度 計量方法：JIS K 0104 化学発光法 全硫黄酸化物排出量 計量方法：JIS K 0103 イオンクロマトグラフ法	6 M	



- ▼ は測定口を示す
- ① ボイラ (B-1~6)
 - ② 冷水水発生機 (R-2)
 - ③ 常用兼非常用ディーゼル発電機



エネルギーセンター

4.10 水質検査

4.10.1 業務対象設備

4.10.(A) 業務対象設備の概要による。

4.10.2 点検項目、点検内容及び点検周期

4.10.(B) 業務要領 水質検査による。

4.10.3 取替部品

4.10.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・ 検査結果報告書
- ・ 試験成績書
- ・ 業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

4.10.5 その他

4.10 水質検査

4.10. (A) 業務対象設備の概要

1. 飲料水の水質検査

検査項目	採水場所	備考
a. 簡易専用水道の水質検査 (10項目)	附属病院外来棟 (2階検査部) 附属病院外来棟 (3階血液浄化) 基礎臨床研究棟 (5階) 看護学科棟 (1階)	
b. 平成15年厚生労働省101号による給湯の水質検査 (レジオネラ属菌等3項目)	附属病院病棟 (B1階, 1階, 3階) 附属病院外来棟 (B1階, 4階) RI動物実験施設 (1階) 講義実習棟 (1階) 看護学科棟 (4階)	

2. 排水の水質検査等

検査項目	採水場所	備考
a. 下水道放流水の水質検査 (ヘキサン抽出物質, ホウ素の 2項目)	廃水処理施設の最終放流ます	
b. 地下水観測用井戸の水質検査 (政令で定める有害物質の 28物質)	観測井1 患者用立体駐車場西側 観測井2 RI動物実験施設西側 観測井3 廃水処理施設南側	

3. 廃水処理施設の水質分析

検査項目	採水場所	備考
a. 小試験 (全12項目)	原水槽 (3項目) 中間調整槽 (3項目) 処理水 (12項目)	
b. 中試験 (全20項目)	原水槽 (3項目) 中間調整槽 (3項目) 処理水 (20項目)	
c. 大試験 (全46項目)	原水槽 (46項目) 中間調整槽 (16項目) 処理水 (46項目)	

4.10 水質検査

4.10. (B) 業務要領 水質検査

(1)

水質検査

(a) 水質検査の点検項目及び点検内容・周期は、表(1)による。

表(1) 水質検査

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 飲料水水質検査			
a. 簡易専用水道の水質検査	① 次の10項目を検査する。 1) 一般細菌 2) 大腸菌群 3) 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 4) 有機物等 5) 塩素イオン 6) PH値 7) 味 8) 臭気 9) 色度、濁度	1 Y	
b. 給湯設備の水質検査	① 平成15年厚生労働省101号により次の3項目を検査する。 1) レジオネラ菌検査、 2) 一般細菌 3) 大腸菌	1 Y	
2. 下水道放流水の水質検査	① ヘキササン抽出物質の検査 (規定値1.0mg/l未満) ② ホウ素の検査	1 M 1 M	
3. 廃水処理施設の水質分析	① 小試験 次の12項目を検査する。 1) 全水銀 2) 全クロム 3) 全シアン 4) ひ素 5) 鉛 6) カドミウム 7) 全窒素 8) 陰イオン界面活性剤 9) トリクロロエチレン 10) テトラクロロエチレン 11) ジクロロメタン 12) 1,1,1-トリクロロエタン ② 中試験 次の20項目を検査する。 1) 全水銀 2) 全クロム 3) 全シアン 4) ひ素 5) 鉛 6) カドミウム 7) 全窒素 8) 陰イオン界面活性剤 9) トリクロロエチレン 10) テトラクロロエチレン 11) 四塩化炭素 12) ジクロロメタン 13) 1,2-ジクロロエタン 14) 1,1,1-トリクロロエタン 15) 1,1,2-トリクロロエタン 16) 1,1-ジクロロエチレン 17) シス-1,2-ジクロロエチレン 18) 1,3-ジクロロプロペン 19) ベンゼン 20) セレン ③ 大試験 次の46項目を検査する。	2 M 3 M 6 M	原水槽 (3項目 1,7,8) 中間調整槽 (3項目 1,7,8) 処理水 (全12項目) 原水槽 (3項目 1,7,8) 中間調整槽 (3項目 1,7,8) 処理水 (全20項目) 原水槽 (全46項目)

- 1) 全水銀 2) 全クロム 3) 全シアン
- 4) ひ素 5) 鉛 6) カドミウム
- 7) 全窒素 8) 陰イオン界面活性剤
- 9) 六価クロム 10) ヘキササン抽出物質
- 11) 大腸菌群 12) 一般細菌
- 13) 浮遊物質 (SS)
- 14) 生物化学的酸素要求量 (BOD)
- 15) 化学的酸素要求量 (COD)
- 16) 溶解性鉄 17) 溶解性マンガン
- 18) よう素消費量 19) フェノール類
- 20) 有機リン化合物 21) アルキル水銀
- 22) アンモニア性窒素
- 23) ホルムアルデヒド 24) ふっ素
- 25) PCB 26) 銅 27) 亜鉛
- 28) 全りん 29) りん酸態リン
- 30) ホウ素 31) 1,4-ジオキササン
- 32) トリクロロエチレン
- 33) テトラクロロエチレン
- 34) 四塩化炭素 35) ジクロロメタン
- 36) 1,2-ジクロロエタン
- 37) 1,1,1-トリクロロエタン
- 38) 1,1,2-トリクロロエタン
- 39) 1,1-ジクロロエチレン
- 40) シス-1,2-ジクロロエチレン
- 41) 1,3-ジクロロプロペン
- 42) チウラム 43) シマジン
- 44) チオベンカルブ
- 45) ベンゼン 46) セレン

中間調整槽 (16項目
1, 3-16, 18)
処理水 (全46項目)

4. 地下水観測用井戸
の水質検査

① 水質汚濁防止法第14条第5項の規定により、地中に埋設されている排水管等から有害物質の漏えいの有無を点検するため、観測用井戸3か所にて水を採取し、政令で定める次の有害物質の28物質を検査する。

1 Y

- 1) カドミウム 2) 全シアン
- 3) 有機リン化合物 4) 鉛
- 5) 六価クロム 6) ひ素
- 7) 総水銀 8) PCB
- 9) ジクロロメタン 10) 四塩化炭素
- 11) 塩化ビニルモノマー
- 12) 1,2-ジクロロエタン
- 13) 1,1-ジクロロエチレン
- 14) 1,2-ジクロロエチレン
- 15) 1,1,1-トリクロロエタン
- 16) 1,1,2-トリクロロエタン
- 17) トリクロロエチレン
- 18) テトラクロロエチレン
- 19) 1,3-ジクロロプロペン
- 20) チウラム 21) シマジン

- | | | |
|--|----------|--|
| 22) チオベンカルブ | 23) ベンゼン | |
| 24) セレン | | |
| 25) アンモニア, アンモニウム化合物,
亜硝酸化合物及び硝酸化合物 | | |
| 26) ふっ素 | 27) ほう素 | |
| 28) 1,4-ジオキサン | | |

4.11 クレーン点検

4.11.1 業務対象設備

4.11.1 (A) 業務対象設備の概要による。

4.11.2 点検項目、点検内容及び点検周期

労働安全衛生法に基づき、点検を行う。

4.11.2 取替部品

4.11.3 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

・点検及び保守結果報告書

・試験成績書

・計測記録

・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

4.11.4 その他

4.11 クレーン点検

4.11.(A) 業務対象設備

名 称	クレーン
台 数	1
型 番	S-1/2-LDX
容 量	0.5 t (500 kg)
仕 様	揚程 6 m 巻上速度 0.217 m/s 電動機 防爆形
設置場所	講義実習棟 B 1 階解剖体保存室

4.11 クレーン点検

4.11. (B) 業務要領 クレーン点検

(1)

クレーン点検

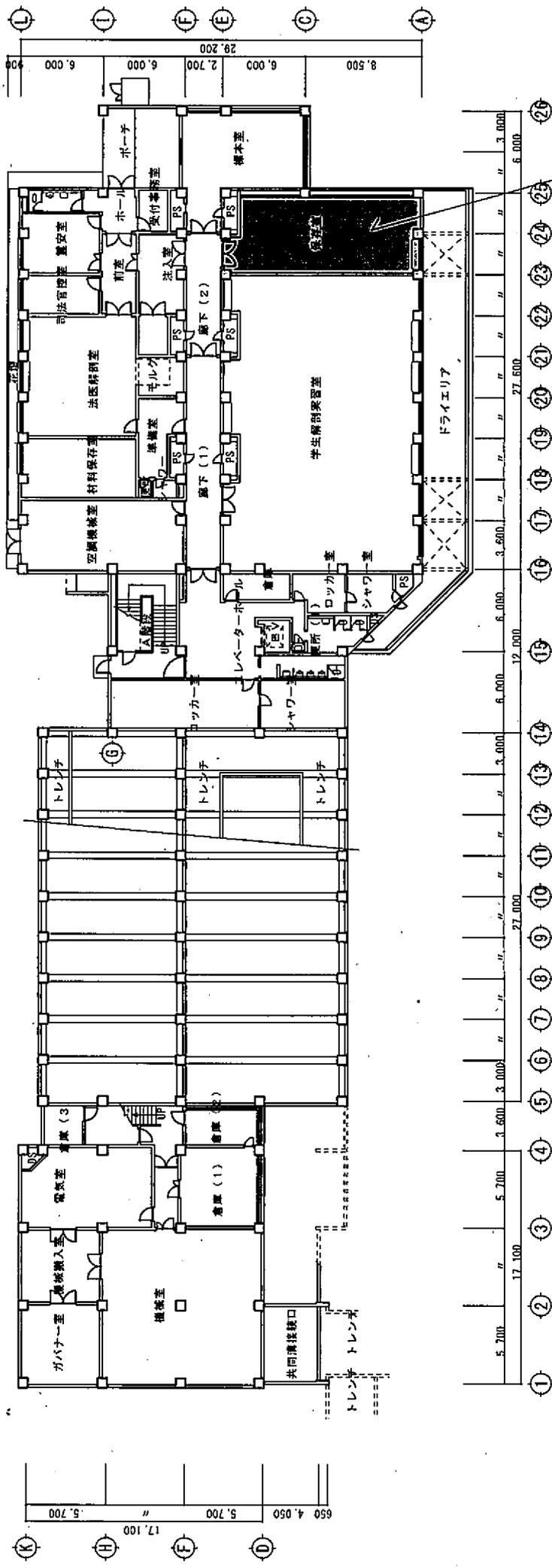
(a) クレーン点検の点検項目及び点検内容は、表(1)に定めるところによる。

表(1) クレーン点検

点検項目	点検内容	周期	備考
1) 本体	①ケースの亀裂、変形、破損、締め付けねじの脱落の有無を確認する。	1 Y	
1. 押しボタン	②ケーブル貫通部の異常の有無を確認する。	1 Y	
	③文字板の汚れ、脱落の有無を確認する。	1 Y	
	④各操作ボタンのインターロックの異常の有無を確認する。	1 Y	
	⑤接点の損傷、摩耗の有無を確認する。	1 Y	
	⑥端子ねじ、ケーブル押えねじのゆるみの有無を確認する。	1 Y	
	⑦配線、操作ケーブルの劣化、損傷の有無を確認する。	1 Y	
	⑧接点の損傷、摩耗の有無を確認する。	1 Y	
	⑨ケースと接続線との接続の状況を確認する。 (金属ケースの場合)	1 Y	
2. ワイヤロープ	①最低リフト時、ドラムに2巻以上残るかを確認する。	1 Y	
	②素線断線の有無を確認する。	1 Y	
	③直径摩耗の有無を確認する。	1 Y	
	④変形、腐食、キングの有無を確認する。	1 Y	
	⑤ロープエンドの素線切れ、腐食の有無を確認する。	1 Y	
	⑥エコライザシーブとの接触部の摩耗、素線切れの有無を確認する。	1 Y	
	⑦ワイヤロープ油塗布の状態を確認する。	1 Y	
3. フックブロック	①口の開きは規定値通りかを確認する。	1 Y	
	②フックの摩耗、亀裂、変形の有無を確認する。	1 Y	
	③フックスラストベアリング回転の状態を確認する。	1 Y	
	④外れ止めの損傷、溝底摩耗を確認する。	1 Y	
	⑤フックナット、回り止め割りピンの損傷、ゆるみの有無を確認する。	1 Y	
	⑥シーブ軸受の摩耗、回転の状態を確認する。	1 Y	
	⑦シーブケース、キープレート、割りピン損傷、ゆるみの有無を確認する。	1 Y	
4. エコライザ シーブ	①回転の状態を確認する。	1 Y	
	②損傷、亀裂の有無及び脱落の有無を確認する。	1 Y	
	③軸、軸穴の摩耗、給油の状態を確認する。	1 Y	
	④吊り金具、キープレート等金具取付け部の異常の有無を確認する。	1 Y	

5. 巻胴、枠	①亀裂、変形、摩耗の有無を確認する。	1 Y
	②ワイヤロープの取付部の状態を確認する。	1 Y
	③脱索した損傷跡の有無を確認する。	1 Y
6. 巻上ブレーキ	①ブレーキギャップは基準内か確認する。	1 Y
	②圧力板、摩擦板の摩耗、損傷の有無を確認する。	1 Y
	③ブレーキ板の摩耗、損傷の有無を確認する。	1 Y
	④ブレーキ歯車、モーター軸の摩耗、損傷の有無を確認する。	1 Y
	⑤ブレーキ箱制動面の摩耗の有無を確認する。	1 Y
7. 管制器箱	①変形、溶接はがれ、ケーブル貫通部の異常の有無を確認する。	1 Y
	②操作コイルS相接地の確認する。	1 Y
	③接点、消弧カバーの損傷、摩耗の有無を確認する。	1 Y
	④配線の損傷、劣化、端子ねじのゆるみの有無を確認する。	1 Y
	⑤ブレーキ用整流器、基板等付属品の外観異常の有無を確認する。	1 Y
8. 過巻防止装置	①リミットレバーの作動状態の確認する。	1 Y
	②リンク機構部の変形、摩耗の有無を確認する。	1 Y
	③余裕寸法は基準内か確認する。	1 Y
	④配線の損傷、劣化、締め付けねじのゆるみを有無を確認する。	1 Y
9. 給油	①巻上減速機油量の不足、汚れ、油漏れの有無を確認する。	1 Y
	②横行減速機、ホイール歯車の給油、油漏れの有無を確認する。	1 Y
10. 横行部	①側板締付けボルトのゆるみ、割りピンの損傷の有無を確認する。	1 Y
	②ブレーキ作動の異常の有無を確認する。	1 Y
	③車輪の回転異常、摩耗の有無を確認する。	1 Y
	④ガイドローラの回転異常、摩耗の有無を確認する。	1 Y
2) 給電・操作関係	①ハンガールール、メッセンジャーワイヤの損傷を確認する。	1 Y
1. 横行給電装置	②給電ケーブルの劣化、損傷の有無を確認する。	1 Y
	③支持物の損傷の有無を確認する。	1 Y
	④絶縁棒の損傷の有無を確認する。	1 Y
	2. 絶縁抵抗	①電源・操作時（巻上、巻下、横行、走行）の絶縁抵抗を測定する。
3) 走行レール	①走行範囲の障害物の有無を確認する。	1 Y
	②ストッパ変形、取付ボルトのゆるみの有無を確認する。	1 Y
	③亀裂、ダレ、変形、摩耗状態を確認する。	1 Y

3) 荷重試験	④ジョイント部分の異常の有無を確認する。	1 Y
	⑤レール踏み面の油付着、塵埃の状況を確認する。	1 Y
	①定格荷重の荷を吊り、定格速度で巻上巻下時・横行時・走行時の異音、発熱、振動の有無及びブレーキの作動状態を確認する。	1 Y



B 1 階平面図 S=1/200

乗務場所 (クレーン設置場所)

4.12 RI動物実験施設脱臭フィルター交換

4.12.1 業務対象設備

4.12.(A) 業務対象設備の概要による。

4.12.2 作業項目、作業内容及び作業周期

4.9.(B) 業務要領 脱臭フィルター交換による。

4.12.3 取替部品

4.9.(C) 取替部品による。

4.12.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・作業報告書
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

4.12.5 その他

- RI施設のフィルター交換を行う場合下記により行うこと。
1. 第一種放射線取扱主任者免状所有者の監督下で作業を行うこと。
 2. 作業者は、放射線に対する知識を持ち、過去に放射線施設での作業経験者であること。
 3. 作業者は、放射線作業従事者として法律に定められている健康管理を定期的に受け、常時フィルムバッジ等により放射線被曝の管理を受けている者とする。
 4. 作業中の放射線安全管理については、国立大学法人浜松医科大学放射線障害予防規定による放射線安全管理員の指示に従うこと。
 5. 作業範囲はビニルシート等で養生を十分行いRIによる二次被曝を防止すること。
 6. 撤去したRI排気フィルターは、日本アイソトープ協会の定めた放射性廃棄物引取基準に従って梱包すること。
 7. 放射性廃棄物の引き渡し場所は施設管理担当者の指示による。

4.12 RI動物実験施設脱臭フィルター交換

4.12.(A) 業務対象設備

名 称	フィルターユニット FU-2	フィルターユニット FU-3	フィルターユニット FU-5
台 数	1	1	1
フィルター 仕様 ◎取替対象	◎ラフフィルター 595×595×15t×2枚 ◎プレフィルター 610×610×600t×2枚 ◎ハパフィルター 610×610×292t×2枚 ◎活性炭フィルター 160×610×815t×6個 AACC-CS-8T準拠 圧力損失 27.9mmAq±3.8mmAq	◎ラフフィルター 595×595×15t×4枚 ◎プレフィルター 610×610×600t×4枚 ◎ハパフィルター 610×610×292t×4枚 ◎活性炭フィルター 160×610×815t×12個 AACC-CS-8T準拠 圧力損失 27.9mmAq±3.8mmAq	ラフフィルター 595×595×15t×1枚 プレフィルター 610×610×910t×1枚 ハパフィルター 610×610×292t×1枚 ◎ビュラフィル 610×610×457t×1個 圧力損失 9.9mmAq
設置場所	RI 屋上	RI 屋上	動物(I)屋上
備 考	イオン交換室系統 2020年度実施予定	RI 24時間系統 2021年度実施予定	感染動物室系統 2021年度実施

名 称	フィルターユニット FU-6	フィルターユニット FU-7	フィルターユニット EFU-1
台 数	1	1	1
フィルター 仕様 ◎取替対象	ラフフィルター 595×595×15t×4枚 595×305×15t×2枚 プレフィルター 610×610×910t×4枚 610×310×910t×2枚 ◎ビュラフィル 610×610×457t×6個 圧力損失 9.9mmAq	粗塵フィルター 610×610×20t×2枚 中性能フィルター 610×610×290t×2枚 ◎活性炭フィルター 610×610×440t×2個 PUR-56-F4H 圧力損失 524mmAq	ラフフィルター 500×500×25t×8枚 プレフィルター 610×610×292t×6枚 ◎活性炭フィルター 610×610×457t×6個
設置場所	動物(I)屋上	動物(I)屋上	動物(II)4階屋外
備 考	動物 24時間系統 2021年度実施	動物 8時間系統 2022年度実施予定	動物(II)24時間系統 2020年度実施

名 称	全熱交換器ユニット AHEX-1	フィルターユニット FU-1	フィルターユニット EFU-1
台 数	1	2	1
フィルター仕様 ◎取替対象	給気側 プレフィルター 690×510×20t×15枚 中性能フィルター 690×510×65t×15枚 排気側 中性能フィルター 610×610×292t×8枚 305×510×292t×2枚 ◎活性炭フィルター 610×610×460t×8個 305×610×460t×2個	プレフィルター 610×610×150t×6枚 HA°フィルター 610×610×292t×6枚 ◎活性炭フィルター 610×610×229t×6個	粗塵フィルター 610×610×20t×8枚 HA°フィルター 610×610×290t×4枚 ◎活性炭(HC-6)フィルター 610×610×440t×4個 PUR-56-C 圧力損失 581mmAq
設置場所	動物(Ⅲ)R階屋外	動物(Ⅲ)R階屋外	増築棟 屋上
備 考	一般動物系統 2023年度実施予定	感染動物系統 2019年度実施	増築棟排気系統 2022年度実施予定

名 称	空調機 AHU-2		
台 数	1		
フィルター仕様 ◎取替対象	給気側 プレフィルター 610×610×20t×2枚 排気側 プレフィルター 610×610×292t×2枚 ◎活性炭フィルター 610×610×460t×2個		
設置場所	動物(Ⅱ)R階屋外		
備 考	動物犬室系統 2022年度実施予定		

4.12 RI動物実験施設脱臭フィルター交換

4.12.(B) 業務要領 脱臭フィルター交換

(1)

脱臭フィルター交換

- (a) 脱臭フィルター交換の作業項目及び作業内容は、表(1)に定めるところによる。
 (b) RI管理区域内の空気調和機は使用しているフィルター全てを一緒に交換すること。

表(1) 脱臭フィルター交換

点検項目	点検内容	周期	備考
1) フィルターボックス	① ケースの亀裂、変形、破損の有無を確認する。	5 Y	
	② 締め付けねじの脱落の有無を確認する。	5 Y	
2) フィルターエレメント	① ろ材の交換を行う。	5 Y	
	② 変形、腐食の有無を確認する。	5 Y	
	③ 締め付けねじの脱落の有無を確認する。	5 Y	

4. 12 RI 動物実験施設脱臭フィルター交換

4. 12. (C) 取替部品

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
活性炭 (RI)	FU-2	6 個	5 Y		○	
HEPA フィルター	FU-2	2 枚	5 Y		○	
プレフィルター	FU-2	2 枚	5 Y		○	
ラッパフィルター	FU-2	2 枚	5 Y		○	
活性炭 (RI)	FU-3	12 個	5 Y			○
HEPA フィルター	FU-3	4 枚	5 Y			○
プレフィルター	FU-3	4 枚	5 Y			○
ラッパフィルター	FU-3	4 枚	5 Y			○
ピュラフィル	FU-5	68L	5 Y			○
ピュラフィル	FU-6	408L	5 Y			○
活性炭	FU-7	126L	5 Y	○		
活性炭	EFU-1	408L	5 Y		○	
活性炭	AHEX-1	530L	5 Y			
活性炭	FU-1	408L	5 Y	○		
活性炭	EFU-1 (増築)	252L	5 Y			

5. 監視制御設備

5.1 電気中央監視設備

5.1.1 業務対象設備

5.1(A) 業務対象設備の概要による。

5.1.2 点検項目、点検内容及び点検周期

5.1.(B)業務要領 監視制御設備による。

5.1.3 他設備との連動等

他設備(機器等)と連動している場合は、必要に応じて適正に行い、その他の措置を講じるものとする。

5.1.4 取替部品

5.1.5 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・試験成績書
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

5.1.6 その他

5.1(A)業務対象設備の概要

1.電気中央監視設備

系統名	機器名等	型番	数量	備考
中央監視装置 (BUILDAC-G40)	サーバ (HIS1~3)	FA2100 (A)	3	
	ビルマネジメントサーバ (BMS)	FA2100 (S)	1	
	ゲートウェイサーバ (GW)	FA2100 (A)	1	
	メッセージプリンター	VP-4300	1	
	カラープリンター	LBP-9200C	1	
	52型大型ディスプレイ	PN-525	1	
継電器盤	補助継電器盤 (SSR1・2)		2	
リモートステーション RS-SS1.2.3	SVS2	C2/S2	1	
	RS-SS-1~22	EX100	22	
RS-SS4 エネルギーセンター電気室	SVS6	C2/S2T	1	
	RS-SS-41~43	S2E	3	
	RS-SS-44、45	S2T	2	
	I/O(アナログ 4CH)	AD624B	4	
	I/O(アナログ 8CH)	AD668	3	
RS-TB-4 外来棟4階電気室	I/O(デジタル)			
	RS-TB4-11~14	S2T	4	
RS-TB-B1 外来棟B1階電気室	I/O(アナログ 8CH)	AD668	5	
	I/O(デジタル)			
RS-TK 体育館電気室	RS-TK-11	S2E	1	
	I/O(アナログ 4CH)	AD624B	1	
RS-CGS(RS-SS5) 常用非常用発電機	I/O(デジタル)			
	SVS3	C2/S2T	1	
	RS-CGS-1~6	S2E	6	
RS-HS1,2,3 特高変電所	I/O(アナログ)	AD814	2	
	I/O(デジタル)			
	SVS4	C2/S2T	1	
RS-HB1,2 病棟電気室	RS-HS-11~29	S2E	19	
	I/O(アナログ 4CH)	AD624B	14	
	I/O(デジタル)			
RS-HB1,2 病棟電気室	SVS5	C2/S2T	1	
	RS-HB-1~12	S2E	12	
	I/O(アナログ 4CH)	AD624B	10	
RS-RK 基礎臨床研究棟電気室	I/O(デジタル)			
	SVS7	C2/S2T	1	
	RS-RK-11、12	S2T	2	
RS-KG 看護学科棟電気室	I/O(アナログ 8CH)	AD668	3	
	I/O(デジタル)			
	RS-KG-11	S2E	1	
RS-KG 看護学科棟電気室	I/O(アナログ)	AD624B	2	
	I/O(デジタル)		4	

系統名	機器名等	型番	数量	備考
RS-RI RI動物実験施設電気室	RS-RI-11 I/O(アナログ) I/O(デジタル)	S2E AD624B	1	
RS-KJ 講義実習棟電気室	RS-KJ-11 I/O(アナログ) I/O(デジタル)	S2E AD624B	1	
RS-FK 福利施設棟電気室	RS-FK-11~13 I/O(アナログ 4CH) I/O(デジタル)	S2E AD624B	3 3	

5.1 電気中央監視設備

5.1(B) 業務要領

第1節 電気中央監視設備

(1)

中央監視装置

中央監視装置の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 中央監視装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外 観	① 据付けボルトの緩みの有無を点検する。	1 Y	
	② 換気ファンの動作確認を行い、異常音等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 記憶装置等の異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 Y	
	④ 操作パネルのスイッチ類及び表示部の機能を点検する。	1 Y	
	⑤ エアフィルターの状態を点検する。	1 Y	
	⑥ コネクタ類の差し込み部を点検する。また、プリント板等の表面を清掃する。	1 Y	
	⑦ 汚れ、損傷及びさびの有無を点検する。	1 Y	
	⑧ 卓上機器の置台は固定金具を点検する。	1 Y	
2. 中央処理装置類	① フロッピーディスク装置等のヘッドを清掃し、異常音の有無を点検する。	1 Y	
	② 下記項目の動作を機能点検又はテストプログラムにより確認する。 ・ CPU機能、メモリー ・ ハードディスク等 ・ フロッピーディスク装置等 ・ 入出力制御、回線制御アダプタ ・ インターフェイス装置	1 Y	
	③ 故障表示(LED等)及びブザー鳴動の動作を確認する。	1 Y	
	④ システムの構成情報や設定情報の保存を行う。	1 Y	
3. 監視操作装置等			
	a. 表示装置	① 各部清掃、電气的性能試験(偏向歪、オーバースキャン、画面動揺等)及びキーボード(ライトペン、マウス、タッチパネル等)の機能点検又はテストプログラムによる動作を確認する。 ② 表示装置が取付け器具にて固定されていることを確認する。	1 Y 1 Y
b. 表示操作パネル	グラフィックパネル等を清掃し、表示灯及び操作スイッチ類の機能を点検する。	1 Y	
4. 記録装置			
a. ラインプリン	① 各部清掃、注油、紙送り機構及び印刷機構の点検調	1 Y	

タ、ロギング プリンタ等	整並びにテストプログラムによる動作確認を行う。 ② 監視状態での印字位置、ミシン目スキップ及び色切 換え等の確認を行う。	1 Y
	③ 固定器具又はゴムマット等にて、転倒等の防止処置 がされていることを確認する。	1 Y
b. ハードコピー 装置	① 各機構部の清掃、注油、制御回路、オフラインテス ト、オンラインテスト及び機構部の点検調整を行う。	1 Y
	② 監視状態での印画位置、色あい等の確認を行う。	1 Y
	③ 固定器具又はゴムマット等にて、転倒等の防止処置 がされていることを確認する。	1 Y
5. 各装置の電源	① 電源電圧（入力電圧、出力電圧）を確認する。	1 Y
	② 蓄電池の充電状態をテスト等により確認する。	1 Y

(2)
リモートステーシ
ョン

リモートステーションの点検項目及び点検内容は、表(2)による。

表(2) リモートステーション

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外 観	① 据付けボルトの緩みの有無を点検する。	1 Y	
	② 換気ファンの動作確認を行い、異常音等の有無を点 検する。	1 Y	
	③ 記憶装置等の異常音及び異常振動の有無を点検す る。	1 Y	
	④ 操作パネルのスイッチ類及び表示部の機能を点検 する。	1 Y	
	⑤ エアフィルターの状態を点検する。	1 Y	
	⑥ コネクタ類の差し込み部を点検する。また、プリン ト板等の表面を清掃する。	1 Y	
	⑦ 汚れ、損傷及びさびの有無を点検する。	1 Y	
2. 伝送装置	① 入出力動作の確認及び点検を行う。	1 Y	
	② 入出力端子のケーブル等の締付け状態及び電源電 圧を確認する。	1 Y	
	③ 入出力動作試験は、全ポイントの動作確認及び調整 を行う。	1 Y	
	④ 垂直自立型の伝送装置の固定ボルトを点検する。	1 Y	
	⑤ システムの構成情報や設定情報の保存を行う。	1 Y	
3. 各装置の電源	① 電源電圧（入力電圧、出力電圧）を確認する。	1 Y	
	② 蓄電池の充電状態をテスト等により確認する。	1 Y	

(3)
無停電電源装置

無停電電源装置の点検項目及び点検内容は、表(3)による。

表(3) 無停電電源装置

点検項目	点検内容	周期	備考
無停電電源装置 【簡易型】	① 装置の過熱、ほこり等の付着の状態を点検する。	1 Y	
	② キャビネットの変形、損傷、変色等の有無を点検する。	1 Y	
	③ 異常音、異臭等の有無を点検する。	1 Y	
	④ 支持ボルト等の緩みの有無について点検する。	1 Y	
	⑤ パネル表示、操作部等の操作及び表示機能を点検する。	1 Y	
	⑥ 電源電圧（入力電圧・出力電圧）の確認を行う。	1 Y	
	⑦ 交流入力電源を停電させ、蓄電池運転への切替え、復電時の切替え、交流直送回路への切替え等の点検を行う。	1 Y	
	⑧ 蓄電池について、変形、損傷、き裂、液漏れ等の有無を点検する。	1 Y	

5.1 電気中央監視設備

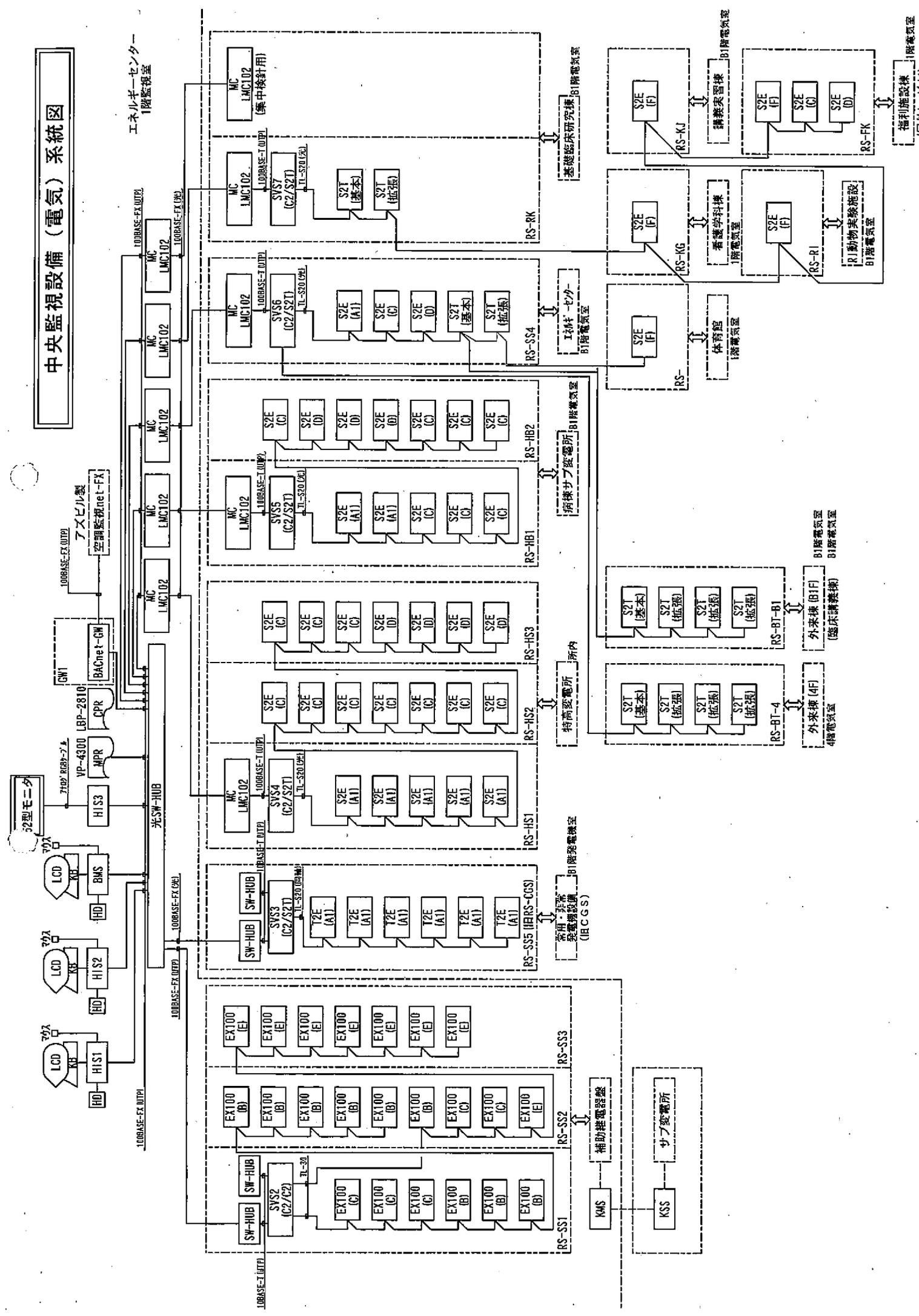
5.1.(C) 取替部品

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
オペレーションコンソール1 (HIS1 系統)						
メモリーバッテリー	ER6C-6-CAS	1個	2Y		○	
オペレーションコンソール2 (HIS2 系統)						
メモリーバッテリー	ER6C-6-CAS	1個	2Y		○	
オペレーションコンソール3 (HIS3 系統)						
メモリーバッテリー	ER6C-6-CAS	1個	2Y		○	
ビルマネジメントシステム						
ハードディスク装置		1台	2Y		○	
冷却ファン	前面	1個	4Y		○	
電源ユニット		1個	5Y			
冷却ファンフィルター		1個	3Y			○
メモリーバッテリー	ER6C-6-CAS	1個	2Y		○	
ゲートウェイ装置						
メモリーバッテリー	ER6C-6-CAS	1個	2Y		○	
ハードディスク装置		2台	3Y			○
冷却ファン	前面	1個	3Y			○
エアフィルター		1個	3Y			○
ゲートウェイ盤 (GW1)						
冷却ファン		6個	3Y			○
エアフィルター		1個	3Y			○
リモートステーション (RS-SS1. 2. 3 系統)						
シャットダウンバッテリー		1個	2Y		○	
メモリーバッテリー	BT611	2個	2Y		○	
リモートステーション (RS-SS4 系統)						
シャットダウンバッテリー		1個	2Y		○	
メモリーバッテリー	BT611	5個	2Y		○	
リモートステーション (RS-SS5 系統)						
シャットダウンバッテリー		1個	2Y		○	
メモリーバッテリー	BT611	1個	2Y		○	
メモリーバッテリー	ER6-CF	6個	2Y		○	

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
リモートステーション (RS-HIS1. 2. 3 系統)						
シャットダウンバッテリー		1個	2Y		○	
メモリーバッテリー	BT611	20個	2Y		○	
リモートステーション (SVS5 C2/S2T 系統)						
シャットダウンバッテリー		1個	2Y		○	
メモリーバッテリー	BT611	13個	2Y		○	
特高操作盤内 (S2T 系統)						
メモリーバッテリー	BT611	3個	2Y		○	
リモートステーション (RS-BT-4 系統)						
メモリーバッテリー	BT611	1個	2Y		○	
リモートステーション (RS-BT-1 系統)						
メモリーバッテリー	BT611	1個	2Y		○	
リモートステーション (RS-RK 系統)						
シャットダウンバッテリー		1個	2Y	○		○
メモリーバッテリー	BT611	2個	2Y	○		○
リモートステーション (RS-RI 系統)						
メモリーバッテリー	BT611	1個	2Y	○		○
リモートステーション (RS-KG 系統)						
メモリーバッテリー	BT611	1個	2Y	○		○
リモートステーション (RS-KJ 系統)						
メモリーバッテリー	BT611	1個	2Y	○		○
リモートステーション (RS-FK 系統)						
メモリーバッテリー	BT611	3個	2Y	○		○
D/A インバーター	PA100-96-10S1A160	2個		○		○
D/D コンバーター	SP-266	1個		○		○
A/D コンバーター	S8JX-N03024C	1個		○		○
A/D コンバーター	S8JX-P05024C	1個		○		○

中央監視設備（電気）系統図

エネルギーセンター
1階監視室



5.2 機械中央監視・自動制御設備

5.2.1 業務対象設備

5.2(A) 業務対象設備の概要による。

5.2.2 点検項目、点検内容及び点検周期

5.2(B) 業務要領による。

5.2.3 他設備との連動等

他設備(機器等)と連動している場合は、必要に応じて適正に行い、その他の措置を講じるものとする。

5.2.4 取替部品

5.2(C) 取替部品による。

5.2.5 その他

5.2(A)業務対象設備

中央監視装置(Savic netFX)

エネルギーセンター

系統名	機器名等	型番	数量	点検周期		
				夏季	冬季	
中央監視装置 (Savic netFX)	システムマネジメントサーバ (SMS) 主処理装置 32ビットCPU 主記憶容量 512メガバイト 補助記憶装置 SDD等 OS Linux 管理点数 10,000点	BCY45100	2	総合点検	ループ点検	
	データストレージサーバ (DSS) 主処理装置 32ビットCPU 主記憶容量 512メガバイト 補助記憶装置 SDD等 OS Linux 管理点数 10,000点	BCY46100	2			
	システムコアサーバ (SCS) 主処理装置 32ビットCPU 主記憶容量 256メガバイト OS Linux 管理点数 1,000点	BCY44100	12			
	ビルマネジメントシステムサーバ 主処理装置 32ビットCPU 主記憶容量 512メガバイト HDD 80Gバイト	BCY19280A	1			
	無停電電源装置(UPS)	QYY-SA50	1			
	監視用パソコン	83173493	3			非常要請のみ
	プリンタ	83167611	2			

現場受信装置(RP盤)

系統名	現場受信盤名	室名等	数量	機種名	点検周期	
					夏季	冬季
エネルギーセンター	RP-H-BF-2	冷凍機室	19面	現場受信装置	総合点検	ループ点検
	RP-H-BF-3					
	CP-H-BF-6					
	RCP-H-BF-2					
	RCP-H-BF-3					
	CPH-BF-6					
	CP-ES-BF-1					
	CP-ES-BF-2					
	CP-ES-BF-3					
	RP-H-BF-4	ボイラー室				
	RCP-H-BF-B					
	RCP-H-BF-B(2)					
CP-H-BF-1	廊下					
CP-H-BF-2						
RP-H-BF-1						
自動制御盤						
CP-ES-0-1	屋外冷却塔					
RP-H-BF-6	マニホールド室					
RP-H-BF-G						
エネセンポンプ室	RP-NCC-1	ポンプ室	1面			
医療廃棄物処理センター	水処理装置盤	分析室	1面			
講義実習棟	AHU1盤	機械室	5面			
	AHU2盤					
	B1RP-1					
	B1RP-2					
RP-B						
講義実習棟ポンプ室	RP-H-E-1	ポンプ室	2面			
	RP-B-P					
看護師宿舎	RP-H-D-1	電気室	1面			

系統名	現場受信盤名	室名等	数量	機種名	点検周期	
					夏季	冬季
基礎臨床研究棟	RP-7	機械室	7面	現場受信装置	総合点検	ループ点検
	RP-6					
	RP-5					
	RP-4					
	RP-2					
	RP-1					
	CP-2					
トレンチ	RP-T-1	共同溝	1面			
基礎臨床研究棟(別館)	RP-A-B	機械室	1面			
管理棟・臨床講義棟	RP-BM-1	機械室	1面			
外来棟	RP-H-5F-1	機械室	25面			
	RP-H-5F-2					
	RCP-H-4F-3					
	RP-H-4F-4					
	RCP-H-4F-2					
	RCP-H-4F-6					
	RCP-H-4F-7					
	RCP-H-4F-8					
	RCP-H-4F-9					
	RP-H-3F-1					
	RP-H-3F-3					
	RCP-H-3F-2					
	RP-H-2F-1					
	RP-H-2F-2					
	RCP-H-2F-1					
	RCP-H-2F-2					
	RCP-H-2F-3					
	RCP-H-1F-1					
	RP-H-B1F-1					
	RCP-H-B1F-1					
RCP-H-B1F-2						
RCP-H-B1F-3						
RP-H-B1F-3						
RP-H-B1F-4						
CP-H-B1F-4						
MRI-CT棟	RP-H-B1F-MRI	機械室	1面			

系統名	現場受信盤名	室名等	数量	機種名	点検周期	
					夏季	冬季
PET-CT棟	RPS-R	機械室	1面	現場受信装置	総合点検	ルーフ点検
中央診療棟	P3制御盤 RP-H-B1F-5	機械室	2面			
RI動物実験施設棟(1期) (2期) (3期) (増築棟)	CP-D-4	機械室	8面			
	RCP-D-2					
	CP-1					
	RP-D-B					
	CP-2					
	CPE-D-3					
	CPE-D-4					
	CP-R-1					
図書館・福利施設棟	RP-L-1F-1	機械室	3面			
	AP-L-1F-1					
	AP-L-1F-2					
フoton研究棟	RP-1	機械室	1面			
サイクロtron棟	1RP-1	機械室	1面			
病院棟	9RCP-1	機械室	20面			
	8RCP-1					
	7RCP-1					
	6RCP-1					
	5RCP-1					
	4RCP-1					
	3RCP-1					
	2RCP-1					
	1RCP-1					
	B1RCP-1					
	B1RCP-1N					
	8RCP-2					
	7RCP-2					
	6RCP-2					
	5RCP-2					
	4RCP-2					
	3RCP-2					
2RCP-2						
1RCP-2						
B1RCP-2						

系統名	現場受信盤名	室名等	数量	機種名	点検周期	
					夏季	冬季
看護学科棟	RRP-1	機械室	7面	現場受信装置	総合点検	ループ点検
	6RP-1					
	5RP-1					
	4RP-1					
	3RP-1					
	2RP-1					
	1RP-1					
その他	百葉箱	E/C受水槽	1カ所	管理計器百葉箱	総合点検	ループ点検

2.1.エネルギーセンター

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ		制御動作	簡易
AC-44A空調機	CO2濃度発信器	CY8100C	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M6285A	1	1Y					1Y			
	弁リレー	Q455C	1	1Y					1Y			
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y			
	電動二方弁‘アクティブ’	VY5110	1	1Y					1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1	1Y					1Y			
AC-44Bパッケージ	モジュロールモータ	M6285A	1	1Y					1Y			
	弁リレー	Q445C	1	1Y					1Y			
	ダクト取付型温湿度検出器	RHS302	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1	1Y					1Y			
R-2冷却水制御	電磁流量計変換器	MGG10C	1	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	MGG11D	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節器	R36	1	1Y					1Y			
R-2煤煙濃度計	煤煙濃度計	GYG-S2000	1	1Y					1Y			
	ダンパ操作器	M604C	1	1Y					1Y			
	補助スイッチ		1	1Y					1Y			

2.1.エネルギーセンター

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
R-2ガス吸収式冷温水発生器廻り制御	配管用温度センサ	TY7830B	3	1Y					1Y			
	配管用温度センサ積算熱量計用	TY7840B	1	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	MGG10C	1	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	MGG11D	1	1Y					1Y			
	ガス検知器		1	1Y					1Y			
	警報ユニット		1	1Y					1Y			
	感震装置	V725	1	1Y					1Y			
	指示調節器	R36	2	1Y					1Y			
	積算熱量計	WTY8000A	1	1Y					1Y			
	特性変換器	-	2	1Y					1Y			
	空気式2方弁(250A)	VFR	3	1Y					1Y			
	空気式バタフライ弁(250A)		1	1Y					1Y			
R-2オイルタンク廻り制御	液面発信器	GYE-ELR	2	1Y					1Y			
	液面指示計(1次側)	GYE-DL	2	1Y					1Y			
	液面コントローラ	GYE-SL	1	1Y					1Y			
	感震装置	V-725	1	1Y					1Y			
	電磁2方弁(オイル用 20A)	N-20	1	1Y					1Y			

2.1.エネルギーセンター

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断	
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易		
SP-1熱交換器温度制御	ブレンチャバランス形ケーシング調節弁	HCB	2	1Y					1Y				
	電磁流量計検出器	KID11B	1	1Y					1Y				
	電磁流量計変換器	KIX20B	1	1Y					1Y				
	シングル/P変換器	KUX112	1	1Y					1Y				
	三方電磁弁	NT-06A-200	1	1Y					1Y				
	デジタル指示調節計 R31	R31	1	1Y					1Y				
	デジタル指示調節計 R36	R36	2	1Y					1Y				
	アイソレータ	RY7910S	3	1Y					1Y				
	リバーサ	RYY792A	1	1Y					1Y				
	白金測温抵抗体	TY7701B	2	1Y					1Y				
空気式パタフライ弁	VPY9901	2	1Y					1Y					
SP-2熱交換器温度制御	配管用温度センサ	TY7830B	1	1Y					1Y				
	配管用温度センサ 積算熱量計用	TY7840H1D	1	1Y					1Y				
	積算熱量計	WTY8000A_	1	1Y					1Y				
	指示調節器	R36	2	1Y					1Y				
	電磁流量計変換器	MGG10C	1	1Y					1Y				
	電磁流量計検出器	MGG11D	1	1Y					1Y				
	空気式2方弁	VFR	1	1Y					1Y				
	蒸気流量計スチームキューブ	MCV33A	1	1Y					1Y				

2.1.エネルギーセンター

系統名	機器名称	機器		夏季			冬季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
アキュームレータ制御	トップゲイト形単座調節弁	HTS	1	1Y					1Y			
	圧力発信器	JTG940A	1	1Y					1Y			
	I/P変換器	KUX112	1	1Y					1Y			
	圧力調節器	L404F	1	1Y					1Y			
	三方電磁弁	NT-06A-200	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R31	R31	1	1Y					1Y			
エネセンポンプ室緊急遮断 弁制御	無停電電源装置	GE3115- 300J-LL	1	1Y					1Y			
	電動ハタフライ弁	M10-D	2	1Y					1Y			
	地震感知器	V576	1	1Y					1Y			
エネセンポンプ室雑用水 (圧送,揚水用)制御	液面リレー	61F	3	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	KID10B	2	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	KIX20B	2	1Y					1Y			
	電動ハタフライ弁	NY6921C	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	2	1Y					1Y			
エネセンポンプ室市水(圧 送,揚水用)制御	液面リレー	61F	3	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	KID10B	2	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	KIX20B	2	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	2	1Y					1Y			
エネセンポンプ室流量積算 (市水,雑水用)	流量発信部	GS	3	1Y					1Y			

2.1.エネルギーセンター

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断	
		機器形番	個数	総合	ルー プ	制御 動作	簡易	総合	ルー プ		制御 動作
ガス漏れ警報	ガス警報器	BM204	1	1Y				1Y			
	ガス警報器	V-410-2	1	1Y				1Y			
ダンパ切換及び緊急ダンパ 系統	空気式ダンパ操作器	MP904B	9	1Y				1Y			
	ダンパ操作器	MP909C	1	1Y				1Y			
	空気用三方電磁弁	NT-06A	5	1Y				1Y			
	ダンパ・リンケージ	Q805A	10	1Y				1Y			
ボイラ計測	圧力センサ	FP103-GC8	1	1Y				1Y			
	圧力発信器	JTG240	2	1Y				1Y			
	圧力発信器	JTG940A	2	1Y				1Y			
	蒸気流量計スチームキューブ	MVC33A	2	1Y				1Y			
	DC42V直流定電圧ユニット	NAX421	2	1Y				1Y			
	圧力発信器	NKI14	1	1Y				1Y			
	DC24V電源	RY7910D	2	1Y				1Y			
	フィルター	RY7910S	2	1Y				1Y			
	DC24V電源	RYY792D	2	1Y				1Y			
	V/I変換器	RYY792V302 3	1	1Y				1Y			
ホットウェルタンク制御	フロートスイッチ	GYG	1	1Y				1Y			
	フロートスイッチ	GYG-SL	1	1Y				1Y			
温水ポンプ台数制御	OI	QY2030D000 0	1	1Y				1Y			
	ポンプコントローラ	WY5130W	1	1Y				1Y			

2.1.エネルギーセンター

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ		制御動作	簡易
高圧レベル系統冷温水ポンプ台数制御	電源モジュール	83163539-001	1	1Y					1Y			
	プレッシャーバランス形ゲージ調節弁	HCB	1	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	KID10B	1	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	MGG10C	1	1Y					1Y			
	配管挿入形温度検出器	PT100	1	1Y					1Y			
	圧力発信器	PY7100A	1	1Y					1Y			
	タッチパネル	QY2010D0000	1	1Y					1Y			
	DC24V電源	RY7910D	1	1Y					1Y			
	ポンプコントローラ	WY2001B	1	1Y					1Y			
純水送水、蒸気処理装置制御	静電容量式レベル形	CM300	3	1Y					1Y			
	変換器	CM3000	3	1Y					1Y			
	流量発信部	GS	2	1Y					1Y			
	液面警報制御装置	GYG-SL	1	1Y					1Y			
	圧力センサ	PY7100A	3	1Y					1Y			
	流量発信部	VXW1080	1	1Y					1Y			
	電動ボール弁	VY6100D	6	1Y					1Y			

2.1.エネルギーセンター

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
蒸気弁遠隔制御	トップガイト形単座調節弁	ACP(5B)HA3R	1	1Y					1Y			
	トップガイト形単座調節弁	AGVD(1-1/2B)	2	1Y					1Y			
	トップガイト形単座調節弁	AGVD(2-1/2B)	1	1Y					1Y			
	トップガイト形単座調節弁	AGVD(2B)	1	1Y					1Y			
	トップガイト形単座調節弁	AGVD(3B)	1	1Y					1Y			
	スマートバルブポジション	AVP300	6	1Y					1Y			
	フィルタ付き減圧弁	KZ03-2A	6	1Y					1Y			
	三方電磁弁	NT-06A-200	6	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R30	R30	5	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R35	R35	2	1Y					1Y			
蒸気流量積算	流量発信部(オーバル)	GS	4	1Y					1Y			
	蒸気流量計スチームキューブ	MVC31A	3	1Y					1Y			
低圧レベル系統冷温水ポンプ台数制御	OI	QY2030D0000	1	1Y					1Y			
	ポンプコントローラ	WY5130W	1	1Y					1Y			
中圧レベル系統冷温水ポンプ台数制御	配管挿入形温度検出器(ダブルエレメント)	PT100	2	1Y					1Y			
	OI	QY2030D0000	1	1Y					1Y			
	ポンプコントローラ	WY5130W	1	1Y					1Y			

2.1.エネルギーセンター

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診 断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
熱量積算(冷温水)	白金測温抵抗体	JPt100	6	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	KID10A	2	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	KIX20A	2	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	MGG10C	2	1Y					1Y			
	積算熱量計演算部(感温部は TY7840を使用)	WTY7201A	3	1Y					1Y			
	積算熱量計演算部(感温部は TY7840を使用)	WTY8000A	1	1Y					1Y			
排煙濃度監視	指示変換器	GYG-S2010- 0	1	1Y					1Y			
	ファン付き標準投光器	GYG-S2020- 1	1	1Y					1Y			
	ファン付き標準受光器	GYG-S2030- 1	1	1Y					1Y			
流量積算(市水,雑用水,ガス)	流量発信部	GS	4	1Y					1Y			
冷水ポンプ台数制御	OI	QY2030D000 0	1	1Y					1Y			
	ポンプコントローラ	WY5130W	1	1Y					1Y			

2.2.講義実習棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
AC-1(特別講義実習室)	室内形温度調節器	H615A	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M904F	1	1Y					1Y			
	弁リレー	Q455C	1	1Y					1Y			
	室内形温度検出器	T7090D	1	1Y					1Y			
	2方弁	V5045A	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y			
	M10コントローラ ベーシックユニット 電源AC200V	WY7111B	1	1Y					1Y			
AHU-1(学生解剖実習室)	室内形温度検出器	HTY7003T1P00	1	1Y					1Y			
	VY530X専用低トルクアクチュエータ	MY5340A	1	1Y					1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6040A	1	1Y					1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6042A	1	1Y					1Y			
	差圧発信器	PYY-604	1	1Y					1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	1	1Y					1Y			
	電動2方弁'アクティブ'	VY5140B	1	1Y					1Y			
	電動2方弁アクティブスプリングリターン	VY5249G	1	1Y					1Y			
	ねじ込み小形比例3方弁	VY5303A	1	1Y					1Y			
	インテリジェントコンパクトコントローラ ICG 電源AC100~240V	WY7217W	1	1Y					1Y			

2.2.講義実習棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
AHU-2(法医解剖室)	室内形温湿度検出器	HTY7003T1P00	1	1Y					1Y			
	アクティバル	MY5640A	1	1Y					1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6042A	1	1Y					1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1	1Y					1Y			
	柵パネル(縦形)	QY7205A	1	1Y					1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(RF)	VY5140F	1	1Y					1Y			
	電動2方弁アクティバルスプリングリターン	VY5249G	1	1Y					1Y			
	ねじ込み小形比例3方弁	VY5303A	1	1Y					1Y			
	インテリジェントコンパクトコントローラ IOC 電源AC100~240V	WY7217W	1	1Y					1Y			
AHU-3-1(3階生理実習室)	微差圧スイッチ	PYY-604	1	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(RF)	VY5111F	1	1Y					1Y			
	IAC(インテリジェントAHUコントローラ)	WY7207	1	1Y					1Y			
	IDGPベーシックユニット 電源 AC206V	WY7216B	1	1Y					1Y			
	SCM(サブコントローラマスター)	WY7222W	1	1Y					1Y			
AHU-3-2(3階生理実習室)	微差圧スイッチ	PYY-604	1	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(RF)	VY5111F	1	1Y					1Y			
	IAC(インテリジェントAHUコントローラ)	WY7205	1	1Y					1Y			

2.2.講義実習棟

系統名	機器名称	機器		夏季			冬季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ		制御動作	簡易
AHU-3-3(3階生理実習室)	微差圧スイッチ	PYY-604	1	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
	電動二方弁 'アクティブ'	VY5110A	1	1Y					1Y			
	IAC(インテリジェントAHUコントロール)	WY7207	1	1Y					1Y			
AHU-3-4(3階生理実習室)	微差圧スイッチ	PYY-604	1	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
	電動二方弁 'アクティブ'	VY5110A	1	1Y					1Y			
	IAC(インテリジェントAHUコントロール)	WY7205	1	1Y					1Y			
ガス漏れ警報	ガス警報器	NV400	2	1Y					1Y			
ポンプ室 雑用水(圧送、揚水)制御	電極	-	1	1Y					1Y			
	液面リレー	61F	1	1Y					1Y			
	ゲージ圧発信器	JTG240	1	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	KID10B	2	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	KIX20B	2	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	2	1Y					1Y			

2.2.講義実習棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
ポンプ室 市水(圧送,揚水) 制御	電極	-	1	1Y					1Y			
	液面リレー	61F	1	1Y					1Y			
	ゲージ圧発信器	JTG940A	1	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	KID10A	2	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	KIX20B	2	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	2	1Y					1Y			
ポンプ室緊急遮断弁制御	無停電電源装置	BY50S	1	1Y					1Y			
	電動バタフライ弁	M10-D	2	1Y					1Y			
	地震感知器	V-756	1	1Y					1Y			
ポンプ室受水槽制御	電極	-	1	1Y					1Y			
	液面リレー	61F	1	1Y					1Y			
	パイロット式電磁弁	N20-20W	2	1Y					1Y			
	M10コントローラ ベーシックユニット 電源AC100V	WY7111A	1	1Y					1Y			
蒸気弁遠隔制御	トップガイド形単座調節弁	HTS	3	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R35	R35	3	1Y					1Y			
送水及び還水圧力制御	ブルスアイ空気式圧力指示調節計	NFP-2	2	1Y					1Y			
	ゲージ形複座調節弁	VDC	2	1Y					1Y			
低温室温度制御	デジタル指示調節計 R36	R36	1	1Y					1Y			
	挿入形温度検出器	TE1F20C	1	1Y					1Y			

2.2.講義実習棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
熱源廻り制御	電極棒(3P)	-	1	1Y					1Y			
	電極棒(4P)	-	1	1Y					1Y			
	液面リレー	61F	2	1Y					1Y			
	電源モジュール	83163539-001	1	1Y					1Y			
	差圧発信器	JTD930A	1	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	MGG10C	1	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	MGG11D	1	1Y					1Y			
	OI	QY2010D0000	1	1Y					1Y			
	配管温度検出器(Pt100Ω)	TY7830B	5	1Y					1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110F	1	1Y					1Y			
	二位置形電動バタフライ弁	VY6941C	4	1Y					1Y			
	ポンプコントローラ	WY2001B	1	1Y					1Y			
熱量積算(冷温水)	電磁流量計変換器	KIC20A	1	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	KID10A	1	1Y					1Y			
	白金測温抵抗体	Pt	2	1Y					1Y			
	積算熱量計演算部(感温部はTY7840を使用)	WY78000A	1	1Y					1Y			
流量積算(市水,雑用水,蒸気)	流量発信部	-	6	1Y					1Y			
	流量発信部	MVC30A	1	1Y					1Y			
	流量発信部	OVAL-GS083B-12	1	1Y					1Y			
	流量発信部	OVAL-GS103B-12	1	1Y					1Y			
	M10コントローラ ベーシックユニット 電源AC200V	WY7111B	1	1Y					1Y			

2.3.基礎臨床研究棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ルー プ	制御 動作	簡易	総合	ルー プ		制御 動作	簡易
低温室温度制御	デジタル指示調節計	G26TR0UA4100	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計	G40A5T0AS0300	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	10	1Y					1Y			
	電動二方弁	SJV-1504G71	1	1Y					1Y			
	サイスター	TAC31Z001515-N000	1	1Y					1Y			
	挿入形温度検出器	TE1F20C	12	1Y					1Y			
流量積算(市水,雑用水)	流量発信部	-	16	1Y					1Y			
酸素濃度監視	拡散式ガス検知器	KS-20	5	1Y					1Y			
	吸引式ガス検知器	PS-20P	1	1Y					1Y			
	指示警報部	NV-100S	6	1Y					1Y			

2.4.医工連携拠点棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
ACU-1系統空調機	挿入形露点温度発信器	HY7015C	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M904F	2	1Y					1Y			
	弁リレーゾ	Q455C	2	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	2	1Y					1Y			
	白金測温抵抗体	TY7701B	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	2	1Y					1Y			
	M10DGPベーシックユニット 電源 AC200V	WY7110B	1	1Y					1Y			
送水・還水圧力制御	電子式圧力発信器	NW8-210-X	2	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	2	1Y					1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5113J	2	1Y					1Y			
	DC24V定電圧電源	WN716A	2	1Y					1Y			
熱量積算	電磁流量計変換器	MGG10C	1	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	MGG11F	1	1Y					1Y			
	白金測温抵抗体	Pt	2	1Y					1Y			
	積算熱量計演算部(感温部は TY7840を使用)	WTY7201A	1	1Y					1Y			
流量積算(市水,雑用水,力 ス,蒸気)	流量発信部	-	3	1Y					1Y			
	流量発信部	GSM-030B- 2M0	1	1Y					1Y			

2.5.看護学科棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
ACU-1空調機	挿入形露点温度発信器	HY7016C	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6040A	1			1Y			1Y			
	白金測温抵抗体	TY7700A	1			1Y			1Y			
	電動二方弁'アクティブ'	VY5110A	1			1Y			1Y			
	電動二方弁'アクティブ' 蒸気用	VY5115A	1			1Y			1Y			
	電動ボール弁	VY6100B	1			1Y			1Y			
	Inflex GDベースモジュール	WY5110W	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
	SCM(サブコントローラマスター)	WY7222B	1			1Y			1Y			
ACU-2空調機	挿入形露点温度発信器	HY7016C	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6040A	1			1Y			1Y			
	白金測温抵抗体	TY7700A	1			1Y			1Y			
	電動二方弁'アクティブ'	VY5110A	1			1Y			1Y			
	電動二方弁'アクティブ' 蒸気用	VY5115A	1			1Y			1Y			
	電動ボール弁	VY6100B	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
	IDGPベーシックユニット 電源 AC200V	WY7210B	1			1Y			1Y			
	SCM(サブコントローラマスター)	WY7222B	1			1Y			1Y			

2.5.看護学科棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ		制御動作	簡易
ACU-3空調機	挿入形露点温度発信器	HY7016C	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6040A	1			1Y			1Y			
	白金測温抵抗体	TY7700A	1			1Y			1Y			
	電動二方弁'アクティブ'	VY5110A	1			1Y			1Y			
	電動2方弁'アクティブ' 蒸気用	VY5115A	1			1Y			1Y			
	電動ボール弁	VY6100B	1			1Y			1Y			
	IDGPベーシックユニット 電源 AC201V	WY7211B	2			1Y			1Y			
	SCM(サブコントローラマスター)	WY7222B	1			1Y			1Y			
ACU-4空調機	挿入形露点温度発信器	HY7016C	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6040A	1			1Y			1Y			
	白金測温抵抗体	TY7700A	1			1Y			1Y			
	電動二方弁'アクティブ'	VY5110A	1			1Y			1Y			
	電動2方弁'アクティブ' 蒸気用	VY5115A	1			1Y			1Y			
	電動ボール弁	VY6100B	1			1Y			1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC113V	WY7211B	2			1Y			1Y			
	SCM(サブコントローラマスター)	WY7222B	1			1Y			1Y			

2.5.看護学科棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ		制御動作	簡易
ACU-5空調機	挿入形露点温度発信器	HY7016C	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6040A	1			1Y			1Y			
	白金測温抵抗体	TY7700A	1			1Y			1Y			
	電動2方弁'アクティブル'蒸気用	VY5115A	1			1Y			1Y			
	ねじ込形電動2方弁"アクティブル"	VY5218F	1			1Y			1Y			
	電動ボール弁	VY6100B	1			1Y			1Y			
	IDGPベーシックユニット 電源 AC202V	WY7212B	1			1Y			1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC114V	WY7211B	1			1Y			1Y			
	SCM(サブコントローラマスター)	WY7222B	1			1Y			1Y			
ACU-6空調機	挿入形露点温度発信器	HY7016C	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6040A	1			1Y			1Y			
	白金測温抵抗体	TY7700A	1			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110F	1			1Y			1Y			
	電動2方弁'アクティブル'蒸気用	VY5115A	1			1Y			1Y			
	電動ボール弁	VY6100B	1			1Y			1Y			
	IDGPベーシックユニット 電源 AC203V	WY7213B	1			1Y			1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC115V	WY7211B	1			1Y			1Y			
	SCM(サブコントローラマスター)	WY7222B	1			1Y			1Y			

2.5.看護学科棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
ファンコイル制御	ファンコイル用比例弁専用アクチュエータ	M7410C	93		6M				6M			
	ファンコイル用比例弁専用アクチュエータ	MY5560C	47		6M				6M			
	ネオハネル(縦形)	QY7205A	71		6M				6M			
	ファンコイル用比例二方弁	VY5502A	47		6M				6M			
	ファンコイル用比例二方弁	VY5912A	93		6M				6M			
	IFC(インテリジェントFCUコントローラ)	WY7205	89		6M				6M			
ファン発停制御	ファム・オ・スット	T631C	8		6M				6M			
	屋内形温度調節器	TY6300Z	2		6M				6M			
	IDGPベーシックユニット 電源 AC204V	WY7214B	2		6M				6M			
空冷パッケージエアコン	挿入形露点温度発信器	HY7016C	1		6M				6M			
	室内形湿度発信器(高分子)	HY7200B	1		6M				6M			
	差圧スイッチ	PYY-CL13	1		6M				6M			
	デジタル式集中操作器	QY7209A	1		6M				6M			
	デジタル指示調節計 R36	R36	3		6M				6M			
	室内形温度検出器	T7090D	1		6M				6M			
	室内形温度検出器	TY7201A	1		6M				6M			
	電動2方弁 'アクティバル' 蒸気用	VY5115A	1		6M				6M			
	電動ボール弁	VY6100A	2		6M				6M			
	IDGPベーシックユニット 電源 AC205V	WY7215B	1		6M				6M			

2.5.看護学科棟

系統名	機器名称	機器		夏季			冬季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ		制御動作	簡易
上水/雑水槽制御	電極	-	3	1Y					1Y			
	電極リレー	61F	3	1Y					1Y			
蒸気流量積算	圧電素子式渦流量計	VW1040	1	1Y					1Y			
温温度計測	室内形温度検出器	T7090D	7	1Y					1Y			
	室内形湿度発信器(高分子)	HY7200B	6	1Y					1Y			
貯湯槽制御	挿入形温度調節器	T675A	1	1Y					1Y			
	電動ボール弁	VY6100B	1	1Y					1Y			
熱量積算	電磁流量計検出器	KID10B	1	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	KIX20B	1	1Y					1Y			
	白金測温抵抗体	Pt	2	1Y					1Y			
	積算熱量計演算部(感温部はTY7840を使用)	WTY7201A	1	1Y					1Y			

2.6.管理・臨床講義棟

系統名	機器名称	機器		夏季			冬季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ		制御動作	簡易
流量積算(市水,雑用水)	流量発信部	-	4	1Y					1Y			
ビルマルチ系統	ビルマルチインターフェース	BRY0500	1	1Y					1Y			
	マスターステーションⅢ	DMS502	2	1Y					1Y			

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-010 B1~3F エレベータ ホール	VAV ※1	-	7			6M				6M		
	CAV	CAV-CM3-2	1			1Y			1Y			
	インバータ	FREQROL- F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	2			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	S8VS	1			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	7			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5110J	2			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
Inflex ZM ゾーンマネージャー	WY5122W	1			1Y			1Y				
Inflex VC	WY5206	7			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-111 1F 看護師更衣室	インバータ	FREQR0L-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	S8VS	1			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M	
AC-112 1F 職員食堂・一般食堂系統	インバータ	FREQR0L-F700PJ	1			1Y			1Y			
	室内形温湿度センサ	HTY7043	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M	

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
AC-113A 1F 病理部 標 本作製室	CAV	-	1			1Y			1Y			
	VAV ※1	-	5			6M				6M		
	直結形ダンパ操作器	-	2			1Y			1Y			
	インバータ	FREQROL- F700PJ	3			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器 ※1	MY6050A	10				6M				6M	
	DC24V電源	PS5R	1			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	2			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	S8VS	2			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5110J	2			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
Inflex VC	WY5206	6			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-113B 1F 病理部	VAV ※1	-	4			6M				6M		
	インバータ	FREQROL-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	1			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	2			1Y			1Y			
	DC24V電源	S8VS	1			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	2			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
Inflex ZM ゾーンマネージャー	WY5122W	1			1Y			1Y				
Inflex VC	WY5206	4			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-114 1F 看護師更衣室	インバータ	FREQROL-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Infilex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-210 2F 総合エントランス	VAV ※1	-	2			6M				6M		
	CAV	CAV-MW3-2-L	1			1Y			1Y			
	インバータ	FREQROL-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	2			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	2			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	2			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2方弁(FI)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2方弁(FI)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
Inflex ZM ゾーンマネージャー	WY5122W	1			1Y			1Y				
Inflex VC	WY5206	2			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
AC-211 2F 内科A・B	CAV	-	1			1Y			1Y			
	VAV	-	12			6M				6M		
	インバータ ※1	FREQROL-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	5			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	4			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	6			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	6			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
Inflex ZMゾーンマネージャー	WY5122W	1			1Y			1Y				
※室内天井内の為入室不可	Inflex VC	WY5206	12			1Y			1Y			

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
AC-212 2F 内科C・D	VAV ※1	-	4			6M				6M		
	CAV	CAV-MW3-3-L	1			1Y			1Y			
	インバータ	FREQROL-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	1			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	2			1Y			1Y			
	DC24V電源	S8VS	1			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	2			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
Inflex ZM ゾーンマネージャー	WY5122W	1			1Y			1Y				
※室内天井内の為入室不可	Inflex VC	WY5206	4			1Y			1Y			

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-213 2F 整形外科	VAV ※1	-	10			6M				6M		
	CAV	CAV-CW3-2	1			1Y			1Y			
	インバータ	FREQROL-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	5			1Y			1Y			
	DC24V電源	S8VS	1			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	5			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
※室内天井内の為入室不可	Inflex VC	WY5206	10			1Y			1Y			

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ		制御動作	簡易
AC-214 2F 外科	VAV ※1	-	10			6M				6M		
	CAV	CAV-MW3-4-L	1			1Y			1Y			
	インバータ	FREQROL-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	1			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	5			1Y			1Y			
	DC24V電源	S8VS	1			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	5			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
Inflex ZM ゾーンマネージャー	WY5122W	1			1Y			1Y				
Inflex VC	WY5206	10			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
AC-310 3F 皮膚科	VAV ※1	-	8			6M				6M		
	インバータ	-	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	2			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	4			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	4			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	2			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
Inflex ZM ゾーンマネージャー	WY5122W	1			1Y			1Y				
Inflex VC	WY5206	8			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
AC-311 3F 精神神経科	VAV ※1	-	8			6M				6M		
	CAV	CAV-MW3-5-L	1			1Y			1Y			
	インバータ	FREQR0L-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	2			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	4			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内型温度センサ	TY7043Z	4			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
Inflex ZM ゾーンマネージャー	WY5122W	1			1Y			1Y				
Inflex VC	WY5206	8			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-312 3F 歯科口腔外科	VAV ※1	-	8			6M				6M		
	CAV	CAV-MW3-6-L	1			1Y			1Y			
	インバータ	FREQROL-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	4			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内型温度センサ	TY7043Z	4			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
Inflex VC	WY5206	8			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断	
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易		
AC-314 3F 耳鼻咽喉科	VAV ※1	-	4			6M				6M			
	CAV	GAV-MW3-7-L	1			1Y			1Y				
	インバータ	FREQROL-F700PJ	1			1Y			1Y				
	挿入形湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y				
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y				
	DC24V電源	PS5R	1			1Y			1Y				
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y				
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y				
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	2			1Y			1Y				
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y				
	室内型温度センサ	TY7043Z	2			1Y			1Y				
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y				
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y				
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y				1M
Inflex ZMゾーンマネージャー	WY5122W	1			1Y			1Y					
Inflex VC	WY5206	4			1Y			1Y					

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-315 3F 脳神経外科	VAV ※1	-	2			6M				6M		
	CAV	CAV-CW3-3	1			1Y			1Y			
	インバータ	FREQROL-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	2			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	1			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内型温度センサ	TY7043Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
	Inflex ZMゾーンマネージャー	WY5122W	1			1Y			1Y			
Inflex VC	WY5206	2			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
AC-317 3F 小児科	CAV	-	1			1Y			1Y			
	VAV ※1	-	12			6M				6M		
	インバータ	-	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	4			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	3			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	6			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内型温度センサ	TY7043Z	6			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Infilex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
Infilex ZM ゾーンマネージャー	WY5122W	1			1Y			1Y				
Infilex VC	WY5206	12			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
AC-318 3F 産婦人科	VAV ※1	-	14			6M				6M		
	CAV	CAV-MW3-8-L	1			1Y			1Y			
	インバータ	FREQROL-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	7			1Y			1Y			
	DC24V電源	S8VS	1			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内型温度センサ	TY7043Z	7			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
	InfirexZM	WY5112W	1			1Y			1Y			
Inflex VC	WY5206	14			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-319 3F 形成外科・泌尿器科	VAV ※1	-	8			6M				6M		
	CAV	CAV-CW3-4	1			1Y			1Y			
	インバータ	FREQROL-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	1			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	4			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内型温度センサ	TY7043Z	4			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Infilex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
InfilexZM	WY5112W	1			1Y			1Y				
Infilex VC	WY5206	8			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ		制御動作	簡易
AC-320 3F 光学医療診療部	インバータ	-	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FI)	VY5110J	2			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FI)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-321 3F 血液浄化療法 部	VAV ※1	-	11			6M				6M		
	インバータ	FREQROL- F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	2			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	補助ポテンショメータ(MY6050、 7050、9050用)	QY9010A	1			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	室内型温度センサ	TY7043Z	6			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5110J	5			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
	Inflex ZM ゾーンマネージャー	WY5122W	1			1Y			1Y			
Inflex VC	WY5206	11			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-33A 2F X線TV室	モジュロールモータ	M6285A	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY9040A	2			1Y			1Y			
	DC12V電源	PS3N	2			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ(ハリデーショ用)	PYY-GL13	1			1Y			1Y			
	遠隔手動設定器	Q406B	2			1Y			1Y			
	弁リリケージ	Q455F	1			1Y			1Y			
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	1			1Y			1Y			
	ダクト取付型温湿度検出器	RHS302	1			1Y			1Y			
	単座弁	V5063A	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110F	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1			1Y			1Y				

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
AC-33B 2F X線撮影室	モジュロールモータ	M6285A	1			1Y			1Y			
	DC12V電源	PS3N	2			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS3N	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ(バリデーション用)	PYY-CL13	1			1Y			1Y			
	弁リレー	Q455F	1			1Y			1Y			
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	2			1Y			1Y			
	ダクト取付型温湿度検出器	RHS302	1			1Y			1Y			
	単座弁	V5063A	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110F	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1			1Y			1Y				
AC-34 2F X線操作室・読影室	DC12V電源	PS3N	1			1Y			1Y			
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110F	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1			1Y			1Y			

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-35 2F 核医学検査室	モジュロ-ルモータ	M6285A	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS3N	1			1Y			1Y			
	弁リリケ-ジ	Q455F	1			1Y			1Y			
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	1			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	T675A	1			1Y			1Y			
	室内形温度検出器	TY7010T	6			1Y			1Y			
	挿入形温度検出器	TY7800C	1			1Y			1Y			
	単座弁	V5063A	1			1Y			1Y			
	電動二方弁‘アクティブル’	VY5110B	1			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2方弁(FI)	VY5110F	6			1Y			1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	2			1Y			1Y			
AC-36 2F 中央検査室(南)	DC12V電源	PS3N	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	1			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2方弁(FI)	VY5110J	2			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2方弁(FI)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1			1Y			1Y			

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
AC-42 1F ラス治療室	モジュロールモータ	M6285A	1			1Y			1Y			
	DC電源12V	PS3N	1			1Y			1Y			
	弁リネージ	Q455F	1			1Y			1Y			
	集中操作器「ネオターミナル」(IRC-bus接続)	QY7109A	1			1Y			1Y			
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	1			1Y			1Y			
	単座弁	V5063A	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FV)	VY5110F	2			1Y			1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1			1Y			1Y			
	SCM(サブコントローラマスター)	WY7222W	1			1Y			1Y			
AC-46 B1F 事務室系統	モジュロールモータ	M6285A	1			1Y			1Y			
	モジュロールモータ	M904F	1			1Y			1Y			
	DC12V電源	PS3N	1			1Y			1Y			
	弁リネージ	Q455C	1			1Y			1Y			
	弁リネージ	Q455F	1			1Y			1Y			
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	1			1Y			1Y			
	挿入形温度検出器	TY7800C	1			1Y			1Y			
	単座弁	V5063A	1			1Y			1Y			
	複座弁	V5064A	1			1Y			1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1			1Y			1Y			

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-52 B1F 厨房系統	モジュロールモータ	M6285A	1			1Y			1Y			
	コントロールモータ"アクティモア"	MY3000F	1			1Y			1Y			
	DC12V電源	PS3N	1			1Y			1Y			
	弁リレー	Q455C	1			1Y			1Y			
	弁リレー	Q455F	1			1Y			1Y			
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	1			1Y			1Y			
	白金測温抵抗体	TY7700B	1			1Y			1Y			
	単座弁	V5063A	1			1Y			1Y			
	複座弁	V5064A	1			1Y			1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1			1Y			1Y			
AC-53 B1F ランドリー系統	モジュロールモータ	M6285A	1			1Y			1Y			
	モジュロールモータ	M904F	1			1Y			1Y			
	DC12V電源	PS3N	1			1Y			1Y			
	弁リレー	Q455C	1			1Y			1Y			
	弁リレー	Q455F	1			1Y			1Y			
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	1			1Y			1Y			
	単座弁	V5063A	1			1Y			1Y			
	複座弁	V5064A	1			1Y			1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1			1Y			1Y			

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断	
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ		制御動作
AC-54 B1F 放射線(1)	モジュロールモータ	M6285A	1			1Y			1Y		
	DC12V電源	PS3N	2			1Y			1Y		
	微差圧スイッチ(バリデーション用)	PYY-CL13	1			1Y			1Y		
	弁リレー	Q455F	1			1Y			1Y		
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	2			1Y			1Y		
	単座弁	V5063A	1			1Y			1Y		
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110F	1			1Y			1Y		
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1			1Y			1Y		
AC-55 B1F 放射線(2)	モジュロールモータ	M6285A	1			1Y			1Y		
	DC12V電源	PS3N	1			1Y			1Y		
	DC24V電源	PS3N	1			1Y			1Y		
	微差圧スイッチ(バリデーション用)	PYY-CL13	1			1Y			1Y		
	弁リレー	Q455F	1			1Y			1Y		
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	1			1Y			1Y		
	ダクト取付型温湿度検出器	RHS302	1			1Y			1Y		
	単座弁	V5063A	1			1Y			1Y		
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110F	1			1Y			1Y		
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1			1Y			1Y		

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-57 B1F 解剖・霊安室	モジュロールモータ	M6285A	1			1Y			1Y			
	DC12V電源	PS3N	1			1Y			1Y			
	弁リレー	Q455F	1			1Y			1Y			
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	1			1Y			1Y			
	単座弁	V5063A	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1			1Y			1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211B	1			1Y			1Y			
AC-58 3F 研究室・集会室	室内湿度調節器	HY9000Z	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M904E	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M9185A	1	1Y					1Y			
	静圧調節器	P246	1	1Y					1Y			
	弁リレー	Q455C	1	1Y					1Y			
	弁リレー	Q455F	1	1Y					1Y			
	VAV	SAVL-750-V-E-S-S-F	3	1Y					1Y			
	温度調節器	T991A	2	1Y					1Y			
	室内型温度調節器	TY9000Z	4	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y			
	複座弁	V5064A	1	1Y					1Y			

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
OPAC-111 4F 薬剤部	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
OPAC-113 1F 救急部・麻酔科	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
OPAC-114-1 1F リハビリステーション	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
OPAC-115 1F 医療福祉 支援センター	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁(FV)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
OPAC-210 2F 血液検査 部	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁(FV)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
OPAC-310 3F 眼科	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁(FV)	VY5115K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
PAC-417 4F 電算室	室内形温湿度センサ	HTY7043	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	2	1Y					1Y			
	アイソレータ	RYY792S	1	1Y					1Y			
	DC24V電源	S8VS	1	1Y					1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y			1M
PAC-420 4F 外来電気室	屋内型温度調節器	TY6300Z	2	1Y					1Y			

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
PCA-1 B1F 更衣室	モジュロールモータ	M6285A	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M904F	1	1Y					1Y			
	DC12V電源	PS3N	1	1Y					1Y			
	弁リレー	Q455C	1	1Y					1Y			
	弁リレー	Q455F	1	1Y					1Y			
	壁取付型温湿度検出器	RHS301	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y			
	複座弁	V5064A	1	1Y					1Y			
	M10コントローラ ベーシックユニット 電源AC200V	WY7111B	1	1Y					1Y			
液式調湿空調機 デシカント制御	DC24V電源	-	1	1Y					1Y			
	電動ボール弁	AM1PA201PPE	6	1Y					1Y			
	電動ボール弁	EAB200	10	1Y					1Y			
	フロートスイッチ	FR30VS	2	1Y					1Y			
	電動二方弁	MVP-F-SSRK50	2	1Y					1Y			
	圧力センサ	PY7100A	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R35	R35	2	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	5	1Y					1Y			
	配管温度検出器(Pt100Ω)	TY7830B	1	1Y					1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1	1Y					1Y			
	アクティブバルブ/電動2方弁(FF)	VY5115K	1	1Y					1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5130J	8	1Y					1Y			

2.7.外来棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
緊急遮断ダンパ 電気室(1)	空気式ダンパ操作器	MP904A	2	1Y					1Y			
	ダンパ・リンケージ	Q605A	2	1Y					1Y			
	バルノイドバルブ	RPY800A01JI	1	1Y					1Y			
切替弁制御	電動三方弁	AE1LR201T1P	2	1Y					1Y			
	電動三方弁	EAB200	2	1Y					1Y			
貯湯槽制御(ST-1、ST-2)	デジタル指示調節計 R36	R36	2	1Y					1Y			
	配管温度センサ	TY7820H	2	1Y					1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FE)	VY5115K	2	1Y					1Y			
低温室温度制御	デジタル指示調節計	SDC21	1	1Y					1Y			
	挿入形温度検出器	TE1F20C	1	1Y					1Y			
流量計測	流量計		18	1Y					1Y			
電気室(1) 空調制御	モジュロールモータ	M904E	1	1Y					1Y			
	弁リンケージ	Q455C	1	1Y					1Y			
	挿入形温度調節器	T915C	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y			

2.8.MRI-CT装置棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-59 MRI空調機	モジュロールモータ	M904F	3	1Y					1Y			
	弁リレー	Q455C	3	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	2	1Y					1Y			
	壁取付形温湿度検出器	RHS301	1	1Y					1Y			
	モータライバー	RN796A101-1	3	1Y					1Y			
	ローレクタ	RY7800L1092	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y			
	複座弁	V5064A	2	1Y					1Y			
	RHS301用直流電源	WN790A	1	1Y					1Y			

2.9.中央診療棟

系統名	機器名称	機器		夏季				冬季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ルー プ	制御 動作	簡易	総合	ルー プ	制御 動作	簡易	
AC-610	インバータ	FREQR0L-F700PJ	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	6			1Y			1Y			
	DC24V電源	PS5R	2			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	補助スイッチ(MY6050、7050、9050用)	QY6051B	6			1Y			1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	1			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FI)	VY5110J	2			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FI)	VY5115K	1			1Y			1Y			
Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M	
FCU	ファンコイル用比例弁専用アクチュエータ	MY5560C	13			6M				6M		
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	6			6M				6M		
	室内形温度センサ	TY7043Z	6			6M				6M		
	ファンコイル用比例二方弁	VY5502A	13			6M				6M		
	Inflex ZM ゾーンマネージャー	WY5122W	1			6M				6M		
	Inflex FC	WY5205A	13			6M				6M		

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
AC-1	挿入形露点温度発信器(高分子)	HY7901C	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M6285A	1	1Y					1Y			
	弁リレー	Q455F	1	1Y					1Y			
	壁取付形温度検出器	RHS301	1	1Y					1Y			
	室内形温度検出器	TY7010T	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y			
	電動二方弁‘アクティブ’	VY5110B	1	1Y					1Y			
	アクティブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110F	2	1Y					1Y			
	M10コントローラ ベーシックユニット 電源AC200V	WY7111B	1	1Y					1Y			
AC-2	室内形湿度センサ	HT7043T1000	1	1Y					1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	1	1Y					1Y			
	アクティブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1	1Y					1Y			
	アクティブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1	1Y					1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y			不可

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
AC-3 24H空調機	室内形湿度発信器	HY7012B	1				6M				6M	
	挿入形露点温度発信器	HY7015C	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M6285A	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M904F	1	1Y					1Y			
	電磁弁	N-15W200	1	1Y					1Y			
	弁リレー	Q455C	1	1Y					1Y			
	弁リレー	Q455F	1	1Y					1Y			
	室内形温度検出器 ※1	T7090C	1				6M				6M	
	挿入形温度センサ	TY7803	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y			
	複座弁	V5064A	1	1Y					1Y			
M10コントローラ ベーシックユニット 電源AC200V	WY7111B	2	1Y					1Y				
AC-4 8H空調機	電磁弁	-	1	1Y					1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1	1Y					1Y			
	室内形湿度発信器 ※1	HY7012B	1				6M				6M	
	モジュロールモータ	M6285A	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M904F	1	1Y					1Y			
	弁リレー	Q455F	2	1Y					1Y			
	室内形温度検出器 ※1	T7090C	1				6M				6M	
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y			
	複座弁	V5064A	1	1Y					1Y			

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断	
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易		
AC-5(AHU-1)	電磁弁	-	1	1Y					1Y				
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1	1Y					1Y				
	挿入形露点温度センサ	HY7903	1	1Y					1Y				
	室内形湿度センサ	HY7043T	1				6M				6M		
	DC24V電源	PS5R	1	1Y					1Y				
	微差圧発信器	PY8000D	1	1Y					1Y				
	デジタル指示調節計 R36	R36	1	1Y					1Y				
	室内形温度センサ	TY7043Z	1				6M				6M		
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y				
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FE)	VY5110J	2	1Y					1Y				
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FE)	VY5115K	1	1Y					1Y				
Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y				不可	
AC-6(AHU-2)	電磁弁	-	1	1Y					1Y				
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1	1Y					1Y				
	挿入形露点温度センサ	HY7903	1	1Y					1Y				
	室内形湿度センサ	HY7043T	1				6M				6M		
	室内形温度センサ	TY7043Z	1				6M				6M		
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y				
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FE)	VY5110J	2	1Y					1Y				
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FE)	VY5115K	1	1Y					1Y				
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y				不可
AC-7(AH-1) 一般動物系統	挿入形露点温度センサ	HTY7903	1	1Y					1Y				
	室内形湿度センサ	HY7043T	1				6M				6M		
	微差圧発信器	PY8000D	1	1Y					1Y				
	微差圧スイッチ	PYY-604	2	1Y					1Y				
	デジタル指示調節計 R36	R36	1	1Y					1Y				

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
	ダイアトロール	R7372DN100	1	1Y					1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	2	1Y					1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	1				6M				6M	
	ニッケル測温抵抗体	TY750B (TY7500B16)	1	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5110J	2	1Y					1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5115K	1	1Y					1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y			不可

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断	
		機器形番	個数	総合	ルー プ	制御 動作	簡易	総合	ルー プ	制御 動作	簡易		
AC-8(AH-2) 感染動物系 統	電磁弁	-	1	1Y					1Y				
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1	1Y					1Y				
	室内形湿度センサ	HY7043T	1				6M				6M		
	挿入形露点センサ	HY7903T	1	1Y					1Y				
	モータンパ	KK-4F	3	1Y					1Y				
	モジュロールモータ	M904E	1	1Y					1Y				
	DC24V電源	PS5R	1	1Y					1Y				
	微差圧発信器	PY8000D	1	1Y					1Y				
	弁リネージ	Q445C	1	1Y					1Y				
	デジタル指示調節計 R36	R36	1	1Y					1Y				
	レソバイアス	RYY792B	1	1Y					1Y				
	室内形温度調節器	T9065A	1	1Y					1Y				
	室内形温度センサ	TY7043Z	1				6M				6M		
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y				
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y				
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5110J	2	1Y					1Y				
アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5115K	1	1Y					1Y					
Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y				不可	
VAV制御	VAV ※1	-	24				6M				6M		
	デジタル指示調節計 R36	R36	12	1Y					1Y				
	挿入形温度センサ	TY7803Z	12				6M				6M		
	直流入力変換器(2出力)	W5VS-AAA- M	12	1Y					1Y				

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
送水・還水圧力制御	現場形圧力指示調節計	KFP	4	1Y					1Y			
	ブルスアイ空気式圧力指示調節計	NFP2-12-2	1	1Y					1Y			
	ケーヅ形複座調節弁	VDC(1・1/2B)	2	1Y					1Y			
	ケーヅ形複座調節弁	VDC(2・1/2B)	2	1Y					1Y			
	ケーヅ形複座調節弁	VDC(3B)	1	1Y					1Y			
増築棟空調機制御(AHU-1)	インテリジェントコンポ 挿入形 露点センサ(温度付き)	HTY7903	1	1Y					1Y			
	室内形湿度センサ	HY7043T	2	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	MGG10C	2	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	MGG11D	2	1Y					1Y			
	DC24電源	PS5R	2	1Y					1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	2	1Y					1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	4	1Y					1Y			
	オペレータパネル(盤表面形)	QY5100W000	1	1Y					1Y			
	切替スイッチ	SW	1	1Y					1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	2					6M			6M	
	ユニット用温度検出器	TY7820Z	4	1Y					1Y			
	インテリジェントコンポ アクティ バル/フランジ形電動2方弁(F)	VY5160J	2	1Y					1Y			
	インテリジェントコンポ アクティ バル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5165K	1	1Y					1Y			
	積算熱量計演算部(感温部は TY7840を使用)	WTY8000A	2	1Y					1Y			
Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y			不可	

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
低温室温度制御	デジタル指示調節計 R36	R36	1	1Y					1Y			
	挿入形温度検出器	TE1F20C	1	1Y					1Y			
熱源廻り制御1(冷温水)	電極(5P)	-	1	1Y					1Y			
	液面レー	61F	1	1Y					1Y			
	圧力発信器	JTG940A	4	1Y					1Y			
	遮断弁	NEL-0(80A)	7	1Y					1Y			
	電動二方弁	NEL-1(100A)	1	1Y					1Y			
	電動二方弁	NEL-2(125A)	1	1Y					1Y			
	電動二方弁	NEL-2(150A)	2	1Y					1Y			
	DC24V電源	PS5R	4	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R15	R15T	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	8	1Y					1Y			
	レソバイアス	RYY792B	4	1Y					1Y			
	蓄熱槽用温度センサ(ワイヤンカ方式)Pt100Ω,0~80℃,耐熱ビニルリード線付	TY8301A	1	1Y					1Y			
アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁 (FF)	VY5113J	4	1Y					1Y				

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ルー プ	制御 動作	簡易	総合	ルー プ		制御 動作	簡易
熱源廻り制御2(温水)	電極(5P)	-	1	1Y					1Y			
	液面ルー	61F	2	1Y					1Y			
	電動二方弁	AEXGS- 223UUG-50	1	1Y					1Y			
	フロートスイッチ	FT-SS544N	1	1Y					1Y			
	圧力発信器	JTG940A	2	1Y					1Y			
	電動二方弁	NEL-0(80A)	1	1Y					1Y			
	電動二方弁	NEL-2(80A)	1	1Y					1Y			
	電動二方ボール弁	PMK-BT8-	1	1Y					1Y			
	DC24V電源	PS5R	2	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R15	R15T	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	5	1Y					1Y			
	レソハイアス	RYY792B	2	1Y					1Y			
	挿入形温度調節器	T6800Z	1	1Y					1Y			
	配管温度検出器(Pt100Ω)	TY7830B	1	1Y					1Y			
蓄熱槽用温度センサ(ワイヤアンカ方式)Pt100Ω,0~80℃,耐熱ビニルリード線付	TY8301A	1	1Y					1Y				
アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FV)	VY5113J	2	1Y					1Y				

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ルー プ	制御 動作	簡易	総合	ルー プ		制御 動作	簡易
熱量積算(冷温水)	電磁流量計検出器	KID70A	1	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	MGG10C	4	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	MGG11D	1	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	MGG11F	2	1Y					1Y			
	積算熱量計感温部	TY7840B	8	1Y					1Y			
	積算熱量計演算部(感温部は TY7840を使用)	WTY7201A	2	1Y					1Y			
	積算熱量計演算部(感温部は TY7840を使用)	WTY8000A	2	1Y					1Y			
流量積算(市水、雑用水、ガ ス、蒸気)	流量発信部	-	7	1Y					1Y			

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-1	挿入形露点温度発信器(高分子)	HY7901C	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M6285A	1	1Y					1Y			
	弁リレー	Q455F	1	1Y					1Y			
	壁取付形温湿度検出器	RHS301	1	1Y					1Y			
	室内形温度検出器	TY7010T	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y			
	電動二方弁‘アクティブ’	VY5110B	1	1Y					1Y			
	アクティブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110F	2	1Y					1Y			
	M10コントローラ ベーシックユニット 電源AC200V	WY7111B	1	1Y					1Y			
AC-2	室内形湿度センサ	HT7043T1000	1	1Y					1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	1	1Y					1Y			
	アクティブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5110J	1	1Y					1Y			
	アクティブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5115K	1	1Y					1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y			不可

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断			
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易	
AC-3 24H空調機	室内形湿度発信器	HY7012B	1				6M				6M		
	挿入形露点温度発信器	HY7015C	1	1Y					1Y				
	モジュロールモータ	M6285A	1	1Y					1Y				
	モジュロールモータ	M904F	1	1Y					1Y				
	電磁弁	N-15W200	1	1Y					1Y				
	弁リレー	Q455C	1	1Y					1Y				
	弁リレー	Q455F	1	1Y					1Y				
	室内形温度検出器 ※1	T7090C	1					6M				6M	
	挿入形温度センサ	TY7803	1	1Y					1Y				
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y				
	複座弁	V5064A	1	1Y					1Y				
M10コントローラ ベーシックユニット 電源AC200V	WY7111B	2	1Y					1Y					
AC-4 8H空調機	電磁弁	-	1	1Y					1Y				
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1	1Y					1Y				
	室内形湿度発信器 ※1	HY7012B	1				6M				6M		
	モジュロールモータ	M6285A	1	1Y					1Y				
	モジュロールモータ	M904F	1	1Y					1Y				
	弁リレー	Q455F	2	1Y					1Y				
	室内形温度検出器 ※1	T7090C	1				6M				6M		
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y				
複座弁	V5064A	1	1Y					1Y					

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
AC-5(AHU-1)	電磁弁	-	1	1Y					1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1	1Y					1Y			
	挿入形露点温度センサ	HY7903	1	1Y					1Y			
	室内形湿度センサ	HY7043T	1				6M				6M	
	DC24V電源	PS5R	1	1Y					1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	1	1Y					1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	1				6M				6M	
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁 (FF)	VY5110J	2	1Y					1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁 (FF)	VY5115K	1	1Y					1Y			
Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y			不可	
AC-6(AHU-2)	電磁弁	-	1	1Y					1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1	1Y					1Y			
	挿入形露点温度センサ	HY7903	1	1Y					1Y			
	室内形湿度センサ	HY7043T	1				6M				6M	
	室内形温度センサ	TY7043Z	1				6M				6M	
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁 (FF)	VY5110J	2	1Y					1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁 (FF)	VY5115K	1	1Y					1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y			不可
AC-7(AH-1) 一般動物系統	挿入形露点温度センサ	HTY7903	1	1Y					1Y			
	室内形湿度センサ	HY7043T	1				6M				6M	
	微差圧発信器	PY8000D	1	1Y					1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	2	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	1	1Y					1Y			

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
	ダイヤラトロール	R7372DN100	1	1Y					1Y			
	挿入形温度調節器	TY6800Z	2	1Y					1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	1				6M				6M	
	ニッケル測温抵抗体	TY750B (TY7500B16)	1	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2 方弁 (FF)	VY5110J	2	1Y					1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2 方弁 (FF)	VY5115K	1	1Y					1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y			不可

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
AC-8(AH-2) 感染動物系 統	電磁弁	-	1	1Y					1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1	1Y					1Y			
	室内形湿度センサ	HY7043T	1				6M				6M	
	挿入形露点センサ	HY7903T	1	1Y					1Y			
	モータンパ	KK-4F	3	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M904E	1	1Y					1Y			
	DC24V電源	PS5R	1	1Y					1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1	1Y					1Y			
	弁リネージ	Q445C	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	1	1Y					1Y			
	レシオバイアス	RYY792B	1	1Y					1Y			
	室内形温度調節器	T9065A	1	1Y					1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	1				6M				6M	
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	1	1Y					1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁 (FF)	VY5110J	2	1Y					1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2 方弁 (FF)	VY5115K	1	1Y					1Y			
Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y			不可	
VAV制御	VAV ※1	-	24				6M				6M	
	デジタル指示調節計 R36	R36	12	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	12				6M				6M	
	直流入力変換器(2出力)	W5VS-AAA- M	12	1Y					1Y			

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
送水・還水圧力制御	現場形圧力指示調節計	KFP	4	1Y					1Y			
	パルスアイ空気式圧力指示調節計	NFP2-12-2	1	1Y					1Y			
	ケージ形複座調節弁	VDC(1・1/2B)	2	1Y					1Y			
	ケージ形複座調節弁	VDC(2・1/2B)	2	1Y					1Y			
	ケージ形複座調節弁	VDC(3B)	1	1Y					1Y			
増築棟空調機制御(AHU-1)	インテリジェントコンポ 挿入形 露点センサ(温度付き)	HTY7903	1	1Y					1Y			
	室内形湿度センサ	HY7043T	2	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	MGG10C	2	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	MGG11D	2	1Y					1Y			
	DC24電源	PS5R	2	1Y					1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	2	1Y					1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	4	1Y					1Y			
	オペレータパネル(盤表面形)	QY5100W000	1	1Y					1Y			
	切替スイッチ	SW	1	1Y					1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	2				6M				6M	
	ユニット用温度検出器	TY7820Z	4	1Y					1Y			
	インテリジェントコンポ アクティ バル/フランジ形電動2方弁(F)	VY5160J	2	1Y					1Y			
	インテリジェントコンポ アクティ バル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5165K	1	1Y					1Y			
	積算熱量計演算部(感温部は TY7840を使用)	WTY8000A	2	1Y					1Y			
Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y			不可	

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
低温室温度制御	デジタル指示調節計 R36	R36	1	1Y					1Y			
	挿入形温度検出器	TE1F20C	1	1Y					1Y			
熱源廻り制御1(冷温水)	電極(5P)	-	1	1Y					1Y			
	液面レー	61F	1	1Y					1Y			
	圧力発信器	JTG940A	4	1Y					1Y			
	遮断弁	NEL-0(80A)	7	1Y					1Y			
	電動二方弁	NEL-1(100A)	1	1Y					1Y			
	電動二方弁	NEL-2(125A)	1	1Y					1Y			
	電動二方弁	NEL-2(150A)	2	1Y					1Y			
	DC24V電源	PS5R	4	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R15	R15T	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	8	1Y					1Y			
	レソハバイス	RYY792B	4	1Y					1Y			
	蓄熱種用温度センサ(ワイヤンカ方式)Pt100Ω,0~80℃,耐熱ビニルリード線付	TY8301A	1	1Y					1Y			
アクティバル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5113J	4	1Y					1Y				

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ		制御動作	簡易
熱源廻り制御2(温水)	電極(5P)	-	1	1Y					1Y			
	液面ルー	61F	2	1Y					1Y			
	電動二方弁	AEXGS-223UUG-50	1	1Y					1Y			
	ポートスイッチ	FT-SS544N	1	1Y					1Y			
	圧力発信器	JTG940A	2	1Y					1Y			
	電動二方弁	NEL-0(80A)	1	1Y					1Y			
	電動二方弁	NEL-2(80A)	1	1Y					1Y			
	電動二方ホール弁	PMK-BT8-	1	1Y					1Y			
	DC24V電源	PS5R	2	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R15	R15T	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	5	1Y					1Y			
	レソバイアス	RYY792B	2	1Y					1Y			
	挿入形温度調節器	T6800Z	1	1Y					1Y			
	配管温度検出器(Pt100Ω)	TY7830B	1	1Y					1Y			
	蓄熱槽用温度センサ(ワイヤアンカ方式)Pt100Ω,0~80℃,耐熱ビニルリード線付	TY8301A	1	1Y					1Y			
アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5113J	2	1Y					1Y				

2.10.RI動物実験施設棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
熱量積算(冷温水)	電磁流量計検出器	KID70A	1	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	MGG10C	4	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	MGG11D	1	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	MGG11F	2	1Y					1Y			
	積算熱量計感温部	TY7840B	8	1Y					1Y			
	積算熱量計演算部(感温部は TY7840を使用)	WTY7201A	2	1Y					1Y			
	積算熱量計演算部(感温部は TY7840を使用)	WTY8000A	2	1Y					1Y			
流量積算(市水、雑用水、ガ ス、蒸気)	流量発信部	-	7	1Y					1Y			

2.11.附属図書館

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
AC-1系統空調機	絶縁トランス	AT72-J1	1	1Y					1Y			
	CO2濃度発信器	CY8100C	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M904F	2	1Y					1Y			
	弁リネージ	Q455C	2	1Y					1Y			
	壁取付形温湿度検出器	RHS301	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	2	1Y					1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211A	1	1Y					1Y			
AC-2系統空調機	絶縁トランス	AT72-J1	1	1Y					1Y			
	CO2濃度発信器	CY8100C	1	1Y					1Y			
	モジュロールモータ	M904F	1	1Y					1Y			
	コントロールモータ“アクティモア”	MY3000F	1	1Y					1Y			
	弁リネージ	Q455C	2	1Y					1Y			
	壁取付形温湿度検出器	RHS301	1	1Y					1Y			
	単座弁	V5063A	2	1Y					1Y			
	IDCベーシックユニット 電源 AC100V	WY7211A	1	1Y					1Y			
流量積算(市水、雑用水、ガ ス、蒸気)	流量発信部	-	3	1Y					1Y			

2.11.附属図書館

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
冷温水発生機制御	差圧発信器	JTG930A	1	1Y					1Y			
	電磁流量計検出器	KID70A	1	1Y					1Y			
	電磁流量計変換器	MGG10C	1	1Y					1Y			
	OI	QY2010D0000	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R35	R35	1	1Y					1Y			
	DC24V電源	RY7910D	1	1Y					1Y			
	DC24V電源	S82K	3	1Y					1Y			
	配管温度検出器(Pt100Ω)	TY7830B	2	1Y					1Y			
	電動二方弁'アクティブ'	VY5110B	1	1Y					1Y			
	コントロールモジュール、本体	WY2000B	1	1Y					1Y			

2.12.廃液処理場

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
流量積算(市水、雑用水、ガス、蒸気)	流量発信部	-	7	1Y					1Y			

2.13.病院棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
AC-A-1	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	2			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5140J	2			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5145K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
AC-A-2	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	2			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5140J	2			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5145K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M

2.13.病院棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-A-3	CO2濃度発信器	CY8100C	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	2			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5140J	2			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5145K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
AC-A-4	室内形温湿度センサ	HTY7043	8			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	9			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	9			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	2			1Y			1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	1			1Y			1Y			
	レソハイアス	RYY792B	2			1Y			1Y			
	DC24V電源	RYY792D	9			1Y			1Y			
	アイソレータ	RYY792S	8			1Y			1Y			
	スイッチング・パワーサプライ	S8VS	8			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5140J	4			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5145K	2			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M

2.13.病院棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ルー プ	制御 動作	簡易	総合	ルー プ	制御 動作	簡易	
AC-A-5	室内形温湿度センサ	HTY7043	2			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	6			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	2			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	DC24V電源	RYY792D	2			1Y			1Y			
	スイッチング・パワーサプライ	S8VS	2			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5140J	2			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5145K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
AC-A-6	室内形温湿度センサ	HTY7043	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	6			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5140J	2			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5145K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M

2.13.病院棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
AC-A-7	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	6			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5140J	2			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5145K	1			1Y			1Y			
	Infilex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
AC-A-8	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	2			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5140J	2			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5145K	1			1Y			1Y			
	Infilex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
AC-A-9	CO2濃度発信器	CY8100C	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5140J	2			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5145K	1			1Y			1Y			
	Infilex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M

2.13.病院棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-A-10	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	5			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	2			1Y			1Y			
	ネオパネル	QY7025A	2			1Y			1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	2			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5140J	2			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5145K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
	Inflex FC	WY5205A	2			1Y			1Y			
AC-A-11	CO2濃度発信器	CY8100C	2			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	9			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	1			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5143J	1			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2 方弁(FF)	VY5145J	1			1Y			1Y			
	アクティブル/電動2方弁(FF)	VY5145K	1			1Y			1Y			
Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M	

2.13.病院棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
AC-A-12	CO2濃度発信器	CY8100C	2			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	9			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5143J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5145J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/電動2方弁(FF)	VY5145K	1			1Y			1Y			
Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M	
AC-A-13	CO2濃度発信器	CY8100C	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	15			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5143J	1			1Y			1Y			
	アクティブバルブ/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5145J	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M

2.13.病院棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
AC-A-15	CO2濃度発信器	CY8100C	1			1Y			1Y			
	室内形温湿度センサ	HTY7043	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	ネオプレート	QY7290A	1			1Y			1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2 方弁 (FF)	VY5140J	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M
AC-A-16	CO2濃度発信器	CY8100C	1			1Y			1Y			
	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6040A	2			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2 方弁 (FF)	VY5140J	1			1Y			1Y			
	アクティバル/フランジ形電動2 方弁 (FF)	VY5145K	1			1Y			1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M

2.13.病院棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
AC-A-17	挿入形温湿度センサ	HTY7803	1			1Y			1Y			
	挿入形露点センサ(温度付き)	HTY7903	1			1Y			1Y			
	直結形ガンパ操作器	MY6050A	2			1Y			1Y			
	DC電源	PS5R	1			1Y			1Y			
	微差圧発信器	PY8000D	1			1Y			1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	2			1Y			1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	1			1Y			1Y			
	レソバマス	RYY792B	1			1Y			1Y			
	アソレータ	RYY792S	1			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5140J	2			1Y			1Y			
	アクティブル/フランジ形電動2方弁(FF)	VY5145J	1			1Y			1Y			
Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1			1Y			1Y			1M	
B1FUPS室ファン-PAC発停制御	デジタル指示調節計 R36	R36	1	1Y					1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	1	1Y					1Y			
	漏水検出器	WLS302C	2	1Y					1Y			
B1F電気室ファン-PAC発停制御	デジタル指示調節計 R36	R36	1	1Y					1Y			
	室内形温度センサ	TY7043Z	1	1Y					1Y			
	漏水検出器	WLS302C	2	1Y					1Y			

2.13.病院棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断	
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作
クリーンファンコイルユニット 制御	ファンコイル用比例弁専用アクチュエータ	MY5560C	195			6M				6M	
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	45			6M				6M	
	室内形温度センサ	TY7043Z	37			6M				6M	
	ユニット用温度センサ	TY7820Z	8			6M				6M	
	ファンコイル用比例二方弁	VY5502A	195			6M				6M	
	Inflex FC	WY5205A	70			6M				6M	
	集中操作器「ネオターミナル」(SC- bus接続)	QY7209A	5			6M				6M	
ファイコイルユニット制御 薬 剤部	ファンコイル用比例弁専用アクチュエータ	MY5560C	70			6M				6M	
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	22			6M				6M	
	室内形温度湿度センサ	HTY7043	2			6M				6M	
	ユニット用温度センサ	TY7820Z0P00	20			6M				6M	
	ファンコイル用比例二方弁	VY5502A	70			6M				6M	
	Inflex FC	WY5205	36			6M				6M	
ファイコイルユニット制御(1)	ファンコイル用比例弁専用アクチュエータ	MY5560C	184			6M				6M	
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	65			6M				6M	
	ユニット用温度センサ	TY7820Z0P00	65			6M				6M	
	ファンコイル用比例二方弁	VY5502A	184			6M				6M	
	Inflex FC	WY5205A	92			6M				6M	

2.13.病院棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
ファンコイルユニット制御(2) (※1別紙に系統名を記載)	ファンコイル用比例弁専用アクチュエータ	MY5560C	238			6M ※1				6M ※1		
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	211			6M ※1				6M ※1		
	ユニット用温度センサ	TY7820Z0P00	217			6M ※1				6M ※1		
	ファンコイル用比例二方弁	VY5502A	238			6M ※1				6M ※1		
	Inflex FC	WY5205A	238			6M ※1				6M ※1		
ファンコイルユニット制御(3) (※2別紙に系統名を記載)	ファンコイル用比例弁専用アクチュエータ	MY5560C	238	1Y						1Y ※2		
	ネオパネル(縦形)	QY7205A	211	1Y						1Y ※2		
	ユニット用温度センサ	TY7820Z0P00	218	1Y						1Y ※2		
	ファンコイル用比例二方弁	VY5502A	238	1Y						1Y ※2		
	Inflex FC	WY5205A	238	1Y						1Y ※2		
	集中操作器「ネオターミナル」(SC-bus接続)	QY7209A	2			6M					6M	
フィルター監視制御	微差圧スイッチ ※1	CL13	8				6M				6M	
	微差圧スイッチ ※1	PYY-604	10				6M				6M	
還水槽制御	液面リレー	61F	1	1Y						1Y		
	フロートスイッチ	DFS-SS444N	1	1Y						1Y		
	配管温度検出器(Pt100Ω)	TY7830B	1	1Y						1Y		
室内温湿度計測系統	室内形温湿度センサ ※4	HTY7043	53				6M				6M	
	室内型温度センサ ※4	TY7043Z	31				6M				6M	

2.13.病院棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易	
蒸気流量計測	流量演算器	EL4100	2	1Y					1Y			
	圧力センサ	PY7100A	2	1Y					1Y			
	アイソレータ	RYY792S	2	1Y					1Y			
	過流量計	VXW1100	2	1Y					1Y			
水冷ヒートポンプコイル付ファンコイルユニット	ファンコイル用電動二方ボール弁 ※1	VY6202A	32				6M				6M	
	電動ボール弁 ※1	VY6300B	69				6M				6M	
貯湯槽廻り制御	デジタル指示調節計 R36	R36	4	1Y					1Y			
	挿入型温度調節器	TY6800Z	4	1Y					1Y			
	配管温度検出器(Pt100Ω)	TY7830B	4	1Y					1Y			
	アクティブバルブ/電動2方弁(FF)	VY5135K	4	1Y					1Y			
熱量計測	スマート電磁流量計	MGG10C	9	1Y					1Y			
	DC24V電源	S8VS	9	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ(PT100Ω)	TY7840B	18	1Y					1Y			
	積算熱量計演算部(感温部はTY7840を使用)	WTY8000A	9	1Y					1Y			

2.13.病院棟

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断	
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ	制御動作	簡易		
ハイブリット系統外調機制御	ダクト用温度・露点温度センサ	HTY7903T1P	1	1Y					1Y				
	InflexGCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y				1M
	差圧スイッチ	PYY-604	1	1Y					1Y				
	電動2方弁	VY5140J25A	2	1Y					1Y				
	電動2方弁 SR型	VY5135K25A	1	1Y					1Y				
	ダンパ操作器	MY6050A	1	1Y					1Y				
	絶縁トランス	ATY82Z	1	1Y					1Y				
	トランス	AT72-J1	4	1Y					1Y				
ハイブリット系統クリーンファンコイルユニット廻り制御	デジタル設定器	QY7205A	1			6M				6M			
	FCUコントローラ	WY5205W**	2			6M				6M			
	電動弁操作器	MY5560C	4			6M				6M			
	ファンコイル用2方ボール弁	VY5502A20A	4			6M				6M			

※1対象系統

新病棟217病室 FCU	新病棟266病室(PDT) FCU	新病棟625病室 FCU
新病棟218病室 FCU	新病棟267病室(PDT) FCU	新病棟626病室 FCU
新病棟219病室 FCU	新病棟268病室(PDT) FCU	新病棟627病室 FCU
新病棟220病室 FCU	新病棟351病室 FCU	新病棟611病室 FCU
新病棟221病室 FCU	新病棟352病室 FCU	新病棟610病室 FCU
新病棟222病室 FCU	新病棟353病室 FCU	新病棟609病室 FCU
新病棟223病室 FCU	新病棟355病室 FCU	新病棟608病室 FCU
新病棟225病室 FCU	新病棟356病室 FCU	新病棟607病室 FCU
新病棟226病室 FCU	新病棟357病室 FCU	新病棟606病室 FCU
新病棟211病室 FCU	新病棟358病室 FCU	新病棟605病室 FCU
新病棟210病室 FCU	新病棟359病室 FCU	新病棟603病室 FCU
新病棟209病室 FCU	新病棟360病室 FCU	新病棟602病室 FCU
新病棟208病室 FCU	新病棟361病室 FCU	新病棟601病室 FCU
新病棟207病室 FCU	新病棟376病室 FCU	新病棟717病室 FCU
新病棟206病室 FCU	新病棟375病室 FCU	新病棟718病室 FCU
新病棟205病室 FCU	新病棟373病室 FCU	新病棟719病室 FCU
新病棟203病室 FCU	新病棟372病室 FCU	新病棟720病室 FCU
新病棟202病室 FCU	新病棟371病室 FCU	新病棟721病室 FCU
新病棟201病室 FCU	新病棟370病室 FCU	新病棟722病室 FCU
新病棟317病室 FCU	新病棟369病室 FCU	新病棟723病室 FCU
新病棟318病室 FCU	新病棟368病室 FCU	新病棟725病室 FCU
新病棟319病室 FCU	新病棟367病室 FCU	新病棟726病室 FCU
新病棟320病室 FCU	新病棟451病室 FCU	新病棟711病室 FCU
新病棟321病室 FCU	新病棟452病室 FCU	新病棟710病室 FCU
新病棟322病室 FCU	新病棟456病室 FCU	新病棟709病室 FCU
新病棟323病室 FCU	新病棟457病室 FCU	新病棟708病室 FCU
新病棟325病室 FCU	新病棟458病室 FCU	新病棟707病室 FCU
新病棟326病室 FCU	新病棟459病室 FCU	新病棟706病室 FCU
新病棟311病室 FCU	新病棟460病室 FCU	新病棟705病室 FCU
新病棟310病室 FCU	新病棟461病室 FCU	新病棟703病室 FCU
新病棟309病室 FCU	新病棟517病室 FCU	新病棟702病室 FCU
新病棟308病室 FCU	新病棟518病室 FCU	新病棟701病室 FCU
新病棟307病室 FCU	新病棟519病室 FCU	新病棟809病室 FCU
新病棟306病室 FCU	新病棟520病室 FCU	新病棟810病室 FCU
新病棟305病室 FCU	新病棟521病室 FCU	新病棟811病室 FCU
新病棟303病室 FCU	新病棟522病室 FCU	新病棟812病室 FCU
新病棟302病室 FCU	新病棟523病室 FCU	新病棟813病室 FCU
新病棟301病室 FCU	新病棟525病室 FCU	新病棟815病室 FCU
新病棟416病室 FCU	新病棟526病室 FCU	新病棟807病室 FCU
新病棟417病室 FCU	新病棟527病室 FCU	新病棟806病室 FCU
新病棟418病室 FCU	新病棟511病室 FCU	新病棟805病室 FCU
新病棟419病室 FCU	新病棟510病室 FCU	新病棟803病室 FCU
新病棟420病室 FCU	新病棟509病室 FCU	新病棟802病室 FCU
新病棟421病室 FCU	新病棟508病室 FCU	新病棟801病室 FCU
新病棟422病室 FCU	新病棟507病室 FCU	新病棟808病室前室 FCU
新病棟407病室 FCU	新病棟506病室 FCU	新病棟551病室 FCU
新病棟406病室 FCU	新病棟505病室 FCU	新病棟552病室 FCU
新病棟402病室 FCU	新病棟503病室 FCU	新病棟553病室 FCU
新病棟401病室 FCU	新病棟502病室 FCU	新病棟555病室 FCU
新病棟251病室 FCU	新病棟501病室 FCU	新病棟556病室 FCU
新病棟252病室 FCU	新病棟617病室 FCU	新病棟557病室 FCU
新病棟253病室 FCU	新病棟618病室 FCU	新病棟558病室 FCU
新病棟255病室 FCU	新病棟619病室 FCU	新病棟559病室 FCU
新病棟256病室 FCU	新病棟620病室 FCU	新病棟560病室 FCU
新病棟257病室 FCU	新病棟621病室 FCU	新病棟561病室 FCU
新病棟258病室 FCU	新病棟622病室 FCU	新病棟577病室 FCU
新病棟259病室 FCU	新病棟623病室 FCU	新病棟576病室 FCU

新病棟575病室 FCU	新病棟デイルーム FCU	新病棟面談・症例検討室 FCU
新病棟573病室 FCU	新病棟デイルーム(床置) FCU	新病棟面談室-1 FCU
新病棟572病室 FCU	新病棟デイルーム FCU	新病棟面談室-2 FCU
新病棟571病室 FCU	新病棟デイルーム FCU	新病棟面談室(西) FCU
新病棟570病室 FCU	新病棟デイルーム(床置) FCU	新病棟面談室(西) FCU
新病棟569病室 FCU	新病棟デイルーム FCU	新病棟面談-2.CLS室 FCU
新病棟568病室 FCU	新病棟デイルーム FCU	新病棟面談-1 FCU
新病棟567病室 FCU	新病棟デイルーム(床置) FCU	新病棟面談(北) FCU
新病棟651病室 FCU	新病棟デイルーム FCU	新病棟面談室(東) FCU
新病棟652病室 FCU	新病棟デイルーム-1 FCU	新病棟面談室(東) FCU
新病棟653病室 FCU	新病棟デイルーム-2 FCU	新病棟面談室 FCU
新病棟655病室 FCU	新病棟デイルーム-2 FCU	新病棟面談室(西) FCU
新病棟656病室 FCU	新病棟8F東デイルーム FCU	新病棟面談室(西) FCU
新病棟657病室 FCU	新病棟デイルーム子 FCU	新病棟面談室(西) FCU
新病棟658病室 FCU	新病棟デイルーム(床置)子1 FCU	新病棟面談室(東) FCU
新病棟659病室 FCU	新病棟デイルーム(床置)子2 FCU	新病棟面談室(東) FCU
新病棟677病室 FCU	新病棟デイルーム(床置)子3 FCU	新病棟面談室(東) FCU
新病棟676病室 FCU	新病棟デイルーム子 FCU	新病棟面談室 FCU
新病棟675病室 FCU	新病棟デイルーム子 FCU	新病棟休憩室 FCU
新病棟673病室 FCU	新病棟デイルーム(床置)子1 FCU	新病棟休憩室 FCU
新病棟672病室 FCU	新病棟デイルーム(床置)子2 FCU	新病棟休憩室(西) FCU
新病棟671病室 FCU	新病棟デイルーム(床置)子3 FCU	新病棟休憩室(西) FCU
新病棟670病室 FCU	新病棟デイルーム子 FCU	新病棟休憩室(輸血) FCU
新病棟669病室 FCU	新病棟デイルーム子 FCU	新病棟休憩室(東) FCU
新病棟668病室 FCU	新病棟デイルーム(床置)子1 FCU	新病棟休憩室(東) FCU
新病棟667病室 FCU	新病棟デイルーム(床置)子2 FCU	新病棟休憩室(東) FCU
新病棟751病室 FCU	新病棟デイルーム(床置)子3 FCU	新病棟NICU休憩室 FCU
新病棟752病室 FCU	新病棟デイルーム子 FCU	新病棟休憩室(西) FCU
新病棟753病室 FCU	新病棟デイルーム-1子 FCU	新病棟休憩室(西) FCU
新病棟755病室 FCU	新病棟8F東デイルーム子 FCU	新病棟休憩室(西) FCU
新病棟756病室 FCU	新病棟ICU器材室-1 FCU	新病棟休憩室(西) FCU
新病棟757病室 FCU	新病棟ICU器材室-1子 FCU	新病棟休憩室(東) FCU
新病棟758病室 FCU	新病棟サーバー室・器材室2 FCU	新病棟休憩室(東) FCU
新病棟759病室 FCU	新病棟手術器材室-1 FCU	新病棟休憩室(東) FCU
新病棟760病室 FCU	新病棟手術器材室-1子 FCU	新病棟資料室・データ管理室 FCU
新病棟761病室 FCU	新病棟人口心臓器材室 FCU	新病棟管理室 FCU
新病棟776病室 FCU	新病棟器材室(北) FCU	新病棟管理室 FCU
新病棟775病室 FCU	新病棟器材室(西) FCU	新病棟手術管理室 FCU
新病棟773病室 FCU	新病棟器材室(西) FCU	新病棟医薬品管理室 FCU
新病棟772病室 FCU	新病棟器材室(西) FCU	医薬品管理室子 FCU
新病棟771病室 FCU	新病棟器材室(東) FCU	新病棟管理室 FCU
新病棟770病室 FCU	新病棟器材室 FCU	新病棟管理室(西) FCU
新病棟769病室 FCU	新病棟NICU器材室-2 FCU	新病棟管理室(西) FCU
新病棟768病室 FCU	新病棟NICU器材室-1 FCU	新病棟管理室 FCU
新病棟767病室 FCU	新病棟器材室(北西) FCU	新病棟管理室(東) FCU
新病棟766病室 FCU	新病棟器材室(西) FCU	新病棟管理室(東) FCU
新病棟851病室 FCU	新病棟器材室(北西) FCU	新病棟管理室(西) FCU
新病棟852病室 FCU	新病棟器材室(西) FCU	新病棟管理室(西) FCU
新病棟853病室 FCU	新病棟器材室(北西) FCU	新病棟管理室(西) FCU
新病棟855病室 FCU	新病棟器材室(西) FCU	新病棟管理室(西) FCU
新病棟856病室 FCU	新病棟器材室 FCU	新病棟管理室(東) FCU
新病棟857病室 FCU	新病棟器材室(東) FCU	新病棟管理室(東) FCU
新病棟858病室 FCU	新病棟器材室(北東) FCU	新病棟管理室(東) FCU
新病棟859病室 FCU	新病棟器材室(東) FCU	新病棟洗髪・洗濯(東) FCU
新病棟860病室 FCU	新病棟器材室(処置2) FCU	新病棟ICU当直室 FCU
新病棟861病室 FCU	新病棟器材室(東) FCU	新病棟D当直(西) FCU
新病棟862病室 FCU	新病棟器材室 FCU	新病棟D当直(東) FCU

新病棟N当直(西)FCU	滅菌室子FCU	新病棟開放WC(男)FCU
新病棟N当直(東)FCU	新病棟製剤室(西)FCU	新病棟閉鎖WC(男)FCU
新病棟当直室FCU	製剤室(西)子FCU	新病棟閉鎖WC(女)FCU
新病棟更衣室(女子)FCU	新病棟製剤室(東)FCU	新病棟診察室(3)FCU
新病棟更衣室(男子)FCU	製剤室(東)子FCU	新病棟診察室(4)FCU
新病棟スタッフ更衣室(男)FCU	新病棟製剤室前室FCU	新病棟診察室(1)FCU
新病棟スタッフ更衣室(男子)FCU	新病棟調剤室(北)FCU	新病棟診察室(1)前室FCU
新病棟スタッフ更衣室(女)FCU	調剤室(北)子FCU	新病棟展望喫茶(西)FCU
新病棟スタッフ更衣室(女子)FCU	新病棟調剤室(南)FCU	新病棟展望喫茶(西)子FCU
新病棟洗浄室(東)FCU	調剤室(南)子FCU	新病棟展望喫茶(中)FCU
新病棟洗浄室(東)子FCU	新病棟メッセンジャー控室FCU	新病棟展望喫茶(中)子1FCU
新病棟洗浄室(中)FCU	新病棟注射調剤室(西)FCU	新病棟展望喫茶(中)子2FCU
新病棟洗浄室(中)子FCU	注射調剤室(西)子1FCU	新病棟展望喫茶(東)FCU
新病棟洗浄室(西)FCU	注射調剤室(西)子2FCU	新病棟展望喫茶(東)子FCU
新病棟洗浄室(西)子1FCU	新病棟注射調剤室(東)FCU	新病棟家族室FCU
新病棟洗浄室(西)子2FCU	新病棟払出し室FCU	
新病棟事務室FCU	新病棟倉庫2(床置)FCU	
新病棟資料室FCU	倉庫2(床置)子FCU	
新病棟調整室FCU	新病棟床頭台サービス室FCU	
新病棟ME部 保管エリアFCU	新病棟薬物治療支援室FCU	
新病棟ME部 保管エリア子FCU	新病棟麻薬金庫FCU	
新病棟事務室FCU	新病棟会計課事務室FCU	
新病棟更衣室(女子)FCU	会計課事務室子FCU	
新病棟更衣室(男子)FCU	新病棟薬剤管理指導室(東)FCU	
新病棟リネン保管室FCU	薬剤管理指導室(東)子FCU	
新病棟中央倉庫FCU	新病棟薬剤管理指導室(西)FCU	
新病棟中央倉庫子1FCU	薬剤管理指導室(西)子FCU	
新病棟中央倉庫子2FCU	新病棟ミーティング室FCU	
新病棟中央倉庫子3FCU	ミーティング室子FCU	
新病棟ミーティング室FCU	新病棟風除室FCU	
新病棟病院物流事務FCU	新病棟学習室FCU	
新病棟病院物流事務子1FCU	新病棟プレイルームFCU	
新病棟病院物流事務子2FCU	新病棟プレイルーム子FCU	
新病棟病院物流事務子3FCU	新病棟面会室FCU	
新病棟病院物流事務子4FCU	新病棟前室-1FCU	
新病棟病院物流事務子5FCU	新病棟PDT処置室FCU	
新病棟ICU医師室FCU	新病棟通路-2FCU	
新病棟看護師室FCU	新病棟輸血検査室FCU	
新病棟ICU待合コーナーFCU	新病棟輸血検査室子1FCU	
新病棟家族室-1FCU	新病棟輸血検査室子2FCU	
新病棟調整室FCU	新病棟輸血検査室子3FCU	
新病棟調整室子FCU	新病棟輸血検査室子4FCU	
新病棟家族控室FCU	新病棟輸血検査室子5FCU	
新病棟待合ロビーFCU	新病棟輸血前室FCU	
新病棟リカバリーFCU	新病棟受付FCU	
新病棟手術受付前室FCU	新病棟自己血処置室FCU	
新病棟トランスファーホールFCU	新病棟患者待合FCU	
新病棟スタッフ前室FCU	新病棟汚物処理室FCU	
新病棟NラウンジFCU	新病棟新生児検査室FCU	
新病棟DラウンジFCU	新病棟陣痛-1FCU	
新病棟スタッフ更衣室(男)FCU	新病棟陣痛-2FCU	
新病棟スタッフ更衣室(男子)FCU	新病棟分娩前室FCU	
新病棟スタッフ更衣室(女)FCU	新病棟授乳室FCU	
新病棟スタッフ更衣室(女子)FCU	新病棟新生児室FCU	
新病棟検査室FCU	新病棟新生児室子FCU	
新病棟医師室FCU	新病棟器材(指導室)FCU	
新病棟医師室子FCU	新病棟診察室(2)FCU	
新病棟滅菌室FCU	新病棟開放WC(女)FCU	

※2 対象系統

新病棟看護学生室 FCU	新病棟廊下3(西) FCU	新病棟機械浴室前室 FCU
新病棟看護学生室 FCU	新病棟廊下4(西) FCU	新病棟機械浴室前室 FCU
新病棟看護学生室 FCU	新病棟廊下3(西) FCU	新病棟機械浴室前室 FCU
新病棟看護学生室 FCU	新病棟廊下4(西) FCU	新病棟カンファレンス子 FCU
新病棟看護学生室 FCU	新病棟廊下3(西) FCU	新病棟カンファレンス(西)子 FCU
新病棟看護学生室 FCU	新病棟廊下4(西) FCU	新病棟カンファレンス(東)子 FCU
新病棟看護学生室 FCU	新病棟廊下-4(東) FCU	新病棟カンファレンス(西)子 FCU
新病棟医学生室 FCU	新病棟廊下3(東) FCU	新病棟カンファレンス(東)子 FCU
新病棟医学生室 FCU	新病棟廊下4(東) FCU	新病棟カンファレンス(西)子 FCU
新病棟医学生室 FCU	新病棟廊下4(東) FCU	新病棟カンファレンス(東)子 FCU
新病棟医学生室 FCU	新病棟廊下6 FCU	新病棟カンファレンス(西)子 FCU
新病棟医学生室 FCU	新病棟廊下3(西) FCU	新病棟カンファレンス(東)子 FCU
新病棟医学生室 FCU	新病棟廊下4(西) FCU	新病棟カンファレンス(西)子 FCU
新病棟医学生室 FCU	新病棟廊下3(西) FCU	新病棟カンファレンス(東)子 FCU
新病棟カンファレンス FCU	新病棟廊下4(西) FCU	新病棟カンファレンス(西)子 FCU
新病棟カンファレンス FCU	新病棟廊下3(西) FCU	新病棟カンファレンス(東)子 FCU
新病棟カンファレンス(西) FCU	新病棟廊下4(西) FCU	新病棟カンファレンス(西)子 FCU
新病棟カンファレンス(東) FCU	新病棟廊下3(西) FCU	新病棟カンファレンス(東)子 FCU
新病棟カンファレンス(西) FCU	新病棟廊下4(西) FCU	
新病棟カンファレンス(東) FCU	新病棟廊下4(東) FCU	
新病棟カンファレンス(西) FCU	新病棟廊下3(東) FCU	
新病棟カンファレンス(東) FCU	新病棟廊下4(東) FCU	
新病棟カンファレンス(西) FCU	新病棟廊下3(東) FCU	
新病棟カンファレンス(東) FCU	新病棟廊下4(東) FCU	
新病棟カンファレンス(西) FCU	新病棟廊下3(東) FCU	
新病棟カンファレンス(東) FCU	新病棟廊下4(東) FCU	
新病棟カンファレンス(西) FCU	新病棟廊下(5) FCU	
新病棟カンファレンス(東) FCU	新病棟データ管理室 FCU	
新病棟カンファレンス(西) FCU	新病棟システム管理室 FCU	
新病棟カンファレンス(東) FCU	新病棟洗髪・洗濯(西) FCU	
新病棟サービスホール FCU	新病棟洗髪・洗濯(西) FCU	
新病棟サービスホール FCU	新病棟洗髪・洗濯(西) FCU	
新病棟サービスホール FCU	新病棟洗髪・洗濯(東) FCU	
新病棟サービスホール FCU	新病棟洗髪・洗濯(東) FCU	
新病棟サービスホール FCU	新病棟洗髪・洗濯(東) FCU	
新病棟サービスホール FCU	新病棟洗髪・洗濯(西) FCU	
新病棟サービスホール FCU	新病棟洗髪・洗濯(西) FCU	
新病棟サービスホール FCU	新病棟洗髪・洗濯(東) FCU	
新病棟ELVホール(給食) FCU	新病棟洗髪・洗濯(東) FCU	
新病棟ELVホール FCU	新病棟浴室・脱衣 FCU	
新病棟ELVホール子 FCU	新病棟浴室・脱衣 FCU	
新病棟ELVホール FCU	新病棟浴室・脱衣(東) FCU	
新病棟ELVホール子 FCU	新病棟浴室・脱衣(西) FCU	
新病棟ELVホール FCU	新病棟シャワー脱衣(西) FCU	
新病棟ELVホール子 FCU	新病棟シャワー・脱衣(西) FCU	
新病棟ELVホール FCU	新病棟浴室脱衣 FCU	
新病棟ELVホール子 FCU	新病棟シャワー脱衣 FCU	
新病棟ELVホール FCU	新病棟シャワー脱衣(東) FCU	
新病棟ELVホール子 FCU	新病棟脱衣室 FCU	
新病棟ELVホール FCU	新病棟サービスホール子 FCU	
新病棟ELVホール子 FCU	新病棟サービスホール子 FCU	
新病棟ELVホール FCU	新病棟サービスホール子 FCU	
新病棟ELVホール子 FCU	新病棟サービスホール子 FCU	
新病棟廊下2 FCU	新病棟サービスホール子 FCU	
新病棟廊下2子 FCU	新病棟サービスホール子 FCU	
新病棟廊下-1 FCU	新病棟サービスホール子 FCU	

2.14.PET-CT

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御動作	簡易	総合	ループ		制御動作	簡易
AC-8	挿入形露点センサ	HY7903T	1	1Y					1Y			
	リミットコントロール	L4029E	1	1Y					1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	1	1Y					1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	2	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y			1M
パッケージ制御	室内形湿度センサ ※5	HY7043T	4				6M				6M	
	リミットコントロール ※5	L4029E	4				6M				6M	
	オペレータパネル(盤表面形)	QY5100W000	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	4	1Y					1Y			
	室内形温度センサ ※5	TY7043Z	4				6M				6M	
計測系統	流量発信部 ※5	-	6				6M				6M	
排気ファン制御	直結形ダンパ操作器 ※5	MY6050A	2				6M				6M	
	微差圧スイッチ ※5	PYY-604	2				6M				6M	

2.15.サイクロトロン機1RP-1

系統名	機器名称	機 器		夏 季			冬 季			BAS 診断		
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ		制御 動作	簡易
AC-4. HWU-124H空調	挿入形露点センサ	HY7903T	1	1Y					1Y			
	リミットコントロール	L4029E	1	1Y					1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	1	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
	Inflex GCベースモジュール	WY5111W	1	1Y					1Y			1M
AC-5. HWU-28H空調	挿入形露点センサ	HY7903T	1	1Y					1Y			
	リミットコントロール	L4029E	1	1Y					1Y			
	直結形ダンパ操作器	MY6050A	1	1Y					1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
	Inflex GDベースモジュール	WY5110W	1	1Y					1Y			
HU-1AC-4用外気1次処理	リミットコントロール	L4029E	1	1Y					1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1	1Y					1Y			
	挿入形温度センサ	TY7803Z	1	1Y					1Y			
パッケージ制御	室内形湿度センサ ※1	HY7043T	3					6M				6M
	リミットコントロール ※1	L4029E	3	1Y					1Y			
	オペレータパネル(盤表面形)	QY5100W000	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	3	1Y					1Y			
	室内形温度センサ ※1	TY7043Z	3					6M				6M

2.15.サイクロトロン棟1RP-1

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
ファン制御	直結形ダンパ操作器	MY6050A	1	1Y					1Y			
	直結形ダンパ操作器 ※6	MY6050A	1				6M				6M	
	微差圧発信器	PY8000D	1	1Y					1Y			
	微差圧スイッチ	PYY-604	1	1Y					1Y			
	微差圧スイッチ ※6	PYY-604	4				6M				6M	
	DC24V電源	RYY792D	1	1Y					1Y			
	デジタル指示調節計 R36	R36	1	1Y					1Y			
計測系統	流量発信部 ※6	-	4				6M				6M	

2.16.フォトン研究棟 RP-1

系統名	機器名称	機 器		夏 季				冬 季				BAS 診断
		機器形番	個数	総合	ループ	制御 動作	簡易	総合	ループ	制御 動作	簡易	
計測系統	電力計測モジュール多回路	GY8102	4	1Y					1Y			

- ※1 室内天井内設置の為入室が困難
- ※2 別紙系統名を記載
- ※3 別途系統名を記載
- ※4 手術室系統室内の為入室が困難
- ※5 R管理区域内の為入室が困難

空気源装置

エネルギーセンター

系統名	機器名	型番	数量	機種名	点検周期
空気源装置	エアーコンプレッサ (本体及び付属機器)	AL22S	1台	スクリーコンプレッサ	6M
	エアーコンプレッサ (本体及び付属機器)	PO-11MNP6	1台	無給油式レシプロコンプレッサ	
	除湿機(エアドライヤー) (本体及び付属機器)	RAX-37F	1台	除湿機	
	圧力調節器	L404F	2個	電気式調節器	
	圧力発信器	JTG	1台	電子式検出器	
	デジタル指示調節計	R36	1台	電子式調節計	
	制御盤		1面	制御盤	

5. 2(B)業務要領

1. 中央監視設備

中央監視装置 savic-netFX

機種	保守項目	総合 点検	ループ 点検	備考
1. SMS II	(1)システム情報・設定情報の確認 (2)インジケータ表示確認 (3)データファイルのバックアップ作成 (4)システム各種ログの保存 (5)内部温度状態の確認 (6)電源・バッテリー状態の確認 (7)給電状態の確認 (8)ハードディスク状態の確認 (9)Ethernet通信状態の確認 (10)各部のクリーンアップ (11)ケーブル、コネクタ類の装着状態の確認 (12)外観点検 (13)バッテリーの定期交換	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	4Y
2. DSS II	(1)システム情報・設定情報の確認 (2)インジケータ表示確認 (3)データファイルのバックアップ作成 (4)システム各種ログの保存 (5)内部温度状態の確認 (6)電源・バッテリー状態の確認 (7)給電状態の確認 (8)ハードディスク状態の確認 (9)Ethernet通信状態の確認 (10)各部のクリーンアップ (11)ケーブル、コネクタ類の装着状態の確認 (12)外観点検 (13)バッテリーの定期交換	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	4Y
3. SCS	(1)システム情報・設定情報の確認 (2)インジケータ表示確認 (3)データファイルのバックアップ作成 (4)システム各種ログの保存 (5)内部温度状態の確認 (6)電源・バッテリー状態の確認 (7)給電状態の確認 (8)Ethernet通信状態の確認 (9)NC-bus通信状態の確認 (10)各部のクリーンアップ (11)ケーブル、コネクタ類の装着状態の確認 (12)外観点検 (13)バッテリーの定期交換	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	4Y

※ 監視用PCおよびプリンタは非常要請のみです。

ビルマネージメントシステム(分離型)

機種	保守項目	総合 点検	ループ 点検	備考
1. 本体	(1)データファイルのバックアップ作成	○	○	A
	(2)自動シャットダウン機能の確認	○		C
	(3)各部のクリーンアップ	○		C
	(4)自己診断プログラムによるハードウェア診断	○		C
	(5)ハードディスクドライブ/フロッピーディスクドライブ /光磁気ディスクドライブの機能確認	○	○	A
	(6)フロッピーディスクドライブ/光磁気ディスクドライブの ヘッドクリーニング	○	○	A
	(7)インジケータ表示確認	○	○	A
	(8)ケーブル、コネクタ類の装着状態確認	○	○	C
	(9)冷却ファンの動作確認	○	○	A
	(10)ハードウェア構成の確認	○	○	A
2. 分電ユニット (PDU)	(1)受電電圧の測定	○		C
	(2)電源、接地端子等の締付確認	○		C
	(3)各部のクリーンアップ	○		C
	(4)サージアブソーバの交換			2Y
	(5)受電インジケータの確認	○	○	A
	(6)ケーブル、コネクタ類の装着状態確認	○	○	C
3. 無停電電源 装置 (UPS)	(1)バックアップ動作の確認	○		C
	(2)電源断検出レベルの確認	○		C
	(3)UPS出力電圧測定	○		C
	(4)UPS外観点検	○		C
4. システム機能	(1)チェックプログラムによる診断	○	○	A
	(2)システムのイベントログの確認、保存	○	○	A
	(3)データベース動作状態の確認	○	○	A
	(4)エラーログの保存	○	○	A
6. キーボード/ マウス	(1)動作点検 ①キーボード ②マウス	○	○	A A B
	(2)各部のクリーンアップ	○	○	
7. C R T	(1)消磁	○	○	A
	(2)設定要素の確認 ①色ズレ、色ムラの確認 ②フォーカス確認 ③コントラスト、画面サイズ、表示位置の確認、調整	○	○	A A A
	(3) 外観のクリーンアップ	○		B
		○		

中央監視装置 savic-netFX BAS 診断

◎BAS 診断は、遠隔から実施致します。

ユニット	保守項目	点検 周期	作業 条件
1. SMS II	(1)システム情報・設定の確認	1M	A
	(2)データファイルのバックアップ作成	1M	A
	(3)システム各種ログの保存	1M	A
	(4)内部温度状態の確認	1M	A
	(5)電源・バッテリー状態の確認	1M	A
	(6)ハードディスク状態の確認	1M	A
	(7)Ethernet通信状態の確認	1M	A
2. DSS II	(1)システム情報・設定の確認	1M	A
	(2)データファイルのバックアップ作成	1M	A
	(3)システム各種ログの保存	1M	A
	(4)内部温度状態の確認	1M	A
	(5)電源・バッテリー状態の確認	1M	A
	(6)ハードディスク状態の確認	1M	A
	(7)Ethernet通信状態の確認	1M	A
3. SCS	(1)システム情報・設定情報の確認	1M	A
	(2)データファイルのバックアップ作成	1M	A
	(3)システム各種ログの保存	1M	A
	(4)内部温度状態の確認	1M	A
	(5)電源・バッテリー状態の確認	1M	A
	(6)Ethernet通信状態の確認	1M	A
	(7)NC-bus通信状態の確認	1M	A
4. リモートユニッ ト	(1)エラー情報の確認	1M	A
	(2)データファイルのバックアップ作成	1M	A

機種	保守項目	総合 点検	ループ 点検	備考
UPS (中・大規模 :1kVA 超)	(1)外観点検	○	○	A
	(2)表示灯の点灯状態確認	○	○	A
	(3)設置環境の確認	○	○	A
	(4)ファンの動作確認及び交換	○		B
	(5)電圧及び電流の測定	○		B
	①無負荷時の入出力電圧			
	②実負荷時の出力電圧、電流			
	(6)内部クリーンアップ	○		C
	(7)単体動作確認	○		C
	①始動・停止			
	②停電・復電			
	③インバータ自己切換			
	④バイパス手動切換			
	(8)実負荷時の動作確認	○		C
(9)バッテリーの電圧測定及び交換	○		C	

2. 自動制御機器

電気式制御機器

機種	保守項目	総合点検	ループ点検	備考
1. 温度調節器 湿度調節器 圧力調節器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 外観のクリーンアップ (3) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (4) 内部機械的可動部分の動作確認 (5) 比例帯又はディファレンシャルの調整 (6) 実測に対する点検校正 (7) 調節器と操作部等関連部とのループ作動点検調整 (8) 規定値の設定 (9) 最適値の設定 (10) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
2. 操作器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 外観のクリーンアップ (3) リンケージ組付状態の確認及びストローク調整・回転角度の調整 (4) モータの回転作動・回転角度の点検 (5) ポテンシオメータ接触点の清掃及び点検 (6) バランシングリレー作動点検 (7) 調節器と操作器とのループ作動点検・調整 (8) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	
3. 自動制御用 調節弁	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 外観のクリーンアップ (3) グランド部漏れ点検 (4) バルブストローク作動点検及び閉止位置での漏れ点検・調整 (5) 検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整 (6) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	

電子式制御機器

機種	保守項目	総合点検	ループ点検	備考
1. 検出器 発信器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 外観のクリーンアップ (3) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (4) 実測による誤差点検及び校正 (5) 検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整 (6) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	
2. 調節計	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 外観のクリーンアップ (3) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (4) 各設定の確認・調整 (比例帯・積分値・微分値・不感帯・動作隙間) (5) 実測に対する点検校正 (6) 検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整 (7) 規定値の設定 (8) 最適値の設定 (9) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	
3. 調節計 (プログラマブル式)	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 外観のクリーンアップ (3) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (4) 電源電圧・各制御電圧の点検 (5) 各ファイルのデリート状態及びエラー状態の確認 (6) 軽故障・アラーム状態・システムエラー値の点検・確認 (7) 制御パラメータ及び制御プログラムの作動の確認 (8) 上位伝送状態の点検確認 (9) 各入出力信号(発停・警報・アナログ)に対する調節計の作動点検 (10) 実測に対する点検校正 (11) 検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整 (12) 規定値の設定 (13) 最適値の設定 (14) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	

機 種	保 守 項 目	総 合 点 検	ル ー プ 点 検	備 考
4. 変換器	(1)外観目視点検及び取付状態の確認 (2)外観のクリーンアップ (3)配線端子のゆるみ点検及び増締 (4)電源・電圧の点検 (5)ゼロ・スパン調整 (6)各設定に対する出力信号の点検・調整 (7)検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整 (8)実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	
5. 操作器	(1)外観目視点検及び取付状態の確認 (2)外観のクリーンアップ (3)リンケージ組付状態の確認及びストローク調整・回転角度の調整 (4)モータの回転作動・回転角度の点検 (5)ポテンシオメータ接触点の清掃及び点検 (6)検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整 (7)実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	
6. 自動制御用 調節弁	(1)外観目視点検及び取付状態の確認 (2)外観のクリーンアップ (3)グランド部漏れ点検 (4)バルブストローク作動点検及び閉止位置での漏れ点検・調整 (5)検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整 (6)実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	

空気式制御機器

機種	保守項目	総合点検	ループ点検	備考
1. 温度調節器 湿度調節器 圧力調節器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 外観のクリーンアップ (3) 内部機械的可動部分の点検・動作確認 (4) ノズル・フラップの点検 (5) プレッシャーゲージによる調節部のキャリブレーション (6) 比例帯の点検・調整 (7) 実測に対する校正点検 (8) 調節器と操作部等関連部とのループ作動点検調整 (9) 規定値の設定 (10) 最適値の設定 (11) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
2. 検出器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 外観のクリーンアップ (3) センサー配管のエア漏れのチェック (4) 検出器・調節計・補器・操作部等関連部とのループ作動点検調整 (5) 実制御に於ける制御状態での点検・確認	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
3. 調節計	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 外観のクリーンアップ (3) 各エア漏れの点検 (4) 供給空気圧の確認 (5) リンク機構部の点検 (6) 各設定の確認・調整 (比例帯・オーソリティ・積分値・微分値) (7) 実測に対する校正点検 (8) 検出器・調節計・補器・操作部等関連部とのループ作動点検調整 (9) 規定値の設定 (10) 最適値の設定 (11) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	

機 種	保 守 項 目	総 合 点 検	ル ー プ 点 検	備 考
4. 補器	(1)外観目視点検及び取付状態の確認 (2)外観のクリーンアップ (3)各エア漏れの点検 (4)供給空気圧の確認 (5)入力による出力信号の確認・調整 (6)検出器・調節計・補器・操作部等関連部とのループ 作動点検調整 (7)実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
5. 操作器(部)	(1)外観目視点検及び取付状態の確認 (2)外観のクリーンアップ (3)各エア漏れの点検 (4)ポジションナの作動点検・調整 (5)ヨーク・ダンパリンクージ組付状態の確認及びストロ ーク調整・回転角度の調整 (6)アークチェータの作動能力点検 (7)検出器・調節計・補器・操作部等関連部とのループ 作動点検調整 (8)実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
6. 自動制御用 調節弁	(1)外観目視点検及び取付状態の確認 (2)外観のクリーンアップ (3)グランド部漏れ点検 (4)バルブストローク作動点検及び閉止位置での漏れ点 検・調整 (5)検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのル ープ作動点検調整 (6)実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	

デジタル式制御機器

機種	保守項目	総合点検	ループ点検	備考
1. 温度発信器 湿度発信器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認	○	○	
	(2) 外観のクリーンアップ	○	○	
	(3) 配線端子のゆるみ点検及び増締	○		
	(4) 実測による誤差点検及び点検校正	○		
	(5) 伝送電圧の点検	○		
	(6) コントローラとの伝送状態の点検確認	○	○	
	(7) 検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整	○	○	
	(8) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○		
2. コントローラ	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認	○	○	
	(2) 外観のクリーンアップ	○	○	
	(3) 配線端子のゆるみ点検及び増締	○		
	(4) 電源電圧・各制御電圧の点検及びバックアップ電池の点検	○		
	(5) バックアップ電池の定期的交換		○	
	(6) 各ファイルのデリート状態及びエラー状態の確認	○		
	(7) 軽故障・アラーム状態・システムエラー値の点検・確認	○	○	
	(8) 制御パラメータ及び制御プログラムの作動確認	○		
	(9) 上位伝送状態の点検確認	○	○	
	(10) 各センサー・変換器との伝送状態の点検・確認	○		
	(11) アナログデータに対する誤差試験	○		
	(12) 各入出力信号(発停・警報・アナログ)に対する調節計の作動点検	○		
	(13) 発信器・コントローラ・変換器・操作部等関連部とのループ作動点検調整	○	○	
	(14) 規定値の設定	○	○	
	(15) 最適値の設定	○		
	(16) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○		

機種	保守項目	総合点検	ループ点検	備考
3. 変換器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 外観のクリーンアップ (3) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (4) 電源・電圧の点検 (5) ゼロ・スパン調整 (6) 各設定に対する出力信号の点検・調整 (7) 伝送電圧の点検 (8) コントローラとの伝送状態の点検確認 (9) 発信器・コントローラ・変換器・操作部等関連部とのループ作動点検調整 (10) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
4. 操作器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 外観のクリーンアップ (3) リンケージ組付状態の確認及びストローク調整・回転角度の調整 (4) モータの回転作動・回転角度の点検 (5) ポテンシオメータ接触点の清掃及び点検 (6) 伝送電圧の点検 (7) コントローラとの伝送状態の点検確認 (8) 発信器・コントローラ・変換器・操作部等関連部とのループ作動点検調整 (9) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	

デジタル式制御機器(M10/IDC/ICC/Inflex/インテリ ジェントコンボ)

機 種	保 守 項 目	総 合 点 検	ル ー プ 点 検	備 考
1. 制御動作	(1)制御パラメータの設定確認 (2)設定変更による関連部とのループ作動確認 (3)制御状態の確認 (4)実制御における制御精度の確認 (5)実制御状態における制御の安定性の確認 (6)空調チェックツールによる制御診断 (※対応機器のみ)	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	※インテリ ジェントコンボ (フェーズ2以 降対応)
2. センサ (検出器・発信器)	(1)設置環境及び取付位置・状態の確認 (2)クリーンアップ (3)配線端子の緩み点検及び増締め (4)作業用計測器による実測値との誤差点検及び校正	○ ○ ○ ○	○ ○	
3. コントローラ	(1)外観、目視点検 (2)インジケータの確認 (3)配線端子、取付状態の緩み確認及び増締め (4)クリーンアップ (5)メモリバックアップバッテリーの外観点検及び交換年月日の確認 (6)データファイルのバックアップ作成 (7)エラー情報の確認	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
4. 操作器 (バルブ、ダンパ)	(1)外観目視点検(汚れ・損傷・漏れ等) (2)クリーンアップ (3)駆動部の作動確認 (4)配線端子・取付状態の緩み点検及び増締め	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
5. バルブ (流量計測制御 機能付)	(1)外観目視点検(汚れ・損傷・漏れ等) (2)クリーンアップ (3)駆動部の作動確認 (4)配線端子・取付状態の緩み点検及び増締め (5)バルブ開度検出精度の確認 (6)差圧検出精度の確認	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	

通信インターフェイス機器 (IRCM, DIF, MC)

機 種	保 守 項 目	総 合 点 検	ル ー プ 点 検	備 考
1. 通信I/F	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 外観のクリーンアップ (3) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (4) 電源電圧・各制御電圧の点検及びバックアップ電池 の点検 (5) エラー状態の確認 (6) 通信状態の点検確認 (7) 規定値の設定確認	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	

空調 制御動作点検

◎空調 制御動作点検は、遠隔から実施致します。

対象系統	保守項目	使用計測点	報告 周期
別紙対象系統を記載	(1)室内温度制御状態の点検・確認 ①実制御状態における制御精度の確認 ②実制御状態における制御の安定性の確認 ③適正な制御パラメータへの補正 ④機器の動作確認	空調機状態 室内温度 室内温度設定 弁開度	別紙回数 記載
	(2)室内湿度制御状態の点検・確認 ①実制御状態における制御精度の確認 ②実制御状態における制御の安定性の確認 ③適正な制御パラメータへの補正 ④機器の動作確認	空調機状態 室内湿度 室内湿度設定 加湿弁開度/加湿器状態	
	(3)給気温度制御状態の点検・確認 ①実制御状態における制御精度の確認 ②実制御状態における制御の安定性の確認 ③適正な制御パラメータへの補正 ④機器の動作確認	空調機状態 給気温度 給気温度設定 弁開度	
	(4)還気温度制御状態の点検・確認 ①実制御状態における制御精度の確認 ②実制御状態における制御の安定性の確認 ③適正な制御パラメータへの補正 ④機器の動作確認	空調機状態 還気温度 還気温度設定	
	(5)還気湿度制御状態の点検・確認 ①実制御状態における制御精度の確認 ②実制御状態における制御の安定性の確認 ③適正な制御パラメータへの補正 ④機器の動作確認	空調機状態 還気湿度 還気湿度設定 加湿弁開度/加湿器状態	
	(6)給気温度リミット制御状態の点検・確認 ①制御パラメータ及び制御プログラム・機器の動作確認	空調機状態 給気温度	
	(7)ウォーミングアップ制御 ①制御パラメータ及び制御プログラム・機器の動作確認	空調機状態 加湿弁開度/加湿器状態/ダンパ開度	
	(8)空調機停止時のインターロック制御 ①制御パラメータ及び制御プログラム・機器の動作確認	空調機状態 弁開度/加湿弁開度/加湿器状態/ダンパ開度	
	(9)CO2 制御 ①実制御状態における制御精度の確認 ②実制御状態における制御の安定性の確認 ③適正な制御パラメータへの補正 ④機器の動作確認	空調機状態 CO ₂ 濃度 CO ₂ 濃度設定 外気ダンパ開度	

簡易点検 不具合発見を主な目的とした保守

空気源装置

機種	保守項目	備考
1. 空気圧縮機 エアコンプレッサ	(1)コンプレッサのピストンリング・吸入弁・吐出弁・フィルターの交換 (2)バルブカバーパッキング・電磁弁のエアリークの点検・確認 (3)ドレントラップの点検・調整 (4)安全弁の作動点検・調整 (5)発停マグネットスイッチ・圧力スイッチの作動確認・調整 (6)異常音の有無の確認 (7)制御盤内各リレー等の点検・整備	
2. 2次フィルタ	(1)フィルタエレメントの点検および交換	
3. 減圧弁	(1)2次圧力の点検・調整 (2)エアリーク点検	
4. 除湿装置	(1)入口温度・出口温度・ブライン温度の状態確認 (2)エアリーク・ブライン液漏れ確認 (3)温度調節器の作動確認・調整 (4)高圧側・低圧側圧力の状態確認 (5)ブロンズフィルタの点検・交換 (6)ドレントラップの点検	

交換部品 平成28年度は2号機のみ

1、2号機(レシプロ式)	(1台分数量)
レンゼツホウクミ	3個
タマジクウケ	2個
オイルシール	1個
ピストンピン	3個
ロッカクアナツキボルト	6個
Fベンセット	3個
ヘッドボルトパッキン	3個
アンローダピストンクミ	3個
ロカキツメモノ	3個
エレメント	2個
ドレンコック	2個
アンセンベンクミ	1個
Vボルト	1個

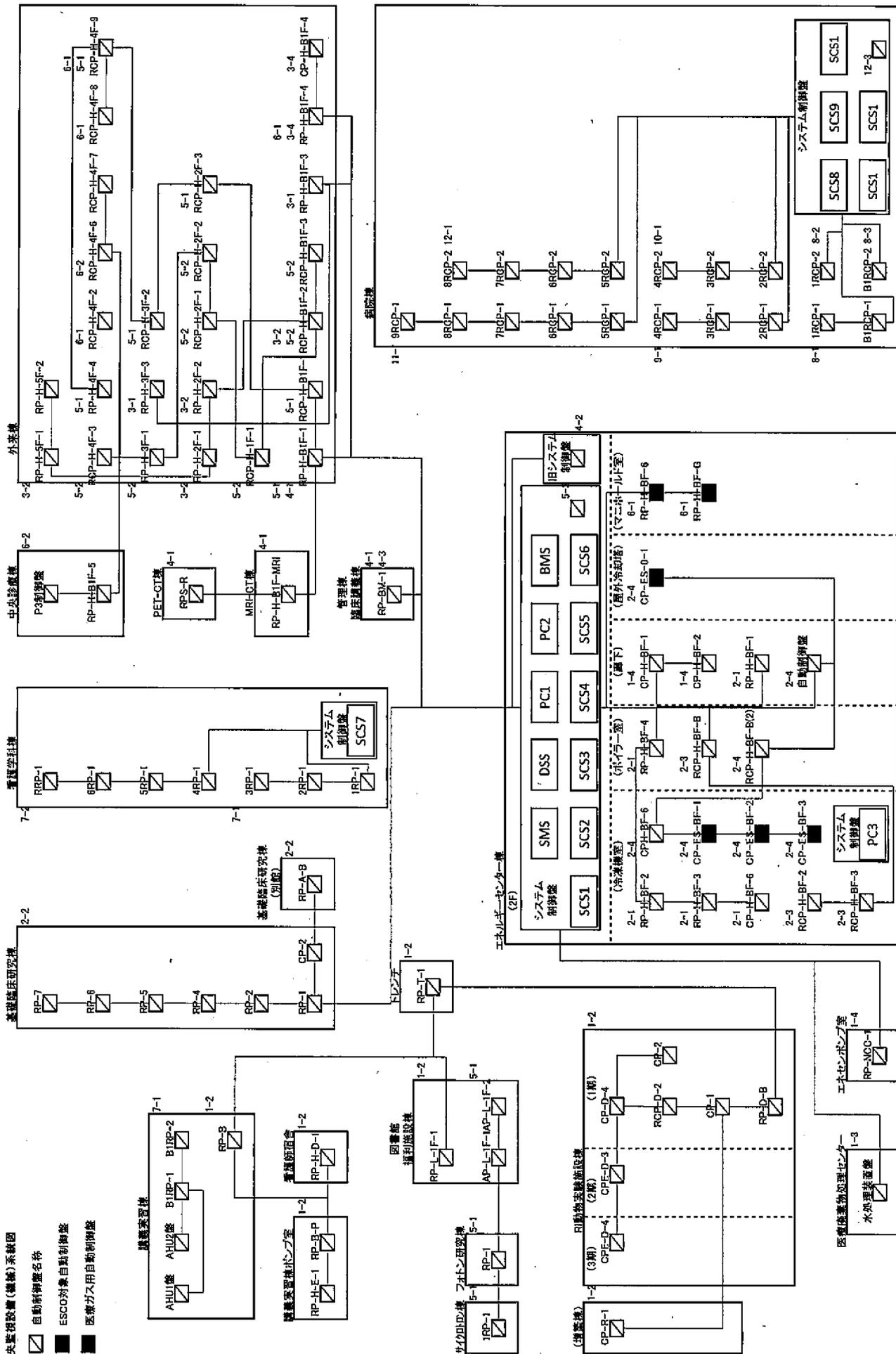
5. 2. (C) 取替部品

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
空気源装置 NO. 1, NO. 2		2台				
接続棒組		3組/台	1Y	○	○	○
玉軸受		2個/台	1Y	○	○	○
オイルシール		1個/台	1Y	○	○	○
ピストンピン		3個/台	1Y	○	○	○
六角穴付きボルト		6個/台	1Y	○	○	○
F弁セット		3組/台	1Y	○	○	○
ヘッドホルバッキン		3個/台	1Y	○	○	○
アンローダピストン組		3組/台	1Y	○	○	○
ろ過機つめもの		3個/台	1Y	○	○	○
エレメント		2個/台	1Y	○	○	○
ドレンコック		2個/台	1Y	○	○	○
安全弁組		1組/台	1Y	○	○	○
Vベルト		1個/台	1Y	○	○	○
制御機器 (AC-33A 系統)						
直結型ダンパ操作器	MY9050A	2台			○	
DC 12V電源	RYY792D	1台			○	
DC 24V電源	RYY792D	1台			○	
微差圧スイッチ	PYY-CL13	1台			○	
遠隔手動設定器	Q406B	2台			○	
壁取付型温度検出器	HTY7043D	1台			○	
ダクト取付型温度検出器	HTY7803D	1台			○	
DDCコントローラー		1式				○
制御機器 (AC-33B 系統)						
DC 12V電源	RYY792D	2台			○	
DC 24V電源	RYY792D	1台			○	
微差圧スイッチ	PYY-CL13	1台			○	
壁取付型温度検出器	HTY7043D	1台			○	
ダクト取付型温度検出器	HTY7803D	1台			○	
DDCコントローラー		1式				○

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
制御機器 (AC-34 系統)						
DC12V電源	RYY792D	1台			○	
壁取付型温度検出器	HTY7043D	1台			○	
DDCコントローラー		1式				○
制御機器 (AC-35 系統)						
DC24V電源	RYY792D	1台			○	
壁取付型温度検出器	HTY7043D	1台			○	
挿入型温度調節器	TY6800Z	1台			○	
室内型温度検出器	TY7053Z	6台			○	
挿入型温度調節器	TY7803Z	1台			○	
制御機器 (AC-36 系統)						
DC12V電源	RYY792D	1台			○	
微差圧スイッチ	PYY-CL13	1台			○	
壁取付型温度検出器	HTY7043D	1台			○	
DDCコントローラー		1式				○
制御機器 (AC-42 系統)						
DC12V電源	RYY792D	1台			○	
集中操作器	QY7209A	1台			○	
壁取付型温度検出器	HTY7043D	1台			○	
サブコントローラー	SCM	1台			○	
制御機器 (AC-46 系統)						
DC12V電源	RYY792D	1台			○	
壁取付型温度検出器	HTY7043D	1台			○	
挿入型温度調節器	TY7803Z	1台			○	
制御機器 (AC-52 系統)						
DC12V電源	RYY792D	1台			○	
壁取付型温度検出器	HTY7043D	1台			○	
挿入型温度調節器	TY7803Z	1台			○	
制御機器 (基礎臨床研究棟)						
酸素センサー	OS-3S	6個	1Y	○	○	○

中央監視設備(機械)系統図

- 自動制御盤名
- ESCO対象自動制御盤
- 医療ガス用自動制御盤



6. 防災等設備

6.1 消防用設備等

6.1.1 業務対象設備

6.1.(A) 業務対象設備の概要による。
2019年度基礎臨床研究棟の第3期改修工事エリア分を中止する。

6.1.2 点検項目、点検内容及び点検周期

6.1.(B) 業務要領 消防用設備等による。

6.1.3 取替部品

6.1.4 業務報告書

業務完了後(第1・2回)に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・試験成績書
- ・業務記録写真

書式は、次による。

消防法に基づく点検結果報告書の様式

提出部数は次による。

病院等年1回消防へ提出する建物

総合点検時2部、機器点検時1部

その他の建物

2020年度のみ総合点検時2部、それ以外は各1部とする。

6.1.5 その他

6.1 消防用設備等

6.1(A) 業務対象設備の概要

設置場所	講義実習棟	講義実習棟	講義実習棟	講義実習棟	講義実習棟
区分	自動火災報知設備	非常放送設備	防排煙設備	ハロゲン化物 消火設備	ガス漏れ 火災警報設備
項目	機器点検 総合点検	機点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成25年3月	昭和50年3月	平成25年3月	昭和63年	昭和60年3月
備考				平成25年2月 容器更新	平成21年3月 検知器更新
設置場所	講義実習棟	講義実習棟	講義実習棟	講義実習棟	基礎臨床研究棟
区分	誘導灯及び 誘導標識	非常照明設備	非常電話設備	屋内消火栓設備	自動火災報知 設備
項目	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	昭和50年3月	昭和50年3月	昭和50年3月	昭和50年3月	平成25年3月
備考				平成16年8月 ホース取替	
設置場所	基礎臨床研究棟	基礎臨床研究棟	基礎臨床研究棟	基礎臨床研究棟	基礎臨床研究棟
区分	非常放送設備	防排煙設備	ガス漏れ 火災警報設備	誘導灯及び 誘導標識	非常照明設備
項目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	昭和56年3月	平成25年3月	昭和60年3月	昭和51年3月	昭和51年3月
備考	平成11年 アンプ更新		平成21年3月 検知器更新		

設置場所	基礎臨床研究棟	基礎臨床研究棟	基礎臨床研究棟	基礎臨床研究棟	医工連携拠点棟
区分	非常コンピュータ設備	非常電話設備	屋内消火栓設備	連結送水管	自動火災報知設備
項目	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	昭和51年3月	昭和51年3月	昭和51年3月	昭和51年3月	平成31年3月
備考			平成16年8月 ホース取替		
設置場所	医工連携拠点棟	医工連携拠点棟	医工連携拠点棟	医工連携拠点棟	医工連携拠点棟
区分	非常放送設備	防排煙設備	誘導灯及び 誘導標識	非常照明設備	屋内消火栓設備
項目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成31年3月	平成31年3月	平成31年3月	平成31年3月	平成31年3月
備考					
設置場所	エネルギーセンター	エネルギーセンター	エネルギーセンター	エネルギーセンター	エネルギーセンター
区分	自動火災報知 設備	非常放送設備	防排煙設備	二酸化炭素 消火設備	ガス漏れ 火災警報設備
項目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	昭和51年3月	昭和51年3月	昭和51年3月	平成9年	昭和60年3月
備考		平成11年3月 アンプ更新			平成21年3月 検知器更新
設置場所	エネルギーセンター	エネルギーセンター	エネルギーセンター	エネルギーセンター	エネルギーセンター
区分	火災通報設備	誘導灯及び 誘導標識	非常照明設備	屋内消火栓設備	消防用水
項目	機器点検	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成8年3月	昭和51年3月	昭和51年3月	昭和51年3月	昭和51年3月
備考				平成16年8月 ホース取替	

設置場所	倉庫 (旧特高変電所)	附属図書館	附属図書館	附属図書館	附属図書館
区分	自動火災報知設備	自動火災報知設備	非常放送設備	防排煙設備	誘導灯及び誘導標識
項目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成25年3月	平成25年3月	昭和56年3月	平成25年3月	昭和53年11月
備考			平成11年3月 アンプ更新		
設置場所	附属図書館	附属図書館	附属図書館	福利施設棟	福利施設棟
区分	非常照明設備	非常電話設備	屋内消火栓設備	自動火災報知設備	非常放送設備
項目	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	昭和56年3月	昭和53年11月	昭和51年3月	平成25年3月	昭和56年3月
備考			平成16年8月 ホース取替		
設置場所	福利施設棟	福利施設棟	福利施設棟	福利施設棟	体育館
区分	防排煙設備	誘導灯及び誘導標識	非常照明設備	屋内消火栓設備	自動火災報知設備
項目	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成25年3月	昭和51年3月	昭和51年3月	昭和51年3月	平成25年3月
備考				平成16年8月 ホース取替	
設置場所	体育館	体育館	RI動物実験施設	RI動物実験施設	RI動物実験施設
区分	非常照明設備	非常電話設備	自動火災報知設備	非常放送設備	防排煙設備
項目	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	昭和51年3月	昭和51年3月	昭和52年3月	昭和56年3月	昭和52年3月
備考			平成11年11月 受信機更新 平成22年3月 感知器更新	平成15年3月 アンプ更新	

設置場所	RI 動物実験施設	RI 動物実験施設	RI 動物実験施設	RI 動物実験施設	RI 動物実験施設
区 分	避難器具設備	誘導灯及び誘導標識	非常照明設備	非常電話設備	屋内消火栓設備
項 目	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	昭和52年3月	昭和52年3月	昭和52年3月	昭和52年3月	昭和52年3月
備 考					平成16年8月 ホース取替
設置場所	管理棟	管理棟	管理棟	管理棟	管理棟
区 分	自動火災報知設備	非常放送設備	防排煙設備	ガス漏れ 火災警報設備	誘導灯及び誘導標識
項 目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成25年3月	昭和52年3月	平成25年3月	昭和58年3月	昭和52年3月
備 考				平成21年3月 検知器更新	
設置場所	管理棟	管理棟	管理棟	臨床講義棟	臨床講義棟
区 分	非常照明設備	非常電話設備	屋内消火栓設備	自動火災報知設備	非常放送設備
項 目	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	昭和52年3月	昭和52年3月	昭和52年3月	平成25年3月	昭和52年3月
備 考			平成16年8月 ホース取替		
設置場所	臨床講義棟	臨床講義棟	臨床講義棟	臨床講義棟	臨床講義棟
区 分	防排煙設備	ガス漏れ 火災警報設備	誘導灯及び誘導標識	非常照明設備	屋内消火栓設備
項 目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成25年3月	昭和58年3月	昭和52年3月	昭和52年3月	昭和52年3月
備 考		平成21年3月 検知器更新			平成16年8月 ホース取替

設置場所	船岡山宿舎 1号棟	船岡山宿舎 1号棟	船岡山宿舎 1号棟	船岡山宿舎 1号棟	船岡山宿舎 1号棟
区 分	自動火災報知 設備	非常放送設備	防排煙設備	避難器具設備	非常照明設備
項 目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成7年3月	平成7年3月	平成7年3月	平成7年3月	平成7年3月
備 考					
設置場所	船岡山宿舎 1号棟	船岡山宿舎 1号棟	国際交流会館	国際交流会館	国際交流会館
区 分	非常電話設備	屋内消火栓設備	自動火災報知 設備	防排煙設備	避難器具設備
項 目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成7年3月	平成7年3月	平成8年3月	平成8年3月	平成8年3月
備 考					
設置場所	国際交流会館	国際交流会館	看護学科棟	看護学科棟	看護学科棟
区 分	火災通報設備	非常照明設備	自動火災報知 設備	非常放送設備	防排煙設備
項 目	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成8年3月	平成8年3月	平成9年7月	平成9年7月	平成9年7月
備 考					
設置場所	看護学科棟	看護学科棟	看護学科棟	看護学科棟	看護学科棟
区 分	誘導灯及び 誘導標識	非常照明設備	非常電話設備	屋内消火栓設備	連結送水管
項 目	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成9年7月	平成9年7月	平成9年7月	平成9年7月	平成9年7月
備 考					

設置場所	フォトン研究棟	フォトン研究棟	フォトン研究棟		
区分	自動火災報知設備	非常放送設備	誘導灯及び誘導標識		
項目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検		
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照		
設置年月	平成11年12月	平成11年12月	平成11年12月		
備考					
設置場所		半田山会館	半田山会館	半田山会館	半田山会館
区分		自動火災報知設備	火災通報設備	誘導灯及び誘導標識	非常照明設備
項目		機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検
数量等		数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月		昭和55年2月	平成9年12月	昭和55年2月	昭和55年2月
備考		平成9年12月 受信機更新		平成23年2月 灯具更新	
設置場所	探索的臨床研究施設	探索的臨床研究施設	探索的臨床研究施設	探索的臨床研究施設	外来棟
区分	自動火災報知設備	非常放送設備	誘導灯及び誘導標識	非常照明設備	自動火災報知設備
項目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成13年12月	平成13年12月	平成13年12月	平成13年12月	昭和52年11月
備考					平成25年7月 感知器更新
設置場所	外来棟	外来棟	外来棟	外来棟	外来棟
区分	非常放送設備	防排煙設備	ハロゲン化物 消火設備	簡易自動消火 設備	スプリンクラー 設備
項目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	昭和52年11月	昭和52年11月	昭和52年11月	平成6年3月	昭和52年11月
備考	平成25年7月 スリッカー更新	平成25年7月 リース更新			平成25年7月 ホップ・ ヘッド等更新

設置場所	外来棟	外来棟	外来棟	外来棟	外来棟
区 分	ガス漏れ火災 警報設備	火災通報設備	誘導灯及び 誘導標識	非常照明設備	非常電話設備
項 目	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	昭和58年3月	平成8年3月	昭和52年11月	昭和52年11月	昭和52年11月
備 考	平成8年3月 検知器更新		平成25年7月 灯具更新	平成25年7月 灯具更新	
設置場所	外来棟	外来棟	外来棟	MRI-CT装置棟	MRI-CT装置棟
区 分	屋内消火栓設備	連結送水管	消防用水	自動火災報知 設備	非常放送設備
項 目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	昭和52年11月	昭和52年11月	昭和52年11月	平成2年3月	平成2年3月
備 考	平成25年7月 一部更新				
設置場所	MRI-CT装置棟	MRI-CT装置棟	MRI-CT装置棟	MRI-CT装置棟	MRI-CT装置棟
区 分	防排煙設備	スプリンクラー 設備	誘導灯及び 誘導標識	非常照明設備	非常電話設備
項 目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成2年3月	平成2年3月	平成2年3月	平成2年3月	平成2年3月
備 考			平成11年11月 更新		
設置場所	中央診療棟	中央診療棟	中央診療棟	中央診療棟	中央診療棟
区 分	自動火災報知 設備	非常放送設備	防排煙設備	スプリンクラー 設備	誘導灯及び 誘導標識
項 目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成5年3月	平成5年3月	平成5年3月	平成5年3月	平成5年3月
備 考	平成25年7月 感知器更新	平成25年7月 スピーカー更新	平成25年7月 ワイヤレス更新	平成25年7月 ホンフ・ ヘッド等更新	平成25年7月 灯具更新

設置場所	中央診療棟	中央診療棟	保育所	保育所	船岡山宿舎 2号棟
区 分	非常照明設備	非常電話設備	誘導灯及び 誘導標識	非常照明設備	自動火災報知 設備
項 目	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成5年3月	平成5年3月	平成19年4月	平成19年4月	平成20年3月
備 考	平成25年7月 灯具更新				
設置場所	船岡山宿舎 2号棟	病棟	病棟	病棟	病棟
区 分	非常警報設備	自動火災報知 設備	非常放送設備	防排煙設備	スプリンクラー 設備
項 目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成20年3月	平成21年6月	平成21年6月	平成21年6月	平成21年6月
備 考					
設置場所	病棟	病棟	病棟	病棟	特高変電所
区 分	誘導灯及び 誘導標識	非常照明設備	非常電話設備	連結送水管	自動火災報知 設備
項 目	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成21年6月	平成21年6月	平成21年6月	平成21年6月	平成21年6月
備 考					
設置場所		PET-CT棟	PET-CT棟	PET-CT棟	PET-CT棟
区 分		自動火災報知 設備	非常放送設備	誘導灯及び 誘導標識	非常照明設備
項 目		機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検
数 量 等		数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月		平成23年2月	平成23年2月	平成23年2月	平成23年2月
備 考					

設置場所	サウナ棟	サウナ棟	サウナ棟	サウナ棟	サウナ棟
区 分	自動火災報知設備	非常放送設備	火災通報設備	誘導灯及び誘導標識	非常照明設備
項 目	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成23年2月	平成23年2月	平成23年9月	平成23年2月	平成23年2月
備 考					
設置場所	保育所	保育所	講義実習棟	基礎臨床研究棟	医工連携拠点棟
区 分	火災通報設備	非常警報設備	消火器	消火器	消火器
項 目	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検	機器点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成19年4月	平成19年4月			
備 考					
設置場所	エネルギーセンター	倉庫 (旧特高変電所)	附属図書館	福利施設棟	体育館
区 分	消火器	消火器	消火器	消火器	消火器
項 目	機器点検	機器点検	機器点検	機器点検	機器点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月					
備 考					
設置場所	RI 動物実験施設	管理棟	臨床講義棟	船岡山宿舍 1号棟	フォトン研究棟
区 分	消火器	消火器	消火器	消火器	消火器
項 目	機器点検	機器点検	機器点検	機器点検	機器点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月					
備 考					

設置場所		半田山会館	探索的臨床研究施設	外来棟	MRI-CT装置棟
区 分		消火器	消火器	消火器	消火器
項 目		機器点検	機器点検	機器点検	機器点検
数 量 等		数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月		平成23年2月	平成23年9月	平成23年2月	平成23年2月
備 考					
設置場所	中央診療棟	保育所	船岡山宿舎 2号棟棟	病棟	特高変電所
区 分	消火器	消火器	消火器	消火器	消火器
項 目	機器点検	機器点検	機器点検	機器点検	機器点検
数 量 等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成19年4月	平成19年4月			
備 考					
設置場所		PET-CT棟	マイクロ棟	プール更衣室	武道館
区 分		消火器	消火器	消火器	消火器
項 目		機器点検	機器点検	機器点検	機器点検
数 量 等		数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月					
備 考					
設置場所	医療廃棄物処理 センター			総合人間科学 ・基礎研究棟	総合人間科学 ・基礎研究棟
区 分	消火器			自動火災報知 設備	非常放送設備
項 目	機器点検			機器点検 総合点検	機器点検 総合点検
数 量 等	数量表参照			数量表参照	数量表参照
設置年月				平成30年1月	平成30年1月
備 考					

設置場所	総合人間科学 ・基礎研究棟	総合人間科学 ・基礎研究棟	総合人間科学 ・基礎研究棟	総合人間科学 ・基礎研究棟	総合人間科学 ・基礎研究棟
区分	防排煙設備	誘導灯及び 誘導標識	非常照明設備	屋内消火栓設備	消火器
項目	機器点検 総合点検	機器点検	機器点検	機器点検 総合点検	機器点検
数量等	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照	数量表参照
設置年月	平成30年1月	平成30年1月	平成30年1月	平成30年1月	平成30年1月
備考					

点検時期

点検時期及び点検項目は下記による。

第1回点検・・・7・8月（本学の業務に支障のない時期及び時間帯とする）

外来棟、MRI-CT装置棟 中央診療棟、PET-CT棟 病棟、サイクロtron棟 探索的臨床研究施設 保育所、職員会館 その他の棟	総合点検（機器点検含む） 機器点検
--	--

第2回点検・・・1・2月（本学の業務に支障のない時期及び時間帯とする）

外来棟、MRI-CT装置棟 中央診療棟、PET-CT棟 病棟、サイクロtron棟 探索的臨床研究施設 保育所、職員会館 その他の棟	機器点検 総合点検（機器点検含む）
--	--

点検数値表

区分	第1回 機器点検		第2回 総合点検		実施		第1回 総合点検		第2回 機器点検		実施		計
	講義	実習	器具	材料	器具	材料	器具	材料	器具	材料	器具	材料	
3. 防排煙設備	1	4	23	15	3	10	4	1	4	445	8	8	585
防火戸 1枚1組	7	1	22	5	3	3	4	18	1	8	8	78	
防火ダンパー 手動復旧式	42		42		59							101	
防火ダンパー 自動復旧式			6	14	6	6	28	9	4		1	28	
搬送ダンパー 自動復旧式	3				3	4						14	
防火シャッター 手動復旧式			8		2							10	
防火シャッター 自動復旧式												18	
防煙たれ壁												2	
排煙口												55	
電気錠	7		18	31	4							177	
煙感知器	11		57		11	8	25	14	8	1	4	1	
煙アナログ感知器												4	
感知器 定温式ソフト型												5	
連動制御機 4/5回路	1					6						7	
連動制御機 20/20回路						1						3	
連動制御機 28/30回路												1	
4. 二酸化炭素消火設備													
二酸化炭素消火器													39
起動用小容器													4
容器弁開放器 電気式													4
容器弁開放器 ガス圧式													39
選取弁													4
閉止弁													1
起動用操作箱													4
制御盤 4回路													1
電源装置													1
音声警報													1
放出表示灯箱													17
圧力スイッチ													4
ヘッド													30
タンパー													8
タンパー復旧弁													1
CO2 ガス放出試験													1
試験用CO2ガス容器													1
試験用起動容器													1
5. ハロゲン化物消火設備													
ハロンガス容器	2												7
起動用小容器	1												1
容器弁開放器 電気式	1												2
容器弁開放器 ガス圧式	2												5
起動用操作箱	2												1
音響装置	1												1
音声警報	1												1
電圧装置	1												1
圧力スイッチ	1												1
放出表示灯箱	2												2
ヘッド	3												8
タンパー	2												2
連動盤 1回路	2												11
継電器盤 1回路	1												4
CO2 ガス放出試験	1												1
試験用CO2ガス容器	1												2

点検数値表

区分	第1回 機器点検		第2回 総合点検		実施		第1回 総合点検		第2回 機器点検		実施		計
	講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	
機器													
試験用起動容器													
6. 簡易自動消火設備													
操作盤													
制御格納箱													
格納箱													
消火剤容器													
感知器 タクト内センサ-													
ノズル タクト用													
ノズル フード用													
ノズル レンジ用													
ノズル フライヤー用													
CO2 ガス放出試験													
7. スプリンクラー設備													
ヘッド													
アラーム弁													
圧力スイッチ													
音響装置													
操作盤													
加圧送水装置													
呼吸装置													
補助放水栓													
連動試験 末端試験弁													
連動試験 補助放水栓													
8. 警報器具設備													
避難はしこ													
9. ガス漏れ火災警報設備													
受信機 G型 5/5回線													
受信機 G型 10/15回線													
副受信機安全確認弁表示付3/5回線													
副受信機 54/100回線													
中継器													
予備電源													
力大漏れ検知器													
工業用受信部													
10. 誘導灯及び誘導標識 (機器点検)													
誘導灯													
誘導標識													
11. 非常照明設備 (機器点検)													
非常照明													

点検数量表

区分	第1回 機密点検		第2回 総合点検		実施		第1回 総合点検		第2回 総合点検		実施		計
	講義 実習棟	基礎 研究室	工学 基礎 研究室	医工 連携 研究室	看護 学 科 実 験 室	附属 図書館	福利 施設	利 用 実 験 室	1 号 実 験 室	2 号 実 験 室	3 号 実 験 室	4 号 実 験 室	
1.2. 非常コンセント設備 (機器点検)													
非常コンセント (单相100V)		14											14
非常コンセント (三相200V)		14											14
表示灯		14											14
1.3. 非常電話設備													
非常電話		24		1	1							17	48
1.4. 屋内消火栓設備													
加圧送水装置													
操作盤													
1号消火栓	13	3	34										1
起動用スイッチ	13	3	34		2	3	13	4	4	3			103
2号消火栓					2	3	13	4	4	3			103
表示灯				11	28								103
呼水装置				11	28								103
放水口		14											1
放水試験	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	50
1.5. 連結送水管													
放水口			4		1								8
1.6. 消防用水 (機器点検)													
採水口													2
吸管投入口													2
標識													2
1.7. 非常警報設備													
操作装置													1
発信装置													1
予備電源													1

点検数量表

機 器	第1回 機器点検		第2回 総合点検 実施	
	基礎臨床研究棟			
	2019年度		2020年度	
	第1回	第2回	第1回	第2回
1. 自動火災報知設備				
受信機 GR型 842回線/7637トVX	1	1	1	1
予備電源	2	2	2	2
熱感知器 アナログ式	604	431	206	382
煙感知器 アナログ式	28	22	13	19
発信機 P型1級	34	24	10	20
電鈴	34	24	10	20
表示灯	34	24	10	20
中継器	41	41	41	41
分散盤	1	1	1	1
2. 非常放送設備				
スピーカー	93	51	23	67
防災アンプ 480W	1	1	1	1
非常電源	1	1	1	1
3. 防排煙設備				
防火戸 1枚1組	23	13	0	10
防火戸 2枚1組	22	22	11	11
防火ダンパー 手動復帰式	42	42	42	42
煙アナログ感知器	57	47	34	44
4. 二酸化炭素消火設備				
5. ハロゲン化物消火設備				
6. 簡易自動消火設備				
7. スプリンクラー設備				
8. 避難器具設備				
9. ガス漏れ火災警報設備				
受信機 G型 10/15回線	1	1	1	1
中継器	7	7	7	7
予備電源	1	1	1	1
ガス漏れ検知器	25	25	25	25
10. 誘導灯及び誘導標識 (機器点検)				
誘導灯	50	41	26	36
誘導標識	1	1	1	1
11. 非常照明設備 (機器点検)				
非常照明	206	168	85	126
12. 非常コンセント設備 (機器点検)				
非常コンセント(单相100V)	14	14	14	14
非常コンセント(三相200V)	14	14	14	14
表示灯	14	14	14	14
13. 非常電話設備				
非常電話	24	24	24	24
14. 屋内消火栓設備				
1号消火栓	34	24	10	20
起動用スイッチ	34	24	10	20
放水口	14	14	7	7
放水試験		1		1
15. 連結送水管				
放水口	4	4	4	4
16. 消防用水 (機器点検)				
17. 非常警報設備				
18. 消火器具				
粉末消火器 (10型)	96	96	96	96

206
13
10
10
10
41
123
1
10
42

IV-6.1(A)消防設備等3(消火器具)

設置場所	種別	数量	2019年度			2020年度			2021年度		
			機器 点検	薬剤 詰替	機器 更新	機器 点検	薬剤 詰替	機器 更新	機器 点検	薬剤 詰替	機器 更新
講義実習棟	粉末消火器(10型)	37	37			37			37		
総合人間科学・基礎研究棟	粉末消火器(10型)	7	7			7			7		
基礎臨床研究棟	粉末消火器(10型)	96	96			96			96		
医工連携拠点棟	粉末消火器(10型)	6	6			6			6		
看護学科棟	粉末消火器(10型)	40	40			40			40		
図書館	粉末消火器(10型)	14	14			14			14		
福利施設棟	粉末消火器(10型)	13	13			13			13		
RI動物実験施設	粉末消火器(10型)	27	27			27			27		
フロン研究棟	粉末消火器(10型)	8	8			8			8		
管理棟	粉末消火器(10型)	10	10			10			10		
臨床講義棟	粉末消火器(10型)	15	15			15			15		
エネルギーセンター	粉末消火器(10型)	43	33	10		33		10	34		9
エネルギーセンター	粉末消火器(20型)	7	7			7			7		
エネルギーセンター	粉末消火器(50型)	2	2			2			2		
エネルギーセンター	強化液消火器(3型)	2	2			2			2		
液酸タンク	粉末消火器(10型)	4	4			4			4		
危険物薬品庫	粉末消火器(10型)	2	2			2			2		
特高変電所	粉末消火器(10型)	6	6			6			6		
倉庫(旧特高変電所)	粉末消火器(10型)	3	3			3			3		
体育館	粉末消火器(10型)	6	6			6			6		
プール更衣室	粉末消火器(10型)	1	1			1			1		
武道館	粉末消火器(10型)	3	3			3			3		
医療廃棄物処理センター	粉末消火器(10型)	4	4			4			4		
看護師宿舎	粉末消火器(10型)	40	40			40			40		
師長棟	粉末消火器(10型)	9	9			9			9		
国際交流会館	粉末消火器(10型)	12	12			12			12		
外来棟	粉末消火器(10型)	180	180			180			180		
外来棟	二酸化炭素消火器(5型)	2	2			2			2		
中央診療棟	粉末消火器(10型)	9	9			9			9		
MRI-CT装置棟	粉末消火器(10型)	3	3			3			3		
病棟(多目的ホール含む)	粉末消火器(10型)	175	142	33		143		32	143		32
病棟	強化液消火器(3型)	8	8			8			8		
病棟	二酸化炭素消火器(5型)	3	3			3			3		
PET-CT棟	粉末消火器(10型)	3	3			3			3		
探索的臨床研究施設	粉末消火器(10型)	4	4			4			4		
サイコロ棟	粉末消火器(10型)	4	4			4			4		
職員会館	粉末消火器(10型)	6	6			6			6		
保育所	粉末消火器(10型)	3	3			3			3		
合計	粉末消火器(10型)	793	750	0	43	751	0	42	752	0	41
合計	粉末消火器(20型)	7	7	0	0	7	0	0	7	0	0
合計	粉末消火器(50型)	2	2	0	0	2	0	0	2	0	0
合計	強化液消火器(3型)	10	10	0	0	10	0	0	10	0	0
合計	二酸化炭素消火器(5型)	5	5	0	0	5	0	0	5	0	0
総合計		817	774	0	43	775	0	42	776	0	41

6.1 消防用設備等

6.1(B) 業務要領 消防用設備等

第1節 消防用設備等

(1)

点検・保守

- (a) 点検の基準、期間及び結果報告は、「消防用設備等の点検要領の全部改正について」(平成14年6月11日付け消防予第172号、及び、表(1)による。
- (b) 点検は、資機材の搬送、足場の固定等の補助的な内容を除き、表(1)に定める資格を有する者が行うものとする。
- (c) 消火器の点検項目及び点検内容は、「消火器の技術上の規格を定める省令の一部を改正する省令等の公布について」(平成22年12月22日付消防予第556号・消防危第294号)・「消防用設備等の点検要領の一部改正について」(平成22年12月22日付消防予第557号)及び表(5)による。

表(1) 消防用設備等の種類別の点検資格、点検周期

消防用設備等の種類		点検資格		点検周期		
		消防設備士 (甲種・乙種)	消防設備 点検資格者	機器 点検	総合 点検	
消防の用に供する設備	消火設備	消火器具	第6類	第1種	6 M	1 Y
		屋内消火栓設備、屋外消火栓設備、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備	第1類			
		泡消火設備	第2類			
		不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備、粉末消火設備	第3類			
		動力消防ポンプ設備	第1類、第2類			
	警報設備	自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備	第4類	第2種	6 M	1 Y
		漏電火災警報器	第7類			
		消防機関へ通報する火災報知設備	第4類			
		非常警報設備	第4類、第7類			
	避難設備	避難器具(すべり台、避難はしご、救助袋、緩降機、避難橋その他)	第5類	第2種	6 M	1 Y
		誘導灯及び誘導標識	第4類、第7類(注)			
	消防用水		第1類、第2類	第1種	6 M	
	消火活動上必要な施設	排煙設備	第4類、第7類	第2種	6 M	1 Y
		連結散水設備、連結送水管	第1類、第2類	第1種		
非常コンセント設備、無線通信補助設備		第4類、第7類	第2種			
非常電源・配線等	非常電源専用受電設備、蓄電池設備、自家発電設備、燃料電池設備	当該電源等が付属する各消防用設備等の点検資格を有する者		6 M	1 Y	
	配線					
	総合操作盤			6 M		

注) 第4類(甲種・乙種)又は第7類(乙種)のうち、電気工事士又は電気主任技術者の免状の交付を受けている者

第2節 建築基準法関係防災設備

点検・保守 点検の基準及び期間は、「建築基準法」、「建築基準法施行令」、「建築基準法施行規則」及びこれに基づく告示等に定めるところによるほか、本項による。なお、非常用エレベーターは、「エレベーター」の当該事項による。

(1)
非常用照明装置 非常用照明装置の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 非常用照明装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外観点検	① 照明器具の破損、変形及び腐食の有無を点検する。	6 M	建築設備定期検査で実施
	② 照明器具の取付け状態及び使用ランプの適否を点検する。	6 M	
	③ 充電表示灯（充電モニタ）が点灯（緑色）していることを確認する。	6 M	
	④ 自主評定マーク（JIL適合マーク）又は防災性能評定マーク（BCJマーク）の有無を確認する。	6 M	
2. 機能点検	① ランプの汚れ、劣化等の有無を点検する。	6 M	
	② 点検スイッチ又は分電盤等で常用電源から非常用電源に切替えた場合、ランプが正常に点灯することを確認する。	6 M	
	③ 電池内蔵形照明器具は30分間以上（48時間以上充電後）継続して有効に点灯することを確認する。	6 M	
	④ 電源別置形照明器具は、予備電源に切替えて30分間以上点灯することを確認する。	6 M	
3. 照度測定	① JIS C 7612（照度測定方法）により、床面の水平面照度を測定する。	6 M	
	② 測定位置は、避難行動に重要な箇所（例えば、階段では避難階段及び主階段の踊り場、廊下では重要な廊下のうち屋外への出口に近い場所等）で、人の動線となる箇所とする。	6 M	
4. 予備電源 【内蔵型を除く】	① 蓄電池設備の点検は、「蓄電池」による。 ② 自家発電設備の点検は、「自家発電設備」の当該事項による。		

(2)
防火戸・防火シャッター 防火戸・防火シャッターの点検項目及び点検内容は、表(2)による。

表(2) 防火戸・防火シャッター

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外観点検 a. 建具 イ. 防火戸	① 防火戸の周囲に閉鎖上又は避難上障害となるものが	6 M	

	ないことを確認する。	
	② 建具の変形、さび、腐食、傷、損耗、塗装の劣化及び表面処理の劣化の有無を確認する。	6 M
	③ 金物類の変形、さび、腐食の有無及び取り付け状態の良否を確認する。	6 M
	④ 温度ヒューズの損傷、ビスの緩み及び脱落の有無を確認する。	6 M
d. 防火シャッター	① シャッター及び避難扉の周囲に閉鎖上又は避難上障害となるものがないことを確認する。また、閉鎖時に避難方向の誘導のために設置された表示、方向指示等がはっきり分かることを確認する。	6 M
ー	② 開閉機構部の次の事項について確認する。 ・開閉機構部の油漏れ及びモータの過熱及び異常音の有無 ・ブレーキ装置及びリミットスイッチの機能状態の良否 ・スプロケット、ローラーチェーンの芯ずれの有無及びローラーチェーンのたるみの状態 ・ロープ車の損傷及びワイヤーロープの磨耗の有無 ・巻取りシャフト、ブラケットの変形の有無及び取り付け状態の良否	6 M
	③ 表面処理、塗装、損傷、汚れ等の劣化の有無を確認する。	6 M
	④ さび、腐食及び変形の有無並びに取付け状態の良否を確認する。	6 M
b. 自動閉鎖装置		
i. 防火戸	① 自動閉鎖装置が正常な状態でセットされていることを確認する。	6 M
	② 自動閉鎖装置の著しい変形、損傷等の有無を点検する。	6 M
	③ 温度ヒューズ付自動閉鎖装置の場合は、規定の温度ヒューズであること並びにヒューズ本体及び取付け部の状態が正常であることを確認する。	6 M
d. 防火シャッター	① 自動閉鎖装置の著しい変形、損傷等の有無を点検する。	6 M
ー	② 温度ヒューズ付シャッターの場合は、規定の温度ヒューズであること並びにヒューズ本体及び取付け部の状態が正常であることを確認する。	6 M
c. 連動制御器		
i. 連動制御器	① 変形、損傷、腐食等の有無を確認する。	6 M
	② 電圧計の指示が適正であること又は電源監視用の表示灯が点灯することを確認する。	6 M
	③ 結線接続部の緩み、脱落、損傷等の有無を確認する。	6 M
d. 予備電源	充電装置等の損傷、異常音、異臭及び異常な発熱の有無を確認する。	6 M
【内蔵型に限る】		

ハ. ランプ、スイッチ、ヒューズ類	① 各表示灯の電球等を点灯させ、著しい光束変化等の有無を確認する。	6 M
	② スイッチ類は、開閉機能及び開閉位置が正常であることを確認する。	6 M
	③ ヒューズ類が、規定の種類及び容量のものであることを確認する。	6 M
d. 感知器	① 変形、損傷、脱落、腐食等の有無を確認する。	6 M
	② 設置後の用途変更、間仕切り変更等による未警戒部分の有無を確認する。	6 M
	③ 設置位置及び設置場所に適応する感知器が設けられていることを確認する。	6 M
	④ 熱感知器の感熱部に機能障害となる塗装等がなされていないことを確認する。	6 M
	⑤ 煙感知器にあっては塵埃、微粉等が付着していないこと並びに水蒸気及び腐食性ガスの滞留等によって機能上支障となる状況の有無を確認する。	6 M
2. 機能点検		
a. 自動閉鎖装置		
イ. 防火戸		
	① 連動制御器の起動信号により防火戸が正常に作動することを確認する。なお、順送り方式のものにあっては、順送り作動が正常であることを確認する。	6 M
	② 連動制御器に作動表示がされることを確認する。	6 M
	③ 防火戸を閉鎖作動させた後、復帰させた場合の異常の有無を点検し、関係部位が元の状態に戻ることを確認する。	6 M
ロ. 防火シャッター	① シャッター閉鎖用の手動閉鎖装置又は押しボタンによりシャッターを閉鎖させ、正常に作動することを確認する。	6 M
	② 連動制御器の起動信号により、シャッターが正常に作動することを確認する。	6 M
	③ ハンドル、チェーン等は、手動巻き上げ操作が容易であること及び巻き上げ操作中に途中で停止できることを確認する。	6 M
	④ 連動制御器に作動表示がされることを確認する。	6 M
	⑤ 閉鎖用音響装置がある場合は、閉鎖中に鳴動することを確認する。	6 M
ハ. 危害防止機構【障害物感知装置（自動閉鎖型）に限る】	次の状態を確認し、その良否を点検する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 連動制御器及び作動試験スイッチ等の操作からの起動信号により危害防止用連動中継器が作動し、防火シャッターが下降すること。 ・ 障害物がある場合、防火シャッターは自動的に降下を停止すること。また、障害物を取り除いた場合、自動で再下降し全閉すること。 ・ 予備電源の試験を行い蓄電池の容量が適正であること。 	6 M

	・注意喚起装置（標識、音響装置、音声発生装置、注意灯等）が正常であること。	
b. 連動制御器		
1. 連動制御器	① 連動作動試験は、感知器の加熱又は加煙試験において当該回線の端末機器を作動させ、作動表示灯の点灯及び音響装置が鳴動することを確認する。	6 M
	② 遠隔操作試験は、端末機器の作動状況点検時において、連動制御器の遠隔操作スイッチを操作し、当該回線の端末機器を作動させ作動表示灯の点灯及び音響装置が鳴動することを確認する。	6 M
	③ 付属装置の試験は、感知器又は自動閉鎖装置の作動により他の付属装置等に移報するものは、移報信号がでることを確認する。	6 M
d. 予備電源	① 容量試験を行い、容量が適正であることを確認する。	6 M
【内蔵型に限る】	② 常用電源から予備電源への切替えが自動的に行われ、かつ、電圧計の指示値又は表示灯が適正であることを確認する。	6 M
c. 感知器	① 補償式又は定温式スポット型感知器は、加熱試験を行い、作動が確実であることを確認する。（自動試験機能若しくは遠隔試験機能を有する場合を除く）	6 M
	② イオン化式又は光電式煙感知器は、加煙試験を行い、作動が確実であることを確認する。（自動試験機能若しくは遠隔試験機能を有する場合を除く）	6 M
3. 総合点検	① 煙感知器の感度は、所定の感度試験器により感度が所定の範囲内にあることを確認する。（自動試験機能を有する場合を除く）	1 Y
	② 予備電源に切替えた状態で、任意の感知器を作動させ火災表示、音響装置の鳴動が正常であること及び所定の防火戸又は防火シャッターが正常に作動することを確認する。	1 Y
	③ 次の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・電源回路と大地間 ・端末器回路と大地間（1回線当り） ・感知器回路と大地間（1回線当り）	1 Y

(3)

防火ダンパー

- (a) 本項の防火ダンパーは、空調・換気ダクトに設置する温度ヒューズ連動型防火ダンパー（FD）及び煙感知器連動型防火ダンパー（SD）等に適用する。
- (b) 防火ダンパーの点検項目及び点検内容は、表(3)による。

表(3) 防火ダンパー

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外観点検			
a. ダンパー本体	① 変形、さび、腐食、傷及び損耗の有無を確認する。	6 M	

	② 温度ヒューズの損傷、ビスの緩み及び脱落の有無を確認する。	6 M
	③ ダンパーのがたつき及び変形の有無並びにダクト接続部のすきま等の有無を点検する。	6 M
b. 自動閉鎖装置	① ダンパーが正常な状態でセットされていることを確認する。	6 M
	② 自動閉鎖装置に著しい変形、損傷等の有無を点検する。	6 M
	③ 温度ヒューズ付自動閉鎖装置の場合は、規定の温度ヒューズであること並びにヒューズ本体及び取付け部の状態が正常であることを確認する。	6 M
c. 連動制御器 【FDを除く】	「防火戸・防火シャッター」の当該事項による。	
d. 感知器 【FDを除く】	「防火戸・防火シャッター」の当該事項による。	
2. 機能点検		
a. 自動閉鎖装置	① FDは、次による。 ・手動によりダンパーが円滑に作動することを確認する。 ・ダンパーを閉鎖作動させた後、復帰させた場合の異常の有無を点検し、関係部位が元の状態に戻ることを確認する。	6 M
	② FDを除くダンパーは、次による。 ・連動制御器の起動信号によりダンパーが正常に作動することを確認する。 ・順送り方式のものは、順送り作動が正常であることを確認する。 ・連動制御器に作動表示がされることを確認する。 ・ダンパーを閉鎖作動させた後、復帰させた場合の異常の有無を点検し、関係部位が元の状態に戻ることを確認する。	6 M
b. 連動制御器 【FDを除く】	「防火戸・防火シャッター」の当該事項による。	
c. 感知器 【FDを除く】	「防火戸・防火シャッター」の当該事項による。	
3. 総合点検 【FDを除く】	① 連動制御器の遠隔操作スイッチ及び感知器連動により、ダンパーが正常に作動することを確認する。	1 Y
	② ダンパーの作動と連動し、空調機、送風機等の停止制御を行っている場合は、所定の連動動作が適切に行われることを確認する。	1 Y
	③ 次の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・電源回路と大地間	1 Y

- ・端末器回路と大地間（1回線当り）
- ・感知器回路と大地間（1回線当り）

(4) 排煙設備

- (a) 排煙設備【自然排煙口（排煙窓）】の点検項目及び点検内容は、表(4) (A)による。
 (b) 排煙設備【機械排煙設備】の点検項目及び点検内容は、表(4) (B)による。

表(4) (A) 排煙設備【自然排煙口（排煙窓）】

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外観点検			
a. 排煙窓	① 建具のがたつき、緩み等の有無を点検する。 ② 著しい変形、損傷、さび及び腐食の有無を点検する。 ③ 召合わせ及び気密性の良否を確認する。 ④ 排煙窓の周囲に作動に支障をきたす障害物がないことを確認する。	6 M 6 M 6 M 6 M	
b. 手動開閉装置	① 器具のがたつき、緩み等の有無を点検する。 ② 著しい変形、損傷及び腐食の有無を点検する。 ③ 手動開放装置を示す表示の有無及びその破損等の有無を確認する。 ④ 排煙窓を動作させるワイヤー、ケーブル等の伝達部に著しい変形、損傷及び腐食が無いことを確認する。 ⑤ 周囲に動作に支障をきたす障害物が無いことを確認する。	6 M 6 M 6 M 6 M 6 M	
2. 機能点検	① 手動開閉装置の操作による排煙窓の作動状況の良否を確認する。 ② 排煙窓を動作させた後、復帰が円滑に行えることを確認する。	6 M 6 M	

表(4) (B) 排煙設備【機械排煙設備】

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 外観点検			
a. 排煙口・可動垂れ壁	① 器具のがたつき、緩み等の有無を点検する。 ② 著しい変形、損傷、さび及び腐食の有無を点検する。 ③ 周囲に動作の支障となるものがないことを確認する。	6 M 6 M 6 M	
b. 手動開放装置	① 器具のがたつき、緩み等の有無を点検する。 ② 著しい変形、損傷及び腐食の有無を点検する。 ③ 手動開放装置を示す表示の有無及びその破損等の有無を確認する。 ④ 排煙口を動作させるワイヤー、ケーブル等の伝達部に著しい変形、損傷及び腐食が無いことを確認する。 ⑤ 電気式の場合は、通電表示等が点灯していることを確認する。 ⑥ 周囲に動作の支障となるものがないことを確認する。	6 M 6 M 6 M 6 M 6 M 6 M	

	る。		
c. 連動制御器	「防火戸・防火シャッター」の当該事項による。		
d. 感知器	「防火戸・防火シャッター」の当該事項による。		
e. ダクト	「ダクト」の当該事項による。		
f. 防火ダンパー	「防火ダンパー」の当該事項による。		
g. 排煙機	「送風機」の当該事項による。ただし、「9. 運転調整」は除く。		
2. 機能点検	① 手動開閉装置の操作による排煙口及び可動垂れ壁の作動状況の良否を確認する。	6 M	
	② 連動制御器又は手動開閉装置の作動指令により、排煙口及び可動垂れ壁が正常に作動することを確認する。	6 M	
	③ 連動制御器又は手動開閉装置の作動確認表示窓の表示状況を確認する。	6 M	
	④ 排煙口及び可動垂れ壁を作動させた後、復帰が円滑に行えることを確認する。	6 M	
3. 総合点検	① 自動又は手動起動装置の操作により、排煙口及び可動垂れ壁の作動、排煙機の連動起動が適切に行われることを確認する。	1 Y	
	② 排煙機を起動させ、次について確認する。 ・異常音、異常振動の有無 ・電圧、電流値 ・風量 ・回転方向	1 Y	建築設備の定期 検査で実施
	③ 排煙機の起動と連動し、空調機、送風機等の停止制御を行っている場合は、所定の連動動作が適切に行われることを確認する。	1 Y	
	④ 次の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・電源回路と大地間 ・端末器回路と大地間（1回線当り） ・感知器回路と大地間（1回線当り）	1 Y	

6.2 特殊建築物等定期調査

6.2.1 業務対象設備

6.2.(A) 業務対象建物の概要による。

6.2.2 調査・点検項目、調査・点検内容及び調査・点検周期

① 特殊建築物定期調査 2020年度実施

建築基準法第12条第1項の規定に基づき調査・検査を行う。

・調査報告時期：実施年度の8月1日～11月30日

・調査報告書提出先：浜松市

・調査時期：報告日の3か月以内

6.2.3 取替部品

6.2.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

・定期調査報告書

・調査計画図

・定期調査票

・調査記録写真

書式は、次による。

建築基準法施行規則別記第36号の2様式

提出部数 2部

6.2.5 その他

6.2.特殊建築物等定期調査

6.2.(A)業務対象設備の概要

番号	建物名称	構造 階数	建築面積	建築年	確認済証番号	年月日
			延べ面積	増改築年	検査済証番号	年月日
1	講義実習棟	R	2,308 m ²	1975	第 39 号	1984.11.7
		3-1	7,012 m ²	1984	第 21 号	1984.12.7
2	基礎臨床研究棟	SR	1,580 m ²	1976	第 H29 計更建築浜松市 000001 号	2017.8.15
		9-5	15,588 m ²	2017		
3	体育館	R	1,118 m ²	1976	第 78 号	1985.11.6
		2	1,205 m ²		第 30 号	1986.4.17
4	福利施設棟	R	623 m ²	1976	第 H22 計確建築浜松市 000052 号	2011.2.14
		3	1,378 m ²	2011	第 H23 計済建築浜松市 000002 号	2011.4.18
5	管理棟	R	553 m ²	1977	第 H26 計認建築浜松市 000023 号	2014.10.23
		4-1	2,072 m ²	2015	第 H26 計済建築浜松市 000022 号	2015.3.6
6	臨床講義棟	R	609 m ²	1977		
		2-1	1,383 m ²		第 91 号	1977.4.30
7	RI 動物実験施設	R	1,218 m ²	1977	第 H21 計確建築浜松市 000049 号	2010.2.1
		4-1	4,056 m ²	2010	第 H22 計済建築浜松市 000034 号	2010.12.17
8	附属図書館	R	1,089 m ²	1978	第 9 号	1978.7.15
		2	1,746 m ²	1986	第 35 号	1978.11.35
9	臨床研究棟	R	295 m ²	1988	第 H29 計更建築浜松市 000001 号	2017.8.15
		5	1,391 m ²			
	看護学科棟	R	1,162 m ²	1997	第 H29 計更建築浜松市 000001 号	2017.8.15
		6	6,301 m ²	1998		
	医工連携拠点棟	S	539 m ²		第 H29 計更建築浜松市 000001 号	2017.8.15
		5	2,580 m ²			
10	フォトン研究棟	R	456 m ²	2009	第 H11 適建浜松 000024 号	2023.8.25
		2	854 m ²			
11	外来棟 (中診,MR,EC 含む)	R	9,034 m ²	1979	第 H12 適建浜松 000025 号	2000.8.7
		5-2	35,871 m ²	2013	第 H12 済建浜松 000024 号	2000.8.23
	中央診療棟	R	294 m ²	1993		
		3-1	1,081 m ²			
	MRI・CT 装置棟	R	512 m ²	1990		
		1	512 m ²			

	エボルタセンター(EC)	R 1-2	1,133 m ² 2,056 m ²	1976		
12	探索的 臨床研究施設	R 2	275 m ² 518 m ²	2001		
13	病棟	SR 9-1	4,145 m ² 30,034 m ²	2009	第 H19 計更建築浜松市 000002 号 第 H21 計済建築浜松市 000002 号	2007.6.25 2009.6.23
14	多目的ホール	R 1	334 m ² 359 m ²	2009	第 H19 計更建築浜松市 000002 号 第 H21 計済建築浜松市 000002 号	2007.6.25 2009.6.23
15	サイクロトロン棟	R 2	288 m ² 572 m ²	2011	第 H23 計更認建築浜松市 000024 号	2011.9.9
16	PET・CT 棟	R 2	276 m ² 427 m ²	2011	第 H22 計認建築浜松市 000021 号 第 H22 計済建築浜松市 000040 号	2010.8.13 2011.2.23
17	総合人間科学・ 基礎研究棟	S 3	563 m ² 1,449 m ²	2018	第 H29 計認建築浜松市 000011 号 第 H29 計済建築浜松市 000015 号	2017.8.8 2018.2.9

6.2 特殊建築物等定期調査

6.2. (B) 業務要領 特殊建築物定期調査

- (1)
特殊建築物定期調査 建築基準法第12条第1項の規定に基づく調査
特殊建築物定期調査の調査項目及び調査内容は、表(1)による。

表(1) 特殊建築物定期調査

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 敷地及び地盤			
(1) 地盤	① 地盤沈下による不陸、傾斜等の状況を調査する。	2 Y	
(2) 敷地	① 敷地内の排水の状況を調査する。	2 Y	
(3) 敷地内の通路	① 通路の確保の状況を調査する。	2 Y	
	② 有効幅員の確保の状況を調査する。	2 Y	
	③ 通路の支障物の状況を調査する。	2 Y	
(4) 擁壁	① 擁壁の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	
	② 擁壁の水抜きパイプの維持保全の状況を調査する。	2 Y	
2. 建築物の外部			
(1) 基礎	① 基礎の沈下等の状況を調査する。 ② 基礎の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y 2 Y	
(2) 外壁	躯体等		
	① 外壁、軒裏及び外壁の開口部で延焼の恐れのある部分の防火対策の状況を調査する。	2 Y	IV. 2. 1 建築の点検結果による。 "
	② 鉄骨造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	
	③ 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	
	外装仕上げ材等		
	① タイル、石貼り等（乾式工法によるものを除く。）、モルタル等の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	IV. 2. 1 建築の点検結果による。
	② 金属パネル（帳壁を含む。）の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	"
	③ コンクリート系パネル（帳壁を含む。）の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	"
	窓サッシ等		
	① サッシ等の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	IV. 2. 1 建築の点検結果による
② はめ殺し窓のガラスの固定の状況を調査する。	2 Y		
外壁に緊結された広告板、空調室外機等			
① 機器本体の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	IV. 2. 1 建築の点検結果による	
② 支持部分等の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y		
3. 屋上及び屋根			
(1) 屋上面	① 屋上面の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	IV. 2. 1 建築の点検結果による

(2) 屋上周り（屋上面を除く。）	① パラペットの立上り面の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	IV. 2. 1 建築の点検結果による " " "	
	② 笠木モルタル等の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y		
	③ 金属笠木の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y		
	④ 排水溝（ドレーンを含む。）の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y		
(3) 屋根（屋上面を除く。）	① 屋根の防火対策の状況を調査する。	2 Y	IV. 2. 1 建築の点検結果による	
	② 屋根の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y		
(4) 機器及び工作物（空調室外機等）	① 機器、工作物本体及び接合部の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	IV. 2. 1 建築の点検結果による "	
	② 支持部分等の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y		
4. 建築物の内部 (1) 防火区画	① 建築基準法施行令第112条第9項に規定する区画の状況を調査する。	2 Y		
	② 建築基準法施行令第112条第1項から第3項まで又は同条第5項から第8項までの各項に規定する区画の状況を調査する。	2 Y		
	③ 建築基準法施行令第112条第12項又は第13項に規定する区画の状況を調査する。	2 Y		
	防火区画の外周部			
	① 建築基準法施行令第112条第10項に規定する外壁等及び同条第11項に規定する防火設備の設置の状況を調査する。	2 Y		
	② 建築基準法施行令第112条第10項に規定する外壁等及び同条第11項に規定する防火設備の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y		
	(2) 壁の室内に面する部分	躯体等		IV. 2. 1 建築の点検結果による " "
		① 組積造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況を点検する。	2 Y	
		② 鉄骨造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況を点検する。	2 Y	
		③ 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況を点検する。	2 Y	IV. 2. 1 建築の点検結果による
1時間準耐火基準に適合する準耐火構造の壁、耐火構造の壁又は準耐火構造の壁（防火区画を構成する壁等に限る。）				
① 準耐火性能等の確保の状況を調査する。		2 Y		
② 部材の劣化及び損傷の状況を調査する。		2 Y		
③ 鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の状況を調査する。		2 Y		
④ 給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況を調査する。		2 Y		
建築基準法施行令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁				
① 界壁、間仕切壁及び隔壁の状況を調査する。	2 Y			
建築基準法施行令第129条各項に規定する建築物の壁				
① 室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況を調査する。	2 Y			
(3) 床	躯体等		IV. 2. 1 建築の点検結果による	
	① 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床躯体の劣化及び損傷の状況を点検する。	2 Y		

	<p>1時間準耐火基準に適合する準耐火構造の床、耐火構造の床又は準耐火構造の床（防火区画を構成する床に限る。）</p> <p>① 準耐火性能等の確保の状況を調査する。</p> <p>② 部材の劣化及び損傷の状況を調査する。</p> <p>③ 給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況を調査する。</p>	<p>2 Y</p> <p>2 Y</p> <p>2 Y</p>	IV. 2. 1建築の点検結果による
(4)天井	<p>建築基準法施行令第129条各項に規定する建築物の天井</p> <p>① 室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況を調査する</p> <p>② 室内に面する部分の仕上げの劣化及び損傷の状況を調査する</p>	<p>2 Y</p> <p>2 Y</p>	IV. 2. 1建築の点検結果による
(5)防火設備 (防火戸、シャッターその他これらに類するものに限る。)	<p>① 区画に対応した防火設備の設置の状況を調査する。</p> <p>② 居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備におけるくぐり戸の設置の状況を調査する。</p> <p>③ 昭和48年建設省告示第2563号第1第1号口に規定する基準への適合の状況を調査する。</p> <p>④ 防火扉の開放方向を調査する。</p> <p>⑤ 常閉防火設備の本体と枠の劣化及び損傷の状況を調査する。</p> <p>⑥ 常閉防火設備の閉鎖又は作動の状況を調査する。</p> <p>⑦ 常閉防火設備の閉鎖又は作動の障害となる物品の放置の状況を調査する。</p> <p>⑧ 常閉防火扉の固定の状況を調査する。</p>	<p>2 Y</p>	IV. 2. 1建築の点検結果による
(6)照明器具、懸垂物等	<p>① 照明器具、懸垂物等の落下防止対策の状況を調査する。</p> <p>② 防火設備の閉鎖の障害となる照明器具、懸垂物等の状況を調査する。</p>	<p>2 Y</p> <p>2 Y</p>	
(7)居室の採光及び換気	<p>① 採光のための開口部の面積の確保の状況を調査する。</p> <p>② 採光の妨げとなる物品の放置の状況を調査する。</p> <p>③ 換気のための開口部の面積の確保の状況を調査する。</p> <p>④ 換気設備の設置の状況を調査する。</p> <p>⑤ 換気設備の作動の状況を調査する。</p> <p>⑥ 換気の妨げとなる物品の放置の状況を調査する</p>	<p>2 Y</p> <p>2 Y</p> <p>2 Y</p> <p>2 Y</p> <p>2 Y</p> <p>2 Y</p>	
(8)石綿を添加した建築材料	<p>① 吹付け石綿及び吹付けロックウールでその含有する石綿の重量が当該建築材料の重量の0.1パーセントを超えるもの（以下「吹付け石綿等」という。）の使用の状況を調査する。</p> <p>② 吹付け石綿等の劣化の状況を調査する。</p> <p>③ 除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止措置の実施の状況を調査する。</p> <p>④ 囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及び損傷の状況を調査する。</p>	<p>2 Y</p> <p>2 Y</p> <p>2 Y</p> <p>2 Y</p>	
5. 避難施設等			
(1) 通路	<p>① 建築基準法施行令第120条第2項に規定する通路の確保の状況を調査する。</p>	<p>2 Y</p>	
(2) 廊下	<p>① 幅員の確保の状況を調査する。</p>	<p>2 Y</p>	

	② 物品の放置の状況を調査する。	2 Y	
(3) 出入口	① 出入口の確保の状況を調査する。	2 Y	
	② 物品の放置の状況を調査する。	2 Y	
(4) 避難上有効なバルコニー	① 避難上有効なバルコニーの確保の状況を調査する。	2 Y	IV. 2. 1建築の点検結果による
	② 手すり等の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	
	③ 物品の放置の状況を調査する。	2 Y	
	④ 避難器具の操作性の確保の状況を点検する。	2 Y	
(5) 階段	階段 ① 直通階段の設置の状況を調査する。	2 Y	IV. 2. 1建築の点検結果による
	② 幅員の確保の状況を調査する。	2 Y	
	③ 手すりの設置の状況を調査する。	2 Y	
	④ 物品の放置の状況を調査する。	2 Y	
	⑤ 階段各部の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	
	屋外に設けられた避難階段 ① 屋内と階段ととの間の防火区画の確保の状況を調査する。	2 Y	
	② 開放性の確保の状況を調査する。		
	特別避難階段 ① バルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況を調査する。	2 Y	IV. 6. 3建築設備定期調査の結果による
	② 付室等の排煙設備の設置の状況を調査する。	2 Y	
	③ 付室等の排煙設備の作動の状況を調査する。	2 Y	
	④ 付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況を調査する。	2 Y	
	⑤ 物品の放置の状況を調査する。	2 Y	
(6) 排煙設備	防煙壁 ① 防煙区画の設置の状況を調査する。	2 Y	IV. 2. 1建築の点検結果による
	② 防煙垂れ壁の劣化及び損傷の状況を調査する。	2 Y	
	③ 可動式防煙垂れ壁の作動の状況を調査する。	2 Y	
	排煙設備 ① 排煙設備の設置の状況を調査する。	2 Y	IV. 6. 3建築設備定期調査の結果による
	② 排煙設備の作動の状況を調査する。	2 Y	
	③ 自然排煙口の維持保全の状況を調査する。	2 Y	
(7) その他の設備	非常用の進入口等 ① 非常用の進入口等の設置の状況を調査する。	2 Y	IV. 6. 3建築設備定期調査の結果による
	② 非常用の進入口等の維持保全の状況を調査する。	2 Y	
	非常用エレベーター ① 乗降ロビー等の構造及び面積の確保の状況を調査する。	2 Y	
	② 乗降ロビー等の排煙設備の設置の状況を調査する。	2 Y	
	③ 乗降ロビー等の排煙設備の作動の状況を調査する。	2 Y	
	④ 乗降ロビーの付室の外気に向かって開くことができる窓の状況を調査する。	2 Y	

	⑤ 物品の放置の状況を調査する。	2 Y	
	⑥ 非常用エレベーターの作動の状況を調査する。	2 Y	
	非常用の照明装置		
	① 非常用の照明装置の設置の状況を調査する。	2 Y	IV. 6. 3建築設備 定期調査の結果 による
	② 非常用の照明装置の作動の状況を調査する。	2 Y	
	③ 照明の妨げとなる物品の放置の状況を調査する。	2 Y	
6. その他			
(1) 特殊な構造等	免震構造建築物の免震層及び免振装置		
	① 免振装置の劣化び損傷の状況を調査する。(免振装置が可視状態にある場合に限る。)	2 Y	
	② 上部構造の可動の状況を調査する。	2 Y	
(2) 避雷設備	① 避雷針、避雷導線等の劣化び損傷の状況を調査する。	2 Y	
(3) 煙突	建築物に設ける煙突		
	① 煙突本体及び建築物との接合部の劣化び損傷の状況を調査する。	2 Y	
	② 付帯金物の劣化び損傷の状況を調査する。	2 Y	
	建築基準法施行令第138条第1項第2号に掲げる煙突		
	① 煙突本体の劣化び損傷の状況を調査する。	2 Y	
	② 付帯金物の劣化び損傷の状況を調査する	2 Y	

6.3 建築設備定期検査

6.3.1 業務対象設備

6.3.(A) 業務対象設備の概要による。

6.3.2 点検項目、点検内容及び点検周期

6.3.(B) 業務要領 建築設備定期検査による。

建築基準法第12条第3項の規定に基づく定期検査報告書を次のように提出する。

・点検報告時期：毎年8月1日～11月30日

・点検報告書提出先：浜松市

・点検時期：報告日の1か月以内

6.3.3 取替部品

6.3.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

・概要書

・定期検査報告書

・検査結果票

・別表（換気状況評価表、換気風量測定表、排煙風量測定記録表、照度測定表）

・関係写真

書式は次による。

建築基準法施行規則別記第36号の6・7様式

提出部数 2部

6.3.5 その他

6.3 建築設備定期検査

6.3. (A) 業務対象設備の概要

設置場所	講義実習棟	基礎臨床研究棟	体育館	福利施設棟
区分	建築設備	建築設備	建築設備	建築設備
項目	定期検査	定期検査	定期検査	定期検査
数量等	機械換気（無窓居室） 換気扇 16系統16室 空調機 3系統3室	機械換気（無窓居室） 換気扇 32系統32室 非常照明206台	非常照明 1台	機械換気（火気使用） 換気扇 1系統1室 非常照明6台
備考				
設置場所	管理棟	臨床講義棟	R I 動物実験 施設	附属図書館
区分	建築設備	建築設備	建築設備	建築設備
項目	定期検査	定期検査	定期検査	定期検査
数量等	非常照明 25台	非常照明 4台	機械換気（無窓居室） 空調機 6系統29室 非常照明29台	非常照明 4台
備考				

設置場所	医工連携拠点棟	看護学科棟	外来棟	探索的臨床研究施設
区分	建築設備	建築設備	建築設備	建築設備
項目	定期検査	定期検査	定期検査	定期検査
数量等	機械換気（無窓居室）換気扇 7系統 7室 機械換気（火気使用）換気扇 6系統 6室 非常照明 78台	機械換気（無窓居室）空調機 1系統 1室 機械換気（火気使用）換気扇 1系統 1室 非常照明 15台	機械換気（無窓居室）換気扇 5系統 5室 空調機 53系統 207室 機械換気（火気使用）換気扇 2系統 2室	非常照明 20台
備考				
設置場所	病棟	サウナ棟	PET-CT棟	総合人間科学・基礎研究棟
区分	建築設備	建築設備	建築設備	建築設備
項目	定期検査	定期検査	定期検査	定期検査
数量等	機械換気（無窓居室）換気扇 339系統 470室 空調機 10系統 62室 排煙設備 98区画 非常照明 1068台	機械換気（無窓居室）換気扇 1系統 12室 非常照明 12台	機械換気（無窓居室）換気扇 1系統 8室 非常照明 11台	機械換気（無窓居室）空調機 6系統 6室 機械換気（火気使用）換気扇 15系統 15室 非常照明 37台
備考				

6.3. 建築設備定期検査
6.3 (A) 業務対象設備の概要 数量表

No.	建物名称	2019年度予定分					
		換気設備 (無窓階) 系統(室数)	同左 換気量 測定対象	火気使用室 系統(室数)	排煙設備 系統(口数)	同左 排煙風量 測定対象	非常照明 灯数
1	講義実習棟	19 (19)	6 (6)	—	—	—	13
2	基礎臨床研究棟	32 (32)	10 (10)	—	—	—	206
3	体育館	—	—	—	—	—	1
4	福利施設棟	—	—	1 (1)	—	—	6
5	管理棟	—	—	—	—	—	25
6	臨床講義棟	—	—	—	—	—	4
7	R I 動物実験施設	5 (21)	2 (7)	—	—	—	15
8	附属図書館	1 (1)	—	—	—	—	4
9	教職員宿泊所	—	—	—	—	—	15
10	医工連携拠点棟	7 (7)	—	6 (6)	—	—	78
11	看護学科棟	1 (1)	—	1 (1)	—	—	15
12	外来棟	58 (214)	27 (86)	2 (2)	5 (122)	1 (27)	1,227
13	探索的臨床研究施設	—	—	—	—	—	20
14	病棟	370 (532)	162 (208)	—	1 (68)	—	1,068
15	サイコロソ棟	3 (12)	1 (4)	—	—	—	12
16	PET-CT棟	3 (8)	1 (2)	—	—	—	11
17	総合人間科学・基礎研究棟	6 (6)	—	15 (15)	—	—	37
	合計	454 (832)	209 (323)	4 (4)	6 (190)	1 (27)	2,757
	備考欄		3年1回実施			3年1回実施	
No.	建物名称	2020年度予定分					
		換気設備 (無窓階) 系統(室数)	同左 換気量 測定対象	火気使用室 系統(室数)	排煙設備 系統(口数)	同左 排煙風量 測定対象	非常照明 灯数
1	講義実習棟	19 (19)	6 (6)	—	—	—	13
2	基礎臨床研究棟	32 (32)	11 (11)	—	—	—	206
3	体育館	—	—	—	—	—	1
4	福利施設棟	—	—	1 (1)	—	—	6
5	管理棟	—	—	—	—	—	25
6	臨床講義棟	—	—	—	—	—	4
7	R I 動物実験施設	5 (21)	1 (7)	—	—	—	15
8	附属図書館	1 (1)	—	—	—	—	4
9	教職員宿泊所	—	—	—	—	—	15
10	医工連携拠点棟	7 (7)	—	6 (6)	—	—	78
11	看護学科棟	1 (1)	—	1 (1)	—	—	15
12	外来棟	58 (214)	28 (125)	2 (2)	5 (122)	3 (15)	1,227
13	探索的臨床研究施設	—	—	—	—	—	20
14	病棟	370 (532)	148 (206)	—	1 (68)	—	1,068
15	サイコロソ棟	3 (12)	1 (4)	—	—	—	12
16	PET-CT棟	3 (8)	1 (3)	—	—	—	11
17	総合人間科学・基礎研究棟	6 (6)	—	15 (15)	—	—	37
	合計	454 (832)	196 (362)	4 (4)	6 (190)	3 (15)	2,720
	備考欄		3年1回実施			3年1回実施	
No.	建物名称	2021年度予定分					
		換気設備 (無窓階) 系統(室数)	同左 換気量 測定対象	火気使用室 系統(室数)	排煙設備 系統(口数)	同左 排煙風量 測定対象	非常照明 灯数
1	講義実習棟	19 (19)	7 (7)	—	—	—	13
2	基礎臨床研究棟	32 (32)	11 (11)	—	—	—	206
3	体育館	—	—	—	—	—	1
4	福利施設棟	—	—	1 (1)	—	—	6
5	管理棟	—	—	—	—	—	25
6	臨床講義棟	—	—	—	—	—	4
7	R I 動物実験施設	5 (21)	2 (7)	—	—	—	15
8	附属図書館	1 (1)	1 (1)	—	—	—	4
9	教職員宿泊所	—	—	—	—	—	15
10	医工連携拠点棟	7 (7)	7 (7)	6 (6)	—	—	78
11	看護学科棟	1 (1)	1 (1)	1 (1)	—	—	15
12	外来棟	58 (214)	3 (3)	2 (2)	5 (122)	1 (80)	1,227
13	探索的臨床研究施設	—	—	—	—	—	20
14	病棟	370 (532)	60 (118)	—	1 (68)	1 (68)	1,068
15	サイコロソ棟	3 (12)	1 (4)	—	—	—	12
16	PET-CT棟	3 (8)	1 (3)	—	—	—	11
17	総合人間科学・基礎研究棟	6 (6)	6 (6)	15 (15)	—	—	37
	合計	454 (832)	100 (168)	4 (4)	6 (190)	2 (148)	2,757
	備考欄		3年1回実施			3年1回実施	

6.3. (B) 業務要領 建築設備定期検査

第1節 建築設備定期検査

建築基準法第12条第3項の規定に基づく検査をおこなう。

(1) 換気設備	換気設備の検査項目及び検査内容は、表(1)による。
-------------	---------------------------

表(1) 換気設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室 (換気設備を設けるべき調理室等を除く。)			
(1) 機械換気設備 (中央管理方式の空気調和設備を含む。)	1. 外観		
	① 外気取り入れ口及び排気口への雨水等の侵入防止措置の状況を検査する。	1 Y	
	② 外気取り入れ口及び排気口の取付けの状況を検査する。	1 Y	
	③ 各室の給気口及び排気口の設置位置を検査する。	1 Y	
	④ 給気口、排気口及び居室内の空気を取り入れ口の取付けの状況を検査する。	1 Y	
	⑤ ダクトの取付けの状況を検査する。	1 Y	
	⑥ ダクトの材質を検査する。	1 Y	
	⑦ 給気機及び排気機の設置の状況を検査する。	1 Y	
	⑧ 換気扇による換気の状況を検査する。	1 Y	
	2. 性能		
	① 各系統の換気量を検査する。	3 Y	
	② 各室の換気量を検査する。	3 Y	
	③ 中央管理方式による制御及び作動状態の監視の状況を検査する。	3 Y	
(2) 中央管理方式の空気調和設備	1. 外観		
	① 空気調和設備の設置の状況を検査する。	1 Y	
	② 空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
	③ 空気調和期の運転の状況を検査する。	1 Y	
	④ 空気ろ過器の点検口を検査する。		
	⑤ 冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離を検査する。		
	2. 性能		
	① 各室内の温度を検査する。	3 Y	換気量が測定できない場合に限る。
	② 各室内の相対湿度を検査する。	3 Y	
	③ 各室の浮遊粉じん量を検査する。	3 Y	
	④ 各室の一酸化炭素含有率を検査する。	3 Y	
	⑤ 各室の二酸化炭素含有率を検査する。	3 Y	
	⑥ 各室の気流を検査する。	3 Y	
	⑦ 各室の吹き出し空気の分配の状況を検査する。	3 Y	
2. 換気設備を設けるべき調理室等			
(1) 機械換気設備	① 排気ダクト及び排気フードの材質を検査する。	1 Y	
	② 排気ダクト及び排気フードの取付けの状況を検査する。	1 Y	

	③ 給気口、給気ダクト、排気口、排気ダクト及び排気フードの大きさを点検する。	1 Y	
	④ 給気口、排気口及び排気フードの位置を検査する。	1 Y	
	⑤ 給気口、給気ダクト、排気口、排気ダクト及び排気フードの機能確保の状況を検査する。	1 Y	
	⑥ 排気ダクトの断熱の状況を検査する。	1 Y	
	⑦ 排気ダクトと可燃物、電線等との離隔距離を検査する。	1 Y	
	⑧ 排気フードへの防火ダンパー、ダクト等の設置の状況を検査する。	1 Y	
	⑨ 排気ダクトに設ける防火ダンパーの設置の状況を検査する。	1 Y	
	⑩ 換気扇による換気の状況を検査する。	1 Y	
	⑪ 機械換気設備の換気量を検査する。	1 Y	

3. 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室

(I) 防火ダンパー等	① 防火ダンパーの設置の状況を検査する。	1 Y	
	② 防火ダンパーの取付けの状況を検査する。	1 Y	
	③ 防火ダンパーの作動の状況を検査する。	1 Y	
	④ 防火ダンパーの劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
	⑤ 防火ダンパーの点検口の有無大きさ並びに検査口の有無を検査する。	1 Y	
	⑥ 防火ダンパーの温度ヒューズを検査する。	1 Y	
	⑦ 防火区画の貫通措置の状況を検査する。	1 Y	
	⑧ 連動型防火ダンパーの煙感知器等の位置を点検する。	1 Y	
	⑨ 連動型防火ダンパーの煙感知器等との連動の状況を点検する。	1 Y	

※ 機械換気設備及び空気調和設備の換気量等測定方法

1) 各系統における換気量の測定方法

各空調系統ごとにダクト又は空調機接続部分の編流が少ない場所で多点の風速を測定する。

2) 各室における換気量の測定方法

JIS A1431 に準拠し、吹出し口の風速を測定する。

3) 換気量が測定できない場合における室内環境の測定方法

各空調機ごとに1点以上とし、床上75cm以上120cmの一定した高さで温度等の各項目を測定する。

(2) 排煙設備	排煙設備の検査項目及び検査内容は、表(2)による。
-------------	---------------------------

表(2) 排煙設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 建築基準法施行令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、同令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー、同令第126条の2第1項に規定する居室等			
(1) 排煙機	1. 外観 ① 排煙機の設置の状況を検査する。 ② 排煙ダクトとの接続の状況を検査する。 ③ 煙排出口の設置の状況を検査する。 ④ 煙排出口の周囲の状況を検査する。 ⑤ 屋外に設置された煙排出口への雨水等の侵入防止措置の状況を検査する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
	2. 性能 ① 排煙口の開放と連動起動の状況を検査する。 ② 排煙機の作動の状況を検査する。 ③ 電源を必要とする排煙機の予備電源による作動の状況を検査する。 ④ 排煙機の排煙風量を検査する。 ⑤ 中央管理方式による制御及び作動状態の監視の状況を検査する。	3 Y 3 Y 3 Y 3 Y 3 Y	
(2) 排煙口	1. 外観 ① 排煙口の位置を検査する。 ② 排煙口の周囲の状況を検査する。 ③ 排煙口の取付けの状況を検査する。 ④ 手動開放装置の設置の状況を検査する。 ⑤ 手動開放装置の操作方法の表示の状況を検査する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
	2. 性能 ① 手動開放装置による開放の状況を検査する。 ② 排煙口の開放の状況を検査する。 ③ 排煙口の排煙風量を検査する。 ④ 中央管理方式による制御及び作動状態の監視の状況を検査する。 ⑤ 煙感知器による作動の状況を検査する。	3 Y 3 Y 3 Y 3 Y 3 Y	
(3) 排煙ダクト	① 排煙ダクトの劣化及び損傷の状況を検査する。 ② 排煙ダクトの取付けの状況を検査する。 ③ 排煙ダクトの材質を検査する。 ④ 防火区画及び防煙壁の貫通措置の状況を検査する。 ⑤ 排煙ダクトと可燃物、電線等との離隔距離及び断熱の状況を検査する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
(4) 防火ダンパー	① 防火ダンパーの取付けの状況を検査する。 ② 防火ダンパーの作動の状況を検査する。 ③ 防火ダンパーの劣化及び損傷の状況を検査する。 ④ 防火ダンパーの点検口の有無大きさ並びに検査口の有無を検査する。 ⑤ 防火ダンパーの温度ヒューズを検査する。 ⑥ 防火区画の貫通措置の状況を検査する。	1 Y	

2. 建築基準法施行令第126条の2第1項に規定する居室等

(1) 可動防煙壁	① 手動降下装置の作動の状況を検査する。	1 Y	
	② 手動降下装置による連動の状況を検査する。	1 Y	
	③ 煙感知器による連動の状況を検査する。	1 Y	
	④ 可動防煙壁の材質を検査する。	1 Y	
	⑤ 可動防煙壁による防煙区画を検査する。	1 Y	
	⑥ 中央管理方式による制御及び作動状態の監視の状況を検査する。	1 Y	

3. 予備電源

(1) 自家用発電装置	1. 外観		
	① 自家用発電機室の防火区画の貫通措置の状況を検査する。	1 Y	
	② 発電機の発電容量を検査する。	1 Y	
	③ 発電機及び原動機の状況を検査する。	1 Y	
	④ 燃料油、潤滑油及び冷却水の状況を検査する。	1 Y	
	⑤ 始動用空気槽の圧力を検査する。	1 Y	
	⑥ セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況を検査する。	1 Y	
	⑦ 燃料及び冷却水の漏洩の状況を検査する。	1 Y	
	⑧ 計器類及びランプ類の指示および点灯の状況を検査する。	1 Y	
	⑨ 自家用発電装置の取付けの状況を検査する。	1 Y	
	⑩ 自家用発電機室の給排気の状況を検査する。	1 Y	
	⑪ 接地線の接続の状況を検査する。	1 Y	
⑫ 絶縁抵抗を検査する。	1 Y		
	2. 性能		
	① 電源の切替えの状況を検査する。	1 Y	
	② 始動および停止の状況を検査する。	1 Y	
	③ 運転の状況を検査する。	1 Y	
	④ 排気の状況を検査する。	1 Y	
	⑤ コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補器類の作動の状況を検査する。	1 Y	

※ 排煙口の排煙風速測定方法

1) 測定方法

JIS A4303 に準拠し、排煙口の面で対角線上 5 点、1 点につき 30 秒以上継続して風速を測定する。

(3) 非常用の照明装置	非常用の照明装置の検査項目及び検査内容は、表(1)による。
-----------------	-------------------------------

表(1) 非常用の照明装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 照明器具			
(1) 非常用の照明器具	① 使用電球、ランプ等を検査する。	1 Y	
	② 照明器具の取付け状況を検査する。	1 Y	
2. 電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置			
(1) 予備電源	① 予備電源への切替え及び器具の点灯の状況を検査する。	1 Y	
	② 予備電源の性能を検査する。	1 Y	
(2) 照度	① 照度の状況を検査する。	1 Y	
(3) 分電盤	① 非常用電源分岐回路の表示の状況を検査する。	1 Y	
(4) 配線	① 配電管等の防火区画貫通措置の状況を検査する。	1 Y	
3. 電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置			
(1) 配線	① 配線の接続の状況を検査する。	1 Y	
	② 電気回路の接続の状況を検査する。	1 Y	
	③ 接続部（幹線分岐及びボックス内に限る。）の耐熱処理の状況を検査する。	1 Y	
	④ 予備電源から非常用の照明器具間の耐熱配線の処理の状況を検査する。 (隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	1 Y	
(2) 切替回路	① 常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況を検査する。	1 Y	
	② 蓄電池設備と自家用発電装置併用の場合の切替えの状況を検査する。	1 Y	
4. 電池内蔵形の蓄電池			
(1) 配線及び充電ランプ	① 充電ランプの点灯の状況を検査する。	1 Y	
	② 誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況を検査する。	1 Y	
5. 電源別置形の蓄電池			
(1) 蓄電池	① 蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況を検査する。	1 Y	
	② 蓄電池室の換気の状況を検査する。	1 Y	
	③ 蓄電池の設置の状況を検査する。	1 Y	
	④ 蓄電池の電圧を検査する。	1 Y	
	⑤ キュービクルの取付けの状況を検査する。	1 Y	
6. 自家用発電装置			
(1) 自家用発電装置	1. 外観		
	① 自家用発電機室の防火区画の貫通措置の状況を検査する。	1 Y	
	② 発電機の発電容量を検査する。	1 Y	
	③ 発電機及び原動機の状況を検査する。	1 Y	
	④ 燃料油、潤滑油及び冷却水の状況を検査する。	1 Y	
	⑤ 始動用空気槽の圧力を検査する。	1 Y	
⑥ セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	1 Y		

	を検査する。 ⑦ 燃料及び冷却水の漏洩の状況を検査する。 ⑧ 計器類及びランプ類の指示および点灯の状況を検査する。 ⑨ 自家用発電装置の取付けの状況を検査する。 ⑩ 自家用発電機室の給排気の状況を検査する。 ⑪ 接地線の接続の状況を検査する。 ⑫ 絶縁抵抗を検査する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
	2. 性能 ① 電源の切替えの状況を検査する。 ② 始動および停止の状況を検査する。 ③ 運転の状況を検査する。 ④ 排気の状況を検査する。 ⑤ コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補器類の作動の状況を検査する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	

※ 非常照明設備の照度測定方法

1)測定方法

JIS C7612 に準拠し、物理的測定方法によって床面の水平面照度(lx)を測定する。

6.4 防火設備定期検査

6.4.1 業務対象設備

6.4.(A) 業務対象設備の概要による。

6.4.2 点検項目、点検内容及び点検周期

6.4(B) 業務要領 防火設備定期検査による。
建築基準法第12条第3項の規定に基づく定期検査報告書を次のとおり提出する。
・点検報告時期：毎年8月1日～11月30日
・点検報告書提出先：浜松市
・点検時期：報告日の1か月以内

6.4.3 取替部品

6.4.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・概要書
 - ・定期検査報告書
 - ・検査結果表
 - ・検査結果図
 - ・関係写真
- -----

書式は、次による。

建築基準法施行規則別記第36号の8・9様式

提出部数 2部

6.4.5 その他

6.4 防火設備定期検査

6.4(A) 業務対象設備の概要

設置場所	講義実習棟	基礎臨床研究棟	福利施設棟	管理棟
区分	防火設備	防火設備	防火設備	防火設備
数量等	防火戸 1枚組 1か所 2枚組 7か所 防火シャッター 手動復帰 3か所 感知器連動一式	防火戸 1枚組 23か所 2枚組 22か所 感知器連動一式	防火戸 1枚組 3か所 防火シャッター 手動復帰 3か所 電動復帰 2か所 感知器連動一式	防火戸 1枚組 4か所 感知器連動一式
検査済証交付年月	昭和59年12月	昭和52年 5月	平成23年 4月	平成27年 3月
備考				

設置場所	臨床講義棟	RI動物実験施設	附属図書館	医工連携拠点棟・看護学科棟
区分	防火設備	防火設備	防火設備	防火設備
数量等	防火戸 1枚組 1か所 2枚組 2か所 感知器連動一式	防火戸 1枚組 12か所 2枚組 3か所 防火シャッター 手動復帰 4か所 感知器連動一式	防火戸 1枚組 2か所 2枚組 2か所 感知器連動一式	防火戸 1枚組 15か所 2枚組 11か所 防火シャッター 電動復帰 8か所 感知器連動一式
検査済証交付年月	昭和52年 4月	平成22年12月	昭和53年11月	平成31年 月
備考				

設置場所	附属病院外来棟	附属病院病棟	PET-CT棟	総合人間科学・基礎研究棟
区分	防火設備	防火設備	防火設備	防火設備
数量等	防火戸 1枚組 56か所 2枚組 22か所 防火シャッター 電動復帰 5か所 自動ドア パニッケローズ 3か所 感知器連動一式	防火戸 1枚組 42か所 2枚組 22か所 引戸 346か所 防火シャッター 電動復帰 43か所 自動ドア パニッケローズ 7か所 感知器連動一式	防火シャッター 手動復帰 1か所 自動ドア パニッケローズ 1か所 感知器連動一式	防火戸 1枚組 4か所 2枚組 1か所 感知器連動一式
検査済証交付年月	平成12年 8月	平成21年 6月	平成23年 2月	平成30年 1月
備考				

6. 4. (B) 業務要領 防火設備定期検査

第1節 防火設備定期検査

建築基準法第12条第3項及び平成28年国土交通省告示第723号の規定に基づく検査をおこなう。

- (1)
防火扉 防火扉の検査項目及び検査内容は、表(1)による。

表(1) 防火扉

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 防火扉			
(1) 設置場所の周囲状況	① 閉鎖の障害となる物品の放置の状況を検査する。	1 Y	
(2) 扉、枠及び金物	① 扉の取り付け状況を検査する。	1 Y	
	② 扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
(3) 危害防止装置	① 作動の状況を検査する。	1 Y	
2. 連動機構			
(1) 煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	① 設置位置を検査する。	1 Y	
	② 感知器の状況を検査する。	1 Y	
(2) 連動制御器	① スイッチ類及び表示灯の状況を検査する。	1 Y	
	② 結線接続の状況を検査する。	1 Y	
	③ 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況を調査する。	1 Y	
(3) 連動機構用予備電源	① 劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
	② 容量の状況を検査する。	1 Y	
(4) 自動閉鎖装置	① 装置の状況を検査する。	1 Y	
	② 再ロック防止機構の作動の状況を検査する。	1 Y	
3. 総合的な作動の状況	① 防火扉の閉鎖の状況を検査する。	1 Y	
	② 防火区画の形成の状況を検査する。	1 Y	

- (2)
防火シャッター 防火シャッターの検査項目及び検査内容は、表(1)による。

表(1) 防火シャッター

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 防火シャッター			
(1) 設置場所の周囲状況	① 閉鎖の障害となる物品の放置の状況を検査する。	1 Y	
(2) 駆動装置	① 軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況を検査する。	1 Y	
	② スプロケットの設置の状況を検査する。	1 Y	
	③ 軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
	④ ローラーチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	

(3) カーテン部	① スラット及び座板の劣化等の状況を検査する。	1 Y	
	② 吊元の劣化及び損傷並びに固定の状況を検査する。	1 Y	
(4) ケース	① 劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
(5) まぐさ及びガイドレール	① 劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
(6) 危害防止装置	① 危害防止用連動中継器の配線の状況を検査する。	1 Y	
	② 危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
	③ 危害防止装置用予備電源の容量の状況を検査する。	1 Y	
	④ 座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況を検査する。	1 Y	
	⑤ 作動の状況を検査する。	1 Y	
2. 連動機構			
(1) 煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	① 設置位置を検査する。	1 Y	
	② 感知器の状況を検査する。	1 Y	
(2) 連動制御器	① スイッチ類及び表示灯の状況を検査する。	1 Y	
	② 結線接続の状況を検査する。	1 Y	
	③ 接地の状況を調査する。	1 Y	
	④ 予備電源への切り替えの状況を検査する。	1 Y	
(3) 連動機構用予備電源	① 劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
	② 容量の状況を検査する。	1 Y	
(4) 自動閉鎖装置	① 設置の状況を検査する。	1 Y	
(5) 手動閉鎖装置	① 設置の状況を検査する。	1 Y	
3. 総合的な作動の状況	① 防火シャッターの閉鎖の状況を検査する。	1 Y	
	② 防火区画の形成の状況を検査する。	1 Y	

(2)
耐火クロススクリーン

耐火クロススクリーンの検査項目及び検査内容は、表(1)による。

表(1) 耐火クロススクリーン

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 耐火クロススクリーン			
(1) 設置場所の周囲状況	① 閉鎖の障害となる物品の放置の状況を検査する。	1 Y	
(2) 駆動装置	① ローラーチェーンの劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
(3) カーテン部	① 耐火クロス及び座板の劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
	② 吊元の劣化及び損傷並びに固定の状況を検査する。	1 Y	
(4) ケース	① 劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
(5) まぐさ及びガイドレール	① 劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
(6) 危害防止装置	① 危害防止用連動中継器の配線の状況を検査する。	1 Y	
	② 危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
	③ 危害防止装置用予備電源の容量の状況を検査する。	1 Y	

	④ 座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況を検査する。	1 Y	
	⑤ 作動の状況を検査する。	1 Y	
2. 連動機構			
(1) 煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	① 設置位置を検査する。	1 Y	
	② 感知器の状況を検査する。	1 Y	
(2) 連動制御器	① スイッチ類及び表示灯の状況を検査する。	1 Y	
	② 結線接続の状況を検査する。	1 Y	
	③ 接地の状況を調査する。	1 Y	
	④ 予備電源への切り替えの状況を検査する。	1 Y	
(3) 連動機構用予備電源	① 劣化及び損傷の状況を検査する。	1 Y	
	② 容量の状況を検査する。	1 Y	
(4) 自動閉鎖装置	① 設置の状況を検査する。	1 Y	
(5) 手動閉鎖装置	① 設置の状況を検査する。	1 Y	
3. 総合的な作動の状況	① 耐火加スクリンの閉鎖の状況を検査する。	1 Y	
	② 防火区画の形成の状況を検査する。	1 Y	

7. 昇降機設備

7.1 昇降機

7.1.1 業務対象設備

7.1(A) 業務対象設備の概要による。

7.1.2 点検項目、点検内容及び点検周期

7.1(B) 業務要領 昇降機による。

医工連携拠点棟のエレベーターの点検は、2019年7月からとする。

7.1.3 定期検査

建築基準法第12条第3項の規定に基づく定期検査報告を行う。

7.1.4 遠隔点検

東芝、フジテック製のエレベーターは遠隔点検とする。

7.1.5 修理・取替の範囲

7.1.(C) 修理・取替の範囲表による。

7.1.6 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

・点検及び保守結果報告書

・試験成績書

・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

但し、定期検査報告書の書式は、建築基準法に定められたものとする。

7.1.7 その他

7. 昇降機設備

7.1(A) 業務対象設備の概要

設置場所	外来棟	外来棟	外来棟	外来棟	外来棟
機種	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機
設置年月日	平成 23. 10. 19	平成 23. 8. 29	平成 23. 8. 29	平成 23. 10. 19	平成 23. 10. 19
契約種別	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約
駆動方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式
積載能力	750 Kg	750 Kg	750 Kg	1,000 Kg	1,000 Kg
かごの速度	105 m/min	105 m/min	105 m/min	105 m/min	105 m/min
運転方式	全自動群管理方式 (3カー)	全自動群管理方式 (3カー)	全自動群管理方式 (3カー)	全自動群管理方式 (2カー)	全自動群管理方式 (2カー)
定期検査の有無	有 (10月)	有 (8月)	有 (8月)	有 (12月)	有 (10月)
無停止階床数	6 箇所	6 箇所	5 箇所	6 箇所	6 箇所
用途	乗用車椅子用	乗用車椅子用	乗用車椅子用	寝台用	寝台用
付加装置	P波付地震管制 (地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、視覚障害者対策、車椅子仕様、赤外線多光軸ドアセティ遮煙のりばドア、戸開走行保護装置、非常放送用スピーカー	P波付地震管制 (地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、視覚障害者対策、車椅子仕様、赤外線多光軸ドアセティ遮煙のりばドア、戸開走行保護装置、非常放送用スピーカー	P波付地震管制 (地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、視覚障害者対策、車椅子仕様、赤外線多光軸ドアセティ遮煙のりばドア、戸開走行保護装置、非常放送用スピーカー	P波付地震管制 (地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、視覚障害者対策、車椅子仕様 (かご内手すり無し)、赤外線多光軸ドアセティ遮煙のりばドア、戸開走行保護装置、非常放送用スピーカー	P波付地震管制 (地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、視覚障害者対策、車椅子仕様 (かご内手すり無し)、赤外線多光軸ドアセティ遮煙のりばドア、戸開走行保護装置、非常放送用スピーカー
稼働頻度	高稼働	高稼働	高稼働	高稼働	高稼働
製造者名	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)
備考	遠隔監視メンテナンス装置 機械室レス	遠隔監視メンテナンス装置 機械室レス	遠隔監視メンテナンス装置 機械室レス	遠隔監視メンテナンス装置 機械室レス	遠隔監視メンテナンス装置 機械室レス

設置場所	外来棟	外来棟	管理棟		総合人間科学 ・基礎研究棟
機種	6号機	7号機	16号機		
設置年月日	平成 23. 12. 28	平成 23. 9. 9	平成 27. 2. 27		平成 30. 1.
契約種別	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約		フルメンテナンス契約
駆動方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式		交流インバーター制御方式
積載能力	1, 150 Kg	1, 000 Kg	600 Kg		750 Kg
かごの速度	105 m/min	105 m/min	60 m/min		45 m/min
運転方式	方向性乗合 全自動方式	方向性乗合 全自動方式	乗合 全自動方式		乗合 全自動方式
定期検査の有無	有 (12月)	有 (9月)	有 (3月)		有 (月)
無停止階床数	6 箇所	5 箇所	4 箇所		3 箇所
用途	非常用・人荷	乗用	乗用車椅子用		乗用車椅子用
付加装置	P 波付地震管制 (地震速報連動)、 火災管制、 停電時自動 着床装置、 監視盤、 音合成装置、 赤外線多光軸 ドアセティ 遮煙のりば ドア、 戸開走行保護 装置、扉開延長 ボタン付	P 波付地震管制 (地震速報連動)、 火災管制、 停電時自動 着床装置、 自家発管制、 監視盤、 音合成装置、 車椅子仕様、 赤外線多光軸 ドアセティ 遮煙のりば ドア、 戸開走行保護 装置、扉開延長 ボタン付、 非常放送用 スピーカー	P 波付地震管制 (地震速報連動 感知器付)、 火災管制、 監視盤、 停電時自動 着床装置 車椅子仕様 2D多光軸 ドアセティ 戸開走行保護 装置 非常放送用 スピーカー		P 波+S 波感知器 付地震管制 (リスタート付) 地震速報連動 火災管制、 停電時自動 着床装置 監視盤、 音声合成装置 車椅子仕様 2D多光軸 ドアセティ 遮煙のりば ドア 戸開走行保護 装置 非常放送用 スピーカー
稼動頻度					
製造者名	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)		東芝エレベータ(株)
備考	遠隔監視 メンテナンス装置 機械室レス	遠隔監視 メンテナンス装置 機械室レス	遠隔監視 機械室レス		遠隔監視 メンテナンス装置 機械室レス

設置場所	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟
機種	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機
設置年月日	平成 21. 6. 30				
契約種別	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約
駆動方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式
積載能力	1,000Kg	1,000Kg	1,000Kg	1,000Kg	1,000Kg
かごの速度	90 m/min				
運転方式	全自動群管理方式(3カー)	全自動群管理方式(3カー)	全自動群管理方式(3カー)	方向性乗合全自動方式	全自動群管理方式(3カー)
定期検査の有無	有(6月)	有(6月)	有(6月)	有(6月)	有(6月)
無停止階床数	7箇所	7箇所	7箇所	9箇所	9箇所
用途	乗用車椅子用	乗用車椅子用	乗用車椅子用	寝台用	寝台用
付加装置	P波付地震管制(地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、音成合成装置、車椅子仕様、赤外線多光軸ドアセフティ遮煙のりばドア、非常放送用スピーカー	P波付地震管制(地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、音成合成装置、車椅子仕様、赤外線多光軸ドアセフティ遮煙のりばドア、非常放送用スピーカー	P波付地震管制(地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、音成合成装置、車椅子仕様、赤外線多光軸ドアセフティ遮煙のりばドア、非常放送用スピーカー	P波付地震管制(地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、音成合成装置、車椅子仕様、赤外線多光軸ドアセフティ遮煙のりばドア、非常放送用スピーカー	P波付地震管制(地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、音成合成装置、車椅子仕様、赤外線多光軸ドアセフティ遮煙のりばドア、非常放送用スピーカー
稼働頻度	高稼働	高稼働	高稼働	高稼働	高稼働
製造者名	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)
備考	遠隔監視メンテナンス装置機械室レス	遠隔監視メンテナンス装置機械室レス	遠隔監視メンテナンス装置機械室レス	遠隔監視メンテナンス装置機械室レス	遠隔監視メンテナンス装置機械室レス

設置場所	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟
機種	6号機	7号機	8号機	9号機	10号機
設置年月日	平成21. 6. 30	平成21. 6. 30	平成21. 6. 30	平成21. 6. 30	平成21. 6. 30
契約種別	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約
駆動方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式
積載能力	1,000Kg	1,000Kg	1,300Kg	1,700Kg	1,700Kg
かごの速度	90 m/min	90 m/min	90 m/min	90 m/min	90 m/min
運転方式	全自動群管理方式(3カー)	全自動群管理方式(3カー)	方向性乗合全自動方式	方向性乗合全自動方式	方向性乗合全自動方式
定期検査の有無	有(6月)	有(6月)	有(6月)	有(6月)	有(6月)
無停止階床数	9箇所	9箇所	9箇所	11箇所	10箇所
用途	寝台用	寝台用	人荷用	非常用兼人荷用	非常用兼人荷用
付加装置	P波付地震管制(地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、音成合成装置、車椅子仕様、赤外線多光軸ドアセフティ遮煙のりばドア、扉開延長ボタン付、非常放送用スピーカー	P波付地震管制(地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、音成合成装置、車椅子仕様、赤外線多光軸ドアセフティ遮煙のりばドア、扉開延長ボタン付、非常放送用スピーカー	P波付地震管制(地震速報連動)、火災管制、停電時自動着床装置、自家発管制、監視盤、音成合成装置、遮煙のりばドア、非常放送用スピーカー	P波付地震管制(地震速報連動)、監視盤、音成合成装置、非常用	P波付地震管制(地震速報連動)、監視盤、音成合成装置、非常用
稼働頻度	高稼働	高稼働	高稼働		
製造者名	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)	東芝エレベータ(株)
備考	遠隔監視メンテナンス装置 機械室レス	遠隔監視メンテナンス装置 機械室レス	遠隔監視メンテナンス装置 機械室レス	遠隔監視メンテナンス装置	遠隔監視メンテナンス装置

設置場所	病棟	病棟			
機種	11号機	12号機			
設置年月日	平成 21. 6. 30	平成 21. 6. 30			
契約種別	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約			
駆動方式	交流インバーター制御方式	交流インバーター制御方式			
積載能力	750 Kg	300 Kg			
かごの速度	60 m/min	45 m/min			
運転方式	方向性乗合全自動方式	相互階制御方式			
定期検査の有無	有 (6月)	有 (6月)			
無停止階床数	3 箇所	2 箇所			
用途	乗用	荷物用			
付加装置	P波付地震管制(地震速報連動)、 火災管制、 停電時自動着床装置、 自家発管制、 監視盤、 赤外線多光軸ドアセーフティ遮煙のりばドア、 扉開延長ボタン付、	監視盤			
稼動頻度					
製造者名	東芝エレベーター(株)	東芝エレベーター(株)			
備考	遠隔監視メンテナンス装置	カメラ			

設置場所	講義実習棟	基礎臨床 研究棟	基礎臨床 研究棟	基礎臨床 研究棟	基礎臨床 研究棟
機種	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機
設置年月日	昭和50.3.25	昭和51.3.29	昭和52.3.25	平成21.12.	平成22.1.
契約種別	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約	フルメンテナンス契約
駆動方式	交流二段速度 歯車式	交流インバー ター制御方式	交流インバー ター制御方式	交流インバー ター制御方式	交流インバー ター制御方式
積載能力	600 kg	1,150 kg	1,150 kg	750 kg	750 kg
かごの速度	60 m/min	90 m/min	90 m/min	105 m/min	105 m/min
運転方式	方向性乗合 全自動方式	方向性乗合 全自動方式	方向性乗合 全自動方式	2カー群乗合 全自動方式	2カー群乗合 全自動方式
定期検査の 有無	有(10月)	有(10月)	有(10月)	有(10月)	有(10月)
無停止階 床数	4箇所	14箇所	9箇所	10箇所	10箇所
用途	乗用車椅子用	人荷用非常用	人荷用非常用	乗用車椅子用	乗用
付加装置	地震管制 (普通級 感知器付)、 火災管制、 監視盤、 車椅子用、 自家発管制	地震管制 (普通級P波検 知付)、 火災管制、 監視盤、 停電時自動 着床装置、 非常用仕様、 自家発管制、 非常放送用 スピーカー、 音声合成装置、 多光軸ドア セーフティ	地震管制 (普通級 P波検知付)、 火災管制、 監視盤、 停電時自動 着床装置、 非常用仕様、 自家発管制、 非常放送用 スピーカー、 音声合成装置、 多光軸ドア セーフティ	地震管制 (普通級 P波検知付)、 火災管制、 監視盤、 停電時自動 着床装置、 車椅子用、 視覚障害者 対策、 音声合成装置、 多光軸ドア セーフティ、 戸開走行保護 装置	地震管制 (普通級 P波検知付) 火災管制、 監視盤、 停電時自動着 床装置、 多光軸ドア セーフティ、 戸開走行保護 装置
稼働頻度				高稼働	高稼働
製造者名	日本 オートスリベータ(株)	日本 オートスリベータ(株)	日本 オートスリベータ(株)	日本 オートスリベータ(株)	日本 オートスリベータ(株)
備考		平成22年2月 更新 遠隔監視 メンテナンス装置	平成22年3月 更新 遠隔監視 メンテナンス装置 機械室レス	遠隔監視 メンテナンス装置 機械室レス	遠隔監視 メンテナンス装置

設置場所	看護師宿舎	R I 動物実験施設	R I 動物実験施設	R I 動物実験施設	図書館
機種	6号機	7号機	8号機	9号機	10号機
設置年月日	平成 20. 3. 28	昭和 52. 3. 30	昭和 55. 7. 30	平成 22.3.15	昭和 53. 11. 15
契約種別	メンテナンス契約	メンテナンス契約	メンテナンス契約	メンテナンス契約	メンテナンス契約
駆動方式	交流インバーター制御方式	交流二段速度歯車式	交流一段速度歯車式	インバーター制御方式	交流帰還制御歯車式
積載能力	450 kg	450 kg	300 kg	300 kg	750 kg
かごの速度	60 m/min	45 m/min	45 m/min	45 m/min	45 m/min
運転方式	方向性乗合全自動方式	方向性乗合全自動方式	相互階制御方式	相互階制御方式	方向性乗合全自動方式
定期検査の有無	有 (10月)	有 (10月)	有 (10月)	有 (10月)	有 (10月)
無停止階床数	5箇所	4箇所	4箇所	4箇所	2箇所
用途	乗 用	乗 用	荷 物 用	荷 物 用	乗用車椅子用
付加装置	地震管制 (普通級 P波検知付)、 火災管制、 監視盤、 停電時自動着床装置	地震管制 (普通級 感知器付)、 火災管制、 監視盤			地震管制 (普通級 感知器付)、 火災管制、 監視盤車椅子用
稼動頻度					
製造者名	日本 オチスエレベーター(株)	日本 オチスエレベーター(株)	日本 オチスエレベーター(株)	菱電 エレベーター施設 (株)(三菱系列)	日本 オチスエレベーター(株)
備 考			ゲムエーター	ゲムエーター	

設置場所	福利施設	看護学科棟		医工連携 拠点棟	
機種	11号機	13号機		2号機	
設置年月日	昭和59.2.20	平成9.7.28		平成30.10.20	
契約種別	メンテナンス契約	メンテナンス契約		メンテナンス契約	
駆動方式	油圧間接式	交流可変周波 数制御式 (インバーター制 御)		交流インバー ター制御式	
積載能力	750 kg	750 kg		1,000 kg	
かごの速度	30 m/min	45 m/min		60 m/min	
運転方式	方向性乗合 全自動方式	方向性乗合 全自動方式		乗合 全自動方式	
定期検査の 有無	有(10月)	有(10月)		有(月)	
無停止階 床数	3箇所	6箇所		5箇所	
用途	乗用車椅子用	寝台用車椅子 用		乗用車椅子用	
付加装置	地震管制 (普通級 感知器付)、 火災管制、 監視盤車 椅子用	地震管制 (普通級 感知器付)、 火災管制、 監視盤車 椅子用、 視覚障害者 対応、 オートリブ、 停電時自動 着床装置		P波+S波感知 器付地震管制 (リスタート付) 地震速報連動、 火災管制、 停電時自動 着床装置、 ピット浸水管制、 監視盤、 オートリブ、 車椅子仕様、 2D多光軸 ドアセーフティ 遮煙のりばドア 戸開走行保護 装置	
稼動頻度					
製造者名	日本 オーチスエレベータ(株)	日本 オーチスエレベータ(株)		フジテック(株)	
備考				遠隔監視 メンテナンス装置 機械室レス	

7. 昇降機設備

7.1. (B) 業務要領 昇降機

第1節 エレベーター

1

共通事項

(a) エレベーターの点検内容及び点検周期は、次による。

エレベーターの種類	点検項目及び点検内容
ロープ式エレベーター（リレー制御）	表 (1)
ロープ式エレベーター（マイコン制御）	表 (2)
油圧式エレベーター	表 (3)
機械室なしエレベーター	表 (4)
建築基準法に規定する 非常用エレベーター	表 (5)

(b) 表 (1) から表 (5) の点検周期は、現地で直接、専門技術者が点検する場合を示す。

(c) ロープ式エレベーター（リレー制御）、ロープ式エレベーター（マイコン制御）及び機械室なしエレベーターの点検周期は、稼働頻度に応じ「高稼働」の場合は、表 (1)、(2) 及び表 (4) の周期欄に掲げる（ ）内の周期を選択する。なお、「高稼働」とは、当該エレベーターの起動回数が 24,000 回/月以上、又は走行時間が 100 H/月以上のいずれかの場合をいう。

(d) ロープ式エレベーター（マイコン制御）、油圧式エレベーター及び機械室なしエレベーターで遠隔点検を適用する場合の点検周期は、表 (2)、(3) 及び表 (4) の周期遠隔欄に掲げる周期を選択する。

表 (1) ロープ式エレベーター（リレー制御）

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 機械室			
a. 機械室への通行	①機械室への通行及び出入りに支障がないことを確認する。	1 M	
	②出入口扉の施錠の良否を確認する。	1 M	
b. 室内環境	①室内清掃及びエレベーターの機能上又は保全の実施上支障のないことを確認する。	1 M	
	②室内又は制御盤の温度の良否を点検する。	1 M	
	③手巻きハンドルの設置の有無を点検する。	1 M	
	④エレベーターに係る設備以外のものの有無を確認する。	3 M	
c. 主開閉器、受電盤、制御盤、起動盤及び信号盤	①作動の良否を点検する。	1 M	
	②端子の緩み及びヒューズエレメントの異常の有無を点検する。	1 Y	
	③次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・電動機主回路 ・制御回路 ・信号回路 ・照明回路	1 Y	

	④主開閉器の操作及び作動の良否を点検する。	6 M
	⑤電磁接触器の接点摩耗の有無を点検する。	6 M
		(1 M)
	⑥制御盤内の清掃を実施する。	1 Y
	⑦プリント板汚れ及び冷却ファンの回転状態の異常の有無を点検する。	6 M
d. 階床選択機	①スチールテープ等と機械室床の貫通部分とが接触していないことを確認する。	1 M
	②作動の良否を点検する。	1 M
	③固定・可動接触子の磨耗の有無を点検する。	1 M
	④補正装置カム磨耗の有無を点検する。	6 M
	⑤各スイッチ接点の磨耗の有無を点検する。	6 M
	⑥先行モーターの作動の良否を点検する。	6 M
	⑦スチールテープ切断スイッチの作動の良否を点検する。	1 Y
	⑧減速器ギヤ歯当りの良否を点検する。	1 Y
	⑨駆動チェーンのテンション及び伸びの異常の有無を点検する。	6 M
	⑩各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y
	⑪移動ケーブルの取付け状態の良否、損傷等の有無を点検する。	6 M
e. 巻上機	①潤滑状態の良否及び油漏れの有無を点検する。	1 M
	②歯当りの良否を点検する。	1 Y
	③回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 Y
	④綱車のひび割れ、ロープ溝の摩耗及びロープスリップの有無を点検する。	1 Y
	⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y
f. 電磁ブレーキ	①スリップの異常の有無を点検する。	1 M
	②ブレーキシュー、アーム及びプランジャーの作動の良否を点検する。	6 M
	③プランジャーストロークを点検し、その良否を確認する。	6 M
		(3 M)
	④ブレーキスイッチ接点の脱落、荒損及び摩耗の有無を点検する。	6 M
		(3 M)
	⑤ブレーキライニングの摩耗の有無を点検する	1 Y
		(6 M)
	⑥制動力をチェックし、その良否を確認する。	1 Y
		(6 M)
g. そらせ車	①ロープ溝の摩耗の有無及び取付け状態の良否を点検する。	1 Y
	②回転状態の異常の有無を点検する。	1 M
	③各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y
h. 電動機及び電動発電機	①作動の良否を点検する。	1 M
	②異常音、異常振動及び異常温度の有無を点検する。	1 M
	③電動機スリップリング、コンミュテータ、カーボンブ	6 M

	ラシの荒損及び摩耗の有無を点検する。	(3 M)	
	④電動機エンコーダ、パイロットゼネレータ回転状態の異常の有無を点検する。	1 M	
	⑤電動機用冷却ファンの回転状態の異常の有無を点検する。	1 M	
	⑥発電機コンミュテータ、カーボンブラシの荒損及び摩耗の有無を点検する。	6 M (3 M)	
	⑦各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y (6 M)	
i. かが側調速機	①異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 M	
	②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1 Y	
	③過速スイッチ及びキャッチの作動速度を測定し、その値が基準値に適合していることを確認する。	1 Y	
	④エンコーダの作動の良否を点検する。	1 M	
	⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y (6 M)	
j. 機器の耐震対策	地震その他の振動による移動、転倒及び主索外れ防止装置の良否を点検する。	1 Y	・措置不良の場合の修理(※)
k. かが速度検出器	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	
	②正しく機能していることを確認する。	6 M	
l. 昇降路との貫通部分	主策及びガバナロープが機械室床の貫通部分と接触していないことを確認する。	1 Y	
2. かが			
a. 運行状態	加速・減速の良否並びに着床段差及び異常振動の有無を点検する。	1 M	
b. かが室の周壁、天井及び床	摩耗、さび及び腐食による劣化の有無を点検する。	1 M	
c. かごの戸及び敷居	①ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検する。 ②取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検する。 ③ビジョンガラスの汚れの有無を点検する。	3 M 1 Y 3 M	
d. かごの戸ハンガーローラ	①取付け状態及び作動の良否を点検する。 ②ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認する。	6 M 6 M	
e. かごの戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
f. ドアレール	①取付け状態の良否を点検する。 ②摩耗及びさびの有無を点検する。	6 M 6 M	
g. かごの戸のスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。 ②作動の良否を点検する。	6 M 1 M	

h. 戸閉め安全装置	①戸の反転動作機能の良否を点検する。	1 M	
	②ケーブルの取付け状態及び損傷の有無を点検する。	1 Y	
i. かご操作盤	①作動の良否を点検する。	1 M	
	②取付け状態の良否を点検する。	1 M	
j. かご内位置表示灯	球切れの有無を点検する。	1 M	
k. 外部への連絡装置	①呼出し及び通話の良否を点検する。	1 M	
	②装置の異常の有無を点検する。	1 M	
l. 照明	①球切れ及びちらつきの有無を点検する。	1 M	
	②照明カバーの取付け状態の良否及び汚れの有無を点検する。	1 M	
m. 換気扇及びファン	①回転状態の作動の良否を点検する。	1 M	
	②ルーバーの汚れの有無を点検する。	1 M	
n. 停止スイッチ	作動の良否を点検する。	1 M	
o. 注意銘板の表示	用途、積載質量（又は積載量）及び最大定員の表示の適否を点検する。	1 M	・表示が適用でない場合の交換 (※)
p. 停電灯装置	①点灯状態の良否を点検する。	1 M	
	②基準照度を基準時間以上保持できる状態のバッテリーであることを確認する。	1 Y	
q. 各階強制停止装置	作動の良否を点検する。	6 M	
r. かご床先と昇降路壁の水平距離	出入口の床先とかごの床先との水平距離及びかご床先と昇降路壁（乗用又は寝台用のエレベーターに限る）との水平距離が規定値内にあることを確認する。	1 Y	・異常がある場合の精密調査及び修理(※)
s. 光電装置	作動の良否を点検する。	1 M	
u. 専用操作盤 【車いす兼用の場合に限る】	①取付け状態の良否を点検する。	1 M	
	②作動の良否を点検する。	1 M	
v. 鏡及び手すり 【車いす兼用の場合に限る】	取付け状態の良否を点検する。	1 M	・調整不能の場合の修理(※)
w 床合せ補正装置	着床面を基準として規定値内の位置において補正することができることを確認する。	1 M	

3. かごの周囲・昇降路		
a. かごの上部の外観	汚れの有無を点検する。	1 M
b. 非常救出口	①かご外部からの開閉の良否を点検する。	6 M
	②救出口スイッチを作動させた場合にエレベーターが停止することを確認する。	6 M
c. 戸の開閉装置	①戸の開閉状態及び開閉時間の良否を点検する。	1 M
	②開閉機構の取付け状態の良否を点検する。	1 Y
	③軸受の異常音及び異常温度の有無を点検する。	1 Y
	④駆動チェーン・ベルトのテンション及び伸びの異常の有無を点検する。	1 Y
	⑤電動機コンミュテータ、カーボンブラシの荒損及び摩耗の有無を点検する。	1 Y
	⑥各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y
	⑦ギヤーオイル・グリースの漏れ及び劣化の状態を点検する。	1 Y
	⑧各スイッチ接点の摩耗の有無を点検する。	1 Y
	⑨制御抵抗管の状態を点検する。	1 Y
d. かご上安全スイッチ及び運転装置	作動の良否を点検する。	6 M
e. 階床選択機ステールテープ	①切断検出スイッチの作動の良否を点検する。	1 Y
	②ステールテープのき裂の有無を点検する。	1 Y
f. かごつり車及びおもりのつり車	①回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 Y
	②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1 Y
	③取付け状態の良否及びき裂の有無を点検する。	1 Y
	④各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y
g. ガイドシュー又はローラーガイド	取付け状態の良否及び摩耗の有無を点検する。	1 Y
h. 主索及び調速機ロープ	①破断、摩耗及びさびの有無を点検し、基準に適合していることを確認する。	1 Y
	②取付け状態の良否並びにダブルナット及び割ピンの劣化の有無を点検する。	1 Y
	③すべての主索が、ほぼ均等な張力であることを点検する。	6 M
i. ガイドレール及びブラケット	①取付け状態の良否を点検する。	1 M
	②さび、変形及び摩耗の有無を点検する。	1 Y
j. はかり装置	作動した場合に警報を発し、かつ、戸が閉まらないこ	1 Y

	とを確認する。		
k. つり合いおもり	取付け状態の良否を点検する。	6 M	
l. 上部ファイナル リミットスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。 ②作動の良否を点検する。	6 M 6 M	
m. 誘導板及びリミ ットスイッチ	取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
n. 中間つなぎ箱及 び配管	①ケーブルの取付け状態の良否を点検する。 ②昇降機に直接関係のない配管配線がないことを確認 する。	1 Y 1 Y	
o. 着床装置	作動の良否を点検する。	1 M	
p. 給油器	①給油機能の状態を点検する。 ②油量の適否を点検する。	6 M 6 M	
q. 終端階強制減速 装置	作動の良否を点検する。	1 Y	
r. 昇降路	①各出入口敷居下部の保護板の取付け状態の良否を点 検する。 ②エレベーターに係る設備以外のものの有無を点検す る。 ③昇降路のき裂、損傷及び汚れの有無を点検する。 ④地震その他の振動でかご及びロープが昇降路内の壁、 機器と接触しない措置が施されていることを確認す る。	1 Y 6 M 1 Y 1 Y	・エレベーターに 係る設備以外の ものがある場合 の撤去(※) ・き裂又は損傷が ある場合の精密 調査(※) ・接触の恐れがあ る場合の修理 (※)
4. 乗場			
a. 乗場ボタン	①乗場呼びの作動の良否を点検する。 ②取付け状態の良否を点検する。	1 M 1 M	
b. 位置表示灯	表示灯の球切れの有無を点検する。	1 M	
c. 非常解錠装置	解錠に支障がないことを確認する。	1 Y	
d. 乗場の戸及び敷 居	①ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検する。 ②取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検する。 ③ビジョンガラスの汚れの有無を点検する。	6 M 1 Y 3 M	
e. ドアインターロ ックスイッチ	①作動の良否を点検する。 ②取付け状態の良否を点検する。	1 M 6 M	

f. ドアクローザ	ドア閉端で自動的に閉じる機能に異常がないことを確認する。	6 M	
g. 乗場の戸ハンガーローラ	①取付け状態及び作動の良否を点検する。	1 Y	
	②ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認する。	1 Y	
h. 乗場の戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
i. ドアレール	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	
	②摩耗及びさびの有無を点検する。	6 M	
5. ピット			
a. 環境状況	①漏水の有無を点検する。	1 M	・漏水がある場合の精密調査及び修理(※) ・汚れ又はエレベーターに係る設備以外のものがある場合の清掃又は撤去(※)
	②汚れ及びエレベーターに係る設備以外のものの有無を点検する。	6 M	
b. 保守用停止スイッチ	作動の良否を点検する。	1 Y	
c. 非常止め装置	①取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
	②非常止めの試験を行い、異常のないことを確認する。	1 Y	
d. 緩衝器	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	
	②スプリング又はプランジャーのさびの有無を点検する。	6 M	
	③作動油の油量の適否を点検する。	1 Y	
e. ガバナロープ用及びその他の張り車	①走行中に、異常音の有無を確認する。	1 M	
	②ロープ溝の摩耗の有無を点検する	1 Y	
	③ピット床面との隙間の適否を点検する。	1 Y	
	④各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	
f. 移動ケーブル	①かごの運行時に、揺れ及び振れに異常のないことを確認する。	1 Y	
	②取付け状態の良否並びに損傷及び劣化の有無を点検する。	1 Y	
g. 下部ファイナルリミットスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	
	②作動の良否を点検する。	6 M	
h. つり合いロープ	取付け状態の良否並びにさび、摩耗、破断及び劣化の	1 Y	

(鎖) 及び取付部	有無を点検する。		
i. つり合いおもり 底部隙間	かごが最上階に着床している時のつり合いおもりと緩衝器との距離及びかごが最下階に着床している時のかごと緩衝器との距離が規定値にあることを確認する。	1 Y	
j. タイダウンセーフティ	取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
k. 耐震対策	地震その他の振動で、かごがピット内の機器と接触しない措置が施されていることを確認する。	1 Y	・接触の恐れがある場合の修理 (※)
6. 付加装置			
a. 地震時管制運転装置	作動の良否を点検する。	1 Y	
b. 火災時管制運転装置	作動の良否を点検する。	1 Y	
c. 自家発管制運転装置	作動の良否を点検する。	1 Y	
d. 停電時自動着床装置	①作動の良否を点検する。 ②バッテリー液に不足がないことを確認する。	1 Y 3 M	
e. オートアナウンス装置	作動の良否を点検する。	1 M	
f. マルチビームドアセーフティ	作動の良否を点検する。	1 M	
g. 中央監視盤	①表示灯の球切れの有無を点検する。 ②スイッチの作動の良否を点検する。 ③連絡装置の呼出し及び通話機能に異常がないことを確認する。	1 M 1 Y 1 M	
7. 群管理運転装置			
a. 運行状態	運行の異常の有無を点検する。	1 Y	
b. 制御盤及び信号盤	①作動の良否を点検する。 ②端子の緩み及びヒューズエレメントの異常の有無を点検する。 ③次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・制御回路 ・信号回路 ④電磁接触器の接点摩耗の有無を点検する。 ⑤制御盤内の清掃を実施する。 ⑥冷却ファンの回転の良否を点検する。 ⑦管理時計の作動の良否を点検する。	1 M 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	

表 (2) ロープ式エレベーター (マイコン制御)

点検項目	点検内容	周期	周期 遠隔	備考
1. 機械室				
a. 機械室への通行	①機械室への通行及び出入りに支障がないことを確認する。	1 M	3 M	
	②出入口扉の施錠の良否を確認する。	1 M	3 M	
b. 室内環境	①室内清掃及びエレベーターの機能上又は保全の実施上支障のないことを確認する。	1 M	3 M	
	②室内又は制御盤内の温度の良否を点検する。	1 M	3 M	
	③手巻きハンドルの設置の有無を点検する。	1 M	3 M	
	④エレベーターに係る設備以外のものの有無を確認する。	3 M	3 M	
c. 主開閉器、受電盤、制御盤、起動盤及び信号盤	①作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②端子の緩み及びヒューズエレメントの異常の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	③次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・電動機主回路 ・制御回路 ・信号回路 ・照明回路	1 Y	1 Y	
	④主開閉器の操作及び作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
	⑤電磁接触器の接点摩耗の有無を点検する。	6 M	6 M	
	⑥制御盤内の清掃を実施する。	1 Y	1 Y	
	⑦プリント板汚れ及び冷却ファンの回転状態の異常の有無を点検する。	6 M	6 M	
d. 巻上機	①潤滑状態の良否及び油漏れの有無を点検する。	1 M	3 M	
	②歯当りの良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	③回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	④綱車のひび割れ、ロープ溝の摩耗及びロープスリップの有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	1 Y	
e. 電磁ブレーキ	①スリップの異常の有無を点検する。	1 M	3 M	
	②ブレーキシュー、アーム及びプランジャーの作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
	③プランジャーストロークを点検し、その良否を確認する。	6 M (3 M)	6 M (3 M)	
	④ブレーキスイッチ接点の脱落、荒損及び摩耗の有無を点検する。	6 M (3 M)	6 M (3 M)	
	⑤ブレーキライニングの摩耗の有無を点検する	1 Y (6 M)	1 Y (6 M)	
	⑥制動力をチェックし、その良否を確認する。	1 Y (6 M)	1 Y (6 M)	

f. そらせ車	①ロープ溝の摩耗の有無及び取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	②回転状態の異常の有無を点検する。	1 M	3 M	
	③各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	1 Y	
g. 電動機	①作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②異常音、異常振動及び異常温度の有無を点検する。	1 M	3 M	
	③電動機エンコーダ、パイロットゼネレータの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	④電動機用冷却ファンの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y (6 M)	1 Y (6 M)	
h. かご側調速機	①異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 M	3 M	
	②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	③過速スイッチ及びキャッチの作動速度を測定し、その値が基準値に適合していることを確認する。	1 Y	1 Y	
	④エンコーダの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y (6 M)	1 Y (6 M)	
i. 機器の耐震対策	地震その他の振動による移動、転倒及び主索外れ防止装置の良否を点検する。	1 Y	1 Y	・措置不良の場合の修理(※)
j. かご速度検出器	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②正しく機能していることを確認する。	6 M	6 M	
k. 昇降路との貫通部分	主策及びガバナロープが機械室床の貫通部分と接触していないことを確認する。	1 Y	1 Y	
2. かご				
a. 運行状態	加速・減速の良否並びに着床段差及び異常振動の有無を点検する。	1 M	3 M	
b. かご室の周壁、天井及び床	摩耗、さび、腐食による劣化の有無を点検する。	1 M	3 M	
c. かごの戸及び敷居	①ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検する。	3 M	3 M	
	②取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検する。	1 Y	1 Y	
	③ビジョンガラスの汚れの有無を点検する。	3 M	3 M	
d. かごの戸ハンガーローラ	①取付け状態及び作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認する。	6 M	6 M	

e. かごの戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
f. ドアレール	①取付け状態の良否を点検する。 ②摩耗及びさびの有無を点検する。	6 M 6 M	6 M 6 M	
g. かごの戸のスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。 ②作動の良否を点検する。	6 M 1 M	6 M 3 M	
h. 戸閉め安全装置	①戸の反転動作機能の良否を点検する。 ②ケーブルの取付け状態及び損傷の有無を点検する。	1 M 1 Y	3 M 1 Y	
i. かご操作盤	①作動の良否を点検する。 ②取付け状態の良否を点検する。	1 M 1 M	3 M 3 M	
j. かご内位置表示灯	球切れの有無を点検する。	1 M	3 M	
k. 外部への連絡装置	①呼出し及び通話の良否を点検する。 ②装置の異常の有無を点検する。 ③電話回線を使用している場合は、電話回線の異常の有無を点検する。	1 M 1 M 3 M	3 M 3 M 3 M	
l. 照明	①球切れ及びちらつきの有無を点検する。 ②照明カバーの取付け状態の良否及び汚れの有無を点検する。	1 M 1 M	3 M 3 M	
m. 換気扇及びファン	①回転状態の作動の良否を点検する。 ②ルーバーの汚れの有無を点検する。	1 M 1 M	3 M 3 M	
n. 停止スイッチ	作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
o. 注意銘板の表示	用途、積載質量（又は積載量）及び最大定員の表示の適否を点検する。	1 M	3 M	・表示が適用でない場合の交換 (※)
p. 停電灯装置	①点灯状態の良否を点検する。 ②基準照度を基準時間以上保持できる状態のバッテリーであることを確認する。	1 M 1 Y	3 M 1 Y	
q. 各階強制停止装置	作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
r. かご床先と昇降路壁の水平距離	出入口の床先とかごの床先との水平距離及びかご床先と昇降路壁（乗用又は寝台用のエレベーターに限る）との水平距離が規定値内にあることを確認する。	1 Y	1 Y	・異常がある場合の精密調査及び修理(※)
s. 光電装置	作動の良否を点検する。	1 M	3 M	

t. 専用操作盤 【車いす兼用の場 合に限る】	①取付け状態の良否を点検する。 ②作動の良否を点検する。	1 M 1 M	3 M 3 M	
u. 鏡及び手すり 【車いす兼用の場 合に限る】	取付け状態の良否を点検する。	1 M	3 M	調整不能の場合 の修理(※)
v. 床合せ補正装置	着床面を基準として規定値内の位置において 補正することができることを確認する。	1 M	3 M	
3. かごの周囲・昇降 路				
a. かごの上部の外 観	汚れの有無を点検する。	1 M	3 M	
b. 非常救出口	①かご外部からの開閉の良否を点検する。 ②救出口スイッチを作動させた場合にエレベ ーターが停止することを確認する。	6 M 6 M	6 M 6 M	
c. 戸の開閉装置	①戸の開閉状態及び開閉時間の良否を点検す る。 ②開閉機構の取付け状態の良否を点検する。 ③軸受の異常音及び異常温度の有無を点検す る。 ④駆動チェーン・ベルトのテンション及び伸び の異常の有無を点検する。 ⑤電動機コンミュテータ、カーボンブラシの荒 損及び摩耗の有無を点検する。 ⑥各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実 施する。 ⑦ギヤーオイル・グリースの漏れ及び劣化の状 態を点検する。 ⑧各スイッチ接点の摩耗の有無を点検する。 ⑨制御抵抗管の状態を点検する。	1 M 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	3 M 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
d. かご上安全スイ ッチ及び運転装 置	作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
e. かごつり車及び おもりのつり車	①回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を 点検する。 ②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。 ③取付け状態の良否及びき裂の有無を点検す る。 ④各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実 施する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
f. ガイドシュー又	取付け状態の良否及び摩耗の有無を点検す	1 Y	1 Y	

はローラーガイド	る。			
g. 主索及び調速機ロープ	①破断、摩耗及びさびの有無を点検し、基準に適合していることを確認する。 ②取付け状態の良否並びにダブルナット及び割ピンの劣化の有無を点検する。 ③すべての主索が、ほぼ均等な張力であることを点検する。	1 Y 1 Y 6 M	1 Y 1 Y 6 M	
h. ガイドレール及びブラケット	①取付け状態の良否を点検する。 ②さび、変形及び摩耗の有無を点検する。	1 M 1 Y	6 M 1 Y	
i. はかり装置	作動した場合に警報を発し、かつ、戸が閉まらないことを確認する。	1 Y	1 Y	
j. つり合いおもり	取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	
k. 上部ファイナルリミットスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。 ②作動の良否を点検する。	6 M 6 M	6 M 6 M	
l. 誘導板及びリミットスイッチ	取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
m. 中間つなぎ箱及び配管	①ケーブルの取付け状態の良否を点検する。 ②昇降機に直接関係のない配管配線がないことを確認する。	1 Y 1 Y	1 Y 1 Y	
n. 着床装置	作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
o. 給油器	①給油機能の状態を点検する。 ②油量の適否を点検する。	6 M 6 M	6 M 6 M	
p. 終端階強制減速装置	作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
q. 昇降路	①各出入口敷居下部の保護板の取付け状態の良否を点検する。 ②エレベーターに係る設備以外のものの有無を点検する。 ③昇降路のき裂、損傷及び汚れの有無を点検する。 ④地震その他の振動でかご及びロープが昇降路内の壁、機器と接触しない措置が施されていることを確認する。	1 Y 6 M 1 Y 1 Y	1 Y 6 M 1 Y 1 Y	・エレベーターに係る設備以外のものがある場合の撤去(※) ・き裂又は損傷がある場合の精密調査(※) ・接触の恐れがある場合の修理(※)

4. 乗場				
a. 乗場ボタン	①乗場呼びの作動の良否を点検する。 ②取付け状態の良否を点検する。	1 M 1 M	3 M 3 M	
b. 位置表示灯	表示灯の球切れの有無を点検する。	1 M	3 M	
c. 非常解錠装置	解錠に支障がないことを確認する。	1 Y	1 Y	
d. 乗場の戸及び敷居	①ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検する。 ②取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検する。 ③ビジョンガラスの汚れの有無を点検する。	6 M 1 Y 3 M	6 M 1 Y 3 M	
e. ドアインターロックスイッチ	①作動の良否を点検する。 ②取付け状態の良否を点検する。	1 M 6 M	3 M 6 M	
f. ドアクローザ	ドア閉端で自動的に閉じる機能に異常がないことを確認する。	6 M	6 M	
g. 乗場の戸ハンガーローラ	①取付け状態及び作動の良否を点検する。 ②ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認する。	1 Y 1 Y	1 Y 1 Y	
h. 乗場の戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
i. ドアレール	①取付け状態の良否を点検する。 ②摩耗及びさびの有無を点検する。	6 M 6 M	6 M 6 M	
j. 光電装置	作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
5. ピット				
a. 環境状況	①漏水の有無を点検する。 ②汚れ及びエレベーターに係る設備以外のものの有無を点検する。	1 M 6 M	3 M 6 M	・漏水がある場合の精密調査及び修理(※) ・汚れ又はエレベーターに係る設備以外のものがある場合の清掃又は撤去(※)
b. 保守用停止スイッチ	作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
c. 非常止め装置	①取付け状態の良否を点検する。 ②非常止めの試験を行い、異常のないことを確認する。	1 Y 1 Y	1 Y 1 Y	
d. 緩衝器	①取付け状態の良否を点検する。 ②スプリング又はプランジャーのさびの有無を	6 M 6 M	6 M 6 M	

	点検する。 ③油入式の場合は、作動油の油量の適否を点検する。	1 Y	1 Y	
e. ガバナロープ用及びその他の張り車	①走行中に、異常音の有無を確認する。 ②ロープ溝の摩耗の有無を点検する ③ピット床面との隙間の適否を点検する。 ④各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 M 1 Y 1 Y 1 Y	3 M 1 Y 1 Y 1 Y	
f. 移動ケーブル	①かごの運行時に、揺れ及び振れに異常のないことを確認する。 ②取付け状態の良否並びに損傷及び劣化の有無を点検する。	1 Y 1 Y	1 Y 1 Y	
g. 下部ファイナルリミットスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。 ②作動の良否を点検する。	6 M 6 M	6 M 6 M	
h. つり合いロープ(鎖)及び取付部	取付け状態の良否及びさび、摩耗、破断、劣化の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
i. つり合いおもり底部隙間	かごが最上階に着床している時のつり合いおもりと緩衝器との距離及びかごが最下階に着床している時のかごと緩衝器との距離が規定値にあることを確認する。	1 Y	1 Y	
j. タイダウンセーフティ	取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
k. 耐震対策	地震その他の振動で、かごがピット内の機器と接触しない措置が施されていることを確認する。	1 Y	1 Y	・接触の恐れがある場合の修理 (※)
6. 付加装置				
a. 地震時管制運転装置	作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
b. 火災時管制運転装置	作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
c. 自家発管制運転装置	作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
d. 停電時自動着床装置	①作動の良否を点検する。 ②バッテリー液に不足がないことを確認する。	1 Y 3 M	1 Y 3 M	
e. オートアナウンス装置	作動の良否を点検する。	1 M	3 M	

f. 超音波ドアセフティ	作動の良否を点検する。	1 M	3 M
g. マルチビームドアセフティ	作動の良否を点検する。	1 M	3 M
h. 中央監視盤	①表示灯の球切れの有無を点検する。	1 M	3 M
	②スイッチの作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y
	③連絡装置の呼出し及び通話機能に異常がないことを確認する。	1 M	3 M
7. 群管理運転装置			
a. 運行状態	運行の異常の有無を点検する。	1 Y	1 Y
b. 制御盤及び信号盤	①作動の良否を点検する。	1 M	3 M
	②端子の緩み及びヒューズエレメントの異常の有無を点検する。	1 Y	1 Y
	③次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・制御回路 ・信号回路	1 Y	1 Y
	④電磁接触器の接点摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y
	⑤制御盤内の清掃を実施する。	1 Y	1 Y
	⑥冷却ファンの回転の良否を点検する。	1 Y	1 Y
	⑦管理時計の作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y

表 (3) 油圧式エレベーター

点検項目	点検内容	周期	周期 遠隔	備考
1. 機械室				
a. 機械室への通行	①機械室への通行及び出入りに支障がないことを確認する。	1 M	3 M	・表示が適当でない場合は交換 (※)
	②出入口扉の施錠の良否を確認する。	1 M	3 M	
b. 室内環境	①室内清掃及びエレベーターの機能上又は保全の実施上支障のないことを確認する。	1 M	3 M	
	②室内又は制御盤内の温度の良否を点検する。	1 M	3 M	
	③エレベーター係る設備以外のもの有無を確認する。	3 M	3 M	
c. 消火器等	①出入口付近に消火器又は消火砂が設けられていることを確認する。	1 Y	1 Y	
	②火気厳禁の表示の有無を確認する。	1 Y	1 Y	
d. 主開閉器、受電盤、制御盤、起動盤及び信号盤	①作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②端子の緩み及びヒューズエレメントの異常の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	③次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否	1 Y	1 Y	

	を確認する。 ・電動機主回路 ・信号回路	・制御回路 ・照明回路		
	④主開閉器の操作及び作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
	⑤電磁接触器の接点摩耗の有無を点検する。	6 M	6 M	
	⑥制御盤内の清掃を実施する。	1 Y	1 Y	
	⑦プリント板の汚れ及び冷却ファンの回転状態の異常の有無を点検する。	6 M	6 M	
e. 電動機	①作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②異常音、異常振動及び異常温度の有無を点検する。	1 M	3 M	
	③電動機エンコーダ及びパイロットゼネレータの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	④電動機用冷却ファンの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	1 Y	
f. パワーユニット	①圧力計の指示値が正常であることを確認する。	1 M	3 M	
	②ポンプの油漏れ及び異常音、異常振動等の有無を点検する。	1 M	3 M	
	③駆動ベルトの張力の良否を点検する。	6 M	6 M	
	④油圧タンク油量の適否及び油漏れの有無を点検する。	3 M	3 M	
	⑤油圧タンク内油の汚れの有無及び油温の適否を点検する。	1 Y	1 Y	・汚れが著しい場合の油交換(※)
	⑥油圧タンクの取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	⑦安全弁の作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	⑧逆止弁の作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	⑨手動下降弁の作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	⑩油フィルターの汚れの有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	⑪電磁バルブの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	⑫オイルクーラー用冷却ファンの回転状態及び冷却効果の異常の有無を点検する。	6 M	6 M	
	⑬水冷クーラー用冷却水量の適否を点検する。	1 Y	1 Y	
	⑭油圧流量コントロールモーターの作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	⑮油圧流量コントロール装置カムスイッチ接点の磨耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
g. 圧力配管	①油漏れの有無及び継手部の接続の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	②圧力配管の固定状態を点検する。	1 Y	1 Y	
h. 高圧ゴムホース	油漏れの有無及び継手部の接続の良否を点検する。	3 M	3 M	
i. 空転防止装置	規定の時間内に確実に作動することを確認する。	1 Y	1 Y	

j. 機器の耐震対策	る。 地震その他の振動による移動、転倒及び主索外れ防止装置の良否を点検する。	1 Y	1 Y	・措置不良の場合の修理(※)
2. かご				
a. 運行状態	加速・減速の良否並びに着床段差及び異常振動の有無を点検する。	1 M	3 M	
b. かご室の周壁、天井及び床	摩耗、さび及び腐食による劣化の有無を点検する。	1 M	3 M	
c. かごの戸及び敷居	①ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検する。	3 M	3 M	
	②取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検する。	1 Y	1 Y	
	③ビジョンガラスの汚れの有無を点検する。	3 M	3 M	
d. かごの戸ハンガーローラ	①取付け状態及び作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認する。	6 M	6 M	
e. かごの戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
f. ドアレール	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②摩耗及びさびの有無を点検する。	6 M	6 M	
g. かごの戸のスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
h. 戸閉め安全装置	①戸の反転動作機能の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②ケーブルの取付け状態及び損傷の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
i. かご操作盤	①作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②取付け状態の良否を点検する。	1 M	3 M	
j. かご内位置表示灯	球切れの有無を点検する。	1 M	3 M	
k. 外部への連絡装置	①呼出し及び通話の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②装置の異常の有無を点検する。	1 M	3 M	
	③電話回線を使用している場合は、電話回線の異常の有無を点検する。	3 M	3 M	

l. 照明	①球切れ及びちらつきの有無を点検する。	1 M	3 M	
	②照明カバーの取付け状態の良否及び汚れの有無を点検する。	1 M	3 M	
m. 換気扇及びファン	①回転状態の作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②ルーバーの汚れの有無を点検する。	1 M	3 M	
n. 停止スイッチ	作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
o. 注意銘板の表示	用途、積載質量（又は積載量）及び最大定員の表示の適否を点検する。	1 M	3 M	・表示が適用でない場合の交換 (※)
p. 停電灯装置	①点灯状態の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②基準照度を基準時間以上保持できる状態のバッテリーであることを確認する。	1 Y	1 Y	
q. 各階強制停止装置	作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
r. かがり床先と昇降路壁の水平距離	出入口の床先とかごの床先との水平距離及びかがり床先と昇降路壁（乗用又は寝台用のエレベーターに限る）との水平距離が規定値内にあることを確認する。	1 Y	1 Y	・異常がある場合の精密調査及び修理(※)
s. 光電装置	作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
t. 専用操作盤 【車いす兼用の場合に限る】	①取付け状態の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
u. 鏡及び手すり 【車いす兼用の場合に限る】	取付け状態の良否を点検する。	1 M	3 M	・調整不能の場合の修理(※)
v. 床合せ補正装置	着床面を基準として規定値内の位置において補正することができることを確認する。	1 M	3 M	
w. ドアゾーン行過ぎ制限装置	作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
3. かがりの周囲・昇降路				
a. かがりの上部の外観	汚れの有無を点検する。	1 M	3 M	
b. 非常救出口	①かがり外部からの開閉の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②救出口スイッチを作動させた場合にエレベーターが停止することを確認する。	6 M	6 M	

c. 戸の開閉装置	①戸の開閉状態及び開閉時間の良否を点検する。	1 M	3 M
	②開閉機構の取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y
	③軸受の異常音及び異常温度の有無を点検する。	1 Y	1 Y
	④駆動チェーン・ベルトのテンション及び伸びの異常の有無を点検する。	1 Y	1 Y
	⑤電動機コンミュテータ、カーボンブラシの荒損及び摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y
	⑥各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	1 Y
	⑦ギヤーオイル・グリースの漏れ及び劣化の状態を点検する。	1 Y	1 Y
	⑧各スイッチ接点の摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y
	⑨制御抵抗管の状態を点検する。	1 Y	1 Y
d. かご上安全スイッチ及び運転装置	作動の良否を点検する。	6 M	6 M
e. ガイドシュー又はローラーガイド	取付け状態の良否及び摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y
f. 主索及び调速機ロープ	①破断、摩耗及びさびの有無を点検し、基準に適合していることを確認する。	1 Y	1 Y
	②取付け状態の良否並びにダブルナット及び割ピンの劣化の有無を点検する。	1 Y	1 Y
	③すべての主索が、ほぼ均等な張力であることを点検する。	6 M	6 M
g. 主索の緩み検出装置	作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y
h. ガイドレール及びブラケット	①取付け状態の良否を点検する。	1 M	3 M
	②さび、変形及び摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y
i. はかり装置	作動した場合に警報を発し、かつ戸が閉まらないことを確認する。	1 Y	1 Y
j. 上部ファイナルリミットスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M
	②作動の良否を点検する。	6 M	6 M
k. 頂部安全距離確保スイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M
	②作動させた場合に、頂部安全距離が規定値以上確保できることを確認する。	6 M	6 M
l. 誘導板及びリミットスイッチ	取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y

m. 中間つなぎ箱及び配管	①ケーブルの取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	②昇降機に直接関係のない配管配線がないことを確認する。	1 Y	1 Y	
n. 着床装置	作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
o. 給油器	①給油機能の状態を点検する。	6 M	6 M	
	②油量の適否を点検する。	6 M	6 M	
p. 油圧シリンダー及びプランジャー 【間接式に限る】	①取付けの良否並びに油漏れ、さび、損傷等の劣化の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	②グランド部汚れ及び油戻しホースの取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
q. プランジャー離脱防止装置 【間接式に限る】	①作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	②かごを最上階より微速で上昇させ、プランジャーが離脱防止装置で停止したとき、頂部すき間が規定値以上であることを確認する。	1 Y	1 Y	
	③プランジャーリミットスイッチの作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
r. プランジャー頂部綱車 【間接式に限る】	①回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	③取付け状態の良否及びき裂の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	④各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	1 Y	
s. 昇降路	①各出入口敷居下部の保護板の取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	②エレベーターに係る設備以外のものの有無を点検する。	6 M	6 M	・エレベーターに係る設備以外のものが有る場合の撤去(※)
	③昇降路のき裂、損傷及び汚れの有無を点検する。	1 Y	1 Y	・き裂又は損傷がある場合の精密調査(※)
	④地震その他の振動でかご及びロープが昇降路内の壁、機器と接触しない措置が施されていることを確認する。	1 Y	1 Y	・接触の恐れがある場合の修理(※)
4. 乗場				
a. 乗場ボタン	①乗場呼びの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②取付け状態の良否を点検する。	1 M	3 M	
b. 位置表示灯	表示灯の球切れの有無を点検する。	1 M	3 M	
c. 非常解錠装置	解錠に支障がないことを確認する。	1 Y	1 Y	

d. 乗場の戸及び敷居	①ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検する。	6 M	6 M	<ul style="list-style-type: none"> ・漏水がある場合の精密調査及び修理(※) ・汚れ又はエレベーターに係る設備以外のもがある場合の清掃又は撤去(※)
	②取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検する。	1 Y	1 Y	
	③ビジョンガラスの汚れの有無を点検する。	3 M	3 M	
e. ドアインターロックスイッチ	①作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	
f. ドアクローザ	ドア閉端で自動的に閉じる機能に異常がないことを確認する。	6 M	6 M	
g. 乗場の戸ハンガーローラ	①取付け状態及び作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	②ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認する。	1 Y	1 Y	
h. 乗場の戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
i. ドアレール	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②摩耗及びさびの有無を点検する。	6 M	6 M	
5. ピット				
a. 環境状況	①漏水の有無を点検する。	1 M	3 M	
	②汚れ及びエレベーターに係る設備以外のものの有無を点検する。	6 M	6 M	
b. 保守用停止スイッチ	作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
c. 非常止め装置	①取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	②非常止めの試験を行い、異常のないことを確認する。	1 Y	1 Y	
d. 緩衝器	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②スプリングのさびの有無を点検する。	6 M	6 M	
e. かごと緩衝器との距離	かごと最下階に着床しているときのかごと緩衝器との距離が、下降定格速度に応じ、基準内であることを確認する。	1 Y	1 Y	
f. 油戻し装置	①油漏れの有無及び作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②油フィルターの汚れの有無を点検する。	1 Y	1 Y	
g. かご速度検出器	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	

	②正しく機能していることを確認する。	6 M	6 M	
h. 移動ケーブル	①かごの運行時に、揺れ及び振れに異常のないことを確認する。	1 Y	1 Y	
	②取付け状態の良否並びに損傷及び劣化の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
i. 下部ファイナルリミットスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
j. 底部安全距離確保スイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②作動させた場合に、頂部安全距離が規定値以上確保できることを確認する。	6 M	6 M	
k. 耐震対策	地震その他の振動で、かごがピット内の機器と接触しない措置が施されていることを確認する。	1 Y	1 Y	・接触の恐れがある場合の修理 (※)
6. 付加装置	表(2)「ロープ式エレベーター(マイコン制御)」6. 付加装置の当該事項による。			
7. 群管理運転装置	表(2)「ロープ式エレベーター(マイコン制御)」7. 群管理運転装置の当該事項による。			

表(4) 機械室なしエレベーター

点検項目	点検内容	周期	周期 遠隔	備考
1. 機器類				
a. 主開閉器、受電盤、制御盤、起動盤及び信号盤	①作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②端子の緩み及びヒューズエレメントの異常の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	③次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・電動機主回路 ・制御回路 ・信号回路 ・照明回路	1 Y	1 Y	
	④主開閉器の操作及び作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
	⑤電磁接触器の接点摩耗の有無を点検する。	6 M	6 M	
	⑥制御盤内の清掃を実施する。	1 Y	1 Y	
	⑦プリント板の汚れ及び冷却ファンの回転状態の異常の有無を点検する。	6 M	6 M	
b. 制御盤カバースイッチ	スイッチの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
c. 巻上機	①潤滑状態の良否及び油漏れの有無を点検する。	1 M	3 M	
	②歯当りの良否を点検する。	1 Y	1 Y	

	③回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	④綱車のひび割れ、ロープ溝の摩耗及びロープスリップの有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	1 Y	
d. 電磁ブレーキ	①スリップの異常の有無を点検する。	1 M	1 M	
	②ブレーキシュー、アーム及びプランジャーの作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
	③プランジャーストロークを点検し、その良否を確認する。	6 M (3 M)	6 M (3 M)	
	④ブレーキスイッチ接点の脱落、荒損及び摩耗の有無を点検する。	6 M (3 M)	6 M (3 M)	
	⑤ブレーキライニング摩耗の有無を点検する	1 Y (6 M)	1 Y (6 M)	
	⑥制動力をチェックし、その良否を確認する。	1 Y (6 M)	1 Y (6 M)	
e. 電動機	①作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②異常音、異常振動及び異常温度の有無を点検する。	1 M		
	③電動機エンコーダ、パイロットゼネレータの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	④電動機用冷却ファンの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y (6 M)	1 Y (6 M)	
f. かご側調速機	①異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 M	3 M	
	②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	③過速スイッチ及びキャッチの作動速度を測定し、その値が基準値に適合していることを確認する。	1 Y	1 Y	
	④エンコーダの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y (6 M)	1 Y (6 M)	
g. つり合いおもり側調速機	①異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 M	3 M	
	②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	③過速スイッチ及びキャッチの作動速度を測定し、その値が基準値に適合していることを確認する。	1 Y	1 Y	
	④エンコーダの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y (6 M)	1 Y (6 M)	
h. 機器の耐震対策	地震その他の振動による移動、転倒及び主索外れ防止装置の良否を点検する。	1 Y	1 Y	・措置不良の場合の修理(※)
i. かご速度検出器	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	

	②正しく機能していることを確認する。	6 M	6 M
2. かご			
a. 運行状態	加速・減速の良否並びに着床段差及び異常振動の有無を点検する。	1 M	3 M
b. かご室の周壁、天井及び床	摩耗、さび及び腐食による劣化の有無を点検する。	1 M	3 M
c. かごの戸及び敷居	①ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検する。	3 M	3 M
	②取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検する。	1 Y	1 Y
	③ビジョンガラスの汚れの有無を点検する。	3 M	3 M
d. かごの戸ハンガーローラ	①取付け状態及び作動の良否を点検する。	6 M	6 M
	②ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認する。	6 M	6 M
e. かごの戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗及び取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y
f. ドアレール	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M
	②摩耗及びさびの有無を点検する。	6 M	6 M
g. かごの戸のスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M
	②作動の良否を点検する。	1 M	3 M
h. 戸閉め安全装置	①戸の反転動作機能の良否を点検する。	1 M	3 M
	②ケーブルの取付け状態及び損傷の有無を点検する。	1 Y	1 Y
i. かご操作盤	①作動の良否を点検する。	1 M	3 M
	②取付け状態の良否を点検する。	1 M	3 M
j. かご内位置表示灯	球切れの有無を点検する。	1 M	3 M
k. 外部への連絡装置	①呼出し及び通話の良否を点検する。	1 M	3 M
	②装置の異常の有無を点検する。	1 M	3 M
	③電話回線を使用している場合は、電話回線の異常の有無を点検する。	3 M	3 M
l. 照明	①球切れ及びちらつきの有無を点検する。	1 M	3 M
	②照明カバーの取付け状態の良否、汚れの有無を点検する。	1 M	3 M
m. 換気扇及びファン	①回転状態の作動の良否を点検する。	1 M	3 M
	②ルーバーの汚れの有無を点検する。	1 M	3 M

n. 停止スイッチ	作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
o. 注意銘板の表示	用途、積載質量（又は積載量）及び最大定員の表示の適否を点検する。	1 M	3 M	・表示が適用でない場合の交換 (※)
p. 停電灯装置	①点灯状態の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②基準照度を基準時間以上保持できる状態のバッテリーであることを確認する。	1 Y	1 Y	
q. 各階強制停止装置	作動の良否を点検する。	6 M	6 M	
r. かご床先と昇降路壁の水平距離	出入口の床先とかごの床先との水平距離及びかご床先と昇降路壁（乗用又は寝台用のエレベーターに限る）との水平距離が規定値内にあることを確認する。	1 Y	1 Y	・異常がある場合の精密調査及び修理(※)
s. 光電装置	作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
t. 側部救出口	施錠及びスイッチの作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
u. 専用操作盤 【車いす兼用の場合に限る】	①取付け状態の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
v. 鏡及び手すり 【車いす兼用の場合に限る】	取付け状態の良否を点検する。	1 M	3 M	・調整不能の場合の修理(※)
w. 床合せ補正装置	着床面を基準として規定値内の位置において補正することができることを確認する。	1 M	3 M	
3. かごの周囲及び昇降路				
a. かごの上部の外観	汚れの有無を点検する。	1 M	3 M	
b. 非常救出口	①かご外部からの開閉の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②救出口スイッチを作動させた場合にエレベーターが停止することを確認する。	6 M	6 M	
c. 戸の開閉装置	①戸の開閉状態及び開閉時間の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②開閉機構の取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	③軸受の異常音及び異常温度の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	④駆動チェーン・ベルトのテンション及び伸びの異常の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	⑤電動機コンミュテータ、カーボンブラシの荒損及び摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	⑥各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	1 Y	

	⑦ギヤオイル・グリースの漏れ及び劣化の状態を点検する。	1 Y	1 Y
	⑧各スイッチ接点の摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y
	⑨制御抵抗管の状態を点検する。	1 Y	1 Y
d. かご上安全スイッチ及び運転装置	作動の良否を点検する。	6 M	6 M
e. おもりのつり車	①回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 Y	1 Y
	②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y
	③取付け状態の良否及びき裂の有無を点検する。	1 Y	1 Y
	④各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	1 Y
f. ガイドシュー又はローラーガイド	取付け状態の良否及び摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y
g. 主索及び调速機ロープ	①破断、摩耗及びさびの有無を点検し、基準に適合していることを確認する。	1 Y	1 Y
	②取付け状態の良否並びにダブルナット及び割ピンの劣化の有無を点検する。	1 Y	1 Y
	③すべての主索が、ほぼ均等な張力であることを点検する。	6 M	6 M
h. 主索の緩み検出装置	作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y
i. ガイドレール及びブラケット	①取付け状態の良否を点検する。	1 M	6 M
	②さび、変形及び摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y
j. はかり装置	作動した場合に警報を発し、かつ、戸が閉まらないことを確認する。	1 Y	1 Y
k. つり合いおもり	取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M
l. つり合いおもりの非常止め装置	①取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y
	②非常止めの試験を行い、異常のないことを確認する。	1 Y	1 Y
m. 上部ファイナルリミットスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M
	②作動の良否を点検する。	6 M	6 M
n. 頂部安全距離確保スイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M
	②作動させた場合に、頂部安全距離が規定値以上確保できることを確認する。	6 M	6 M

o. 頂部綱車	①回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	③取付け状態の良否及びき裂の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	④各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	1 Y	
p. 誘導板及びリミットスイッチ	取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
q. 中間つなぎ箱及び配管	①ケーブルの取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	②昇降機に直接関係のない配管配線がないことを確認する。	1 Y	1 Y	
r. 着床装置	作動の良否を点検する。	1 M	1 M	
s. 給油器	①給油機能の状態を点検する。	6 M	6 M	
	②油量の適否を点検する。	6 M	6 M	
t. 終端階強制減速装置	作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
u. 昇降路	①各出入口敷居下部の保護板の取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	②エレベーターに係る設備以外のものの有無を点検する。	6 M	6 M	・エレベーターに係る設備以外のものがある場合の撤去(※)
	③昇降路のき裂、損傷及び汚れの有無を点検する。	1 Y	1 Y	・き裂又は損傷がある場合の精密調査(※)
	④地震その他の振動でかご及びロープが昇降路内の壁、機器と接触しない措置が施されていることを確認する。	1 Y	1 Y	・接触の恐れがある場合の修理(※)
4. 乗場				
a. 乗場ボタン	①乗場呼びの作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②取付け状態の良否を点検する。	1 M	3 M	
b. 位置表示灯	表示灯の球切れの有無を点検する。	1 M	3 M	
c. 非常解錠装置	解錠に支障がないことを確認する。	1 Y	1 Y	
d. 乗場の戸及び敷居	①ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検する。	6 M	6 M	
	②取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検する。	1 Y	1 Y	
	③ビジョンガラスの汚れの有無を点検する。	3 M	3 M	

e. ドアインターロックスイッチ	①作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
	②取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	
f. ドアクローザ	ドア閉端で自動的に閉じる機能に異常がないことを確認する。	6 M	6 M	
g. 乗場の戸ハンガーローラ	①取付け状態及び作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	②ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認する。	1 Y	1 Y	
h. 乗場の戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗及び取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
i. ドアレール	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②摩耗及びさびの有無を点検する。	6 M	6 M	
j. 光電装置など	作動の良否を点検する。	1 M	3 M	
k. ブレーキ開放装置	機能の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
5. ピット				
a. 環境状況	①漏水の有無を点検する。	1 M	3 M	・漏水がある場合の精密調査及び修理(※) ・汚れ又はエレベーターに係る設備以外のものがある場合の清掃又は撤去(※)
	②汚れ及びエレベーターに係る設備以外のものの有無を点検する。	6 M	6 M	
b. 保守用停止スイッチ	作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
c. 非常止め装置	①取付け状態の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
	②非常止めの試験を行い、異常のないことを確認する。	1 Y	1 Y	
d. かご下綱車	①回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	③取付け状態の良否及びき裂の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
	④各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	1 Y	
e. 緩衝器	①取付け状態の良否を点検する。	6 M	6 M	
	②スプリング又はプランジャーのさびの有無を点検する。	6 M	6 M	

	③油入式の場合は、作動油の油量の適否を点検する。	1 Y	1 Y	
f. ガバナロープ用及びその他の張り車	①走行中に、異常音の有無を点検する。 ②ロープ溝の摩耗の有無を点検する ③ピット床面との隙間の適否を点検する。 ④各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 M 1 Y 1 Y 1 Y	3 M 1 Y 1 Y 1 Y	
g. 移動ケーブル	①かごの運行時に、揺れ及び振れに異常のないことを確認する。 ②取付け状態の良否及び損傷、劣化の有無を点検する。	1 Y 1 Y	1 Y 1 Y	
h. 下部ファイナルリミットスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。 ②作動の良否を点検する。	6 M 6 M	6 M 6 M	
i. 底部安全距離確保スイッチ	①取付け状態の良否を点検する。 ②作動させた場合に、底部安全距離が規定値以上確保できることを確認する。	6 M 6 M	6 M 6 M	
j. かご下降防止装置	機能の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
k. ピット冠水スイッチ	作動の良否を点検する。	1 Y	1 Y	
l. つり合いロープ(鎖)及び取付部	取付け状態の良否及びさび、摩耗、破断、劣化の有無を点検する。	1 Y	1 Y	
m. つり合いおもり底部隙間	かごが最上階に着床している時のつり合いおもりと緩衝器との距離及びかごが最下階に着床している時のかごと緩衝器との距離が規定値にあることを確認する。	1 Y	1 Y	
n. 耐震対策	地震その他の振動で、かごがピット内の機器と接触しない措置が施されていることを確認する。	1 Y	1 Y	・接触の恐れがある場合の修理 (※)
6. 付加装置	表(2)(b)ロープ式エレベーター(マイコン制御)6.付加装置の当該事項による。			
7. 群管理運転装置	表(2)(b)ロープ式エレベーター(マイコン制御)7.群管理運転装置の当該事項による。			

2

非常用エレベーター

非常用エレベーターの点検項目及び点検内容は、表(1)又は表(2)のほか、表(5)による。

表(5)非常用エレベーター

点検項目	点検内容	周期	備考
1. かご呼戻装置	非常用運転時は、他のエレベーターの影響を受けないことを確認する。	1 Y	
2. 一次・消防運転	非常用運転時は、他のエレベーターの影響を受けないことを確認する。	1 Y	
3. 非常標識・表示灯	表示及び点灯の良否を点検する。	1 Y	
4. 予備電源	異常の有無を点検する。	1 Y	・異常がある場合の精密調査(※)
5. かご上の電気設備	①かご上の電気設備の水除けカバー、水抜孔等の取付けの良否を点検する。	1 Y	・水がある場合の除去又は精密調査(※)
	②電線管、ボックス等の内部の水の有無を点検する。	1 Y	・水がある場合の除去又は精密調査(※)
6. ピット			
a. ピット内のスイッチ類	最下階床面以下に設けられているスイッチ類が、消防運転時に確実に切り離されることを確認する。	1 Y	
b. 環境状態	ピット内には、水に浮くものがないことを確認する。	3 M	
7. 中央監視室			
a. 中央監視盤	スイッチ作動及び表示灯の点灯の良否を点検する。	1 Y	
b. 中央監視室との連絡装置	呼出し及び通話機能に異常がないことを確認する。	3 M	

第2節 小荷物専用昇降機

- (1)
小荷物専用昇降機 小荷物専用昇降機の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 小荷物専用昇降機

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 機械室			
a. 機械室への通行	①機械室への通行及び出入り、点検口の開閉に支障がないことを確認する。 ②出入口扉及び点検口の施錠の良否を確認する。	1 M 1 M	
b. 室内環境	①室内の清掃及び小荷物専用昇降機の機能上又は保全の実施上支障のないことを確認する。 ②室内又は制御盤温度の良否を点検する。 ③小荷物専用昇降機に係る設備以外のものの有無を確認する。	1 M 1 M 3 M	
c. 主開閉器、受電盤及び制御盤	①作動の良否を点検する。 ②端子の緩み及びヒューズエレメントの異常の有無を点検する。 ③次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・電動機主回路 ・制御回路 ・信号回路 ④主開閉器の操作及び作動の良否を点検する。 ⑤電磁接触器の接点摩耗の有無を点検する。 ⑥制御盤内清掃を実施する。 ⑦プリント板汚れ、冷却ファンの回転状態の異常の有無を点検する。	1 M 1 Y 1 Y 6 M 6 M 1 Y 6 M	
d. 巻上機	①減速歯車の潤滑状態の良否及び油漏れの有無を点検する。 ②歯当りの良否を点検する。 ③回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検する。 ④綱車のひび割れ、ロープ溝の摩耗及びロープスリップの有無を点検する。 ⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 M 1 Y 1 M 1 Y 1 Y	
e. 電磁ブレーキ	①スリップの異常の有無を点検する。 ②ブレーキシュー、アーム及びプランジャーの作動の良否を点検する。 ③プランジャーストロークを点検し、その良否を確認する。 ④ブレーキスイッチの接点の脱落、荒損及び摩耗の有無を点検する。 ⑤ブレーキライニングの摩耗の有無を点検する	1 M 6 M 1 Y 1 Y 1 Y	

f. そらせ車	①ロープ溝の摩耗の有無及び取付け状態の良否を点検する。	3 M	
	②回転状態の異常の有無を点検する。	1 M	
	③各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	
g. 電動機	①作動の良否を点検する。	1 M	
	②異常音、異常振動及び異常温度の有無を点検する。	1 M	
	③電動機エンコーダ、パイロットゼネレータ回転状態の異常の有無を点検する。	1 M	
	④各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1 Y	
2. かご			
a. 運転状態	着床段差及び異常音の有無を点検する。	1 M	
b. かご室の周壁、天井及び床	変形、摩耗、腐食等の有無を点検する。	1 M	・劣化がある場合の修理又は交換(※)
c. かごの戸、ロープ及びレール	①戸、枠の摩耗、変形、さび等の有無及び取付け状態の良否を点検する。	1 M	
	②戸の開閉状態の良否を点検する。	1 M	
	③レールの給油及び摩耗状態の良否を点検する。	6 M	
	④連動ロープのテンション状態及び破断、摩耗及び取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
	⑤ドアプーリの摩耗及び取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
d. かごの戸スイッチ	①作動の良否を点検する。	3 M	
	②取付け状態の良否を点検する。	3 M	
e. 安全棒	安全棒機構・スイッチの作動状態の良否を点検する。	1 M	・調整不能の場合の修理又は部分交換(※)
f. 注意銘板の表示	搭乗禁止、積載量の標識の有無及び汚れの有無、表示が明瞭であることを確認する。	1 M	・汚れがある場合又は表示が明瞭でない場合の清掃又は交換(※)
h. ガイドシュー	取付け状態の良否及び摩耗の有無を点検する。	1 Y	
3. 各階出入口			
a. 各階出入口の戸及び枠	①戸、枠の摩耗、変形、さび等の有無及び取付け状態の良否を点検する。	1 M	・劣化がある場合又は取付け不良の場合の交換(※)
	②戸の開閉状態の良否を点検する。	1 M	
	③レールの給油及び摩耗状態の良否を点検する。	6 M	
	④連動ロープのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
	⑤ドアプーリの摩耗及び取付け状態の良否を点検する。	1 Y	

	る。 ⑥ドア用バランスウェイト・ストッパーの取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
b. 操作盤	①作動の良否を点検する。 ②取付け状態の良否を点検する。	1 M 1 M	
c. 走行停止ボタン 【スイッチ】	作動の良否を点検する。	1 M	
d. 位置表示灯	表示灯の球切れの有無を点検する。	1 M	
e. 信号装置 【インターホン】	呼出し及び通話状態の良否を点検する。	1 M	
f. ドアインターロックスイッチ	①作動の良否を点検する。 ②取付け状態の良否を点検する。	1 M 6 M	
g. 錠外し装置	作動の良否を点検する。	1 Y	
h. 注意銘板の表示	搭乗禁止、積載量の標識の有無及び汚れの有無並びに表示が明瞭であることを確認する。	1 M	・汚れがある場合又は表示が明瞭でない場合の清掃又は交換（※）
i. 戸開放防止ブザー	作動の良否を点検する。	1 Y	
4. かごの周囲及び昇降路			
a. 保守用停止スイッチ	作動の良否を点検する。	1 Y	
b. かごの上部の外観	汚れの有無を点検する。	3 M	
c. ガイドシュー	取付け状態の良否及び摩耗の有無を点検する。	1 Y	
d. 主索	①破断、摩耗及びさびの有無を点検し、基準に適合していることを確認する。 ②取付け状態の良否及びダブルナット並びに割ピンの劣化の有無を点検する。 ③すべての主索が、ほぼ均等な張力であることを点検する。	1 Y 1 Y 1 Y	・屋外に設置されている場合は1 M ・屋外に設置されている場合は1 M
e. ガイドレール及びブラケット	①取付け状態の良否を点検する。 ②さび、変形及び摩耗の有無を点検する。	1 Y 1 Y	
f. つり合いおもり	取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
g. 上部リミットス	①取付け状態の良否を点検する。	1 Y	

イッチ	②作動の良否を点検する。	6 M	
h. 誘導板及びリミットスイッチ	取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
i. 中間つなぎ箱及び配管	①ケーブルの取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
	②昇降機に直接関係のない配管配線がないことを確認する。	1 Y	
j. 着床装置	作動の良否を点検する。	1 M	
k. 給油器	①給油機能の状態を点検する。	6 M	
	②油量の適否を点検する。	6 M	
l. 昇降路	①小荷物専用昇降機に係る設備以外のものの有無を点検する。	6 M	
	②昇降路のき裂及び損傷、汚れの有無を点検する。	1 Y	・き裂又は損傷がある場合の精密調査(※)
	③頂部すき間が少なく、かごが障害物に接触しないことを確認する。	1 Y	
5. ピット			
a. 環境状況	①漏水の有無を点検する。	6 M	・漏水がある場合の精密調査及び修理(※)
	②汚れ及び小荷物専用昇降機に係る設備以外のものの有無を点検する。	6 M	・汚れ又は小荷物専用昇降機に係わる設備以外のものがある場合の清掃又は撤去(※)
b. 保守用停止スイッチ	作動の良否を点検する。	1 Y	
c. つり合いおもり底部すき間	最上階に停止時すき間に余裕があることを確認する。	1 Y	
d. 緩衝器	①取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
	②スプリングのさびの有無を点検する。	1 Y	
e. 移動ケーブル	①かごの運行時に、揺れ及び振れに異常のないことを確認する。	1 Y	
	②取付け状態の良否及び損傷、劣化の有無を点検する。	1 Y	
f. 下部リミットスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
	②作動の良否を点検する。	6 M	

7. 昇降機設備

7.1. (C) 修理・取替の範囲表

フルメンテナンス契約時の修理取替の範囲は、通常使用による摩耗、劣化による損傷に限る。

発注者、使用者の責による事由及び天災等による修理、取替は含まない。

修理・取替の対象及び内容は下表によるものとし、これ以外は別途とする。。

エレベーター

区分	修理の対象 (装置名)	修理又は取替え項目	エレベーターの仕様	
			ロープ式	油圧式
機械室	制御盤、受電盤	バッテリー取替え	○	○
		リレー取替え	○	○
		コンデンサー類取替え	○	○
		電磁接触器接点(リード線含む)取替え	○	○
		ヒューズ類取替え	○	○
		半導体、プリント基板取替え	○	○
		インバータ、コンバータ取替え	○	○
		抵抗管取替え	○	○
		整流器取替え	○	○
		変圧器取替え	○	○
		定電圧電源装置取替え	○	○
		NFブレーカ取替え	○	○
		電動機	電動機巻線絶縁処理	○
	各軸受ベアリング取替え		○	○
	エンコーダ取替え		○	○
	回転機カーボンブラシ取替え		○	
	軸受グリスアップ		○	○
	巻上機	ギヤ歯当り調整	○	
		ギヤ取替え	○	
		各軸受ベアリング取替え	○	
		綱車溝修正及び取替え	○	
		ギヤ油取替え	○	
		補充用ギヤ油	○	
		オイルシール取替え	○	
		軸受グリスアップ	○	
		防振ゴム取替え	○	
	階床選択機(注)	稼動・固定接触子取替え	○	
		移動ケーブル取替え	○	
		歯車ユニット取替え	○	
		かご連結スチールテープ(チェーン)取替え	○	
		マグネットコイル取替え	○	
		先行モータ取替え	○	
	電磁ブレーキ	ブレーキシュー(ライニング)取替え	○	
		ブレーキ分解手入れ・オーバーホール取替え	○	
		マグネットコイル取替え	○	
		ブレーキプランジャー・コア・ガイド取替え	○	
		軸・軸受取替え	○	

	ブレーキスイッチ取替え	○		
	ブレーキアーム取替え	○		
調速機	軸受ベアリング取替え	○	○	
	軸受グリスアップ	○	○	
	調速機本体取替え	○	○	
	スイッチ取替え	○	○	
油圧機器	ポンプ修理		○	
	バルブ取替え		○	
	電磁コイル取替え		○	
	ユニットOリング取替え		○	
	ストレーナ取替え		○	
	パッキン取替え		○	
	高圧ゴムホース取替え (注)		○	
	作動油取替え		○	
	補充用作動油		○	
	作動油冷却装置取替え (注)		○	
	配管継ぎ手ラバーリング取替え		○	
	駆動ベルト取替え		○	
外部への連絡装置	インターホンバッテリー取替え	○	○	
停電灯装置	停電灯バッテリー取替え	○	○	
	停電灯ランプ取替え	○	○	
操作盤	操作盤スイッチ類取替え	○	○	
	操作盤ランプ取替え	○	○	
階床表示	階床表示ランプ取替え	○	○	
かご戸	ドアハンガー・ローラ取替え	○	○	
	連結ロープ・チェーン取替え	○	○	
	ドアレール取替え	○	○	
	乗場戸との連結装置取替え	○	○	
	ドアシュー取替え	○	○	
戸閉め安全装置 (セフティシュー)	アーム (レバー) 取替え	○	○	
	ケーブル取替え	○	○	
	スイッチ取替え	○	○	
	マグネット取替え	○	○	
光電装置 (注)	受光部・投光部取替え	○	○	
	ユニット取替え	○	○	
照明	イルミネーションランプ取替え	○	○	
	かご内照明ランプ取替え	○	○	
かご枠	防振ゴム取替え	○	○	
はかり装置	スイッチ取替え	○	○	
	はかり装置取替え	○	○	
かご上	戸の開閉装置	ドアモータ・整流子取替え	○	○
		軸受 (ベアリング) 取替え	○	○
		エンコーダ取替え	○	○
		駆動ベルト・チェーン取替え	○	○
		スイッチ取替え	○	○
		歯車ユニット取替え	○	○
		ギヤオイル取替え	○	○
		補充用ギヤ油	○	○

	かご上機器	ガイドシュー・ローラ取替え	○	○
	かご上機器	位置検出・着床装置取替え	○	○
		かご上照明ランプ取替え	○	○
		給油器取替え	○	○
		給油器補充用油	○	○
	つり合いおもり	ガイドシュー・ローラ取替え	○	
		給油器取替え	○	
		給油器補充用油	○	
乗場	乗場の戸	ハンガーローラ取替え	○	○
		ドアレール取替え	○	○
		連結ロープ・チェーン取替え	○	○
		ドアインターロックスイッチ取替え	○	○
		ドアクローザー取替え	○	○
		かご戸との連結装置取替え	○	○
乗場ボタン	乗場ボタン	押ボタンスイッチ取替え	○	○
		押ボタンランプ取替え	○	○
階床表示	階床表示ランプ取替え	○	○	
かご・おもり吊り車 (注)	かご・おもり吊り車 (注)	かご吊り車ベアリング取替え	○	○
		おもり吊り車ベアリング取替え	○	
		綱車取替え	○	○
		軸受グリスアップ	○	○
主ロープ	主ロープ	主ロープ切り詰め	○	○
		主ロープ取替え	○	○
調速機ロープ	調速機ロープ	調速機ロープ切詰め	○	○
		調速機ロープ取替え	○	○
つり合いロープ、鎖 (注)	つり合いロープ、鎖 (注)	つり合いロープ(鎖)切詰め	○	
		つり合いロープ(鎖)取替え	○	
非常止め装置ロープ (注)	非常止め装置ロープ取替え	○		
移動ケーブル	移動ケーブル取替え	○	○	
昇降路・ピット内機器	昇降路・ピット	エンコーダ取替え	○	○
		リミットスイッチ取替え	○	○
調速機(注)	調速機(注)	軸受ベアリング取替え	○	○
		軸受グリスアップ	○	○
		調速機本体取替え	○	○
		スイッチ取替え	○	○
テンションプーリ	テンションプーリ	軸受テンションプーリベアリング取替え(注)	○	○
		軸受グリスアップ	○	○
プランジャー・シリンダー	プランジャー・シリンダー	グランド部ダストシール取替え		○
		グランド部パッキン取替え		○
		プランジャープーリベアリング取替え(注)		○
		軸受グリスアップ(注)		○
かご下機器	かご下機器	かご下ガイドシュー・ローラ取替え	○	○
		かご下プーリベアリング取替え(注)	○	○
		軸受グリスアップ(注)	○	○
緩衝器	緩衝器	油入り緩衝器油取替え(注)	○	
		油入り緩衝器油補充(注)	○	

	緩衝器	ピット点検用照明ランプ取替え	○	○
付 加 装 置 (注)	地震時管制運転装置	感知器取替え	○	○
	停電時自動着床装置	リレー取替え	○	○
		バッテリー取替え	○	○
	火災時管制運転装置	リレー取替え	○	○
	自家発管制運転装置	リレー取替え	○	○
	監視盤	表示ランプ取替え	○	○
	オートアナウンス装置	本体取替え	○	○
		バッテリー取替え	○	○
	故障自動通報システム	本体取替え	○	○
		バッテリー取替え	○	○
	マルチビームドアセンサー	本体取替え	○	○
	超音波ドアセンサー	本体取替え	○	○
	かご内防犯カメラ	カメラ本体取替え	○	○
		録画装置取替え	○	○
	かご内クーラー	フィルター取替え	○	○
冷媒補充、取替え		○	○	

(注) 当該装置がある場合に限る。

区分	修理の対象 (装置名)	修理又は取替え項目	保守契約の種別
			F M契約
機械室	制御盤	リレー取替え	○
		ヒューズ類取替え	○
	電動機	電動機巻線絶縁処理	○
		各軸受ベアリング取替え	○
	巻上機	ギヤ歯当り調整	○
		各軸受ベアリング取替え	○
		綱車取替え	○
		ギヤ油取替え	○
		オイルシール取替え	○
	ブレーキ	ライニング取替え	○
ブレーキ分解手入れ・オーバーホール		○	
かご	かごの戸	駆動ロープ取替え(注)	○
		スイッチ取替え(注)	○
かご上	戸の開閉装置	駆動モータベアリング取替え(注)	○
		スイッチ取替え(注)	○
	ガイドシュー	ガイドシュー取替え	○
出し入れ口	戸廻り	駆動ロープ取替え	○
		ドアインターロックスイッチ取替え	○
	操作盤押ボタン	押ボタンスイッチ取替え かご位置表示ランプ(発光ダイオード除く)取替え	○ ○
昇降路・ピット	かご・おもり吊り車	かご吊り車ベアリング取替え(注)	○
		おもり吊り車ベアリング取替え(注)	○
	主ロープ	主ロープ切詰め・取替え	○
	移動ケーブル	移動ケーブル取替え(注)	○
	かご下機器	かご下ガイドシュー取替え	○
その他		補充用油脂類(ギヤ油、マシン油、グリース類)	○

(注) 当該装置がある場合に限る。

8. 医療用設備

8.1 医療ガス設備

8.1.1 業務対象設備

8.1.(A) 業務対象設備の概要による。

8.1.2 点検項目、点検内容及び点検周期

8.1.(B) 業務要領 医療用設備による。

8.1.3 取替部品

8.1.(C) 取替部品による

8.1.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・ 点検及び保守結果報告書

- ・ 試験成績書

- ・ 業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

8.1.5 その他

8. 1. (A) 業務対象設備の概要

供給設備

設置場所	名称	適用	数量等	備考
エネルギーセンター 地下1階 マルチホール室	予備酸素供給装置	自動切換型 2列24本立	一式	
	予備窒素供給装置	自動切換型 1列12本立	一式	
	圧縮空気供給装置	コンプレッサ CUM-11AP6 タンク RT-1240	一式	
	緊急用 圧縮空気装置	1列8本立	1組	
エネルギーセンター 地下1階 中央集塵機室	吸引装置	ポンプ BUSCH RA0400C4Z3 レシーバタンク 容量 1,000ℓ	2組	
エネルギーセンター 地下1階屋外	人工空気製造設備		一式	
	超低温液化 ガス貯槽 (M-1)	TL-10 酸素 9,700ℓ 蒸発器 EAL-90V 能力 90 N m ³ /h	1基	
	超低温液化 ガス貯槽 (M-2)	TL-5 窒素 4,980ℓ 蒸発器 EAL-90V 能力 90 N m ³ /h	1基	
病棟地下1階 機械室	炭酸ガス供給装置	自動切換型 1列4本立	一式	

使用設備

設置場所	名称	適用	数量等	備考
外来棟地下1階	アウトレット	O, V 壁付	8か所	
	アウトレット	O, A, V 壁付	6か所	
	ホースアセンブリ	O, V 天井付	4か所	
	ホースアセンブリ	O, A 天井付	1か所	
	ホースアセンブリ	V 天井付	2か所	
	シャットオフ バルブ	O, A	2か所	
外来棟1階	アウトレット	O, V 壁付	18か所	
	アウトレット	O, A 壁付	3か所	
	アウトレット	O, A, V 壁付	10か所	

設置場所	名称	適用	数量等	備考
外来棟 1階	アウトレット	A 壁付	1 箇所	
	アウトレット	O, A, V ICウォール型	2 箇所	
	アウトレット	O, A, A2, V ICウォール型	1 箇所	
	アウトレット	O, A ICウォール型	1 箇所	
	アウトレット	A ICウォール型	1 箇所	
	ホースアセンブリ	O, V 天井付	5 箇所	
	ホースアセンブリ	O, A 天井付	1 箇所	
	ホースアセンブリ	O, A, V 天井付	1 箇所	
	ホースアセンブリ	O, A, A2 天井付	1 箇所	
	ホースアセンブリ	A 天井付	1 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A	2 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A, A2	3 箇所	
	シャットオフバルブ	O	1 箇所	
警報盤	O, A, A2, V	2 箇所		
外来棟 2階	アウトレット	O, V 壁付	25 箇所	
	アウトレット	O, V 壁付	1 箇所	
	アウトレット	O, A, V 壁付	12 箇所	
	アウトレット	O, A 壁付	1 箇所	
	ホースアセンブリ	O, V 天井付	6 箇所	
	ホースアセンブリ	O, A, V 天井付	2 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A	7 箇所	
	シャットオフバルブ	O	1 箇所	
外来棟 3階	アウトレット	O, V 壁付	54 箇所	

設置場所	名称	適用	数量等	備考
外来棟3階	アウトレット	O, A 壁付	5 箇所	
	アウトレット	O, A, V 壁付	6 箇所	
	アウトレット	O, A, A2, V 壁付	1 箇所	
	アウトレット	O, A, A2, V, N2 壁付	1 箇所	
	アウトレット	A 壁付	2 箇所	
	ホースアセンブリ	O, V 天井付	9 箇所	
	ホースアセンブリ	O 天井付	1 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A	2 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A, A2	1 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A, A2, N2	1 箇所	
	シャットオフバルブ	O	2 箇所	
	非治療用減圧装置		1 箇所	
外来棟4階	アウトレット	O, A, V 壁付	6 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A	2 箇所	
		非治療用減圧装置	1 箇所	
病棟地下1階	アウトレット	O, A, A2, V, N2, CO2 壁付	2 箇所	
	アウトレット	A 壁付	2 箇所	
	アウトレット	N2 壁付	1 箇所	
	ホースアセンブリ	O, A, A2, V 天井付	1 箇所	
	シーリングペンダント	O, A, A2, V	1 箇所	
	シーリングペンダント	O, V	1 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A, A2, N2	1 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A, A2, N2, CO2	1 箇所	

設置場所	名称	適用	数量等	備考
病棟 1階 OP	アウトレット	O, A, A2, V, N2, CO2 壁付	11 か所	
	アウトレット	O, A, A2, V, N2 壁付	11 か所	
	アウトレット	O, A, A2, V, CO2 壁付	1 か所	
	アウトレット	O, A, A2, V 壁付	5 か所	
	アウトレット	O 壁付	4 か所	
	シーリング ペンダント	O, A, A2	11 か所	
	シーリング ペンダント	O, V	11 か所	
	シーリング ペンダント	V	11 か所	
	シーリング ペンダント	O, V, CO2	1 か所	
	シーリング ペンダント	V	1 か所	
病棟 1階 ICU	シャットオフ バルブ	O, A, A2, N2, CO2	3 か所	
	警報盤	O, A, A2, V, N2, CO2	3 か所	
	アウトレット	O, A, A2, V ICウォール型	24 か所	
	インテアポート	O, A, A2, V	8 か所	
	インテアポート	O, V	8 か所	
	インテアポート	O	8 か所	
	エニポート	V	18 か所	
	エニポート	O, A2	3 か所	
病棟 2階	シャットオフ バルブ	O, A, A2	2 か所	
	警報盤	O, A, A2, V	2 か所	
病棟 2階	アウトレット	O, V 壁付	57 か所	
	アウトレット	O, A2, V 壁付	6 か所	

設置場所	名称	適用	数量等	備考
病棟 2階	アウトレット	O, A, A2, V 壁付	3 箇所	
	アウトレット	O, A2 壁付	2 箇所	
	アウトレット	A2 壁付	1 箇所	
	アウトレット	S 壁付	1 箇所	
	アウトレット	O, A, A2, V ICウォール型	7 箇所	
	アウトレット	O, A2, V ウォール型	1 箇所	
	アウトレット	O, V ウォール型	2 箇所	
	ホースアセンブリ	O, A, A2, V 天井付	1 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A2	1 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A, A2	1 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A, A2	1 箇所	
病棟 3階	アウトレット	O, V 壁付	78 箇所	
	アウトレット	O, A2, V 壁付	8 箇所	
	アウトレット	O, A, A2, V 壁付	4 箇所	
	アウトレット	O, A, A2, V ICウォール型	8 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A2	2 箇所	
	シャットオフバルブ	O, A, A2	2 箇所	
病棟 4階	アウトレット	O, V 壁付	39 箇所	
	アウトレット	O, A2, V 壁付	16 箇所	
	アウトレット	O, A, A2, V 壁付	6 箇所	
	アウトレット	O, A, A2, V 壁付	2 箇所	
	アウトレット	O 壁付	1 箇所	
	アウトレット	O, A, A2, V ICウォール型	12 箇所	

設置場所	名称	適用	数量等	備考
病棟 4 階	アウトレット	O, A2, V ICウォール型	5 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, V ICウォール型	11 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A, A2, V ウォール型	4 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A2, V ウォール型	2 箇所	H25. 7
	シャットオフ バルブ	O, A2	1 箇所	H21. 6.
	シャットオフ バルブ	O, A, A2	3 箇所	H21. 6.
	シャットオフ バルブ	O, A, A2	1 箇所	H21. 6.
	警報盤	O, A, A2, V	1 箇所	H25. 7
病棟 5 階	アウトレット	O, V 壁付	76 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A2, V 壁付	10 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A, A2, V 壁付	3 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A, A2, V ICウォール型	8 箇所	H25. 7
	ホースアセンブリ	O, A, A2, V 天井付	1 箇所	H21. 6.
	シャットオフ バルブ	O, A2	2 箇所	H21. 6.
	シャットオフ バルブ	O, A, A2	2 箇所	H21. 6.
病棟 6 階	アウトレット	O, V 壁付	76 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A2, V 壁付	10 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A, A2, V 壁付	4 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A, A2, V ICウォール型	8 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A2 ウォール型	2 箇所	H25. 7
	アウトレット	A2 ウォール型	2 箇所	H25. 7
	シャットオフ バルブ	O, A2	2 箇所	H21. 6.
	シャットオフ バルブ	O, A, A2	2 箇所	H21. 6.

設置場所	名称	適用	数量等	備考
病棟 7 階	アウトレット	O, V 壁付	69 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A2, V 壁付	19 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A, A2, V 壁付	2 箇所	H25. 7
	アウトレット	O 壁付	1 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A, A2, V ICウォール型	7 箇所	H25. 7
	ホースアセンブリ	O, A, A2, V 天井付	1 箇所	H21. 6.
	シャットオフバルブ	O, A2	2 箇所	H21. 6.
病棟 8 階	シャットオフバルブ	O, A, A2	2 箇所	H21. 6.
	アウトレット	O, V 壁付	67 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A2, V 壁付	4 箇所	H25. 7
	アウトレット	O, A, A2, V 壁付	2 箇所	H25. 7
	シャットオフバルブ	O	1 箇所	H21. 6.
	シャットオフバルブ	O, A2	1 箇所	H21. 6.
多目的ホール	シャットオフバルブ	O, A, A2	2 箇所	H21. 6.
	アウトレット	O, V 壁付	12 箇所	H25. 7
	シャットオフバルブ	O	1 箇所	H21. 6.

区分欄の記号は、O:酸素、A:空気、A2:人工空気、V:吸引、N2:窒素、CO2:二酸化炭素とする。

中央監視設備等

設置場所	名称	適用	数量等	備考
エネルギーセンター 地下1階屋外 人工空気室	RP盤	RP-H-BF-N0	一式	H9.3.
	センサー	圧力, 液面, 濃度	13個	H9.3.
	電源	DC24V	5個	
	UPS	AC100V 1000VA	1個	
	医療用 ガスメーター	O, N2	2個	H9.3.
エネルギーセンター 地下1階 マルチ室	RP盤	RP-H-BF-G	一式	H9.3.
	センサー	圧力	10個	H9.3.
	電源	DC24V	5個	
	UPS	AC100V 1000VA	1個	
	医療用 ガスメーター	O, A, A2, N2	4個	H9.3.
病棟1階手術室	現場受信装置	1 RCP-1	一式	H9.3.
	センサー	圧力	31個	H9.3.
	UPS	AC100V 600VA	1個	
病棟4階分娩室	現場受信装置	4 RCP-2	一式	H9.3.
	センサー	圧力	9個	H9.3.
	UPS	AC100V 600VA	1個	

実習用

設置場所	名称	適用	数量等	備考
看護学科棟 1階空調機械室	酸素供給装置		一式	H9. 3.
	圧縮空気供給装置		一式	H9. 3.
	吸引装置		一式	H9. 3.
看護学科棟 6階603号室 基礎看護学 実習室	アウトレット		29個	H9. 3.
	ホースセンブリ		40個	H9. 3.
	シャットオフバルブ		5個	H9. 3.

実験用

設置場所	名称	適用	数量等	備考
基礎臨床研究棟 地下5階屋外	超低温液化ガス貯槽	窒素 2,500ℓ	1基	

8.1 医療ガス設備

8.1.(B) 業務要領 医療ガス設備

1. 病院医療ガス設備

(1)
使用設備 使用設備の点検項目及び点検内容は表(1)による。

表(1) 使用設備

点検項目	点検内容	周期	備考
アウトレット (配管端末器)	1) キャップ等の付属品があることを確認する。	3 M	取扱説明書と一致していることを確認する
	2) ピン式又はシュレーダ式は、ピン穴の方向及び六角穴の方向が正しいことを確認する。	3 M	
	3) 損傷、腐食等の有無を点検する。	3 M	
	4) ネジ類の緩みの有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	3 M	劣化が著しい場合は交換する
	5) リングカバーの作動の良否及び緩みの有無を点検する。	3 M	異常がある場合は修理する
	6) アダプターの着脱の良否を点検する。	3 M	異常がある場合は修理する
	7) アダプター着脱時の異音(シュー音)の有無を点検する。指定場所のバッキン類の交換を行う。(バッキン類の更新目標は3年、使用頻度の高い所は1年とする。)	3 M	異常がある場合は修理する
	8) 配管端末器最大流量(表-1)を流し、標準圧力(表-1)であることを確認する。	3 M	異常がある場合は精密調査する
	9) 点検用具を用いて、各ブロックの任意の1個のアウトレットについてガス同定試験にあたり、酸素濃度計を用いる場合は、表-2の酸素濃度であることを確認する。	3 M	ブロックの範囲は特記による
	10) 取付部の漏れ、緩みの有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	1 Y	漏れ又は緩みがある場合は修理する
	11) 圧力計の指示値が正常であることを確認する。	3 M	
	12) 圧力調整器付きの場合は、バルブの開閉作動の良否を点検する。	3 M	
	13) 圧力調整器の作動の良否を点検する。	3 M	
	14) 圧力調整器付きの場合は、バルブを閉止し、下流への漏れの有無を点検する。	1 Y	
	15) 圧力調整器のシートの漏れの有無を点検する。	1 Y	
	16) 圧力計の校正を行う。調整が必要な場合は、調整または交換する。	1 Y	
	17) 3箇所のアウトレットからサンプリングした圧縮空気の清浄度を分析し、表-3の清浄度であることを確認する。なお、さらに低い露点の空気を得るため吸着式エアドライヤを設置している場合は、メーカーの推奨する露	1 Y	各系統1箇所とする 人工空気は1箇所とする

点以下であること。	
18) ケース、機器の塗装剥離、腐食、変形損傷の有無を点検する。	6 M
19) 固定ボルト等の緩み、損傷、腐食等の有無を点検する。 緩みがある場合は増締め等を行う。	6 M

表-1 医療ガス配管設備諸元表

[単位：kPa, 吸引は-kPa (Nℓ/minは1気圧0℃でのガス量)]

		酸 素	治療用空気	二酸化炭素	手術器械 駆動用窒素
標準早期圧力 (3)		400±40	400±40	400±40	900±135 (4)
配管端末器最大流量 (5) Nℓ/min		≥60 (6)	≥60 (6)	≥40	≥350
送気圧力調整器の調整 圧力		450±50	450±50	450±50	900±50
ポンプ及び 空気圧縮機 の作動圧力	発信	-	500±50	-	-
	停止	-	750±100	-	-
送気圧力	安全弁の 作動圧力	≤600	≤600	≤600	≤1350
	上限警報 (9)	480±20	480±20	480±20	1080±30
	下限警報 (9)	320±20	320±20	320±20	720±30
		吸 引		圧縮空気 (2)	非治療 用空気
		水封式	油回転式	治療用	
標準早期圧力 (3)		40~70	50~80	400±40	300±30
配管端末器最大流量 (5) Nℓ/min		≥40	≥40	≥60	
送気圧力調整器の調整 圧力		-	-	450±50	330±30
ポンプ及び 空気圧縮機 の作動圧力	発信	45±3	55±3	500±50 (7)	
	停止	67±3	77±3	750±100 (7)	
送気圧力	安全弁の 作動圧力	-	-	(1600~2000)	
	上限警報 (9)	-	-	480±20	350±20
	下限警報 (9)	33±3	43±3	320±20	-

注 (1) 手術機器駆動用圧縮空気と同一の供給源から治療用空気を得る場合の数値を示す。

(2) 手術機器駆動用圧縮空気の品質についても治療用空気と同等とする。

(3) 静止圧状態において酸素は治療用空気又は二酸化炭素よりも30kPa程度高くする。

- (4) 配管端末器（アウトレット）に内蔵する圧力調整器を用いて標準送気圧力を使用者が現場で調整できる機構とする。
- (5) 当該配管端末器だけを使用した場合に標準圧力範囲内で得られる流量。ただし、吸引の場合は開放状態で得られる流量。
- (6) 同一配管区域の一つの配管端末器において流量が 120ℓ/min の場合、その他圧力は 300kPa まで低下することが許される。
- (7) 同空気圧縮機の性能に応じて変更してもよい。
- (8) 送気圧力調整器の上流側の安全弁の作動圧力を示す。
- (9) 急臨床警報・緊急運転警報の値を示す。

表-2 酸素濃度計による試験

ガス同定試験で、特定酸素濃度をもつガスなどの各配管設備について、酸素濃度計を使用して酸素濃度を測定して次の要件を満たすことを確認する。(JIS T7101付属書E)	
・酸素 (95体積分率%以上)	・医療用空気 (20~23体積分率%) ,
	・窒素 (2体積分率%以下)

表-3 空気の清浄度

空気供給源装置の新設又は改造を伴わない延長配管の場合、次の洗浄度試験を行う必要はない。生成される治療用（駆動用）空気の汚染物質の限界は、次による。	
汚染物質の限界（治療用空気）	
・最大総油量	0.5mg/m ³ （環境圧力での測定）
・最大一酸化炭素量	5mℓ/m ³
・最大二酸化炭素量	500mℓ/m ³
汚染物質の限界（駆動用空気）	
・最大総油量	0.5mg/m ³ （環境圧力での測定）
・最大水分量	60mg/m ³ （環境圧力での測定）

点検項目	点検内容	周期	備考
ホースアSEMBリ	1) ホースのねじれの有無を点検する。ねじれがある場合は調整等を行う。	3 M	劣化が著しい場合は修理報告する
	2) アダプタープラグの損傷、変形の有無を点検する。	3 M	損傷、変形等が著しい場合は修理報告する
	3) ピンの欠落、リングの変形、先端の傷等の有無を点検する。	3 M	欠落、変形等が著しい場合は修理又は交換する
	4) アダプタープラグが、特定のアウトレットにのみ装着でき、ロックされ、ガス漏れ（シュー音）がないことを確認する。	3 M	異常がある場合は修理する
	5) ホースのガス別表示が正常に表示されていることを確認する。	3 M	劣化、変形等が著しい場合は報告する
	6) ホース両端の接続用具の締付け状態の良否を点検する。	3 M	異常がある場合は修理する
	7) 加圧されていない状態でホースの内径の10倍に曲げて劣化、変形、亀裂、折れの有無を点検する。	6 M	劣化、変形等が著しい場合は報

	8) 使用圧力（吸引は69kPa (0.7kgf/□)）を加え、出口に栓をし、漏洩検知液等をつけるか、取り外して水槽に沈め、ホース及び接続用具との締付け部の漏れの有無を点検する。	6 M	告する 漏れ等がある場合は修理報告する
	9) 巻き上げ機構の作動の良否を点検する。	1 Y	異常がある場合は修理する
	10) 固定配管との接続部の緩み、ガス漏れの有無を、漏洩検知液等により点検する。	1 Y	漏れ等がある場合は修理報告する
	11) ホースを交換する	5 Y	
メディカルサプラ イユニット	1) ケース、機器の、塗装剥離、腐食、変形、損傷の有無を点検する。	3 M	劣化が激しい場合は修理報告する
	2) 固定ボルト等の緩み、損傷、腐食等の有無を点検する。緩みがある場合は増締め等を行う。	6 M	
	3) リレーの損傷、端子の緩み等の有無を点検する。端子の緩みがある場合は増締めする。	6 M	損傷が著しい場合は該当部品の交換をする
配 管	1) 配管が露出している部分の損傷、支持金物の緩みの有無を点検する。支持金物の緩みがある場合は増締めする。	3 M	劣化が激しい場合は報告する
	2) ガス別表示の記号及び識別色が表示されていることを確認する。	3 M	
	3) 通路等に露出している部分の保護部材の損傷、変形、腐食等の有無を確認する。	3 M	異常がある場合は修理する
	4) 配管の接合部や曲げ部からのガス漏れの有無を点検する。	1 Y	漏洩があった場合は修理報告する
シャットオフ バルブ	1) シャットオフバルブのガス別表示が表示されていることを確認する。	3 M	
	2) バルブの位置と制御区域の表示がされていることを確認する。	3 M	問題がある場合は修理する
	3) 窓板の損傷の有無を点検する。	3 M	損傷等している場合は交換する
	4) 固定ボルト等の緩みの有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	3 M	
	5) パイプの締付け部等からのガス漏れの有無を、漏洩検知液等により点検する。	1 Y	
	6) バルブの開閉動作の良否を点検する。	5 Y	開閉不良の場合は修理する
	7) シャットオフバルブを閉止し、下流のアウトレットからガスを抜いた後、その部分の圧力上昇がないこと、制御区域が表示と同じであることを確認する。	5 Y	

(2)
警報システム

警報システムの点検項目及び点検内容は表 (2) による。

表 (2) 警報システム

点検項目	点検内容	周期	備考
警報システム	1) 表示灯、ランプカバー等の損傷等の有無を点検する。	3 M	損傷が激しい場合は修理又は交換する
	2) 表示灯の点灯状態の良否を点検する。	3 M	点灯不良の場合は交換する
	3) テストボタン又は警報を作動させ、作動時の可聴警報、弱音の機能及びランプの点灯状態の良否を点検する。	3 M	機能及び点灯状態に異常が生じた場合は修理する
	4) 圧力検出器、液面検出器及び露点温度検出器等の作動、警報発信及び各警報表示器との連動が正常であることを確認する。 なお、送気配管警報の発信圧力は、表-1による。	3 M	調整不能の場合は修理報告する
	5) リレーの損傷、端子の緩み等の有無を点検する。端子の緩みがある場合は増締めする。	6 M	損傷が激しい場合は該当部品を交換する
	6) 固定ボルト等の緩み、損傷、腐食等の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	6 M	
	7) 絶縁抵抗値が、2 MΩ以上であることを確認する。 (平成19年度以降の装置の場合、電路ごとでは5 MΩ以上、機器が接続された状態では1 MΩ以上。)	1 Y	2 MΩ未満の場合は精密調査する
	8) 各検出器の検出値、設定値、及び指示値が標準値となる機器と比較し、正常値であることを確認する。異常がある場合は調整する。	1 Y	

(3)

供給設備

供給設備の点検項目及び点検内容は表(3)による。

表(3) 供給設備

点検項目	点検内容	周期	備考
機械室 (ガスマニホール ド室等)	1) 消火設備が適切に設置されていることを確認する。	3 M	有効期間等が期限切れの場合は報告する
	2) 機械室内に不要な物が置いてないことを確認する。不要の物等がある場合は除去する。	3 M	その場での処置が無理な場合は監督職員を協議する
	3) 出入口の施錠の良否を点検する。	3 M	異常がある場合は修理報告をする
	4) 警戒標識、立入禁止、火気厳禁等の法定標識が表示されていることを確認する。	6 M	標識等が明確に表示されていない場合は修理報告する
	5) 管理責任者名、緊急連絡先が明示されていることを確認する。	6 M	

点検項目	点検内容	周期	備考
酸素、窒素及び二酸化炭素供給装置	1) 弁の開閉表示の有無、またその表示内容が適正であることを確認する。	3 M	表示等が不適切である場合は修理する
	2) 圧力計、液面計の指示値が正常であることを確認する。酸素圧力は他のガスより29.4kPa (約0.3kgf/cm ²) 高くなっていることを確認する。	3 M	許容範囲内にならない場合は修理または該当部品を交換する
	3) 容器連結導管の硬化、変形、折れの有無を点検する。	3 M	異常がある場合は修理又は部品交換する
	4) ポンベの転倒防止対策の良否を点検する。	3 M	防止処置が施されていない場合は修理する
	5) 容器置場の周囲2 m以内に、火気又は引火性若しくは発火性の物がないことを確認する。	3 M	火気等の物がある場合は規制範囲外に移動等する
	6) 切換装置のハンドル、又はレバーに「使用側」などの表示の有無を確認する。	3 M	表示がない場合は取付ける
	7) ケース、機器の塗装剥離、腐食、変形、損傷の有無を点検する。	3 M	劣化が著しい場合は修理する
	8) ガス漏れ音の有無を点検する。	3 M	
	9) ガスの残量を確認し、記録する。	3 M	
	10) 異常なガス流音の有無を点検する。	3 M	
	11) 圧力計等の損傷の有無を点検する。	3 M	
	12) 圧力調整器のシートの漏れの有無を点検する。	1 Y	
	13) 容器連結導管の両端部の漏れの有無を、漏洩検知液等により点検する。漏れがある場合は増締めする。	3 M	漏れ等がある場合は修理又は部品交換する
	14) 逆流防止弁の機能の良否を点検する。	3 M	異常がある場合は修理報告する
	15) 圧力スイッチの作動の良否、設定値が初期設定値であること、また、警報発信の連動の良否を点検する。	3 M	異常がある場合は修理する
	16) 非常供給システムが確保されていることを確認する。	3 M	確保されていない場合は供給システム確保を図る
	17) 固定ボルト等の緩み、損傷、腐食等の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	6 M	
	18) 切換装置のハンドル又はレバーの作動状況及び切換機能の良否を点検する。	6 M	作動不良の場合は修理する
	19) 可搬式液化酸素供給装置のエコノマイザ弁の作動圧力が正常であることを確認する。	6 M	異常がある場合は修理又は部品を交換する
	20) リレー類の損傷、端子の緩み等の有無を点検する。端子の緩みがある場合は増締めする。	6 M	損傷が激しい場合は該当部品等を交換する
	21) 装置内配管等のガス漏れの有無を、漏洩検知液等により	6 M	ガス漏れ等があ

点検する。		る場合は修理する
22) 常時操作する弁の開閉動作の良否を点検する。	1 Y	操作が円滑でない場合は修理する
23) 液面計（容器付属品は除く）、圧力計、圧力スイッチ等の校正を行う。調整が必要な計器等は調整する。	1 Y	
24) 2段減圧の場合、1段目調整圧力の異常の有無を確認する。異常がある場合は調整または報告する。	1 Y	調整不能の場合は修理する
25) 安全弁の作動圧力、吹出量の異常の有無を点検する。異常がある場合は調整又は報告する。	1 Y	調整不能の場合は修理する
26) 絶縁抵抗値が、2 MΩ以上であることを確認する。	1 Y	2 MΩ未満の時は精密調査する

点検項目	点検内容	周期	備考
圧縮空気供給装置 及び吸引装置	1) 起動、停止等の運転動作の良否を点検する。	3 M	異常がある場合は精密調査する
	2) 運転中の異常音、異常振動の有無を点検する。	3 M	異常がある場合は精密調査する
	3) 電動機の温度の良否を点検する。	3 M	異常がある場合は精密調査する
	4) 電流計、圧力計等の指示値が正常であることを確認する。	3 M	作動不良の場合は修理報告する
	5) 各バルブの開閉動作の良否を点検する。	3 M	異常がある場合は修理する
	7) ケース、機器の塗装剥離、腐食、変形、損傷の有無を点検する。	3 M	劣化がある場合は修理する
	8) 給水を要する設備では、給水量、水の循環、水温、水位等の良否を点検する。	3 M	異常がある場合は精密調査する
	圧縮空気供給装置	1) リザーバタンク、ドライヤー、フィルター、アフタークーラー等の機密はよいか。また、ドレン溜まりの有無を点検する。ドレンがある場合は除去する。	3 M
2) オートドレンの作動の良否を点検する。		3 M	異常があれば修理する
3) 駆動ベルトの損傷、緩みの有無を点検する。緩みがある場合は調整する。		3 M	劣化が著しい場合は交換する
4) 殺菌灯の点灯状態の良否、汚れ、損傷等の有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。		3 M	異常がある場合は交換する
5) エアドライヤーの放熱板の変形、汚れ、目詰まりの有無を点検する。著しい汚れがある場合は清掃する。給水を要する設備は、給水量・水温が正常か、配管接続部からの漏れはないかを点検する。		3 M	著しい変形等がある場合は修理報告する
6) コンデンサーの汚れの有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。		3 M	

7) フィルター等の目詰まりの有無を点検する。目詰まりがある場合は清掃又は交換（予備品がある場合）する。	3 M	目詰まりが著しい場合は報告する
8) 安全弁の漏れの有無を点検する。漏れがある場合は調整する。	3 M	調整不能の場合は修理報告する
9) 圧力スイッチの機能及び設定値の良否、また、警報発信の連動の良否を点検する。	3 M	異常がある場合は修理報告する
10) 圧力調整器の二次圧力が正常であることを確認する。異常な圧力の場合は調整する。	3 M	調整不能の場合は修理報告する
11) 固定ボルト等の緩み、損傷、塗装の剥離、腐食等の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	3 M	
12) リレー類の損傷、端子の緩み等の有無を点検する。端子の緩みがある場合は増締めする。警報検出器の作動を確認する。	6 M	損傷が激しい場合は該当部品等を交換する
13) コンプレッサーにおいて[起動-停止]の時間が初期状態と著しい差異がないことを確認する。	6 M	差異がある場合は精密調査する
14) 機器及び接続部に緩み、漏れの有無を点検する。緩みがある場合は増締めを行う。	6 M	調整不能の場合は修理又は該当部品を交換する
15) ストレーナーの目詰まりの有無を点検する。目詰まりがある場合は清掃する。	1 Y	調整不能の場合は調整済みのもものと交換してもよい
16) 安全弁の作動圧力及び吹出し量は適正であるが確認する。異常の場合は調整する。	1 Y	
17) 圧力計、電流計等の校正を行う。調整が必要な場合は、調整する。	1 Y	
18) 圧力調整器のシートの漏れの有無を点検する。	1 Y	漏れが著しい場合は該当部品を交換する
19) 絶縁抵抗値が、2 MΩ以上であることを確認する。	1 Y	2 MΩ未満の時は精密調査する
20) 露点計の指示値が正常であることを確認する。	3 M	
21) 吸着式フィルター性能の良否を点検する。	1 Y	
22) フィンの目詰まりの有無を点検する。	3 M	
23) ファンモーターの異常音、異常振動がないか点検する。	3 M	
1) カップリングの損傷、緩みの有無を点検する。カップリングキヤの隙間5～10mmに調整する。	3 M	損傷がある場合は部品交換する
2) 真空スイッチの機能及び設定値の良否を点検する。異常	3 M	調整不能の場合

吸引装置

	がある場合は調整する。		は修理又は部品を交換する
3)	油回転式ポンプの油量の良否及び油の汚れ等の有無を点検する。	3 M	異常がある場合は調査して補給等する
	規定時間に達したらオイルを交換する。	6 M	500時間または3ヶ月で交換する
4)	規定運転時間に達したらオイルフィルターを交換する。	1 Y	1000時間または半年で交換する
5)	サイレンサーの異常の有無を点検する。	3 M	
6)	除菌フィルターの著しい目詰まりの有無を点検する。また、フィルター、エレメント及びガスケットの清掃又は交換（予備品がある場合）する。	6 M	半年で交換する
7)	固定ボルト等の緩み、損傷、塗装の剥離、腐食等の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	6 M	
8)	リレー類の損傷、端子の緩み等の有無を点検する。端子の緩みがある場合は、増締めする。警報電源装置の機能を確認する。	6 M	損傷が激しい場合は該当部品を交換する
9)	手動運転にて所定の真空度に到達する時間を測定し、規定値以内であることを確認する。（排気速度・到達真空度等）	6 M	差異がある場合は精密調査する
10)	リザーバタンク等のドレン溜まりの有無を点検する。ドレンがある場合は除去する。	6 M	
11)	エクゾースフィルターが目詰まりの有無を点検する。目詰まりがある場合は交換する。	6 M	3000時間または3年で交換する
12)	機器及び接続部の緩み、漏れの有無を点検する。緩み、漏れ等がある場合は増締めする。	6 M	調整不能の場合は修理又は該当部品を交換する
13)	真空スイッチ、真空計、電流計等の校正を行う。調整が必要な場合は調整する。警報検出器の作動を確認する。	1 Y	調整不能の場合は修理又は該当部品を交換する
14)	絶縁抵抗値が、2 MΩ以上であることを確認する。（平成19年度以降の装置の場合、電路ごとでは5 MΩ以上、機器が接続された状態では1 MΩ以上。）	1 Y	2 MΩ未満の時は精密調査する
15)	逆止弁の作動の良否を点検する。作動不良の場合は内部機構の分解点検をする。	1 Y	調整不能の場合は修理報告する
16)	分解整備を8.1.3取替部品と共に行う。	2 Y	1組/Y実施

(4)
定置式超低温液化
ガス貯槽等

定置式超低温液化ガス貯槽等の点検項目及び点検内容は表(4)による。

表(4) 定置式超低温液化ガス貯槽（C-E）等

点検項目	点検内容	周期	備考
定置式超低温液化 ガス貯槽等	1) 消火設備は完備されているか点検する。	3 M	
	2) 定置式超低温液化ガス貯槽（C-E）の周囲5m以内に油	3 M	引火性の物が

	<p>脂類など引火性の物及び火気のないことを確認する</p> <p>3) 液酸供給装置、切換装置の圧力調整器等に異常な霜付き、結露の発生の有無を点検する。</p> <p>4) 装置各部に塗装の剥離、腐食、損傷の有無を点検する。</p> <p>5) 圧力計及び液面計の指示に異常がないか、また液面計の零点はよいか点検する。</p> <p>6) 警報検出器の作動は確実か点検する。</p> <p>7) 検出器の作動と警報装置用表示灯との連動はよいか点検する。</p>	<p>3 M</p> <p>3 M</p> <p>3 M</p> <p>3 M</p>	<p>ある場合は規制範囲外に移動等する</p> <p>異常がある場合は精密調査する</p>
	<p>8) 法定標示事項(警戒標識、立入禁止、火気厳禁、医薬品添付文書)は明確になっているか点検する。</p> <p>9) 管理責任者氏名、緊急連絡先など明示されているか点検する。</p> <p>10) 上記に変更があったとき修正は正しく行われているか点検する。</p> <p>11) タンクローリ停止位置は明示されているか点検する。</p> <p>12) タンクローリやガスの搬入用車両の停車スペースは確保されていることを確認する。</p> <p>13) 基礎ボルトがゆるんでいないか点検する。</p> <p>14) 警報用電源の端子のゆるみがないか点検する。</p> <p>15) 警報用電源の絶縁抵抗は2 MΩ以上、接地抵抗は10 Ω以下であるか点検する。</p> <p>16) 圧力検出器の作動圧力、液面高さ検出器の設定値は正規通りか点検する。</p> <p>17) 遠隔警報表示盤との連動はよいか点検する。</p> <p>18) CE本体及び付属品の試験チェックをする。</p> <p>19) CE本体及び周辺の配管の気密はよいか点検する。</p> <p>20) 圧力計、液面計の校正を行う。</p> <p>21) 安全弁は定格値で作動するか。</p> <p>22) 貯槽圧力用安全弁は法定圧力通りか点検する。</p> <p>23) 一次圧力用安全弁は規定値通りか点検する。</p> <p>24) 送気圧力用安全弁は規定値通りか点検する。</p> <p>25) 安全弁のそれぞれ吹き出し量は十分で、吹き止まり後のガス漏れがないか点検する。</p> <p>26) 貯槽の断熱性能は法定通りか点検する。</p> <p>27) 各種バルブは円滑に動くか点検する。</p>	<p>6 M</p> <p>1 Y</p>	<p>駐車スペース等問題がある場合は報告する</p>

※ 高圧ガス保安法第35条(保安検査)及び第35条の2(定期自主検査)を行う場合は、関係法令等の定めるところによる。

(5)
人工空気製造設備

人工空気製造設備の点検項目及び点検内容は表(5)による。
オーバーホールを周期3Yで行う(2019年度実施)

表(5) 人工空気製造設備

点検項目	点検内容	周期	備考
人工空気製造設備 ガス混合装置	1) 装置の異音、漏洩、振動、過熱異臭等の有無を点検。	3 M	異音等ある場合は調査し報告する 作動不良の場合は修理する 設定値でない場合は調整する 不良の場合は修理する 作動不良の場合修理又は取替える 規定濃度でない場合は調整する 漏れがある場合は修理する 漏れがある場合は修理する ランプ等不点の場合取替える
	2) エアー作動弁の作動確認。	3 M	
	3) エアー作動弁の作動確認。	3 M	
	4) 減圧弁設定圧力確認。	3 M	
	5) 手動弁の開閉確認。	3 M	
	6) 減圧弁、手動弁の漏洩及び出流れ確認。	3 M	
	7) 電磁弁の外観及び作動点検。	3 M	
	8) 熱交換器ヒーターの作動確認。	3 M	
	9) 保圧弁の圧力確認。	3 M	
	10) 圧力計の校正。	3 M	
	11) 酸素濃度計による酸素濃度の確認。	3 M	
	12) 酸素濃度計の校正。	3 M	
	13) サンプリング装置の流量確認。	3 M	
	14) バッファータンクの外観及び漏洩点検	3 M	
	15) 配管類の漏洩確認。	3 M	
	16) 圧力スイッチの設定圧力確認及び校正。	6 M	
	17) ストレーナーの分解清掃。	1 Y	
	18) フィルターの目詰まり点検。	1 Y	
	19) サンプリング装置のフィルター点検。	1 Y	
	20) シーケンサーの作動プログラム確認。	1 Y	
監視盤 (警報含む)	1) 装置の異音、漏洩、振動、過熱異臭等の有無を点検。	3 M	
	2) 酸素濃度計による酸素濃度の確認。	3 M	
	3) 酸素濃度計の校正。	3 M	
	4) サンプリング装置の流量確認。	3 M	
	5) 記録計の動作確認。	3 M	
	6) 各警報確認。	6 M	
	7) ポータブル酸素濃度計の校正。	1 Y	
無停電電源装置	1) 外観点検。	6 M	

	2) 絶縁抵抗測定。	1 Y
	3) 定電圧特性試験。	1 Y
	4) 電池電圧の確認。	1 Y
	5) 停電動作確認。	1 Y

(6)
中央監視装置

中央監視装置の点検項目及び点検内容は表(6)による。

表(6) 中央監視装置

点検項目	点検内容	周期	備考
メインコンソール (SCS)	1) インジケータ表示確認	6 M	
	2) データファイルのバックアップの作成	6 M	
	3) システム各種ログの保存	6 M	
	4) Ethernet通信状態の確認	6 M	
	5) NC-Bus伝送電圧調整	6 M	
	6) システム情報・設定情報の確認	1 Y	
無停電電源装置	1) 外観点検	6 M	
	2) 絶縁抵抗測定	1 Y	
	3) 定電圧特性試験	1 Y	
	4) 電池電圧の確認	1 Y	
	5) 停電動作確認	1 Y	
現場受信盤	1) 外観点検 (内部機器含む) 及び清掃	6 M	不点灯の場合 取替
	2) ランプ等表示確認	6 M	
	3) ケーブル、コネクタ類の装着状態の確認	6 M	
	4) 盤内機器の動作確認	6 M	
	5) 各ポイントの通信動作確認	6 M	
	6) 実測による指示値の確認	6 M	
	7) インターホンの動作確認	6 M	
	8) バックアップバッテリーの電圧の確認	6 M	
	9) 電源等各端子増締め点検	1 Y	
	10) 電源電圧の確認、調整	1 Y	
	11) 指示値の校正	1 Y	
空気式自動制御 調節弁	1) 外観点検、清掃	6 M	
	2) グランド部等漏れ点検	6 M	
	3) 検出器等関連部とのループ作動点検	6 M	
	4) バルブストローク作動点検及び閉止位置での漏れ点検、調整	1 Y	
	5) 実制御に於ける制御状態での確認調整	1 Y	
デジタル指示 調節計	1) 外観 (内部機器含む) 点検、清掃	6 M	
	2) 各設定の確認調整	6 M	
	3) 検出器等関連部とのループ作動点検	6 M	

流量計 発信器	4) 規定値の設定及び確認	6 M
	5) 端子等の増締め、点検	1 Y
	6) 実制御に於ける制御状態での確認調整	1 Y
	7) 標準器による指示及び制御出力信号の確認	1 Y
	1) 外観点検及び清掃	6 M
	2) 発信器と操作部等のループ作動点検	6 M
	3) 積算値の確認（流量計のみ）	6 M
	4) 端子等の増締め、点検	1 Y
	5) 標準器（実測含む）による誤差点検及び校正	1 Y
	6) 実制御に於ける制御状態での確認調整	1 Y
	7) 発信器の出力値の確認	1 Y

2. 看護学科棟実習用医療ガス設備

(1) 使用設備 使用設備の点検項目及び点検内容は表(1)による。

表(1) 使用設備

点検項目	点検内容	周期	備考
アウトレット (配管端末器)	1) キャップ等の付属品があることを確認する。	1 Y	
	2) ピン式又はシュレーダ式は、ピン穴の方向及び六角穴の方向が正しいことを確認する。	1 Y	
	3) 損傷、腐食等の有無を点検する。	1 Y	
	4) ネジ類の緩みの有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	1 Y	
	5) リングカバーの作動の良否及び緩みの有無を点検する。	1 Y	
	6) アダプターの着脱の良否を点検する。	1 Y	
	7) アダプター着脱時の異音(シュー音)の有無を点検する。	1 Y	
	8) 配管端末器最大流量(表-1)を流し、標準圧力(表-1)であることを確認する。	1 Y	
	9) 点検用具を用いて、各ブロックの任意の1個のアウトレットについてガス同定試験にあたり、酸素濃度計を用いる場合は、表-2の酸素濃度であることを確認する。	1 Y	
	10) 取付部の漏れ、緩みの有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	1 Y	

表-1 医療ガス配管設備諸元表

[単位 : kPa, 吸引は-kPa (Nℓ/minは1気圧0℃でのガス量)]

	酸素	吸 引		圧 縮 空 気	
		水封式	油回転式	治療用	
標準早期圧力(1)	400±40	40~70	50~80	392±49	
配管端末器最大流量 (2) Nℓ/min	≥60(3)	≥40	≥40	≥60	
送気圧力調整器の調整 圧力	450±50	—	—	450±50	
ポンプ及び 空気圧縮機 の作動圧力	発信	—	45±3	55±3	1200±50(4)
	停止	—	67±3	77±3	1400±50(4)
送気圧力	安全弁の 作動圧力	600~800	—	—	600~800(5) (1600~2000)
	上限警報 (6)	480±20	—	—	480±20
	下限警報 (6)	320±20	33±3	43±3	20±20

注(1) 静止圧状態において酸素は治療用空気よりも30kPa程度高くする。

(2) 当該配管端末器だけを使用した場合に標準圧力範囲内で得られる流量。ただし、吸引の場合は開放状態で得られる流量。

(3) 同一配管区域の一つの配管端末器において流量が120Nℓ/minの場合、その他圧力は300kPaまで低下することが許される。

- (4) 同空気圧縮機の性能に応じて変更してもよい。
- (5) 送気圧力調整器の上流側の安全弁の作動圧力を示す。
- (6) 急臨床警報・緊急運転警報の値を示す。

表-2 酸素濃度計による試験

ガス同定試験で、特定酸素濃度をもつガスなどの各配管設備について、酸素濃度計を使用して酸素濃度を測定して次の要件を満たすことを確認する。(JIS T7101付属書E)	
・酸素 (95体積分率%以上)	・医療用空気 (20~23体積分率%) ,

点検項目	点検内容	周期	備考
ホースアセンブリ	1) ホースのねじれの有無を点検する。ねじれがある場合は調整等を行う。	1 Y	
	2) アダプタープラグの損傷、変形の有無を点検する。	1 Y	
	3) ピンの欠落、リングの変形、先端の傷等の有無を点検する。	1 Y	
	4) アダプタープラグが、特定のアウトレットにのみ装着でき、ロックされ、ガス漏れ(シュー音)がないことを確認する。	1 Y	
	5) ホースのガス別表示が正常に表示されていることを確認する。	1 Y	
	6) ホース両端の接続用具の締付け状態の良否を点検する。	1 Y	
	7) 加圧されていない状態でホースの内径の10倍に曲げて劣化、変形、亀裂、折れの有無を点検する。	1 Y	
	8) 使用圧力(吸引は69kPa(0.7kgf/□))を加え、出口に栓をし、漏洩検知液等をつけるか、取り外して水槽に沈め、ホース及び接続用具との締付け部の漏れの有無を点検する。	1 Y	
	9) 巻き上げ機構の作動の良否を点検する。	1 Y	
	10) 固定配管との接続部の緩み、ガス漏れの有無を、漏洩検知液等により点検する。	1 Y	
配管	1) 配管が露出している部分の損傷、支持金物の緩みの有無を点検する。支持金物の緩みがある場合は増締めする。	1 Y	
	2) ガス別表示の記号及び識別色が表示されていることを確認する。	1 Y	
	3) 通路等に露出している部分の保護部材の損傷、変形、腐食等の有無を確認する。	1 Y	
	4) 配管の接合部や曲げ部からのガス漏れの有無を点検する。	1 Y	

(3)
配管・遮断弁

配管・遮断弁の点検項目及び点検内容は表(3)による。

表(3) 配管、遮断弁（以下「シャットオフバルブ」という。）

点検項目	点検内容	周期	備考	
配管	1) 配管が露出している部分の損傷、支持金物の緩みの有無を点検する。支持金物の緩みがある場合は増締めする。	1 Y		
	2) ガス別表示の記号及び識別色が表示されていることを確認する。	1 Y		
	3) 通路等に露出している部分の保護部材の損傷、変形、腐食等の有無を確認する。	1 Y		
	4) 配管の接合部や曲げ部からのガス漏れの有無を点検する。	1 Y		
	シャットオフバルブ	1) シャットオフバルブのガス別表示が表示されていることを確認する。	1 Y	
		2) バルブの位置と制御区域の表示がされていることを確認する。	1 Y	
		3) 窓板の損傷の有無を点検する。	1 Y	
4) 固定ボルト等の緩みの有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。		1 Y		
5) パイプの締付け部等からのガス漏れの有無を、漏洩検知液等により点検する。		1 Y		
6) バルブの開閉動作の良否を点検する。		1 Y		
7) シャットオフバルブを閉止し、下流のアウトレットからガスを抜いた後、その部分の圧力上昇がないこと、制御区域が表示と同じであることを確認する。		1 Y		

(16)
警報システム
(操作盤・制御盤)

警報システム(操作盤・制御盤)の点検項目及び点検内容は表(16)による。

表(16) 警報システム(操作盤・制御盤)

点検項目	点検内容	周期	備考
警報システム (操作盤・制御盤)	1) 表示灯、ランプカバー等の損傷等の有無を点検する。	1 Y	
	2) 表示灯の点灯状態の良否を点検する。	1 Y	
	3) テストボタン又は警報を作動させ、作動時の可聴警報、弱音の機能及びランプの点灯状態の良否を点検する。	1 Y	
	4) 圧力検出器、液面検出器及び露点温度検出器等の作動、警報発信及び各警報表示器との連動が正常であることを確認する。 なお、送気配管警報の発信圧力は、表-1による。	1 Y	
	5) リレーの損傷、端子の緩み等の有無を点検する。端子の緩みがある場合は増締めする。	1 Y	
	6) 固定ボルト等の緩み、損傷、腐食等の有無を点検する。	1 Y	

	緩みがある場合は増締めする。		
	7) 絶縁抵抗値が、2 MΩ以上であることを確認する。 (平成19年度以降の装置の場合、電路ごとでは5 MΩ以上、機器が接続された状態では1 MΩ以上。)	1 Y	
	8) 各検出器の検出値、設定値、及び指示値が標準値となる機器と比較し、正常値であることを確認する。異常がある場合は調整する。	1 Y	

2. 供給設備

(17)

酸素供給装置

酸素供給装置の点検項目及び点検内容は表(17)による。

表(17) 酸素供給装置

点検項目	点検内容	周期	備考
酸素供給装置	1) 弁の開閉表示の有無、またその表示内容が適正であることを確認する。	1 Y	
	2) 圧力計、液面計の指示値が正常であることを確認する。 酸素圧力は他のガスより29.4kPa(約0.3kgf/cm ²)高くなっていることを確認する。	1 Y	
	3) 容器連結導管の硬化、変形、折れの有無を点検する。	1 Y	
	4) ポンベの転倒防止対策の良否を点検する。	1 Y	
	5) 液酸供給装置、切換装置の圧力調整器等に異常な霜付き、結露の発生の有無を点検する。	1 Y	
	6) 容器置場の周囲2m以内に、火気又は引火性若しくは発火性の物がないことを確認する。	1 Y	
	7) 切換装置のハンドル、又はレバーに「使用側」などの表示の有無を確認する。	1 Y	
	8) 消火設備が適切に設置されていることを確認する。	1 Y	
	9) ケース、機器の塗装剥離、腐食、変形、損傷の有無を点検する。	1 Y	
	10) マニホールド室出入口の施錠の良否を点検する。	1 Y	
	11) 警戒標識、立入禁止、火気厳禁等の法定標識が表示されていることを確認する。	1 Y	
	12) ガス漏れ音の有無を点検する。	1 Y	
	13) ガスの残量を確認し、記録する。	1 Y	
	14) 異常なガス流音の有無を点検する。	1 Y	
	15) 圧力計等の損傷の有無を点検する。	1 Y	
	16) 管理責任者名、緊急連絡先が明示されていることを確認する。	1 Y	
	17) 圧力調整器のシートの漏れの有無を点検する。	1 Y	
	18) 容器連結導管の両端部の漏れの有無を、漏洩検知液等により点検する。漏れがある場合は増締めする。	1 Y	
	19) 逆流防止弁の機能の良否を点検する。	1 Y	
	20) 圧力スイッチの作動の良否、設定値が初期設定値である	1 Y	

こと、また、警報発信の連動の良否を点検する。	
21) 非常供給システムが確保されていることを確認する。	1 Y
22) 固定ボルト等の緩み、損傷、腐食等の有無を点検する。 緩みがある場合は増締めする。	1 Y
23) 切換装置のハンドル又はレバーの作動状況及び切換機能の良否を点検する。	1 Y
24) リレー類の損傷、端子の緩み等の有無を点検する。端子の緩みがある場合は増締めする。	1 Y
25) 装置内配管等のガス漏れの有無を、漏洩検知液等により点検する。	1 Y
26) 常時操作する弁の開閉動作の良否を点検する。	1 Y
27) 液面計（容器付属品は除く）、圧力計、圧力スイッチ等の校正を行う。調整が必要な計器等は調整する。	1 Y
28) 2段減圧の場合、1段目調整圧力の異常の有無を確認する。異常がある場合は調整または報告する。	1 Y
29) 安全弁の作動圧力、吹出量の異常の有無を点検する。異常がある場合は調整又は報告する。	1 Y
30) 絶縁抵抗値が、2 MΩ以上であることを確認する。	1 Y

(18)
圧縮空気供給装置
及び吸引装置

圧縮空気供給装置及び吸引装置の点検項目及び点検内容は表(18)による。

表(18) 圧縮空気供給装置及び吸引装置

点検項目	点検内容	周期	備考
圧縮空気供給装置 及び吸引装置	1) 起動、停止等の運転動作の良否を点検する。	1 Y	
	2) 運転中の異常音、異常振動の有無を点検する。	1 Y	
	3) 電動機の温度の良否を点検する。	1 Y	
	4) 電流計、圧力計等の指示値が正常であることを確認する。	1 Y	
	5) 各バルブの開閉動作の良否を点検する。	1 Y	
	6) 機械室の施錠の良否を点検する。	1 Y	
	7) ケース、機器の塗装剥離、腐食、変形、損傷の有無を点検する。	1 Y	
	8) 給水を要する設備では、給水量、水の循環、水温、水位等の良否を点検する。	1 Y	
	9) 機械室内に不要な物が置いてないことを確認する。不要の物等がある場合は除去する。	1 Y	
	10) 管理責任者名、緊急連絡先の表示の有無を確認する。	1 Y	
	11) 消火設備の完備を確認する。	1 Y	

圧縮空気供給装置

- | | |
|---|-----|
| 1) リザーバタンク、ドライヤー、フィルター、アフタークーラー等の機密はよいか。また、ドレン溜まりの有無を点検する。ドレンがある場合は除去する。 | 1 Y |
| 2) オートドレンの作動の良否を点検する。 | 1 Y |
| 3) 駆動ベルトの損傷、緩みの有無を点検する。緩みがある場合は調整する。 | 1 Y |
| 4) 殺菌灯の点灯状態の良否、汚れ、損傷等の有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 | 1 Y |
| 5) エアドライヤーの放熱板の変形、汚れ、目詰まりの有無を点検する。著しい汚れがある場合は清掃する。給水を要する設備は、給水量・水温が正常か、配管接続部からの漏れはないかを点検する。 | 1 Y |
| 6) コンデンサーの汚れの有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 | 1 Y |
| 7) フィルター等の目詰まりの有無を点検する。目詰まりがある場合は清掃又は交換（予備品がある場合）する。 | 1 Y |
| 8) 安全弁の漏れの有無を点検する。漏れがある場合は調整する。 | 1 Y |
| 9) 圧力スイッチの機能及び設定値の良否、また、警報発信の連動の良否を点検する。 | 1 Y |
| 10) 圧力調整器の二次圧力が正常であることを確認する。異常な圧力の場合は調整する。 | 1 Y |
| 11) 固定ボルト等の緩み、損傷、塗装の剥離、腐食等の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。 | 1 Y |
| 12) リレー類の損傷、端子の緩み等の有無を点検する。端子の緩みがある場合は増締めする。警報検出器の作動を確認する。 | 1 Y |
| 13) コンプレッサーにおいてリザーバタンクの出口弁を閉め、タンク内圧力を0にし、手動運転にて最高使用圧力到達時間を測定し、規定値以内であることを確認する。
(吐出空気量・吐出圧力等) | 1 Y |
| 14) 機器及び接続部に緩み、漏れの有無を点検する。緩みがある場合は増締めを行う。 | 1 Y |
| 15) ストレーナーの目詰まりの有無を点検する。目詰まりがある場合は清掃する。 | 1 Y |
| 16) 安全弁の作動圧力が適正であることを確認する。異常の場合は調整する。 | 1 Y |
| 17) 圧力計、電流計等の校正を行う。調整が必要な場合は、調整する。 | 1 Y |
| 18) 圧力調整器のシートの漏れの有無を点検する。 | 1 Y |
| 19) 絶縁抵抗値が、2 MΩ以上であることを確認する。 | 1 Y |
| 20) 露点計の指示値が正常であることを確認する。 | 1 Y |

吸引装置

- | | |
|---|-----|
| 1) 駆動ベルトの損傷、緩みの有無を点検する。緩みがある場合は調整する。 | 1 Y |
| 2) 真空スイッチの機能及び設定値の良否を点検する。異常がある場合は調整する。 | 1 Y |
| 3) サイレンサーの異常の有無を点検する。 | 1 Y |
| 4) 除菌フィルターの著しい目詰まりの有無を点検する。除菌装置の清掃及び殺菌灯があれば清掃と光源を点検する | 1 Y |

<p>。また、フィルター、エレメント及びガスケットの清掃又は交換（予備品がある場合）する。</p>	
5) 固定ボルト等の緩み、損傷、塗装の剥離、腐食等の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。	1 Y
6) リレー類の損傷、端子の緩み等の有無を点検する。端子の緩みがある場合は、増締めする。警報電源装置の機能を確認する。	1 Y
7) 手動運転にて所定の真空度に到達する時間を測定し、規定値以内であることを確認する。（排気速度・到達真空度等）	1 Y
8) リザーバタンク等のドレン溜まりの有無を点検する。ドレンがある場合は除去する。	1 Y
9) 排水管の目詰まりの有無を点検する。目詰まりがある場合は除去する。	1 Y
10) 機器及び接続部の緩み、漏れの有無を点検する。緩み、漏れ等がある場合は増締めする。	1 Y
11) 真空スイッチ、真空計、電流計等の校正を行う。調整が必要な場合は、調整する。警報検出器の作動を確認する	1 Y
12) 絶縁抵抗値が、2 MΩ以上であることを確認する。（平成19年度以降の装置の場合、電路ごとでは5 MΩ以上、機器が接続された状態では1 MΩ以上。）	1 Y
13) 逆止弁の作動の良否を点検する。作動不良の場合は内部機構の分解点検をする。	1 Y
14) 水槽内部の、異物侵入の有無を点検する。異物等の侵入がある場合は除去する。	1 Y
15) 水槽内の水量を確認する。水量が不足している場合は補充する。	1 Y
16) 圧力調整器の作動は正常か。圧力調整器のシート漏れはないか確認する。	1 Y
17) 自動運転用の圧力スイッチの作動範囲はよいか確認する。	1 Y

8.1 医療ガス設備

8.1.(C) 取替部品

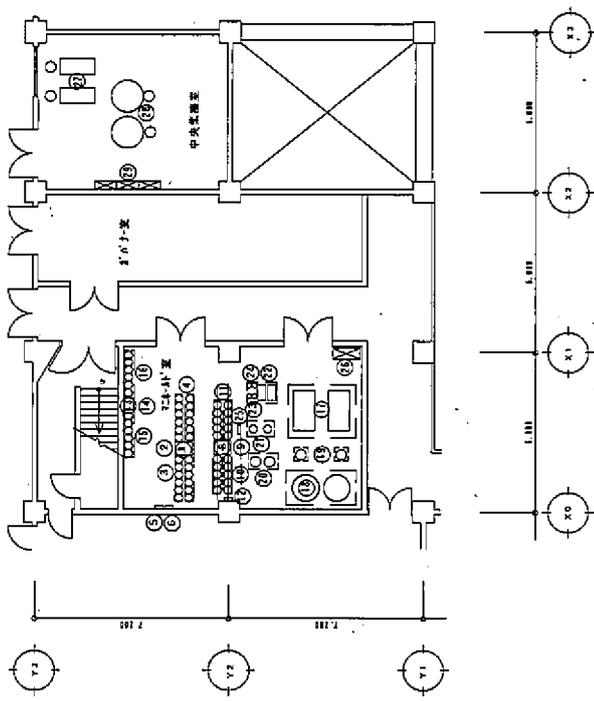
附属病院

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
アウトレットホース		84本	5Y	6本	20本	20本
区域警報盤 圧力センサー		45個	5Y	12個	10個	12個
酸素・窒素・二酸化炭素等供給装置						
一次側調整器 ダイヤフラム	3台分	6枚	1Y	○	○	○
一次側調整器 バルブシート	3台分	6個	1Y	○	○	○
二次側調整器 ダイヤフラム	2台分	2枚	1Y	○	○	○
二次側調整器 バルブシート	2台分	2個	1Y	○	○	○
逆止弁オリング		40個	1Y	○	○	○
逆止弁フィルター	4台分	40個	1Y	○	○	○
連結管パッキング	4台分	80個	1Y	○	○	○
吸引装置						
除菌フィルターエレメント		4個	1Y	○	○	○
オイルフィルター		4個	1Y	○	○	○
オイル		96L	1Y	○	○	○
シャフトシール	1台分	4式	2Y	○	○	○
テーパピン	"	4式	2Y	○	○	○
エンドプレートOリング	"	2式	2Y	○	○	○
ベーン	"	1式	2Y	○	○	○
カップリングインサート	"	2式	2Y	○	○	○
ベアリング	"	2式	2Y	○	○	○
ベアリングスリーブ	"	2式	2Y	○	○	○
カバープレート用 G/Kカバーフランジ	"	2式	2Y	○	○	○
バルブストレーナー	"	1式	2Y	○	○	○
エグゾーストフィルター用 Oリング	"	8式	2Y	○	○	○

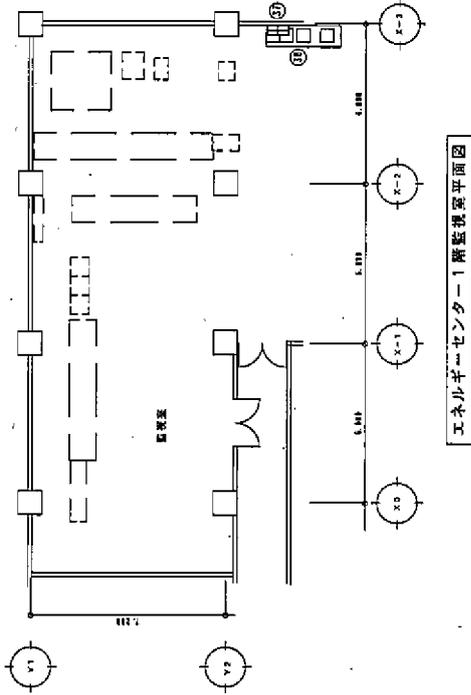
品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
エンジンオイルフィルター	"	8式	2Y	○	○	○
エンジンオイルパルプ コンプリート	"	7式	2Y	○	○	○
カバープレート用 G/K	オイルフィルター側 1台分	1式	2Y	○	○	○
オイルサイトグラス	1台分	1式	2Y	○	○	○
オイルフィルター用 G/K	"	1式	2Y	○	○	○
パルププレート用 Oリング	"	1式	2Y	○	○	○
インレットフランジ用 G/K	"	1式	2Y	○	○	○
インレットフランジ用 スプリング	"	1個	2Y	○	○	○
インレットフランジ用 ガスケット	"	2枚	2Y	○	○	○
インレットフランジ用 ボール	"	1個	2Y	○	○	○
インレットフランジ用 スクリーン	"	1個	2Y	○	○	○
ポンプファン	スクリュー付 1台分	2式	2Y	○	○	○
ポンプファン	フード内モーター側冷却ファン 1台分	2式	2Y	○	○	○
圧縮空気装置						
吸込フィルター		6個	1Y	○	○	○
吐出フィルター		2個	1Y	○	○	○
パッキンセット		6式	1Y	○	○	○
液化酸素装置						
減圧器ダイヤフラム		4枚	1Y	○	○	○
減圧器シート		4個	1Y	○	○	○
圧力計		8個	1Y	○	○	○

看護学科棟

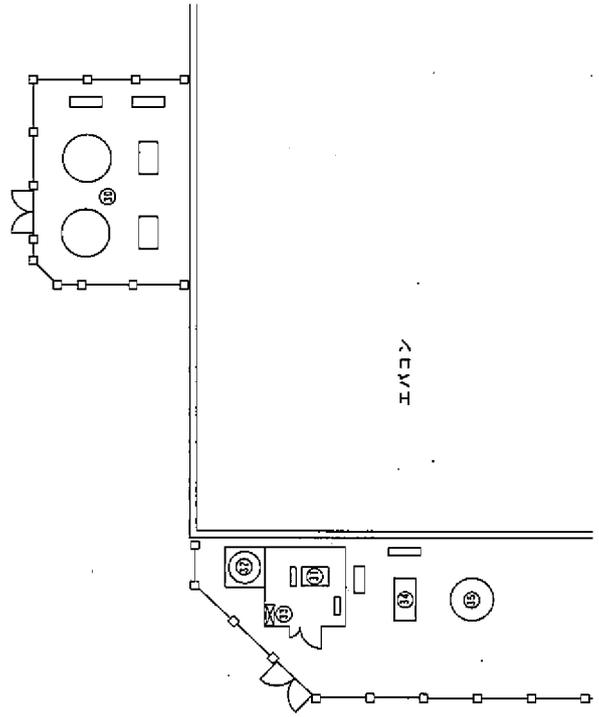
品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
酸素供給装置						
一次側調整器 ダイヤフラム		2枚	1Y	○	○	○
一次側調整器 バルブシート		2個	1Y	○	○	○
二次側調整器 ダイヤフラム		1枚	1Y	○	○	○
二次側調整器 バルブシート		1個	1Y	○	○	○
逆止弁Oリング フィルター、パッキン		2式	1Y	○	○	○
圧縮空気装置						
クランクフィルター		1個	1Y	○	○	○
吸込フィルター		1個	1Y	○	○	○
空気弁パッキン		1個	1Y	○	○	○
ヘッドパッキン		1個	1Y	○	○	○
アフタークーラー ドレントラップ		1個	1Y	○	○	○
エアドライヤー ドレントラップ		1個	1Y	○	○	○
ミストフィルターエレメント		1個	1Y	○	○	○
マイクロフィルターエレメント		1個	1Y	○	○	○
減圧弁 バルブシートセット		1個	1Y	○	○	○



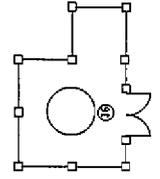
エネルギーセンター地下1階平面図



エネルギーセンター1階監視室平面図

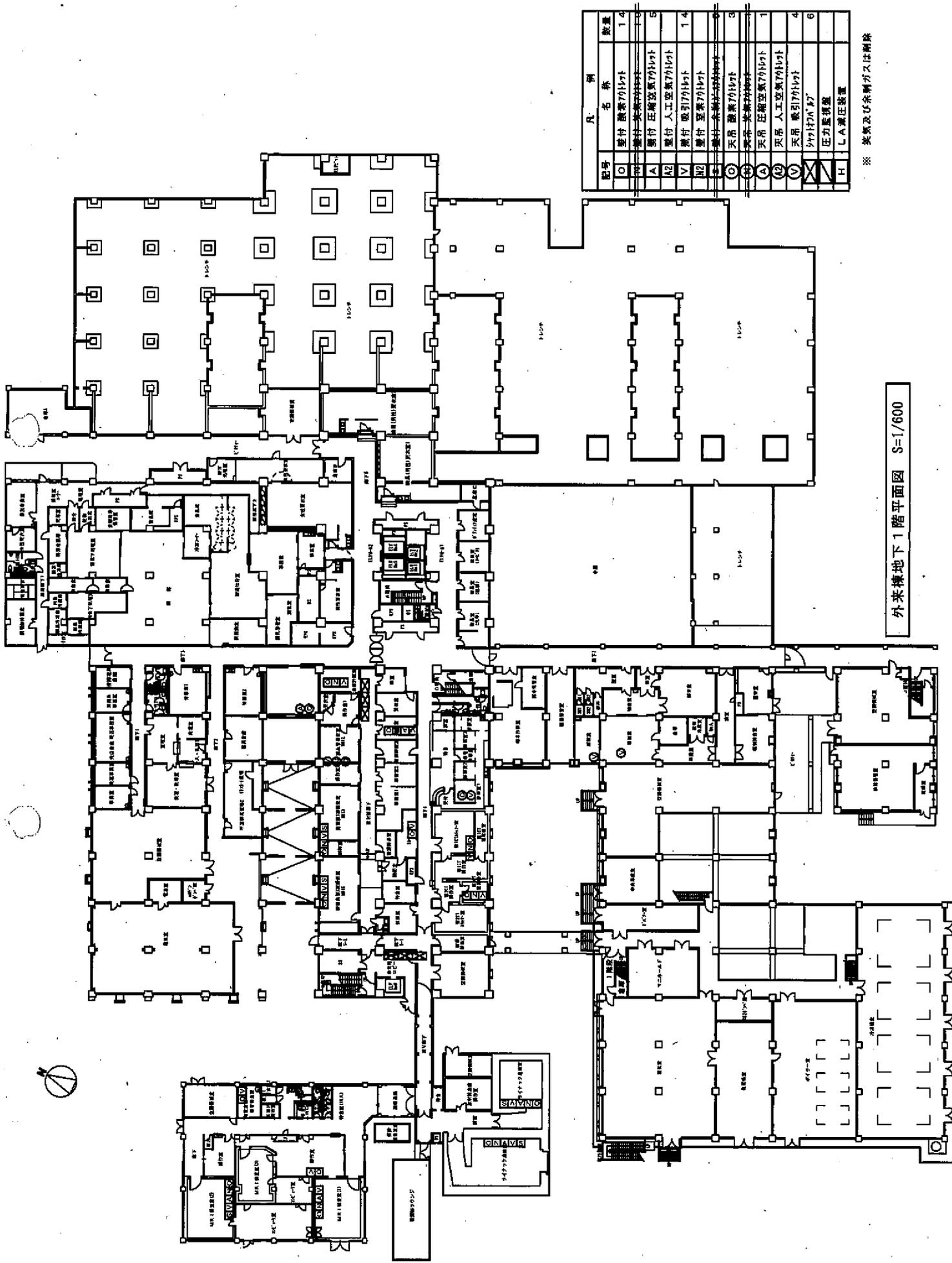


エネルギーセンター-液化酸素受入装置、人工空気供給装置配置図



液化酸素受入装置配置図

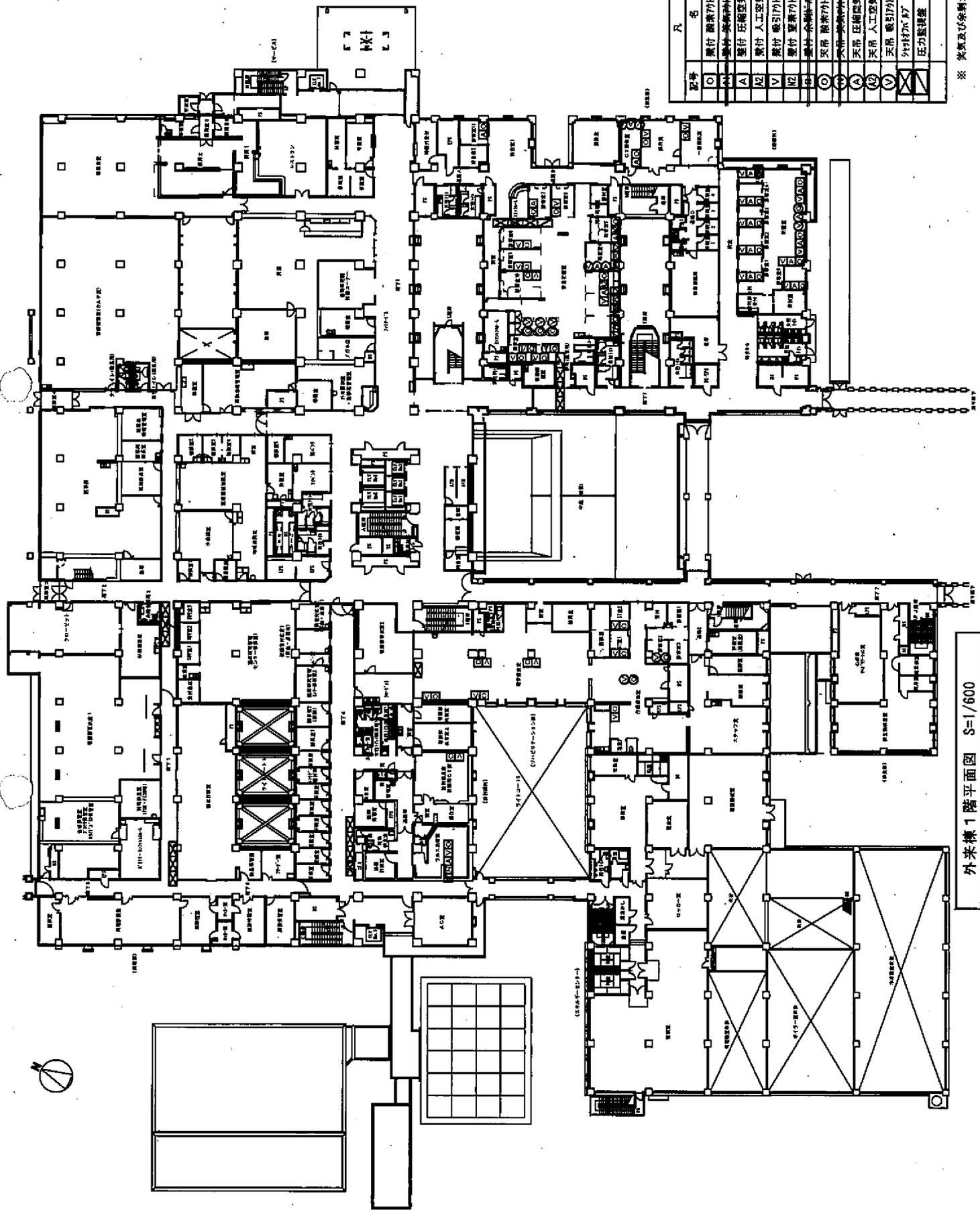
種別	番号	名称(規格)	数量	備考	
配管ライン	①	切取装置バルブ(自動切取装置MT)	1個	配管供給装置	
	②	高圧バルブ	2台		
	③	止弁	24台		
	④	減圧弁	24台		
中央空調	⑤	冷凍用冷却塔ポンプ	1台	配管ガス供給装置	
	⑥	予備用冷凍用冷却塔ポンプ	1台	配管ガス供給装置	
	⑦	高圧バルブ	2台		
	⑧	止弁	24台		
	⑨	減圧弁	24台		
	⑩	切取装置バルブ(自動切取装置MT)	1台	配管ガス供給装置	
	配管ライン	⑪	高圧バルブ	2台	
		⑫	止弁	12台	
		⑬	減圧弁	12台	
		⑭	コンプレッサー	2台	11kW
⑮		リバーブタンク	2台	容量 1000L	
⑯		空気アerator	2台		
⑰		エアフィルター	2台		
⑱		除湿機	2台		
⑲		調整弁	2台		
⑳		オイルフィルター	2台	配管フィルター付き	
電気ライン	㉑	圧縮空気の配管	1台		
	㉒	吸引ポンプ	2台	1.5kW	
	㉓	吸引タンク	2台	容量 1000L	
	㉔	制御弁	1個		
	㉕	液化酸素受入装置	2式	5000L 附属装置含む	
	㉖	人工空気供給装置	2式	5000L 附属装置含む	
	㉗	パワアerator	1式	附属装置含む	
	㉘	除湿機	1台	2000L	
	㉙	配管	1台		
	㉚	液化酸素受入装置	1式	5000L 附属装置含む	
中央空調	㉛	液化酸素受入装置	1式	2500L 附属装置含む	
	㉜	医療ガス供給センター	1台		
	㉝	医療ガス中央監視装置	1式	WILLERT, フォク-DIG, BPS等	



記号	凡例	名称	数量
○		壁付 酸素7分圧	14
□		壁付 酸素7分圧	14
A		壁付 圧縮空気7分圧	6
A2		壁付 人工空気7分圧	14
V		壁付 吸引7分圧	14
N2		壁付 酸素7分圧	14
○		天井 酸素7分圧	3
○		天井 酸素7分圧	3
○		天井 圧縮空気7分圧	1
○		天井 人工空気7分圧	4
○		天井 吸引7分圧	6
○		圧力監視盤	1
H		LA 兼圧装置	1

※ 酸素及び酸素ガスは別除

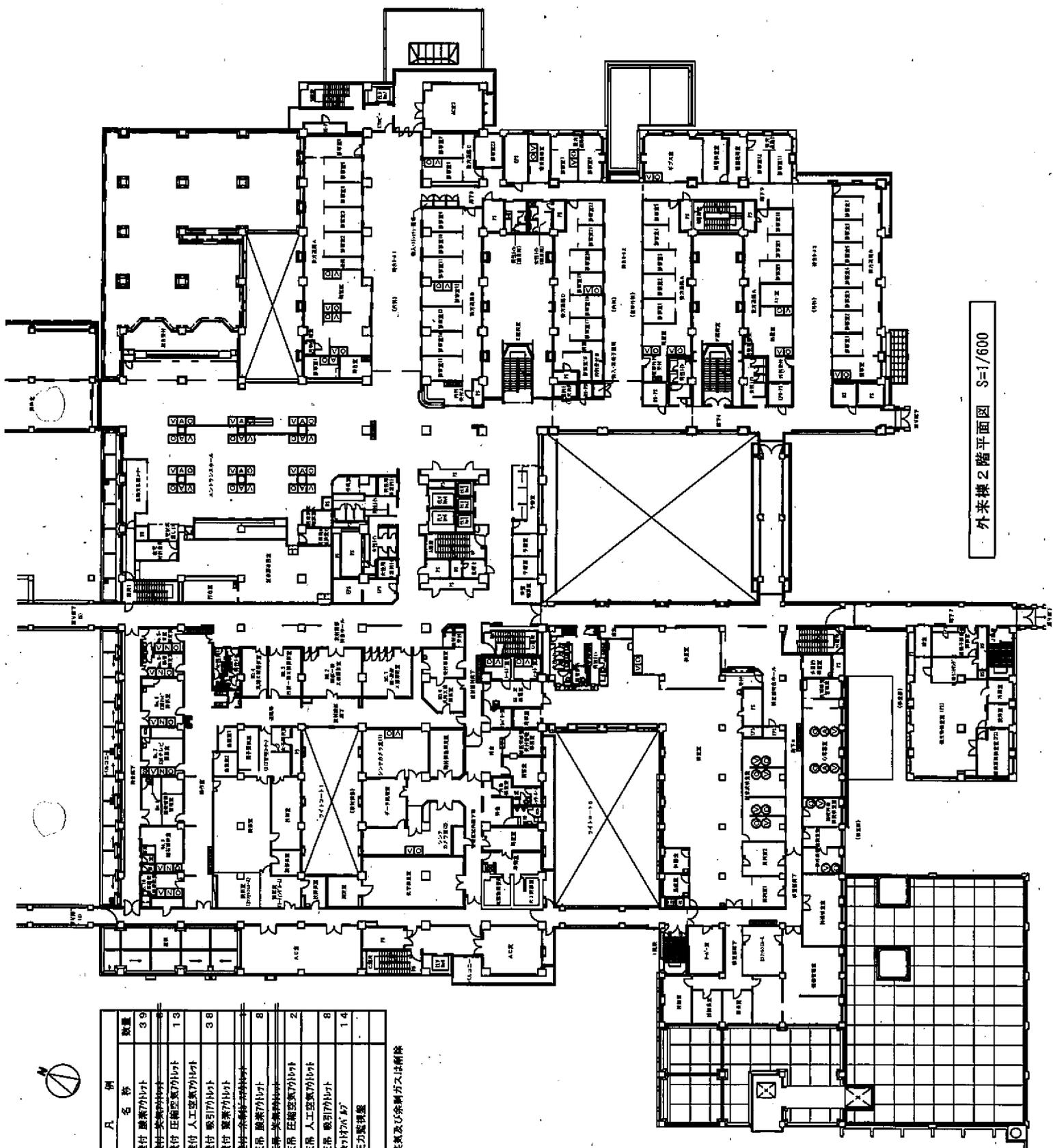
外来棟地下1階平面図 S=1/600



記号	凡 名 稱	数量
○	塵付 扇葉7分1/2	35
□	塵付 扇葉5分1/2	20
△	塵付 圧縮空気7分1/2	1
▽	塵付 塵引7分1/2	31
◇	塵付 夏葉7分1/2	8
◎	天吊 扇葉7分1/2	4
○	天吊 圧縮空気7分1/2	1
△	天吊 人工空葉7分1/2	6
▽	天吊 塵引7分1/2	17
◇	天吊 夏葉7分1/2	3

※ 実数及び集積力又は削減

外来棟1階平面図 S=1/600

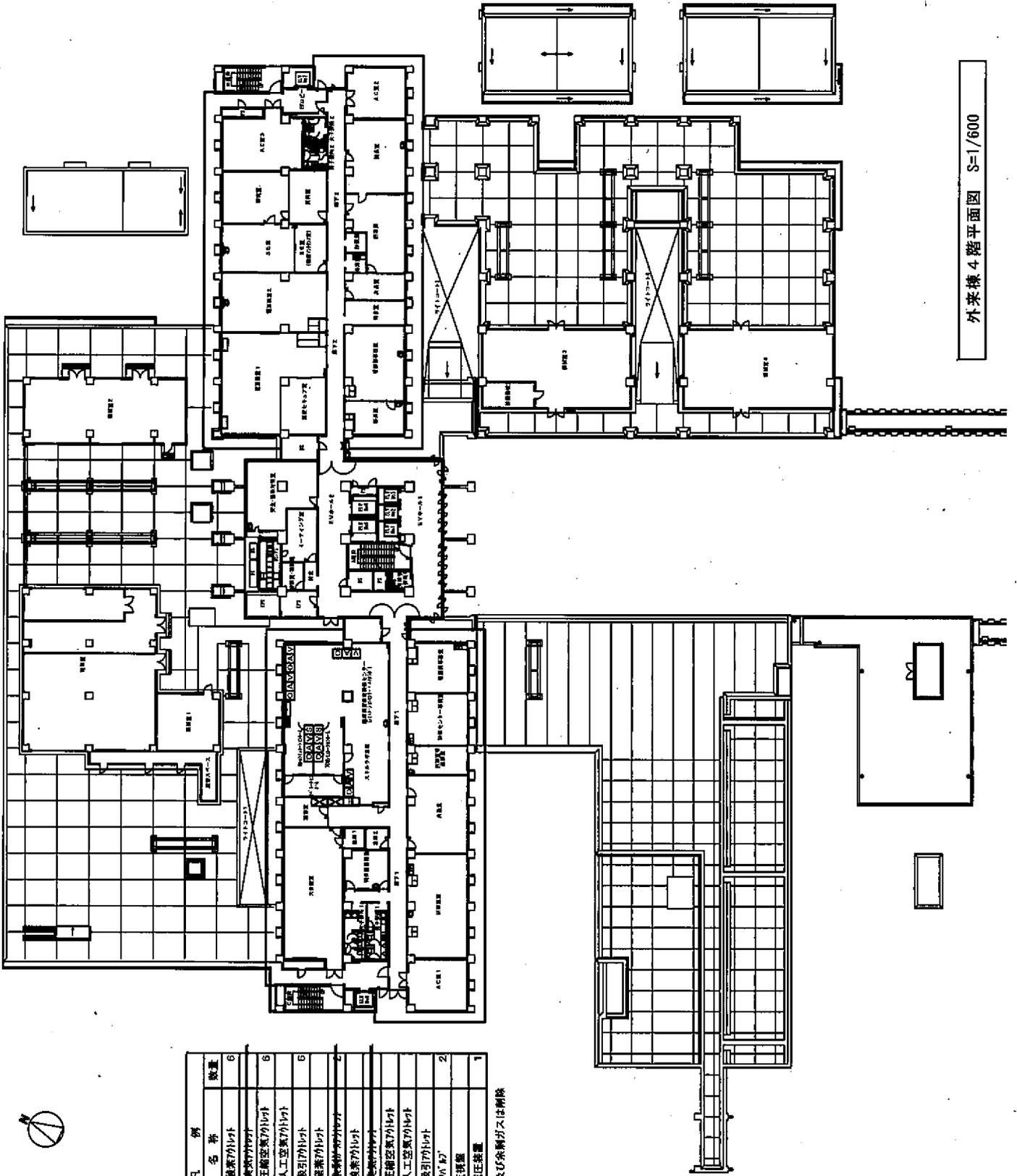


外来棟2階平面図 S=1/600

記号	凡 例	数量
Q	重付 鋼梁70x100	39
Q1	重付 鋼梁100x100	1
A	重付 圧縮空気70x100	13
B	重付 人工空気70x100	38
V	重付 鋼引70x100	38
B2	重付 鋼梁70x100	8
○	天吊 鋼梁70x100	8
○	天吊 圧縮空気70x100	2
○	天吊 人工空気70x100	8
○	天吊 鋼引70x100	14
△	分付材が 鋼	
△	圧力鋼構	

※ 鋼梁及び余鋼材は省略





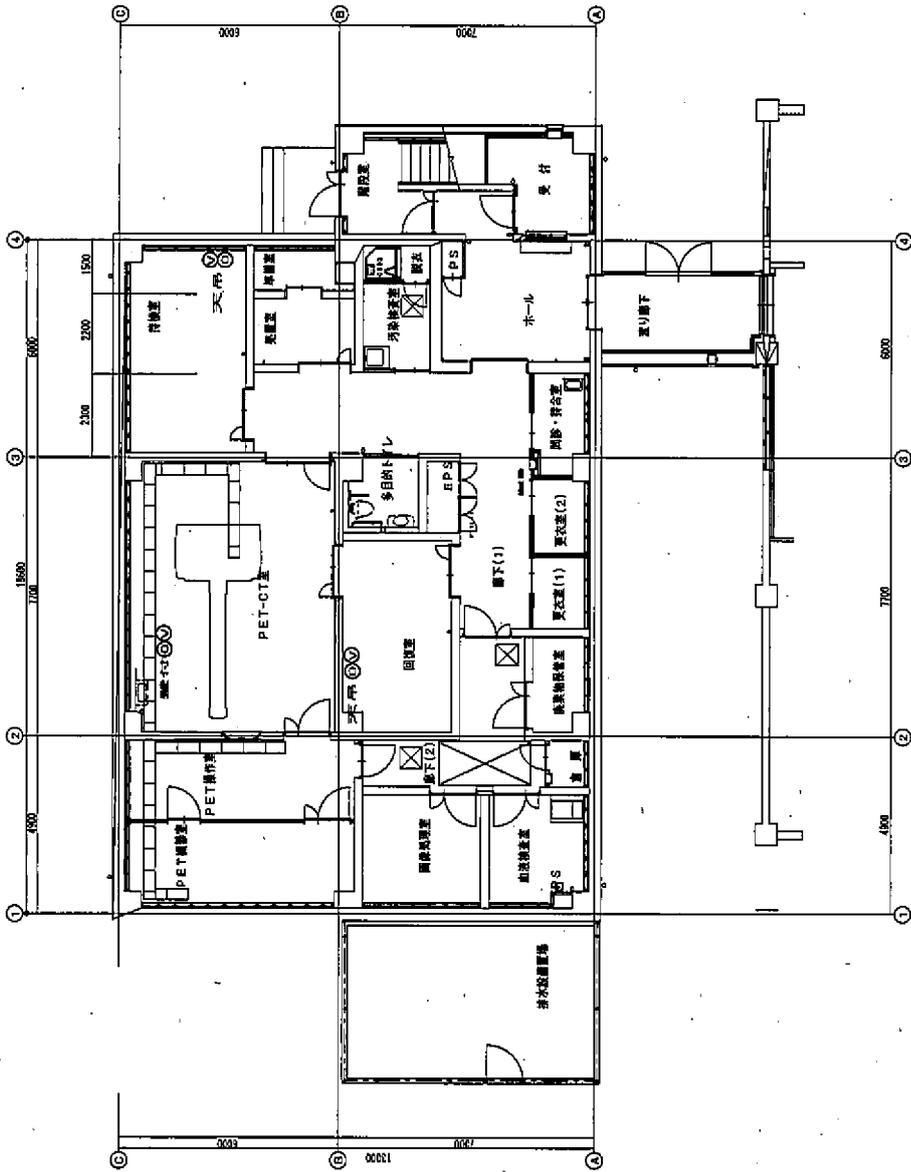
外来棟 4階平面図 S=1/600

記号	凡 例	数量
Q	畳付 障子	6
A	畳付 圧縮空気	6
B	畳付 人工空気	6
C	畳付 吸引	6
D	畳付 遮光	6
E	天井 障子	2
F	天井 圧縮空気	2
G	天井 人工空気	2
H	天井 吸引	2
I	天井 遮光	2
J	圧力配管	1
K	L.A. 配管	1

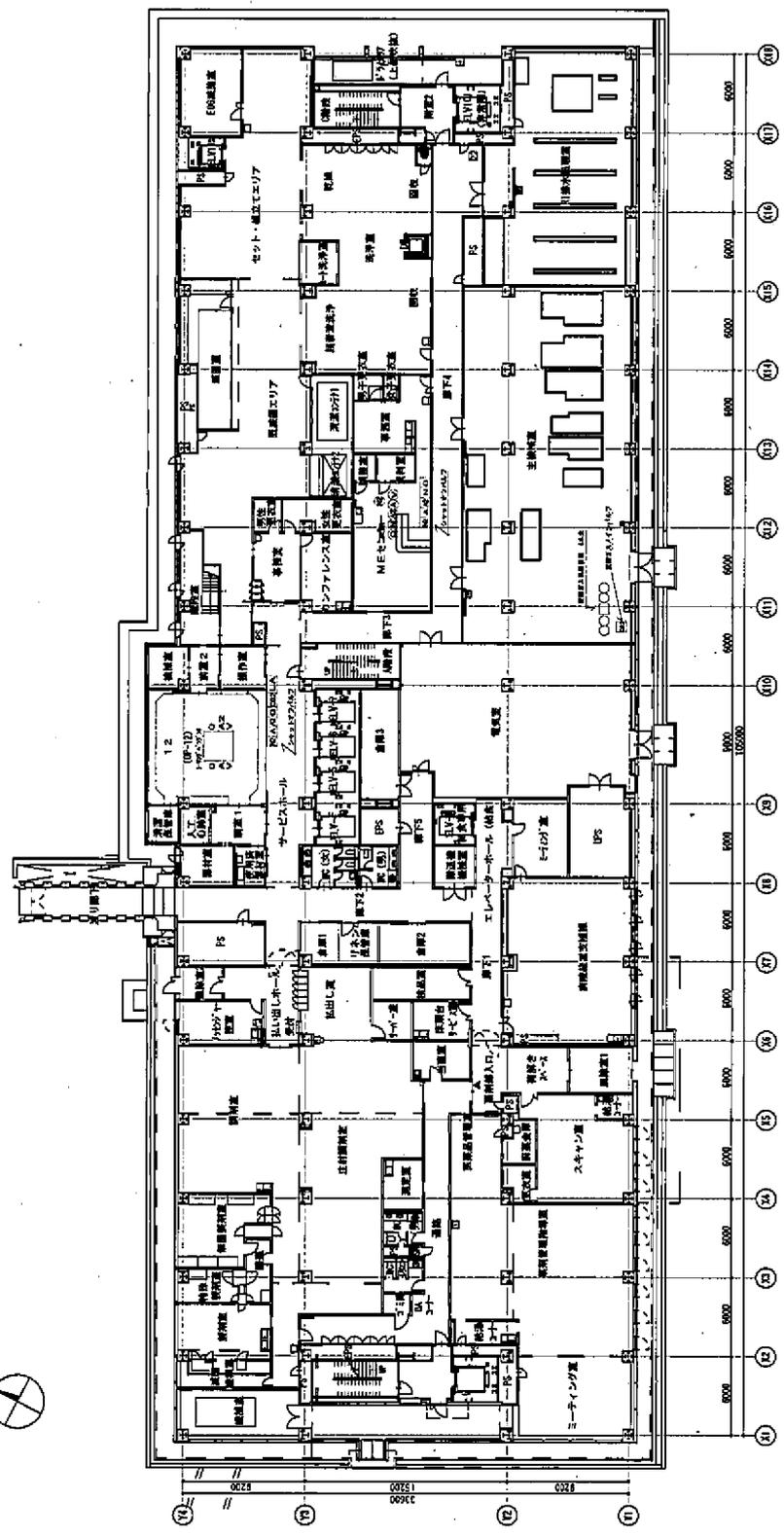
※ 実数及び余剰は削除



例			
記号	名称	天井	天吊
⊙	照明器具	1	2
⊙	換気装置	1	2



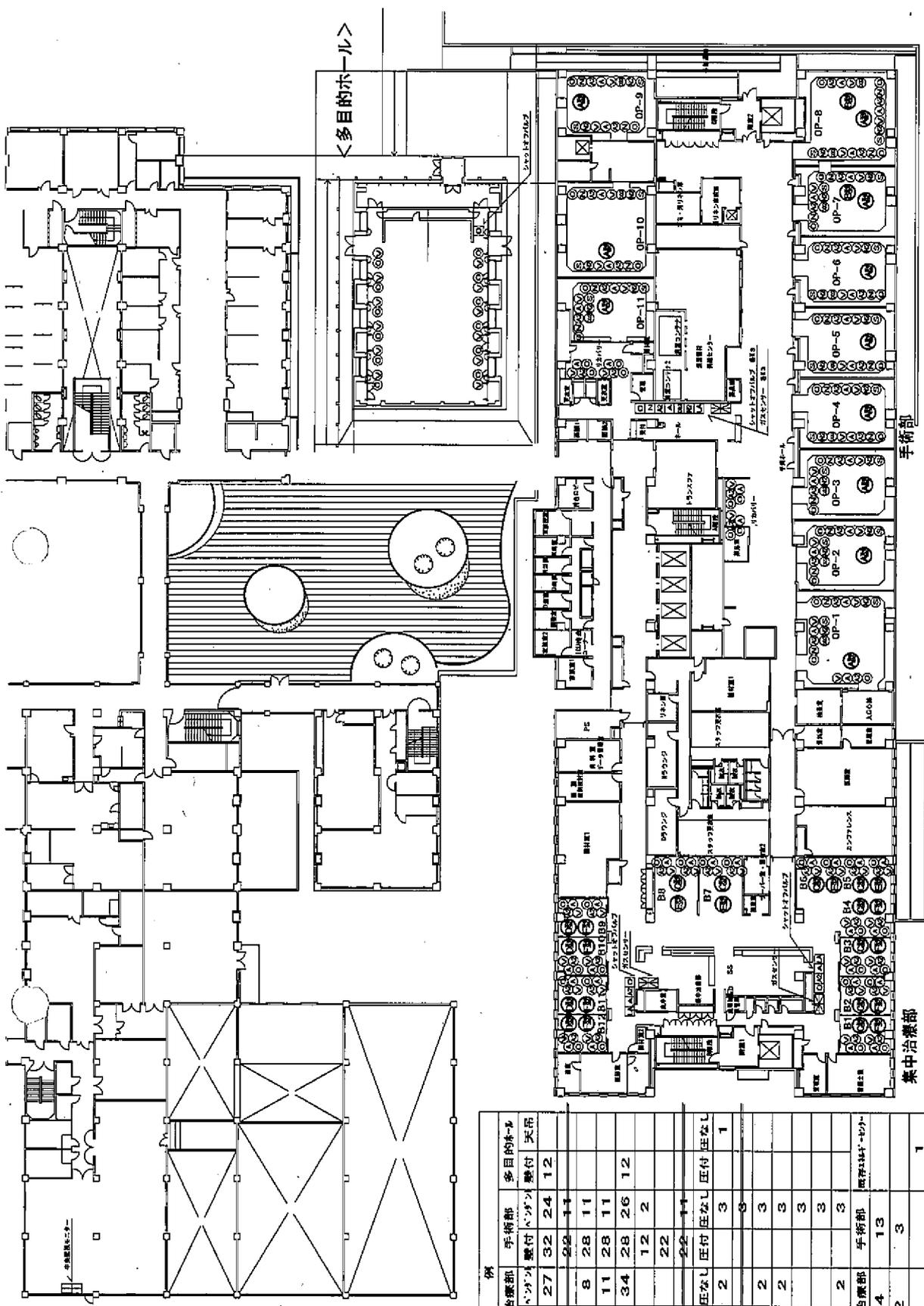
PET-CT棟 1階平面図 1/200



地下1階平面図 S=1/500

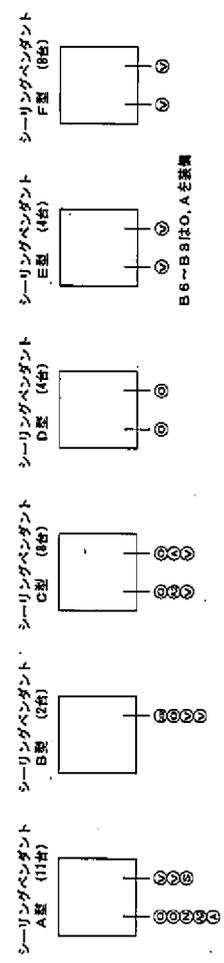
記号	名称	MEER		OP-12
		量	単位	
①	機器室	1	室	1
②	電源室	1	室	1
③	配電室	1	室	1
④	ネットワークセンター	1	室	1
⑤	サーバーホール	1	室	1
⑥	データセンター	1	室	1
⑦	UPS	1	台	1
⑧	電源室	1	室	1
⑨	配電室	1	室	1
⑩	エレベーターホール	1	室	1
⑪	エレベーターホール	1	室	1
⑫	エレベーターホール	1	室	1
⑬	エレベーターホール	1	室	1
⑭	エレベーターホール	1	室	1
⑮	エレベーターホール	1	室	1
⑯	エレベーターホール	1	室	1
⑰	エレベーターホール	1	室	1
⑱	エレベーターホール	1	室	1
⑲	エレベーターホール	1	室	1
⑳	エレベーターホール	1	室	1
㉑	エレベーターホール	1	室	1
㉒	エレベーターホール	1	室	1
㉓	エレベーターホール	1	室	1
㉔	エレベーターホール	1	室	1
㉕	エレベーターホール	1	室	1
㉖	エレベーターホール	1	室	1
㉗	エレベーターホール	1	室	1
㉘	エレベーターホール	1	室	1
㉙	エレベーターホール	1	室	1
㉚	エレベーターホール	1	室	1
㉛	エレベーターホール	1	室	1
㉜	エレベーターホール	1	室	1
㉝	エレベーターホール	1	室	1
㉞	エレベーターホール	1	室	1
㉟	エレベーターホール	1	室	1
㊱	エレベーターホール	1	室	1
㊲	エレベーターホール	1	室	1
㊳	エレベーターホール	1	室	1
㊴	エレベーターホール	1	室	1
㊵	エレベーターホール	1	室	1
㊶	エレベーターホール	1	室	1
㊷	エレベーターホール	1	室	1
㊸	エレベーターホール	1	室	1
㊹	エレベーターホール	1	室	1
㊺	エレベーターホール	1	室	1

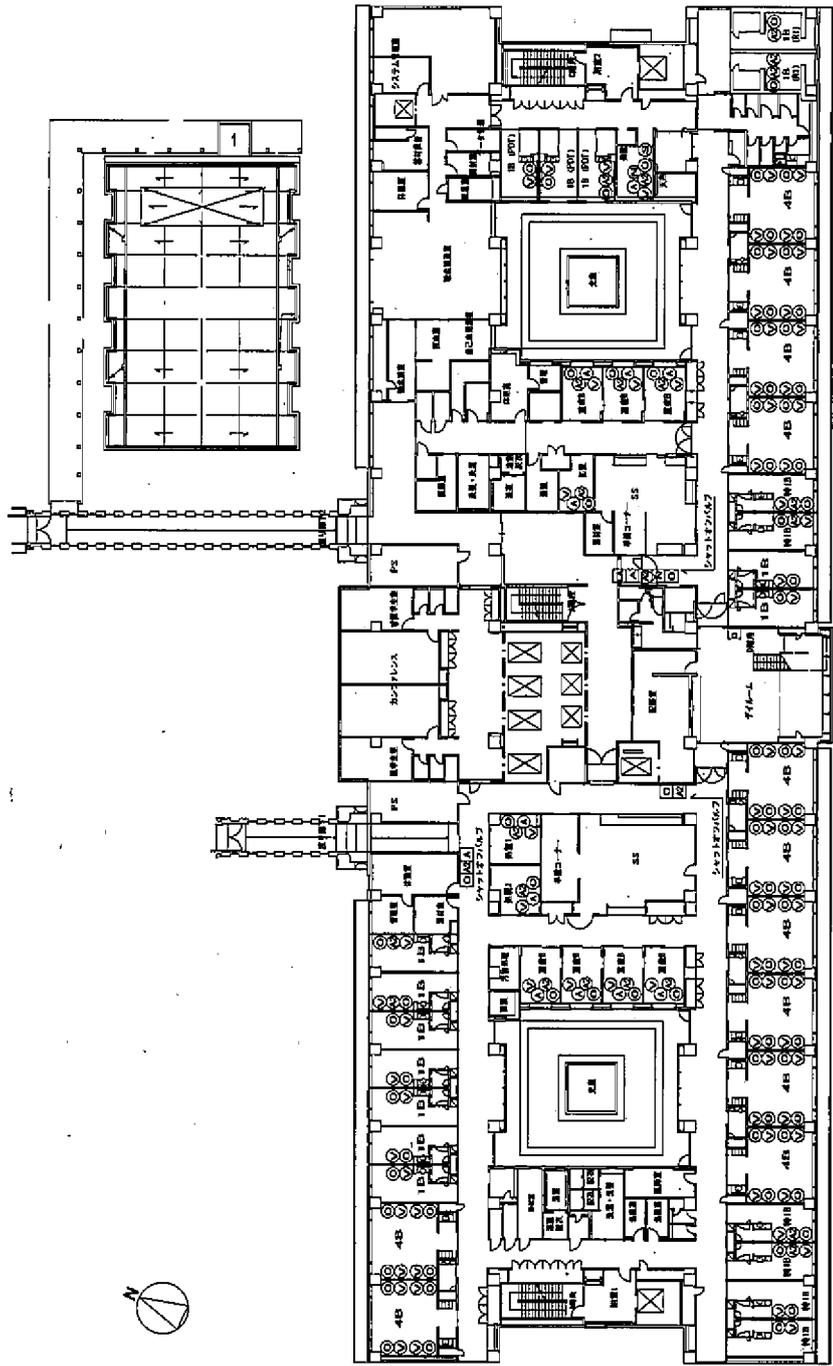
* 数量は概算値です



病棟 1階平面図

記号	名称	集中治療部 要付	手術部 要付	多目的ホール 要付	実用
○	酸素ガス供給ホスト	24	27	32	24
○	酸素ガス供給ホスト	24	8	28	11
○	圧縮空気供給ホスト	24	11	28	11
○	吸引ホスト	24	34	28	26
○	酸素ガス供給ホスト		22	12	2
○	酸素ガス供給ホスト		22	2	
□	酸素ガス供給ホスト	圧付	圧なし	圧なし	圧なし
□	酸素ガス供給ホスト	2	3	3	1
□	人工空気供給ホスト				
□	圧縮空気供給ホスト	2			3
□	酸素ガス供給ホスト				3
□	酸素ガス供給ホスト				3
□	非治療用空気供給ホスト	2			3
○	手術部	24	13		
○	手術部	2	3		1
○	ガスセンサー				
○	中央監視モニター				





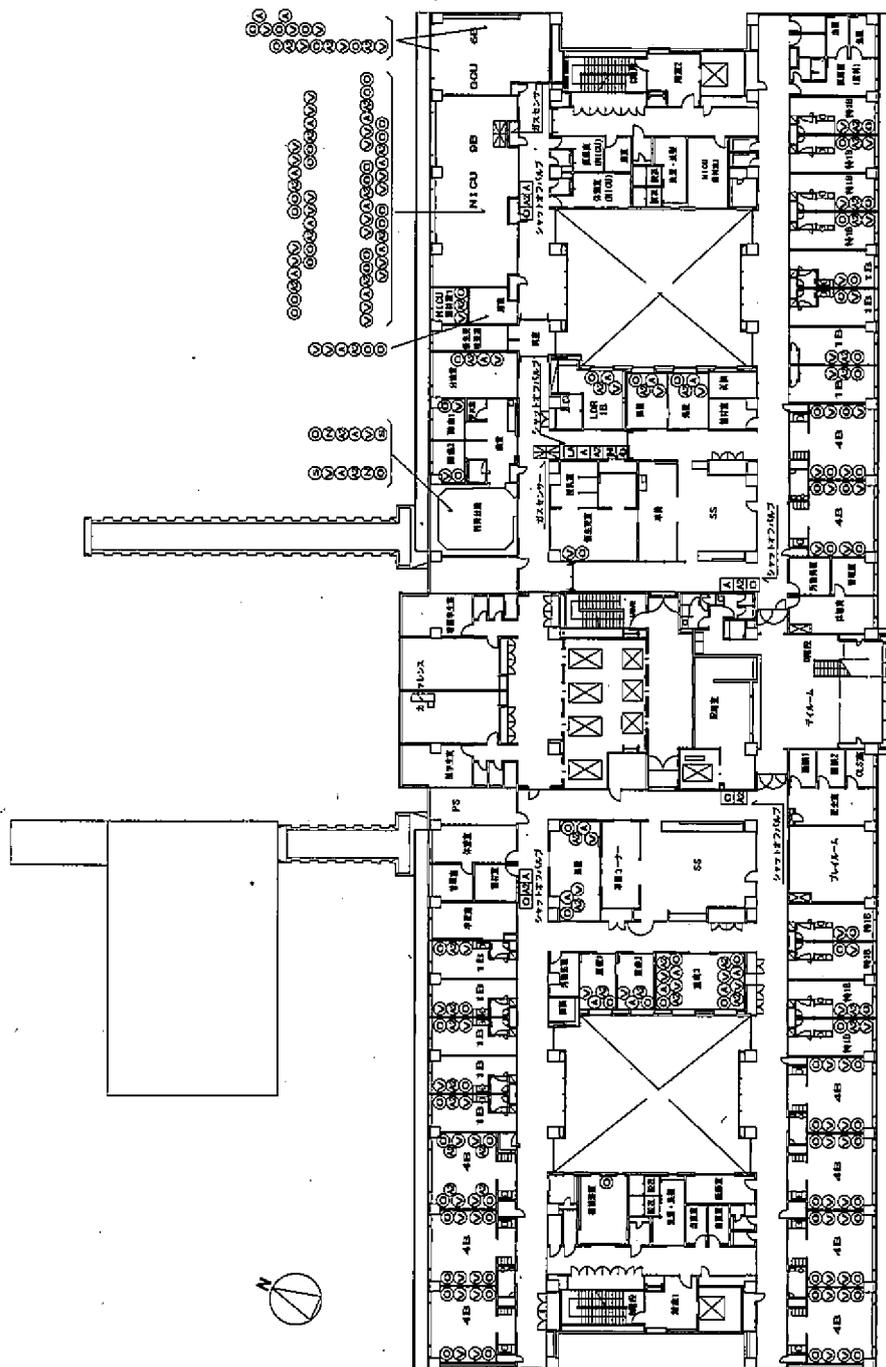
東病棟

西病棟

病棟 2階平面図

凡 例			
記号	名称	西病棟	東病棟
○	酸素ガス70トレスト	壁付 49	天井 29
○	笑気ガス70トレスト		
○	人工空気70トレスト	10	10
○	圧縮空気70トレスト	6	4
○	吸引70トレスト	49	27
○	酸素ガス70トレスト		
○	余剰ガス70トレスト		1
○	酸素ガス70トレスト	壁付 圧なし	天井 圧なし
○	笑気ガス70トレスト		2
○	人工空気70トレスト		2
○	圧縮空気70トレスト		1
○	吸引用空気70トレスト		1

※ 笑気及び余剰ガスは削除



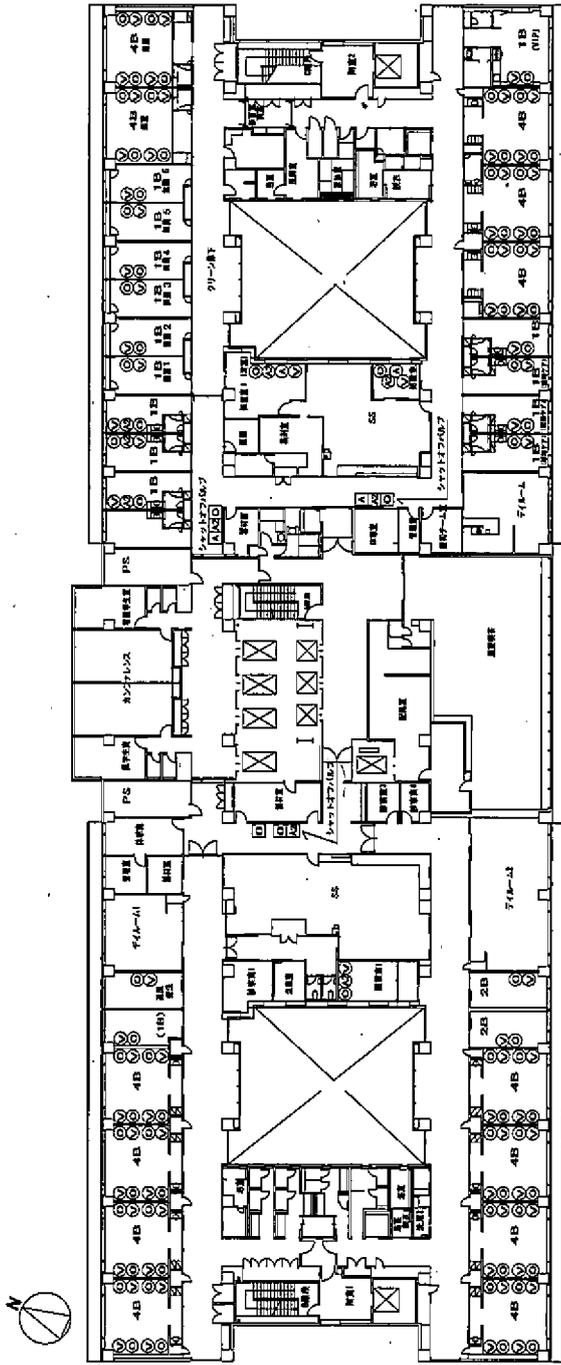
病棟 4階平面図

東病棟

西病棟

凡		例	
記号	名称	西病棟	東病棟
○	酸素ガス吸引口	壁付 天吊 46	壁付 天吊 52
◎	酸素ガス吸引口		2
Ⓚ	人工空気吸引口	19	26
Ⓐ	圧縮空気吸引口	8	18
Ⓜ	吸引吸引口	45	52
Ⓝ	酸素ガス吸引口		2
□	酸素ガス吸引口	壁付 圧なし	壁付 圧なし
Ⓝ	酸素ガス吸引口	2	3
Ⓐ	人工空気吸引口	2	3
Ⓐ	圧縮空気吸引口	1	3
Ⓐ	吸引吸引口		1
⊗	ガスセンサー		2

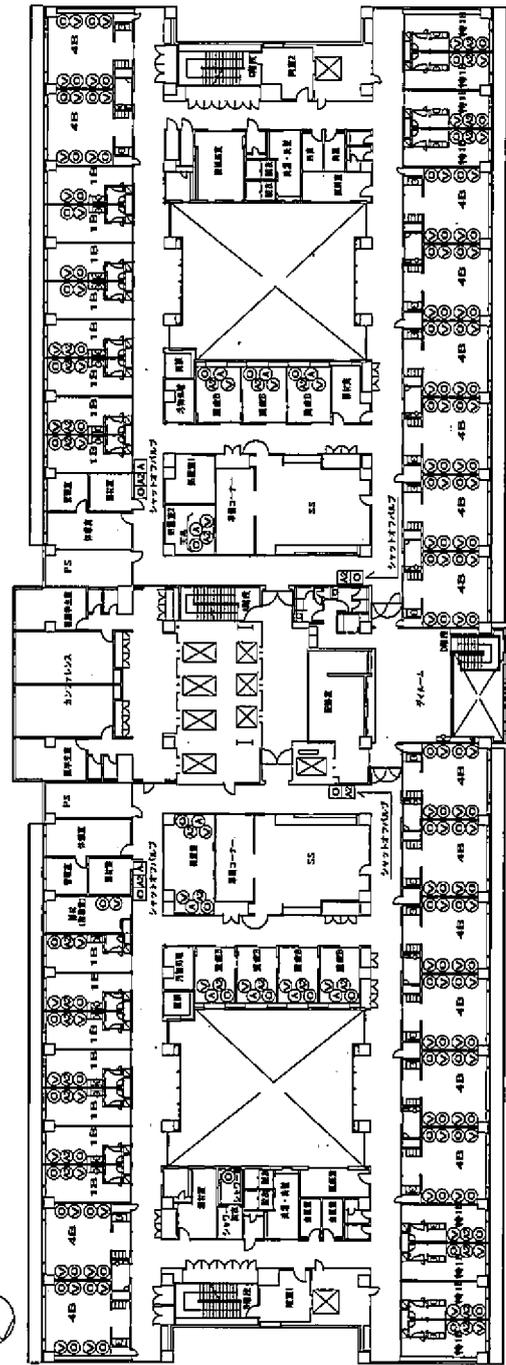
※ 酸素ガス吸引口は削除



西病棟

病棟 8階平面図

東病棟



西病棟

病棟 7階平面図

東病棟

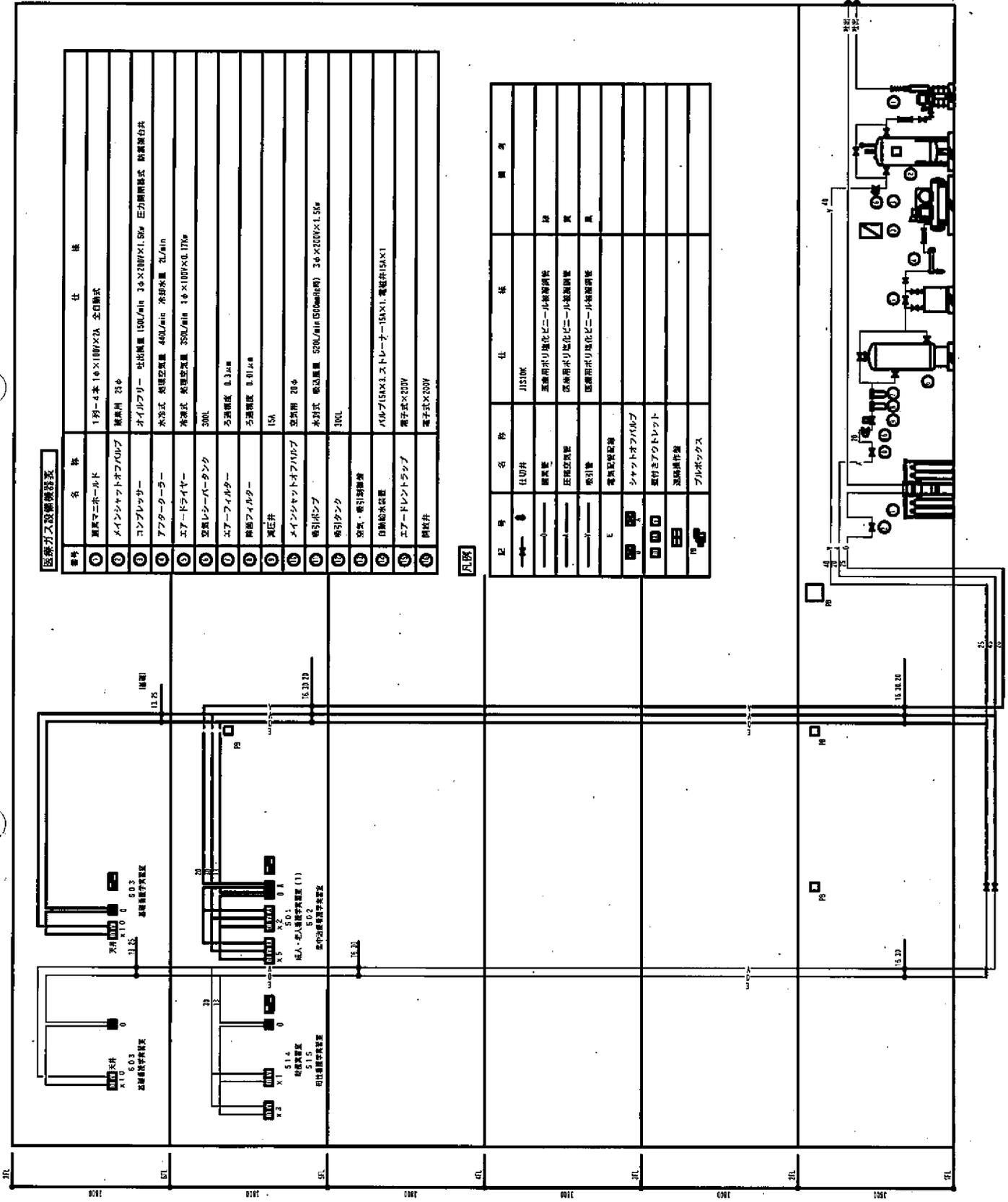
記号	凡 例		東病棟
	名称	西病棟	
㉑	酸素ガス外排	量付 天吊 37	量付 天吊 36
㉒	笑気ガス外排		
㉓	人工空気が外排	1	5
㉔	圧縮空気が外排		2
㉕	吸引外排	37	36
㉖	酸素ガス外排		
㉗	余剰ガス外排	圧付 圧なし 2	圧付 圧なし 2
㉘	酸素ガス外排		
㉙	笑気ガス外排		
㉚	人工空気が外排	1	2
㉛	圧縮空気が外排		2
㉜	非常用空気が外排		

※ 笑気及び余剰ガスは削除

記号	凡 例		東病棟
	名称	西病棟	
㉑	酸素ガス外排	量付 天吊 51	量付 天吊 47
㉒	笑気ガス外排		
㉓	人工空気が外排	17	11
㉔	圧縮空気が外排	6	3
㉕	吸引外排	50	47
㉖	酸素ガス外排		
㉗	余剰ガス外排	圧付 圧なし 2	圧付 圧なし 2
㉘	酸素ガス外排		
㉙	笑気ガス外排		
㉚	人工空気が外排	2	2
㉛	圧縮空気が外排	1	1
㉜	非常用空気が外排		

※ 笑気及び余剰ガスは削除

新橋学研楼 医療ガス系統図



医療ガス設備機器表

番号	名称	仕様
①	調気マニホールド	1列-4本 1φ×100φ×1A 全自動式
②	メインシヤットオフバルブ	東京州 23φ
③	オイルフリー吐出機	150L/min 3φ×200φ×1.5φ 圧力調整式 耐震設計共
④	プロペラクーラー	水冷式 処理容量 40L/min 冷却水量 2L/min
⑤	アブクターラー	水冷式 処理容量 350L/min 1φ×100φ×0.17φ
⑥	エアードライヤー	300L
⑦	空調レシーバータンク	交換容量 0.3m³
⑧	エアフィルター	交換容量 0.4m³
⑨	検漏フィルター	15A
⑩	減圧弁	空圧用 28φ
⑪	メインシヤットオフバルブ	水封式 吐出量 520L/min (500mmHg時) 3φ×200φ×1.5φ
⑫	吸引ポンプ	300L
⑬	吸引タンク	
⑭	吸引・吸引制御盤	
⑮	自動給水装置	バルブ15φ×1.5φストローナー15φ×1.5φ電磁弁15φ×1
⑯	エアードレントラップ	電子式×200φ
⑰	調気弁	電子式×200φ

凡例

記号	名称	仕様	備考
○	仕切弁	JIS10K	
○	調気弁	医療用不燃化ビニール樹脂製	緑
○	圧縮空気管	医療用不燃化ビニール樹脂製	黄
○	吸引管	医療用不燃化ビニール樹脂製	黒
E	電気配線設備		
□	シャットオフバルブ		
□	吸引エアクトリット		
□	減圧弁		
□	ブルボンクス		

8.2 気送管設備

8.2.1 業務対象設備

8.2.(A) 業務対象設備の概要による。

8.2.2 点検項目、点検内容及び点検周期

8.2.(B) 業務要領 気送管設備による。

8.2.3 取替部品

8.2.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・試験成績書
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

8.2.5 その他

8.2 気送管設備

8.2. (A) 業務対象設備の概要

設備名称		単管式気送管			
規格		150φ	3kg		
	ステーション		21台		
	転換器3方向		2台		
	転換器6方向		2台		
	プロアユニット		2台		
	起動盤		2台		
	制御装置		1台		
	気送子		105個		
速度	水平	2~6 m/sec			
	垂直	2~6 m/sec			
製造者名		(株)S&S エンジニアリング			
設置場所		病棟, 外来棟 エネルギーセンター			
設置年月		平成21年6月			
搬送対象物		検体、薬剤、医療器材、 ディスク製品、書類、 伝票等			

8.2 気送管設備

8.2.(B) 業務要領 気送管設備

(1)

気送管設備

気送管設備の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 気送管設備

点検項目	点検内容	周期	備考
a. ステーション			
1. 外観点検			
(1) 送受信装置 (送信装置、 受信装置、 光電センサ)	1) 取付ボルトの緩みの有無を確認する。 2) エアー漏れが無い確認する。 3) 本体に亀裂、損傷が無い点検する。 4) 気送子がスムーズに通過するか確認する。 5) 光電センサーのLEDが点灯するか確認する。	1 Y 1 M 1 M 1 M	
(2) 送信扉 (送信扉セン サー、送信扉 ロック装置)	1) 本体に亀裂、損傷が無い点検する。	1 M	
(3) 待機装置	1) 気送子をセットし、光電センサーが確実に動作しているか確認する。	1 M	
2. 詳細点検			
(1) 送受信装置 (送信装置、 受信装置、 光電センサ)	1) 光電センサーが確実に動作するか点検し、不備があれば調整する。 2) コネクタの接続部の接続状態が確実に点検し、不備があれば調整する。 3) 回転体より、エアー漏れがある場合はステーションを分解し、調整する。	1 M 1 M 1 M	
(2) 送信扉 (送信扉セン サー、送信扉 ロック装置)	1) 各可動部にオイルを注油する。 2) 扉確認センサーに不備があれば調整する。 3) 分解点検を行う。	1 M 1 M 1 Y	
(3) 待機装置	1) 待機スイッチの高さが適正か点検し不備があれば調整する。 2) 待機スイッチに不備があれば調整又は交換する。	1 M 1 M	
b. ステーション駆動装置			
1. 外観点検			
(1) 駆動装置	1) 駆動モータの異常発熱の有無を確認	1 M	

(駆動モータ、ポテンシ メータ、パワーロック、 扉モータ)	し発熱があれば調査する。 2) 取付ボルトの緩みの有無を確認する。 3) 回転体の停止位置の良否を確認する。 4) 回転体とモータ軸がスリップして いないか確認する。	1 M 1 M 1 M
2. 詳細点検		
(1) 駆動装置 (駆動モータ、ポテンシ メータ、パワーロック、 扉モータ)	1) テスターにてモータ電圧をチェックし、 既定値以内であることを確認する。 2) 回転体の動作状態を点検する。 3) 回転体の停止位置が不適であれば調整 する。 4) 接近センサーの取付状態が適正である か点検する。 5) 回転体とモータ軸がスリップしてい たらパワーロックの調整又は交換を行う。	1 Y 1 M 1 M 1 M 1 M
c. ステーション操作盤		
1. 外観点検		
(1) キーパット (制御盤)	1) キーパットの剥がれの有無を確認する。 2) 各キーが確実に動作するか確認する。 3) プリント基板の点検、清掃を行う。	1 M 1 M 1 M
(2) 液晶パネル	1) 表示の異常の有無を確認する。 2) 本体に亀裂、損傷が無いか確認する。	1 M 1 M
2. 詳細点検		
(1) キーパット (制御盤)	1) 手動操作が行われるか点検する。 2) ブザーが鳴動するか確認する。 3) 回転体の位置調整が行えるか点検する。 4) スロースピードが設定できるか確認 する。 5) その他の機能が働くか点検する。 6) 取付状態を点検し、不備があれば調整 する。 7) 各操作が不備であれば交換する。	1 M 1 M 1 M 1 M 1 M 1 M 1 M
(2) 液晶パネル	1) 輝度が適正か点検し、不適であれば調 整する。 2) 各操作で適正に表示するか確認し、不 備があれば交換する。	1 M 1 M
d. 転換器装置		
1. 外観点検		
(1) 駆動装置 (転換装置、制御盤 光電センサー)	1) ボルト、ナットの緩みの有無を確認する。 2) エアー漏れが無いか確認する。 3) 本体に亀裂、損傷が無いか確認する。 4) 配線類の取付状態を確認する。 5) 光電センサーのLEDが点灯するか確認 する。	1 Y 1 M 1 M 1 M 1 M

2. 詳細点検			
(1) 駆動装置 (転換装置、制御盤 光電センサー)	1) 光電センサーが確実に動作するか点検し、 不備があれば調整する。	1 M	
	2) 転換器装置各部に異常が無いか点検し、 取付状態の確認調整を行う。	1 M	
	3) 回転体の停止位置のポジション数を確認 する。	1 M	
e. 転換器駆動装置			
1. 外観点検			
(1) 駆動装置	1) エアー漏れの有無を点検する。	6 M	
	2) 固定の良否、転倒防止処置の有無を点検す る。	6 M	
(2) 送信器	1) 扉からのエアー漏れの有無を点検する。	1 M	
	2) 本体の亀裂、損傷の有無を点検する。	1 M	
	3) 扉の開閉状態を点検する。	1 M	
	4) 固定の良否を点検する。	1 M	
(3) 受信器 (密閉弁)	1) 本体のエアー漏れの有無を点検する。	1 M	
	2) スプリングの折損の有無を点検する。	1 M	
	3) 本体の亀裂、損傷の有無を点検する。	1 M	
(4) 流気接点	1) 本体の亀裂、損傷の有無を点検する。	1 M	
	2) 弁の作動状態を点検する。	1 M	・作動不良の場合は調 整する
(5) 気送子	1) 傷、破損の有無を点検する。	1 M	
	2) ふたの開閉状態を点検する。	1 M	
	3) コンタクトスプリングの回転状態を点検す る。	1 M	
	4) フェルトリングの摩耗状態を点検する。	1 M	
2. 詳細点検			
(1) 配電盤	1) 電圧が規定値以内か確認する。	1 Y	・異常があれば調査す る。
	2) 絶縁抵抗が規定値以上か確認する。	1 Y	・異常があれば調査す る
	3) 各メーターの零調整をする。	6 M	
	4) 端子の締付状態を点検する。緩みがあれば増 締めする。	3 M	
(2) ブロワー	1) 絶縁抵抗が規定値以上か確認する。	1 Y	・異常があれば調査す る
(3) 塞流弁	1) ソレノイドコイル摺動部に注油する。	1 Y	
	2) ソレノイドコイル印加電圧が規定値以内か 確認する。	1 Y	・異常があれば調査す る

(4) 走査器	1) 走査ブラシの変形の有無を点検する。	3 M	・異常があれば調査する
	2) 摺動部に注油する。	3 M	
(5) 分離走査器	1) スピンドルにグリースを塗布する。	6 M	
	2) 分離走査器の分解、調整を行う。	1 Y	
(6) 多転換器	1) ソレノイドコイル摺動部に注油する。	1 M	
	2) ソレノイドコイル印加電圧が規定値以内か確認する。	1 Y	
(7) 横型自動交換器	1) チェーン及びガイド片、ガイド棒にグリースを塗布する。	6 M	
	2) 転回筒の芯出しをする。	6 M	
	3) 絶縁抵抗が規定値以上か確認する。	1 Y	
(8) 制御盤、監視盤、端子盤	1) 電圧が規定値以内か確認する。	1 Y	
	2) 絶縁抵抗が規定値以上か確認する。	1 Y	
	3) シーケンサメモリ保護バッテリーの警報表示を確認する。	1 Y	
(9) ステーション転換器	1) ソレノイドコイルの摺動部に注油する。	1 M	
	2) ソレノイドコイル印加電圧が規定値以内か確認する。	1 Y	
(10) 機械接点	1) アクチュエーターレバーの変形、破損の有無を点検する。	3 M	
(11) 送信器	1) 各摺動部に注油する。	1 M	
	2) 接点を点検する。	3 M	
(12) 受信器 (密閉弁)	1) スプリングにグリースを塗布する。	1 M	
(13) 流気接点	1) 接点を点検する。	3 M	
	2) スプリングにグリースを塗布する。	1 M	
(14) 気送子	1) コンタクトリングの導通チェックをする。	1 Y	
	2) コンタクトリング、選択板を清掃する。	1 Y	

8.3 小型搬送設備

8.3.1 業務対象設備

8.3.(A) 業務対象設備の概要による。

8.3.2 点検項目、点検内容及び点検周期

8.3.(B) 業務要領 搬送設備による。

8.3.3 取替部品

8.3.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・点検及び保守結果報告書
- ・試験成績書
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

8.3.5 その他

8.3 小型搬送設備

8.3. (A) 業務対象設備の概要

附属病院外来棟

設備名称		台車式搬送設備	備考
規格		搬送トレイ 1台 (最大搬送 5kg/台) スーション 2台 走行レール 全長60m 圧縮空気装置 1台 制御装置 1式	
速度	水平	240m/ min	
	垂直	120m/ min(上昇時)	
製造者名		(株)日本シューター	
設置場所		外来棟 1階救急部～2階検査部	
設置年月		平成24年12月	
搬送対象物		検体、薬剤、医療器材、ディスプレイ製品、書類、伝票等	

8.3 小型搬送設備

8.3. (B) 業務要領 小型搬送設備

(I)

小型搬送設備

小型搬送設備の点検項目及び点検内容は、表 (I) による。

表 (I) 小型搬送設備

点検項目	点検内容	周期	備考
a. 走行路	1) レール汚れの有無を確認する。	2 M	
	2) チューブの固定状況、損傷（亀裂）、空気漏れの確認をする。	4 M	
	3) センサー類の汚れ、損傷、断線の確認をする。	6 M	
	4) 空気圧機器の動作、空気漏れや各設定を確認する。	6 M	
b. 防火ダンパー (水平ゾーン)	1) 装置が確実に取り付けられ、外損・障害物汚れが無いを確認する。	4 M	
	2) 扉がスムーズに開閉し、異常音がないことを確認する。	4 M	
	3) 空気圧機器の動作、空気漏れや設定圧力の確認をする。	4 M	
c. リフト	1) 損傷、汚れの有無を確認する。	4 M	
	2) ドライブユニットでの異音、オイル漏れ、ねじ類のゆるみがないことを確認する。	4 M	
	3) ゲージ昇降時の異音、ねじ類のゆるみがないことを確認する。また、可動部での摩耗がないことを確認する。	4 M	
	4) ゲージの停止位置がずれていないことを確認する。	4 M	
	5) スライドフォークでの異音、ねじ類のゆるみがないことを確認する。また、可動部での摩耗がないことを確認する。	4 M	
	6) スライドフォークの停止位置がずれていないことを確認する。	6 M	
	7) 各センサー類の検出状態、汚れ・損傷・断線の有無の確認をする。		
d. キャリアポート	1) レールの汚れの有無を確認する。	2 M	
	2) チューブの固定状況、損傷（亀裂）、空気漏れの確認をする。	4 M	
	3) ロック用シリンダー、ストッパーの動作を確認する。	4 M	
	4) 各センサーの検出状態、汚れ・損傷の有無の確認をする。	6 M	

e. ステーション

- | | |
|--|-----|
| 1) 損傷、汚れがないか確認し、清掃する。 | 2 M |
| 2) シャッターでの異音、ねじ類のゆるみがないことを確認する。また、可動部での摩耗がないことを確認する。 | 4 M |
| 3) シャッターの停止位置がずれていないことを確認する。 | 4 M |
| 4) ストック部にて、リフトとの位置関係がずれていないことを確認する。 | 4 M |
| 5) 各センサーの検出状態、汚れ・損傷の有無を確認する。 | 6 M |
| 6) 到着アラーム、表示灯が作動することを確認する。 | 6 M |

f. コンベア
ステーション

- | | |
|---|-----|
| 1) 損傷、汚れがないか確認し、清掃する。 | 2 M |
| 2) コンベアでの異音、ねじ類のゆるみがないことを確認する。また、可動部での摩耗がないことを確認する。 | 4 M |
| 3) 各センサーの検出状態、汚れ・損傷の有無を確認する。 | 6 M |
| 4) 到着アラーム、表示灯が作動することを確認する。 | 6 M |

g. コンベア

- | | |
|---|-----|
| 1) 損傷、汚れがないか確認し、清掃する。 | 4 M |
| 2) 開閉時の異音、ねじ類のゆるみがないことを確認する。また、可動部での摩耗がないことを確認する。か確認する。 | 4 M |
| 3) 扉の停止位置がずれていないことを確認する。 | 4 M |
| 4) 各センサーの検出状態、汚れ・損傷の有無を確認する。 | 6 M |

h. キャリア

- | | |
|-----------------------------|-----|
| 1) 損傷、汚れがないか確認し、清掃する。 | 2 M |
| 2) 走行状態に異常が無いことを確認する。 | 2 M |
| 3) 駆動部の作動・損傷・へたりの確認する。 | 2 M |
| 4) トレイキャッチ部の作動・損傷・へたりを確認する。 | 2 M |

i. コンプレッサー

- | | |
|------------------------|-----|
| 1) 取付状態や損傷、汚れがないか確認する。 | 2 M |
| 2) 異常振動、異常音がないことを確認する。 | 2 M |
| 3) フィルタ類の点検・清掃を行う。 | 2 M |
| 4) カウンタの確認をする。 | 2 M |
| 5) オーバーホールを行う | |

平成 28 年度実施

j. 圧空配管

- | | |
|------------------------------------|-----|
| 1) 空気タンクの取付状況や損傷、汚れがないか確認する。 | 1 Y |
| 2) メインラインフィルターの目詰まりや損傷、汚れは無いか確認する。 | 1 Y |
| 3) 配管からのエアリーク、損傷、吊り状態を確認する。 | 1 Y |

k. 制御盤

1) 損傷、汚れがないか確認する。	1 Y
2) 端子台のねじのゆるみやヒューズ等の確認をする。	1 Y

8.4 自動倉庫設備

8.4.1 業務対象設備

8.4.(A) 業務対象設備の概要による。

8.4.2 点検項目、点検内容及び点検周期

8.4.(B) 業務要領 自動倉庫設備による。

8.4.3 取替部品

8.4.(C) 取替部品による。

8.4.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・ 点検及び保守結果報告書
 - ・ 試験成績書
 - ・ 業務記録写真
- -----

書式は、受注者の業務報告書とする。

8.4.5 その他

8.4 自動倉庫設備

8.4. (A) 業務対象設備の概要

設備名称	自動倉庫	備考
規格	型式 UA10 ラック 2バンク×7列×30段 コンテナ格納数 405個 積載荷重 79,380N (8,100kg) 滅菌コンテナ 最大320×610×195mm 最大荷重 196N (20kg) スタッカークレーン フォーク式 積載荷重 196N (20kg) 走行速度 80 (空荷100) m/min 昇降速度 80 (空荷80) m/min 移載速度 31.5 (空荷40) m/min コンベア 入庫用 (B1F 1台) 滅菌切れ出庫用 (B1F 1台) 出庫用 (1F 3台) 管理コンピュータ 一式	
数量	一式	
設置場所	病棟 B1階材料部～1階手術部	
設置年月	平成21年9月	
製造者名	(株)日本シューター	
備考		

設備名称	オートシェルフ (チェーン駆動式回転棚)	備考
規格	型式 M362SUSB4429R 本体寸法 3,156×1,725×8,750 mm 棚寸法 2,500×620×299 mm 棚収納数 44棚 棚耐荷重 147N (150kg) 最大荷重 9,800N (1,000kg) /本体 取出口 2,500×650 mm (オートロック式シャッター付) 回転速度 9m/min 駆動装置 2.2kW ウォームギア付モータ(インバータ制御) 付属装置 操作盤、昇降フットパダル、殺菌灯、インターホン、荷下ろし補助用ローラー	
数量	一式	
設置場所	病棟 B1階材料部～1階手術部	
設置年月	平成21年9月	
製造者名	(株)日本シューター	
備考		

8.4 自動倉庫設備

8.4.(B) 業務要領 自動倉庫設備

(1)

自動倉庫

自動倉庫の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 自動倉庫

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 昇降駆動部			
a. 昇降モーター	1) 亀裂、油漏れ有無を確認する。	1 Y	
	2) プレーキギャップを測定する。	1 Y	
	3) モーター及び減速機の回転時の発熱の有無を確認する。	1 Y	
	4) モーター及び減速機の回転時の異常音の有無を確認する。	1 Y	
	5) 外扉ファンの損傷、異常音の有無を確認する。	1 Y	
	6) PGカップリングセットのピスの緩み、割れの有無を確認する。	1 Y	緩みがあれば増締めする。
	7) オイルの状態を確認する。	1 Y	
	8) カップリングを交換する	3 Y	別途
	9) モーター及びドラムを交換する。	10 Y	別途
b. 吊ワイヤ関係	1) ワイヤ端部の変形、緩みの有無を確認する。	1 Y	
	2) 吊ワイヤの錆、キタ、グリス切れの有無を確認する。	1 Y	
	3) シーフ回転時の異常音の有無を確認する。	1 Y	
	4) シーフの変形、摩耗の有無を確認する。	1 Y	
	5) 吊ワイヤの素線切れを測定する。	1 Y	
	6) ドラム回転時の異常音の有無を確認する。	1 Y	
	7) ドラムの変形、摩耗、ワイヤの掛かり具合を確認する。	1 Y	
	8) 吊ワイヤを交換する。	5 Y	別途
	9) シーフを交換する	7 Y	別途
2. 昇降台			
a. フレーム	1) 損傷、亀裂、溶接割れの有無を確認する。	1 Y	
	2) 昇降台の傾きを測定する。	1 Y	
b. ガイドローラー	1) ガイドローラー、フェースローラー回転時の異常音の有無を確認する。	1 Y	
	2) ガイドローラーの摩耗を測定する。	1 Y	
	3) フェースローラーの摩耗を測定する。	1 Y	
	4) ガイドローラーを交換する。	5 Y	別途
c. 昇降検出器関係	1) 昇降遮蔽板の変形、緩みの有無を確認する。	1 Y	緩みがあれば増締めする。
	2) 昇降検出器の変形の有無、検出状態を確認する。	1 Y	
	3) 極限検出器の変形の有無、検出状態を確認する。	1 Y	
	4) 載荷検出器の変形の有無、検出状態を確認する	1 Y	

	る。		
	5) ワイヤテンション検出器の変形の有無、検出状態を確認する。	1 Y	
d. ストップ	1) 上下限効ストップの損傷、亀裂の有無を確認する。	1 Y	
e. ケーブル	1) エレベーターケーブルの変形の有無を確認する。	1 Y	
	2) エレベーターケーブルの亀裂の有無を確認する。	1 Y	
	3) ケーブルの破損の有無を確認する。	1 Y	
	4) ケーブルユニットを交換する。	10 Y	別途
3. 横行駆動部			
a. 横行モーター	1) 亀裂、油漏れ有無を確認する。	1 Y	
	2) ブレーキギャップを測定する。	1 Y	
	3) モーター及び減速機の回転時の発熱の有無を確認する。	1 Y	
	4) モーター及び減速機の回転時の異常音の有無を確認する。	1 Y	
	5) 横行エンコーダの状態を確認する。	1 Y	
	6) モーターを交換する。	10 Y	別途
b. タイミングベルト	1) タイミングベルトのたるみを確認する。	1 Y	
	2) タイミングベルトの亀裂の有無を確認する。	1 Y	
	3) ベルトを交換する。	2 Y	別途
4. 横行台関係			
a. 車輪	1) 車輪の摩耗状態を確認する。	1 Y	
	2) 車輪の回転状態を確認する。	1 Y	
	3) 車輪ユニット(エンコーダ含む)を交換する。	7 Y	別途
b. ガイドローラー	1) ガイドローラー回転時の異常音の有無を確認する。	1 Y	
	2) ガイドローラーの摩耗を測定する。	1 Y	
	3) ガイドローラーを交換する。	3 Y	別途
c. 横行検出器関係	1) 荷崩れ検出器の変形の有無、検出状態を確認する。	1 Y	
	2) 荷はみ検出器の変形の有無、検出状態を確認する。	1 Y	
	3) 載荷検出器の変形の有無、検出状態を確認する。	1 Y	
	4) 極限検出器の変形の有無、検出状態を確認する。	1 Y	
	5) 横行検出板の損傷、変形の有無を確認する。	1 Y	
	6) 停止位置を確認する。	1 Y	
d. ストップ	1) フロント側効ストップの損傷、亀裂の有無を確認する。	1 Y	
	2) リア側効ストップの損傷、亀裂の有無を確認する。	1 Y	
e. レール	1) 走行レールの剥離、摩耗の有無を確認する。	1 Y	
	2) 下部レールライナーパッドの抜け、ボルトの緩みの有無を確認する。	1 Y	緩みがあれば増締めする。
	3) レールを交換する	10 Y	別途
f. ケーブル	1) エレベーターケーブルの変形の有無を確認する。	1 Y	
	2) エレベーターケーブルの亀裂の有無を確認する。	1 Y	

	3) ケーブルの破損の有無を確認する。	1 Y	
	4) ケーブルユニットを交換する。	10 Y	別途
5. フォーク部			
a. 減速機付モータ	1) モータ及び減速機の回転時の発熱の有無を確認する。	1 Y	
	2) モータ及び減速機の回転時の異常音の有無を確認する。	1 Y	
	3) ブレーキギャップを測定する。	1 Y	
	4) モータを交換する。	10 Y	別途
b. チェーン関係	1) チェーンのキタ、錆の有無を確認する。	1 Y	
	2) チェーンの張り（遊び）を測定する。	1 Y	
	3) スプロケット、アイドルの摩耗の有無を確認する。	1 Y	
	4) チェーン、アイドルを交換する。	5 Y	平成 33 年度交換予定
c. ローラー関係	1) ローラーフォアの回転状態を確認する。	1 Y	
	2) カムフォアの回転状態を確認する。	1 Y	
	3) カムフォアの給油状態を確認する。	1 Y	
	4) カムフォアを交換する。	6 Y	別途
	5) サイドローラーを交換する。	6 Y	別途
d. ギア	1) ギアの摩耗、損傷の有無を確認する。	1 Y	
	2) ギアの横揺れの有無を確認する。	1 Y	
e. フォーク本体	1) スライド摺動部の状態を確認する。	1 Y	
	2) トッププレートの変形、緩みの有無を確認する。	1 Y	
	3) フォーク中央のズレを確認する。	1 Y	
f. 先入品検出器	1) 検出器の検出状態を確認する。	1 Y	
g. 定位置検出器	1) 検出器の検出状態を確認する。	1 Y	
6. 本体			
a. フレーム・マスト	1) 上部フレームの溶接部の割れの有無を確認する。	1 Y	
	2) 下部フレームの溶接部の割れの有無を確認する。	1 Y	
	3) マストの溶接部の割れの有無を確認する。	1 Y	
	4) マストの取付ボルトの折損、緩みの有無を確認する。	1 Y	緩みがあれば増締めする。
b. PLシール	1) シールが張られているか確認する。	1 Y	
7. 制御部・操作部			
a. ファン	1) ファンの損傷、異常音の有無を確認する。	1 Y	
	2) ファンを交換する。	7 Y	別途
b. 電源	1) 一次電圧を測定する。	1 Y	
	2) 制御電源の電圧を測定する。	1 Y	
	3) 安定化電源を交換する。	7 Y	別途
	4) インバータを交換する。	7 Y	別途
	5) コンバータを交換する。	7 Y	別途
c. マグネットスイッチ	1) マグネットスイッチの異常音（うなり）、接点の荒れ、変色の有無を確認する。	1 Y	
	2) サーマルの動作を確認する。	1 Y	
	3) マグネットスイッチを交換する。	2 Y	別途
d. 動力	1) 絶縁測定、電流測定を行う。	1 Y	
e. コントローラー	1) 表示状態を確認する。	1 Y	
	2) 操作スイッチの動作状態を確認する。	1 Y	

	3) メリバッテリーの交換履歴を確認する。	1 Y	
	4) 端子、コネクタの緩みの有無を確認する。	1 Y	
	5) メリバッテリーを交換する。	5 Y	別途
	6) 光伝送装置を交換する。	7 Y	別途
	7) 光電センサーを交換する。	7 Y	別途
	6) プリント基板を交換する。	7 Y	別途
f. 制御用コンピュータ	1) UPS を交換する。	5 Y	別途
	2) システムを交換する	10 Y	別途
8. コンパア(駆動部)			
a. モータ	1) 回転時の異常音、発熱の有無を確認する。	1 Y	
b. 減速機	1) 回転時の異常音の有無を確認する。	1 Y	
	2) オイル量、汚れ、漏れの有無を確認する。	1 Y	
c. スプロケット	1) セットボルトの緩みの有無を確認する。	1 Y	緩みがあれば増締めする。
	2) 軸とのガタが無いかを確認する。	1 Y	
	3) 歯面の摩耗の有無を確認する。	1 Y	
9. コンパア(搬送部)			
a. チェーン	1) 伸び、摩耗の有無を確認する。	1 Y	
	2) 給油状態を確認する。	1 Y	
b. スプロケット	1) セットボルトの緩みの有無を確認する。	1 Y	緩みがあれば増締めする。
	2) 軸とのガタが無いかを確認する。	1 Y	
	3) 歯面の摩耗の有無を確認する。	1 Y	
c. ローラ	1) 回転状態(異常音)を確認する。	1 Y	
	2) 傷、曲り、摩耗の有無を確認する。	1 Y	
10. コンパア(本体部)			
a. ガイドレール	1) 取り付け状態、ボルトの緩みを確認する。	1 Y	緩みがあれば増締めする。
	2) 摩耗、曲り、傷の有無を確認する。	1 Y	
b. フレーム	1) レベル、平坦の状態を確認する。	1 Y	
	2) フレームの曲りの有無を確認する。	1 Y	
11. コンパア(検出部)			
a. 載荷検出器	1) 作動状態、作動範囲を確認する。	1 Y	緩みがあれば増締めする。
	2) 摩耗、歪み、ゴミの有無を確認する。	1 Y	
	3) ボルトの緩みが無いかを確認する。	1 Y	
b. 荷姿検出器	1) 光軸状態の確認をする。	1 Y	
	2) レンズ、反射板の汚れの有無を確認する。	1 Y	
	3) 損傷、緩みが無いかを確認する。	1 Y	緩みがあれば増締めする。
	4) フレームの歪みの有無を確認する。	1 Y	
c. 光電スイッチ	1) 光軸状態の確認をする。	1 Y	
	2) レンズ、反射板の汚れの有無を確認する。	1 Y	
	3) 損傷、緩みが無いかを確認する。	1 Y	緩みがあれば増締めする。
12. コンパア (制御部・操作部)			
a. マグネットスイッチ・リレー	1) 異常音(うなり)、接点の荒れ、摩耗の有無を確認する。	1 Y	
b. 電気配線	1) 端子の緩みが無いかを確認する。	1 Y	緩みがあれば増締め

c. コントローラ	1) 表示状態を確認する。 2) 操作スイッチの動作状態を確認する。 3) メリバッテリーの交換履歴を確認する。 4) メリバッテリーを交換する。 5) 端子、コネクタの緩みの有無を確認する。	1 Y 1 Y 1 Y 5 Y 1 Y	する。 別途
13. 試運転			
a. 全体	1) 点検前の試運転を行う。 2) ブザーの鳴動を確認する。 3) 点検後の試運転（総合）を行う。		
b. 保護装置	1) 非常停止、セーフティラックの動作状態を確認する。 2) 昇降極限停止の動作状態を確認する。 3) 走行極限停止の動作状態を確認する。 4) 昇降安全装置（テンション緩み検出）の動作状態を確認する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	

(2)
オートシェルフ
(チェーン駆動式回転棚)

オートシェルフの点検項目及び点検内容は、表(2)による。

表(2) オートシェルフ

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 本体	1) ドアの開閉、施錠を確認する。 2) はみ出しセンサーの光量、動作を確認する。 3) 各安全センサーの動作を確認する。 4) インデックスライト、フロントライトの点灯を確認する。 5) 収納物、落下物がないか確認する。 6) 庫内を清掃する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
2. 駆動部	1) キャリアチェーンのテンションを確認しマーキングを行う。 2) ドライブチェーンのテンションを確認しマーキングを行う。 3) カブトラックの調整、マーキングを行う。 4) カブトラックの調整後の動作を確認する。 5) ワレリン、グリスを塗布する。 6) モーター減速機のオイル漏れ、異常音の有無及び動作を確認する。 7) チェンガイドの形状を確認する。 8) スピードライザーの形状を確認する。 9) サスペンションアームを確認する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
3. 制御盤	1) ターミナル、コネクタ等の結線を確認する。 2) コントロールボックス内を確認する。 3) アースを確認する。 4) バックアップバッテリーの交換履歴を確認する。 5) 操作盤の動作を確認する。 6) インバータの設定値を確認する。 7) 安全確認スイッチを確認する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	

4. 試運転	8) 非常停止スイッチを確認する。	1 Y
	1) 一次側電圧の測定	1 Y
	2) 電流の測定	1 Y
	3) 停止位置を確認する。	1 Y
	4) 棚回転時の異常音、振動の有無を確認する	1 Y
	5) 回転スピードの測定	1 Y

8.4 自動倉庫設備

8.4 (C) 取替部品

(1) 自動倉庫

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度	
				2019年度	2020年度
●昇降部					
ワイヤーロープ (フロント)	L-20400	1本	5Y		
ワイヤーロープ (リア)	L-24400	1本	5Y		
ロッド		2本	5Y		
ナット	NHM12	4個	5Y		
ピン		2個	5Y		
U-ナット	M-16	2個	5Y		
カラー		2個	5Y		
スプリング		2組	5Y		
吊ボルト		一式	5Y		
カップリング		一式	3Y	○	
アイトラ (シーブ)		一式	7Y	○	
減速機用オイル		一式	1Y	○	○
ガイドローラ		一式	5Y		
ベアリング		一式	5Y		
昇降台ケーブルユニット		一式	10Y		
駆動モーター・ドラム		一式	10Y		
●横行部					
車輪ユニット (エンコーダ 含む)		一式	7Y	○	
レール		一式	10Y		
モーター		1台	10Y		
ガイドローラ		一式	3Y	○	
ベアリング		一式	3Y	○	
ベルト		一式	2Y	○	
横行ケーブルユニット		一式	10Y		
●フォーク部					
モーター		1台	10Y		

フォークチェーン	RS25-1	2本	5Y		
ピン	UX34024161	2個	5Y		
ペーアリング	L1470KKR	4個	5Y		
チェーンアイドラ		2個	5Y		
アイトラブリケット		2個	5Y		
ボルト	HC M4X10	4個	5Y		
ワッシャー	ZR4	4個	5Y		
ボルト	HSC M3X6	2個	5Y		
スラストワッシャー		4個	5Y		
カムフォア		一式	6Y	○	
サイドローラ		一式	6Y	○	
位置決め用リミットスイッチ		4個	3Y	○	
●制御部・操作部					
光伝送装置		2個	7Y	○	
光電センサー		一式	7Y	○	
マグネットスイッチ	昇降ブレーキ用	1個	2Y	○	
ファン(機上盤内)		1個	7Y	○	
安定化電源		2個	7Y	○	
プリント基板		一式	7Y	○	
インバータ		2個	7Y	○	
コンバータ		1個	7Y	○	
バックアップバッテリー	制御基板用	2個	5Y		
●コンベア					
バックアップバッテリー	PLC用	1個	5Y		
●制御用コンピュータ					
UPS		1台	5Y		
システム		一式	10Y		

9. 滅菌設備

9.1 高圧蒸気滅菌装置

9.1.1 業務対象設備

9.1.1 (A) 業務対象設備の概要による。

9.1.2 点検項目、点検内容及び点検周期

9.1.1 (B) 業務要領 高圧蒸気滅菌装置による。

9.1.3 性能検査

(社)日本ボイラ協会に委託して実施する。なお、検査料金は受注者負担とする。

9.1.4 取替部品

9.1.1 (C) 取替部品による。

9.1.5 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

・点検及び保守結果報告書

・試験成績書

・計測記録

・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

9.1.6 その他

9. 高圧蒸気滅菌装置

9. 1. (A) 業務対象設備の概要

設備番号	1	2	3	4
名 称	排液滅菌システム	高圧蒸気滅菌装置	高圧蒸気滅菌装置	高圧蒸気滅菌装置
仕 様	滅菌過熱タンク ジャケット付円筒型 内容積0.652m ³	角形滅菌缶 (2枚扉) 内容積0.678m ³	角形滅菌缶 (1枚扉) 内容積1.523m ³	角形滅菌缶 (1枚扉) 内容積0.196m ³
数 量	2	1	4	1
設置場所	外来棟 B1階病理部	外来棟 B1階厨房	病棟 B1階材料部	病棟 B1階薬剤部
設置年月	H13.8.	H23.11.	H21.10.	H21.11
製造者名	サクラ精機(株) DCS-500Z	三田理化工業(株) ACP-20P-HV 特型	サクラ精機(株) VSCR-K12-	サクラ精機(株) ΣⅢYR- B06SLPC
性能検査 の有無	有	有	有	有
備 考	管理番号 28・29 検査刻印番号 大No.10444 大No.10445 検査証番号 2494 2495	管理番号 22 検査刻印番号 愛媛No.19355 検査証番号 201109	管理番号 32～35 検査刻印番号 長No.39477 長No.39478 長No.39487 長No.39488 検査証番号 200916 200917 200918 200919	管理番号 36 検査刻印番号 長No.39913 検査証番号 200920
設備番号	5	6	7	
名 称	高圧蒸気滅菌装置	高圧蒸気滅菌装置	高圧蒸気滅菌装置	
仕 様	角形滅菌缶 (2枚扉) 内容積2.587m ³	角形滅菌缶 (2枚扉) 内容積2.180m ³	角形滅菌缶 (2枚扉) 内容積0.265m ³	
数 量	1	1	1	
設置場所	RI動物実験施設 1階洗浄室	RI動物実験施設 1階洗浄室	RI動物実験施設 4階準備室	
設置年月	H19.10	H28.3.	H8.4.	
製造者名	サクラ精機(株) FRC-E15ANⅡW	サクラ精機(株) FRC-E15ANⅡW	サクラ精機(株) FRC-B09ANⅡW	
性能検査 の有無	有	有	有	
備 考	管理番号 31 検査刻印番号 長No.39056 検査証番号 200714	管理番号 26 検査刻印番号 長No.42166 検査証番号 201603	管理番号 27 検査刻印番号 長No.33278 検査証番号 2504	

9 滅菌装置

9.1. (B) 業務要領 高圧蒸気滅菌装置

(1)

高圧蒸気滅菌装置

「ボイラ及び圧力容器安全規則」に定めるところによる。
高圧蒸気滅菌装置の点検項目及び点検内容は、表(1)による。

表(1) 高圧蒸気滅菌装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1. 高圧蒸気滅菌装置			
a. 外観点検			
(1) 本体	1) ケーシング及び缶体内外面の、変形腐食、損傷の有無を点検する。 2) 缶体内側及び内部取付物に、スケルスラッジの付着、割れまたは腐食、ヒッチングなどの有無を点検する。 3) 各連絡穴にスケールが付着していないか、十分通じているか点検する。 4) 各フランジ締付部等から漏洩痕の有無を点検する。5) 外扉ファンの損傷、異常音の有無を確認する。 5) 本体と架台と締付ボルト及び架台と基礎をつなぐアンカーボルトにガタ、緩みがないか点検する。 6) 計器、弁類の取付部の状態が良好か点検する。 7) フィルターの取付部の状態が良好か点検する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
(2) 扉締付装置	1) 本体に変色、変形、腐食、損傷がないか点検する。 2) パッキンの劣化の有無を点検する。 3) 各ボルトに緩みがないか点検する。	1 Y 1 Y 1 Y	
(3) 圧力計・温度計・記録計・計器類	1) 圧力計等の変形、腐食、損傷等の有無を点検する。 2) 取付部やジョイント類からの漏洩痕の有無を点検する。 3) 文字盤やガラスに汚れがないか点検する。 4) 圧力計の目盛に当該第一種圧力容器の最高使用圧力の表示があるか点検する。	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
(4) 安全弁	1) 取付部及び本体からの漏洩痕の有無を点検する。	1 Y	
(5) 調節弁・弁・配管	1) 本体に変色、変形、腐食、損傷がないか点検する。 2) 取付の状態の良否を点検し又取付部に漏洩痕の有無を点検する。3) フェースローターの摩耗を測	1 Y 1 Y	

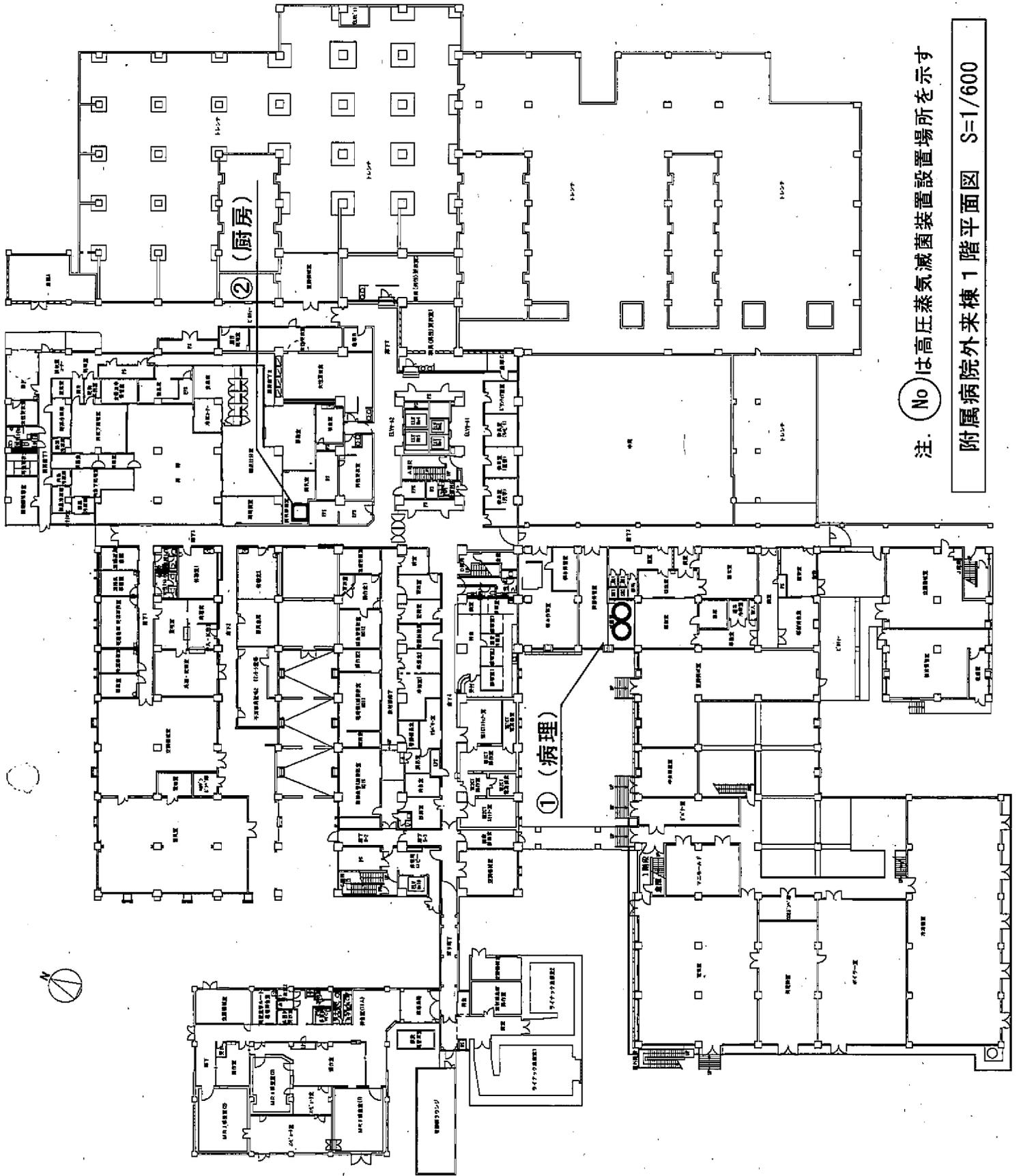
	定する。	
(6) 蒸気トラップ	1) 本体に変色、変形、腐食、損傷がないか点検する。	1 Y
	2) 取付の状態及び漏洩痕の有無を点検する。	1 Y
(7) 真空ポンプ装置	1) 本体に変色、変形、腐食、損傷がないか点検する。	1 Y
	2) 各シム部に緩みの有無を点検する。	1 Y
	3) 取付の状態及び漏洩痕の有無を点検する。	1 Y
	4) 異音、異温、異臭はないか点検する。	1 Y
(8) 制御装置	1) 本体に変色、変形、腐食、損傷がないか点検する。	1 Y
	2) 付属装置の取付部の状態が良好か点検する。	1 Y
	3) 電気関係の点検内容は電気装置に準ずる。	1 Y
(9) 電気装置	1) 端子、配線の緩み、変色等の有無を点検する。	1 Y
	2) 接地線の損傷、断線、配線に緩み等の有無を点検する。	1 Y
	3) 異常音、異常振動、異臭、過熱等の有無を点検する。	1 Y
2. 詳細点検		
(1) 本体	1) 缶体内面を清掃点検する。	1 Y
(2) 扉締付装置	1) パッキンの弾力性の有無を確認点検する。	1 Y
	2) 扉の密着度合を確認する。	1 Y
	3) ベアリングの摩耗度合を確認する。	1 Y
(3) 圧力計	1) サイホン管及びコックの詰まりの有無を点検する。	1 Y
	2) 指針が大気圧状態で零になっている事を確認する。	1 Y
(4) 温度計	1) 指針が外気温度と比較して合っているか確認する。	
(5) 安全弁	1) 分解、清掃を行い弁座の損傷の有無を点検する。	1 Y
	2) 逃がし管の詰まりを点検する。	1 Y
	3) スプリング（ばね式の場合）の腐食の有無を点検する。	1 Y
(6) 調節弁・弁類	1) 各弁の締め付け状態を点検する。	1 Y
(7) 真空ポンプ装置	1) ポンプの回転状態を確認する。	1 Y
	2) キャビテーションの有無を点検する。	1 Y
	3) ベルトの張りの調整をする。	1 Y
(8) 制御装置	1) 各スイッチの設定値が適正か点検する。	1 Y
(9) 電気装置	1) 指示計器類の校正を行う。	1 Y
	2) 絶縁抵抗の測定を行う。	1 Y
3. 機能点検		
(1) 扉締付装置	1) 扉スイッチの作動を確認する。	1 Y
	2) 開閉用のモータの良否を確認する。2) モータ及び減速機の回転時の異常音の有無を確認する。	1 Y
	3) プレーキギャップを測定する。	1 Y
	4) モータを交換する。	1 Y
(2) 圧力計	1) 運転中、各圧力計の機能を害するような振動の有無を点検する。	1 Y

(3) 温度計	2) 各圧力計の指度になっているか確認する。	1 Y
	1) 運転中、各温度計の機能を害するような振動の有無を点検する。	1 Y
(4) 安全弁	2) 各温度計の指度になっているか確認する。	1 Y
	1) 最高使用圧力以下で作動するか確認する。	1 Y
	2) 吹き出し圧力の75%以上の圧力において手動テストバルブを動かし吹き出し吹き止まりの作動試験をする。	1 Y
(5) 調節弁・弁類	1) 各弁の作動状態を確認する。	1 Y
(6) トラップ類	1) 各トラップの作動状態を確認する。	1 Y
(7) 真空ポンプ装置	1) 真空到達度の良否を確認する。	1 Y
(8) 制御装置・電気装置	1) 各タイマーの作動状態を確認する。	1 Y
	2) 温度調節器の作動を確認する。	1 Y
	3) 各センサーの作動誤差を確認する。	1 Y
	4) 各圧力スイッチの作動状態を確認する。	1 Y
4. 試運転調整	1) インターロックの作動状態を確認する。	1 Y
	2) 各工程がプログラムどおり運転されているか確認する。	1 Y
5. 性能検査	1) 性能検査受験及び立ち合い。	1 Y
6. 滅菌テスト	1) 菌テスト培養試験を実施する。	1 Y

9.1 滅菌設備

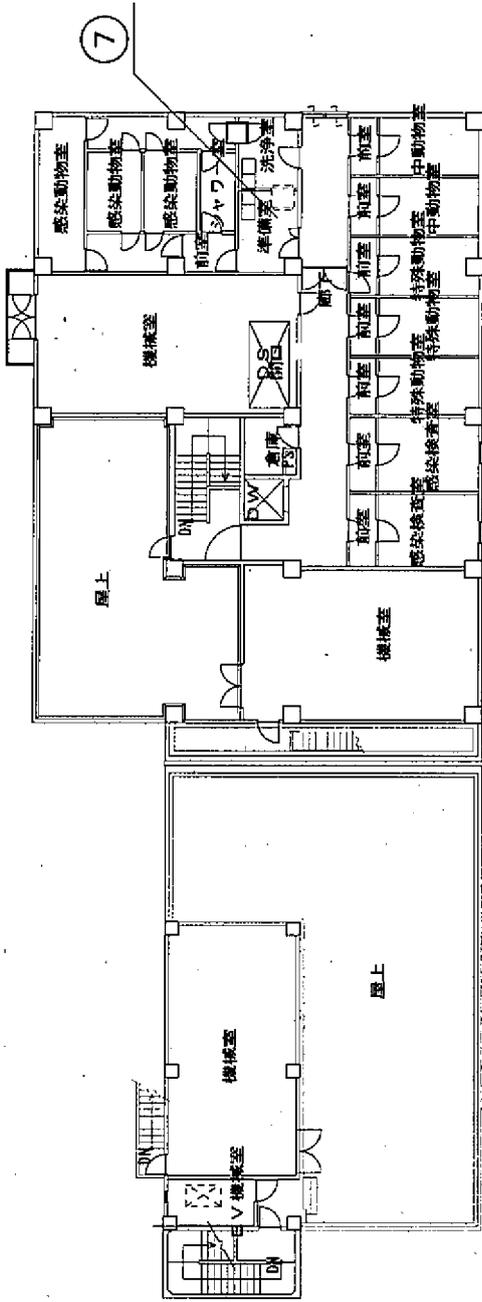
9.1.(C) 取替部品

品名	仕様	数量	交換 周期	交換年度		
				2019年度	2020年度	2021年度
1 病理部排液滅菌システム (2基)						
滅菌槽吸排気フィルター		2本	1Y	○	○	○
貯留槽除菌フィルター		1本	1Y	○	○	○
原水・移送ポンプ用チューブ		2本	1Y	○	○	○
蒸気用フランジパッキン	25A-10K-RF	4枚	1Y	○	○	○
マンホールフランジパッキン	400A-5K-RF	2枚	1Y	○	○	○
2 栄養部厨房高圧蒸気滅菌装置 (1基)						
扉パッキン	L-3260	2本	1Y	○	○	○
無菌フィルター	250L	2本	1Y	○	○	○
安全弁	AF-5B-1	2個	1Y	○	○	○
圧力計	本体外面	1個	3Y	○		
3 材料部高圧蒸気滅菌装置 (4基)						
扉パッキン	Z96-4495	4本	1Y	○	○	○
エアフィルター	R1F070	4本	1Y	○	○	○
エアフィルター	6R-64	4本	1Y	○	○	○
トラップサモエレメント	BB0	1個	1Y	○	○	○
トラップサモエレメント	BB1	11個	1Y	○	○	○
4 薬剤部高圧蒸気滅菌器 (1基)						
扉パッキン	Z96-2000	1本	1Y	○	○	○
エアフィルター	R1F070	1本	1Y	○	○	○
エアフィルター	6R-64	1本	1Y	○	○	○
ルローシライニング弁	15A	1個	1Y	○	○	○
トラップサモエレメント	BB1	1個	1Y	○	○	○
5～7 RI 動物高圧蒸気滅菌装置 (3基)						
扉パッキン	Z96-4574	12本	1Y	○	○	○
扉パッキン	Z96-2000	6本	1Y	○	○	○
エアフィルター	MCY1001FRESH13	9本	1Y	○	○	○
エアフィルター	6R-64	9本	1Y	○	○	○
トラップサモエレメント	BB1	9個	1Y	○	○	○
安全弁 (FB-4)	7用の内筒	1個	3Y	○		



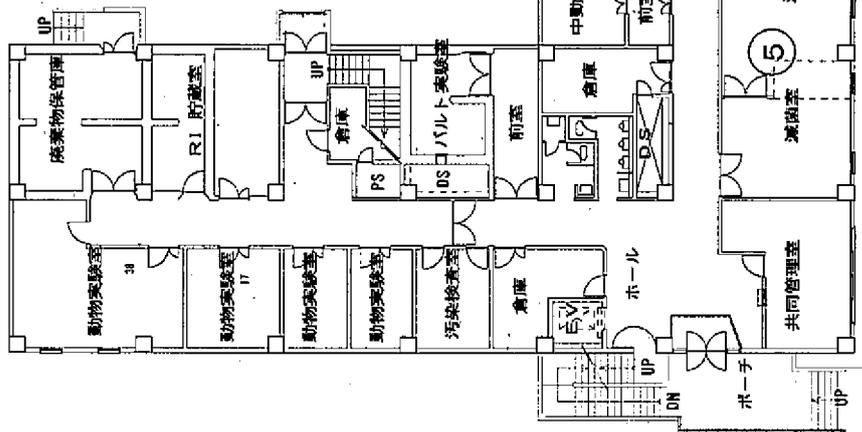
注. No は高圧蒸気滅菌装置設置場所を示す

附属病院外来棟 1階平面図 S=1/600



注. No. 7 は高圧蒸気滅菌装置設置場所を示す

R I 動物実験施設 4 階平面図 S=1/300



注. No. 6 は高圧蒸気滅菌装置設置場所を示す

R I 動物実験施設 1 階平面図 S=1/300

10. 衛生害虫防除

10.1 衛生害虫防除

10.1.1 業務対象

10.1.(A) 業務対象の概要による。

10.1.2 作業項目、作業内容及び周期

10.1.(B) 業務要領 害虫防除による。

10.1.3 使用薬品等

10.1.(C) 使用薬品等による。

10.1.4 業務報告書

業務完了後に次の書類を作成する。

- ・作業報告書
- ・調査結果 (調査場所の平面図添付)
- ・検査結果
- ・業務記録写真

書式は、受注者の業務報告書とする。

提出部数

- (1) 外来棟地下1階厨房等衛生害虫鼠族防除作業 2部
- (2) 外来棟、病棟、保育所及び保健管理センター衛生害虫防除作業 1部
- (3) 病棟1階手術部及び外来棟3階眼科小手術室殺菌消毒作業 3部
- (4) 外来棟地下1階厨房等フード清掃作業 2部

10.1.5 その他

10.1 衛生害虫防除

10.1. (A) 業務対象の概要

(1) 外来棟地下1階厨房等衛生害虫鼠族防除作業

① 生害虫防除生息調査作業「昆虫相調査」		
徘徊昆虫用粘着 トラップ設置	外来棟地下1階厨房 病棟2階配膳室 病棟3階配膳室 病棟4階配膳室 病棟5階配膳室 病棟6階配膳室 病棟7階配膳室 病棟8階配膳室	13 か所 1 か所 1 か所 1 か所 1 か所 1 か所 1 か所 1 か所
捕虫器	外来棟地下1階厨房	2 か所
② 衛生害虫防除消毒作業		
防除消毒作業	外来棟地下1階厨房排水溝(排水枡) 生息調査でゴキブリ目の生息が確認された場所 その他の害虫の生息が確認された場所	協議による
③ 鼠族生息調査作業		
殺鼠剤設置	外来棟地下1階厨房 病棟2階配膳室 病棟3階配膳室 病棟4階配膳室 病棟5階配膳室 病棟6階配膳室 病棟7階配膳室 病棟8階配膳室	4 か所 1 か所 1 か所 1 か所 1 か所 1 か所 1 か所 1 か所
④ 鼠族防除消毒作業		
防除消毒作業	生息調査で生息が確認された場所	

(2) 外来棟，病棟，保育所及び保健管理センター衛生害虫防除作業

①衛生害虫防除生息調査作業「昆虫相調査」		
徘徊昆虫用粘着 トラップ設置	外来棟地下1階厨房等衛生害虫鼠族防除作業 範囲を除く 外来棟 病棟 保育所 保健管理センター	41 か所 79 か所 5 か所 2 か所
②衛生害虫防除消毒作業		
防除消毒作業	<ul style="list-style-type: none"> ・外来棟，病棟及び保健管理センターの汚物室，ゴミ庫，洗髪・洗濯室，共用トイレ内，排水口等の水回り ・保育所の全室（5月，10月実施） ・生息調査で害虫の生息が確認された場所 ゴキブリ目 対象建物全て 飛翔性昆虫 外来棟地下1階放射線科 アンギオ撮影室，No.13・No.15，準備室 クモ目，ムカデ亜綱 保育所 ・上記以外の場合 	月1回 年2回 協議による
③鼠族生息調査作業		
殺鼠剤設置	外来棟 病棟 保育所	6 か所 4 か所 2 か所
④鼠族防除消毒作業		
防除消毒作業	生息調査で生息が確認された場所	
⑤蜂類生息調査作業（平成30年度実施）		
巡視作業	外来棟 病棟 保育所 保健管理センター	年4回
⑥蜂類駆除作業		
駆除作業	生息調査で生息が確認された場所	

(3) 病棟 1 階手術部及び外来棟 3 階眼科小手術室殺菌消毒作業

①除菌洗淨剤による環境殺菌消毒		
殺菌消毒作業	病棟 1 階手術部 病棟 B 1 階手術室 外来棟 3 階眼科外来手術室	11 か所 1 か所 1 か所
細菌検査	一般細菌 (消毒作業前後) ・病棟 1 階手術部 ・病棟 B 1 階手術室 ・外来棟 3 階眼科外来手術室	22 ポイント 2 ポイント 2 ポイント
	M R S A (消毒作業前後) ・病棟 1 階手術部 ・病棟 B 1 階手術室 ・外来棟 3 階眼科外来手術室	22 ポイント 2 ポイント 2 ポイント

(4) 外来棟地下 1 階厨房等フード清掃作業

①外来棟地下 1 階厨房			
1.	ガス炊飯器用	3,000×1,000×700H	1 か所
2.	スーケットル・蒸気回転釜用	3,000×1,300×700H	1 か所
3.	ガス回転釜・蒸気蒸し器用	3,000×1,300×700H	グラスフィルター-500×250×30t 6付 1 か所
4.	ガスプレージングパン用	3,000×1,300×700H	グラスフィルター-500×250×30t 6付 1 か所
5.	ガスレンジ用	2,100×1,500×700H	グラスフィルター-500×300×30t 6付 1 か所
6.	ガスフライヤー用	1,600× 800×700H	グラスフィルター-500×300×30t 2付 1 か所
7.	コンビオープン用	1,200×1,000×700H	グラスフィルター-500×250×30t 2付 1 か所
8.	コンビオープン用	1,100×1,000×700H	グラスフィルター-500×250×30t 2付 1 か所
9.	コンビオープン用	1,100× 900×700H	グラスフィルター-500×250×30t 2付 1 か所
10.	ガスレンジ用	1,500×1,500×700H	グラスフィルター-500×250×30t 4付 1 か所
11.	ガスレンジ用	1,800×1,500×700H	グラスフィルター-500×400×30t 2付 1 か所
②病棟 2～8 階配膳室			
2～7 階			
12.	炊飯器・スーピークッカー用	1,300× 900×750H	グラスフィルター-400×500×30t 2付 6 か所
13.	スチームコンベクション用	1,200× 700×460H	グラスフィルター-300×500×30t 2付 6 か所
14.	食器洗淨機用	950× 950×750H	6 か所
8 階			
15.	炊飯器・スーピークッカー用	2,900× 900×750H	グラスフィルター-300×500×30t 4付 1 か所
16.	スチームコンベクション用	1,200×1,200×750H	グラスフィルター-500×500×30t 2付 1 か所
17.	食器洗淨機用	950× 950×750H	1 か所

10.1 衛生害虫防除

10.1. (B) 業務要領 衛生害虫防除

(1)

外来棟地下1階厨房等
衛生害虫鼠族防除作業

(a) 衛生害虫鼠族防除作業の作業項目及び作業内容・周期は、表(1)による。

表(1) 衛生害虫鼠族防除作業

作業項目	作業内容	周期	備考
衛生害虫防除生息調査作業「昆虫相調査」	ア) 生息調査作業を行い、保守管理する。 イ) 調査機材は、徘徊昆虫用粘着トラップとする。 ウ) 調査方法は、徘徊昆虫用粘着トラップに捕獲された昆虫の種類を同定、また捕獲数をカウントする。 エ) 徘徊昆虫用粘着トラップを設置交換する。 オ) 外来棟地下1階検収室及び厨房に設置してある捕虫器の捕虫紙を取り替える。	1 M 1 M 1 M	
衛生害虫防除消毒作業	ア) 衛生害虫生息調査作業に基づき、生息が確認された場合は消毒を行う イ) ア) 以外に外来棟地下1階厨房の排水溝(排水枡)の消毒を行う	都度 1 M	防除対象種が、ゴキブリ目でない場合、管理担当者との協議する
鼠族生息調査作業	ア) 生息調査作業を行い、保守管理する。 イ) 調査方法は、固形クマリン系殺鼠剤を設置し、殺鼠剤の喫食状況を見て判断する。 ウ) 固形クマリン系殺鼠剤を設置交換する。	1 M 1 M	
鼠族防除消毒作業	ア) 鼠族生息調査作業に基づき、生息が確認された場合は捕獲駆除、消毒を行う	都度	

(2)

外来棟，病棟，保育所及び保健管理センター衛生害虫防除作業

(a) 衛生害虫鼠族防除作業の作業項目及び作業内容・周期は、表(1)による。

表(1) 衛生害虫鼠族防除作業

作業項目	作業内容	周期	備考
衛生害虫防除生息調査作業「昆虫相調査」	ア) 生息調査作業を行い，保守管理するも。 イ) 調査機材は，徘徊昆虫用粘着トラップとする。 ウ) 調査方法は，徘徊昆虫用粘着トラップに捕獲された昆虫の種類を同定，また捕獲数をカウントする。 エ) 徘徊昆虫用粘着トラップを設置交換する。	1 M 1 M	
衛生害虫防除消毒作業	A 外来棟・病棟 ア) 衛生害虫生息調査作業に基づき，生息が確認された場合は消毒を行う。 イ) ア) 以外に外来棟及び病棟の汚物室，ゴミ庫，洗髪・洗濯室，共用トイレ内，排水口の消毒を行う。	都度 1 M	防除対象種が，ゴキブリ目でない場合，管理担当者との協議する 但し，外来棟地下1階放射線科アンギオ撮影室No13・No15，準備室においては，飛翔性昆虫について使用者からの申告を含め消毒を行う
	B 保育所 ア) 衛生害虫生息調査作業に基づき，生息が確認された場合は消毒を行う。 イ) ア) 以外に全室の消毒を行う。 但し，殺虫薬剤は乳幼児等の使用者が触れても無害品を使用することとする。	都度 6 M	防除対象種がゴキブリ目，クモ目及びムカデ亜綱でない場合は施設管理担当者との協議を行う。 5月，10月実施
	C 保健管理センター ア) 衛生害虫生息調査作業に基づき，生息が確認された場合は消毒を行う。	都度	防除対象種が，ゴキブリ目でない場合，管理担当者との協議する
鼠族生息調査作業	イ) ア) 以外にトイレ内の消毒を行う。 ア) 生息調査作業を行い，保守管理する。 イ) 調査方法は，固形クマリン系殺鼠剤を設置し，殺鼠剤の喫食状況を見て判断する。 ウ) 固形クマリン系殺鼠剤を設置交換する。	1 M 1 M 1 M	

鼠族防除消毒作業	ア) 鼠族生息調査作業に基づき、生息が確認された場合は捕獲駆除、消毒を行う	都度	
蜂類生息調査作業	ア) 生息調査作業を行う。	3 M	7～10月実施
蜂類駆除作業	イ) 調査方法は、目視により蜂の巣の有無を確認する。 ア) 蜂類生息調査作業に基づき、生息が確認された場合は捕獲駆除を行う	都度	

(3)

病棟 1 階手術部及び外
来棟 3 階眼科小手術室
殺菌消毒作業

(a) 手術室殺菌消毒作業の作業項目及び作業内容・周期は、表(1)による。

表(1) 手術室殺菌消毒作業

作業項目	作業内容	周期	備考
殺菌消毒作業	ア) 掃除機による粉塵除去 HEPAフィルター内臓の掃除機を使用 して、室内塵や吸込口・吹出口のフィルタ ー等に付いた塵の除去を行う。 吸込口・吹出口のカバーは、除菌洗浄剤 (第四級アンモニウム塩)をモップ又はワ イパー等に含浸させ清拭を行う。	6 M	7月、12月実施
	イ) 无影灯及び蛍光灯の清拭 除菌洗浄剤(第四級アンモニウム塩)を モップ又はワイパー等に含浸させ、蛍光灯、 无影灯及び无影灯のアーム等の清拭を行 う。	6 M	
	イ) 天井面及び壁面(窓を含む)の清拭 除菌洗浄剤(第四級アンモニウム塩)を モップ又はワイパー等に含浸させ清拭す る。	6 M	
	エ) 備品及び機材の清拭 除菌洗浄剤(第四級アンモニウム塩)を ワイパー(クリーンルームクラス1000 対応)に含浸させ、シャーカステン、手術 台、備品及び機材等を清拭する。	6 M	
	オ) 窓のブラインド清掃 除菌洗浄剤(第四級アンモニウム塩)を モップ又はワイパー等に含浸させ、ブラ インドの清掃を行う。	6 M	
	カ) 室内の清拭 ドア、ドアノブ、窓及び柵を除菌洗浄剤 (第四級アンモニウム塩)をモップ又はワ イパー等に含浸させ清拭を行う。	6 M	
	キ) 除菌洗浄剤(第四級アンモニウム塩)は、 50倍になるように希釈し、1㎡当たり5 0mlを使用する。		
表面付着細菌検査	A一般細菌検査 ア) 消毒作業前後にサンプリングを行う。 スタンプアガー法 37℃±1℃ 24時間培養	6 M	7月、12月実施 サンプリングの結果、コロニ ーが検出された場合、施設管 理担当者に報告し、速やかに 殺菌消毒作業を実施する
	BMRSA分離同定検査 ア) 消毒作業前後にサンプリングを行う。 スタンプアガー法 35℃ 18~40時間培養	6 M	

(4)

外来棟地下1階厨房等
フード清掃作業

(a) 厨房フード清掃作業の作業項目及び作業内容・周期は、表(1)による。

表(1) 厨房フード清掃作業

作業項目	作業内容	周期	備考
厨房フード清掃作業	ア) 油脂専用洗剤を吹き付け、洗浄機等で洗剤及び汚れを洗い流す。 次にウエスで汚れを拭き、ワックス（内及び外側共）を掛けて仕上げる。	1 Y	1 1月実施
	イ) グリスフィルター、吸込口及び吹出口の清掃は、油脂用洗剤で容器に付け込み、汚れを落とす。次にウエスで汚れを拭いて仕上げる。	1 Y	

10.1 衛生害虫防除

10.1.(C) 使用薬剤等

(1) 外来棟地下1階厨房等衛生害虫鼠族防除作業

品名	仕様	数量	使用年度		
			28年度	29年度	30年度
外来棟 B1 階厨房					
調査トラップ	徘徊昆虫用粘着トラップ	156 枚	○	○	○
残留散布剤	サフロチン MC 剤 (液体)	1 リットル	○	○	○
食毒剤	固形マリン系殺鼠剤	48 個	○	○	○
捕虫紙		48 枚	○	○	○
病棟 (2~8 階) 配膳室					
調査トラップ	徘徊昆虫用粘着トラップ	84 枚	○	○	○
残留散布剤	サフロチン MC 剤 (液体)	1 リットル	○	○	○
食毒剤	固形マリン系殺鼠剤	84 個	○	○	○

(2) 外来棟, 病棟, 保育所及び保健管理センター衛生害虫防除作業

品名	仕様	数量	使用年度		
			28年度	29年度	30年度
外来棟					
調査トラップ	徘徊昆虫用粘着トラップ	492 枚	○	○	○
残留散布剤	サフロチン MC 剤 (液体)	7 リットル	○	○	○
空間噴霧剤 (アングオ)	ピレスロイド剤 (ガス)	4 kg	○	○	○
食毒剤	固形マリン系殺鼠剤	72 個	○	○	○
病棟					
調査トラップ	徘徊昆虫用粘着トラップ	948 枚	○	○	○
残留散布剤	サフロチン MC 剤 (液体)	5 リットル	○	○	○
食毒剤	固形マリン系殺鼠剤	48 個	○	○	○
保育所					
調査トラップ	徘徊昆虫用粘着トラップ	60 枚	○	○	○
空間噴霧剤 (ゴキブリ目)	ピレスロイド剤 (ガス)	8 kg	○	○	○
残留散布剤 (ケミ目)	ピレスロイド剤 (液体)	4 リットル	○	○	○
残留散布剤 (ムカデ亜綱)	有機リン剤 (液体)	6 リットル	○	○	○
食毒剤	固形マリン系殺鼠剤	24 個	○	○	○

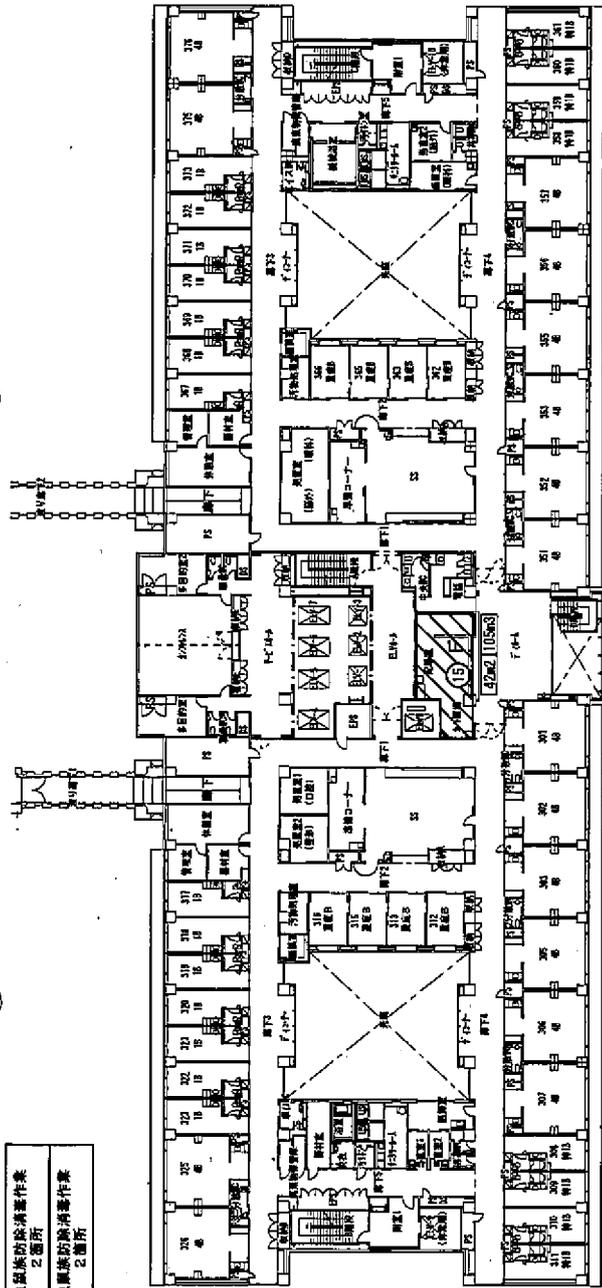
保健管理センター					
調査トラップ	徘徊昆虫用粘着トラップ	24 枚	○	○	○
残留散布剤	サフロチン MC 剤 (液体)	1 リットル	○	○	○

(3) 病棟 1 階手術部及び外来棟 3 階眼科小手術室殺菌消毒作業

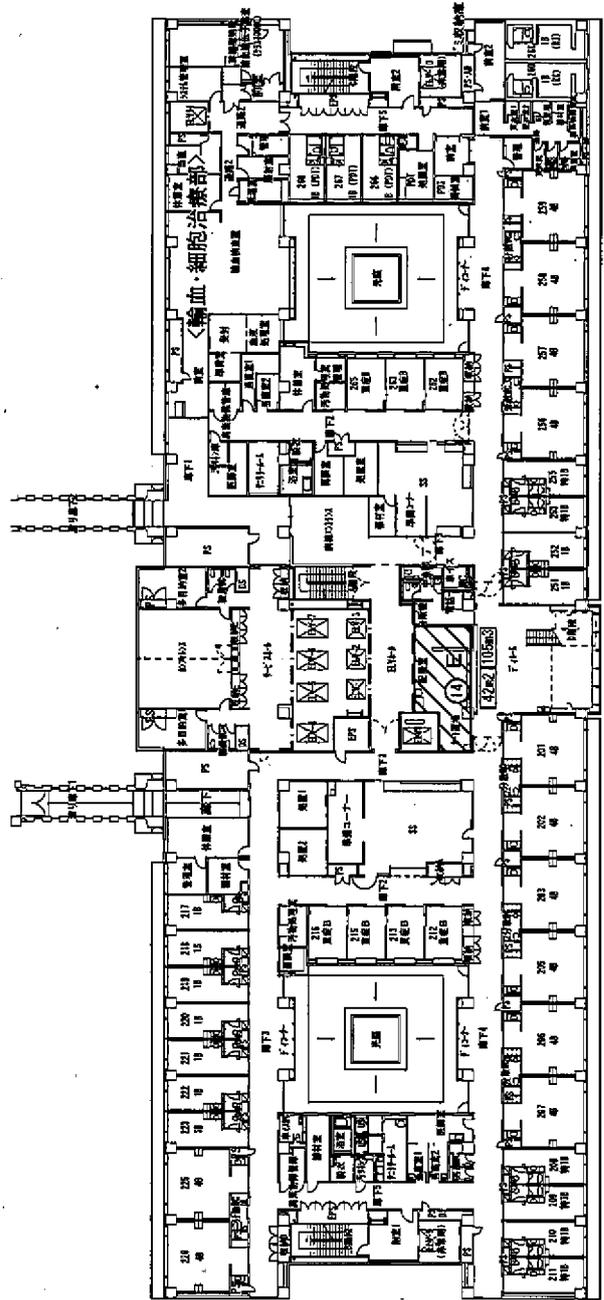
品名	仕様	数量	使用年度		
			28 年度	29 年度	30 年度
病棟 1 階手術部					
除菌洗浄剤	第四級アンモニウム塩	13 リットル	○	○	○
消耗品	清拭用使い捨て道具	一式	○	○	○
表面付着細菌検査	一般細菌	22 ポイント	○	○	○
表面付着細菌検査	M R S A	22 ポイント	○	○	○
病棟 B 1 階手術室					
除菌洗浄剤	第四級アンモニウム塩	1 リットル	○	○	○
消耗品	清拭用使い捨て道具	一式	○	○	○
表面付着細菌検査	一般細菌	2 ポイント	○	○	○
表面付着細菌検査	M R S A	2 ポイント	○	○	○
外来棟 3 階眼科					
除菌洗浄剤	第四級アンモニウム塩	1 リットル	○	○	○
消耗品	清拭用使い捨て道具	一式	○	○	○
表面付着細菌検査	一般細菌	2 ポイント	○	○	○
表面付着細菌検査	M R S A	2 ポイント	○	○	○

(4) 外来棟地下 1 階厨房等フード清掃作業

品名	仕様	数量	使用年度		
			28 年度	29 年度	30 年度
外来棟 B 1 階厨房					
油脂専用洗剤		リットル	○	○	○
ワックス			○	○	○
消耗品	清拭用使い捨て道具	一式	○	○	○
病棟 (2~8 階) 配膳室					
油脂専用洗剤		リットル	○	○	○
ワックス			○	○	○
消耗品	清拭用使い捨て道具	一式	○	○	○



病棟3階平面図 S=1/600



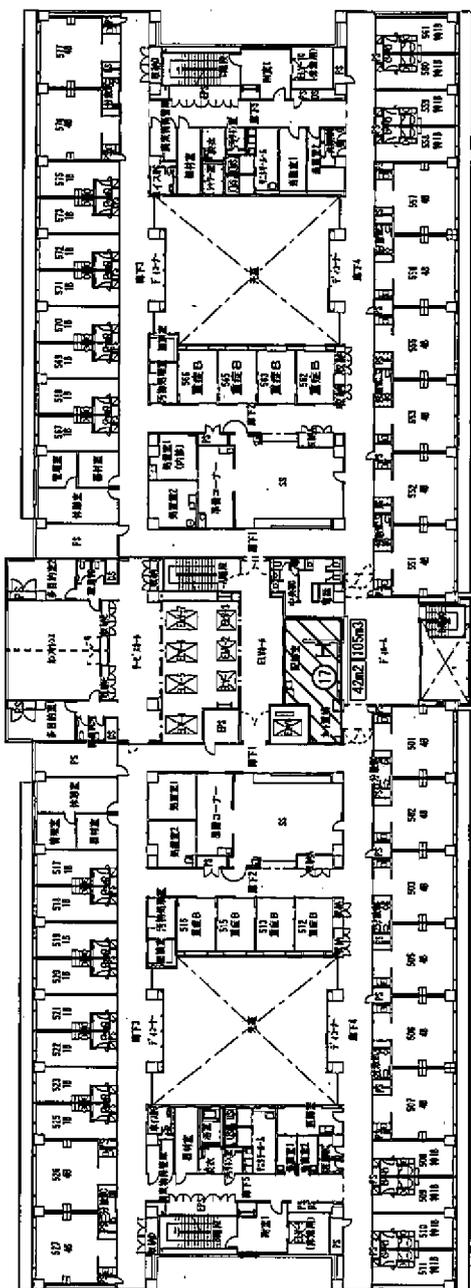
病棟2階平面図 S=1/600

- ①~③ 外装棟地下1階防菌等衛生害虫防除施設防除措置作業
トランプ配置場所 (排菌専用) 2箇所
- A~K 外装棟地下1階防菌等衛生害虫防除施設防除措置作業
トランプ配置場所 (通風) 2箇所

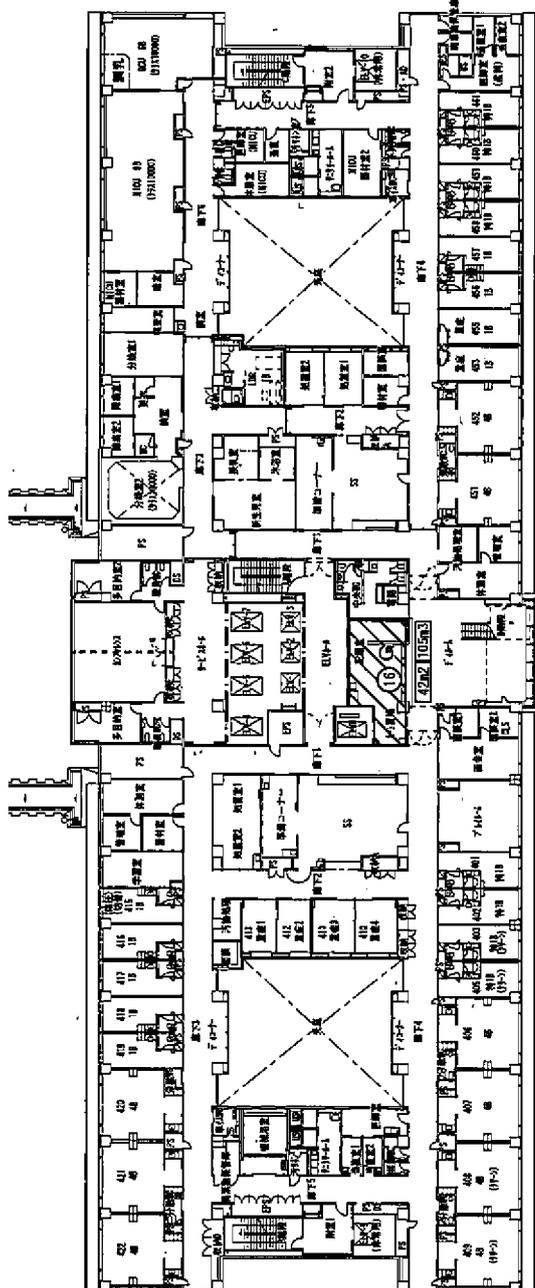


- ①~⑥ 外来動地下1階病棟専任生体処理施設の除菌作業
トランプ配置場所 (待機区域) 2箇所
- A~K 外来動地下1階病棟専任生体処理施設の除菌作業
トランプ配置場所 (廊下) 2箇所

廊下区域

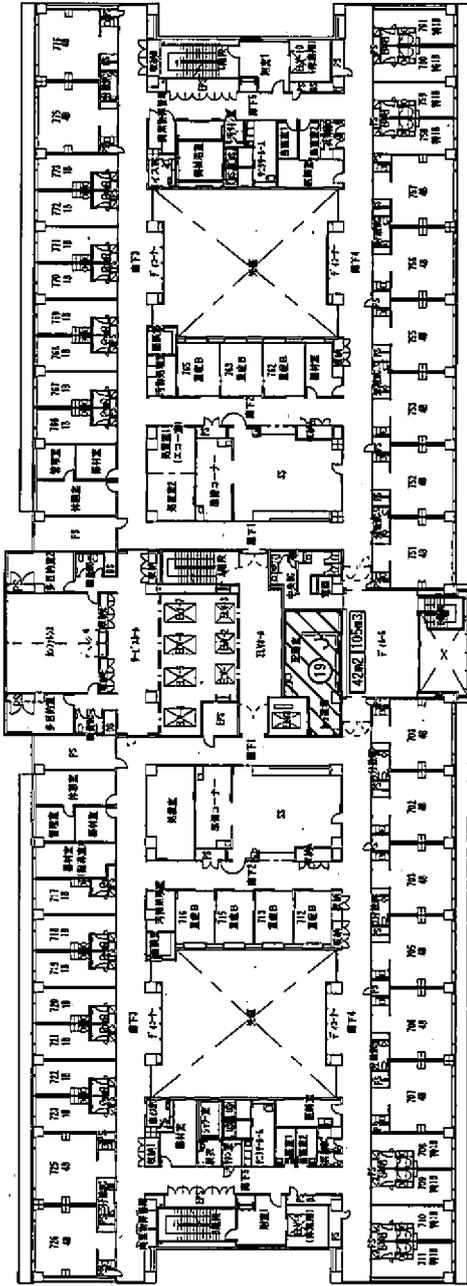


病棟5階平面図 S=1/600

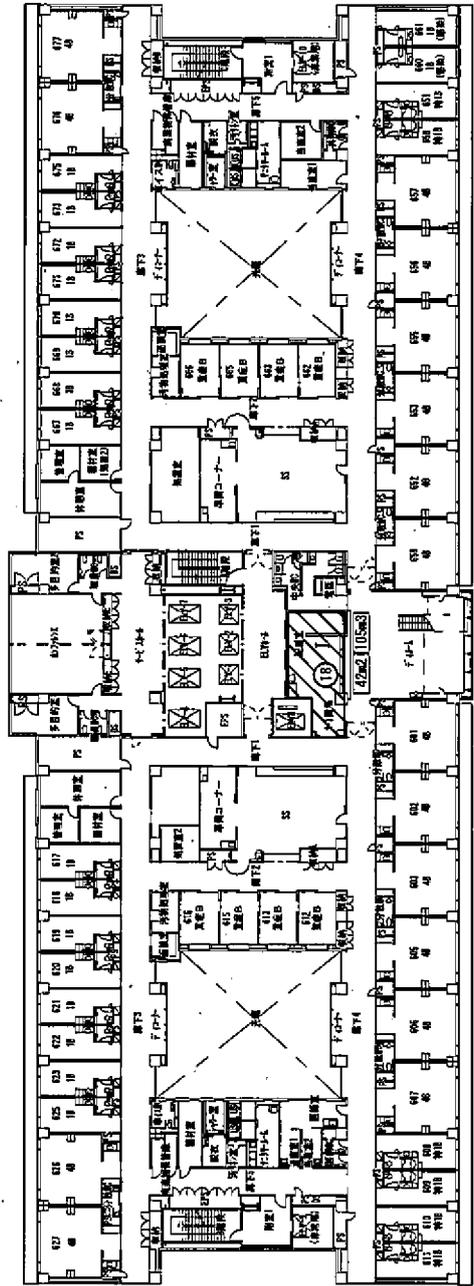


病棟4階平面図 S=1/600

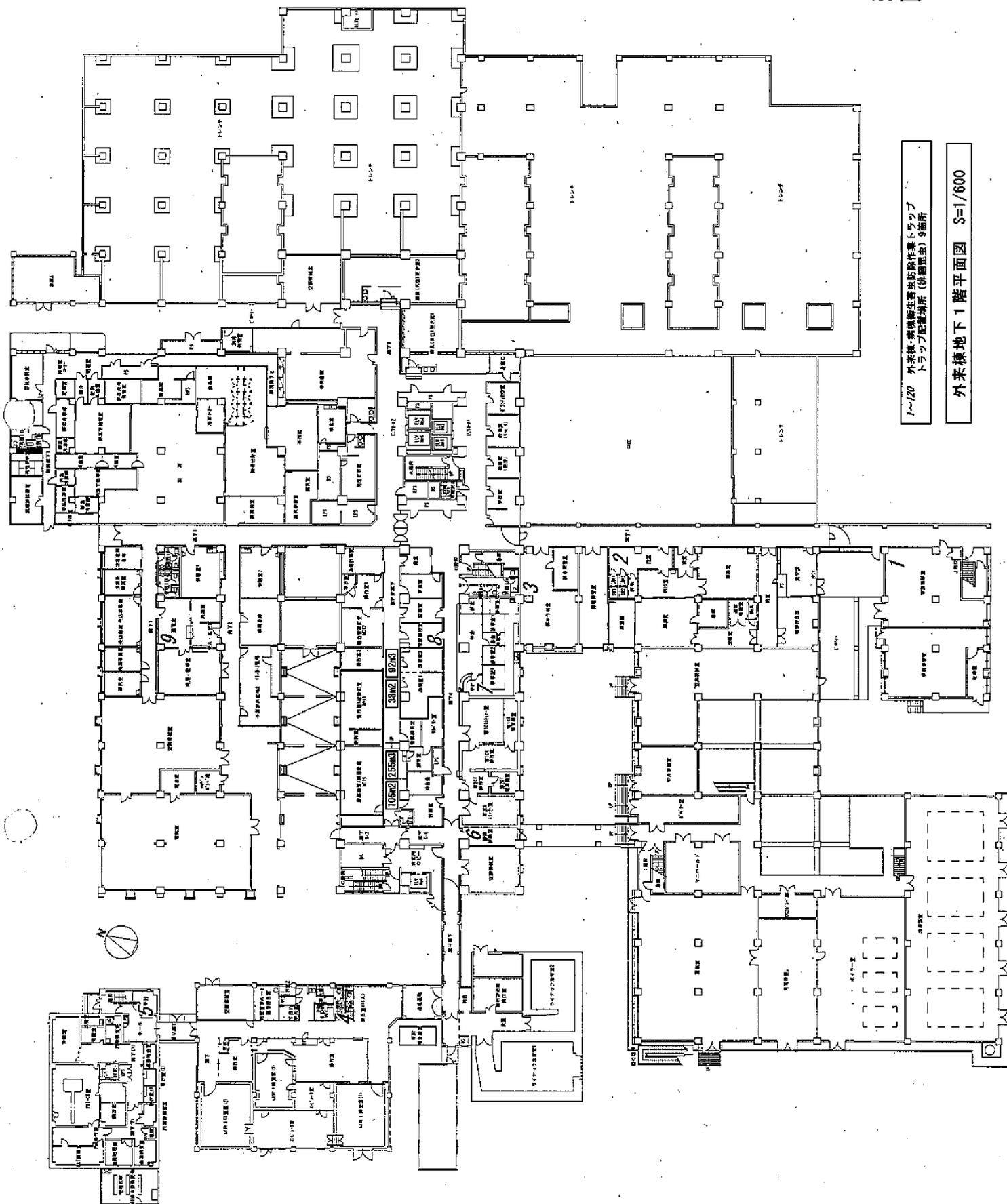
- ①~④ 外米棟地下1階厨房等衛生害虫駆除防除消毒作業
トランプ配電場所 (種類度因) 2箇所
- A~K 外米棟地下1階厨房等衛生害虫駆除防除消毒作業
トランプ配電場所 (種類) 2箇所



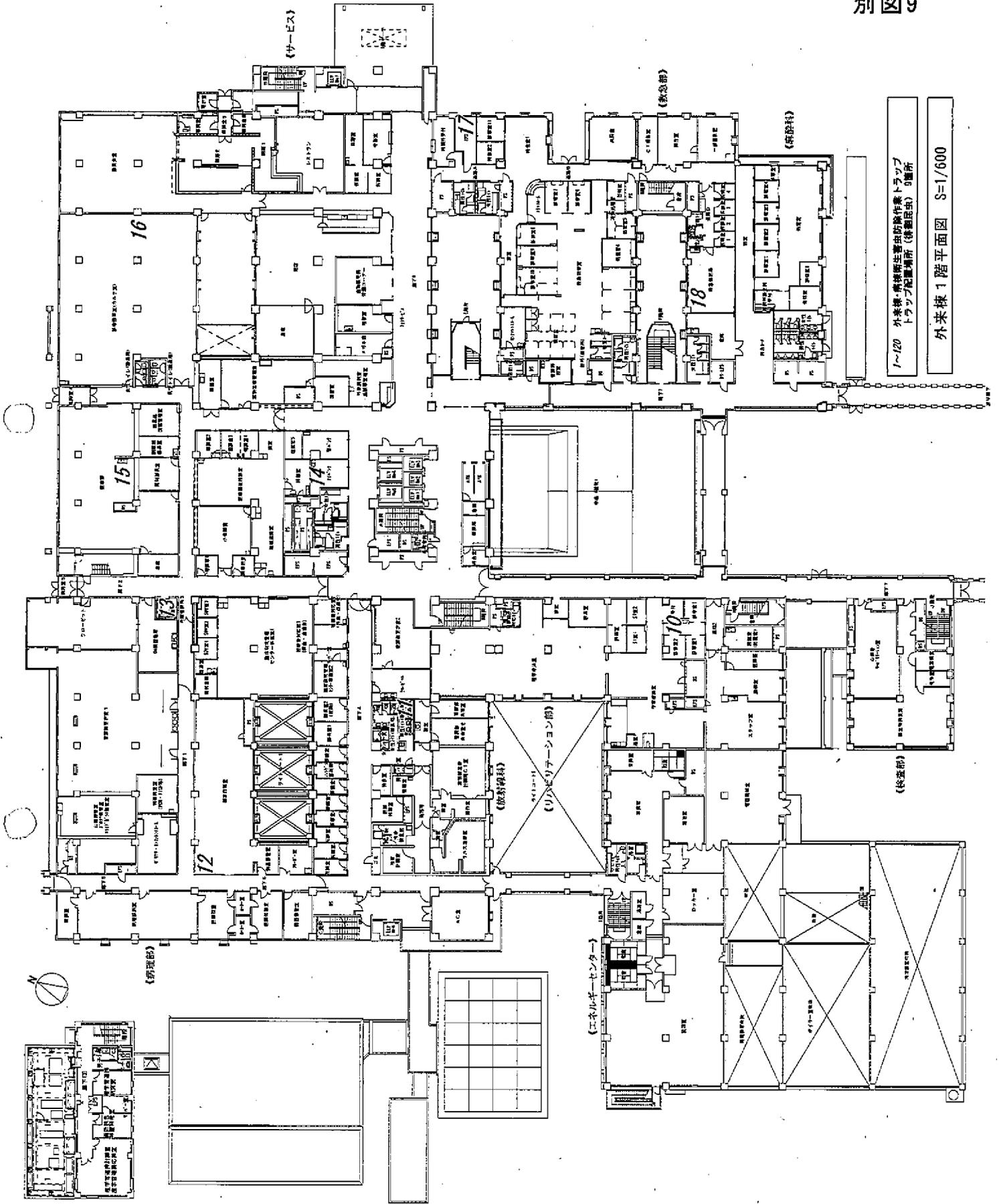
病棟7階平面図 S=1/600

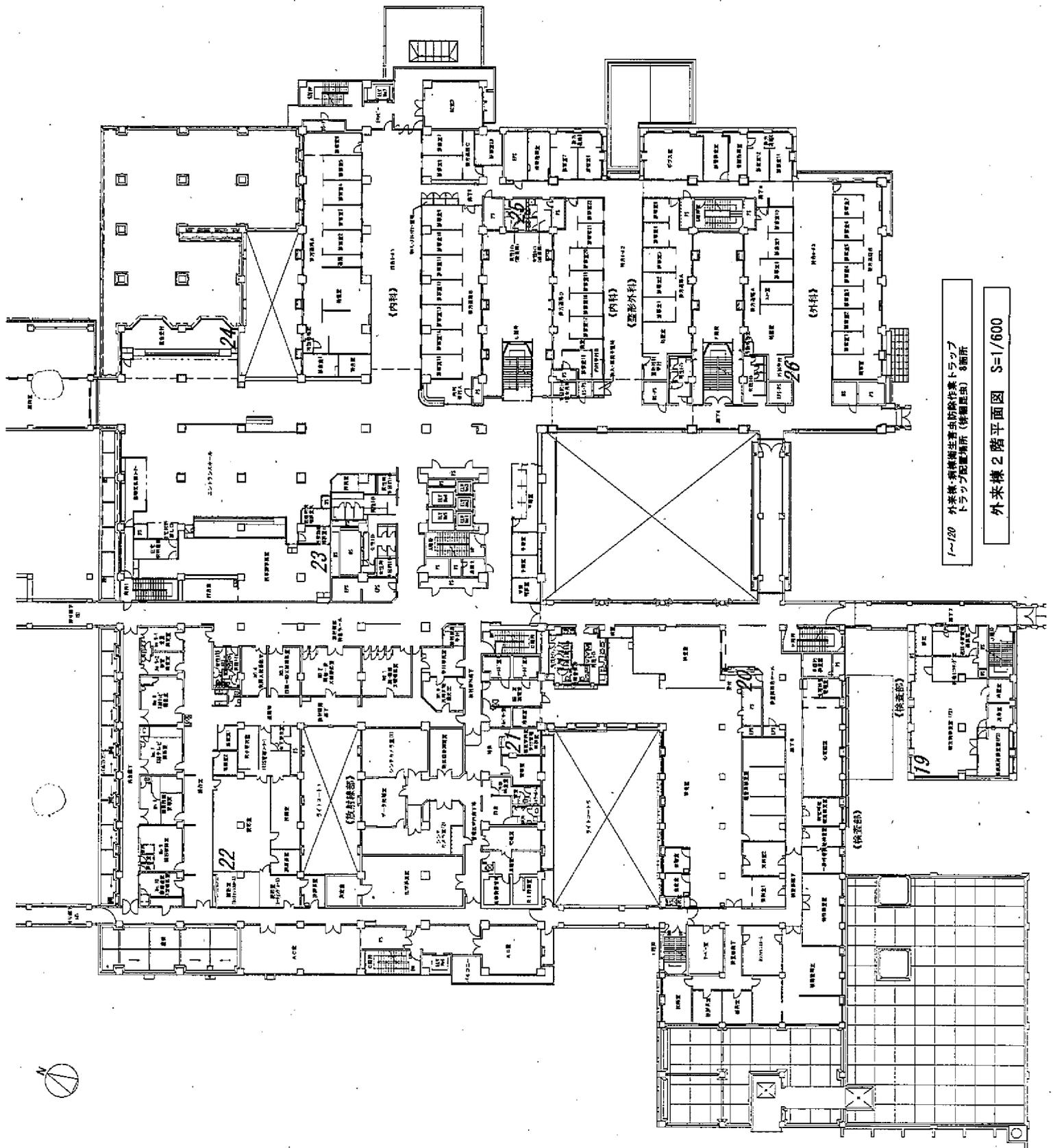


病棟6階平面図 S=1/600



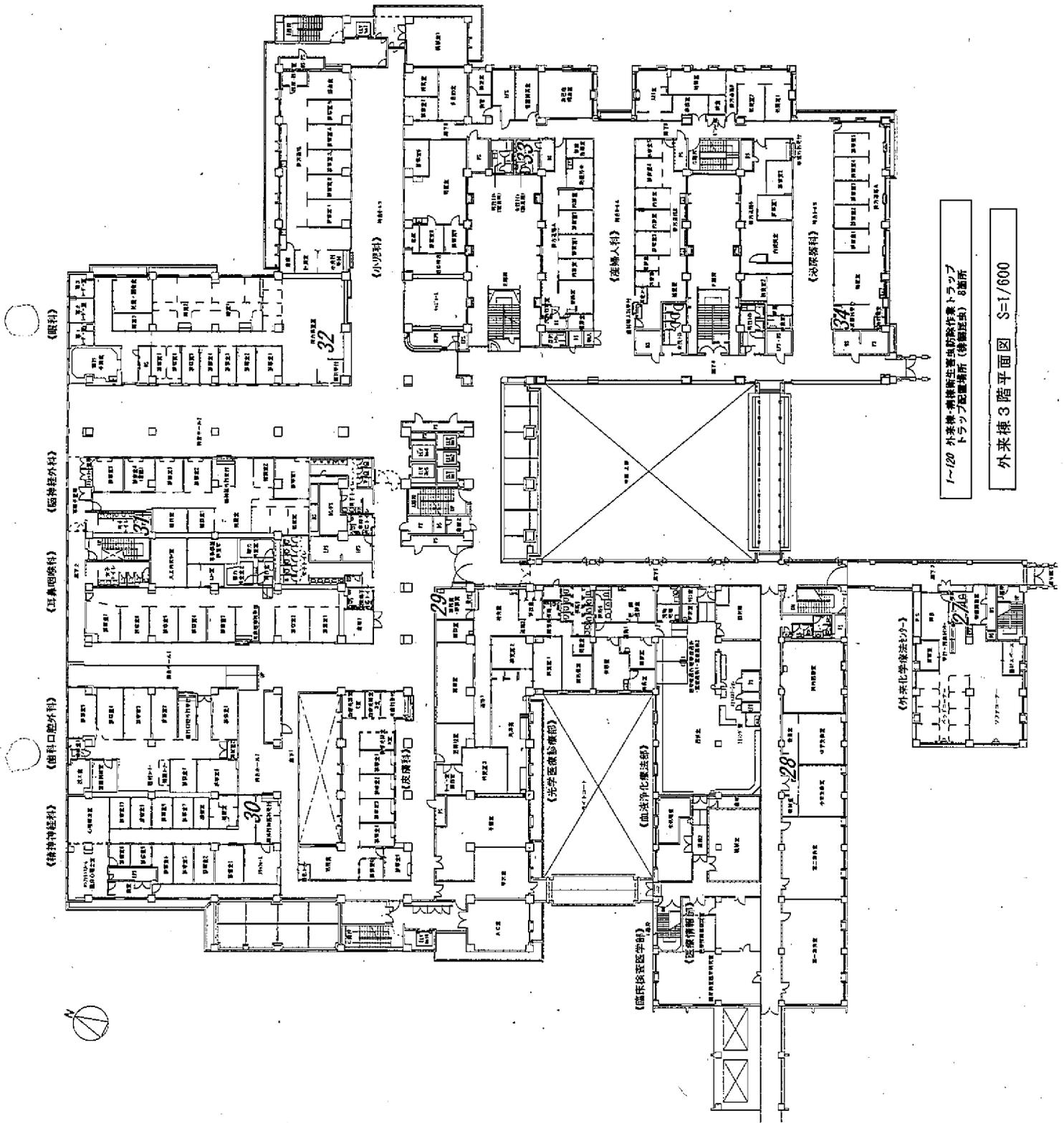
別図9





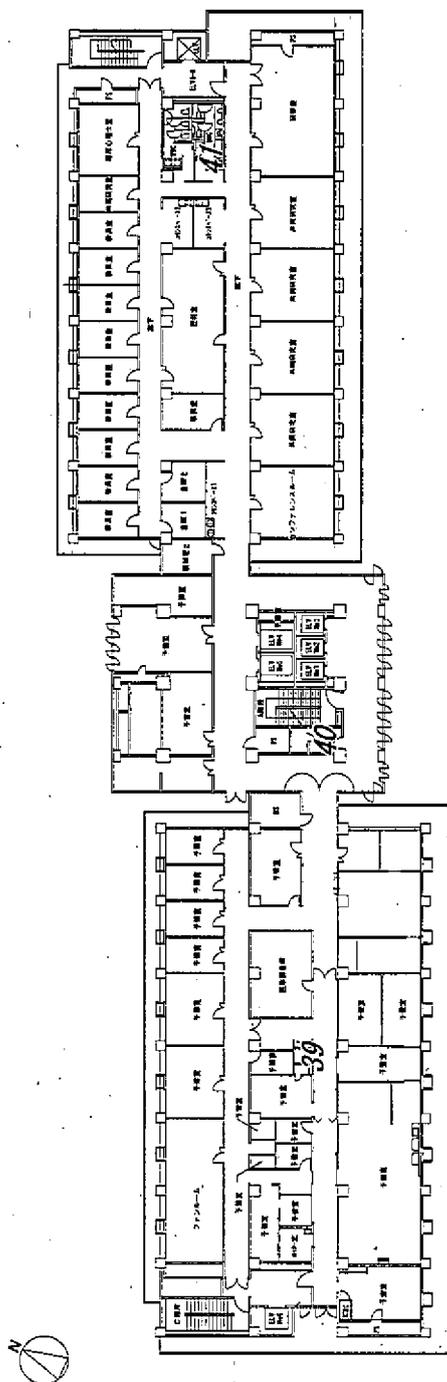
1~120 外来棟・病棟衛生管理防飲作業トランプ
トランプ配属場所 (棟間風通)

外来棟 2 階平面図 S=1/600



1~120 外務科 精神衛生学施設作業トランプ
トランプ配置場所 (特殊法室) 8箇所

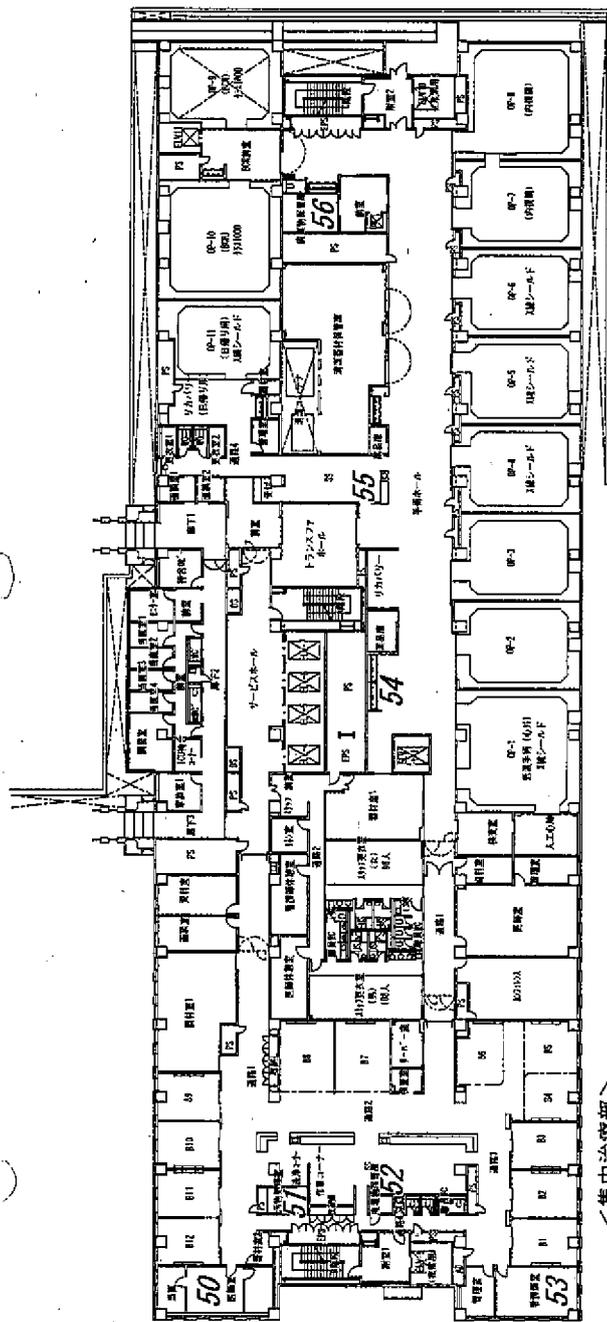
外来棟 3 階平面図 S=1/600



1~120 外来棟・新棟衛生管理防除作業トランプ
トランプ配置場所（後面見出し）3箇所

外来棟5階平面図 S=1/600

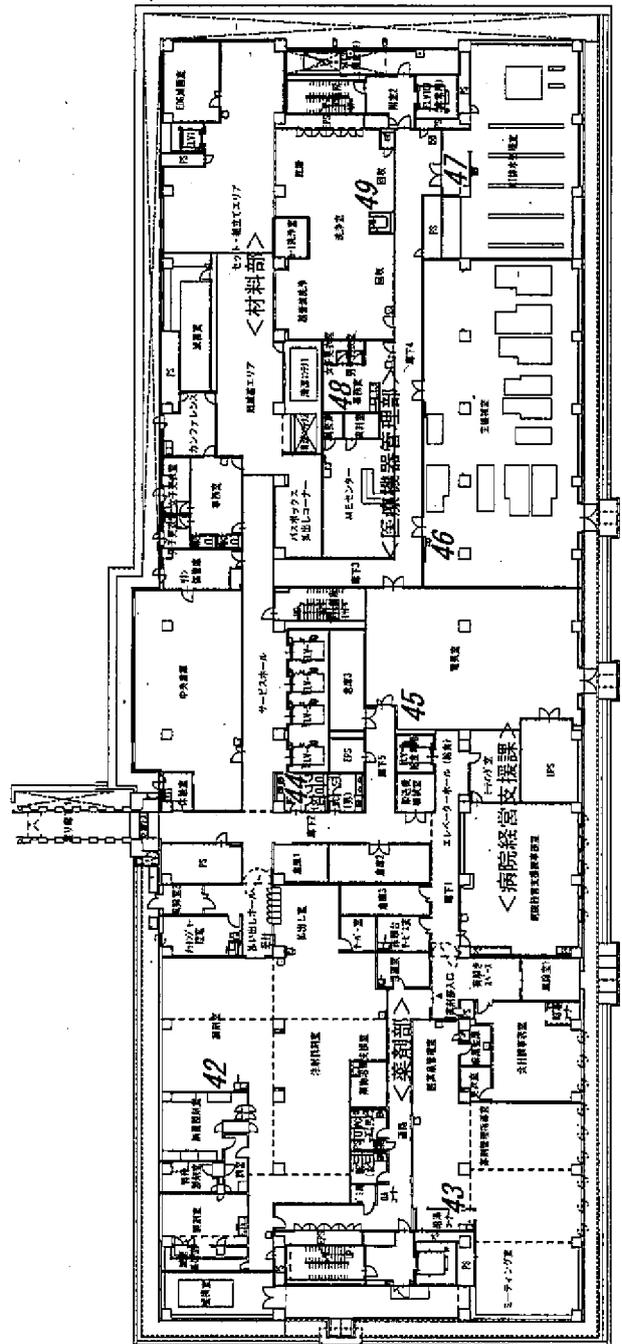
1~120 外来棟・病棟衛生管理施設作業トランプ
トランプ配置場所 (詳細見取)



＜集中治療部＞

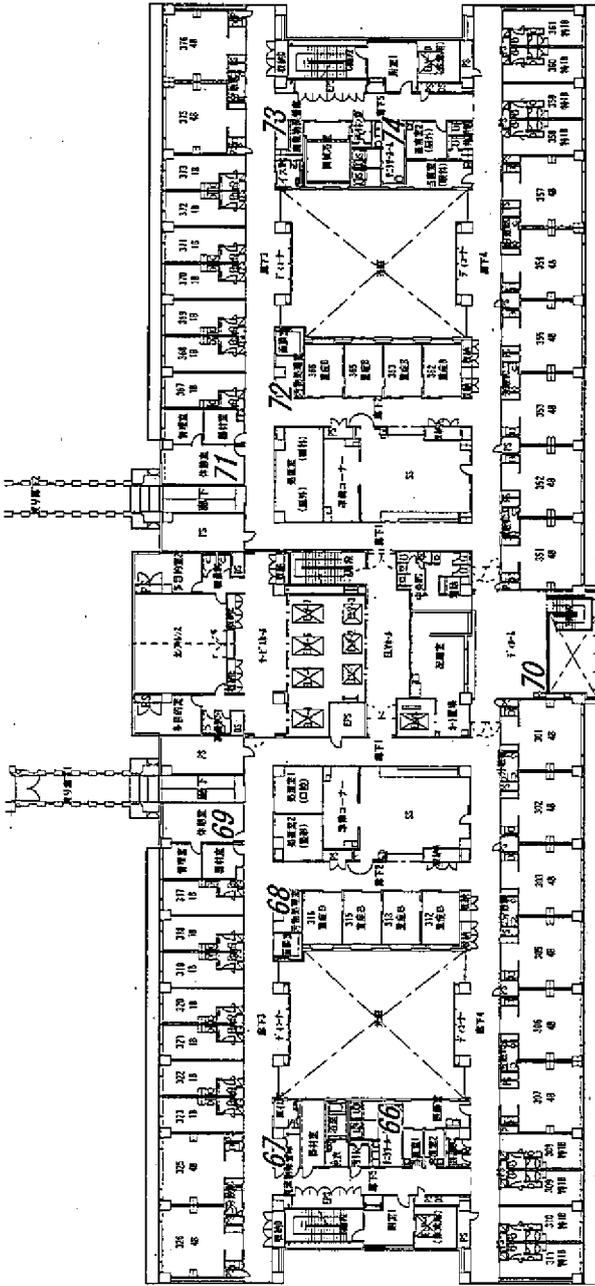
＜手術部＞

病棟A 1階平面図 S=1/600

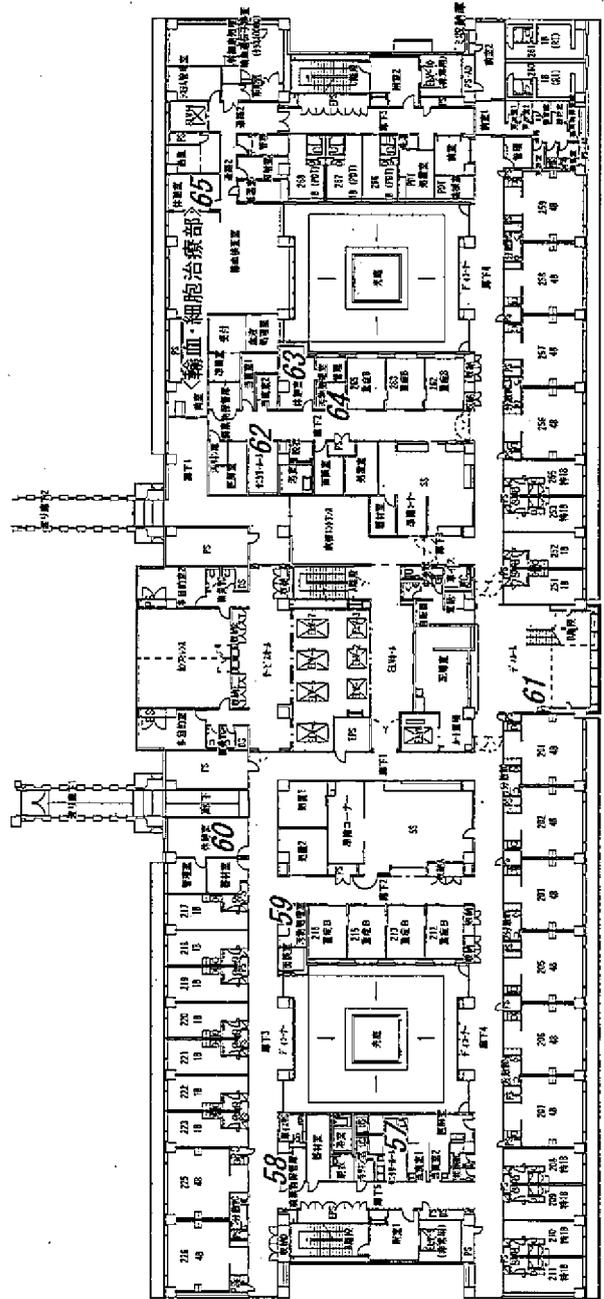


病棟B 1階平面図 S=1/600

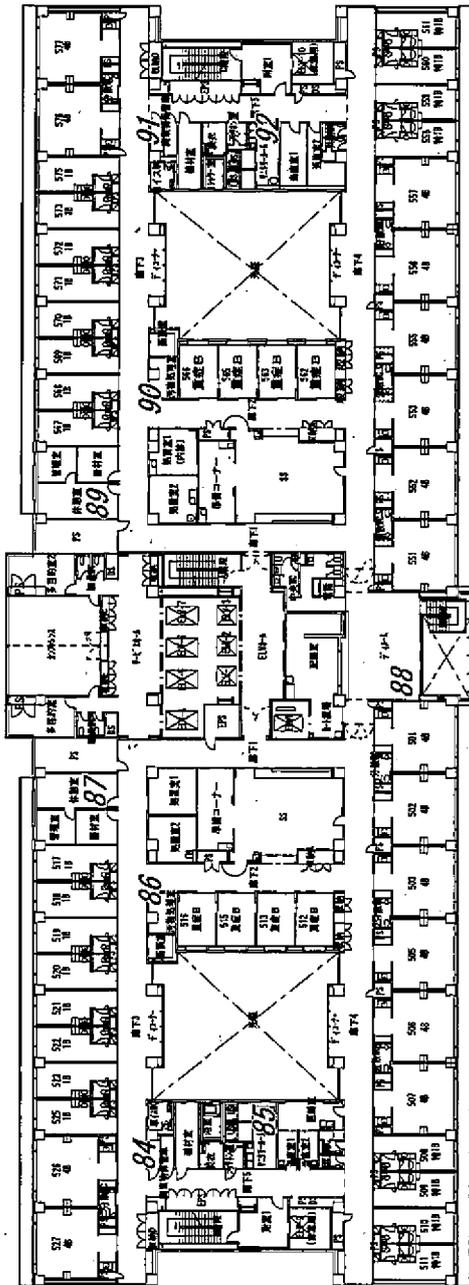
1~120 外装棟・病棟衛生管理施設作業トラップ
トラップ設置箇所 (詳細見取)



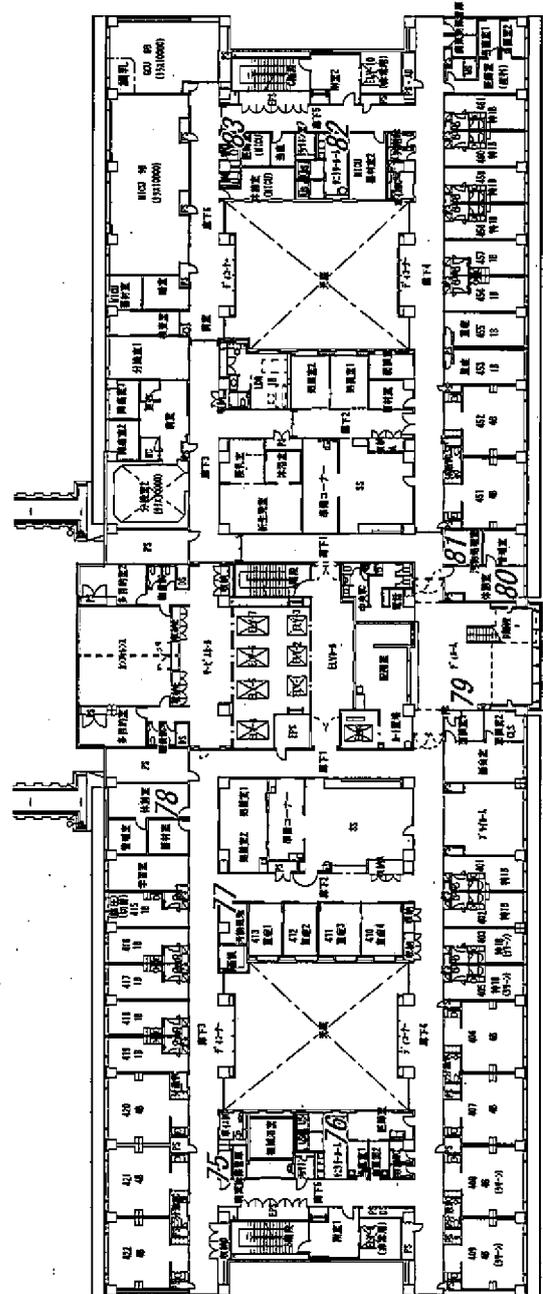
病棟3階平面図 S=1/600



病棟2階平面図 S=1/600



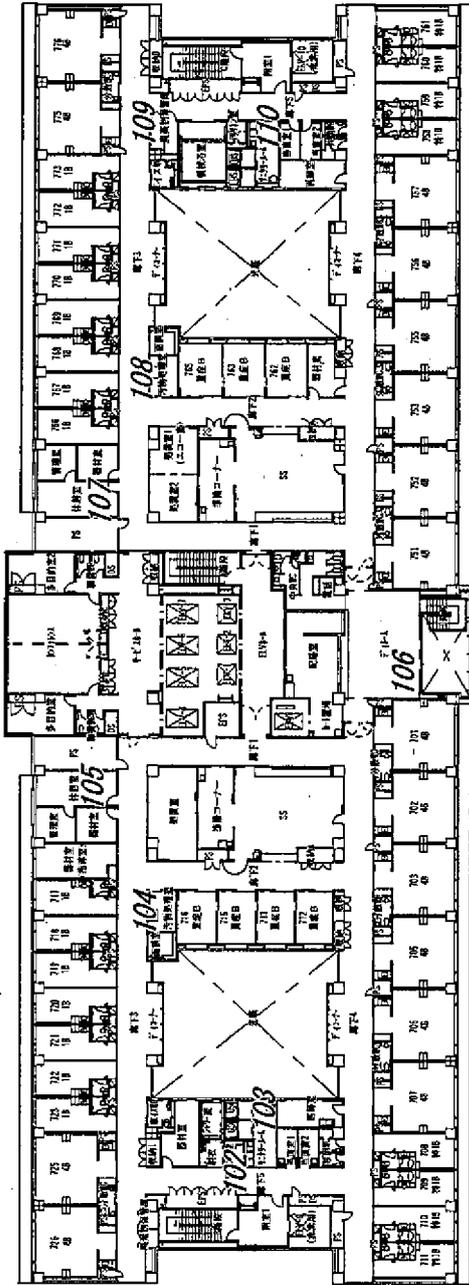
病棟5階平面図 S=1/600



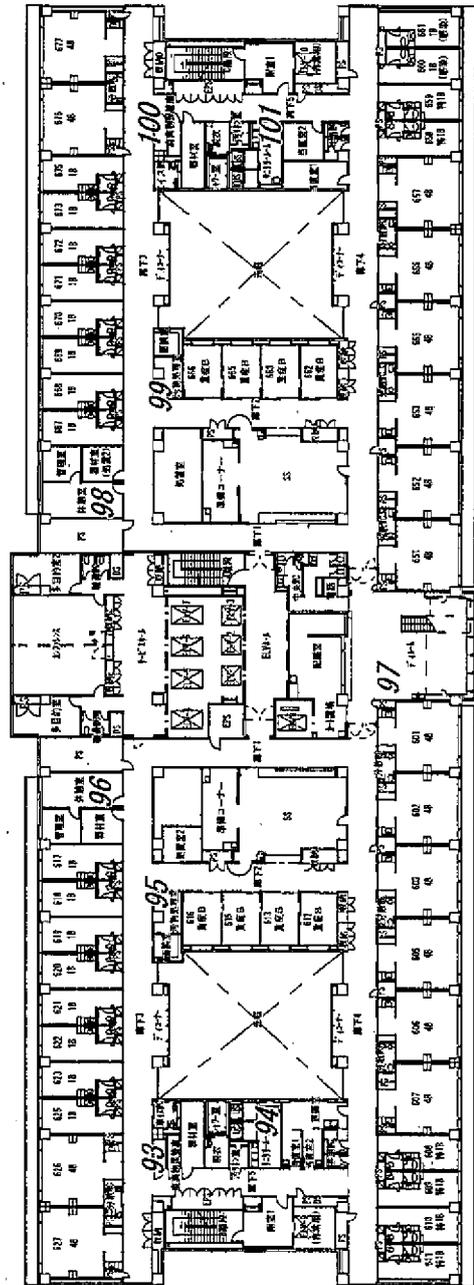
病棟4階平面図 S=1/600

1~120 外来棟・病棟衛生害虫防除作業、トランプ
トランプ配置場所 (詳細図参照) 10箇所

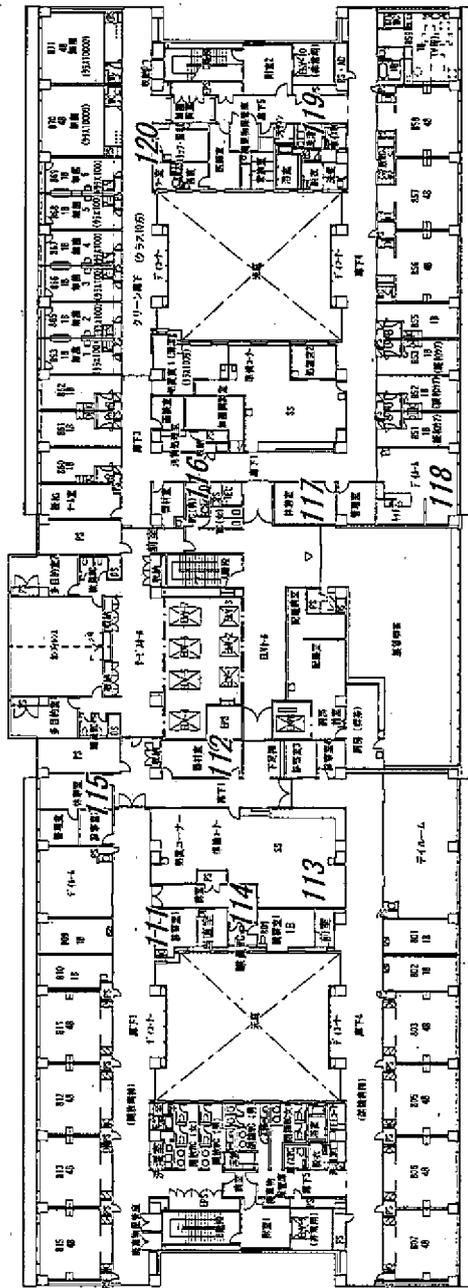
1~120 外来棟・病棟衛生管理防除作業トランプ
トランプ配置場所（併用施設）10箇所



病棟7階平面図 S=1/600

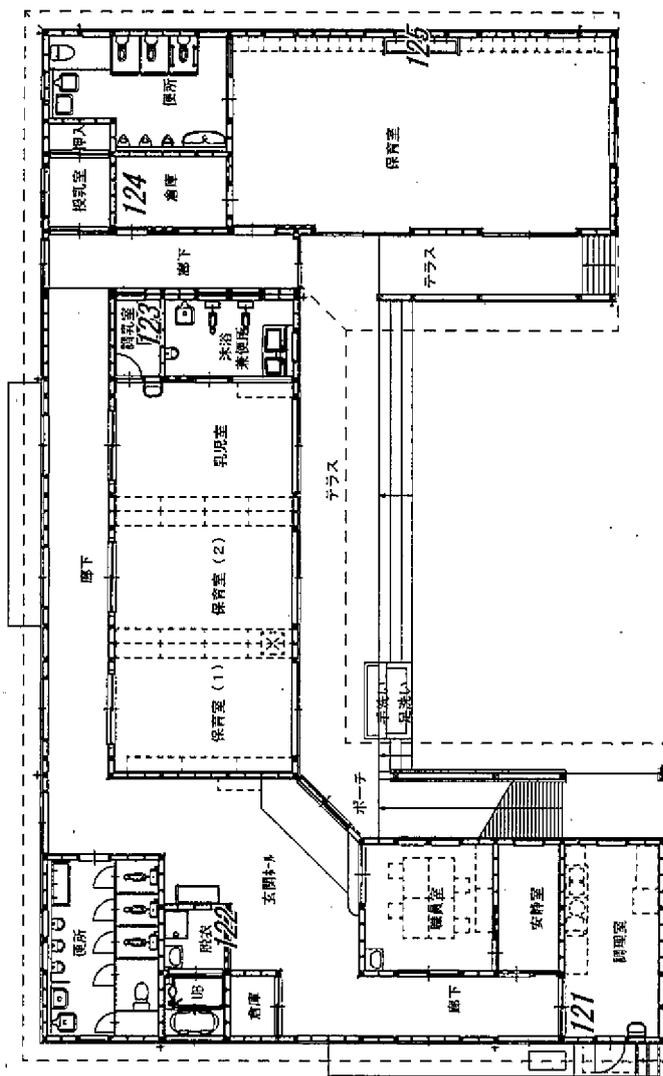


病棟6階平面図 S=1/600



病棟8階平面図 S=1/600

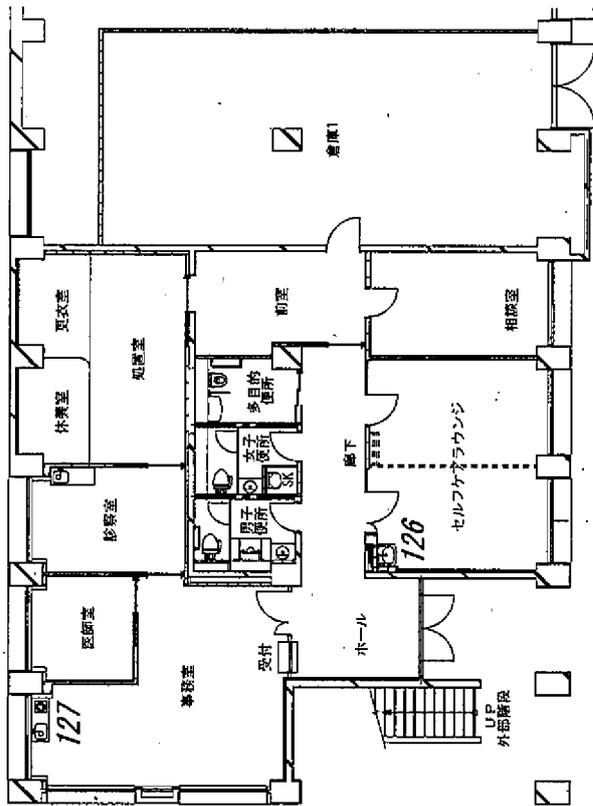
1~120 外來棟・病棟衛生害虫防除作業トラップ
トラップ配置場所(誘捕昆虫) 10箇所



121~125 保育所衛生室中の防除作業トランプ
トランプ配置場所 (排菌処理) 5箇所

299m² 719m³

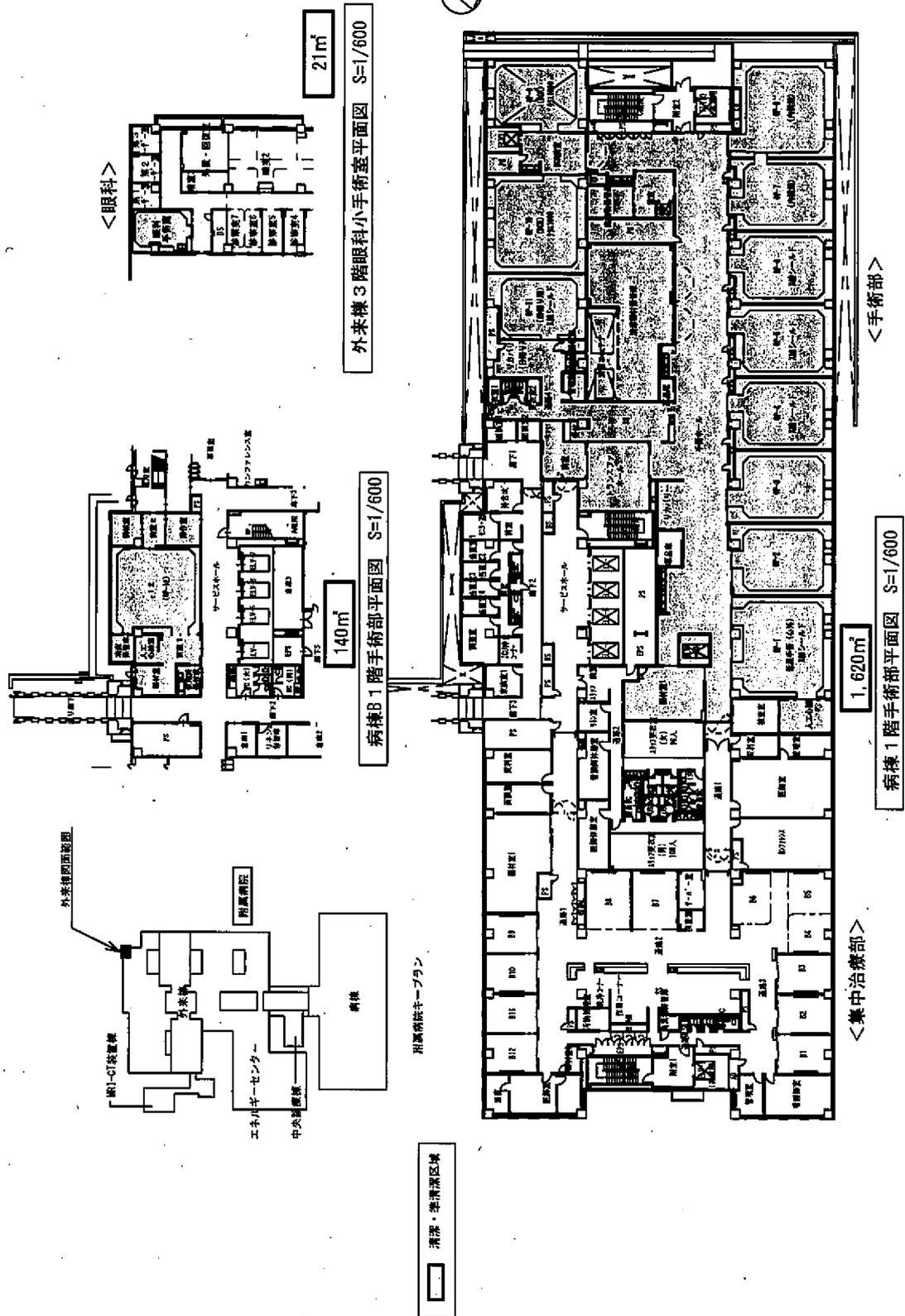
保育所平面図 S=1/200

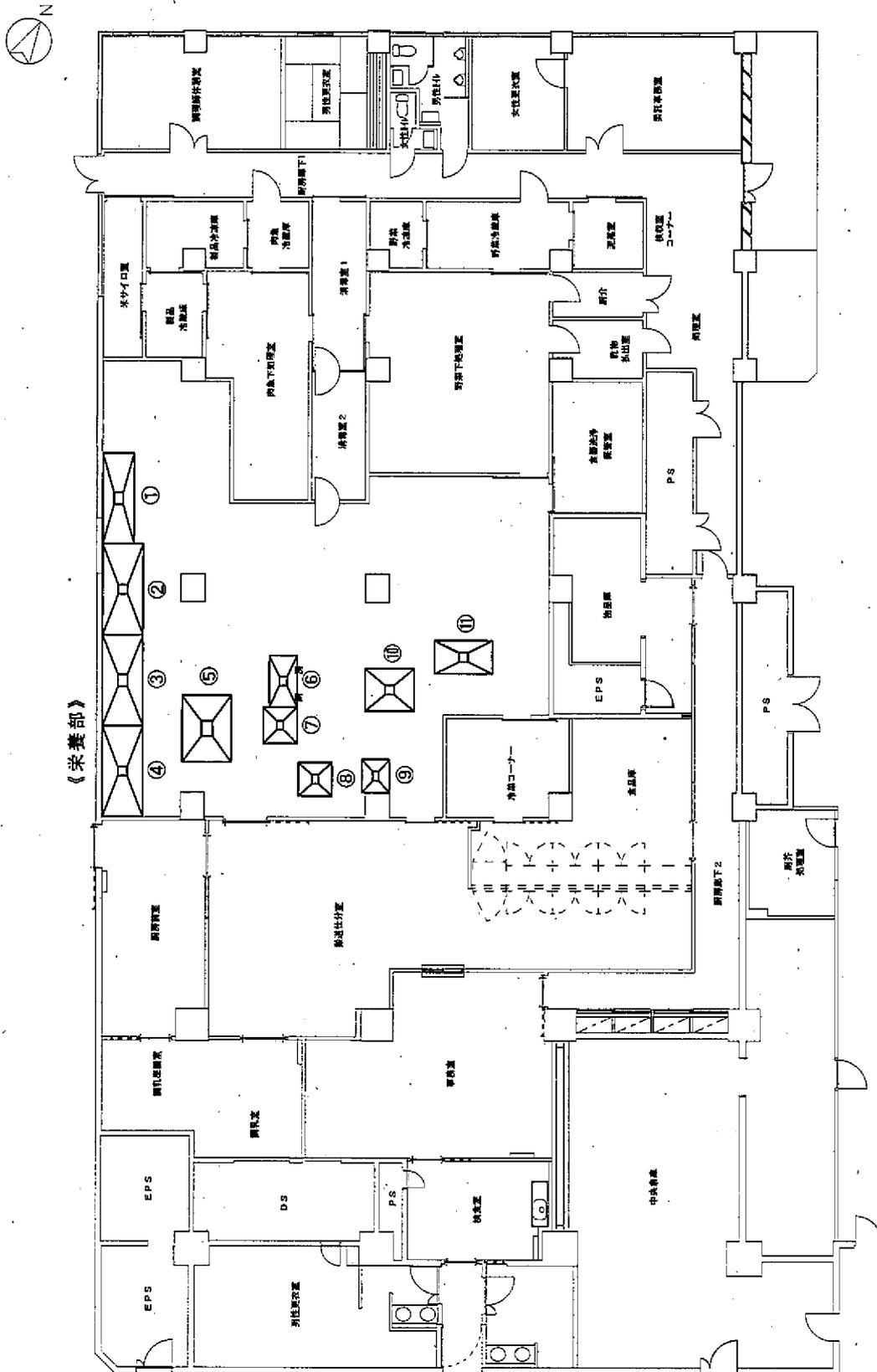


126~127 保健管理センター衛生室中の防除作業トランプ
トランプ配置場所 (排菌処理) 2箇所

254m² 609m³

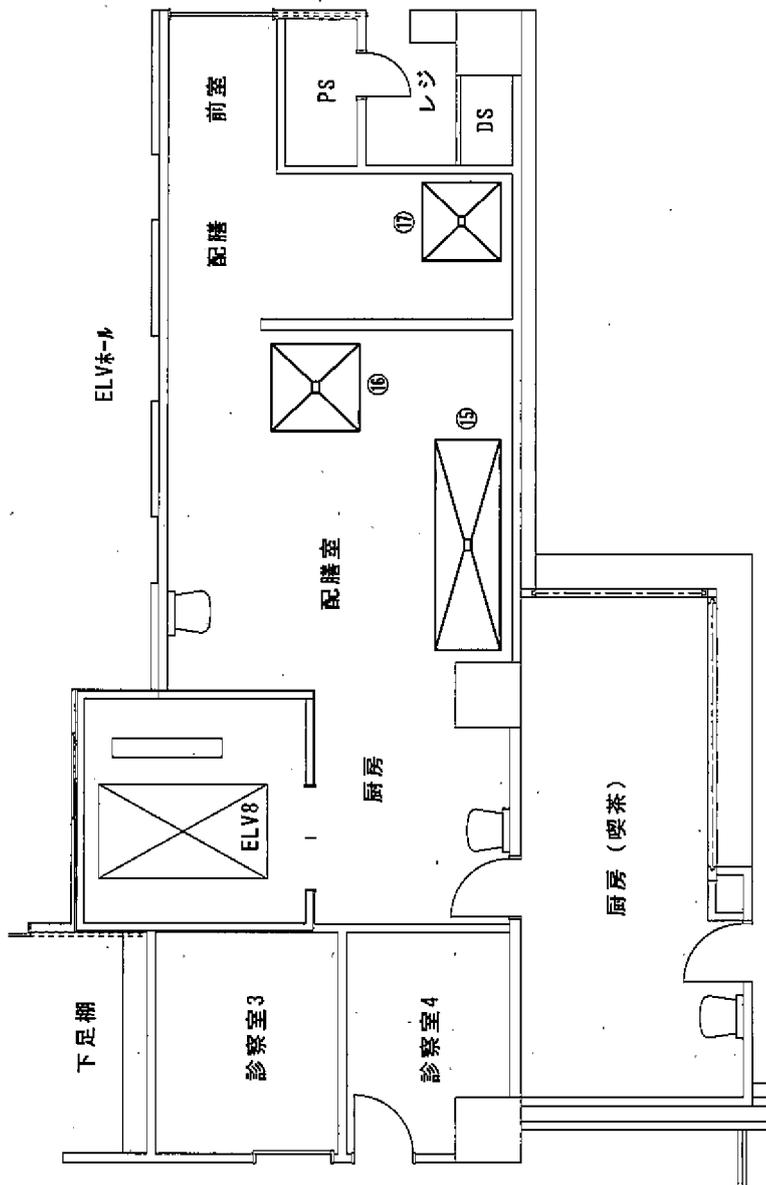
保健管理センター平面図 S=1/200



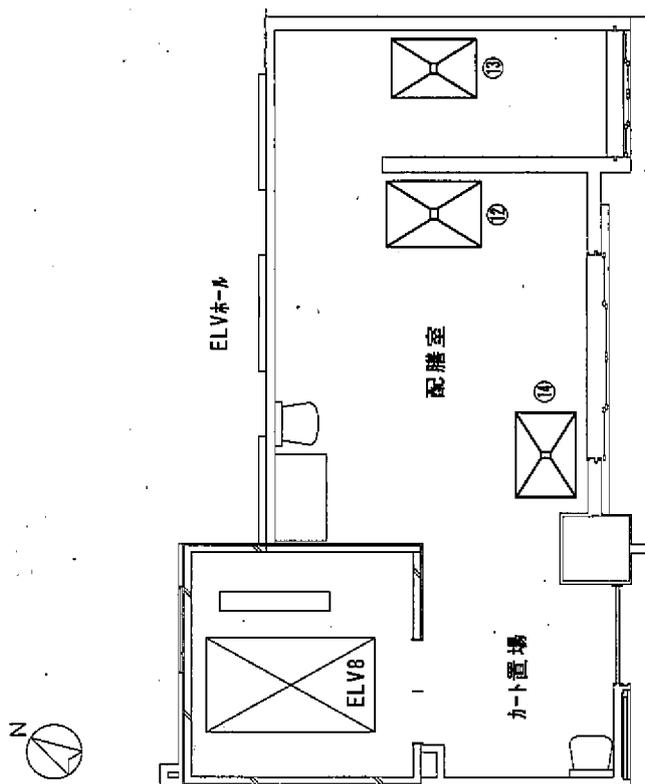


《栄養部》

外来棟地下1階厨房フード平面図 S=1/200



病棟 8 階 配膳室 フード 平面図 S=1/100



病棟 2 ~ 7 階 配膳室 フード 平面図 S=1/100